

白井北中道Ⅲ遺跡(2)

— 縄文時代編：本文編 —

一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査(その2)報告書 第6集

2009

国 土 交 通 省

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

白井北中道Ⅲ遺跡(2)

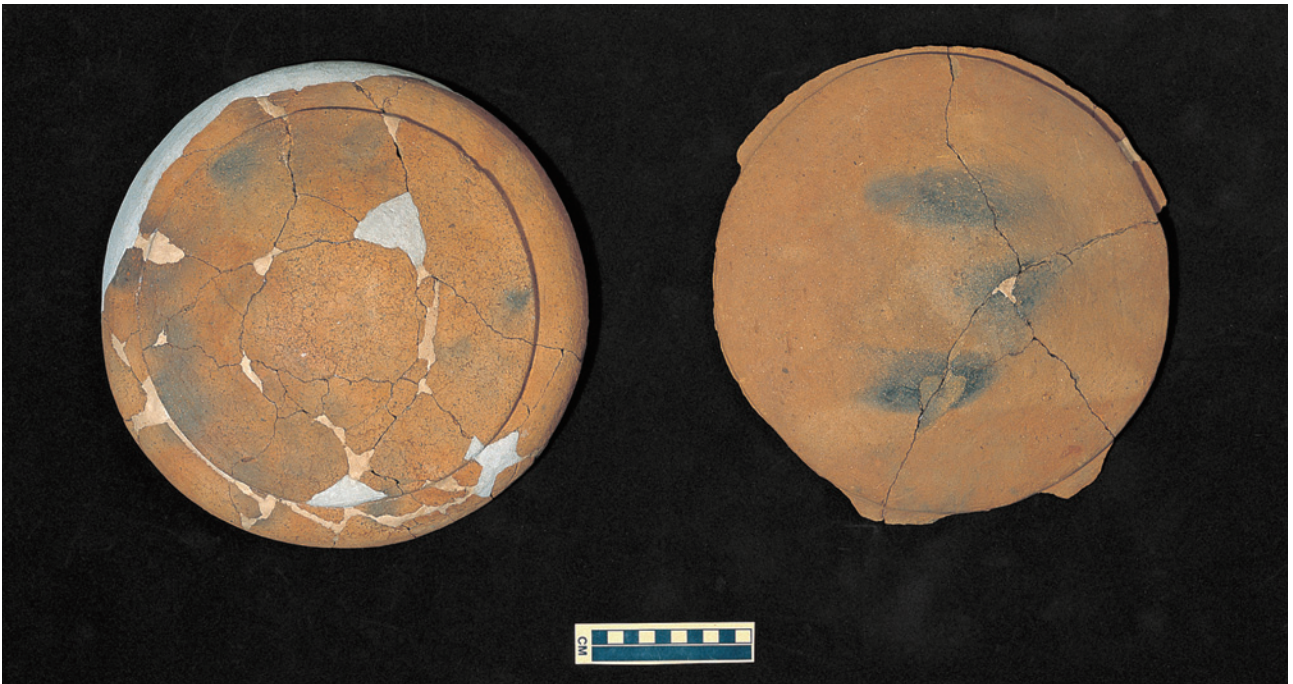
— 縄文時代編：本文編 —

一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査(その2)報告書 第6集

2009

国 土 交 通 省

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



口絵 1. 白井北中道Ⅲ遺跡出土浅鉢：左 [Ⅳ区 J58 号土坑 P2]・右 [Ⅳ区遺構外 P390]



口絵 2. 白井北中道Ⅲ遺跡出土獣面・人面土器：上段 [左から、Ⅲ区 J1 号住居 No.32、Ⅳ区 J3 号住居 P81・P82、Ⅳ区遺構外 P125・P396]、2段 [左から、Ⅴ区 Y1 号住居 P31・P33・P34・P35・P37]、3段 [左から、Ⅴ区遺構外 P27・P200・P201・P202・P203]、下段 [左から、Ⅴ区遺構外 P204・P206・P208・P210・P211]



口絵 3. 白井北中道Ⅲ遺跡出土石鏃：上段 [左から、Ⅰ区遺構外 S1・S3・S4・S6・S9、Ⅱ区遺構外 S1・S4・S5、Ⅲ区遺構外 S4・S5・S8・S10・S12・S28・S34]、2段 [Ⅲ区遺構外 S65・S71・S78、Ⅳ区 J1 号住居 S2・S3・S14、Ⅳ区 J3 号住居 S2・S4・S5、Ⅳ区 J4 号住居 S1、Ⅳ区遺構外 S19・S32・S34・S39・S44]、3段 [Ⅳ区遺構外 S105・S145・S152・S188・S192・S195・S198・S199・S220・S224・S227・S235・S244・S249・S250・S265・S87]、4段 [Ⅳ区遺構外 S297・S304・S313、Ⅴ区 Y1 号住居 S3・S11・S15・S16・S19・S20、Ⅴ区遺構外 S42・S104・S137・S180・S181・S247・S248・S255、Ⅴ区 3 号トレンチ S3、Ⅴ区 J2 号土坑 S1]、下段 [Ⅴ区 7 号トレンチ S2、8 号トレンチ S2、Ⅴ区遺構外 S98・S108・S109・S139・S147・S159・S167・S168・S190・S211・S228・S238・S245・S258]



口絵 4. 白井北中道Ⅲ遺跡出土石鏃：上段 [左から、Ⅲ区遺構外 S85、Ⅳ区 J1 号住居 S10・S11・S12・S13、Ⅳ区 J3 号住居 S9、Ⅳ区遺構外 S28・S47・S58・S109]、中段 [左から、Ⅴ区 Y1 号住居 S21、Ⅴ区 Y4 号住居 S1・S2、Ⅴ区 7 号トレンチ S3、Ⅴ区遺構外 S4・S18・S45・S65・S117]、下段 [左から、Ⅴ区遺構外 S141・S142・S148・S160・S176・S184・S218・S246・S251・S256]



口絵 5. 白井北中道Ⅲ遺跡出土石匙(大)：上段[左から、Ⅲ区遺構外 S42、Ⅳ区 J1 号住居 S8・S9、Ⅳ区 J3 号住居 S7・S8、Ⅳ区 13 号土坑 S2]、2 段[左から、Ⅳ区 22 号土坑 S3、Ⅳ区遺構外 S1・S24・S41・S67・S69]、3 段[左から、Ⅳ区遺構外 S90・S97・S134、Ⅴ区 J1 号住居 S2・S3、Ⅴ区遺構外 S21]、下段[左から、Ⅴ区遺構外 S66・S76・S84・S99・S226・S257]



口絵 6. 白井北中道Ⅲ遺跡出土石匙(小)：上段[左から、Ⅲ区遺構外 S17・S61・S79、Ⅳ区 J1 号住居 S6・S7、Ⅳ区 J3 号住居 S6、Ⅳ区 J4 号土坑 S1、Ⅳ区 J13 号土坑 S1]、2 段[左から、Ⅳ区 J42 号土坑 S1、Ⅳ区遺構外 S23・S29・S48・S59・S83・S95・S96]、3 段[左から、Ⅳ区遺構外 S110・S112・S130、Ⅴ区 J1 号住居 S1・S4、Ⅴ区 8 号トレンチ S4、Ⅴ区遺構外 S1・S28・S56]、下段[左から、Ⅴ区遺構外 S105・S110・S122・S126・S161・S162・S200・S201]



口絵7. 白井北中道Ⅲ遺跡出土装身具等:上段[左から、Ⅳ区J4号遺物集中P8、Ⅳ区遺構外S61・S187・S253・S314]、下段[左から、Ⅴ区J5号土坑S1、Ⅴ区8号トレンチS6、Ⅴ区遺構外S67・S118・S140・S143]



口絵8. 白井北中道Ⅲ遺跡出土砥石:上段[左から、Ⅳ区J1号住居S30、Ⅳ区J3号住居S16、Ⅳ区遺構外S82・S240]、下段[左から、Ⅳ区遺構外S275(上)・S300(下)、Ⅴ区J1号住居S9、Ⅴ区遺構外S116・S123]

序

一般国道17号は、関東と北陸を結ぶ大動脈であり、本県においては県北の山間部と県南の平野部とを結ぶ地域の主要道路であります。この国道は、渋川市と旧子持村（平成18年2月に渋川市と合併）の市街地を通過することや国道353号と接続するなどの諸条件から、交通渋滞が恒常的になっていました。その交通渋滞解消のため、全長5.5kmの鯉沢バイパスが計画されました。平成8年10月には、渋川市東町から国道353号バイパスとの交差点までの2.3kmが開通し、さらに終点の旧子持村上白井までの3.2kmについても平成20年7月に開通し、全長5.5kmの鯉沢バイパスが全面開通しました。この供用により、交通渋滞が大幅に緩和されることになりました。

国道353号バイパス交差点から終点までの埋蔵文化財調査は、一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財調査（その2）として、平成14年8月に当時の建設省関東地方整備局長・群馬県教育委員会教育長・財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長の三者で協定書を締結し、調査の運びとなりました。本書は、その内、平成15年から平成17年にかけて発掘調査を実施した、旧子持村大字白井に所在する白井北中道Ⅲ遺跡の調査報告書です。

白井北中道Ⅲ遺跡の報告書は、『白井北中道Ⅲ遺跡(1)：弥生時代以降編』がすでに平成21年2月に刊行されています。その続刊となる本書『白井北中道Ⅲ遺跡(2)：縄文時代編』は、主に縄文時代前期の諸磯式土器を伴う、住居・掘立柱建物・配石遺構・集石遺構・埋甕・土坑・焼土・ピット等についての報告です。これらの中でも、縄文時代前期の竪穴住居6軒が報告の中心となります。また、本遺跡の遺構外から出土した多くの土器や石器も特徴的です。土器には深鉢・浅鉢・有孔浅鉢等が多く、イノシシの顔を造形した獣面土器も認められます。石器では石鏃・石錐・石匙・砥石・打製石斧・磨石・凹石・石皿・多孔石等、様々な道具が認められます。これらの遺物を通して、当時の縄文時代人の様々な道具を垣間見ることができます。本書で、白井北中道Ⅲ遺跡の報告はすべて終了することになりますが、この地域には縄文時代から現代まで継続して人々が生活をしてきたことが明らかになりました。

今回の報告書刊行に至るまでには、国土交通省関東地方整備局、同高崎河川国道事務所、群馬県教育委員会、旧子持村教育委員会、地元関係者の皆様方に格別のご尽力を賜りました。ここに記して、心から感謝申し上げます。本報告書が群馬県のみならず、広く歴史資料として活用されることを祈念し、報告書の序といたします。

平成21年7月吉日

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 高橋 勇 夫

例 言

- 1 本書は、一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う白井北中道Ⅲ遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 遺跡所在地 群馬県渋川市白井地内（旧：北群馬郡子持村大字白井地内、平成18年2月市町村合併）
- 3 事業主体 国土交通省 関東地方整備局
- 4 調査主体 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 5 調査期間 平成15(2003)年1月6日～平成17(2005)年7月30日 [途中中断期間あり]
- 6 整理期間 平成19(2007)年4月1日～平成21(2009)年3月31日 [弥生時代以降編を含む]
- 7 発掘調査組織 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

(1) 発掘調査担当 [() の現職記載が無い者は、平成21年3月31日時点で群埋文に所属している。]

平成14年度：平成15(2003)年1月6日～同年3月31日

杉山秀宏（群馬県立歴史博物館）・唐沢友之（孺恋村立東小学校）・松原孝志（沼田市立沼田東小学校）

平成15年度：平成15(2003)年4月1日～同16(2004)年3月31日 [但し、全期間担当者は榑崎と齋藤のみ]

榑崎修一郎・齋藤 聡・井上昌美（群馬県企画部世界遺産推進室：文化庁へ派遣）・井原陽一（玉村町立玉村中学校）・吉田和夫（前橋市立朝倉小学校）

平成16年度：平成17(2005)年2月8日～同年3月31日

齊藤利昭・水田福夫（群馬県立前橋女子高等学校）

平成17年度：平成17(2005)年4月1日～同年7月30日

女屋和志雄・齋藤 聡

(2) 事務担当

高橋勇夫・小野宇三郎・津金沢吉茂・木村祐紀・住谷永市・吉田 豊・神保侑史・萩原 勉・矢崎俊夫・萩原利通・佐藤明人・中束耕志・西田健彦・右島和夫・巾 隆之・関 晴彦・中沢 悟・国定 均・笠原秀樹・宮前結城雄・丸岡道雄・植原恒夫・石井 清・竹内 宏・高橋房雄・小山建夫・須田朋子・柳岡良宏・吉田有光・今泉大作・清水秀紀・栗原幸代・佐藤聖行・森下弘美・田中賢一・阿久沢玄洋・今井もと子・内山佳子・若田 誠・佐藤美佐子・本間久美子・北原かおり・狩野真子・武藤秀典・松下次男・吉田 茂

8 整理組織

(1) 整理担当

整 理 担 当 平成19・20年度 榑崎修一郎

整 理 班 員 平成19年度 茂木範子・島崎しづ子・猪野熊洋子・大塚京子・佐々木雅子

平成20年度 茂木範子・新井雅子・猪野熊洋子・下田真弓

遺 構 写 真 各現場担当者

遺 物 写 真 平成19・20年度 佐藤元彦

保 存 処 理 平成19年度 関 邦一・小材浩一・津久井桂一・多田ひさ子・森田智子

平成20年度 関 邦一・小材浩一・津久井桂一・多田ひさ子

器 械 実 測 平成19年度 田所順子・伊東博子・岸 弘子

平成20年度 田所順子・岸 弘子・小池益美

デジタル版組 平成20年度 牧野裕美・市田武子・酒井史恵・廣津真希子・安藤美奈子・高梨由美子・

矢端真観・横塚由香・荒木絵美・下川陽子

(2) 事務担当

高橋勇夫・津金沢吉茂・木村祐紀・萩原 勉・飯島義雄・相京建史・佐藤明人・西田健彦・大木紳一郎・
国定 均・笠原秀樹・佐嶋芳明・石井 清・須田朋子・齊藤恵利子・柳岡良宏・矢島一美・田口小百合・
齋藤陽子・高橋次代・今井もと子・内山佳子・若田 誠・佐藤美佐子・本間久美子・北原かおり・
狩野真子・武藤秀典

9 本文執筆 編集 植崎修一郎

本文 関根慎二（縄文土器観察表）・左記以外は植崎が執筆。

10 本遺跡の出土遺物及び図面・写真等の資料は群馬県埋蔵文化財調査センターで保管している。

11 発掘調査及び報告書作成にあたっては、次の方々に有益な指導と助言を賜った。記して感謝の意を表す次第である（名前の五十音順）。

石井克巳・飯島静男・麻生敏隆・岩崎泰一・桜井美枝・関根慎二・谷藤保彦・土肥 孝・野村正弘

凡 例

1 調査区域には、国家座標に基づいて4m間隔のグリッドを設定した。本報告書で用いる原点Aa-0は、日本平面直角座標系第IX系のX=57,400m、Y=-72,300m（日本測地系対応）である。










2 本文中で使用した地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図「鯉沢」・「渋川」・「金井」・「伊香保」、20万分の1地勢図「宇都宮」・「長野」である。

3 本書では、榛名山の噴出物である榛名二ツ岳渋川テフラをHr-FA（又はFA）と表記し、榛名二ツ岳伊香保テフラをHr-FP（又はFP）と表記した。

4 遺構及び遺物実測図の縮尺は各図中に表示してある。また、挿図中の「L=○○m」は、断面図の水糸標高を示す。

5 本文中では、掘立柱建物を「建物」、竪穴住居跡を「住居」と表記した。挿図中では、1号建物を「1建」、1号住居を「1住」、1号土坑を「1土」、1号ピットを「1ピ」等と表記した。また、建物や住居等に伴う遺構の場合、1号ピットを「P1」等と表記した。

6 挿図中の網掛け部分（スクリントーン）は次のことを意味する。

遺構図	FP		FA		炭化物		焼土		攪乱	
遺物図	磨面		敲打痕		陰影		特殊			

7 住居の面積は、デジタルプランニメーターで3回計測した平均値を記載した。

8 土層断面の註記に用いた色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修の「新版標準土色帖」に従った。

目 次

口 絵
序
例 言
凡 例
目 次
図 目 次
表 目 次

《第1分冊：本文編》		3. 集石 ……………109
第1章 調査の経緯と調査の方法…………… 1		4. 埋甕 ……………112
第1節 調査の経緯 …………… 2		5. 遺物集中 ……………113
第2節 調査の方法 …………… 4		6. 土坑 ……………123
		7. 焼土 ……………152
第2章 地理的・歴史的環境…………… 9		8. 倒木 ……………153
第1節 遺跡の位置と周辺の地形…………… 10		9. トレンチ……………155
第2節 周辺の遺跡…………… 11	第2節 IV区遺構外……………156	
第3節 基本土層…………… 15		
第3章 I区の調査…………… 17	第7章 V区の調査……………233	
第1節 I区遺構外出土遺物…………… 19	第1節 V区遺構……………235	
	1. 住居……………235	
第4章 II区の調査…………… 21	2. 掘立柱建物……………242	
第1節 II区遺構…………… 23	3. 集石……………243	
1. 土坑…………… 23	4. 土坑……………246	
第2節 II区遺構外…………… 23	5. ピット……………249	
	6. トレンチ……………251	
第5章 III区の調査…………… 25	第2節 V区遺構外……………257	
第1節 III区遺構…………… 27		
1. 住居…………… 27	第8章 ま と め……………317	
2. 土坑…………… 32	第1節 白井北中道III遺跡縄文面遺構・遺物まとめ ……318	
第2節 III区遺構外…………… 34	第2節 鯉沢バイパス縄文面調査遺跡集成 ……319	
	第3節 白井北中道III遺跡出土縄文獣面付き土器 ……323	
第6章 IV区の調査…………… 61	《第2分冊：写真編》	
第1節 IV区遺構…………… 63	写真図版目次	
1. 住居…………… 63	写真図版表紙	
2. 配石遺構……………107	写真図版 (PL.140)	

挿図目次

第1章第1図	白井北中道Ⅲ遺跡位置図 (S = 1 : 20万) ……	2
第1章第2図	白井北中道Ⅲ遺跡位置図 (S = 1 : 20,000) ……	3
第1章第3図	白井北中道Ⅲ遺跡調査区位置図……………	5
第1章第4図	白井北中道Ⅲ遺跡グリッド配置図……………	6
第2章第1図	段丘面分類図 (「子持村誌・上巻」を改変) ……	10
第2章第2図	周辺遺跡位置図 (S = 1 : 25,000) ……	13
第2章第3図	白井北中道Ⅲ遺跡基本土層柱状図……………	16
第3章第1図	I区グリッド配置図……………	18
第3章第2図	I区縄文面 遺構外出土縄文土器……………	19
第3章第3図	I区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)……………	19
第3章第4図	I区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)……………	20
第4章第1図	II区グリッド配置図……………	22
第4章第2図	II区J 1 (103)号土坑 ……	23
第4章第3図	II区J 2 (102)号土坑 ……	23
第4章第4図	II区縄文面 遺構外出土縄文土器……………	23
第4章第5図	II区縄文面 遺構外出土縄文土器……………	24
第5章第1図	Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ区縄文面 住居位置図……………	26
第5章第2図	Ⅲ区J 1号住居出土縄文土器……………	27
第5章第3図	Ⅲ区J 1号住居……………	28
第5章第4図	Ⅲ区J 1号住居出土縄文土器(1)……………	29
第5章第5図	Ⅲ区J 1号住居出土縄文土器(2)……………	30
第5章第6図	Ⅲ区縄文面 土坑位置図 (1/400)……………	32
第5章第7図	Ⅲ区J 1 (44)号土坑……………	32
第5章第8図	Ⅲ区J 2 (48)号土坑……………	32
第5章第9図	Ⅲ区J 3 (45)号土坑……………	32
第5章第10図	Ⅲ区J 4 (46)号土坑……………	32
第5章第11図	Ⅲ区J 5 (50)号土坑……………	33
第5章第12図	Ⅲ区J 5 (50)号土坑出土縄文土器……………	33
第5章第13図	Ⅲ区J 6 (49)号土坑……………	33
第5章第14図	Ⅲ区J 7 (47)号土坑……………	33
第5章第15図	Ⅲ区グリッド配置図……………	35
第5章第16図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)……………	36
第5章第17図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)……………	37
第5章第18図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)……………	38
第5章第19図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)……………	39
第5章第20図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(5)……………	40
第5章第21図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)……………	46
第5章第22図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)……………	47
第5章第23図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)……………	48
第5章第24図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)……………	49
第5章第25図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(5)……………	50
第5章第26図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(6)……………	51
第5章第27図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(7)……………	52
第5章第28図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(8)……………	53
第5章第29図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(9)……………	54
第5章第30図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(10)……………	55
第5章第31図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(11)……………	56
第5章第32図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(12)……………	57
第5章第33図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(13)……………	58
第5章第34図	Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(14)……………	59
第6章第1図	Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ区縄文面 住居位置図……………	62
第6章第2図	IV区J 1 (6)号住居遺物出土状況 ……	63
第6章第3図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居……………	65
第6章第4図	IV区J 1 (6)号住居炉 ……	66
第6章第5図	IV区J 2 (7)号住居炉 ……	66
第6章第6図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居断面……………	67
第6章第7図	IV区J 1 (6)号住居ピット断面 ……	68
第6章第8図	IV区J 2 (7)号住居ピット断面 ……	69
第6章第9図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居出土縄文土器(1)…	70
第6章第10図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居出土縄文土器(2)…	71
第6章第11図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居出土縄文土器(3)…	72
第6章第12図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居出土縄文土器(4)…	73
第6章第13図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居出土縄文土器(5)…	74

第6章第14図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居出土縄文土器(6)…	75
第6章第15図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(1) ……	79
第6章第16図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(2) ……	80
第6章第17図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(3) ……	81
第6章第18図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(4) ……	82
第6章第19図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(5) ……	83
第6章第20図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(6) ……	84
第6章第21図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(7) ……	85
第6章第22図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(8)、 J 2 (7)号住居出土縄文土器 ……	86
第6章第23図	IV区J 3 (4)号住居 ……	89
第6章第24図	IV区J 3 (4)号住居炉、周溝断面 ……	90
第6章第25図	IV区J 3 (4)号住居遺物出土状況 ……	90
第6章第26図	IV区J 3 (4)号住居・ピット断面 ……	91
第6章第27図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(1) ……	92
第6章第28図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(2) ……	93
第6章第29図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(3) ……	94
第6章第30図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(1) ……	97
第6章第31図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(2) ……	98
第6章第32図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(3) ……	99
第6章第33図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(4) ……	100
第6章第34図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(5) ……	101
第6章第35図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(6) ……	102
第6章第36図	IV区J 4 (2)号住居出土縄文土器 ……	104
第6章第37図	IV区J 4 (2)号住居 ……	105
第6章第38図	IV区J 4 (2)号住居炉 ……	106
第6章第39図	IV区J 4 (2)号住居・ピット断面 ……	106
第6章第40図	IV区J 1号配石……………	107
第6章第41図	IV区J 1号配石出土縄文土器……………	108
第6章第42図	IV区J 1号配石出土縄文土器……………	108
第6章第43図	IV区J 1号集石……………	109
第6章第44図	IV区J 1号集石出土縄文土器……………	110
第6章第45図	IV区J 2号集石・出土縄文土器……………	111
第6章第46図	IV区J 1号埋壺・出土縄文土器……………	112
第6章第47図	IV区J 1号埋壺出土縄文土器……………	112
第6章第48図	IV区J 1 (2)号遺物集中・出土縄文土器(1) ……	113
第6章第49図	IV区J 1 (2)号遺物集中出土縄文土器(2) ……	114
第6章第50図	IV区J 2 (3)号遺物集中・出土縄文土器 ……	115
第6章第51図	IV区J 3 (4)号遺物集中・出土縄文土器 ……	116
第6章第52図	IV区J 3 (4)号遺物集中出土縄文土器 ……	117
第6章第53図	IV区J 4 (5)号遺物集中遺物出土状況 ……	117
第6章第54図	IV区J 4 (5)号遺物集中出土縄文土器(1) ……	118
第6章第55図	IV区J 4 (5)号遺物集中・出土縄文土器(2) ……	118
第6章第56図	IV区J 4 (5)号遺物集中出土縄文土器(3) ……	119
第6章第57図	IV区J 4 (5)号遺物集中出土縄文土器 ……	119
第6章第58図	IV区J 5 (6)号遺物集中・出土縄文土器・石器 ……	120
第6章第59図	IV区J 6 (7)号遺物集中出土縄文土器 ……	121
第6章第60図	IV区J 6 (7)号遺物集中出土縄文土器 ……	122
第6章第61図	IV区縄文面 土坑位置図 (1/400)……………	122
第6章第62図	IV区J 1 (212)・J 2 (213)号土坑、 J 1 (212)号土坑・出土縄文土器・石器 ……	123
第6章第63図	IV区J 3 (209)号土坑・出土縄文土器 ……	124
第6章第64図	IV区J 6 (242)号土坑 ……	124
第6章第65図	IV区J 7 (241)号土坑 ……	124
第6章第66図	IV区J 4 (221)号土坑・出土縄文土器 ……	125
第6章第67図	IV区J 4 (221)号土坑出土縄文土器 ……	125
第6章第68図	IV区J 5 (210)号土坑・出土縄文土器・石器 ……	126
第6章第69図	IV区J 8 (240)・J 9 (239)号土坑……………	127
第6章第70図	IV区J 10 (238)号土坑 ……	127
第6章第71図	IV区J 11 (236)号土坑 ……	127
第6章第72図	IV区J 12 (237)号土坑 ……	127
第6章第73図	IV区J 13 (214)号土坑・出土縄文土器 ……	128
第6章第74図	IV区J 13 (214)号土坑出土縄文土器 ……	128
第6章第75図	IV区J 14 (218)号土坑 ……	129
第6章第76図	IV区J 15 (217)号土坑・出土縄文土器 ……	129

第6章第77図	IV区J 16(237)・J 17(244)号土坑、 J 17(244)号土坑出土縄文土器	130
第6章第78図	IV区J 18(215)号土坑・出土縄文土器	131
第6章第79図	IV区J 18(215)号土坑出土縄文石器	132
第6章第80図	IV区J 19(246)号土坑・出土縄文土器	133
第6章第81図	IV区J 20(208)号土坑・出土縄文土器	133
第6章第82図	IV区J 20(252)号土坑出土縄文石器	134
第6章第83図	IV区J 21(233)号土坑	134
第6章第84図	IV区J 22(211)号土坑・出土縄文土器(1)	135
第6章第85図	IV区J 22(211)号土坑出土縄文土器(2)	136
第6章第86図	IV区J 22(211)号土坑出土縄文石器(1)	136
第6章第87図	IV区J 22(211)号土坑出土縄文石器(2)	137
第6章第88図	IV区J 23(251)号土坑	138
第6章第89図	IV区J 24(252)号土坑	138
第6章第90図	IV区J 25(248)・J 26(249)号土坑	138
第6章第91図	IV区J 25(248)号土坑出土縄文石器	138
第6章第92図	IV区J 27(243)号土坑	139
第6章第93図	IV区J 28(234)号土坑・出土縄文土器	139
第6章第94図	IV区J 29(235)号土坑	139
第6章第95図	IV区J 29(235)号土坑出土縄文石器	139
第6章第96図	IV区J 30(206)号土坑	140
第6章第97図	IV区J 31(229)号土坑	140
第6章第98図	IV区J 32(232)号土坑	140
第6章第99図	IV区J 33(247)号土坑	140
第6章第100図	IV区J 34(250)号土坑	141
第6章第101図	IV区J 35(253)号土坑	141
第6章第102図	IV区J 36(231)号土坑	141
第6章第103図	IV区J 37(228)号土坑	142
第6章第104図	IV区J 37(228)号土坑出土縄文石器	142
第6章第105図	IV区J 40(226)号土坑・出土縄文土器	142
第6章第106図	IV区J 40(226)号土坑出土縄文石器	143
第6章第107図	IV区J 38(224)号土坑	143
第6章第108図	IV区J 39(216)号土坑	143
第6章第109図	IV区J 41(225)号土坑・出土縄文土器	144
第6章第110図	IV区J 42(219)号土坑・出土縄文土器	144
第6章第111図	IV区J 42(219)号土坑出土縄文石器	145
第6章第112図	IV区J 44(207)号土坑	145
第6章第113図	IV区J 45(223)号土坑	145
第6章第114図	IV区J 43(230)号土坑	145
第6章第115図	IV区J 43(230)号土坑出土縄文石器	146
第6章第116図	IV区J 46(227)号土坑・出土縄文土器	146
第6章第117図	IV区J 47(223)号土坑	147
第6章第118図	IV区J 48(222)号土坑	147
第6章第119図	IV区J 49(220)号土坑	147
第6章第120図	IV区J 50(204)号土坑	147
第6章第121図	IV区J 51(205)号土坑	147
第6章第122図	IV区J 52(102)号土坑	148
第6章第123図	IV区J 53(399)号土坑・出土縄文土器	148
第6章第124図	IV区J 54(103)号土坑	149
第6章第125図	IV区J 55(392)号土坑・出土縄文土器	149
第6章第126図	IV区J 56(390)号土坑・出土縄文土器	149
第6章第127図	IV区J 57(105)号土坑・出土縄文石器	150
第6章第128図	IV区J 58(101)号土坑・出土縄文土器	150
第6章第129図	IV区J 59(372)号土坑・出土縄文土器	151
第6章第130図	IV区J 60(99)号土坑	151
第6章第131図	IV区J 61(98)号土坑	151
第6章第132図	IV区J 62(100)号土坑	151
第6章第133図	IV区J 1号焼土	152
第6章第134図	IV区J 1号倒木痕	153
第6章第135図	IV区トレンチ位置図	154
第6章第136図	IV区1号トレンチ出土縄文土器	155
第6章第137図	IV区1号トレンチ出土縄文石器	155
第6章第138図	IV区一括出土縄文土器	155
第6章第139図	IV区グリッド配置図	157
第6章第140図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)	158

第6章第141図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)	159
第6章第142図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)	160
第6章第143図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)	161
第6章第144図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(5)	162
第6章第145図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(6)	163
第6章第146図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(7)	164
第6章第147図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(8)	165
第6章第148図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(9)	166
第6章第149図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(10)	167
第6章第150図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(11)	168
第6章第151図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(12)	169
第6章第152図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(13)	170
第6章第153図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(14)	171
第6章第154図	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(15)	172
第6章第155図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)	187
第6章第156図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)	188
第6章第157図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(3)	189
第6章第158図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(4)	190
第6章第159図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(5)	191
第6章第160図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(6)	192
第6章第161図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(7)	193
第6章第162図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(8)	194
第6章第163図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(9)	195
第6章第164図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(10)	196
第6章第165図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(11)	197
第6章第166図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(12)	198
第6章第167図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(13)	199
第6章第168図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(14)	200
第6章第169図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(15)	201
第6章第170図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(16)	202
第6章第171図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(17)	203
第6章第172図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(18)	204
第6章第173図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(19)	205
第6章第174図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(20)	206
第6章第175図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(21)	207
第6章第176図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(22)	208
第6章第177図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(23)	209
第6章第178図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(24)	210
第6章第179図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(25)	211
第6章第180図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(26)	212
第6章第181図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(27)	213
第6章第182図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(28)	214
第6章第183図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(29)	215
第6章第184図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(30)	216
第6章第185図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(31)	217
第6章第186図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(32)	218
第6章第187図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(33)	219
第6章第188図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(34)	220
第6章第189図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(35)	221
第6章第190図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(36)	222
第6章第191図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(37)	223
第6章第192図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(38)	224
第6章第193図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(39)	225
第6章第194図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(40)	226
第6章第195図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(41)	227
第6章第196図	IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(42)	228
第7章第1図	III・IV・V区縄文面 住居位置図	234
第7章第2図	V区J 1(4)号住居	235
第7章第3図	V区J 1(4)号住居断面	236
第7章第4図	V区J 1(4)号住居出土縄文土器(1)	237
第7章第5図	V区J 1(4)号住居出土縄文土器(2)	238
第7章第6図	V区J 1(4)号住居出土縄文石器(1)	240
第7章第7図	V区J 1(4)号住居出土縄文石器(2)	241
第7章第8図	V区J 1号掘立柱建物	242
第7章第9図	V区J 1号集石	243

第7章第10図	V区J1号集石出土縄文土器・石器	244
第7章第11図	V区J2号集石	245
第7章第12図	V区J2号集石出土縄文石器	245
第7章第13図	V区J1号～J3号土坑位置図	246
第7章第14図	V区J1(96)号土坑・出土縄文土器	246
第7章第15図	V区J3(95)号土坑	246
第7章第16図	V区J4(126)号土坑	246
第7章第17図	V区J2(94)号土坑・出土縄文土器・石器	247
第7章第18図	V区遺構位置図	248
第7章第19図	V区J5(128)・J6(127)号土坑	248
第7章第20図	V区J5(128)号土坑出土縄文石器	248
第7章第21図	V区J7(129)号土坑	249
第7章第22図	V区J1号～J7号ピット、 J1号～J4号ピット断面	249
第7章第23図	V区J5号～J7号ピット断面	250
第7章第24図	V区J8号～J11号ピット	250
第7章第25図	V区2号・3号・6号・8号トレンチ 出土縄文土器	251
第7章第26図	V区2号・3号・4号・7号・8号トレンチ 出土縄文石器	253
第7章第27図	V区3号・4号・7号・8号トレンチ 出土縄文石器	254
第7章第28図	V区Y1(2)号住居出土縄文土器	255
第7章第29図	V区グリッド配置図	258
第7章第30図	V区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)	259
第7章第31図	V区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)	260
第7章第32図	V区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)	261
第7章第33図	V区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)	262
第7章第34図	V区縄文面 遺構外出土縄文土器(5)	263
第7章第35図	V区縄文面 遺構外出土縄文土器(6)	264
第7章第36図	V区縄文面 遺構外出土縄文土器(7)	265
第7章第37図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)	273
第7章第38図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)	274
第7章第39図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(3)	275
第7章第40図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(4)	276
第7章第41図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(5)	277
第7章第42図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(6)	278
第7章第43図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(7)	279
第7章第44図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(8)	280
第7章第45図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(9)	281
第7章第46図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(10)	282
第7章第47図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(11)	283
第7章第48図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(12)	284
第7章第49図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(13)	285
第7章第50図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(14)	286
第7章第51図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(15)	287
第7章第52図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(16)	288
第7章第53図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(17)	289
第7章第54図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(18)	290
第7章第55図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(19)	291
第7章第56図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(20)	292
第7章第57図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(21)	293
第7章第58図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(22)	294
第7章第59図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(23)	295
第7章第60図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(24)	296
第7章第61図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(25)	297
第7章第62図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(26)	298
第7章第63図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(27)	299
第7章第64図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(28)	300
第7章第65図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(29)	301
第7章第66図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(30)	302
第7章第67図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(31)	303
第7章第68図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(32)	304
第7章第69図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(33)	305
第7章第70図	V区縄文面 遺構外出土縄文石器(34)	306

第7章第71図	IV区Y1号住居出土石器 〔「白井北中道III遺跡(1)」より再掲載〕	311
第7章第72図	V区Y1号住居出土石器(1) 〔「白井北中道III遺跡(1)」より再掲載〕	311
第7章第73図	V区Y1号住居出土石器(2) 〔「白井北中道III遺跡(1)」より再掲載〕	312
第7章第74図	V区Y1号住居出土石器(3) 〔「白井北中道III遺跡(1)」より再掲載〕	313
第7章第75図	V区Y1号住居出土石器(4) 〔「白井北中道III遺跡(1)」より再掲載〕	314
第7章第76図	V区Y2号住居出土石器(1) 〔「白井北中道III遺跡(1)」より再掲載〕	314
第7章第77図	V区Y2号住居出土石器(2) 〔「白井北中道III遺跡(1)」より再掲載〕	315
第7章第78図	V区Y3号住居出土石器 〔「白井北中道III遺跡(1)」より再掲載〕	315
第7章第79図	V区Y5号住居出土石器 〔「白井北中道III遺跡(1)」より再掲載〕	315
第7章第80図	V区Y4号住居出土石器 〔「白井北中道III遺跡(1)」より再掲載〕	315
第8章第1図	周辺遺跡分布図(S=1:20,000)	321
第8章第2図	白井北中道III遺跡出土縄文獣面付き土器(1)	325
第8章第3図	白井北中道III遺跡出土縄文獣面付き土器(2)	326

表 目 次

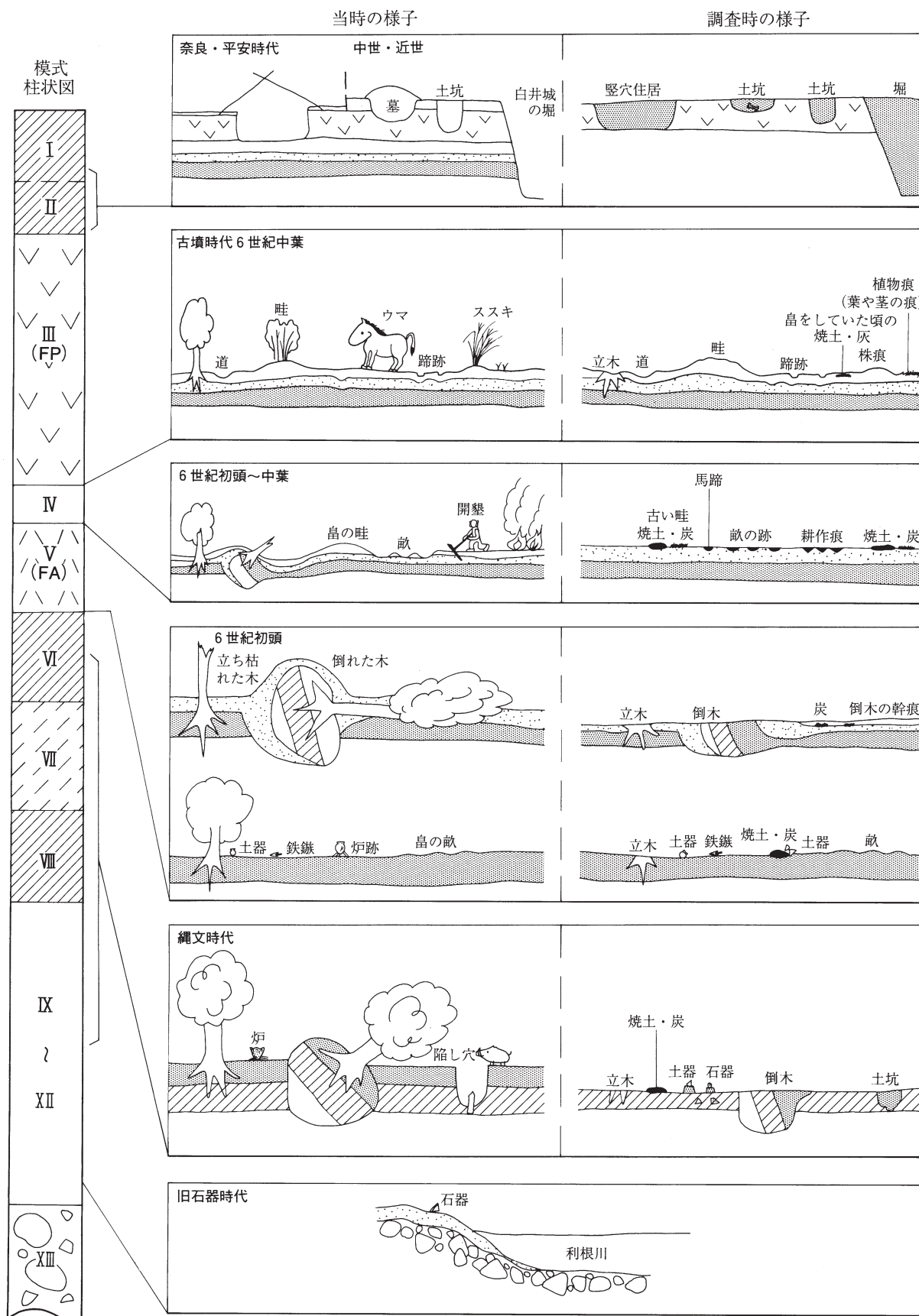
第1章表1	調査面模式表	4
第2章表1	周辺遺跡一覧表	14
第2章表2	鯉沢バイパス(その2)面積一覧表	16
第3章表1	I区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	19
第3章表2	I区縄文面 遺構外出土縄文石器観察表	20
第4章表1	II区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	23
第4章表2	II区縄文面 遺構外出土縄文石器観察表	24
第5章表1	III区J1号住居出土縄文土器観察表	27
第5章表2	III区J1号住居出土縄文土器観察表	31
第5章表3	III区J5(50)号土坑出土縄文土器観察表	33
第5章表4	III区縄文面 遺構外出土縄文土器まとめ	36
第5章表5	III区縄文面 遺構外出土縄文石器まとめ	36
第5章表6	III区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	41
第5章表7	III区4号トレンチ出土縄文土器観察表	52
第5章表8	III区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	59
第6章表1	IV区J1(6)号住居ピットまとめ	66
第6章表2	IV区J2(7)号住居ピットまとめ	66
第6章表3	IV区J1(6)・J2(7)号住居縄文土器観察表	76
第6章表4	IV区J1(6)号住居縄文土器観察表	87
第6章表5	IV区J2(7)号住居縄文土器観察表	87
第6章表6	IV区J3(4)号住居縄文土器観察表	95
第6章表7	IV区J3(4)号住居縄文土器観察表	103
第6章表8	IV区J4(2)号住居縄文土器観察表	104
第6章表9	IV区J1号配石出土縄文土器観察表	108
第6章表10	IV区J1号配石出土縄文土器観察表	108
第6章表11	IV区J1号集石出土縄文土器観察表	110
第6章表12	IV区J2号集石出土縄文土器観察表	111
第6章表13	IV区J1号埋壘出土縄文土器観察表	112
第6章表14	IV区J1号埋壘出土縄文土器観察表	112
第6章表15	IV区J1(2)号遺物集中出土縄文土器観察表	114
第6章表16	IV区J2(3)号遺物集中出土縄文土器観察表	115
第6章表17	IV区J3(4)号遺物集中出土縄文土器観察表	116
第6章表18	IV区J3(4)号遺物集中出土縄文土器観察表	117
第6章表19	IV区J4(5)号遺物集中出土縄文土器観察表	119
第6章表20	IV区J4(5)号遺物集中出土縄文土器観察表	119
第6章表21	IV区J5(6)号遺物集中出土縄文土器観察表	120
第6章表22	IV区J5(6)号遺物集中出土縄文土器観察表	120
第6章表23	IV区J6(7)号遺物集中出土縄文土器観察表	121
第6章表24	IV区J6(7)号遺物集中出土縄文土器観察表	121

第6章表25	IV区J 1 (212)・J 2 (213)号土坑出土 縄文土器観察表	123
第6章表26	IV区J 1 (212)号土坑出土縄文土器観察表	123
第6章表27	IV区J 3 (209)号土坑出土縄文土器観察表	124
第6章表28	IV区J 4 (221)号土坑出土縄文土器観察表	125
第6章表29	IV区J 4 (221)号土坑出土縄文土器観察表	125
第6章表30	IV区J 5 (210)号土坑出土縄文土器観察表	126
第6章表31	IV区J 5 (210)号土坑出土縄文土器観察表	126
第6章表32	IV区J 13(214)号土坑出土縄文土器観察表	128
第6章表33	IV区J 13(214)号土坑出土縄文土器観察表	128
第6章表34	IV区J 15(217)号土坑出土縄文土器観察表	129
第6章表35	IV区J 17(244)号土坑出土縄文土器観察表	131
第6章表36	IV区J 18(215)号土坑出土縄文土器観察表	132
第6章表37	IV区J 18(215)号土坑出土縄文土器観察表	132
第6章表38	IV区J 19(246)号土坑出土縄文土器観察表	133
第6章表39	IV区J 20(208)号土坑出土縄文土器観察表	133
第6章表40	IV区J 20(208)号土坑出土縄文土器観察表	134
第6章表41	IV区J 22(211)号土坑出土縄文土器観察表	136
第6章表42	IV区J 22(211)号土坑出土縄文土器観察表	137
第6章表43	IV区J 25(248)号土坑出土縄文土器観察表	138
第6章表44	IV区J 28(234)号土坑出土縄文土器観察表	139
第6章表45	IV区J 29(235)号土坑出土縄文土器観察表	139
第6章表46	IV区J 37(228)号土坑出土縄文土器観察表	142
第6章表47	IV区J 40(226)号土坑出土縄文土器観察表	143
第6章表48	IV区J 40(226)号土坑出土縄文土器観察表	143
第6章表49	IV区J 41(225)号土坑出土縄文土器観察表	144
第6章表50	IV区J 42(219)号土坑出土縄文土器観察表	145
第6章表51	IV区J 42(219)号土坑出土縄文土器観察表	145
第6章表52	IV区J 43(230)号土坑出土縄文土器観察表	146
第6章表53	IV区J 46(227)号土坑出土縄文土器観察表	146
第6章表54	IV区J 53(399)号土坑出土縄文土器観察表	148
第6章表55	IV区J 55(392)号土坑出土縄文土器観察表	149
第6章表56	IV区J 56(390)号土坑出土縄文土器観察表	149
第6章表57	IV区J 57(105)号土坑出土縄文土器観察表	150
第6章表58	IV区J 58(101)号土坑出土縄文土器観察表	150
第6章表59	IV区J 59(372)号土坑出土縄文土器観察表	151
第6章表60	IV区1号トレンチ出土縄文土器観察表	155
第6章表61	IV区1号トレンチ出土縄文土器観察表	155
第6章表62	IV区一括出土縄文土器観察表	155
第6章表63	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器まとめ	156
第6章表64	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器まとめ	156
第6章表65	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	173
第6章表66	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	228
第7章表1	V区J 1 (4)号住居出土縄文土器観察表	239
第7章表2	V区J 1 (4)号住居出土縄文土器観察表	241
第7章表3	V区J 1号掘立柱建物ピットまとめ	242
第7章表4	V区J 1号集石出土縄文土器観察表	243
第7章表5	V区J 1号集石出土縄文土器観察表	243
第7章表6	V区J 2号集石出土縄文土器観察表	245
第7章表7	V区J 1 (96)号土坑出土縄文土器観察表	246
第7章表8	V区J 2 (94)号土坑出土縄文土器観察表	247
第7章表9	V区J 2 (94)号土坑出土縄文土器観察表	247
第7章表10	V区J 5 (128)号土坑出土縄文土器観察表	248
第7章表11	V区土坑まとめ	249
第7章表12	V区ピットまとめ	250
第7章表13	V区2号トレンチ出土縄文土器観察表	252
第7章表14	V区3号トレンチ出土縄文土器観察表	252
第7章表15	V区6号トレンチ出土縄文土器観察表	252
第7章表16	V区8号トレンチ出土縄文土器観察表	252
第7章表17	V区トレンチ出土縄文土器観察表	254

第7章表18	V区Y 1 (2)号住居出土縄文土器観察表	256
第7章表19	V区縄文面 遺構外出土縄文土器まとめ	257
第7章表20	V区縄文面 遺構外出土縄文土器まとめ	257
第7章表21	V区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	266
第7章表22	V区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	307
第7章表23	IV区Y 1号住居出土土器観察表	316
第7章表24	V区Y 1号住居出土土器観察表	316
第7章表25	V区Y 2号住居出土土器観察表	316
第7章表26	V区Y 3号住居出土土器観察表	316
第7章表27	V区Y 4号住居出土土器観察表	316
第7章表28	V区Y 5号住居出土土器観察表	316
第8章表1	白井北中道III遺跡縄文遺構まとめ	318
第8章表2	白井北中道III遺跡縄文遺物まとめ	318
第8章表3	国道17号(鯉沢バイパス)縄文面検出 遺構まとめ	320
第8章表4	国道353号道路(鯉沢バイパス)縄文面検出 遺構まとめ	322
第8章表5	国道353号道路縄文面検出遺構まとめ	322
第8章表6	縄文獣面付き土器観察表	326

文中写真目次

第1章写真1	白井北中道III遺跡空撮	1
第1章写真2	開通した鯉沢バイパス	8
第2章写真1	白井北中道III遺跡空撮	9
第3章写真1	I区縄文面グリッド調査状況[南→]	17
第4章写真1	II区縄文面グリッド調査状況[南→]	21
第5章写真1	III区J 1号住居全景[東→]	25
第5章写真2	III区J 1号住居全景[南→]	27
第6章写真1	IV区J 1 (6)号・J 2 (7)号住居全景[東→]	61
第6章写真2	IV区J 1 (6)号・J 2 (7)号住居全景[東→]	64
第6章写真3	IV区J 2 (7)号住居全景[東→]	64
第6章写真4	IV区J 2 (7)号住居埋甕炉[南→]	66
第6章写真5	IV区J 3 (4)号住居空撮[上が南]	88
第6章写真6	IV区J 3 (4)号住居遺物出土状況[北→]	102
第6章写真7	IV区J 4 (2)号住居全景[西→]	104
第6章写真8	IV区J 4 (2)号住居全景[東→]	104
第6章写真9	IV区J 4 (2)号住居炉全景[東→]	104
第6章写真10	IV区J 1号配石全景[南→]	107
第6章写真11	IV区J 1号集石遺物出土状況[西→]	109
第6章写真12	IV区J 1号集石遺物出土状況(近接)[西→]	109
第6章写真13	IV区J 2号集石全景[南→]	111
第6章写真14	IV区J 1号埋甕遺物出土状況[南→]	112
第6章写真15	IV区J 1 (2)号遺物集中全景[南→]	113
第6章写真16	IV区J 2 (3)号遺物集中全景[西→]	115
第6章写真17	IV区J 3 (4)号遺物集中遺物出土状況[南→]	116
第6章写真18	IV区J 4 (5)号遺物集中遺物出土状況[東→]	118
第6章写真19	IV区J 4 (5)号遺物集中P 4出土状況[北→]	118
第6章写真20	IV区J 5 (6)号遺物集中遺物出土状況[南→]	120
第6章写真21	IV区J 6 (7)号遺物集中遺物出土状況[南→]	121
第6章写真22	IV区J 1号焼土出土状況[南→]	152
第7章写真1	V区J 1 (4)号住居全景[南→]	233
第7章写真2	V区J 1 (4)号住居全景[南→]	235
第7章写真3	V区J 1号掘立柱建物全景[南→]	242
第7章写真4	V区J 1号集石全景[西→]	243
第7章写真5	V区J 1号集石全景[東→]	243
第7章写真6	V区J 2号集石全景[南→]	245
第7章写真7	V区J 2号集石近接[南→]	245
第7章写真8	V区J 2号集石全景[東→]	245
第8章写真1	白井北中道III遺跡空撮	317



調査内容の模式図 (『白井遺跡群—古墳時代編—』群馬県埋蔵文化財調査事業団、1997)

第1章 調査の経緯と調査の方法

左奥に見えるのが子持山（標高1,296m）。手前から奥にかけて蛇行して流れているのが、利根川。河岸段丘がよく発達している。白井北中道Ⅲ遺跡は、5つある面の内、約14,000年前～13,000年前頃に形成された白井面に立地している。中央部の白線が、白井北中道Ⅲ遺跡。



第1章写真1 白井北中道Ⅲ遺跡空撮（南から）

第1節 調査の経緯

一般国道17号は、東京を起点として関東と北陸を結ぶ大動脈である。この国道は、渋川市及び平成18(2006)年2月に渋川市と合併した旧子持村の市街地を通過し、旧子持村鯉沢で長野・草津方面に向かう国道353号と接続することなどから、交通渋滞が恒常的なものとなっていた。この交通渋滞解消のため、渋川市東町で現在の国道17号と分岐し、市街地を迂回しながら旧子持村上白井で国道17号と再び合流する4車線、約5.5kmの一般国道17号(鯉沢バイパス)道路改築工事が計画された。

本事業は、事業地を大きく2分割する計画で進められ、渋川市東町から旧子持村白井の、同事業と並行して進められた国道353号バイパスの接続部分までが、平成8(1996)年に供用を開始された。その後、旧子持村白井から同村上白井の終点までの間については、国土交通省高崎河川国道事務所(当時、国土交通省高崎工事事務所)から、平成13(2001)年10月に一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査(その2)として群馬県教育委員会文化財保護課に事業照会があった。同課は、6世紀代に2度噴火した榛名山の火山灰・軽石に埋もれた遺跡が存在する旨を回答した。その後、事業者である国土交通省高崎工事事務所と協議を進め、発掘

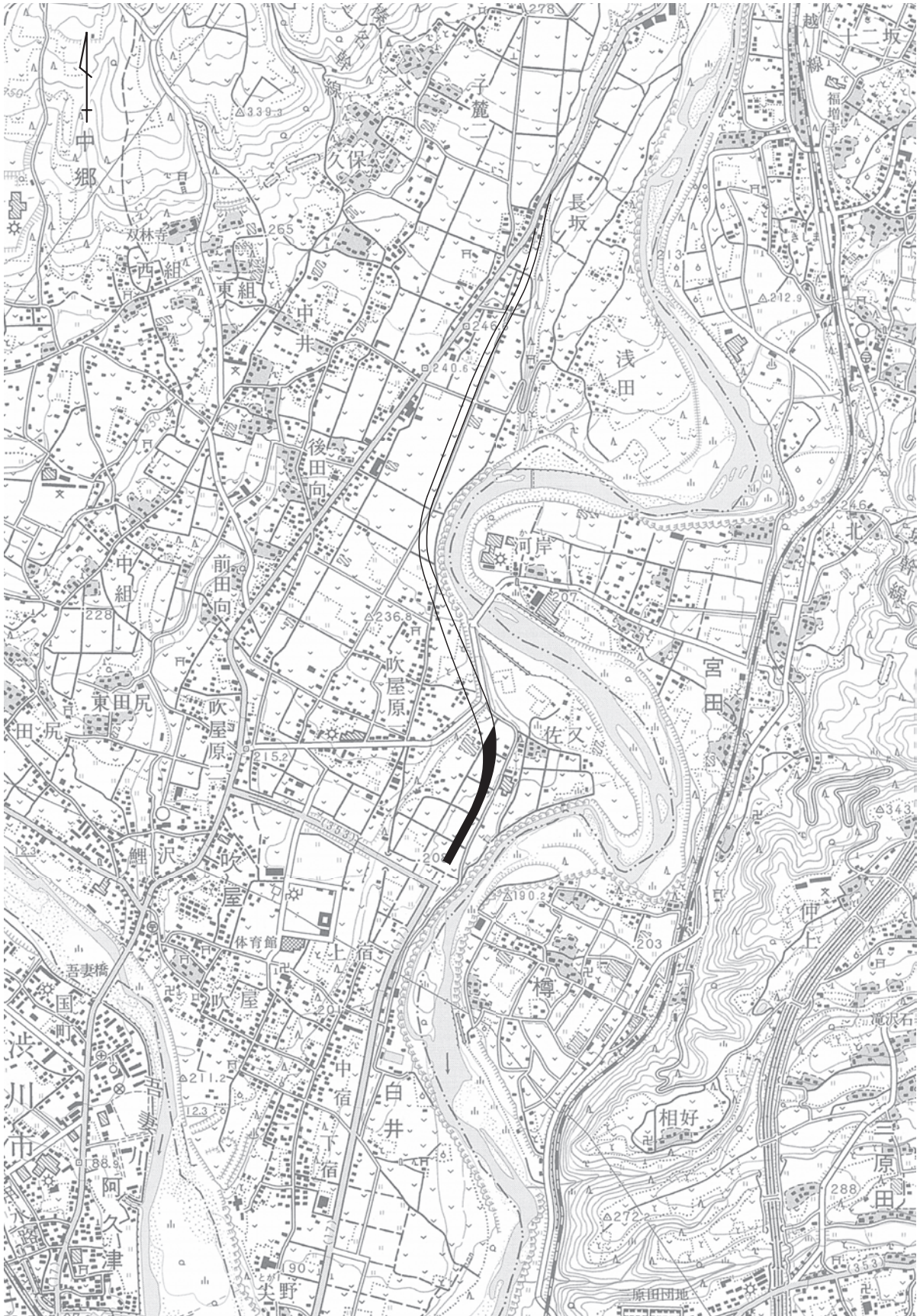
調査を財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施することになった。

平成14(2002)年8月30日付で、国土交通省関東地方整備局長並びに群馬県教育委員会教育長、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長は、一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査(その2)に関する協定書を締結した。また、国土交通省関東地方整備局長と財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長は、平成14(2002)年度の埋蔵文化財発掘調査に係る委託契約を締結し、発掘調査を進めることとなった。8遺跡、約115,000㎡に及ぶ発掘調査は平成17(2005)年7月まで実施し、整理事業は平成17(2005)年4月から開始した。

白井北中道Ⅲ遺跡の発掘調査は、平成15(2003)年1月～平成16(2004)年3月・平成17(2005)年2月～6月にかけて、途中中断をはさんで4年度にわたって実施された。この調査期間には、白井十二遺跡の調査も含まれている。整理業務は、平成19(2007)年4月～平成21(2009)年3月にかけて実施した。弥生時代以降編は、すでに、平成21年2月に刊行済みである。本報告書は、縄文時代以降編として報告し、本書で報告書の完結となる。なお、鯉沢バイパスは平成20(2008)年7月に全面開通した。



第1章第1図 白井北中道Ⅲ遺跡位置図 (S=1:20万)



第1章第2図 白井北中道Ⅲ遺跡位置図 (S = 1 : 20,000)

第2節 調査の方法

調査区は、村道を境として、南から北にかけてⅠ区～Ⅴ区まで5箇所に分けて調査を実施した。なお、当初の調査時は、Ⅵ区を設けて調査を実施していたが、平成15(2003)年の調査途中で字名が異なることが判明したため、このⅥ区は遺跡名を「白井十二遺跡」として分けた。なお、「白井十二遺跡」の報告書は、すでに平成20年3月に刊行済みである。

調査区域には、国家座標に基づいて4m間隔のグリッドを設定した(第1章第4図参照)。南北をアルファベット、東西をアラビア数字で呼称し、南東隅のグリッド杭の名称をグリッドの名称とした。白井北中道Ⅲ遺跡の原点Aa-0は、日本平面直角座標系第Ⅸ系のX=57,400m、Y=-72,300m(日本測地系対応)である。

本遺跡周辺では、古墳時代における榛名山の二度の噴火に伴う6世紀初頭の降下火山灰であるHr-FA(Haruna Futatsudake Ash)[以下、FA]と6世紀中頃の降下軽石であるHr-FP(Haruna Futatsudake Pumice)[以下、FP]の層が堆積しており、調査はこれらの鍵層のそれぞれ上面・下面あわせて4面、さらに縄文時代の遺物包含層及び旧石器時代の試掘調査を行うこととした。

当初、縄文時代の遺物包含層の試掘調査は全体面積の約25%、旧石器時代の試掘調査は約12.5%を対

象に行った。その結果、Ⅳ区において縄文時代前期の竪穴住居跡等が検出されたため、Ⅳ区においては対象を拡大し、縄文時代の調査を行った。

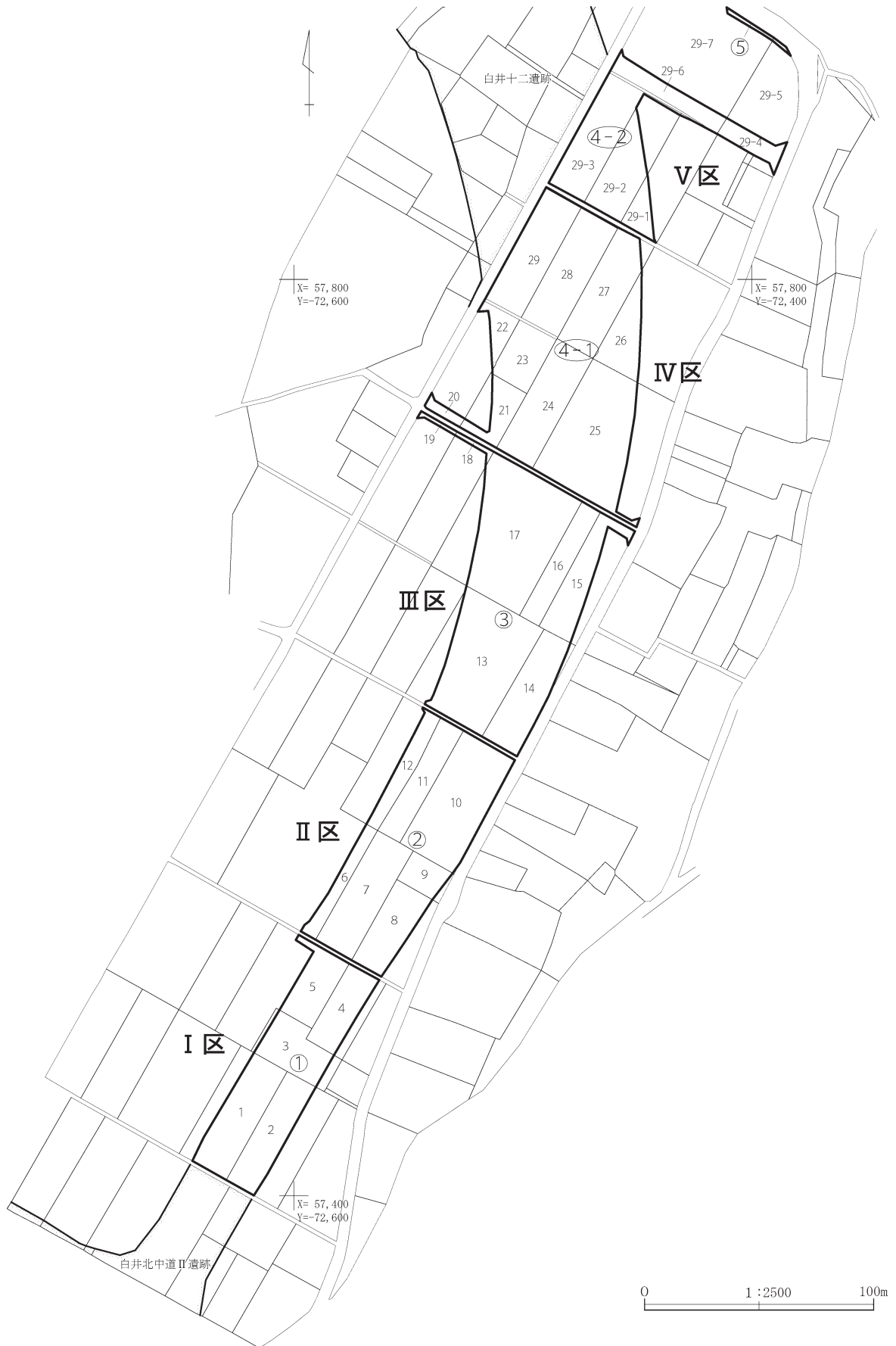
調査にあたっては、表上層とHr-FP層の除去については大型掘削重機(バックホー)を用い、その他は基本的に手作業により遺構・遺物の検出を行った。

1面のFP上では、古代の竪穴住居・主に中世～近代の掘立柱建物・伏窯・溝・土坑の調査を行った。また、FP降下後にFPを掘りこんで築造された古墳時代終末期の古墳1基の調査も行った。

2面のFP下では、古墳時代6世紀中葉の地表面が保存されており、主に放牧地を中心として、道・畦状遺構・立木痕・倒木痕の調査をした。6世紀初頭に降下したFAの上と下を3面(FA上)と4面(FA下)に分けて調査を実施した。平成20年2月に刊行済みの『白井北中道Ⅲ遺跡(1):弥生時代以降編』では、この3面と4面を合わせて3面として報告した。5面では、弥生時代終末期～古墳時代初頭の住居を検出した。6面では、縄文時代竪穴住居・掘立柱建物・配石遺構・集石遺構・遺物集中遺構・土坑・ピット等を検出し、包含層を調査した。旧石器時代の遺構及び遺物は、検出されなかった。本報告書では、この6面の縄文時代の遺構・遺物を報告する。

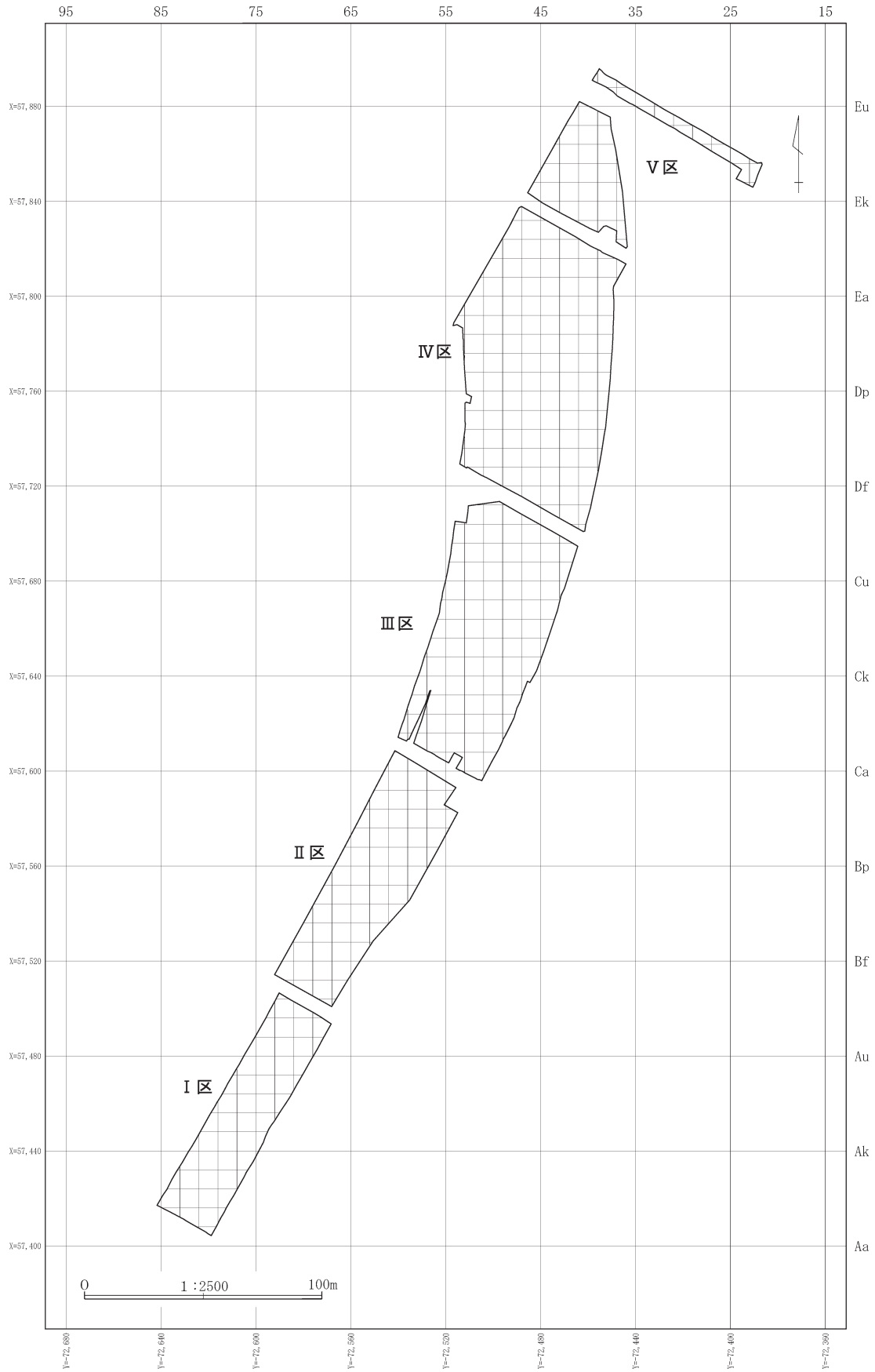
調査面模式表

調査面の呼称		主な内容	備考
基本土層	調査面		
Ⅰ(表土)	←1面 ←2面 ←3面 ←4面 ←5面	1面:古墳以降 古墳(7世紀)・竪穴住居(10世紀)・掘立柱建物・土坑・溝	Hr-FP層上面の調査
Ⅱ(Hr-FP)		2面:古墳時代(6世紀中葉) 道・畦状遺構・倒木痕・立木痕・弥生～古墳時代住居の凹み	Hr-FP層下面の調査
Ⅲ		3面:古墳時代。6世紀初頭のFA降下後から 6世紀中頃のFP降下までの30年に堆積した層	Hr-FA層上下面の調査
Ⅳ(Hr-FA)		4面:古墳時代(6世紀初頭) 立木痕	*調査時は、FA上面を3面・FA下面を4面として調査したが、報告書ではFA上下面を3面として報告する。
Ⅴ		5面:弥生時代～古墳時代前期 弥生時代終末期～古墳時代初頭の住居	
Ⅵ～Ⅸ		6面:縄文時代 縄文時代前期竪穴住居・掘立柱建物・土坑	



第1章第3図 白井北中道III遺跡調査区位置図

第1章 調査の経緯と調査の方法



第1章第4図 白井北中道III遺跡グリッド配置図

調査日誌抄録

*実際の発掘調査は、白井十二遺跡と同時並行して行われたが、『白井十二遺跡』の報告書はすでに平成20年3月に刊行されているため、当該遺跡部分の日誌は割愛した。また、白井北中道Ⅲ遺跡は、『白井北中道Ⅲ遺跡(1)：弥生時代以降編』をすでに平成21年2月に刊行しているため、縄文時代の調査に係わる部分に限った。

平成14年度

◎第1期調査

・平成15(2003)年

- 1月6日(月)：唐澤友之・松原孝志の2名着任。
- 1月9日(水)：試掘トレンチ3箇所確認。
- 1月20日(月)：作業員発掘作業開始。
- 2月3日(月)：杉山秀宏着任。調査体制は、杉山秀宏・唐澤友之・松原孝志の3名となる。
- 3月5日(水)：Ⅱ区縄文包含層調査開始。
- 3月24日(月)：Ⅱ区旧石器試掘。
- 3月26日(水)：ⅢB区縄文包含層用グリッド設定。
- 3月27日(木)：Ⅱ区埋め戻し。
- 3月31日(月)：杉山秀宏・唐澤友之・松原孝志の3名離任。

平成15年度

◎第2期調査

・平成15(2003)年

- 4月1日(火)：榑崎修一郎・齋藤 聡・井原陽一・井上昌美の4名が着任。なお、井原と井上は、年度内に幾つかの別の遺跡に異動したため、通年担当者は、榑崎と齋藤のみ。
- 4月4日(金)：前任者の杉山秀宏と現場引き継ぎ。
- 5月7日(水)：Ⅱ区・ⅢB区縄文包含層のグリッド調査。
- 6月2日(月)：Ⅰ区縄文包含層のグリッド調査。
- 6月10日(火)：Ⅰ・ⅢB区縄文包含層の調査終了。
- 6月11日(水)：Ⅰ・ⅢB区埋め戻し開始。
- 7月3日(木)：Ⅰ区縄文包含層のグリッド調査。
- 7月11日(金)：Ⅰ区縄文包含層のグリッド調査終了。
- 7月14日(月)：Ⅰ区埋め戻し開始。
- 8月11日(月)：ⅢA区縄文包含層のグリッド調査。

- 8月20日(水)：ⅢA区縄文包含層のグリッド調査。午前中、国土交通省関東地方整備局高崎河川国道事務所主催で当事業団共催の「日本のポンペイ子持村の歴史を知ろう」を遺跡にて実施。遺跡・遺物の見学を行い、発掘体験を行う。親子10名参加。
- 8月22日(金)：よみうり文化センター横浜主催の「赤城山麓の遺跡をめぐる」会員28名が遺跡見学。
- 9月8日(月)：ⅢA区縄文包含層の調査終了。
- 9月9日(火)：ⅢA区埋め戻し開始。Ⅳ区縄文包含層のグリッド調査開始。
- 9月10日(水)：ⅤA区縄文包含層の調査。同1号集石の調査。
- 9月12日(金)：ⅤA区2号集石の調査。
- 11月4日(火)：吉田和夫着任。
- 11月12日(水)：財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団評議員が遺跡視察。
- 11月19日(水)～同月21日(金)：渋川市立金島中学校2年生徒2名が職場体験で来跡。
- 11月28日(金)：吉田和夫離任。

・平成16(2004)年

- 1月7日(水)：Ⅳ区東(ⅣB区)縄文包含層調査。
- 1月16日(金)：Ⅳ区東(ⅣB区)J1号埋甕調査。
- 1月19日(月)：Ⅳ区東(ⅣB区)J1号集石調査。
- 1月21日(水)：Ⅳ区東(ⅣB区)J1号配石、J2号・J4号遺物集中調査。
- 1月22日(木)：Ⅳ区東(ⅣB区)J3号・J4号遺物集中調査。
- 1月27日(火)：Ⅳ区東(ⅣB区)2号住居調査。
- 2月4日(水)：Ⅳ区東(ⅣB区)J4・J6号住居、J210号土坑調査。
- 2月9日(月)：Ⅳ区東(ⅣB区)縄文住居及びⅤ区の弥生住居の空撮・空測実施。
- 2月25日(水)：Ⅳ区東(ⅣB区)・Ⅴ区上(ⅤB区)縄文包含層調査。
- 3月6日(土)：現地説明会実施。前夜の雪にもかかわらず、175名の来跡者。
- 3月11日(木)：Ⅳ区東側(ⅣB区)縄文住居の空撮・空測実施。
- 3月15日(月)：Ⅴ区上(ⅤB区)埋め戻し開始。
- 3月17日(水)：Ⅴ区上(ⅤB区)埋め戻し終了。

第1章 調査の経緯と調査の方法

- 3月23日(火)：Ⅳ区東(ⅣB区)1号住居調査。
3月24日(水)：遺構の調査終了。
3月31日(水)：発掘区埋め戻し終了。榑崎修一郎・齋藤 聡・井原陽一・井上昌美の4名離任。

平成16年度

平成16(2004)年4月～平成17(2005)年1月の調査は無い。

◎第3期調査

・平成17(2005)年

- 2月8日(火)：齊藤利昭・水田福夫の2名着任。Ⅳ区西側(ⅣC区)表土掘削開始 [2月14日まで]。
3月7日(月)：Ⅳ区西側(ⅣC区)FP軽石掘削作業。
3月31日(水)：齊藤利昭・水田福夫の2名離任。

平成17年度

◎第4期調査

・平成17(2005)年

- 4月1日(金)：女屋和志雄・齋藤 聡の2名着任。
4月11日(月)：Ⅲ区東側(ⅢD区)表土掘削開始 [4月13日まで]。
4月19日(火)：Ⅲ区東側(ⅢD区)FP軽石掘削開始

[4月21日まで]。

- 5月6日(金)：Ⅳ区西側(ⅣC区)Ⅵ層遺物上げ。
5月10日(火)：Ⅳ区西側(ⅣC区)重機によるⅥ層除去。
5月12日(水)：Ⅳ区西側(ⅣC区)Ⅶ層上面調査。
5月16日(月)：Ⅲ区東側(ⅢD区)Ⅵ層トレンチ調査。Ⅳ区西側(ⅣC区)Ⅶ層調査。
5月18日(水)：Ⅲ区東側(ⅢD区)重機によるⅥ層除去開始 [5月20日まで]。
5月19日(木)：Ⅲ区東側(ⅢD区)Ⅶ層上面調査。
5月20日(金)：Ⅳ区西側(ⅣC区)Ⅷ層上面調査。
5月26日(木)：Ⅳ区西側(ⅣC区)5面(縄文)の空撮・空測実施。
5月30日(月)：Ⅲ区東側(ⅢD区)・Ⅳ区西側(ⅣC区)トレンチ調査。
6月3日(金)：Ⅲ区東側(ⅢD区)・Ⅳ区西側(ⅣC区)調査終了。
6月7日(火)：Ⅳ区西側(ⅣC区)埋め戻し開始。
6月10日(金)：Ⅳ区西側(ⅣC区)埋め戻し終了。
6月13日(月)：Ⅲ区東側(ⅢD区)埋め戻し開始。
6月17日(金)：Ⅲ区東側(ⅢD区)埋め戻し終了。
7月29日(金)：女屋和志雄・齋藤 聡の2名離任。



第1章写真2 開通した鯉沢バイパス

第2章 地理的・歴史的環境

奥に見えるのが榛名山二ツ岳（標高1,344m）。古墳時代の6世紀初頭及び中頃に、現在の二ツ岳付近で2度にわたる大規模な噴火を起こした。白井北中道Ⅲ遺跡では、6世紀初頭の降下火山灰であるFA(Hr-FA)と6世紀中頃の降下軽石であるFP(Hr-FP)が認められる。特に、FPは、1m以上もの厚さで堆積している。

そのため、6世紀中頃の生活面がそのまま保存されていた。中央部の白線が、白井北中道Ⅲ遺跡。



第2章写真1 白井北中道Ⅲ遺跡空撮（北東から）

第1節 遺跡の位置と周辺の地形

白井北中道Ⅲ遺跡は、群馬県の中央部やや北寄りに位置する渋川市白井〔調査時は子持村白井：平成18(2006)年2月市町村合併〕に所在している。渋川市北部の旧子持村は新潟へ向かう国道17号と長野方面に向かう国道353号の分岐点にあたり、交通の要衝となっている。

旧子持村は東に赤城山、西に榛名山、北に子持山・小野子山と三方を山に囲まれ、関東平野の北端部に位置している。また北から利根川、北西から吾妻川が流下し、村の南端部でそれらが合流する。

山地から平野部への変換点にあたる村の南部では、利根川と吾妻川により形成された河岸段丘が発達している。これらの段丘面は形成年代の古い順に、雙林寺面・長坂面・西伊熊面・白井面・浅田面と呼ばれており、白井北中道Ⅲ遺跡は白井面に立地している。

白井北中道Ⅲ遺跡付近は標高207～210mで、北西

に隣接する上位段丘の長坂面との比高はおよそ20mである。白井北中道Ⅲ遺跡付近の白井面は概ね平坦であるが、北から南へ向かって徐々に標高が低くなっている。また、上位段丘に近い西から下位段丘に近い東に向かって緩やかに下っている。

白井面の形成された年代は、段丘礫層上に浅間山起源の浅間板鼻黄色軽石〔As-YP〕が部分的に認められることから、およそ1.4～1.3万年前頃と考えられる。

この地域は、古墳時代に2度の大きな火山災害に見舞われたことが特筆される。いずれも榛名山の噴火によるもので、6世紀初頭の噴火に伴う降下火山灰は、FA (Futatsudake Ash) [榛名ニツ岳渋川テフラ (Hr-FA)] と呼ばれ、6世紀中葉の噴火に伴う降下軽石は、FP (Futatsudake Pumice) [榛名ニツ岳伊香保テフラ (Hr-FP)] と呼ばれている。FPは、東北地方南部まで分布が確認されている。

FAは主に火山灰と火砕流堆積物で、白井北中道Ⅲ遺跡付近では最大でも厚さ10cm程度であるが、南に行くほど厚くなり、約2.5km南の白井二位屋遺跡では約40cm堆積している。FPは主に軽石で、白井北中道Ⅲ遺跡付近では厚さ100～150cmが残存している。旧子持村はFPの降下した範囲の中心軸上に位置しており、黒井峯遺跡では最大200cmに及ぶ堆積が認められる。なお、白井北中道Ⅲ遺跡は噴火口から東北東へ約10kmの位置に所在している。

この地域の主な産業はこんにゃくの生産と軽量ブロックの製造である。これらはFP層の存在によるものである。なぜなら、FP軽石は、水はけが良いためにこんにゃくの生産に適し、火山性軽石であるFP軽石内には気泡が多く存在するために軽量ブロックの製造に適しているからである。

白井北中道Ⅲ遺跡の西およそ1.5kmには、この軽石層に埋もれた古墳時代のムラ、黒井峯遺跡(国指定史跡)がある。ちなみに、この黒井峯遺跡は、軽量ブロックの原料としてFP軽石を採取中に発見されている。



第2章第1図 段丘面分類図(「子持村誌・上巻」を改変)

第2節 周辺の遺跡

白井北中道Ⅲ遺跡が所在する旧子持村とその周辺では、数多くの遺跡が調査されている。

(1) 旧石器時代

この地域での旧石器時代の遺跡の存在は、長い間知られていなかった。実際、1987(昭和62)年に出版された『子持村誌』上巻では、1974(昭和49)年に子持山麓での表面採集石器と1984(昭和59)年の押手遺跡出土細石核石器の2点が紹介されているのみである。その後、見立溜井遺跡・諏訪西遺跡・中畦遺跡・房谷戸遺跡等の発見により事例が追加されている。また、吹屋犬子塚遺跡で浅間白糸降下軽石 [As-Sr] 下及び浅間板鼻褐色軽石 [As-BP] 下石器群が、吹屋中原遺跡で浅間板鼻黄色軽石 [As-YP] 下石器群が確認されている。

国道17号鯉沢バイパス関連でも、吹屋遺跡で浅間板鼻黄色軽石 [As-YP] 下、中郷遺跡で浅間板鼻褐色軽石 [As-BP] 下、上白井西伊熊遺跡で浅間白糸降下軽石 [As-Sr] から浅間板鼻褐色軽石 [As-BP] にかけての石器群が検出されている。特に、上白井西伊熊遺跡では、瀬戸内技法を使用した石器約6,000点が検出されており、注目されている。

ちなみに、それぞれのテフラの年代は、浅間板鼻褐色軽石 [As-BP] が約2～1.8万年前、浅間白糸降下軽石 [As-Sr] が約1.6万年前、浅間板鼻黄色軽石 [As-YP] が約1.4～1.3万年前である(小菅・大工原・麻生、2004)。

白井北中道Ⅲ遺跡においては、旧石器時代の遺物及び遺構は検出されなかった。

(2) 縄文時代

① 縄文草創期

縄文草創期の遺跡は、旧石器同様に長い間知られていなかった。実際、1987(昭和62)年に出版された『子持村誌・上巻』には、縄文草創期の遺跡は紹介されていない。縄文草創期の遺跡として、白井北中道遺跡、吹屋伊勢森遺跡、中郷田尻遺跡が知られている。本白井北中道Ⅲ遺跡では、明確な縄文草創期の遺物及び遺構は検出されていないが、調査区北部

のV区と道をはさんで位置する白井十二遺跡では、草創期の遺物として、約4,650点の土器片及び黒曜石製石鏃が検出されている。

② 縄文前期

縄文前期の遺跡は、この地域から多数調査がなされている。吹屋犬子塚遺跡、吹屋中原遺跡、吹屋伊勢森遺跡、吹屋遺跡、中郷遺跡、上白井西伊熊遺跡、黒井峯遺跡、押手遺跡等が知られている。また、利根川対岸には、見立溜井遺跡、諏訪西遺跡、中畦遺跡、三原田城遺跡等で集落が検出されている。

白井北中道Ⅲ遺跡でも住居が6軒検出されている。また、住居の他、掘立柱建物1棟・配石遺構1基・集石遺構4基・遺物集中6箇所・土坑76基・ピット11基・焼土1基・倒木1箇所の遺構も検出されている。遺物は、土器では諸磯b式を中心として1,232点を掲載し、石器は石鏃と打製石斧を中心として866点を掲載した。

③ 縄文中期

縄文中期の遺跡は、中郷遺跡で集落が検出されており、利根川の対岸には三原田遺跡や房谷戸遺跡等がある。

(3) 弥生時代

弥生時代の遺跡は、長い間、知られていなかった。実際、1987(昭和62)年に出版された『子持村誌・上巻』によると、弥生時代の遺構は無く、黒井峯遺跡、押手遺跡、白井の大宮姫神社前等で、弥生後期の櫛描文土器の遺物の出土があるのみである。利根川対岸にある渋川市[旧赤城村]樽遺跡では、1938(昭和13)年に杉原荘介による発掘で「樽式土器」として命名され、群馬県における弥生時代後期の指標土器となった。

白井北中道Ⅲ遺跡からも、樽式土器を伴う弥生時代終末期～古墳時代初頭に属する竪穴式住居6軒が検出されている。これだけまとまった数の検出は、旧子持村地区では初めてのことである。

(4) 古墳時代

本地域は、古墳時代の遺構が多数検出されている。

特に、6世紀初頭のFA及び6世紀中頃のFPに埋もれた遺構が特筆される。

① FA 下遺構

6世紀初頭の榛名山の噴火によるFAの遺構としては、FA下水田が有名である。このFA下水田が検出された遺跡として、吹屋犬子塚遺跡、中郷恵久保遺跡、吹屋三角遺跡、中郷田尻遺跡、吹屋糍屋遺跡、北牧大境遺跡、吹屋瓜田・鯉沢瓜田遺跡、北牧相ノ田遺跡、畑中遺跡、坂之下遺跡がある。

② FP 下遺構

6世紀中頃の榛名山の噴火によるFP下の遺構としては、集落・古墳・畠・水田・放牧地がある。

・集落

FP下集落を検出した遺跡として、黒井峯遺跡、西組遺跡、押手遺跡、田尻遺跡、八幡神社遺跡、吹屋恵久保遺跡がある。

・FP下畠

FP下畠を検出した遺跡として、吹屋伊勢森遺跡、白井北中道Ⅱ遺跡、吹屋中原遺跡、中郷恵久保遺跡、西組遺跡、押手遺跡、田尻遺跡、八幡神社遺跡、中組遺跡、池田沢東遺跡、猫持久保遺跡、宮田諏訪原遺跡、吹屋恵久保遺跡がある。

・FP下水田

FP下水田を検出した遺跡として、中郷恵久保遺跡、吹屋三角遺跡、中郷田尻遺跡、吹屋糍屋遺跡、北牧大境遺跡、吹屋瓜田・鯉沢瓜田遺跡、西組遺跡、北牧相ノ田遺跡、畑中遺跡、後田遺跡、宮田畦畔遺跡がある。

・FP下放牧地

このFP下放牧地は、多くの遺跡から検出されている。白井十二遺跡、吹屋伊勢森遺跡、吹屋遺跡、中郷遺跡、上白井西伊熊遺跡、白井北中道Ⅱ遺跡、白井北中道遺跡、白井丸岩遺跡、白井南中道遺跡、白井二位屋遺跡、白井大宮遺跡、吹屋犬子塚遺跡、吹屋中原遺跡、源光寺裏遺跡、白井佐又遺跡がある。白井北中道Ⅲ遺跡でも、道・畦・立木・倒木等が検出されている。

・FP下古墳

FP下の古墳として、中ノ峯古墳、浅田遺跡、伊熊・有瀬古墳群、丸子山遺跡等が調査されている。

③ FP上遺構

昭和10(1935)年に、県下全域にわたって古墳の分布調査が実施され、昭和13(1938)年に出版された『上毛古墳総覧』によると、旧子持村では、合計47基の古墳が記載されている。

白井北中道Ⅲ遺跡では、この『上毛古墳総覧』に記載されていない、7世紀終末期の円墳が1基検出されている。本古墳は、FPを掘りこんで構築しているが、昭和10(1935)年の調査時にはすでに墳丘部が削平されていたために、認識されなかったものと推定される。なお、『上毛古墳総覧』に記載された大塚(稲荷塚)[長尾村14号]・笄塚[長尾村15号]は、古墳でない可能性もある。

(5) 古代

白井南中道遺跡・白井二位屋遺跡で、奈良・平安時代の集落が、北牧大境遺跡、中郷田尻遺跡で、平安時代の集落が検出されている。また、平安時代の製鉄遺跡である金井製鉄遺跡は保存されている。

白井北中道Ⅲ遺跡では、須恵器を伴う平安時代の竪穴住居が1軒検出されている。

(6) 中・近世

中世の城跡として、仁位屋城、白井上城遺跡がある。また、白井城跡は、中近世の城跡である。

参考文献

- 石井克己・梅沢重昭 1994 『黒井峯遺跡』、読売新聞社、p.230
大木紳一郎 2004 「第5章. 群馬弥生研究の歩み」、『群馬の遺跡 3. 弥生時代』(財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団編)、上毛新聞社、p.151-171。
小菅将夫・大工原豊・麻生敏隆 2004 『群馬の旧石器』、みやま文庫、p.175
関口博幸 2005 「第5章. ナウマンゾウのプレリュード」、『群馬の遺跡 1. 旧石器時代』(財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団編)、上毛新聞社、p.79-101



第2章第2図 周辺遺跡位置図 (S = 1 : 25,000)

第2章 地理的・歴史的環境

第2章表1 周辺遺跡一覧表

No.	遺跡名	概要	文献	No.	遺跡名	概要	文献
	白井北中道Ⅲ遺跡	縄文前期住居、弥生～古墳集落、FP下道・FP下放牧地、7C古墳、平安住居	本書	30	北牧相ノ田遺跡	FA下水田、FP下水田	47
				31	畑中遺跡	FA下水田、FP下水田	24
1	上白井西伊熊遺跡	旧石器、縄文前期集落、FP下放牧地	35・36	32	後田遺跡	FP下水田	50
2	中郷遺跡	縄文前・中期集落、FP下放牧地	35・36	33	源空寺裏遺跡	FP下放牧地	23
3	吹屋遺跡	縄文前期集落、FP下放牧地	20	34	浅田遺跡	FP下古墳	29・30
4	吹屋伊勢森遺跡	縄文草創期遺物・前期集落、FP下畠	14	35	白郷井中学校校庭遺跡	古墳時代集落	38
5	白井十二遺跡	縄文草創期・前期、FP下放牧地	19	36	猫持久保遺跡	FP下道・畠	53
6	白井北中道Ⅱ遺跡	FP下畠・放牧地	6	37	宮田諏訪原遺跡	FA下祭祀、FP下道・畠	53
7	白井北中道遺跡	縄文草創期遺物、FP下放牧地	9・10	38	宮田畦畔遺跡	FP下水田	40
8	白井丸岩遺跡	FP下放牧地	9・10	39	見立溜井遺跡	旧石器、縄文前・中期集落	54
9	白井南中道遺跡	FP下放牧地、奈良平安集落	8・10	40	諏訪西遺跡	旧石器、縄文前・中期集落	4
10	白井二位屋遺跡	FP下放牧地、奈良平安集落	5・11	41	中畦遺跡	旧石器、縄文前期集落	4
11	白井大宮遺跡	FP下放牧地	7	42	三原田城遺跡	縄文前期集落	3
12	渡屋遺跡	古墳前期集落	50	43	房谷戸遺跡	旧石器、縄文中期集落	2
13	吹屋犬子塚遺跡	縄文前期集落、FA下水田、FP下放牧地	6	44	三原田遺跡	縄文前期～後期集落	39
14	吹屋中原遺跡	縄文前・中期集落、FP下畠・放牧地	6	45	樽遺跡	弥生時代集落	55
15	中郷恵久保遺跡	4～5C集落、FA・FP下水田・畠	13	46	坂之下遺跡	FA下水田	51
16	吹屋三角遺跡	FA下水田、FP下水田	16	47	中ノ峯古墳	FP下古墳	41
17	中郷田尻遺跡	縄文草創期遺物、5C集落、FA・FP下水田	18	48	白井古墳群	FP上古墳	44
18	吹屋靴屋遺跡	5C集落、FA・FP下水田	15	49	伊熊・有瀬古墳群	FP下古墳	44
19	北牧大境遺跡	FA・FP下水田、平安集落	12	50	河岸古墳群	FP上古墳	37
20	吹屋瓜田・鯉沢瓜田遺跡	FA下水田、FP下水田	17・46	51	坂下町古墳群	FA下古墳	57
21	黒井峯遺跡	縄文集落、FP下集落	45	52	大塚(稲荷塚)遺跡	FP上古墳?(長尾村14号)	37
22	西組遺跡	FP下集落・水田・畠	42	53	斧塚遺跡	古墳?(長尾村15号)	37
23	押手遺跡	縄文集落、FP下集落・畠	43	54	金井製鉄遺跡	平安製鉄跡	52
24	館野遺跡	FP下畠	40	55	東町関下遺跡	中近世水田	1
25	田尻遺跡	縄文集落、FP下集落・古墳・畠	23～35	56	白井城遺跡	中近世城跡	44・56
26	八幡神社遺跡	FP下集落・畠	23	57	仁位屋城跡	中世城跡	56
27	中組遺跡	FP下道・畠	22	58	白井上城跡	中世城跡	56
28	池田沢東遺跡	FP下道・畠	21	59	白井佐又遺跡	FP下放牧地	48
29	丸子山遺跡	FP下・FP上古墳	24	60	吹屋恵久保遺跡	FP下集落・畠	49

文献

- 群埋文 1998 『東町関下遺跡』
- 群埋文 1989・1992 『房谷戸遺跡Ⅰ』、『房谷戸遺跡Ⅱ』
- 群埋文 1987 『三原田城遺跡』
- 群埋文 1986 『中畦遺跡・諏訪西遺跡』
- 群埋文 1994 『白井遺跡群：集落編Ⅰ』
- 群埋文 1996・1998 『白井北中道Ⅱ遺跡・吹屋犬子塚遺跡・吹屋中原遺跡』第1冊・第2冊
- 群埋文 1993・2002 『白井大宮遺跡Ⅰ・Ⅱ』
- 群埋文 1996 『白井遺跡群：集落編Ⅱ』
- 群埋文 1998 『白井遺跡群：縄文時代編』
- 群埋文 1997 『白井遺跡群：古墳時代編』
- 群埋文 1993 『白井遺跡群：中世編』
- 群埋文 2004 『北牧大境遺跡』
- 群埋文 2006 『中郷恵久保遺跡』
- 群埋文 2006 『吹屋伊勢森遺跡』
- 群埋文 2007 『吹屋靴屋遺跡』
- 群埋文 2007 『吹屋三角遺跡』
- 群埋文 1996 『吹屋瓜田遺跡』
- 群埋文 2007 『中郷田尻遺跡』
- 群埋文 2008 『白井十二遺跡』
- 群埋文 2007 『吹屋遺跡』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1988 『年報7』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1989 『年報8』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1992 『年報11』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1993 『年報12』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1994 『年報13』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1995 『年報14』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1996 『年報15』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1997 『年報16』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1998 『年報17』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1999 『年報18』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2000 『年報19』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001 『年報20』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 『年報21』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2003 『年報22』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2004 『年報23』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2005 『年報24』
- 群馬県 1938 『上毛古墳総覧』
- 群馬県教育委員会 1971 『群馬県遺跡台帳Ⅰ 東毛編』
- 群馬県企業局 1980～1992 『三原田遺跡』第1～3編
- 群馬県史編纂委員会 1986 『群馬県史 資料編2』
- 子持村教育委員会 1980 『中ノ峯古墳』
- 子持村教育委員会 1985 『西組遺跡発掘調査報告書』
- 子持村教育委員会 1987 『押手遺跡発掘調査報告書』
- 子持村誌編纂室 1987 『子持村誌 上巻』
- 子持村教育委員会 1991 『黒井峯遺跡』
- 子持村教育委員会 2000 『鯉沢瓜田遺跡』
- 子持村教育委員会 2000 『北牧相ノ田遺跡』
- 子持村教育委員会 2005 『白井佐又遺跡発掘調査報告書』
- 子持村教育委員会 2006 『吹屋恵久保遺跡』
- 渋川市教育委員会石井克己氏のご教示による。
- 渋川市教育委員会 1988 『坂之下遺跡』
- 渋川市教育委員会 1988 『金井製鉄遺跡発掘調査報告書』
- 赤城村教育委員会 2004 『宮田諏訪原遺跡Ⅲ・猫持久保遺跡』
- 赤城村教育委員会 1985 『見立溜井遺跡』
- 杉原莊介 1939 『上野樽遺跡調査報告概要』『考古学』第10巻第10号
- 山崎 一 1972 『群馬県古城墓址の研究』
- 北群馬・渋川の歴史編纂委員会 1971 『北群馬・渋川の歴史』

第3節 基本土層

白井北中道Ⅲ遺跡では、段丘礫層を基盤とし、その上に砂礫層、ローム層、黒ボク土が堆積し、さらに Hr-FA と厚い Hr-FP が堆積している。

I層：黒褐色土。現在の耕作土で Hr-FP を含む。

層厚約30cm～60cm。

II層：榛名二ツ岳伊香保テフラ (Hr-FP、6世紀中頃)。層厚約100cm～150cm。

III層：黒褐色土。榛名二ツ岳渋川テフラ (Hr-FA、6世紀初頭) 降下後から、榛名二ツ岳伊香保テフラ (Hr-FP) 降下までの約30年間に堆積した層。層厚約5cm～10cm。

IV層：榛名二ツ岳渋川テフラ (Hr-FA、6世紀初頭)。道下や畦状遺構下等に、部分的に残存。

V層：黒色～黒褐色土。白色軽石、黄褐色軽石を含む。

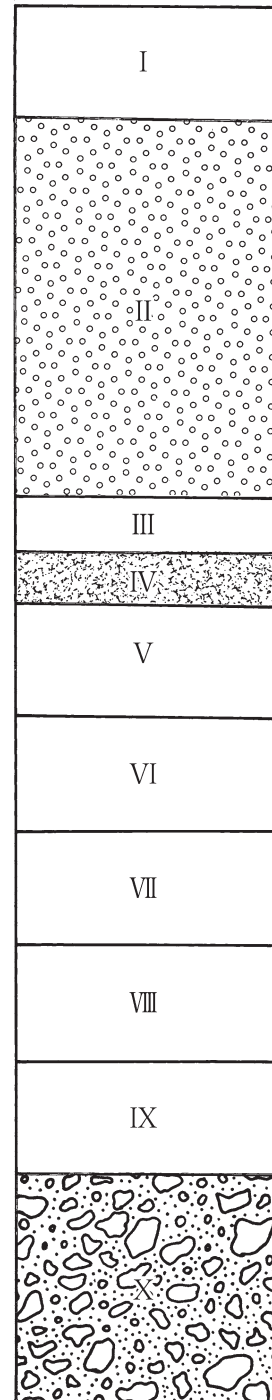
VI層：黒褐色～暗褐色土。淡色黒ボク土。白色軽石、黄褐色軽石を含む。

VII層：黒褐色～暗褐色土。ローム漸位層。部分的に白色軽石、黄褐色軽石を含む。

VIII層：暗褐色～黄褐色土。ローム層。軟質。部分的に明黄褐色軽石を含む。

IX層：褐色～明黄褐色土。ローム層。硬質。As-YPを含む。

X層：砂礫層。シルト層、細粒～粗粒砂層、拳大の礫を含む層まで様々な層の互層。



第2章第3図 白井北中道Ⅲ遺跡基本土層柱状図

第2章 地理的・歴史的環境

第2章表2 鯉沢バイパス（その2）面積一覧表

遺跡	地区	土地 番号	地区面積 ㎡	遺跡	地区	土地 番号	地区面積 ㎡	遺跡	地区	土地 番号	地区面積 ㎡	遺跡	地区	土地 番号	地区面積 ㎡	遺跡	地区	土地 番号	地区面積 ㎡	
白井北中道Ⅲ遺跡	1	1	3,461.3	吹屋伊勢森	9	49	6,337.4	吹屋伊勢森	(13)	105	(3,914.9)	吹屋	26	165	230.7	中郷	(32)	218	(4,940.8)	
		2				106				167				219						
		3				107				172				220						
		4				108				174				221						
		5				109				174				222						
	2	6	4,751.3			54		493.8	14	110	687.5	27	166	3,574.7	168			223		
		7				111				170			224							
		8				番号無し				112			171		225					
		9				56				113			173		226					
		10				56-2				114			173		227					
	3	11	5,958.2			57		3,075.6	16	115	3,926.9	中郷	28	175	1,182.5			228		
		12				116				176				229						
		13				117				511.0			230							
		14				118							177-2	231						
		15				63				27.3			17	119	3,926.9			178		232
		16				64								120				233		
		17				65				121				234						
		18				66				122				235						
		19				67				123				236						
		20				68				124				237						
	21	69	125			238														
	22	70	126			239														
	23	71	127			240														
	24	71-1	128			241														
	4-1	25	7,390.5			72		3,976.0	18	129	4,338.3	30	196	4,338.3	242					
		26				73				130			243							
		27				74				131			244							
		28				75				132			245							
		29				76				133			246							
29-1		59		6,798.5	19	134	3,068.5			31			179		3,068.5	181	247			
29-2		60				135							182			248				
29-3		77				136							183			249				
29-4		78				137							185			250				
29-6		79				138							187			251				
29-8	80	139	188			252														
29-5	81	140	190			253														
29-7	82	141	192			254														
4-2	30	2,545.1	83			1,698.7		20	142		1,698.7	31	193	3,068.5		194	255			
	31		84						143				195			256				
	32		85	144	197		257													
	33		86	145	197-2		258													
	34		87	146	198		259													
	35		88	147	198-2		260													
	36		89	148	200		261													
	37		90	149	202		262													
	38		91	150	203		263													
	39		92	151	204		264													
6	40	8,080.9	92-2	36.9	21	152	2,570.2	31	202	3,068.5	203	265								
	41		93			153			208		266									
	42		94			154			209		267									
	43		94-2			155			210		268									
	44		95			156			211		269									
	45		96			157			212		270									
	45-2		97			158			213		271									
	46		98			159			214		272									
	47		99			160			215		273									
	48		100			161			216		274									
7	43	153.8	101	39.9	22	152	36.9	32	217	4,940.8	217	275								
	44		102			216-2			276											
	47		103			217			277											
	48		104			217			278											
	48		104			217			279											
8	47	2,764.8	101	3,914.9	23	154	2,164.4	32	210	4,940.8	210	279								
	48		102			155			211		280									
	48		103			156			212		281									
	48		104			157			213		282									
	48		104			158			214		283									
白井十二	30	8,080.9	91	5,289.6	24	159	544.7	32	214	4,940.8	214	284								
	30-1		92			160			215		285									
	31		93			161			216		286									
	32		94			162			216-2		287									
	33		95			163			217		288									
中郷	33	8,548.9	96	6,337.4	25	163	1,473.2	32	217	4,940.8	217	289								
	34		97			164			217		290									
	35-4		98			164			217		291									
	35-5		99			164			217		292									
	35-6		100			164			217		293									

註：白井北中道Ⅲ遺跡の地区名と調査区名は、以下のように対応する。1→Ⅰ区、2→Ⅱ区、3→Ⅲ区、4-1→Ⅳ区、4-2→Ⅴ区。なお、「5」は、土地の形状が細長く面積が狭いため調査は実施できなかった。

第3章 I区の調査

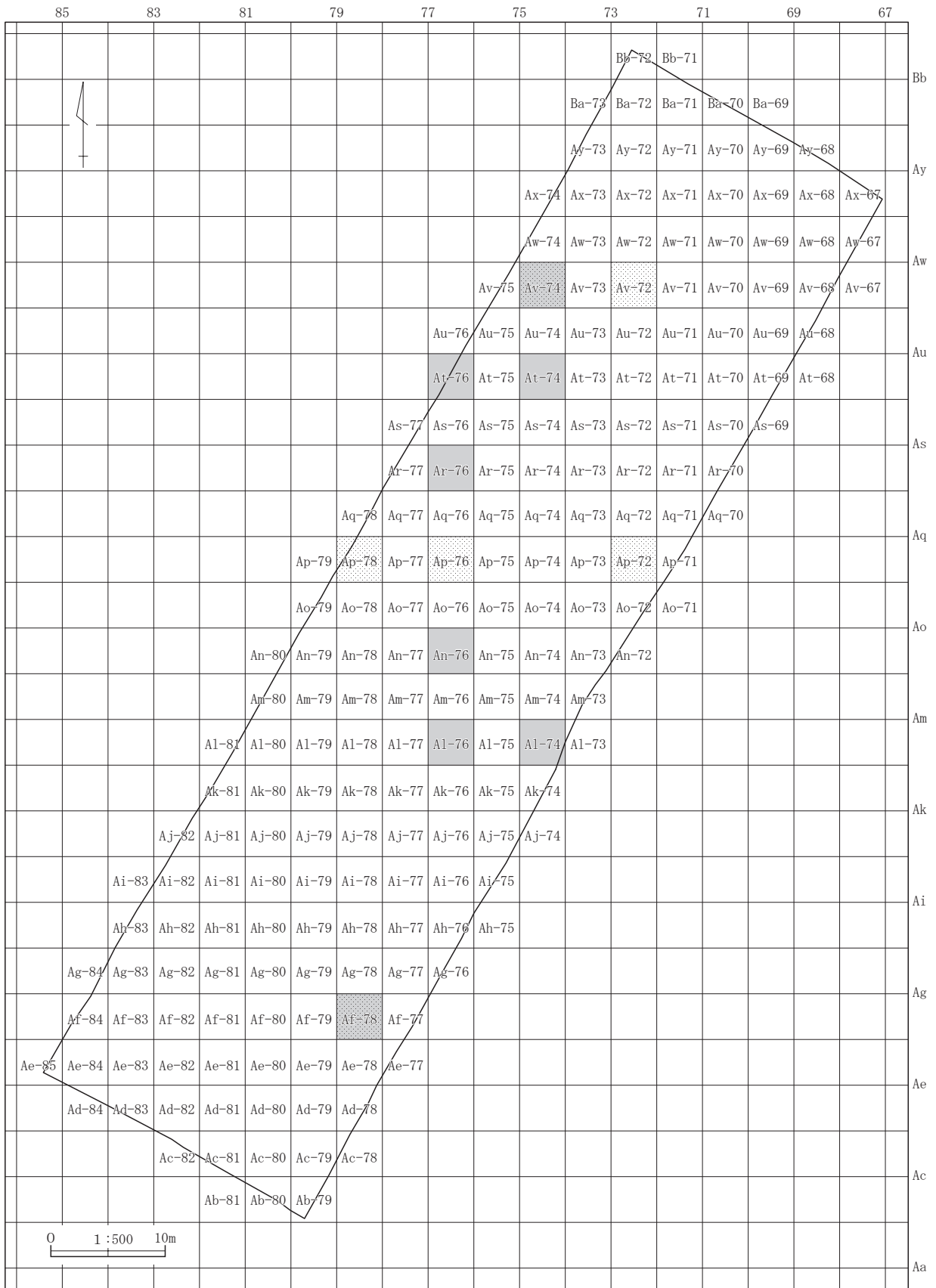
I区は、調査区が一番南に位置する。総面積は、3,461.3㎡である。縄文面の調査は、グリッドを設定して行った。しかしながら、I区では遺構は検出されなかった。また、旧石器時代の遺物も出土しなかった。

遺構外の掲載遺物は、土器が6のグリッドから6点、石器が8のグリッドから9点の合計15点を掲載した。土器の内訳は、諸磯a式・諸磯b式・諸磯c式が4点、十三菩提～五領ヶ台式が1点、不明が1点で深鉢が多い。石器の内訳は、石鏃5点・打製石斧2点・石核1点・磨製石斧1点で石鏃が多い。土器及び石器は、調査区の北側から多く出土している傾向がある。



第3章写真1 I区縄文面グリッド調査状況 [南→]

第3章 I区の調査



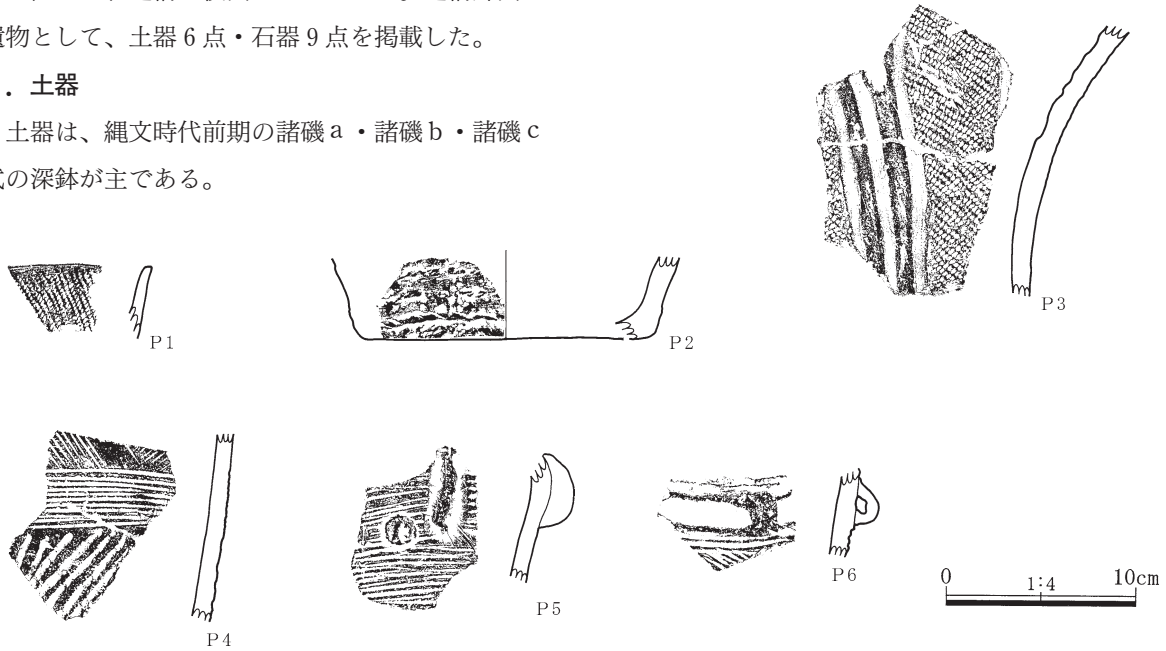
第3章第1図 I区グリッド配置図

第1節 I区遺構外出土遺物

I区では、遺構は検出されなかった。遺構外出土遺物として、土器6点・石器9点を掲載した。

1. 土器

土器は、縄文時代前期の諸磯a・諸磯b・諸磯c式の深鉢が主である。



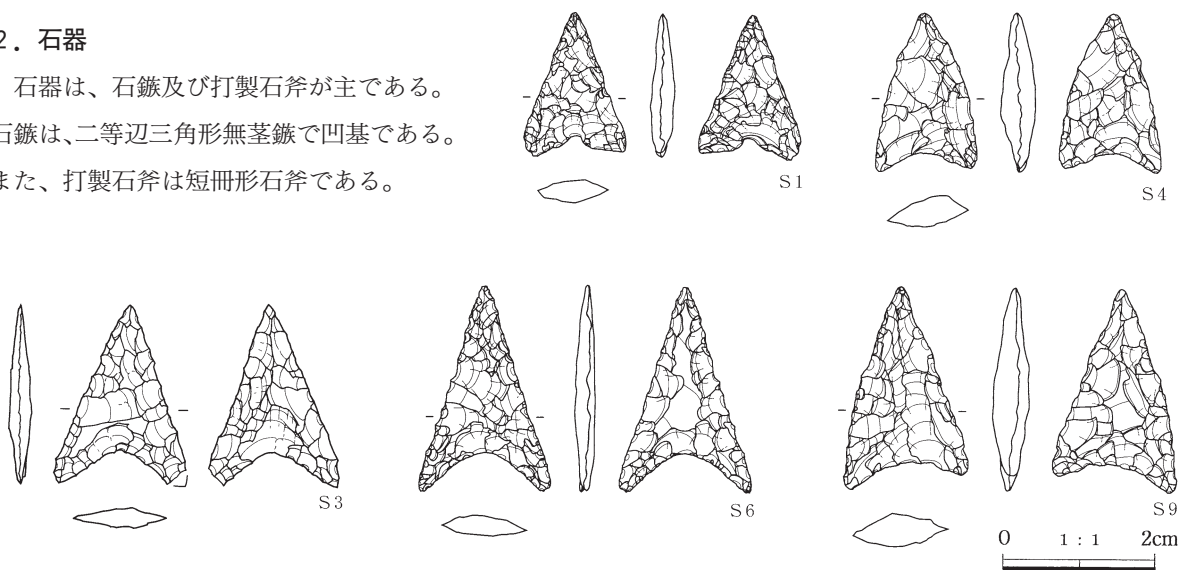
第3章第2図 I区縄文面 遺構外出土縄文土器

第3章表1 I区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表(第3章第2図、PL. 2)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	Ap-76G IV層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/2	細かい黒色粒	諸磯a式(新)	縄文原体 RL 横。
P 2	Ap-78G VI層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ 1 ~ 3 mmの小石	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線に矢羽根状の刻み。
P 3	Af-78G VII層	深鉢	破片	不良	橙	5YR7/6	細かい砂粒	加曾利E III式	太い沈線による縦位の区画。
P 4	Av-74G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	細かい黒色粒	諸磯c式(古)	集合沈線による横位区画。対弧文施文。
P 5	Av-72G VII層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯c式(古)	集合沈線による横位区画。ボタン状、棒状の貼付文。
P 6	Ap-72G VI層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/3	φ 1 ~ 2 mmの小石	十三菩提~五領ヶ台式	橋状の把手。平行沈線による横位区画。

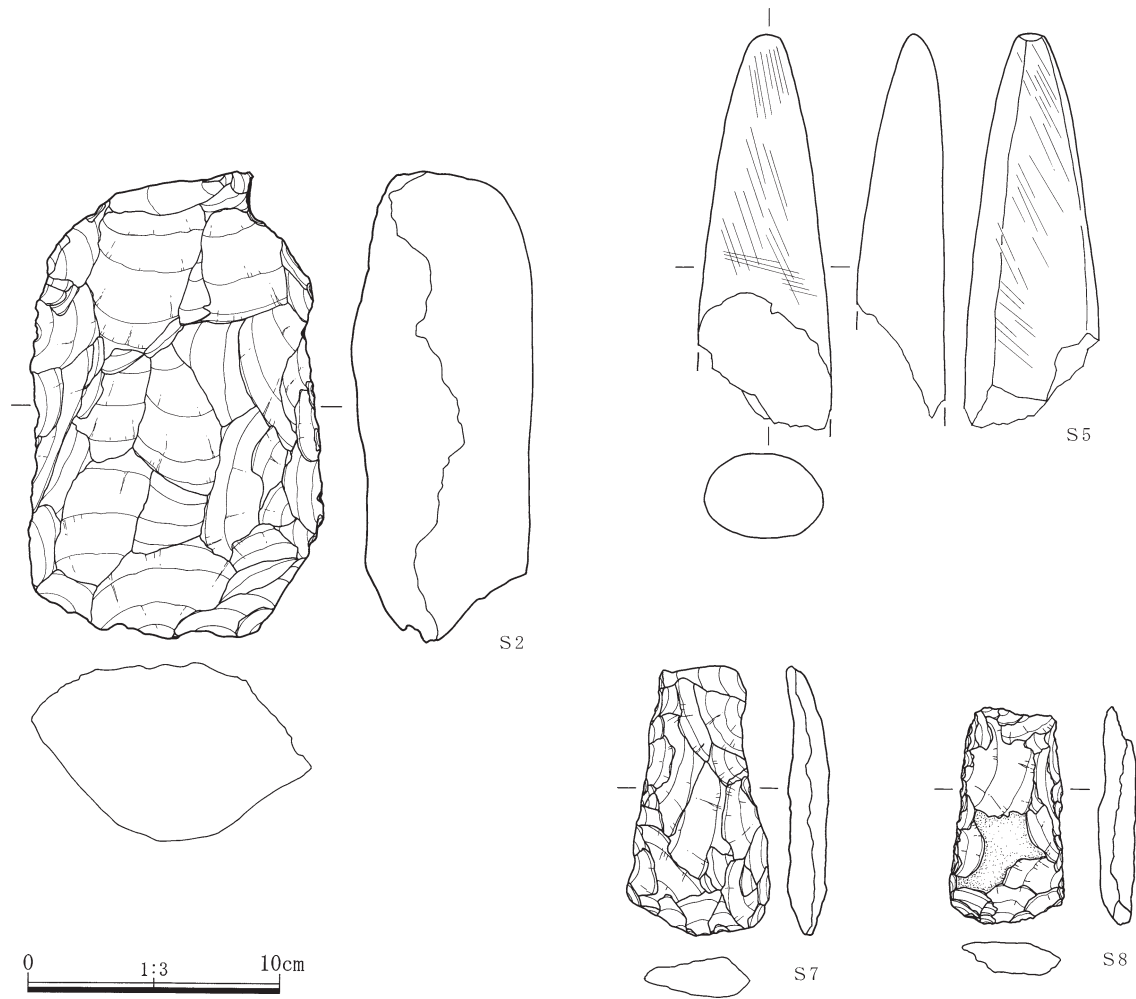
2. 石器

石器は、石鏃及び打製石斧が主である。
石鏃は、二等辺三角形無茎鏃で凹基である。
また、打製石斧は短冊形石斧である。



第3章第3図 I区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)

第3章 I区の調査



第3章第4図 I区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)

第3章表2 I区縄文面 遺構外出土縄文石器観察表(第3章第3・4図、PL. 2)

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	Af-78G	VII層	石鎌	一部欠損	1.80	1.30	0.35	0.57	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鎌。凹基。
S 2	Al-74G	VII層	石核	完形	18.40	11.50	7.10	1,925.00	変質玄武岩	中粒凝灰岩	表面一部残存。
S 3	Al-76G	VI層	石鎌	一部欠損	2.30	1.70	0.30	0.80	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	二等辺三角形無茎鎌。凹基。
S 4	An-76G	VI層	石鎌	完形	2.10	1.35	0.40	0.90	黒色安山岩	無斑晶質安山岩	二等辺三角形無茎鎌。凹基。
S 5	An-76G	VII層	磨製石斧	2/3	15.70	5.40	3.50	354.90	変玄武岩	変ハンレイ岩	乳棒状石斧。刃部欠損。
S 6	Ar-76G	VII層	石鎌	ほぼ完形	2.60	1.70	0.45	1.36	黒色頁岩	頁岩	二等辺三角形無茎鎌。凹基。
S 7	At-74G	VI層	打製石斧	完形	10.60	5.70	1.50	100.80	黒色頁岩	中粒凝灰岩	短冊形石斧。
S 8	At-76G	VI層	打製石斧	上下部欠損	8.40	4.60	1.50	72.40	ホルンフェルス	泥質ホルンフェルス	短冊形石斧。
S 9	Av-74G	VI層	石鎌	完形	2.70	1.75	0.30	0.82	珪質頁岩	チャート	二等辺三角形無茎鎌。凹基。

第4章 II区の調査

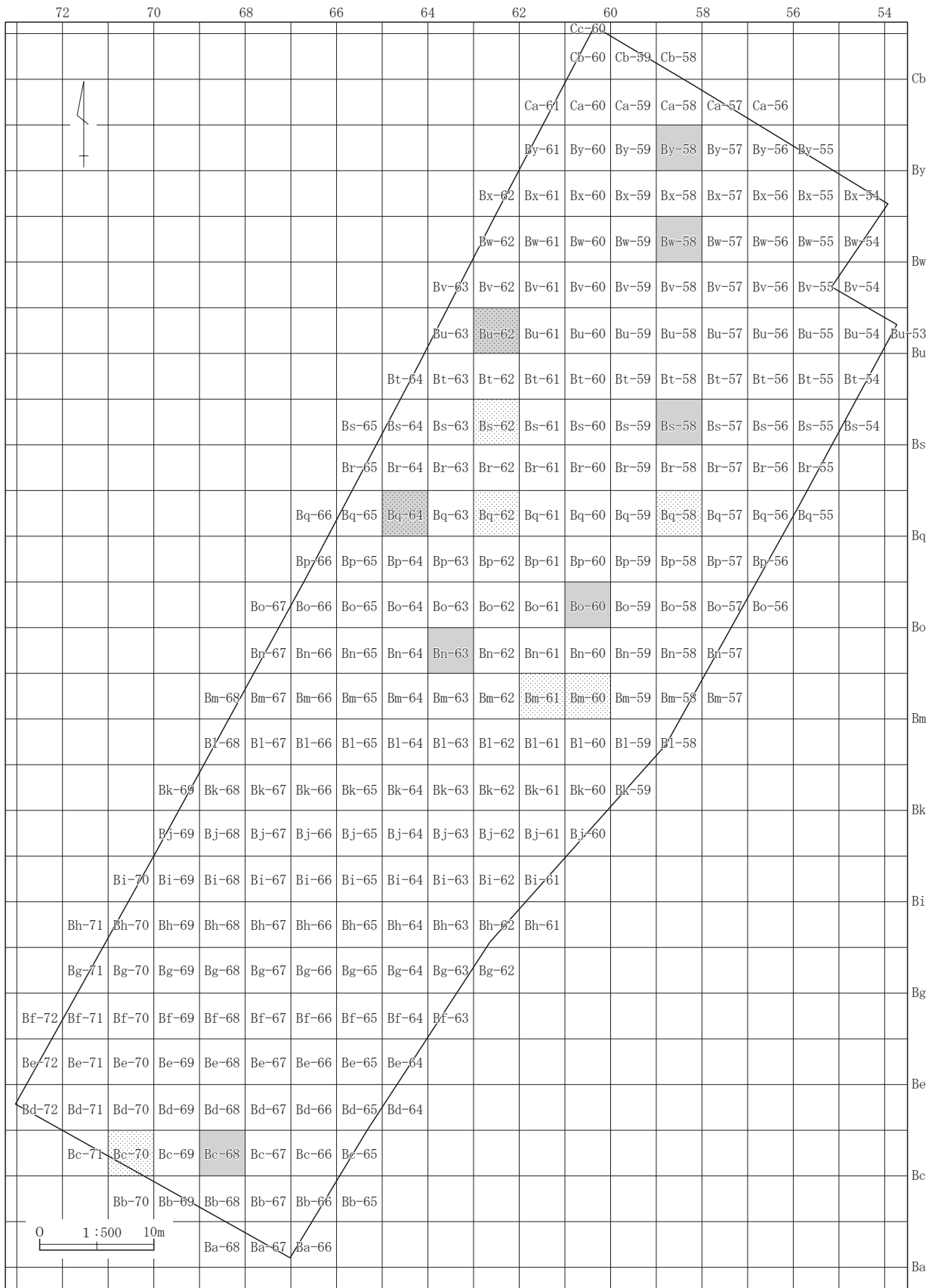
II区の総面積は、4,751.3㎡である。縄文面の調査は、グリッドを設定して行った。II区の縄文面では、遺構として土坑2基が検出された。旧石器時代の遺物は、出土しなかった。

遺構外の掲載遺物は、土器が8つのグリッドから8点、石器が8つのグリッドから8点の合計16点を掲載した。土器の内訳は、諸磯a式・諸磯b式・諸磯c式が6点、大木式が1点、十三菩提式が1点で深鉢7点・有孔浅鉢1点で深鉢が多い。石器の内訳は、石鏃3点・打製石斧4点・石核1点で石鏃と打製石斧が多い。土器及び石器は、調査区の北側から多く出土している傾向がある。



第4章写真1 II区縄文面グリッド調査状況 [南→]

第4章 II区の調査



土器出土
 石器出土
 土器・石器出土

第4章第1図 II区グリッド配置図

第1節 II区遺構

1. 土坑

II区では、土坑2基が検出された。この2基の土坑から、遺物は検出されなかった。

(1) II区 J 1 (103) 号土坑

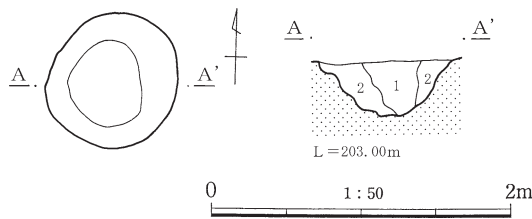
位置：Bd-68Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

規模：直径約85cm・深さ約35cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



J 1 (103)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色パミス、炭化物、焼土粒、ローム粒を含む。
2. 黒褐色土 黄褐色パミス、炭化物、焼土粒、ロームブロック(φ10mm以下)を含む。

第4章第2図 II区 J 1 (103)号土坑

(2) II区 J 2 (102) 号土坑

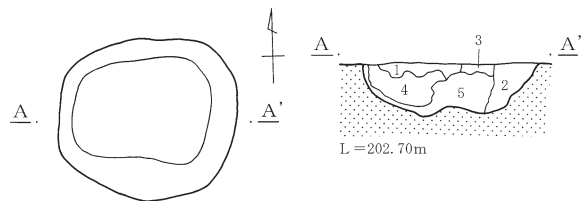
位置：Bf-70Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

規模：直径約105cm~115cm・深さ約25cm~35cm

土層：土層は、5層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



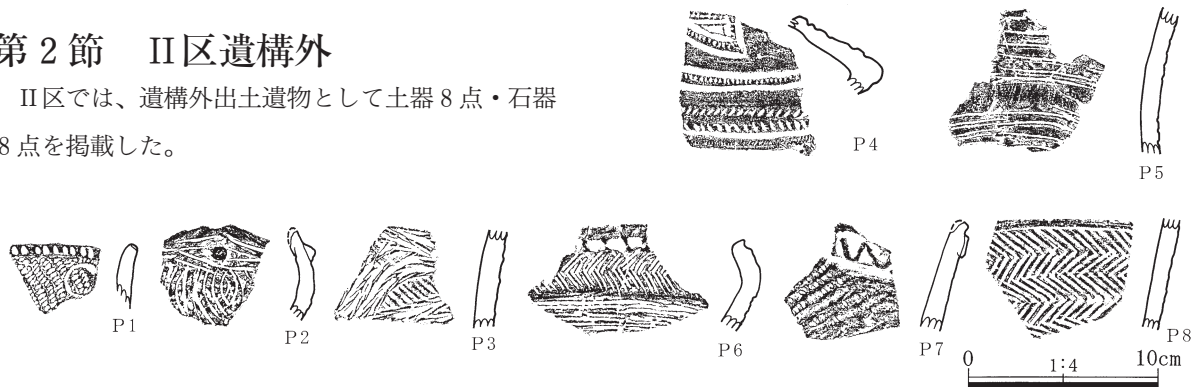
J 2 (102)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色パミス、礫(φ5mm以下)、ローム粒を含む。
2. 黒褐色土 黄褐色パミス、ローム粒を含む。
3. 黒褐色土 黄褐色パミス、炭化物、ロームブロック(φ10mm以下)を含む。
4. 黒褐色土 黄褐色パミス、ロームブロック(φ20mm以下)を含む。
5. 黒褐色土とロームの混合土

第4章第3図 II区 J 2 (102)号土坑

第2節 II区遺構外

II区では、遺構外出土遺物として土器8点・石器8点を掲載した。



第4章第4図 II区縄文面 遺構外出土縄文土器

第4章表1 II区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表(第4章第4図、PL.5)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	Bq-58G VI層	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR7/6	細かい砂粒	諸磯 a 式(新)	口唇に刻み。φ16mmの円形刺突。縄文原体 RL 横。
P 2	Bq-64G VII層一括	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯 b 式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土溜による突起。巾5mmの平行沈線による弧線文。
P 3	Bq-62G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	5YR7/3	φ1mmの小石	諸磯 b 式(中)	浮線による横位区画と弧線文。縄文原体 RL 横。
P 4	Bm-60G VII層	有孔浅鉢	破片	普通	橙	5YR7/6	黒色粒多い	諸磯 b 式(中)	巾7mmの平行沈線による木葉文。
P 5	Bc-70G VII層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR7/2	φ1mmの小石	諸磯 b 式(新)	沈線による横位区画。
P 6	Bm-60G VII層	深鉢	口縁破片	良	明黄褐	10YR7/6	細かい砂粒	諸磯 c 式(古)	口唇部に凹凸文。集合沈線による矢羽根文と横位区画。
P 7	Bu-62G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR6/3	砂粒多い	大木 5 式	折り返し口縁。粘土紐を鋸歯状に貼付。縄文原体 LR。
P 8	Bs-62G VII層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄	2.5Y6/3	細かい砂粒	十三菩提式	巾3mmの平行沈線を密集させた矢羽根文。

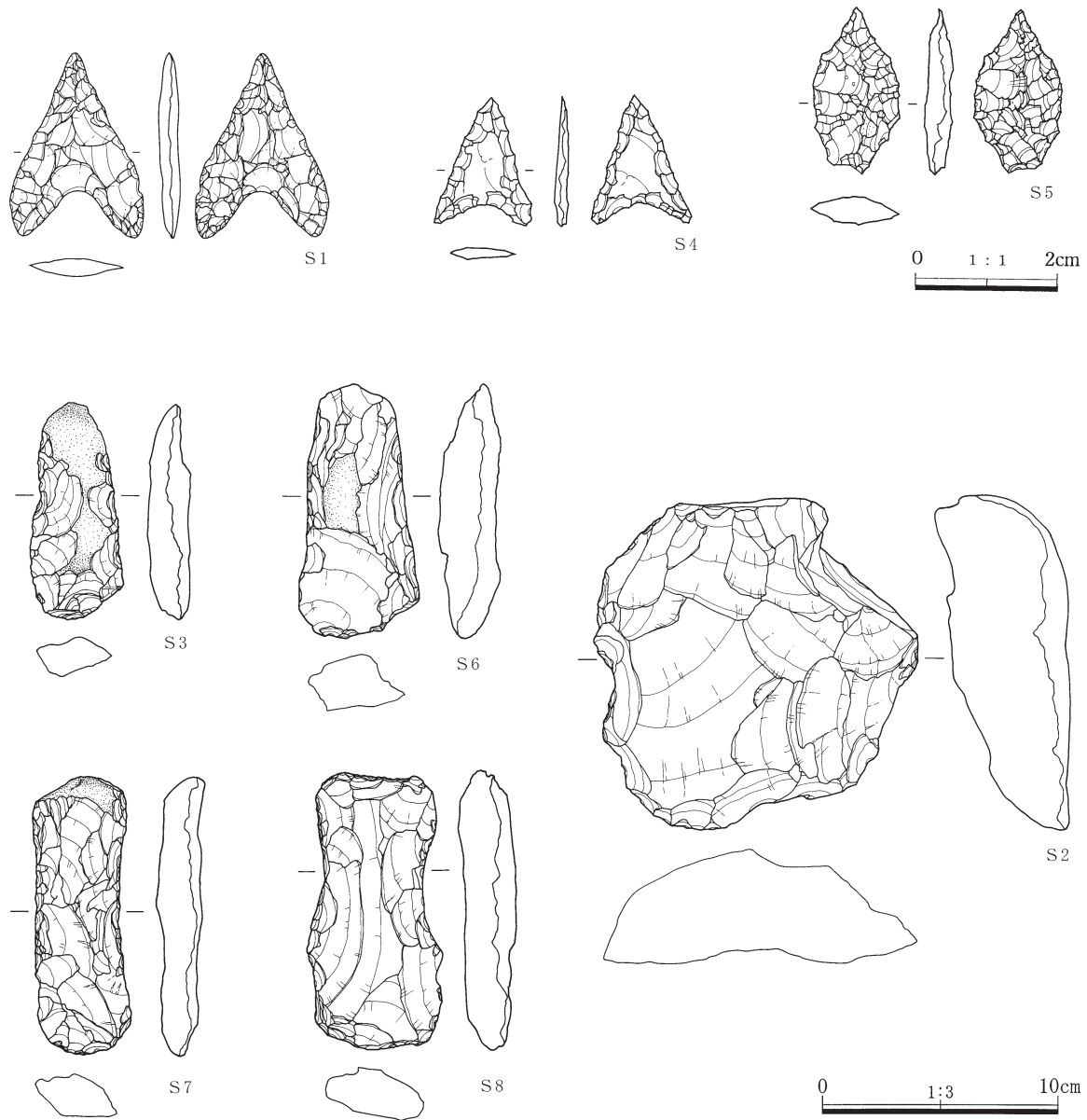
第4章 II区の調査

1. 土器

土器は、縄文時代前期の諸磯a・諸磯b・諸磯c式の深鉢が主である。

2. 石器

石器は、石鏃及び打製石斧が主である。石鏃は、二等辺三角形無茎鏃で凹基である。また、打製石斧は短冊形石斧である。



第4章第5図 II区縄文面 遺構外出土縄文石器

第4章表2 II区縄文面 遺構外出土縄文石器観察表(第4章第5図、PL. 5)

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	Bc-68G	VI層	石鏃	完形	2.60	1.90	0.30	1.11	黒色安山岩	ガラス質安山岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 2	Bn-63G	VII層	石核	完形	12.90	13.60	4.40	1,059.00	黒色頁岩	頁岩	一面に表面残存。
S 3	Bo-60G	VI層	打製石斧	完形	9.10	4.00	1.80	70.40	黒色頁岩	細粒凝灰岩	撥形石斧。
S 4	Bq-64G	VII層	石鏃	ほぼ完形	1.75	1.40	0.20	0.45	珪質頁岩	変質凝灰岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 5	Bs-58G	—	石鏃	ほぼ完形	2.30	1.25	0.40	0.97	黒曜石	黒曜岩	—
S 6	Bu-62G	VII層	打製石斧	完形	10.70	5.20	2.40	142.00	細粒輝石安山岩	輝石安山岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 7	Bw-58G	VII層	打製石斧	完形	11.80	4.20	2.00	114.80	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 8	By-58G	VII層	打製石斧	完形	11.80	5.80	2.10	175.80	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。

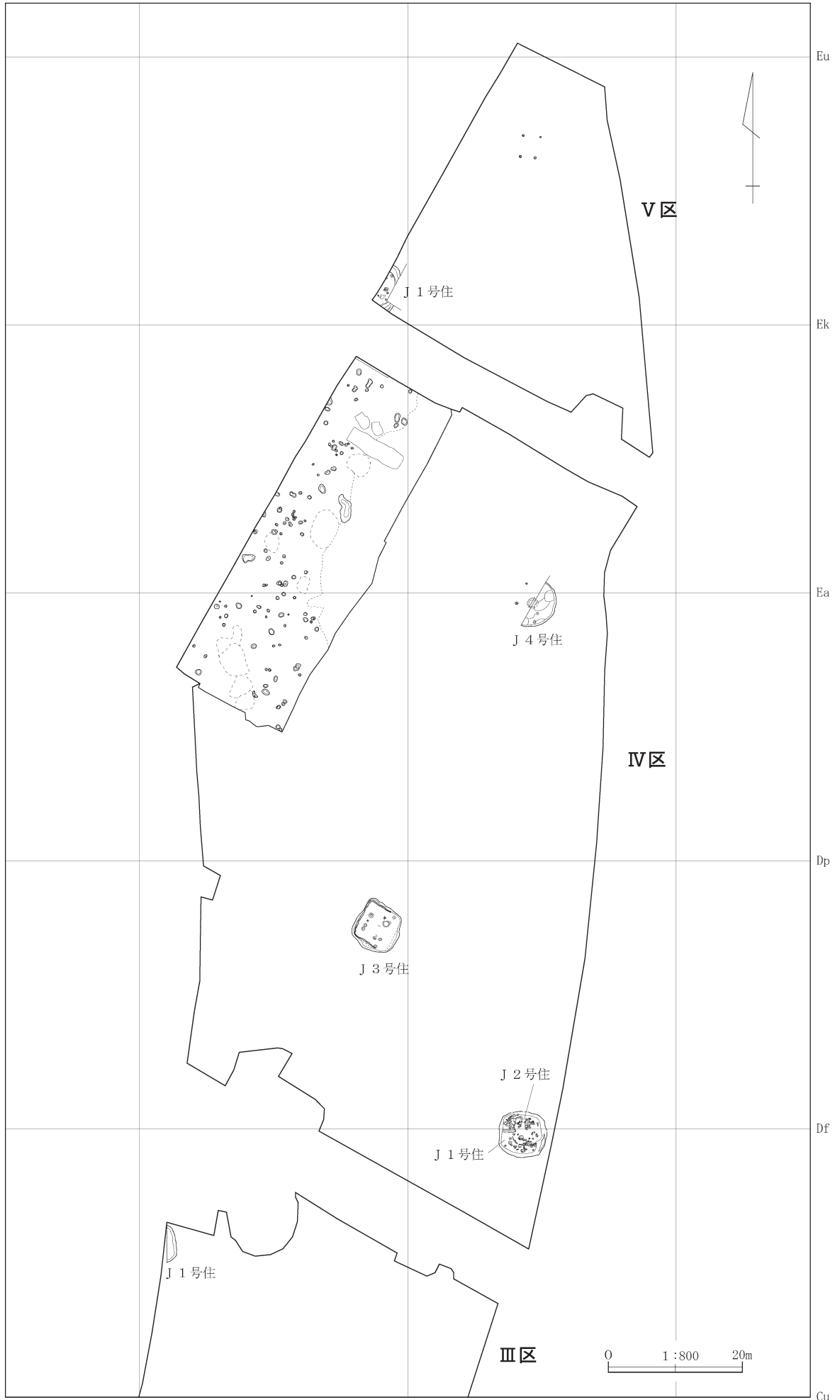
第5章 III区の調査

III区の総面積は、5,958.2m²である。縄文面の調査は、グリッドを設定して行った。III区の縄文面では、遺構として住居1軒・土坑7基が検出された。旧石器時代の遺構は検出されず、遺物は出土しなかった。

遺構外の掲載遺物は、土器が62のグリッドから156点、石器が62のグリッドから88点の合計244点を掲載した。土器の内訳は、諸磯a式・諸磯b式・諸磯c式等諸磯式が112点、大木式が13点、十三菩提式が14点で諸磯式が多い。同様に器種は、深鉢144点・有孔浅鉢8点・浅鉢3点・土製品1点で深鉢が多い。石器の内訳は、石鏃20点・石匙4点・石核6点・打製石斧31点・磨石凹石13点・石皿4点・磨製石斧2点で石鏃と打製石斧が多い。土器及び石器は、調査区の北側から多く出土している傾向がある。



第5章写真1 III区J1号住居全景 [東→]



第5章第1図 III・IV・V区縄文面 住居位置図

第1節 III区遺構

III区では、縄文時代前期住居1軒・土坑7基が検出された。

1. 住居

住居は、調査区の北西部から縄文時代前期のIII区J1号住居が1軒検出された。しかしながら、住居主体部は調査区外であり、一部しか検出されておらず、全容は不明である。

(1) III区J1号住居

時期：縄文時代前期に比定される。

重複：重複は、認められなかった。

形状：一部しか、検出されていないため、正確な形状は不明である。

規模：住居の規模は、現状で、南北約5.5m・東西約80cm～1.4mである。

面積：住居床面の面積は、約3.83㎡である。

覆土：覆土は、9層に分かれる。遺物は、2層に多く含まれている。

床面：床面は、比較的平坦である。

炉：炉は、検出されなかった。

埋設土器：埋設土器は、検出されなかった。

柱穴：柱穴は、検出されなかった。

周溝：周溝は、検出されなかった。

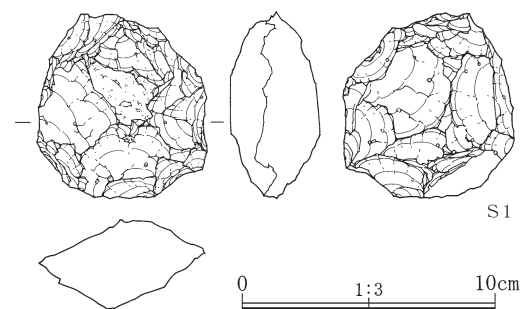
遺物：遺物は、土器及び石器が出土した。

(土器) 土器は、32点出土した。いずれも破片であり、完形品は無かった。内訳は、諸磯b式27点・諸磯c式5点である。器種は、深鉢30点・有孔浅鉢2点である。

(石器) 石器は、1点出土した。器種は、黑色安山岩製の石核である。



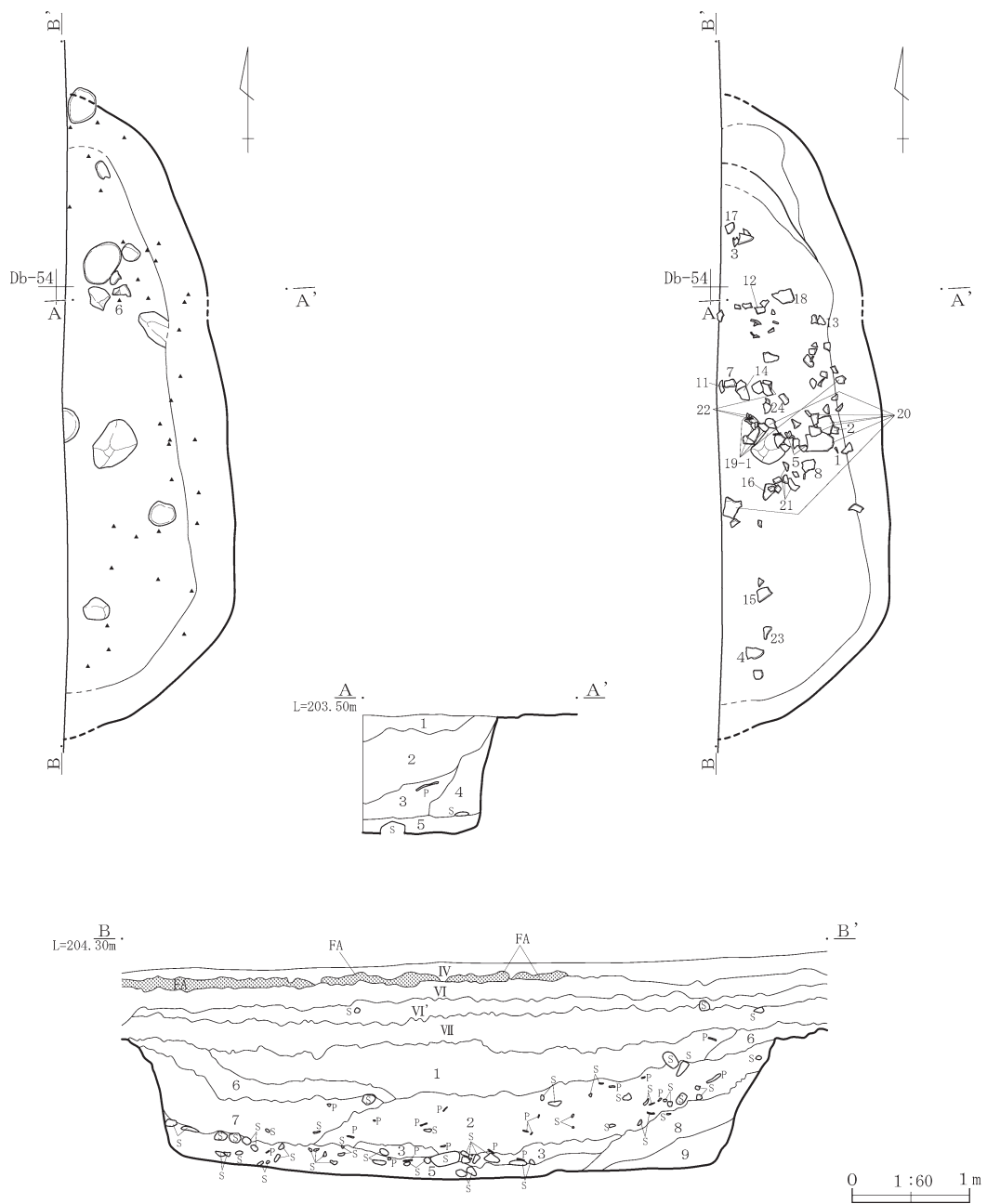
第5章写真2 III区J1号住居全景 [南→]



第5章第2図 III区J1号住居出土縄文石器

第5章表1 III区J1号住居出土縄文石器観察表 (第5章第2図、PL. 6)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	埋設土	石核	1/2	7.60	6.90	3.60	169.00	黑色安山岩	泥質ホルンフェルス	一部表面残存。

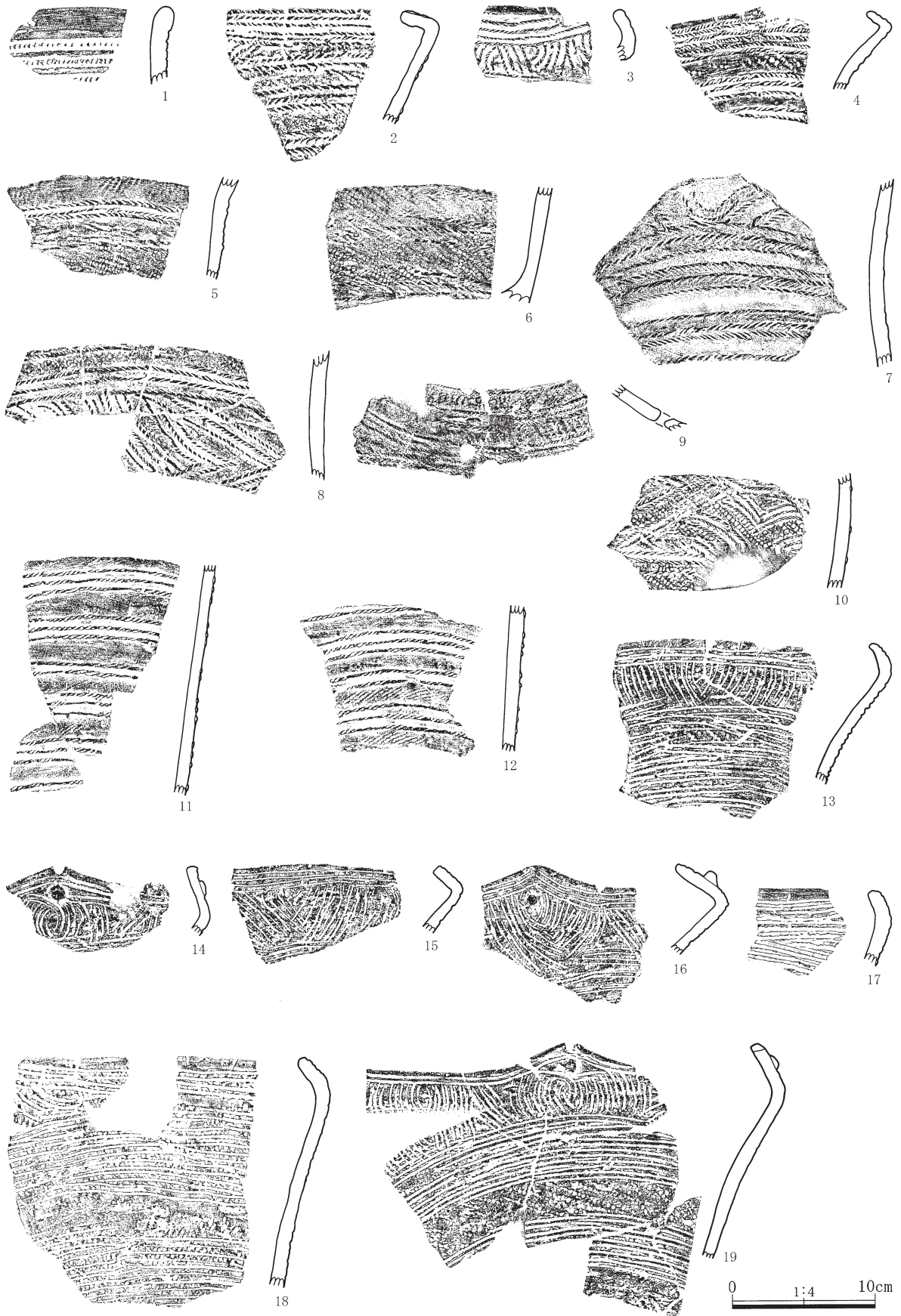


III区 J 1号住居 A-A'、B-B'

1. 黒褐色土 褐色土粒、礫(φ 5 cm以下)、白色パミス(φ 1 mm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、炭化物(φ 3 mm以下)を含む。やや固い。
2. 黒褐色土 礫(φ 5 cm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)を含む。固くしまっている。
3. 暗褐色土 礫(φ 5 cm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、炭化物(φ 3 mm以下)を含む。粘性が有り、やや固くしまっている。
4. 暗褐色土 礫(φ 3 cm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、炭化物(φ 3 mm以下)を含む。シルト質でやわらかい。
5. 暗褐色土 礫(φ 15cm以下)を多く含み、シルト質でやわらかい。
6. 黒褐色土 褐色土粒、ブロック(φ 10cm以下)、礫(φ 3 cm以下)、白色パミス(φ 1 mm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、炭化物(φ 2 mm以下)を含む。やや固い。
7. 黒褐色土 褐色土粒(壁に近づくにつれ多く含む)、礫(φ 3 cm以下)、白色パミス(φ 1 mm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、炭化物(φ 2 mm以下)を含む。やや固い。
8. 暗褐色土 褐色土粒、礫(φ 3 cm以下)を含み、シルト質でやわらかい。
9. 褐色土 礫(φ 2 cm以下)を少量含む。シルト質でやわらかい。

※ IV、VI、VI'、VII層は基本土層

第5章第3図 III区 J 1号住居



第5章第4図 III区J 1号住居出土縄文土器(1)



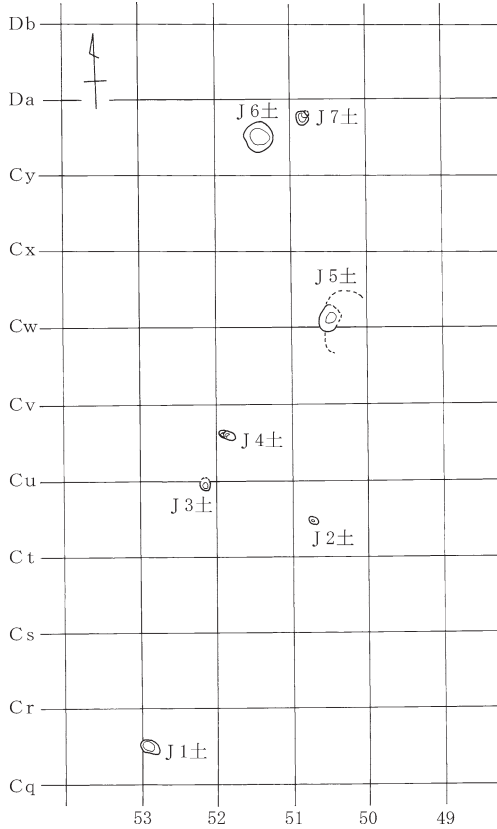
第5章第5図 III区J 1号住居出土縄文土器(2)

第5章表2 III区J1号住居出土縄文土器観察表(第5章第4・5図、PL.7・8)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	No37	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR6/3	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾8mmの爪形文を横位施文。
P 2	No.7・27	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR7/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(新)	口縁「く」の字に屈曲。偏平な浮線による横位区画。浮線は矢羽根状の刻み。浮線の胎土と土器本体の胎土が異なる。
P 3	埋没土中	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸磯b式(中)	浮線による横位区画と弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。
P 4	埋没土中	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(新)	口縁「く」の字に屈曲。偏平な浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。
P 5	No70	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。
P 6	No83	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/3	φ1～3mmの小石	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。
P 7	No89	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR7/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位区画。口縁部文様帯には弧線文施文。浮線は矢羽根状に刻み。
P 8	埋没土中	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位区画。区画内に矢羽根文、弧線文が施文される。浮線に矢羽根状の刻み。
P 9	埋没土中	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻みと刺突。
P 10	No24 埋没土	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(新)	偏平な浮線による矢羽根文、弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P 11	No75・76 Da-53	深鉢	胴部破片	良	褐	7.5YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線に縄文が施文される。縄文原体 LR。
P 12	No72 埋没土	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄褐	10YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線に縄文が施文される。縄文原体 LR。
P 13	埋没土中	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。口縁部文様に弧線文。
P 14	埋没土中	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻み。側縁に粘土溜による貼付文。巾5mmの平行沈線による横位区画。区画内に対弧文。弧線文。
P 15	No23	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による文様区画。区画内に対弧文。弧線文。
P 16	No48	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土溜貼付。巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内に対弧文、弧線文。
P 17	埋没土中	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線横位施文。
P 18	No67 埋没土	深鉢	口縁	普通	にぶい黄褐	10YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による横位区画。口縁部文様帯に弧線文。
P 19	埋没土中	深鉢	口縁	普通	暗褐	10YR3/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻み。側縁に粘土溜貼付による突起。巾4mmの平行沈線による横位区画。口縁部に入り組み弧線文。対弧文、弧線文施文。縄文原体 RL。
P 20	No.2・9・10・12・13・55、 Da-53G、埋没土	深鉢	口縁～胴部	普通	にぶい黄褐	10YR5/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁。巾4mmの平行沈線による横位区画。口縁部に弧線文。縄文原体 RL。
P 21	No93 埋没土	深鉢	口縁～胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(新)	巾4mmの平行沈線横位施文。
P 22	No21・50・51 埋没土	深鉢	口縁	良	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原体 Lr。
P 23	No21 Da-53G 埋没土	深鉢	底部	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原体 Lr。
P 24	埋没土中	深鉢	底部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P 25	No81	深鉢	口縁破片	普通	褐	10YR4/4	φ1～2mmの小石、軽石	諸磯b式(中)	結節縄文施文。縄文原体 RL。
P 26	埋没土 Da-53G	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	巾4mmの平行沈線を矢羽根状に施文。棒状、ボタン状の貼付文施文。
P 27	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	巾4mmの平行沈線を矢羽根状に施文。棒状、ボタン状の貼付文施文。
P 28	No15	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	5 YR6/4	φ1mmの小石、黒色粒	諸磯c式(新)	巾4mmの平行沈線を矢羽根状に施文。
P 29	No.4	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	5 YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(新)	巾5mmの平行沈線を矢羽根状に施文。
P 30	埋没土 Da-53G	有孔浅鉢	胴部破片	良	にぶい褐	7.5YR6/3	細かい砂粒	諸磯b式(中)	巾10mmの爪形文による木葉文。
P 31	No30 埋没土	有孔浅鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石、軽石	諸磯b式(中2)	—
P 32	埋没土中	深鉢	口縁	良	にぶい橙	5 YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	沈線による文様施文。浮線に刻み。獸面把手は口唇に目・鼻・頭部が重なるように貼付される。

2. 土坑

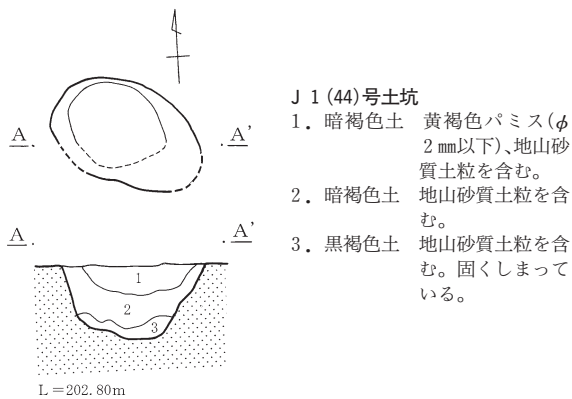
III区では、土坑が7基検出された。これらの内、遺物が検出されたのは、III区J5号土坑のみである。



第5章第6図 III区縄文面 土坑位置図 (1/400)

(1) III区J1(44)号土坑

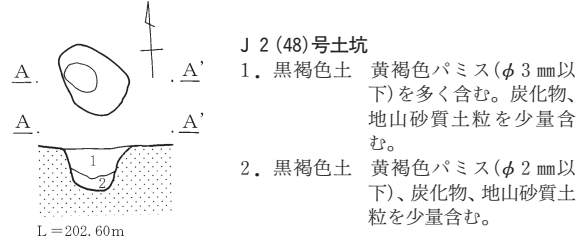
位置：Cq-52Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約105cm・短軸約65cm・深さ約50cm
 土層：土層は、3層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



第5章第7図 III区J1(44)号土坑

(2) III区J2(48)号土坑

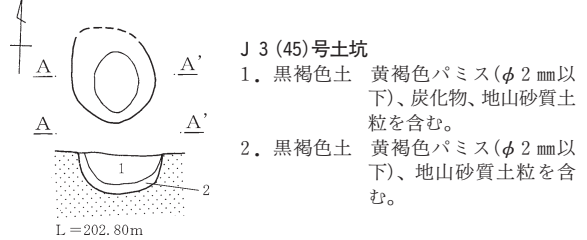
位置：Ct-50Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約50cm・短軸約35cm・深さ約30cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



第5章第8図 III区J2(48)号土坑

(3) III区J3(45)号土坑

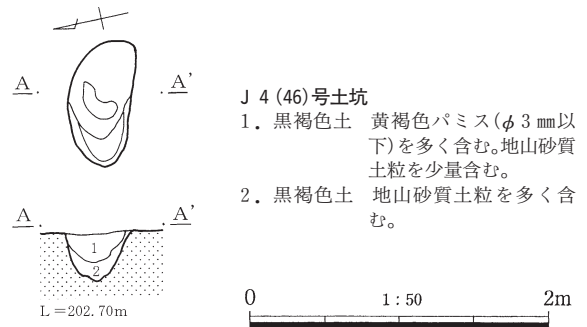
位置：Ct-52Gから検出された。
 形状：不整形土坑
 規模：長軸約65cm・短軸約55cm・深さ約25cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



第5章第9図 III区J3(45)号土坑

(4) III区J4(46)号土坑

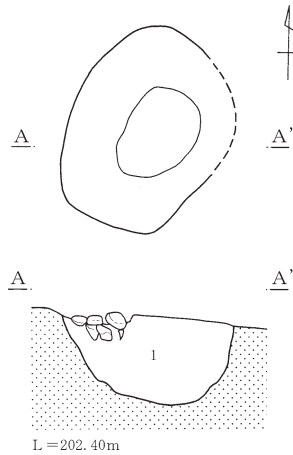
位置：Cu-51Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約85cm・短軸約45cm・深さ約30cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



第5章第10図 III区J4(46)号土坑

(5) III区 J 5 (50)号土坑

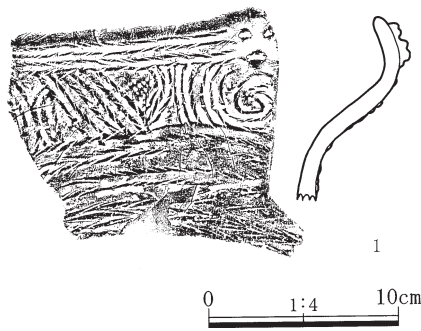
位置：Cw-50Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約130cm・短軸約105cm・深さ約45cm
 土層：土層は、1層である。
 遺物：遺物は、縄文時代前期の諸磯b式の深鉢口縁部が1点出土している。



J 5 (50)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色パミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 2mm以下)、焼土粒(φ 1mm以下)を少量含む。粘性弱く、固くしまっている。

第5章第11図 III区 J 5 (50)号土坑



第5章第12図 III区 J 5 (50)号土坑出土縄文土器

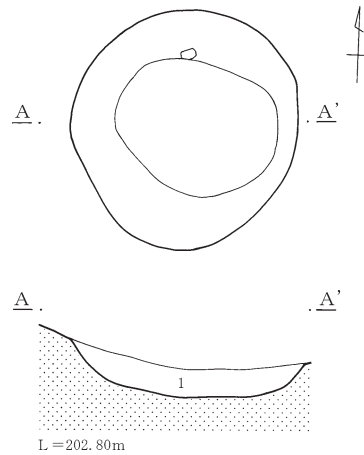
第5章表3 III区 J 5 (50)号土坑出土縄文土器観察表 (第5章第12図、PL. 9)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存 状態	焼成	色調		胎土
					色	番号	
P 1	50号土坑 No 3・4・6	深鉢	口縁	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、φ 1~2mmの小石

分類	文様
諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。波状口縁頂部に獣面突起、口縁部文様帯に浮線による渦巻文、弧線文。縄文原体LR。

(6) III区 J 6 (49)号土坑

位置：Cy-51Gから検出された。
 形状：不整形土坑
 規模：直径約150cm~155cm・深さ約20cm
 土層：土層は、1層である。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



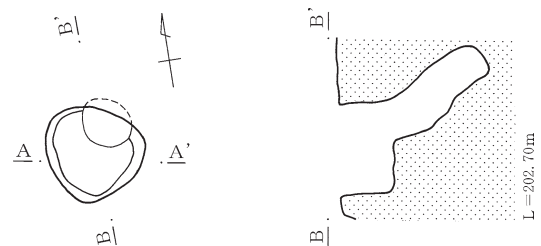
J 6 (49)号土坑

1. 暗褐色土 地山砂質土粒ブロック(φ 5cm以下)を多く含む。

第5章第13図 III区 J 6 (49)号土坑

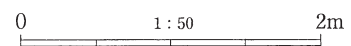
(7) III区 J 7 (47)号土坑

位置：Cy-50Gから検出された。
 形状：不整形土坑
 規模：直径約60cm~65cm・深さ約30cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



J 7 (47)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色パミス(φ 3mm以下)、地山砂質土粒を少量含む。粘性やや有り。
2. 黒褐色土 地山砂質土粒を含む。粘性やや有り。



第5章第14図 III区 J 7 (47)号土坑

第2節 III区遺構外

III区遺構外の掲載遺物は、土器が62のグリッドから156点、石器が62のグリッドから88点の合計244点を掲載した。

出土土器及び石器の内訳は、以下の表通りである。

1. 土器

土器の内、型式が判明したものは、諸磯a式5点・諸磯b式61点・諸磯c式41点・諸磯式3点・加曽利式9点・興津式3点・大木式13点・十三菩提式14点である。その他、黒浜式・勝坂式等が出土している。

大きな傾向として、IV区・V区と同様に諸磯b式を中心とした諸磯式が主体である。

土器の器種は、深鉢が大多数を占め、次に有孔浅鉢・浅鉢となる。

2. 石器

石器の内、出土点数順に見ると、打製石斧31点・石鏃20点・磨石凹石13点・石核6点・石匙4点・石皿4点等となる。

大きな傾向として、IV区・V区と同様に打製石斧・石鏃・磨石・石匙等が中心である。

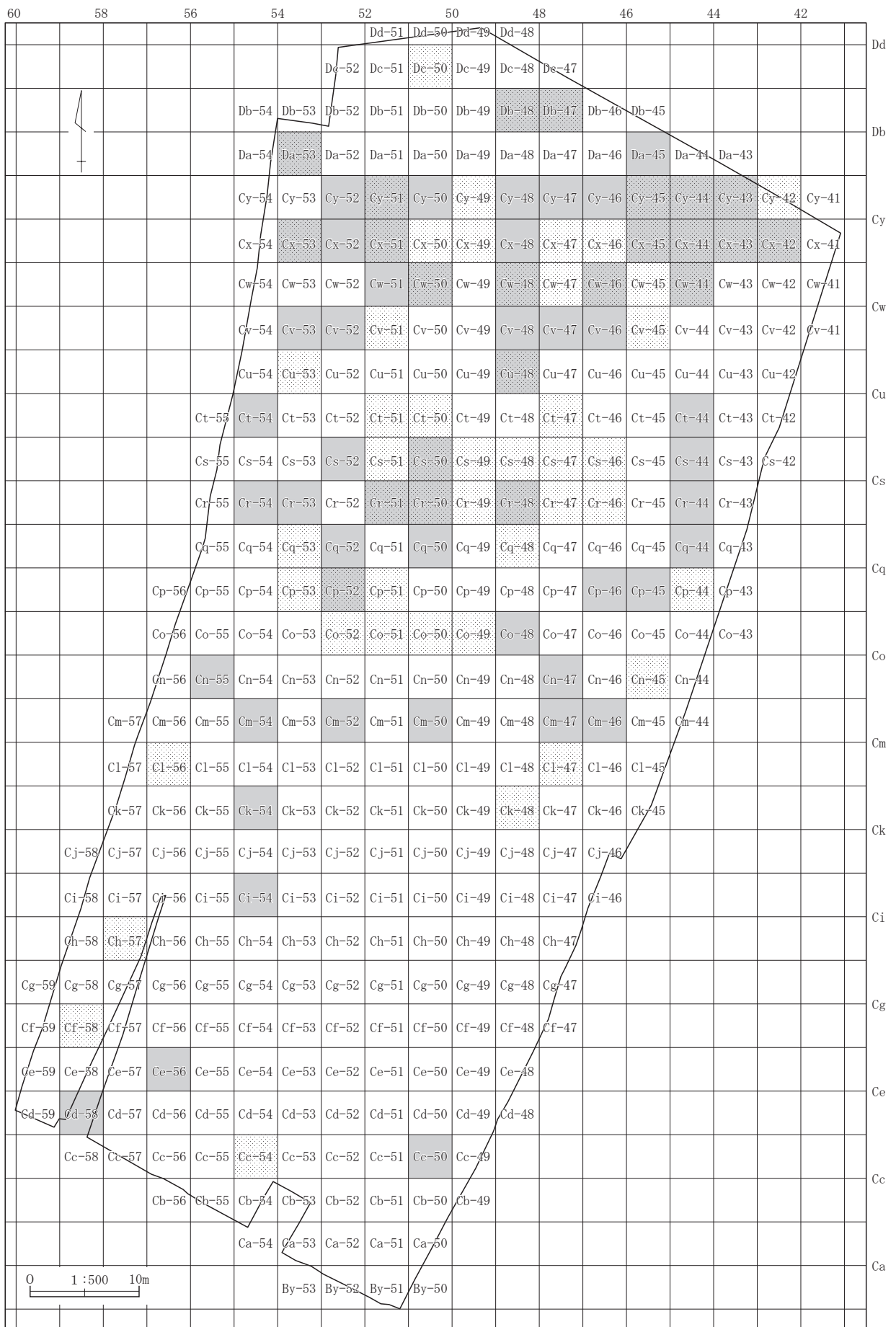
石器の出土層位では、ほとんどの器種がVI層及びVII層から出土している。

第5章表4 III区遺構外縄文土器まとめ

土器型式 器種	諸磯 a式	諸磯b式					諸磯c式			諸磯	加曽利				興津			大木 大木5	十三 菩提	黒浜	勝坂 III
		古	中2	中	新	不明	古	中1	新		B I	E I	E II	E III	興津I	興津II	興津III				
深鉢	3	2	33	4	12	3	11	3	27	2	2	2	1	4	1	1	1	13	14	5	2
浅鉢	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
有孔浅鉢	1	—	1	4	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ミニチュア土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
土製円盤等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総計	5	2	34	8	14	3	11	3	27	3	2	2	1	4	1	1	1	13	14	5	2

第5章表5 III区遺構外出土石器まとめ

	石鏃	尖頭器	石匙	石錐	打斧	砥石	敲石	石核	磨石	凹石	磨・凹石	多孔石	石皿	楔形	削器	鑿形	磨斧	耳飾り
VI層	6	—	2	—	17	—	—	2	1	4	2	—	2	—	2	1	1	—
VII層	10	1	1	—	10	—	1	3	—	2	3	—	—	1	1	—	1	—
VIII層	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
IX層	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
X層	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
層位不明	1	—	1	—	3	—	—	—	1	—	—	1	2	—	—	—	—	—
合計	20	1	4	0	31	0	1	6	2	6	5	1	4	1	3	1	2	0

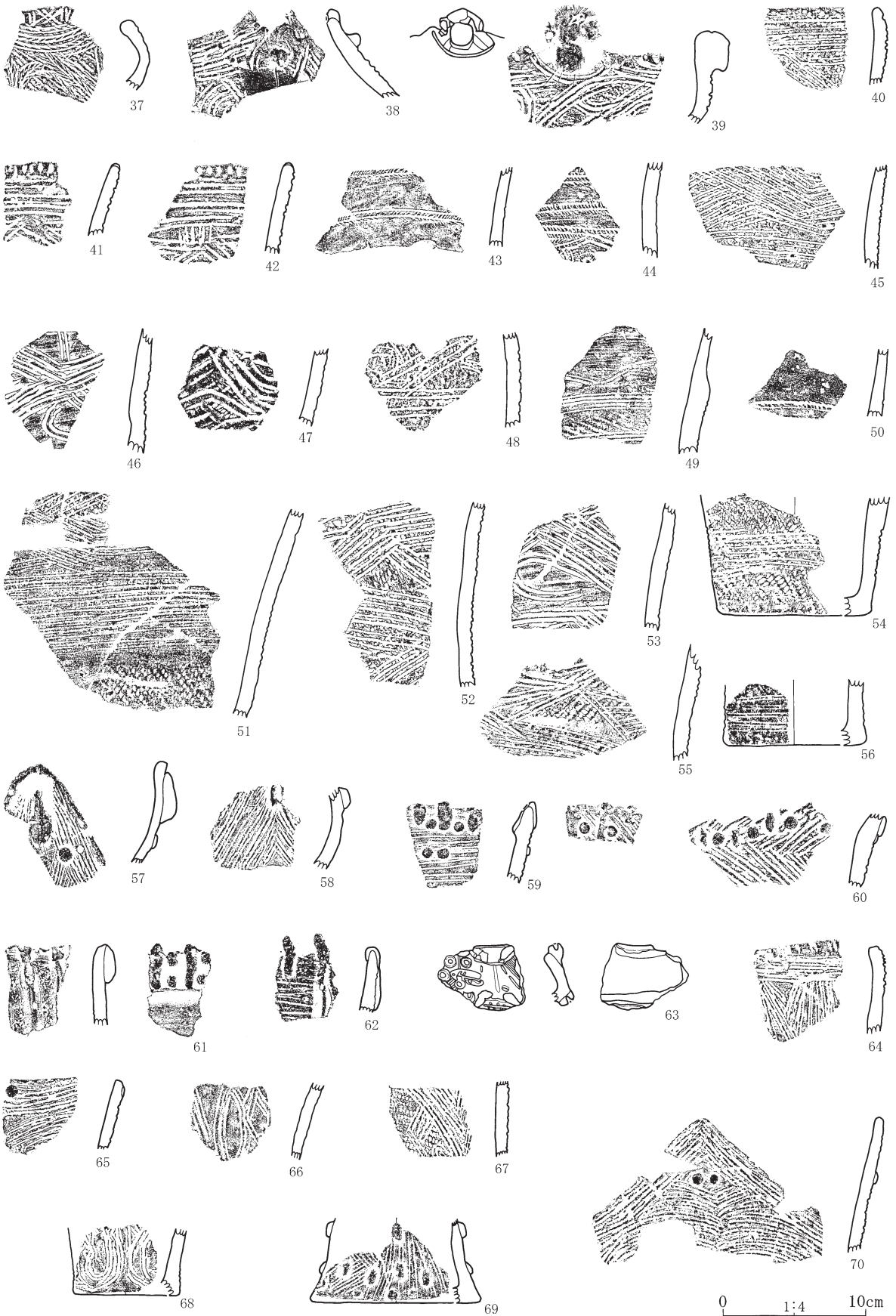


第5章第15図 III区グリッド配置図

第5章 III区の調査

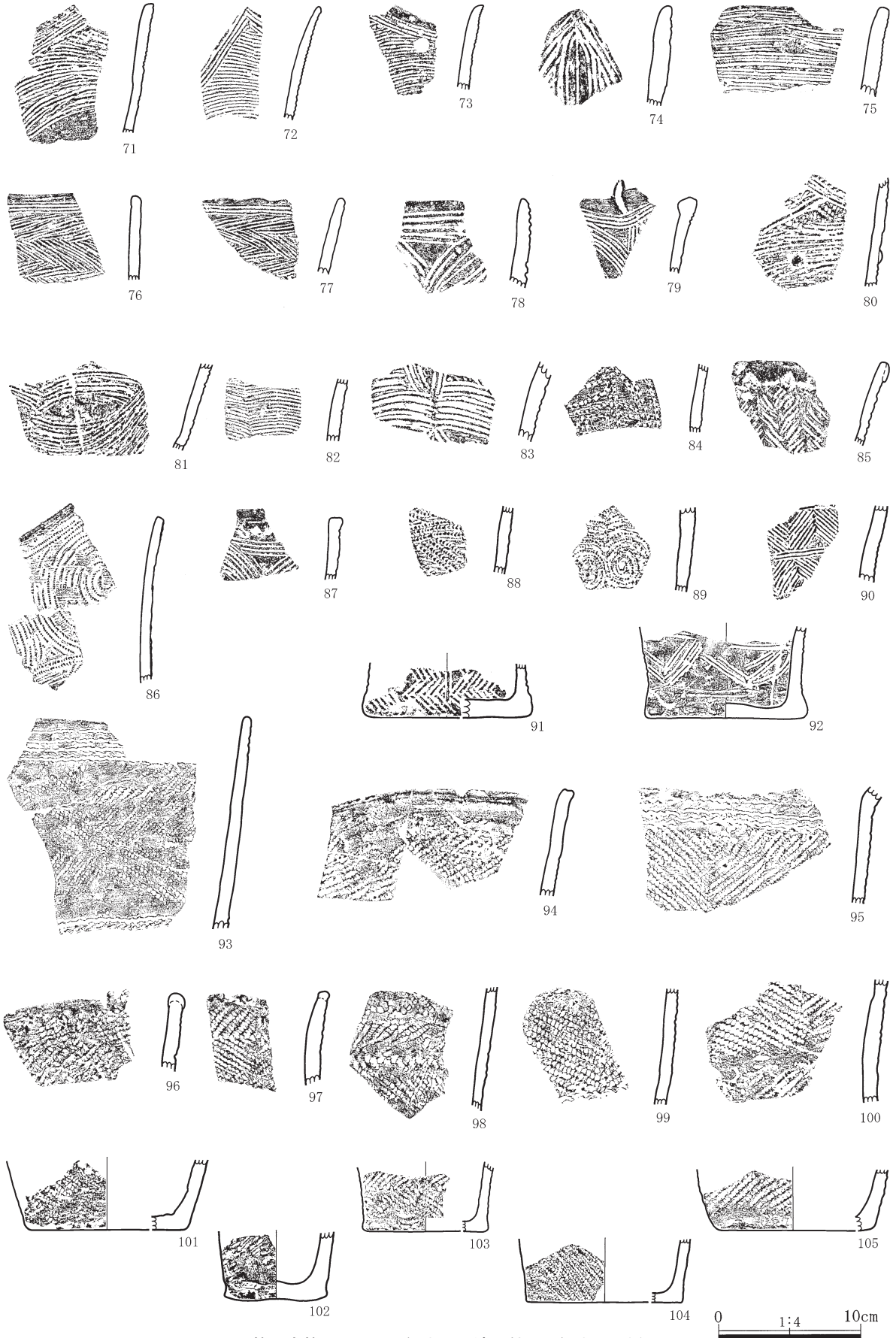


第5章第16図 III区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)



第5章第17図 III区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)

第5章 III区の調査

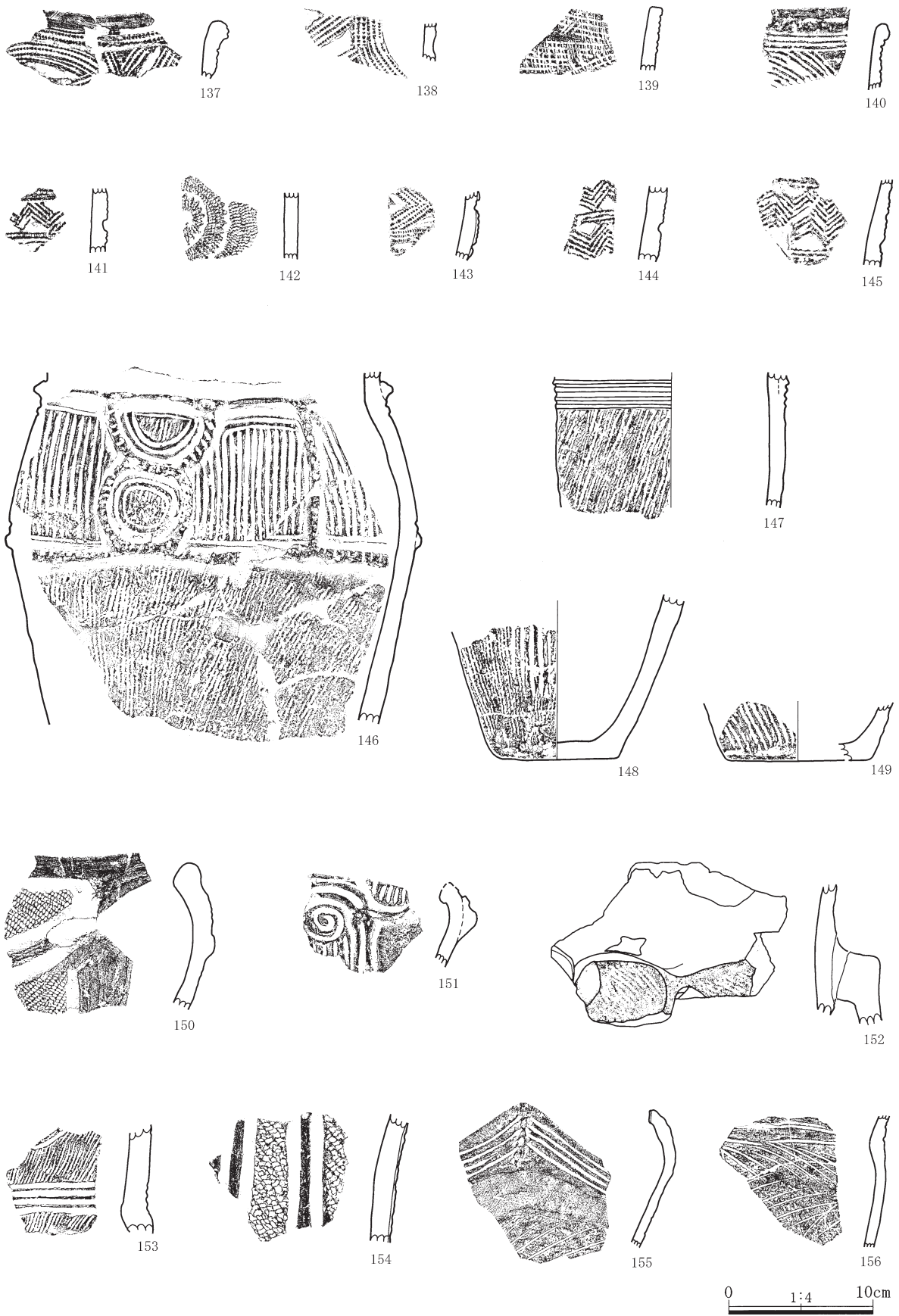


第5章第18図 III区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)



第5章第19図 III区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)

第5章 III区の調査



第5章第20図 III区縄文面 遺構外出土縄文土器(5)

第5章表6 III区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表(第5章第16~20図、PL.11~14)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	Cx-50G VII層、No41	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/3	細かい砂粒	諸磯a式(新)	口縁に沿って巾5mmの爪形文2条施文。縦位に平行沈線で区画し、米字文を作る。交点に円形の刺突文。
P 2	Da-53G X層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	φ7mmの円形刺突を縦位に施文。巾12mmの平行沈線を横位波状に施文する。
P 3	Da-53G X層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR5/4	細かい砂粒	諸磯a式(新)	φ6mmの円形刺突を縦位に施文。巾2~3mmの平行沈線を集合させ横位に施文。
P 4	Cy-45G VII層、No52	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	砂粒、白色粒	諸磯b式(古)	巾8mmの半截竹管による爪形文。爪形文間に刻みを持つ隆線。
P 5	Cx-44G VII層、No87	深鉢	破片	良	にぶい黄橙	10YR6/3	φ1mmの小石	諸磯b式(古)	巾5mmの半截竹管による木葉文とφ1mmの円形刺突。
P 6	Cx-45G No61・81	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/3	φ1mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。縄文原体RL横。
P 7	Cx-42G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	口縁「く」の字に屈曲する。浮線による文様施文。地文縄文が薄い。縄文原体RL。
P 8	Cu-53G X層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/3	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	断面凸形の浮線による弧線入り組の渦巻文。縄文原体RL。
P 9	Cy-43G VII層、No121	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	偏平な浮線による文様施文。地文縄文が薄い。縄文原体RL。
P 10	Cx-44G No65	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	口縁「く」の字に屈曲。浮線による曲線、渦巻文。縄文を浮線貼付後に施文している。縄文原体LR。
P 11	Cs-49G VI層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1~2mmの小石	諸磯b式(新)	口縁「く」の字に屈曲。偏平な浮線による施文。縄文原体RL。
P 12	Cy-44G VI層	浅鉢	破片	良	にぶい黄褐	10YR5/3	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中)	浮線による梯子状の文様。
P 13	Cw-47G VI層、No27	深鉢	口縁破片	普通	浅黄	2.5Y7/3	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤による突起。浮線による弧線、横線。浮線には矢羽根状の刻み。
P 14	Cu-53G VI層、No1	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤による突起。浮線による弧線、横線。浮線には矢羽根状の刻み。
P 15	Cw-44G VII層、No13	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による弧線、横線文、浮線には矢羽根状の刻み。口唇には刻みのない浮線で「×」字文。縄文原体RL。
P 16	Cx-44G VI層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画線と弧線、口唇に刻み。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体RL横。
P 17	Cw-47G VII層	深鉢	口縁破片	良	褐	10YR4/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横線。縄文原体RL。
P 18	Cx-45G VII層、No84	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画線と縦線。浮線には刻みを持つものと持たないものがある。
P 19	Cw-46G VI層、No2	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位区画線。浮線の胎土は土器本体と異なる。矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P 20	Da-53G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい黒色粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P 21	Cx-42G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/3	φ1~3mmの小石、黒色粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。
P 22	Cw-45G VII層、No51	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画と梯子状文。浮線の横位区画線は刻みを持つ。
P 23	Cw-46G VII層、No35	深鉢	胴部破片	普通	褐	10YR4/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線上に縄文施文。縄文原体RL。
P 24	Cx-43G VI層、No2	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線に矢羽根状の刻み。
P 25	Cw-47G VI層、No16	深鉢	胴部破片	不良	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位区画。区画内に「×」状の文様。浮線には間隔の狭い矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P 26	Cs-47G VII層、No12	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位区画と曲線。浮線は胎土を変え刻みを持つ。縄文原体RL。
P 27	Co-52G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい黒色粒	諸磯b式(中)	浮線による横位区画線。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P 28	Cy-51G VII層、No24	深鉢	底部	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。内面スス付着。縄文原体RL。
P 29	Cx-44G VII層、No34	深鉢	口縁破片	良	褐	10YR4/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻みを持ち突起状にする。巾5mmの平行沈線で斜格子に区画し釣り針状文。
P 30	Cy-44G VI層、No13	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻みを持ち突起状にする。巾3mmの平行沈線による横位区画。
P 31	Cy-44G VI層、No69	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい黒色粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻みを持ち側縁には粘土瘤を付け、獸面把手にする。巾5mmの沈線による弧線。縄文原体RL。
P 32	Cy-44G VI層、No98	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(新)	口縁くつ先状。巾3mmの平行沈線で渦巻状文を施文。平行沈線には、矢羽根状の刻みが加えられる。
P 33	Da-53G X層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁、巾6mmの平行沈線による横位区画。区画内弧線文。
P 34	Cw-47G VI層、No7	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾3mmの沈線による横位区画。口縁部区画内には弧線文が充填される。縄文原体RL。

第5章 III区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P35	Cy-51G VI層、No.6	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内に弧線文。縄文原体 RL。
P36	Cx-50G VI層、No.8	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR5/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(新)	口縁くつ先状。巾4mmの平行沈線による渦巻文。沈線に重ねて竹管による刺突文。
P37	Cx-51G VI層、No.21	深鉢	口縁破片	普通	褐	10YR4/4	φ1mmの小石	諸磯b式(新)	巾3mmの平行沈線による横位区画と弧線文。口唇には「×」字文。沈線に矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P38	Cx-46G VII層、No.3・4	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻みを入れ、3単位の突起を作る。側縁には粘土瘤を貼付し、巾4mmの平行沈線で半円状に囲む。口縁部文様は沈線により横位区画、渦巻文。縄文原体 RL。
P39	Cx-51G VII層、No.31	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	口縁部に粘土瘤を付け、獣面把手を作る。口唇部に刻み列。口縁には、巾4mmの平行沈線による弧線文。縄文原体 RL。
P40	Cw-45G VII層、No.36	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による横位区画。区画内に斜線文。縄文原体 RL。
P41	Cy-51G IV層、No.4	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾6mmの平行沈線による横位区画。区画内に斜線文。口唇に刻み列。42と同一個体。
P42	Cy-51G IV層、No.1	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	41と同一個体。
P43	Cx-50G VII層、No.26	深鉢	胴部破片	良	褐	7.5YR4/6	細かい砂粒	諸磯b式(新)	巾5mmの平行沈線による横位区画。沈線上に矢羽根状の刻み。
P44	Cx-50G VII層、No.33	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内に弧線文、渦巻文。沈線上に矢羽根状の刻み。
P45	Cy-44G VII層、No.83	深鉢	胴部破片	良	灰黄褐	10YR4/2	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による横位区画。区画内に斜格子文。縄文原体 RL?
P46	Cw-45G VII層、No.31	深鉢	胴部破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	巾6mmの平行沈線による横位区画。区画内に斜格子文や釣り針状文。
P47	Cx-45G VII層、No.49	深鉢	胴部破片	良	にぶい褐	7.5YR6/3	細かい黒色粒	諸磯c式(中1)	巾8mmの平行沈線による弧線文。
P48	Cy-44G VI層、No.31	深鉢	胴部破片	普通	褐	7.5YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾6mmの平行沈線による横位区画。区画内に釣り針状文、弧線文。縄文原体 RL?
P49	Ct-51G VII層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい黒色粒	諸磯b式(新)	巾3mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 RL。
P50	Db-48G VI層、No.10	深鉢	破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(新)	巾4mmの平行沈線による横位区画。沈線上に爪形状の刻み。
P51	4号トレンチ	深鉢	胴部破片	普通	褐	7.5YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による横位区画。区画内斜格子目文。縄文原体 RL。
P52	Cx-44G VI層、No.16・81	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐	10YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による斜格子目文。縄文原体 RL。
P53	Cy-45G VII層、No.28	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄褐	10YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による格子目文、釣り針状文。
P54	Cu-48G VI層	深鉢	底部破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 RL。
P55	Cw-50G VII層、No.6	深鉢	胴部破片	普通	褐	7.5YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内に斜格子目文。縄文原体 LR。
P56	Cw-45G VII層、No.32	深鉢	底部破片	不良	にぶい黄橙	10YR6/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(新)	巾3mmの平行沈線による横位区画。
P57	Cw-47G VII層、No.28・29	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～3mmの小石	諸磯c式(古)	波状口縁突起、棒状、ボタン状貼付文。巾2mmの平行沈線を集合化させ口縁に沿って施文する。
P58	Cs-47G VI層、No.1	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい黒色粒	諸磯c式(古)	波状口縁突起部。棒状貼付文。巾2mmの平行沈線を集合化させ突起部に矢羽根状に施文。
P59	Cs-47G VII層、No.11	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(新)	口縁折り返し。内外面に棒状、ボタン状、棒状貼付文。巾5mmの平行沈線横位、斜位に施文。
P60	Cr-47G VI層、No.24	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/3	φ1～3mmの小石	諸磯c式(新)	ボタン状、棒状貼付文。巾4mmの平行沈線を矢羽根状に施文。
P61	Cs-50G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒	諸磯c式(新)	口縁折り返し。口縁内面から外面に長い棒状貼付文。内面にボタン状貼付文。縄文原体 RL。
P62	Cy-49G VI層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/3	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	口縁内面から外面に長い棒状貼付文。巾4mmの平行沈線横位施文。
P63	Cp-51G VI層、No.2	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸磯c式(新)	ボタン状、棒状貼付文。巾2mmの平行沈線。
P64	Cy-44G VI層、No.26	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(古)	口唇部刻み。巾2mmの平行沈線を集合化させて横位区画。胴部縦位区画と矢羽根状文。
P65	Cs-50G VI層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR5/3	細かい砂粒	諸磯c式(古)	波状口縁。巾3mmの平行沈線が口縁に沿って施文される。
P66	Cs-49G VI層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい黒色粒	諸磯c式(古)	巾3mmの平行沈線による対弧文と斜格子目文。
P67	Cy-44G VI層、No.21	深鉢	胴部破片	普通	褐	7.5YR4/4	φ1～3mmの小石	諸磯c式(古)	巾3mmの平行沈線による弧線矢羽根状文。縄文原体 RL。
P68	Cr-50G VII層、No.2	深鉢	底部破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい黒色粒	諸磯c式(古)	巾4mmの平行沈線による弧線文。
P69	Cx-51G VI層、No.4・12	深鉢	底部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	細かい黒色粒	諸磯c式(新)	ボタン状、棒状貼付文。巾3mmの平行沈線を集合化させて縦位区画。区画内に斜線。

第2節 III区遺構外

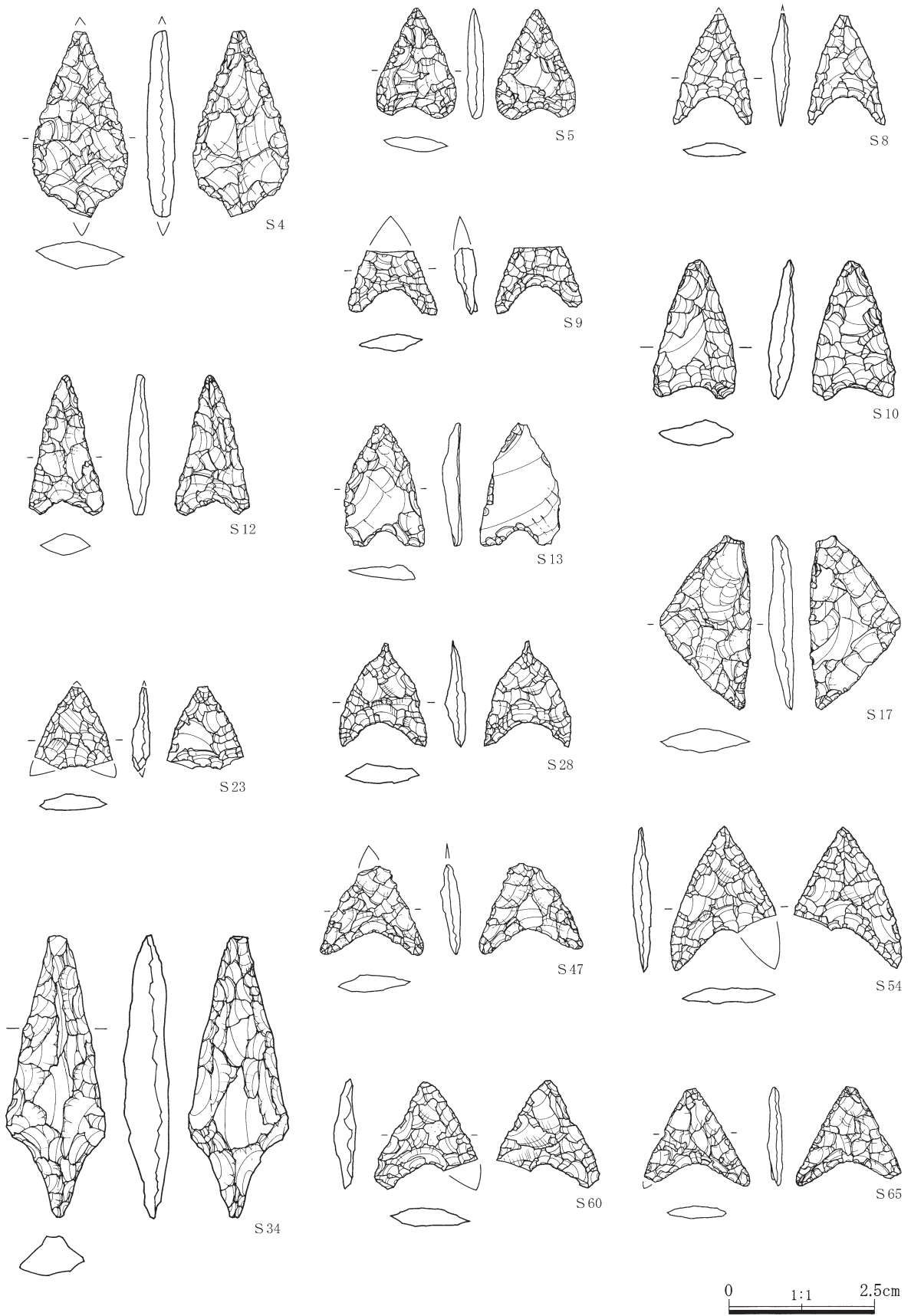
番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P70	Cs-50G VI・VII層 Cs-51G VI層、No.3	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR5/3	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新) 下島	波状口縁。巾3mmの平行沈線が口縁に沿って数条施文される。口縁部には弧線。波頂部下にボタン状貼付文。
P71	Cs-50G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯c式(新) 下島	波状口縁。巾3mmの平行沈線が口縁に沿って数条施文される。口縁部には弧線文。
P72	Cr-47G VII層、No.41	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(新) 下島	波状口縁。巾3mmの平行沈線が口縁に沿って数条施文される。口縁部には弧線文。内面スス付着。
P73	Cr-47G VI層、No.20	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(新) 下島	波状口縁。巾2mmの平行沈線が口縁に沿って施文。口縁部文様は弧線文。補修孔あり。
P74	Cr-50G VII層、No.15	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(新) 下島	波状口縁。巾5mmの平行沈線が口縁に沿って施文される。口縁部文様は対弧文。
P75	Cr-50G VII層、No.13	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯c式(新)	巾4mmの平行沈線を集合させ横位区画。
P76	Cs-48G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯c式(新) 下島	巾3mmの平行沈線を集合させ口縁に沿って施文。矢羽根状文。
P77	Cr-47G VI層、No.1	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/3	細かい砂粒	諸磯c式(新) 下島	巾3mmの平行沈線を集合させ口縁に沿って施文。矢羽根状文。
P78	Cr-47G VI層、No.8	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい黒色粒	諸磯c式(新) 下島	巾5mmの平行沈線を口縁に沿って施文。口縁部文様部に弧線文。
P79	Cv-51G VII層、No.12	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい黒色粒	諸磯c式(新) 下島	波状口縁波底部に突起。巾3mmの平行沈線を口縁に沿って施文。渦巻文。
P80	Cs-50G VI層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新) 下島	巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内に三角文。ボタン状貼付文。
P81	Cs-50G VII層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄褐	10YR5/3	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新) 下島	巾3mmの平行沈線を集合させレンズ状施文。
P82	Cs-47G VII層、No.10	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/2	細かい砂粒	諸磯c式(新) 下島	巾3mmの平行沈線を集合させ連弧状に施文。
P83	Cr-47G VI層、No.4	深鉢	口縁破片	普通	褐	10YR4/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新) 下島	巾5mmの平行沈線で対弧文や連弧文施文。
P84	Cl-56G X層	深鉢	胴部破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯c式(新) 下島	巾2mmの結節沈線により弧線文施文。
P85	Cs-51G VII層、No.13	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新) 大木-下島	口縁部肥長させ鋸歯状の裝飾帯。巾3mmの平行沈線と単沈線で矢羽根状文を作る。
P86	Cc-54G VI層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR5/3	φ1～3mmの小石	諸磯c式(新) 下島	地文に横位の平行沈線、結節浮線による渦巻文を施文する。
P87	Cp-44G VII層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/3	φ1～3mmの小石	諸磯c式(新)	口縁部肥長させ鋸歯状の裝飾帯を作る。巾4mmの平行沈線による弧線。
P88	Cs-46G VII層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR6/3	細かい黒色粒	諸磯c式(新) 下島	地文に横位の平行沈線、結節浮線を横位、斜位に施文。
P89	Cr-51G VII層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR6/3	細かい砂粒	諸磯c式(新) 下島	地文に横位の平行沈線、結節浮線で連弧文や渦巻文施文。
P90	Cl-47G VII層	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石	十三菩提式	巾3mmの平行沈線による鋸歯文。
P91	Cr-51G VII層、No.29	深鉢	底部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい黒色粒	十三菩提式	巾4mmの平行沈線による縦位区画と鋸歯文。
P92	Cr-51G VII層、No.36・37	深鉢	底部	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新) 下島	巾5mmの平行沈線による横位区画。区画内鋸歯状に施文。
P93	Cf-58G VII・X層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/3	φ1～2mmの小石、繊維	黒浜式	巾7mmの半截竹管によるコンパス文を口縁部、頸部に施文。
P94	Cr-51G VII層、No.44～47	深鉢	口縁破片	普通	褐	10YR4/4	φ1mmの小石	諸磯c式(古)	口唇を肥厚させ、横位にナデ無文帯を作る。縄文原体LR。
P95	Cf-58G X層	深鉢	胴部破片	普通	灰黄褐	10YR4/2	φ1～3mmの小石	黒浜式	頸部に巾6mmの半截竹管によるコンパス文。縄文原体RL、Lr。羽状縄文。
P96	Cr-50G VI層、No.6	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐	10YR4/3	φ1mmの小石	諸磯c式(古)	口唇部ナデ無文帯を作る。棒状貼付文を口唇内外面に付ける。縄文原体LR横。
P97	Ct-50G VII層、No.4	深鉢	口縁破片	普通	褐	10YR4/4	細かい砂粒	諸磯c式(古)	口唇部に粘土瘤を貼付し3単位の突起を作る。縄文原体RL、LR。羽状縄文。
P98	Cl-56G VII層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄褐	10YR5/3	φ1mmの小石	諸磯c式(古)	巾3mmの平行沈線が斜位に乱雑に施文。縄文原体RL、LR。羽状縄文。
P99	Cf-58G X層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄褐	10YR5/3	φ1mmの小石、繊維	黒浜式	上部にコンパス文。縄文原体RL、LR横。羽状縄文。
P100	Cf-58G VII層	深鉢	破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石、繊維	黒浜式	縄文原体RL、Lr。羽状縄文。
P101	Cx-42G VII層	深鉢	底部破片	普通	にぶい褐	7.5YR6/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原体RL。
P102	Ct-50G VII層、No.3	深鉢	底部破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式	縄文原体Lr。
P103	Cr-47G VII層、No.39	深鉢	底部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式	縄文原体RL、LR。羽状縄文。
P104	Cw-47G VII層、No.33	深鉢	底部破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式	縄文原体RL附加状1種。
P105	Cf-58G X層	深鉢	底部破片	普通	にぶい褐	7.5YR6/3	φ1～2mmの小石	黒浜式	縄文原体LR。

第5章 III区の調査

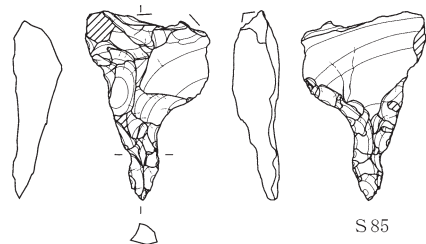
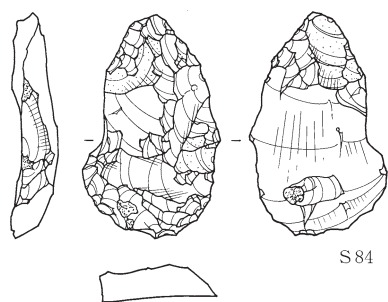
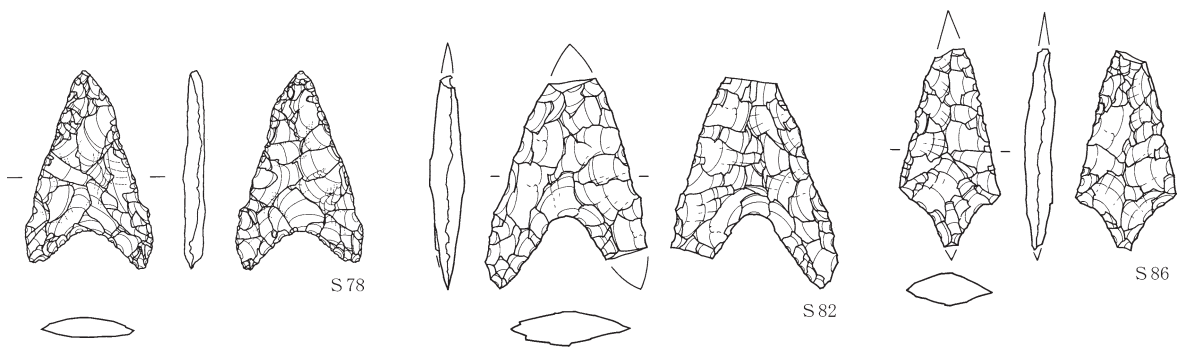
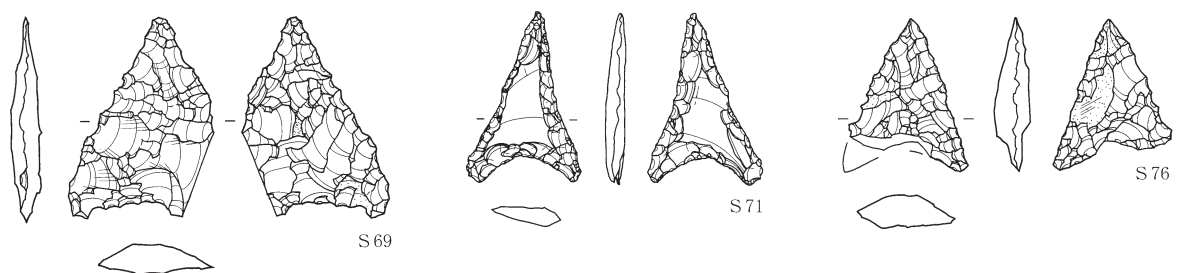
番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P106	Db-47G VI層、No.2・3	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	興津I式	口唇部に縦线条線帯。口縁部に横位の貝殻腹縁文。
P107	Cw-46G VII層、No.38	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/3	φ1～2mmの小石	浮島III式	口唇部、口縁部に三角文を持ち、間に変形爪形文を施文する。
P108	Dc-50G	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	興津II式	貝殻腹縁文、凹凸文施文。
P109	Cx-49G VI層、No.6	浅鉢	破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～3mmの小石	諸磯	口縁折り返し。内外面横位のミガキ整形。
P110	Cx-47G VI層、No.7	浅鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯	口縁折り返し。内外面横位のミガキ整形。
P111	Co-51G VI層、No.1・2 VII層、No.5	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	大木5	口縁折り返し。縄文施文。縄文原体 RL、LR。羽状縄文。
P112	Co-50G VI・VII層、No.1 Co-49G VI層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1～2mmの小石	大木5	口縁折り返し。縄文施文。縄文原体 RL、LR。羽状縄文。
P113	Cp-51G VI層、No.1・4	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	大木5	口縁折り返し。縄文施文。縄文原体 RL、LR。羽状縄文。
P114	Cc-54G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/3	細かい砂粒	大木5	粘土紐を鋸歯状に貼付、ボタン状貼付文。縄文原体 RL。
P115	Cr-51G VII層、No.23	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	大木5	粘土紐を鋸歯状に貼付。縄文原体 LR。
P116	Ck-48G IX層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	大木5	粘土紐を鋸歯状に貼付。縄文原体 RL。
P117	Cc-54G VII層	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒	大木5	粘土紐を鋸歯状に貼付。縄文原体 Lr。
P118	Cs-51G VII層、No.8	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	大木5	粘土紐を鋸歯状に貼付。縄文原体 Lr。
P119	Cp-44G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	砂粒多い	大木5	粘土紐を鋸歯状に貼付。縄文原体 RL。
P120	Cs-50G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒	大木5	粘土紐を鋸歯状に貼付。縄文原体 RL。
P121	Cx-46G VII層、No.37	深鉢	胴部破片	普通	灰黄褐	10YR5/2	細かい砂粒	大木5	粘土紐を鋸歯状に貼付。縄文原体 RL、LR。羽状縄文。
P122	3号トレンチ	深鉢	胴部破片	不良	にぶい黄橙	10YR6/4	砂粒多い	大木5	粘土紐を鋸歯状に貼付。縄文原体 RL。
P123	Cs-47G VI層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒	大木5	2条の粘土紐を鋸歯状に貼付。縄文原体 RL。
P124	Cr-49G VI層 Cr-50G VII層、No.25	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	口唇に刻み、頸部に刻みの付けられた隆線が廻る。
P125	Cx-44G VII層、No.50	有孔浅鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(中)	巾10mmの半截竹管による木葉文。
P126	Cx-45G VI層、No.30	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中)	巾8mmの半截竹管による木葉文。縄文原体 RL横。
P127	Da-53G X層	有孔浅鉢	胴部破片	良	にぶい黄褐	10YR5/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	巾13mmの半截竹管による木葉文。
P128	Cy-42G VII層	有孔浅鉢	破片	良	灰黄褐	10YR6/2	φ1mmの小石	諸磯b式(新)	無文。
P129	Cy-51G VII層、No.22	有孔浅鉢	口縁破片	不良	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい砂粒多い	諸磯a式(新)	巾3mmの半截竹管による木葉文。
P130	Cy-43G VII層、No.112	有孔浅鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1mmの小石	諸磯b式(中)	巾14mmの半截竹管による木葉文。
P131	Cv-45G VI層、No.1	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	外面に赤色塗彩。
P132	Da-53G X層	浅鉢	破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾4mmの半截竹管による爪形文。赤色塗彩。縄文原体 LR。
P133	Cx-46G VII層	土製品	完形	良	にぶい褐	7.5YR6/3	細かい砂粒	諸磯	底部縁片を打ち欠いて土製円盤にしている。
P134	Cr-47G VI層、No.12 Cr-48G VI層、No.6	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい砂粒、φ1～2mmの小石	十三菩提式	波状口縁波底部に2単位の突起。結節沈線による弧線文。文様間に三角の印刻。
P135	Cr-47G VI層、No.11	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒、φ1～2mmの小石	十三菩提式	結節沈線による弧線文。レンズ状の印刻を持つ。
P136	Cr-47G VII層、No.49	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	十三菩提式	折り返し口縁で肥厚する。巾2mmの集合沈線により横位区画と鋸歯文。三角印刻。
P137	Cr-48G VI層、No.8	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/3	細かい砂粒、φ1～2mmの小石	十三菩提式	口縁上部に3条の結節浮線が廻る。口縁部文様は、弧状、鋸歯状に結節沈線施文。文様間に印刻。
P138	Cr-46G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	十三菩提式	結節沈線による弧線、斜線文。文様間に印刻。
P139	Ch-57G VI層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい砂粒、黒色粒	十三菩提式	平行沈線による斜線、弧線を縦位に沈線を施文し、結節沈線状にする。
P140	Cr-51G VI層、No.2	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒、黒色粒	十三菩提式	口縁折り返し肥厚する。肥厚部に沿って4本の沈線が廻り、下部に弧線が施文される。

第2節 III区遺構外

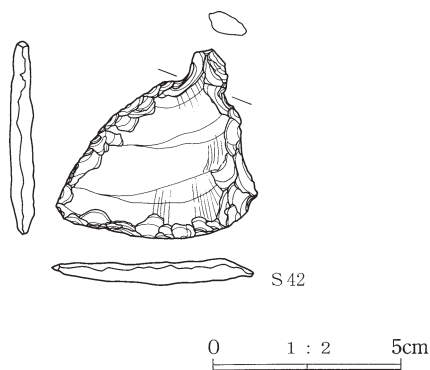
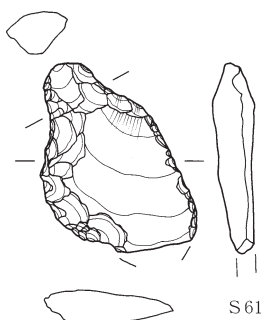
番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P141	Cs-48G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒、黒色粒	十三菩提式	平行沈線による横位区画。区画内に平行沈線による鋸歯文。三角の印刻。
P142	Co-49G Ⅵ層、No.4	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒、黒色粒	十三菩提式	巾2mmの半截竹管を3個単位で爪形施文する。三角印刻で歯車状に施文。
P143	Cs-47G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	十三菩提式	結節沈線による斜格子目文。文様間に印刻。
P144	Cr-46G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい砂粒	十三菩提式	半截竹管による平行沈線で鋸歯状に施文。文様間に三角印刻。
P145	Cq-48G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/3	細かい砂粒	十三菩提式	半截竹管による平行沈線で鋸歯状に施文。文様間に三角印刻。
P146	Cx-50G Ⅶ層、No.37~39	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	勝坂Ⅲ式	太さ6~8mmの隆線により横位に文様帯を区画、区画内には隆線に刻みを施したもので円形の文様を描き、沈線が充填される。縄文原体Lr擦糸。
P147	Cx-50G Ⅶ層、No.19・36	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	勝坂Ⅲ式	胴部に巾5mm程の平行沈線が2単位廻り区画する。区画下は擦糸施文。縄文原体Lr擦糸。
P148	Cx-50G Ⅶ層、No.37 Cx-49G Ⅵ層、No.49	深鉢	底部	良	にぶい赤褐	5YR5/3	細かい砂粒、φ1mmの小石	加曾利EⅠ式	巾6mmの半截竹管2単位の縦位区画線。縄文原体Lr擦糸。
P149	Ct-47G Ⅶ層、No.5	深鉢	底部破片	良	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	加曾利EⅠ式	擦糸施文。Rl擦糸。
P150	Ck-48G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR6/3	砂粒、φ1mmの小石	加曾利EⅢ式	太い隆沈線により口縁部に楕円の区画。口縁から胴部に縦位の沈線で区画する。縄文原体RL。
P151	Cv-51G Ⅶ層、No.7	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	加曾利EⅡ式	沈線による渦巻文と腕骨文の縦位区画。
P152	Cn-45G Ⅶ層	両耳壺	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒、黒色粒	加曾利EⅢ式	縄文原体RL横。
P153	Cw-48G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	普通	褐	7.5YR4/4	φ1~2mmの小石	加曾利EⅢ式	胴部に4条の沈線が廻る。縄文原体Lr擦糸縦。
P154	Ch-57G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1~2mmの小石、軽石粒	加曾利EⅢ式	太さ10mmの沈線2条を対にして垂下させる。RLR横。
P155	Cq-53G Ⅵ層、No.2	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/3	細かい黒色粒	加曾利BⅠ式	波状口縁頂部から指頭痕のある隆線。4条の沈線が口縁に沿って施文。頸部は太さ1mmの沈線が矢羽根状に施文される。
P156	Cp-52G Ⅵ層、No.1・2 Cp-53G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい黒色粒	加曾利BⅠ式	胴部くびれ部に沈線が廻る。太さ1mmの沈線が矢羽根状に施文。



第5章第21図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)



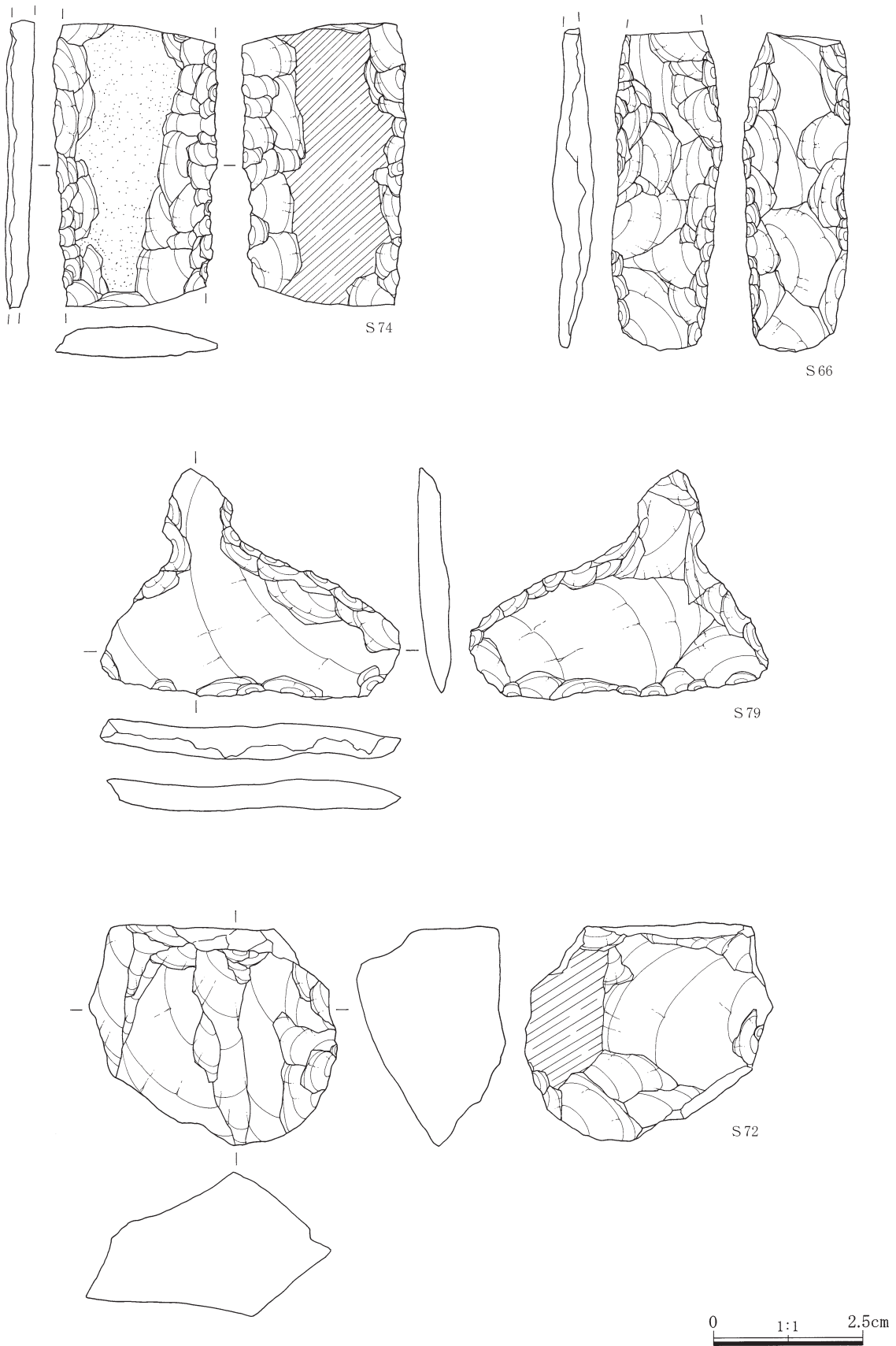
0 1:1 2.5cm



0 1:2 5cm

第5章第22図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)

第5章 III区の調査

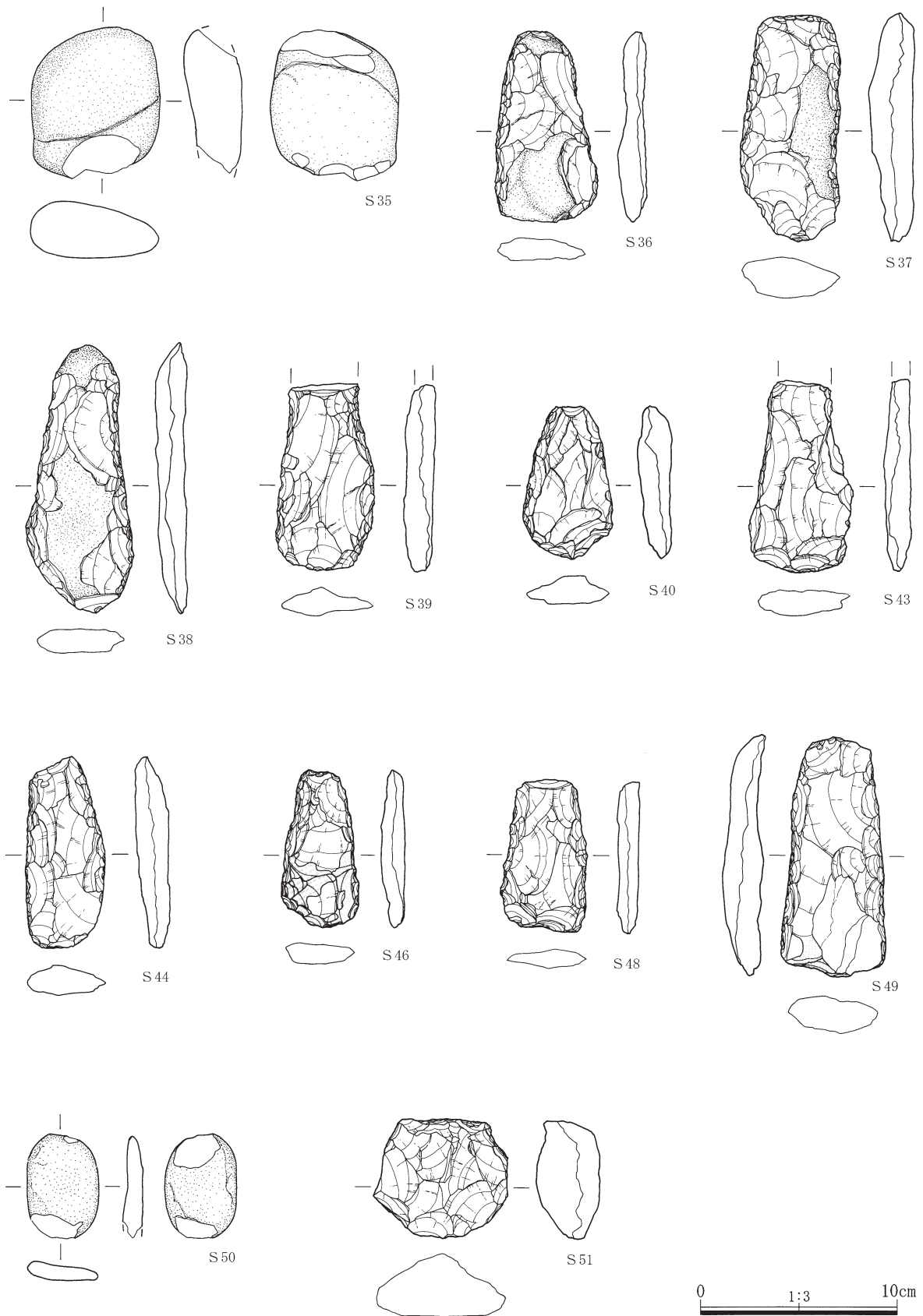


第5章第23図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(3)



第5章第24図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(4)

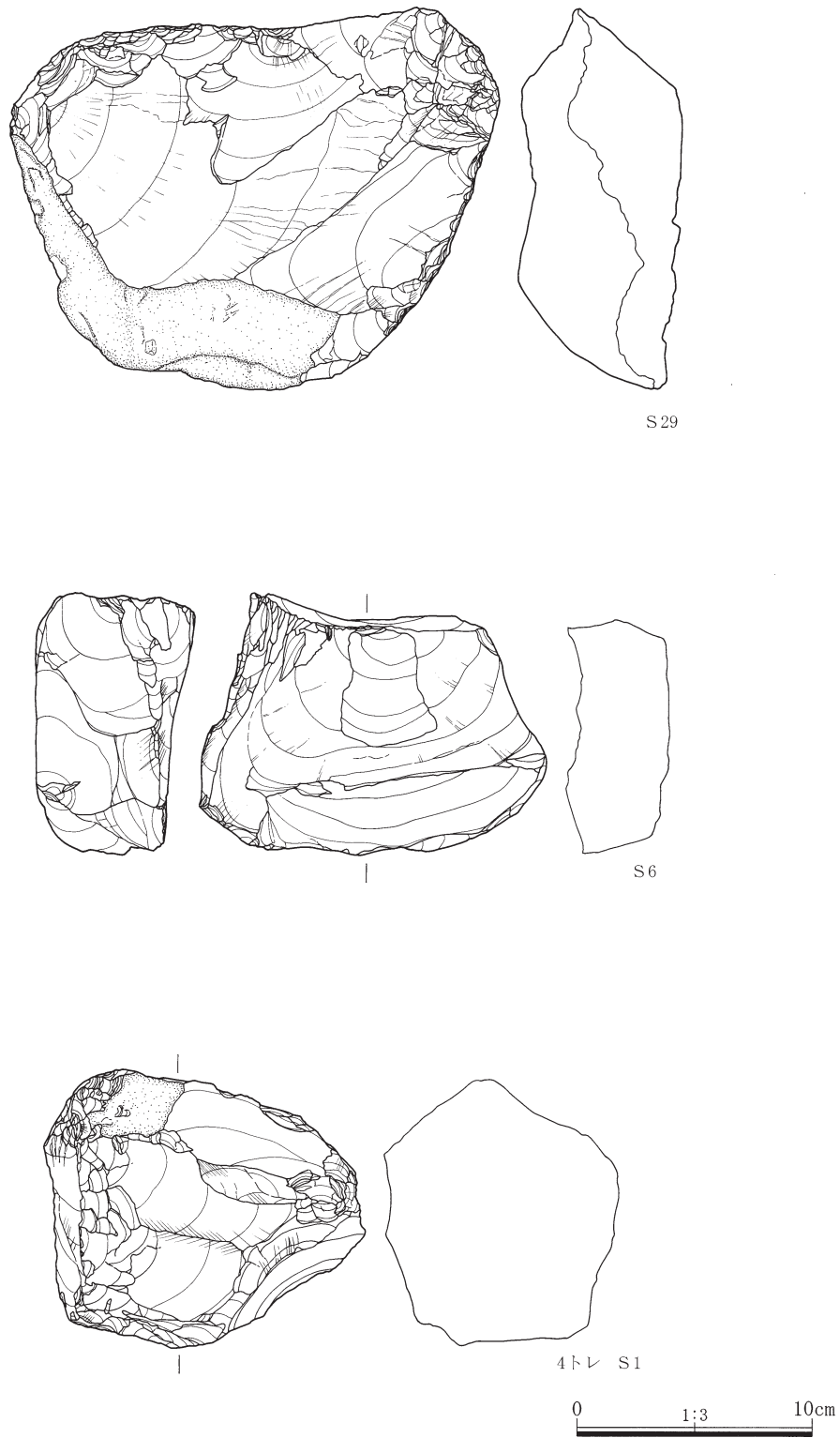
第5章 III区の調査



第5章第25図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(5)



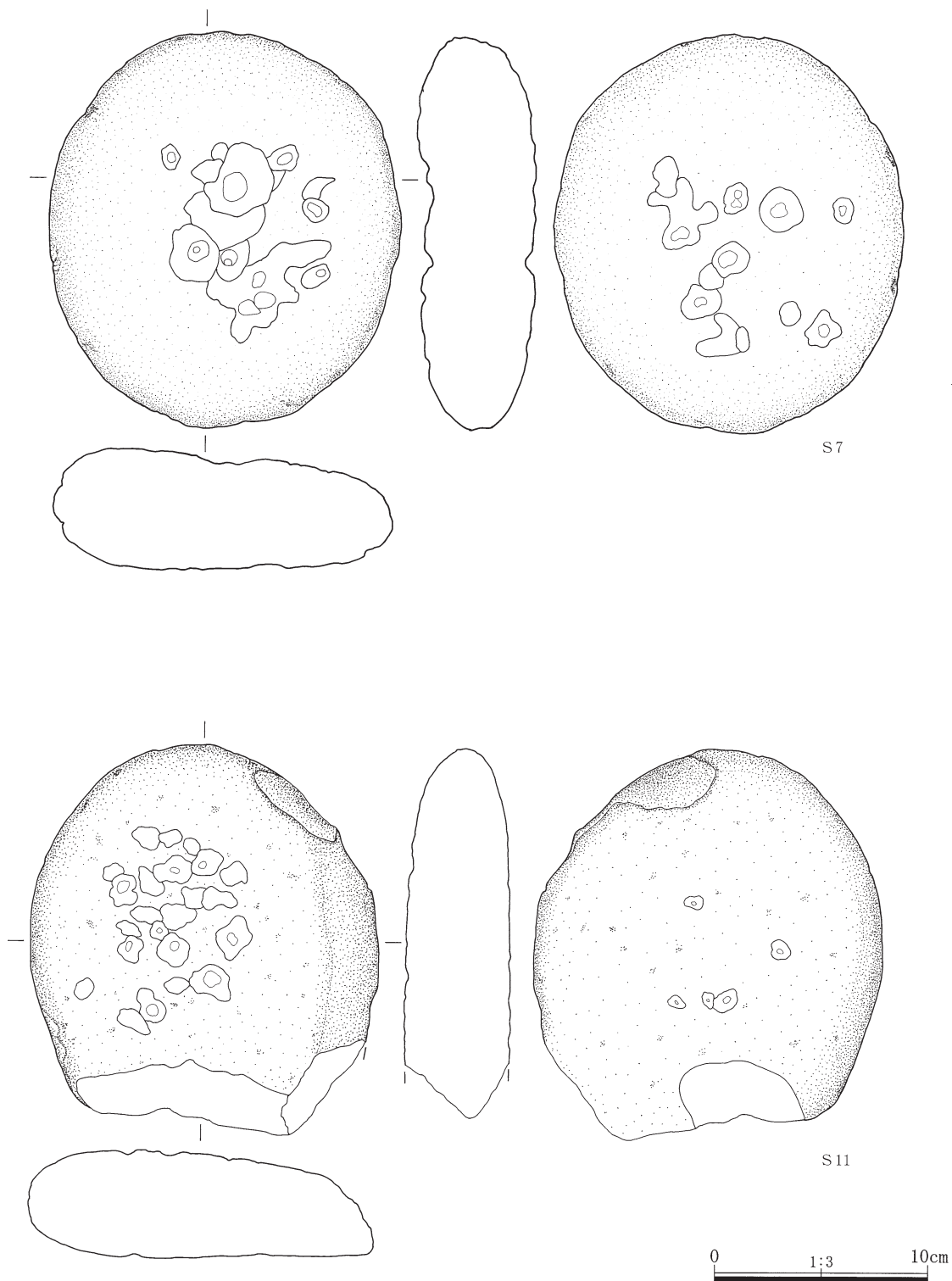
第5章第26図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(6)



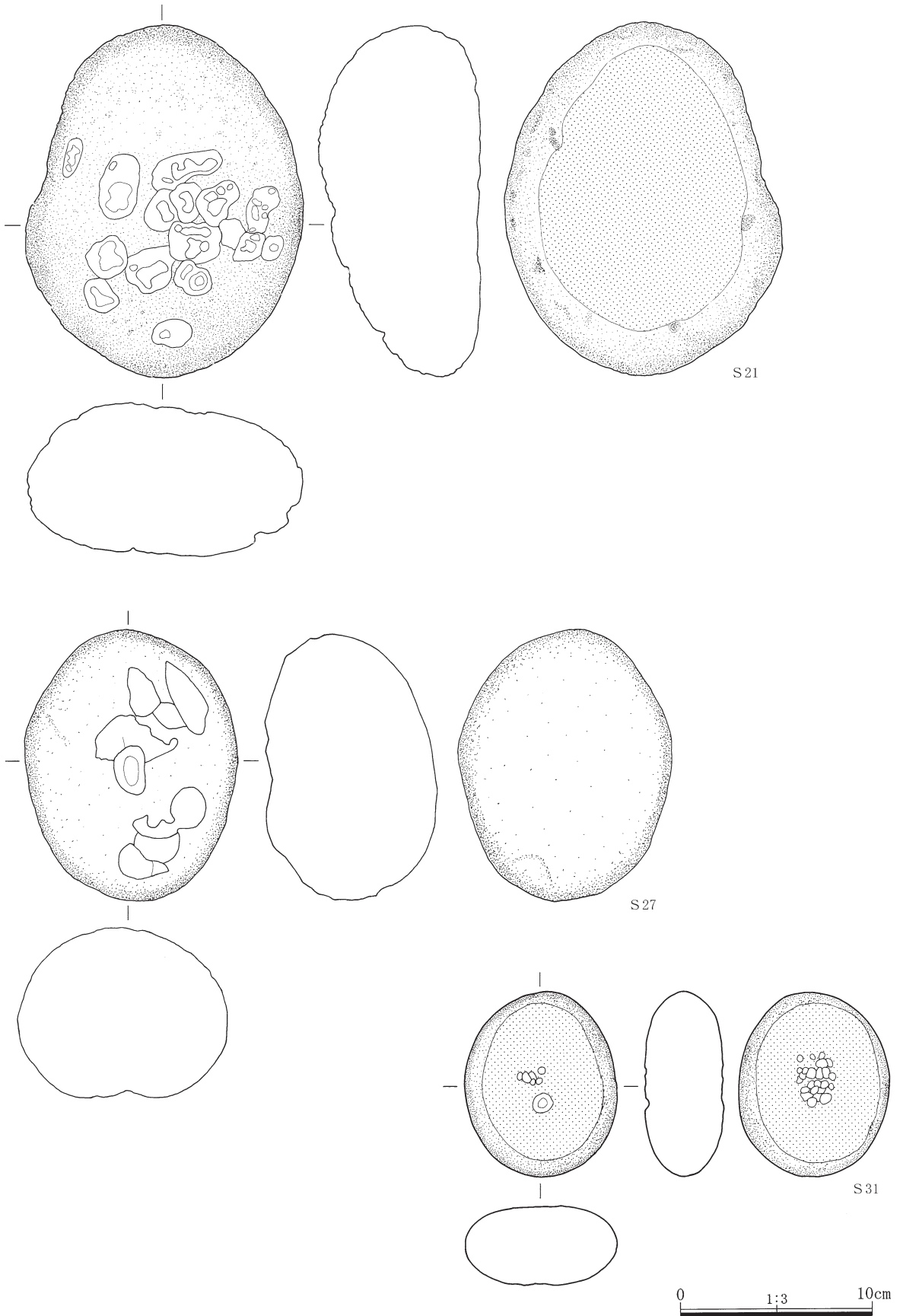
第5章第27図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(7)

第5章表7 III区4号トレンチ出土縄文石器観察表 (第5章第27図、PL.18)

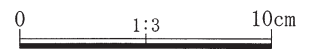
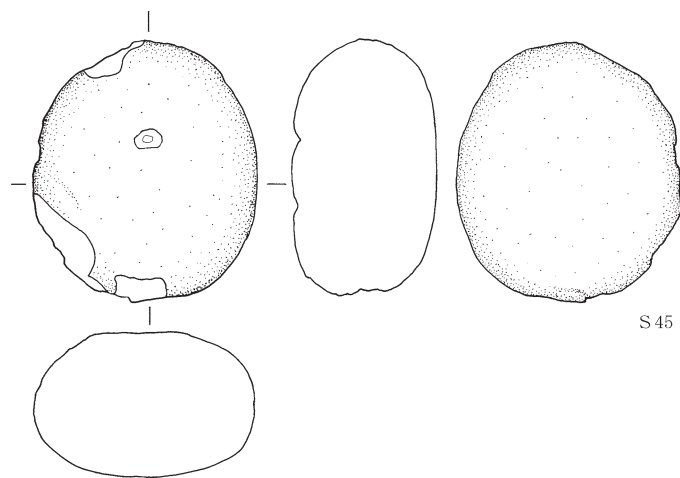
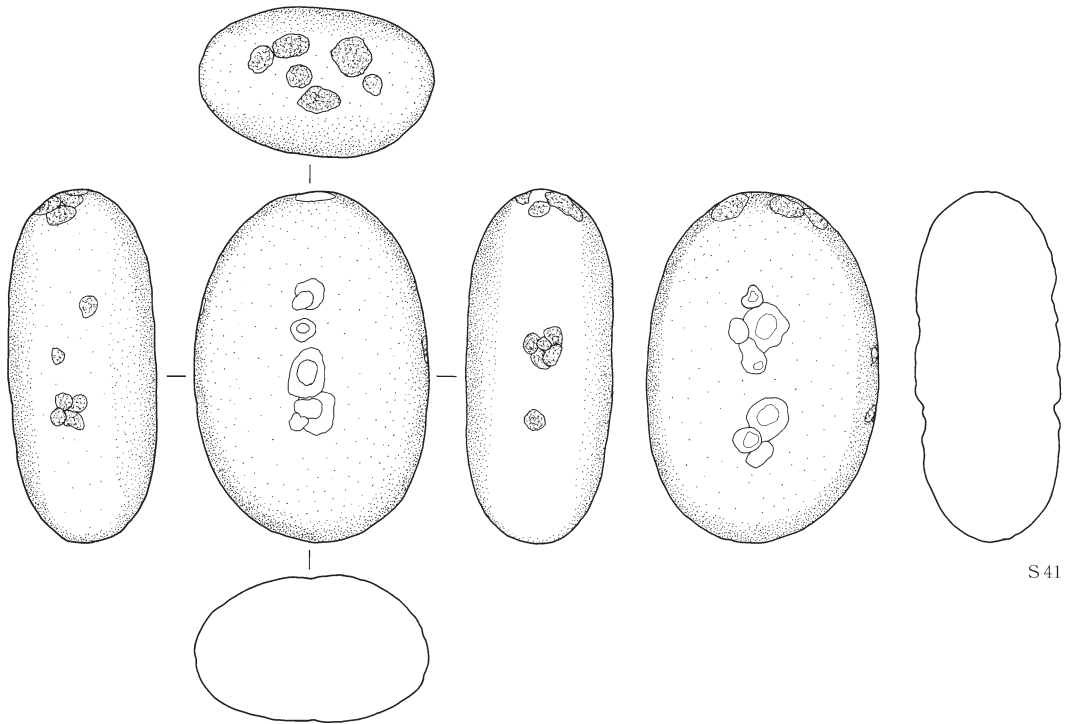
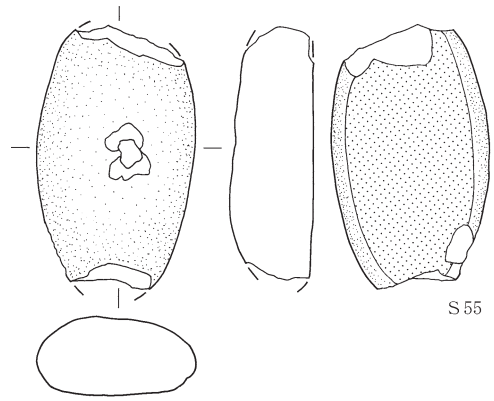
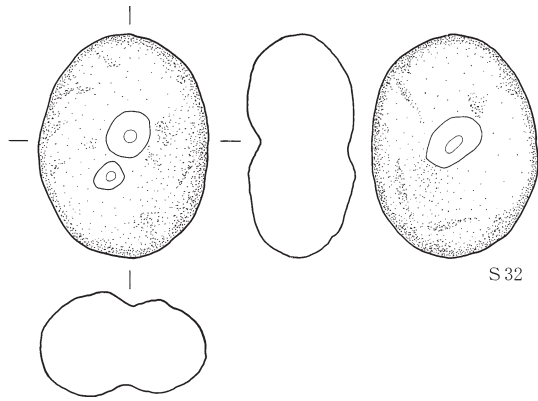
番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	埋没土	石核	完形	13.10	11.30	10.70	2,020.00	黒色頁岩	粗粒輝石安山岩	一部表面残存。



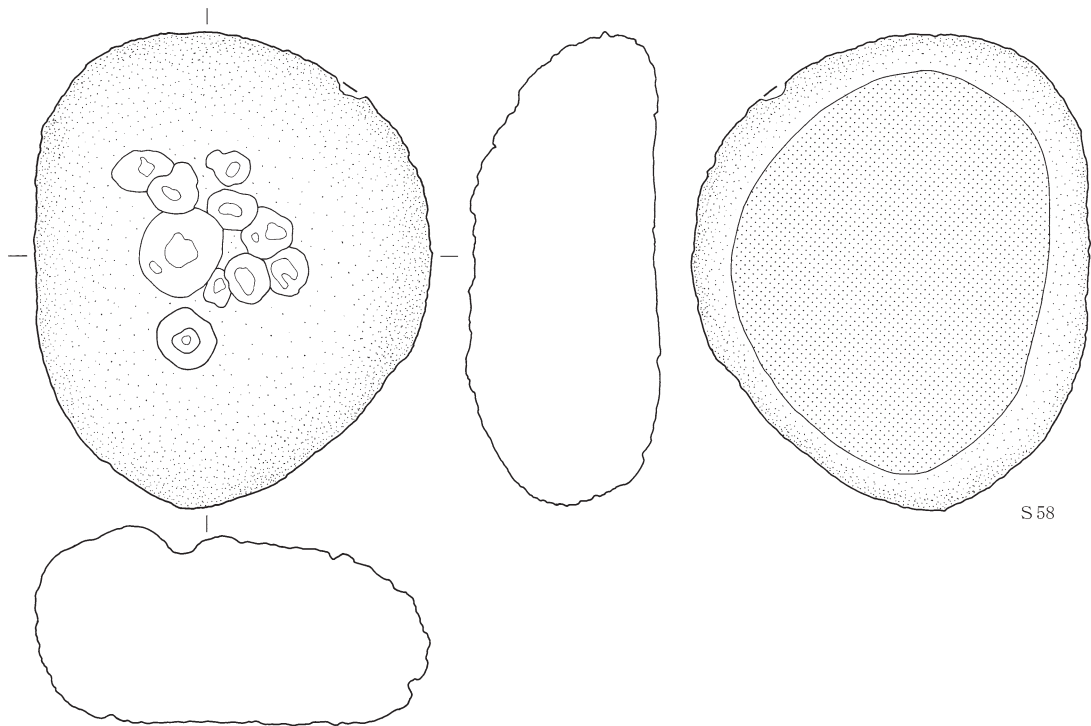
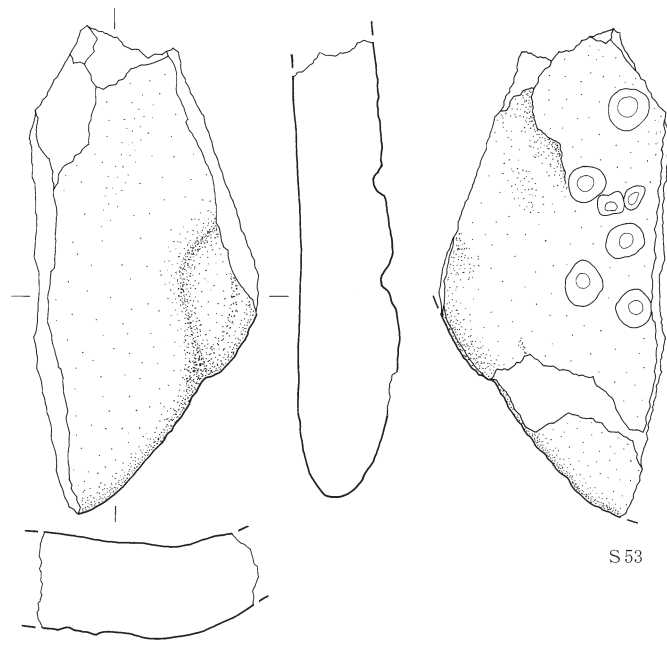
第5章第28図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(8)



第5章第29図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(9)

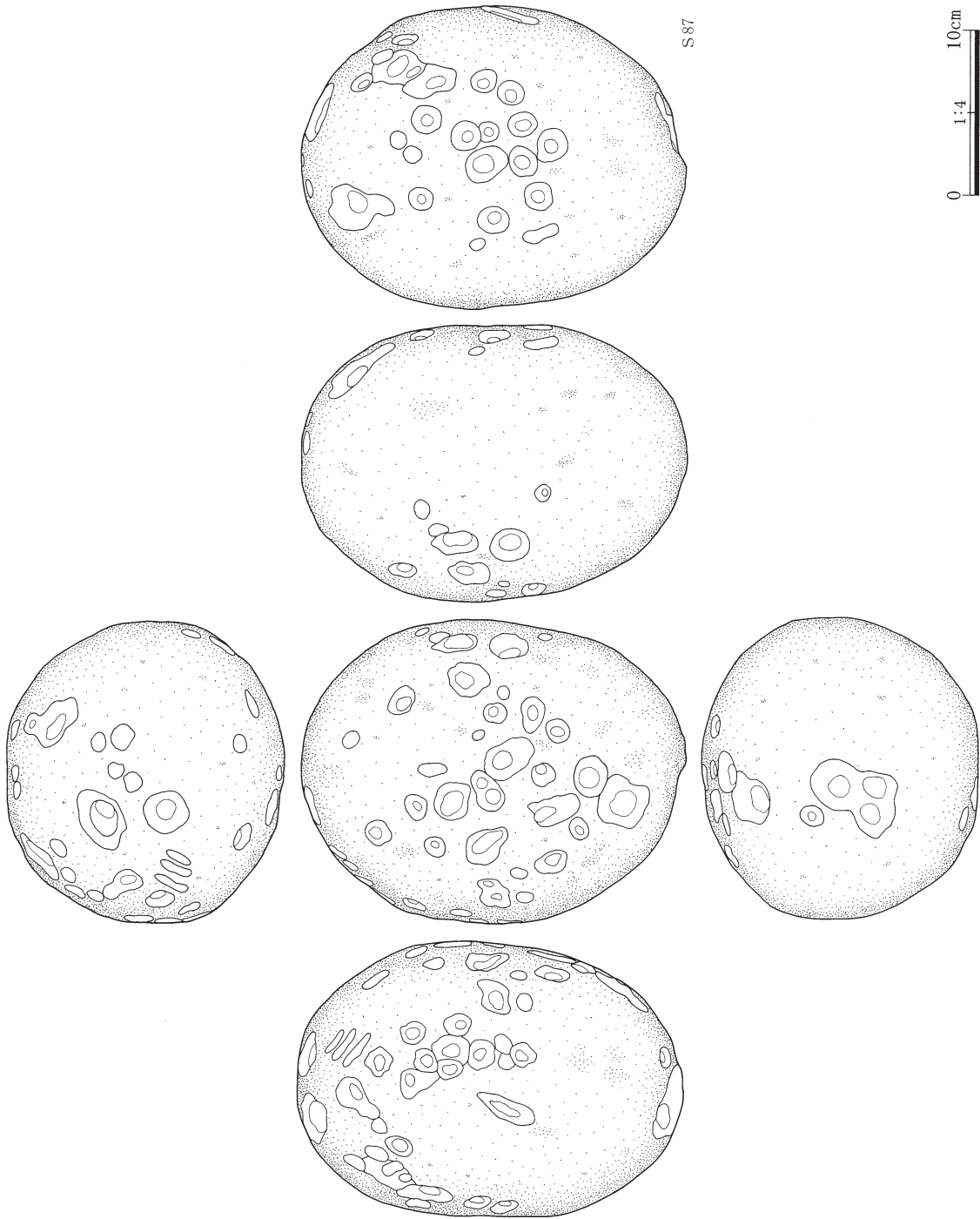


第5章第30図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(10)



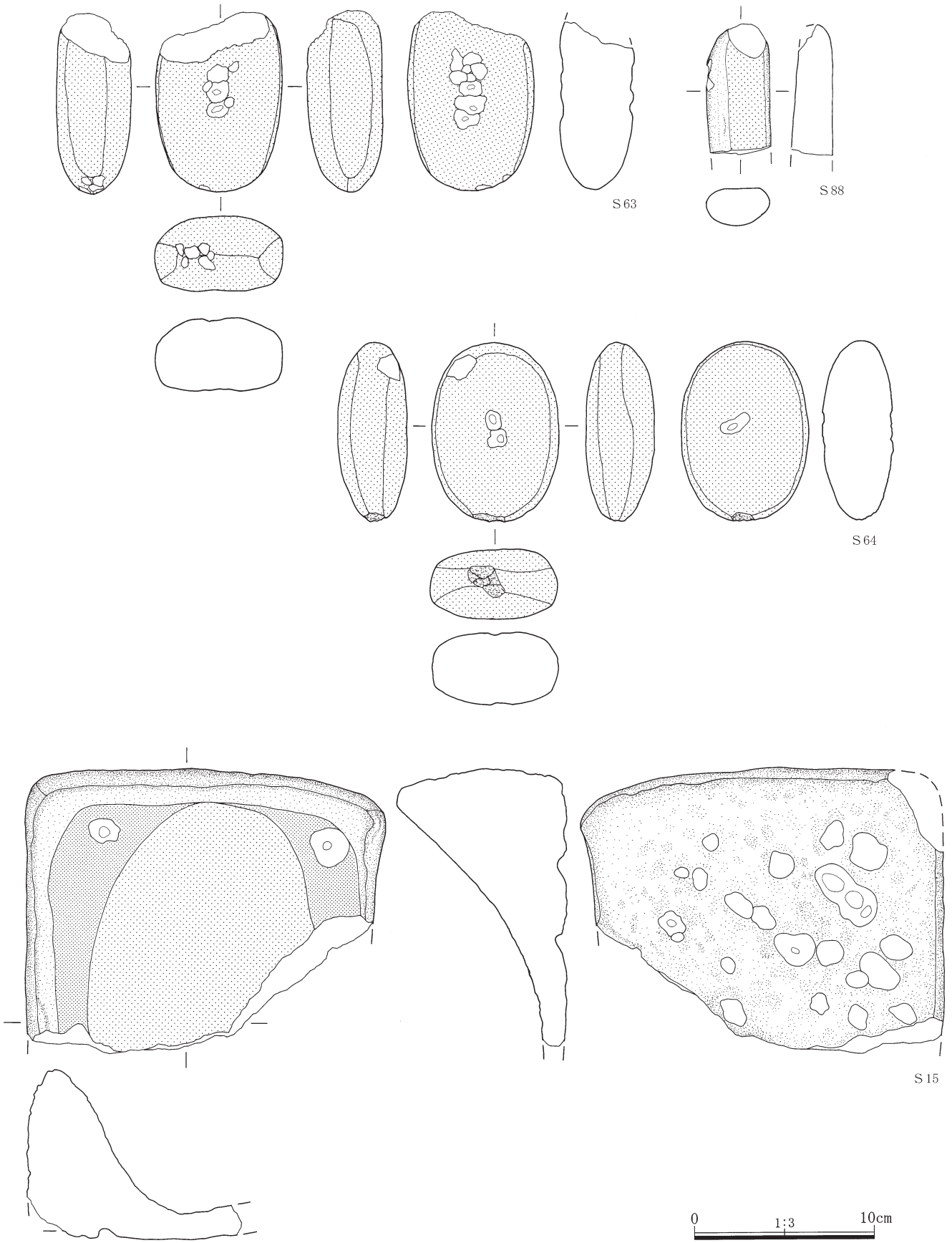
0 1:3 10cm

第5章第31図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)

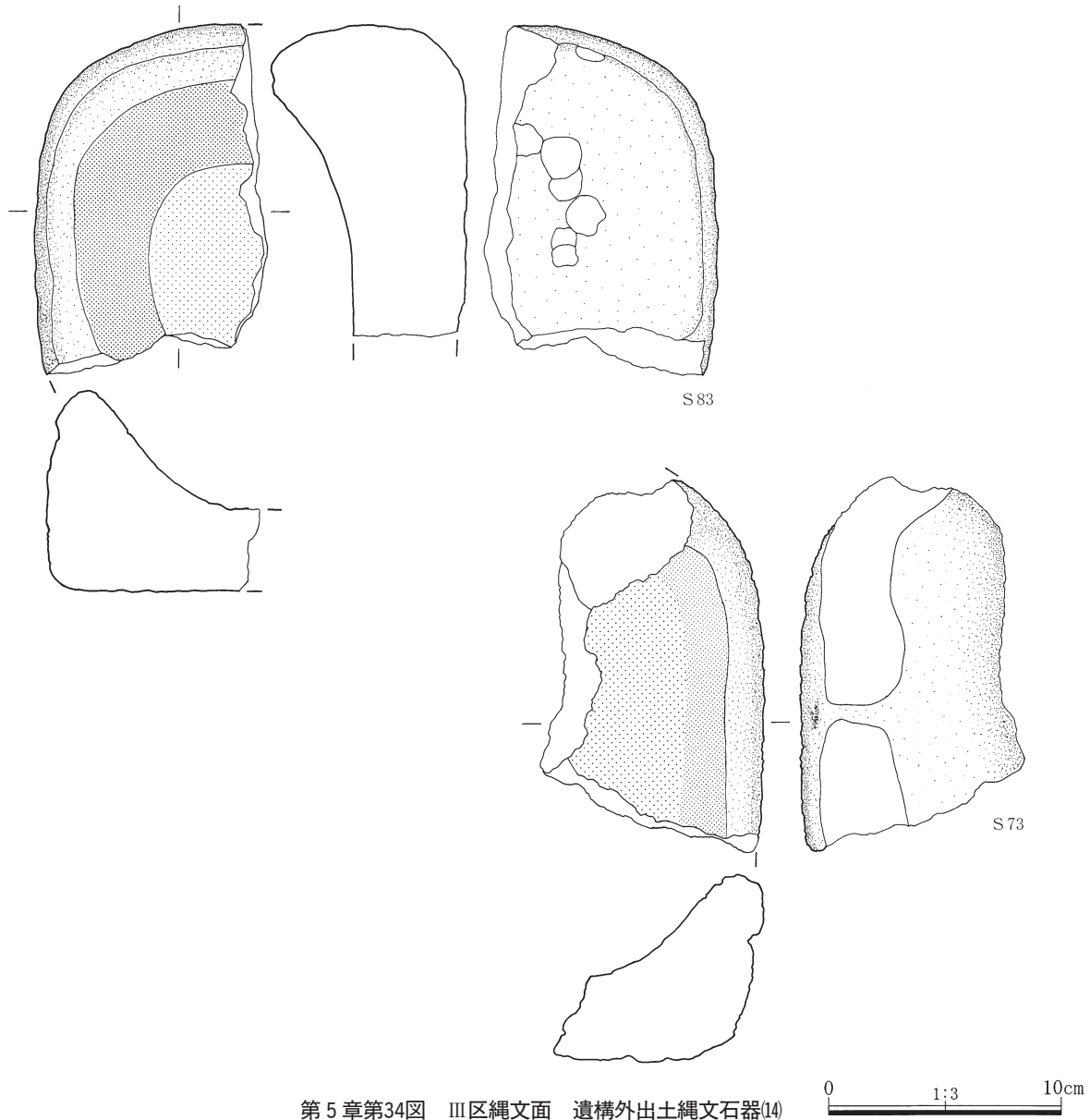


第5章第32図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(12)

第5章 III区の調査



第5章第33図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(13)



第5章第34図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(14)

第5章表8 III区縄文面 遺構外出土縄文石器観察表(第5章第21~34図、PL.15~20)

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	Cc-50G	VI層	打製石斧	ほぼ完形	11.30	4.50	1.40	73.30	黒色頁岩	頁岩(化石入)	短冊形石斧。1面に表面残存。
S 2	Cc-50G	VI層	打製石斧	完形	12.40	5.10	1.50	97.80	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。1面に表面残存。
S 3	Cc-50G	VI層	打製石斧	完形	14.80	5.70	2.00	178.10	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 4	Cd-58G	VI層	石鏃	尖端部欠損	3.20	1.70	0.45	2.43	黒色頁岩	細粒凝灰岩	有茎鏃。
S 5	Ce-56G	VI層	石鏃	一部欠損	1.90	1.40	0.30	0.66	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 6	Ci-54G	X層	石核	完形	10.75	14.50	4.20	1,175.00	黒色頁岩	珪質頁岩	パティナ附着。
S 7	Ck-54G	VI層	凹石(両面)	完形	18.40	16.50	5.60	1,990.00	粗粒輝石安山岩	—	2面使用。
S 8	Cm-46G	VII層	石鏃	尖端部欠損	1.85	1.30	0.30	0.50	黒色頁岩	細粒凝灰岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 9	Cm-46G	VII層	石鏃	上端部欠損	(1.10)	1.50	0.35	0.39	黒曜石	黒曜岩	無茎鏃。凹基。
S 10	Cm-47G	V層	石鏃	ほぼ完形	2.40	1.40	0.40	1.27	チャート	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 11	Cm-50G	VI層	凹石	一部欠損	24.30	21.60	6.70	4,600.00	粗粒輝石安山岩	—	両面使用。
S 12	Cm-52G	VI層	石鏃	一部欠損	2.40	1.30	0.40	0.95	チャート	チャート	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 13	Cm-52G	VII層	石鏃	一部欠損	2.10	1.40	0.30	0.82	黒色頁岩	細粒凝灰岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 14	Cm-52G	VI層	打製石斧	完形	11.60	3.30	1.00	46.60	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S 15	Cm-54G	VI層	石皿・凹石	一部のみ	15.30	20.00	9.30	3,340.00	粗粒輝石安山岩	—	一部表面残存。
S 16	Cn-47G	VII層	スクレーパー	一部欠損	6.10	7.10	1.80	62.00	黒色頁岩	頁岩	1面に刃部有り。
S 17	Cn-55G	VI層	石匙	一部欠損	3.00	1.60	0.40	1.43	黒色頁岩	頁岩	縦型石匙。
S 18	Co-48G	VI層	磨製石斧	刃部一部欠損	6.00	3.90	1.00	39.00	蛇紋岩	—	定角式磨製石斧。

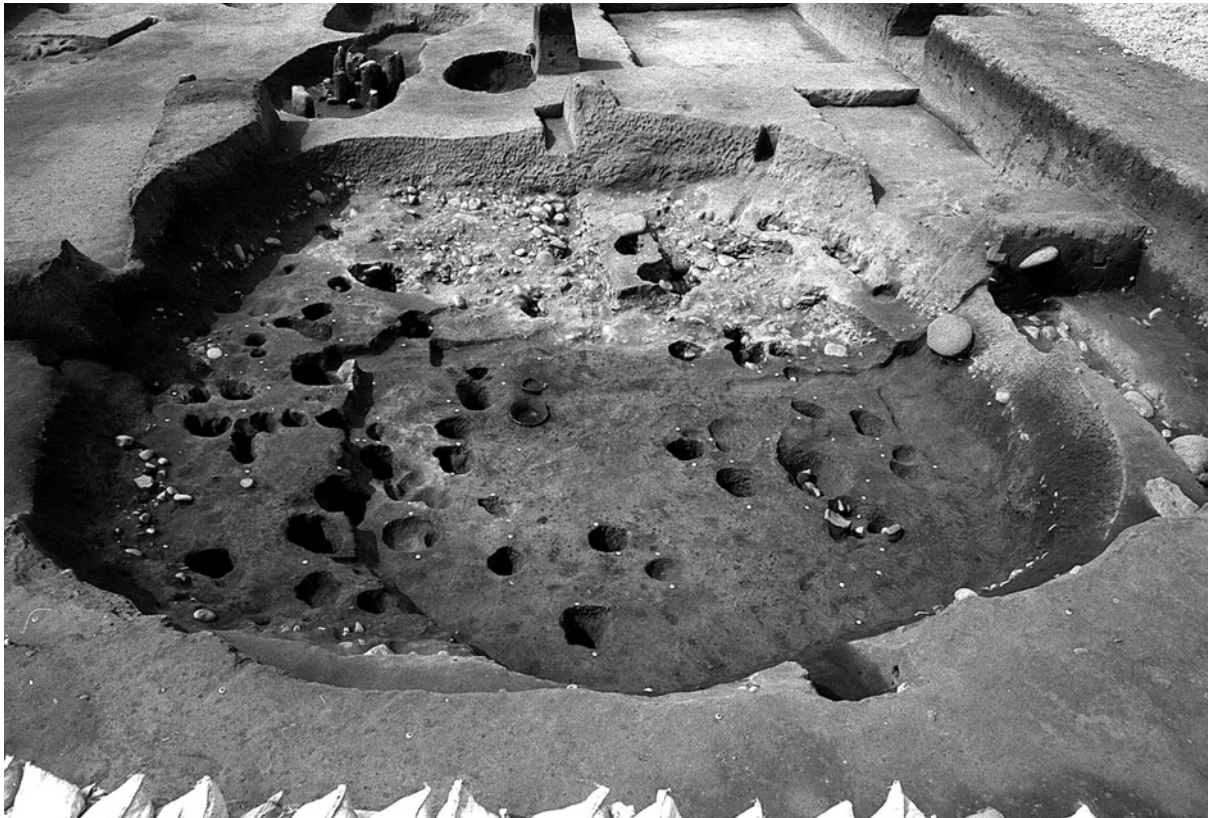
第5章 III区の調査

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S19	Cp-45G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	8.70	4.90	1.20	52.40	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S20	Cp-45G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	8.80	4.70	1.80	102.00	粗粒輝石安山岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S21	Cp-45G	Ⅶ層	磨石・凹石	完形	18.30	14.40	8.40	1,980.00	粗粒輝石安山岩	—	1面磨石、1面凹石として使用。
S22	Cp-46G	Ⅶ層	打製石斧	完形	12.10	8.30	1.90	216.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	分銅形石斧。
S23	Cp-52G	Ⅵ層	石鏃	一部欠損	(1.40)	(1.30)	0.30	0.42	黒曜石	黒曜岩	無茎鏃。凹基。
S24	Cq-44G	Ⅶ層	打製石斧	完形	10.00	4.30	1.60	86.60	変玄武岩	緑色片岩	短冊形石斧。
S25	Cq-44G	Ⅶ層	打製石斧	完形	11.50	4.80	1.60	118.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	短冊形石斧。
S26	Cq-50G	Ⅵ層	打製石斧	一部欠損	11.80	5.00	2.50	148.30	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S27	Cq-52G	Ⅶ層	凹石	完形	14.10	11.00	8.80	191.00	粗粒輝石安山岩	—	片面使用。
S28	Cr-44G	Ⅶ層	石鏃	完形	1.80	1.50	0.30	0.55	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S29	Cr-48G	Ⅵ層	石核	完形	15.20	20.50	6.60	2,762.00	黒色頁岩	珪質頁岩	—
S30	Cr-50G	Ⅵ層	打製石斧	一部欠損	8.20	5.20	1.60	76.60	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。
S31	Cr-51G	Ⅵ層	磨石	完形	9.60	7.80	4.10	462.00	石英閃緑岩	—	両面使用。
S32	Cr-53G	Ⅵ層	凹石	完形	8.90	6.70	4.20	334.00	粗粒輝石安山岩	—	両面使用。
S33	Cr-54G	Ⅶ層	磨製石斧	両端欠損	(9.50)	(6.00)	3.90	374.00	変玄武岩	—	乳棒状石斧。
S34	Cs-44G	Ⅶ層	有舌尖頭器	先端部欠損	4.85	1.75	0.80	5.07	黒色頁岩	流紋岩	二等辺三角形有茎鏃。凸基。
S35	Cs-50G	Ⅶ層	敲石	一部欠損	7.30	6.30	2.80	202.00	黒色頁岩	珪質頁岩	1面に刃部有り。
S36	Cs-50G	Ⅵ層	打製石斧	完形	9.60	5.20	1.40	76.00	ホルンフェルス	頁岩	短冊形石斧。
S37	Cs-52G	Ⅵ層	打製石斧	完形	11.40	5.10	2.20	151.80	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。
S38	Cs-52G	Ⅵ層	打製石斧	完形	13.50	5.40	1.60	119.80	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。
S39	Ct-44G	Ⅶ層	打製石斧	完形	9.50	4.90	1.50	81.20	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。
S40	Ct-54G	Ⅶ層	打製石斧	完形	7.70	4.60	1.70	62.50	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S41	Cu-48G	Ⅵ層	凹石	完形	13.80	9.30	5.70	1,400.00	粗粒輝石安山岩	—	2面凹石。3面敲き跡有り。
S42	Cv-46G	Ⅵ層	石匙	完形	5.30	5.10	0.60	15.03	黒色頁岩	黒色頁岩	横型石匙。摘み部斜め。
S43	Cv-46G	Ⅵ層	打製石斧	完形	9.70	5.30	1.30	74.60	粗粒輝石安山岩	頁岩	短冊形石斧。
S44	Cv-47G	Ⅵ層	打製石斧	完形	9.80	4.10	1.70	75.90	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S45	Cv-48G	Ⅵ層	磨石・凹石	一部欠損	10.20	8.80	5.70	785.00	粗粒輝石安山岩	—	1面磨石、1面凹石として使用。
S46	Cv-52G	Ⅵ層	打製石斧	完形	8.00	3.90	1.20	44.50	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S47	Cv-53G	X層	石鏃	先端部欠損	1.50	1.80	0.30	0.59	チャート	珪質頁岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S48	Cw-44G	Ⅵ層	打製石斧	一部欠損	7.80	4.30	1.10	44.10	黒色頁岩	細粒凝灰岩、化石入	短冊形石斧。
S49	Cw-44G	FA下	打製石斧	一部欠損	12.20	5.50	2.10	139.60	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S50	Cw-46G	Ⅶ層	くさび型石器	一部欠損	(5.30)	3.60	0.90	29.00	黒色頁岩	—	2面に刃部有り。
S51	Cw-46G	Ⅵ層	石核	一部欠損	6.60	6.80	3.20	147.70	黒色頁岩	頁岩	—
S52	Cw-48G	—	打製石斧	一部欠損	11.20	5.00	1.60	107.40	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S53	Cw-48G	—	石皿・凹石	一部のみ	19.10	8.70	3.50	1,020.00	緑色片岩	—	1面を石皿、1面を凹石として使用。
S54	Cw-50G	Ⅶ層	石鏃	一部欠損	2.40	1.80	0.30	0.78	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S55	Cw-50G	Ⅶ層	磨石・凹石	左右端欠損	(10.50)	6.20	3.30	338.00	閃緑岩	—	1面を磨石、1面を凹石として使用。
S56	Cw-51G	—	打製石斧	完形	9.60	5.35	1.70	94.40	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。
S57	Cw-51G	Ⅶ層	打製石斧	刃部欠損	11.80	5.30	2.20	123.90	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S58	Cw-51G	Ⅶ層	凹石	完形	18.70	15.80	7.90	2,560.00	粗粒輝石安山岩	—	1面を凹石、1面に磨った痕有り。
S59	Cx-42G	Ⅶ層	石核	完形	6.30	9.50	5.95	418.00	黒色頁岩	—	1面に刃部有り。
S60	Cx-43G	Ⅶ層	石鏃	一部欠損	1.80	1.70	0.35	0.73	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S61	Cx-43G	Ⅶ層	石匙	一部欠損	4.65	3.75	1.10	18.54	黒色頁岩	—	横型石匙。摘み部斜め。
S62	Cx-43G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	8.90	4.60	1.70	59.40	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S63	Cx-44G	Ⅵ層	磨石・凹石	一部欠損	(9.90)	6.90	4.10	410.00	粗粒輝石安山岩	—	全面に磨った痕跡有り。
S64	Cx-45G	Ⅵ層	磨石・凹石	完形	9.90	7.00	3.80	440.00	粗粒輝石安山岩	—	全面に磨った痕跡有り。
S65	Cx-48G	Ⅵ層	石鏃	一部欠損	1.80	1.80	0.25	0.46	チャート	チャート	正三角形無茎鏃。凹基。
S66	Cx-48G	Ⅵ層	ノミ形石斧	一部欠損	(6.20)	1.70	0.70	7.40	黒色頁岩	—	—
S67	Cx-51G	Ⅶ層	打製石斧	完形	11.20	6.00	2.20	147.40	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S68	Cx-52G	Ⅶ層	石核	完形	9.65	8.30	4.20	472.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S69	Cx-53G	Ⅵ層	石鏃	一部欠損	2.60	1.80	0.40	1.49	黒曜石	黒曜岩	無茎鏃。凹基。
S70	Cx-53G	Ⅶ層	打製石斧	完形	11.70	5.30	1.50	111.60	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S71	Cy-43G	Ⅶ層	石鏃	完形	2.20	1.50	0.25	0.51	珪質頁岩	珪質頁岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S72	Cy-43G	Ⅶ層	石核	完形	3.65	4.10	2.40	37.40	チャート	—	一部表面残存。
S73	Cy-44G	—	石皿	一部のみ	15.90	9.60	8.00	1,050.00	粗粒輝石安山岩	—	1面のみ使用。
S74	Cy-45G	Ⅵ層	搔器	上下端欠損	4.80	2.80	0.50	10.50	珪質頁岩	—	刃部を両面調整。
S75	Cy-45G	Ⅵ層	打製石斧	一部欠損	10.90	6.20	2.00	138.60	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。
S76	Cy-46G	Ⅶ層	石鏃	一部欠損	1.90	1.50	0.50	0.82	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S77	Cy-47G	Ⅵ層	打製石斧	一部欠損	9.70	5.30	1.70	91.40	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S78	Cy-47G	Ⅶ層	石鏃	完形	2.60	1.70	0.30	0.93	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S79	Cy-48G	—	石匙	完形	5.00	3.80	0.60	10.04	黒色頁岩	黒色頁岩	横型石匙。摘み部斜め。
S80	Cy-50G	Ⅵ層	打製石斧	一部欠損	9.40	4.80	1.70	90.40	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S81	Cy-51G	Ⅵ層	打製石斧	完形	9.50	5.20	2.00	115.90	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S82	Cy-51G	Ⅶ層	石鏃	一部欠損	(2.90)	(2.10)	0.45	1.84	黒色頁岩	頁岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S83	Da-45G	Ⅵ層	石皿	一部のみ	(15.00)	(9.90)	8.50	1,470.00	粗粒輝石安山岩	—	1面を石皿、1面を凹石として使用。
S84	Da-53G	Ⅵ層	刮器	完形	2.90	1.70	0.50	2.81	黒曜石	黒曜岩	—
S85	Da-53G	X層	石鏃	一部欠損	2.40	1.70	0.60	1.48	チャート	ガラス質安山岩	ドリル部：長さ1cm、厚さ0.3cm
S86	Db-47G	FA下	石鏃	先端部欠損	(2.60)	1.30	0.40	1.26	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	二等辺三角形有茎鏃。凸基。
S87	Db-48G	—	多孔石	完形	23.50	18.40	16.80	7,450.00	粗粒輝石安山岩	—	全面に凹部有り。
S88	包含層	包含層	磨石	一部欠損	7.10	3.50	2.30	86.10	珪質頁岩	—	1面に磨った痕跡有り。

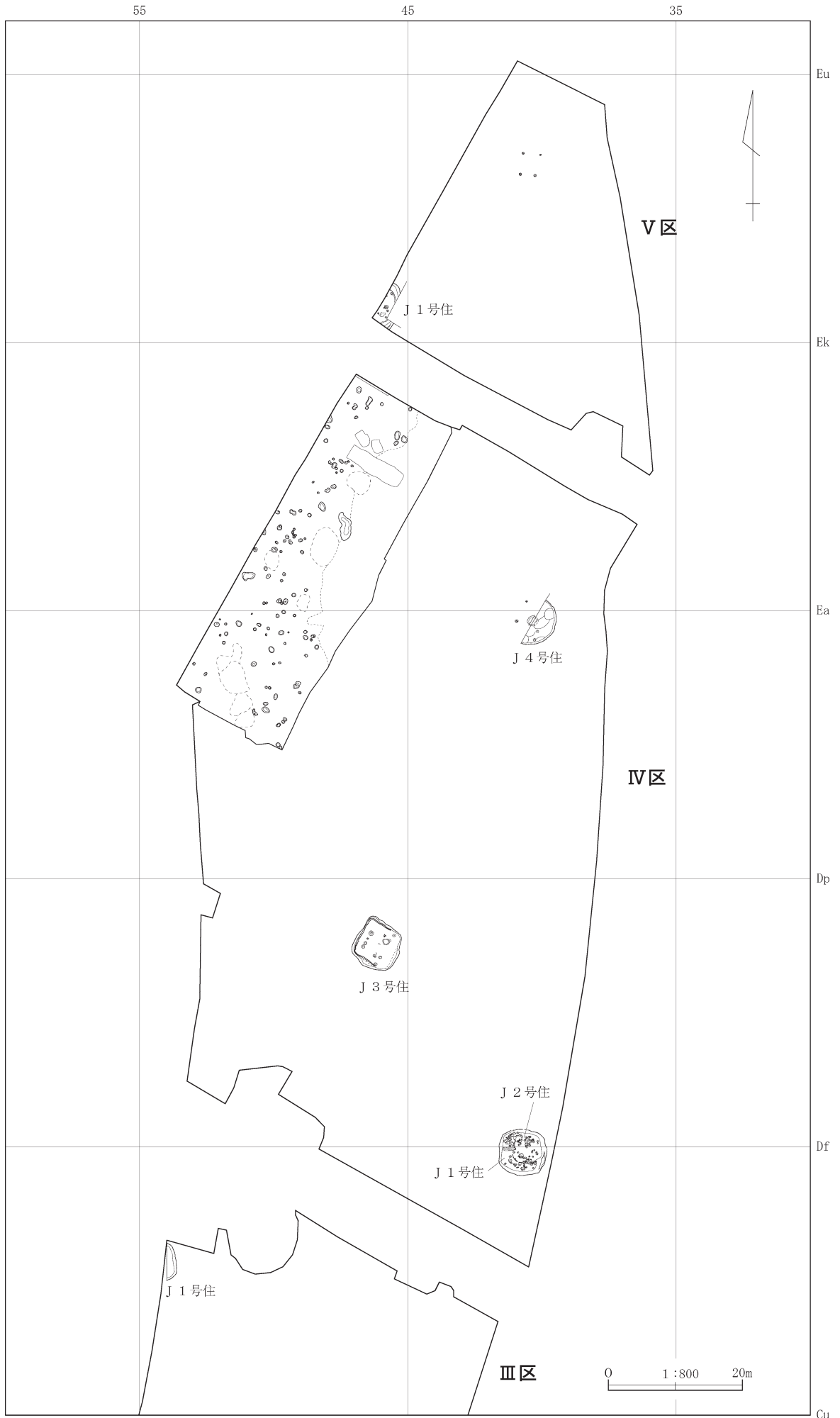
第6章 IV区の調査

IV区の総面積は、7,390.5㎡である。IV区の縄文面では、遺構として住居4軒・配石遺構1基・集石遺構2基・埋甕1基・遺物集中6箇所・土坑62基・焼土1基・倒木1箇所が検出された。旧石器時代の遺構は検出されず、遺物は出土しなかった。

遺構外の掲載遺物は、土器が164のグリッドから463点、石器が154のグリッドから325点の合計788点を掲載した。土器の内訳は、諸磯a式・諸磯b式・諸磯c式等諸磯式が198点、大木式が24点、十三菩提式が13点・下島式11点等で諸磯式が多い。同様に器種は、深鉢232点・有孔浅鉢16点で深鉢が多い。石器の内訳は、打製石斧76点・石鏃46点・磨石31点・石匙22点・石皿16点・石錐15点・石核10点・凹石9点・磨製石斧4点等で打製石斧・石鏃が多い。土器及び石器は、調査区の全面から出土している。



第6章写真1 IV区J1(6)号・J2(7)号住居全景 [東→]



第 6 章 第 1 図 III・IV・V 区縄文面 住居位置図

第1節 IV区遺構

IV区では、縄文時代前期住居4軒・配石遺構1基・集石遺構2基・埋甕1基・遺物集中6箇所・土坑62基・焼土1箇所・倒木1箇所が検出された。また、トレンチ出土遺物も遺構に含めた。

1. 住居

IV区J1(6)号住居・IV区J2(7)号住居は、重複して検出された。当初の検出状況は、第6章第2図のように、平面形が不整形円形を呈し、直径約6.8m～7.2mの状態に住居1軒が検出されたと想定された。

しかしながら、発掘を進めるとこの平面形はほぼIV区J1号住居のもので、このJ1号住居内の北東部～中央部にJ2号住居が重複して存在することが明らかになった。恐らく、J2号住居を拡張してJ

1号住居を構築したものと推定される。

(1) IV区J1(6)号住居

位置：De-40・41G、Df-40・41G

時期：縄文時代前期に比定される。

重複：J2号住居と重複する。新旧関係は、本J1号住居の方が新しい。

形状：正方形を呈する。

規模：一辺約6.9m、深さ約1mの規模である。

面積：住居床面の面積は、約30.77㎡である。

覆土：覆土は、7層に分かれる。遺物は、1層～3層に多く含まれている。

床面：床面は、比較的平坦である。

炉：炉は、住居中心部南寄りに1基検出された。炉は円形を呈し、規模は直径約70cm・深さ約15cmである。



第6章第2図 IV区J1(6)号住居遺物出土状況

第6章 IV区の調査

埋設土器：埋設土器は、検出されなかった。

柱 穴：柱穴は、31基検出された。規模は、表の通りである。

周 溝：周溝は、検出されなかった。

遺 物：遺物は、J 1号住居及びJ 2号住居との区別ができなかったのので、一緒に報告する。土器と石器が出土した。

(土器) 土器が85点出土した。内訳は、諸磯b式深鉢65点・諸磯c式深鉢2点・諸磯b式有孔浅鉢8点・諸磯c式有孔浅鉢1点等である。

(石器) 石器が44点出土した。内訳は、石鏃5点・石匙4点・石錐4点・打製石斧13点・石核2点・砥石1点・磨石5点・石皿1点・多孔石2点等である。また、IV区J 2号住居出土石器として、石皿1点が出土している。



第6章写真2 IV区J 1(6)号・J 2(7)号住居全景 [東→]

(2) IV区J 2(7)号住居

位 置：De-40G・Df-40G

時 期：縄文時代前期に比定される。

重 複：IV区J 1号住居と重複する。新旧関係は、本IV区J 2号住居の方が古い。

形 状：隅丸正方形を呈する。

規 模：一辺約2.1m、深さ約1.2mの規模である。

面 積：住居床面の面積は、約15.45㎡である。

覆 土：覆土は、上面はIV区J 1号住居部分により認められないが、下部で6層に分かれる。

床 面：床面は、比較的平坦である。

埋 甕 炉：炉は、住居南東部に2基の埋甕炉が検出された。

柱 穴：柱穴は、35基検出された。規模は、表の通りである。

周 溝：周溝は、検出されなかった。



第6章写真3 IV区J 2(7)号住居全景 [東→]

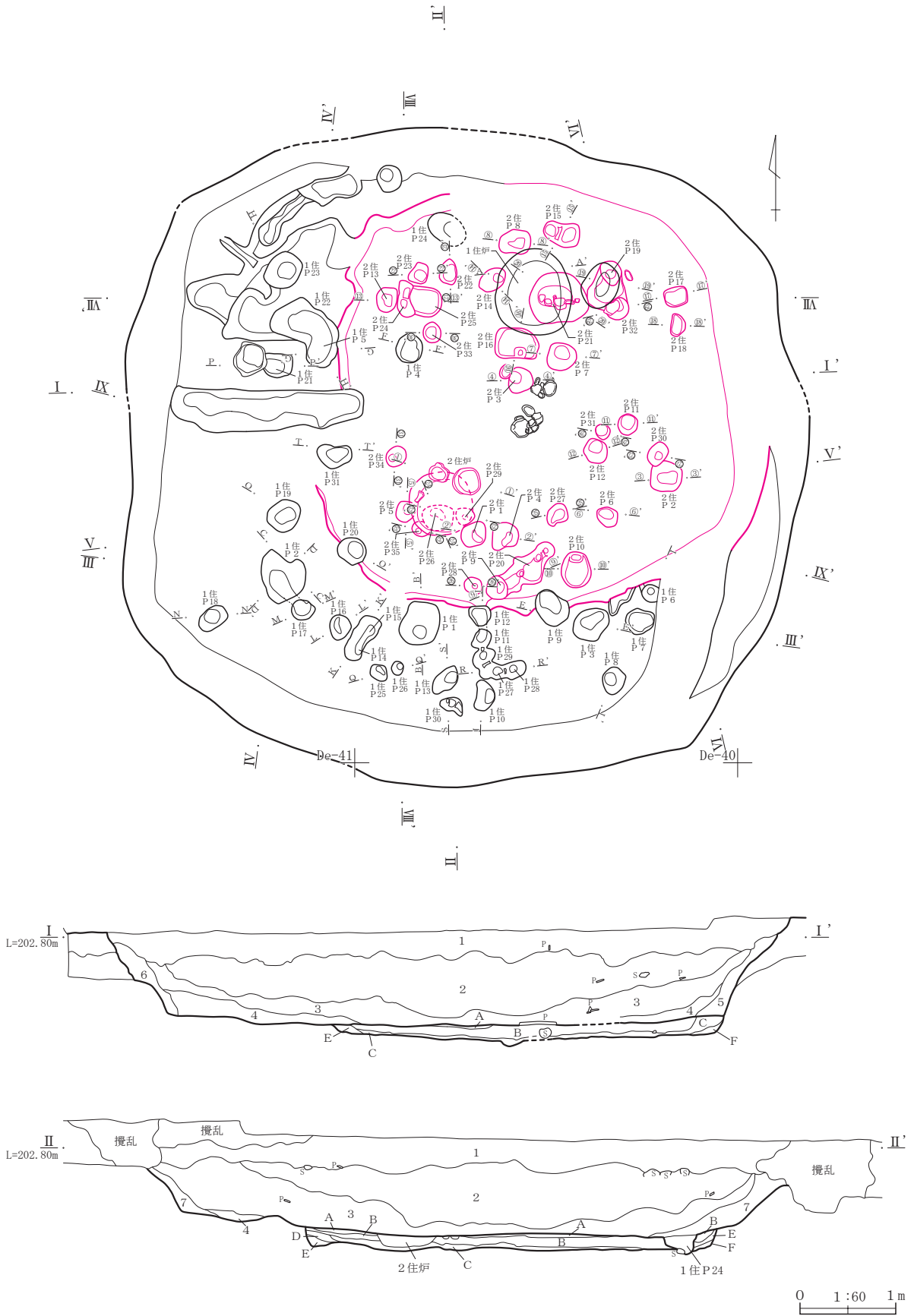
IV区J 1(6)号・J 2(7)号住居 A-A'、B-B'

J 1(6)号住居

1. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)を含む。非常にやわらかい。
2. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)、礫(φ15cm以下)を含む。やや固くしまっている。
3. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)、礫(φ15cm以下)を少量含む。やや固くしまっている。
4. 黒褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を極少量含む。やや粘性が有りやわらかい。
5. 暗褐色土 褐色土粒、黄褐色シルト質土粒を非常に多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を極少量含む。やや粘性が有り、非常にやわらかい。
6. 褐色土 黄褐色土粒を非常に多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を極少量含む。固くしまっている。
7. 暗褐色土 褐色土粒を含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を少量含む。やわらかい。

J 2(7)号住居

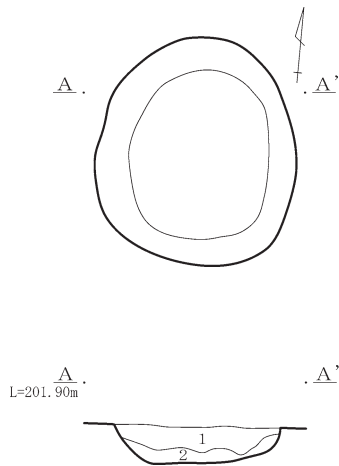
- A. 暗褐色土を基調に黒褐色土、黄褐色土ブロックを多量に含む。粘性やや弱くしまり有り。焼土、炭化物を少量含む。白色・黄色粒(φ2mm以下)を微量含む。
- B. 暗褐色土 粘性弱い。しまりやや弱い。焼土、炭化物粒、白色粒を微量含む。
- C. 暗褐色土 B層より色調暗い。粘性、しまりやや弱い。焼土・炭化物粒(φ5mm以下)をやや多く含む。
- D. 暗褐色土 B層より色調明るい。粘性弱い。しまりやや弱い。焼土・炭化物粒(φ3mm以下)、白色粒を微量含む。
- E. 暗褐色土 B層より色調明るい。粘性弱い。しまりやや弱い。焼土、炭化物を微量含む。黄褐色土まだらに少量混じる。
- F. 鈍い黄褐色土 粘性弱い。しまりやや弱い。やや砂質気味。白色粒を微量含む。黄褐色土まだらに少量混じる。



第6章第3図 IV区J1(6)・J2(7)号住居

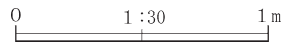
第6章 IV区の調査

J 1 住炉



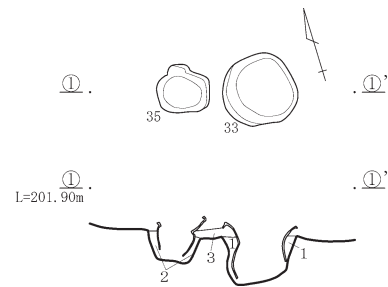
J 1 (6)号住居 炉 A-A'

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 5mm以下)、焼土ブロック(φ 3cm以下)、礫(φ 10cm以下)を含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色シルト質土ブロック(φ 5cm以下)を多く含む。炭化物(φ 5mm以下)、焼土ブロック(φ 3cm以下)を少量含む。



第6章第4図 IV区J 1 (6)号住居炉

J 2 住炉



第6章第5図 IV区J 2 (7)号住居炉



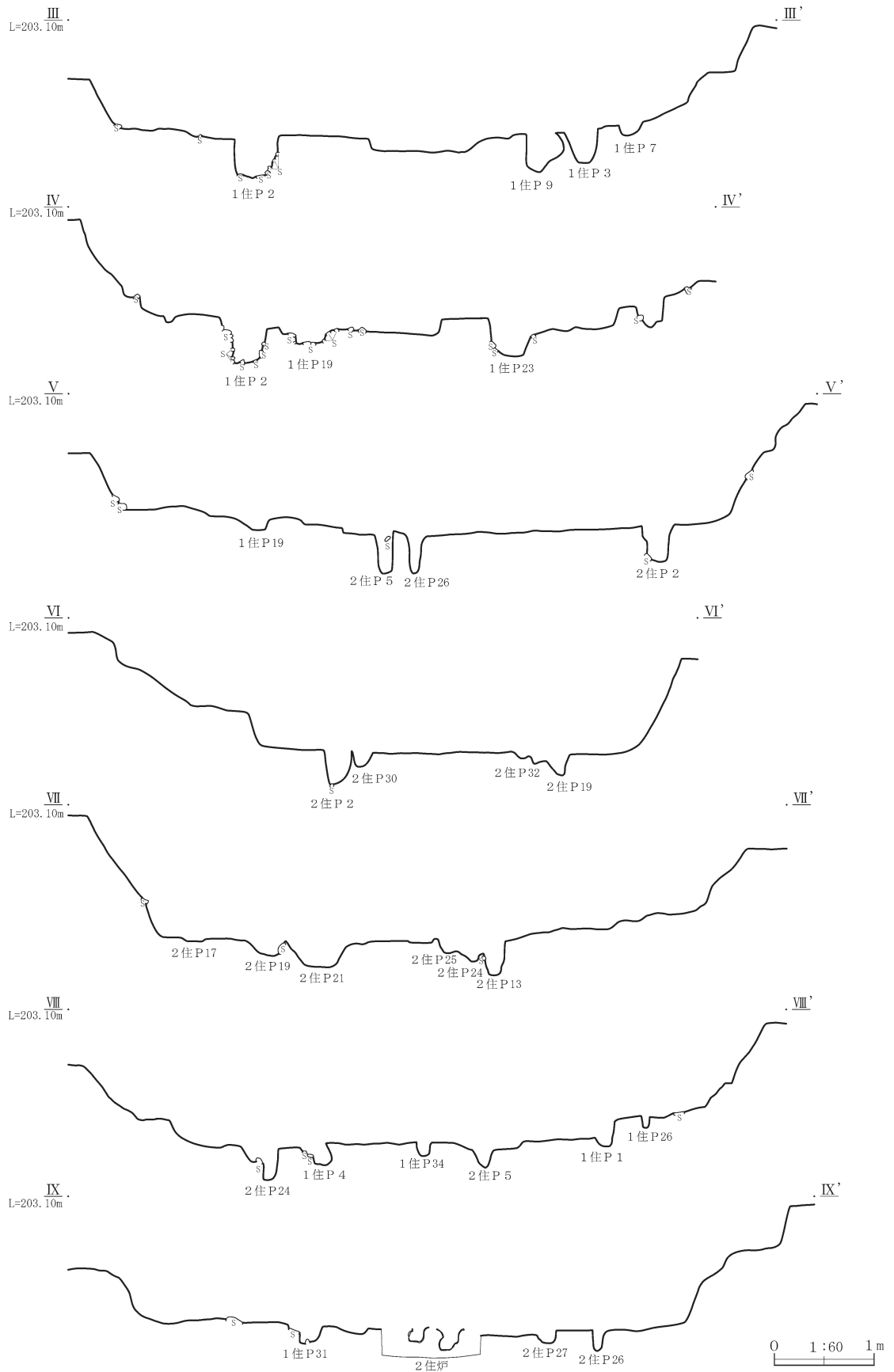
第6章写真4 IV区J 2 (7)号住居埋壺炉 [南→]

第6章表1 J 1号住居ピットまとめ

No.	直径	深さ	土層	No.	直径	深さ	土層	No.	直径	深さ	土層
P 1	45cm	60cm	5層	P 11	25cm	25cm	1層	P 21	(25cm)	25cm	1層
P 2	55cm	35cm	1層	P 12	20~25cm	30cm	1層	P 22	30cm	20cm	1層
P 3	40cm	45cm	3層	P 13	35cm	40cm	1層	P 23	40cm	35cm	1層
P 4	25~30cm	15cm	1層	P 14	50cm(重複)	18cm(重複)	1層	P 24	30cm	—	—
P 5	35cm	30cm	1層	P 15	50cm(重複)	18cm(重複)	1層	P 25	15~20cm	10cm	1層
P 6	20cm	15cm	1層	P 16	30cm	15cm	1層	P 26	10~15cm	10cm	1層
P 7	30cm	10cm	1層	P 17	20~25cm	20cm	1層	P 27	50cm(重複)	30cm	1層
P 8	20cm	30cm	1層	P 18	30cm	15cm	1層	P 28	50cm(重複)	20cm	1層
P 9	40cm	40cm	1層	P 19	30~40cm	10cm	1層	P 29	10cm	35cm	1層
P 10	30cm	40cm	1層	P 20	25~30cm	40cm	1層	P 30	15cm	10cm	1層
								P 31	40cm	20cm	1層

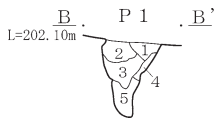
第6章表2 J 2号住居ピットまとめ

No.	直径	深さ	土層	No.	直径	深さ	土層	No.	直径	深さ	土層
P 1	30cm	25cm	1層	P 13	30cm	40cm	1層	P 25	(45cm)	2cm	1層
P 2	35~40cm	35cm	1層	P 14	30cm	15cm	1層	P 26	30cm	50cm	1層
P 3	25~40cm	35cm	1層	P 15	40cm	3cm	1層	P 27	25cm	10cm	1層
P 4	25~30cm	25cm	1層	P 16	45cm	3cm	1層	P 28	15~20cm	5cm	1層
P 5	20~25cm	50cm	1層	P 17	25cm	2cm	1層	P 29	15~20cm	35cm	1層
P 6	20~25cm	25cm	1層	P 18	20cm	2cm	1層	P 30	25cm	10cm	1層
P 7	30cm	25cm	1層	P 19	25cm	10cm	1層	P 31	15cm	25cm	1層
P 8	35cm	20cm	1層	P 20	30cm	5cm	1層	P 32	20~25cm	10cm	1層
P 9	20~25cm	35cm	1層	P 21	50~60cm	20cm	1層	P 33	15~20cm	15cm	1層
P 10	35cm	10cm	1層	P 22	25cm	10cm	1層	P 34	20~25cm	35cm	1層
P 11	20cm	10cm	1層	P 23	20cm	25cm	1層	P 35	15~20cm	20cm	1層
P 12	25cm	30cm	1層	P 24	15cm	20cm	1層				



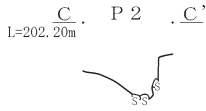
第6章第6図 IV区J 1(6)・J 2(7)号住居断面

第6章 IV区の調査



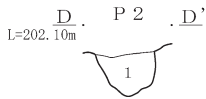
ピット1 B-B'

1. 暗褐色土 褐色土粒を含む。黄褐色パミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 3mm以下)を少量含む。
2. 暗褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 3mm以下)を含む。
3. 褐色土 黄褐色シルト質土粒を少量含む。
4. 褐色土 黄褐色シルト質土粒を多く含む。
5. 褐色土 黄褐色シルト質土粒を非常に多く含む。やや粘性が有る。



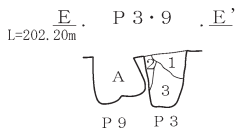
ピット2 D-D'

1. 暗褐色土 黄褐色砂質土粒、礫(φ 5cm以下)を多く含む。



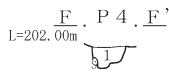
ピット3 E-E'

1. 暗褐色土 褐色土粒、黄褐色シルト質土粒、炭化物(φ 5mm以下)を含む。
2. 褐色土 黄褐色シルト質土粒を多く含む。炭化物(φ 5mm以下)を少量含む。
3. 褐色土 黄褐色シルト質土粒を非常に多く含む。やや粘性が有る。



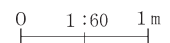
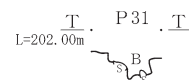
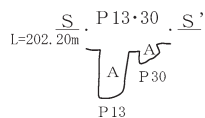
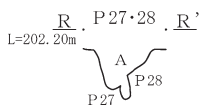
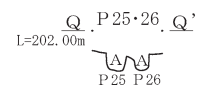
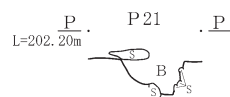
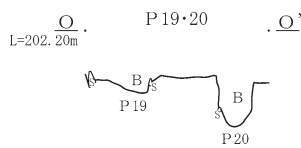
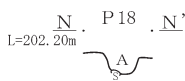
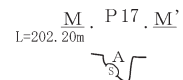
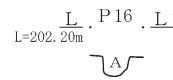
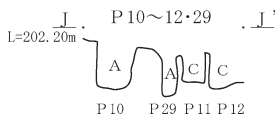
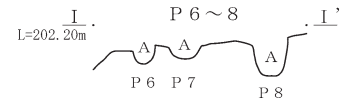
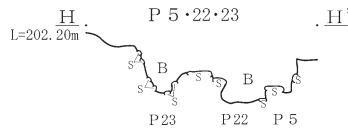
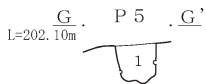
ピット4 F-F'

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色シルト質土粒、礫(φ 2cm以下)を含む。



ピット5 G-G'

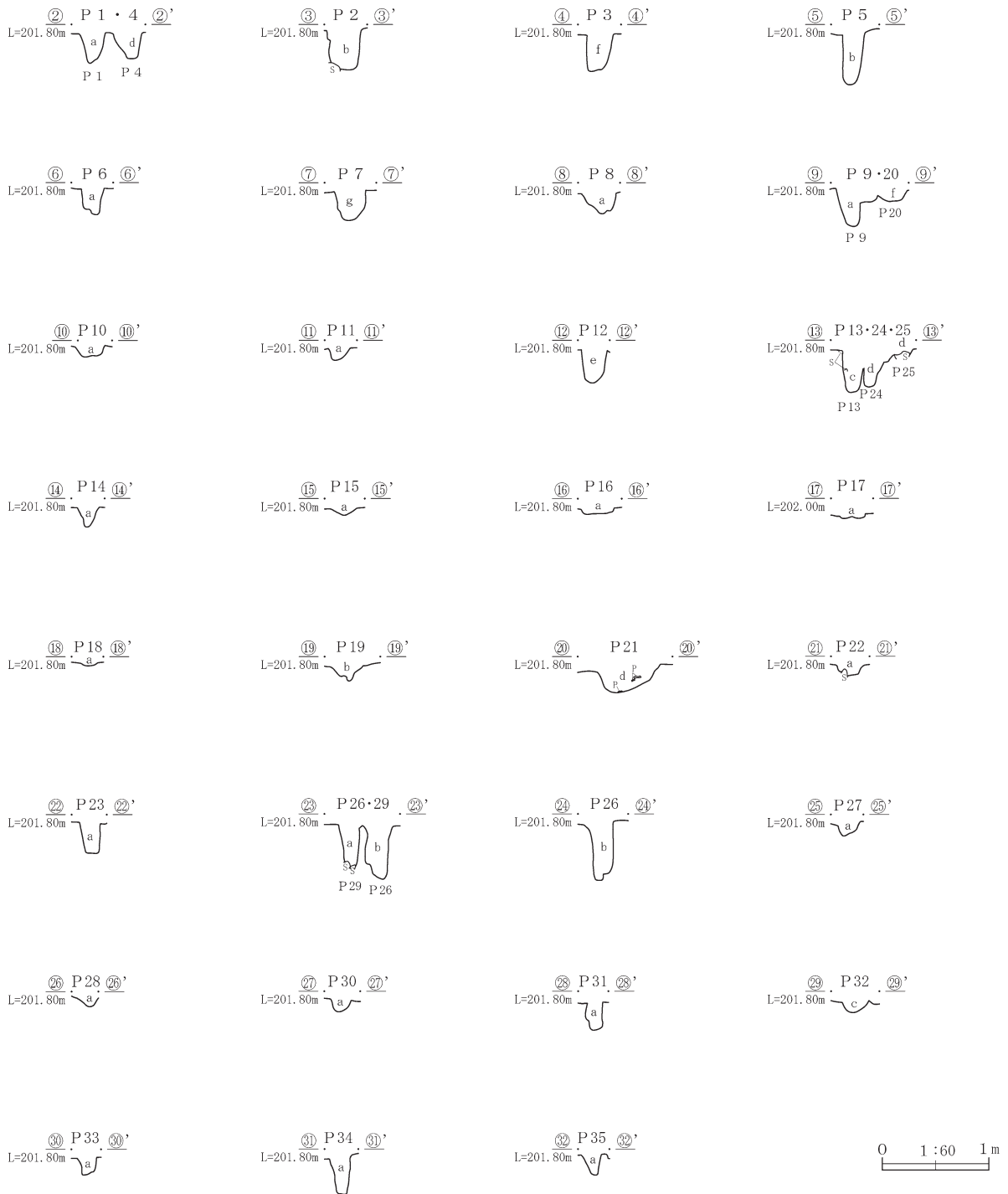
1. 暗褐色土 黄褐色砂質土粒、礫(φ 5cm以下)を多く含む。



ピット共通土層

- A. 暗褐色土 黄褐色砂質土粒を含む。
- B. 暗褐色土 黄褐色砂質土粒、礫(φ 1~10cm)を含む。
- C. 暗褐色土 黄褐色砂質土粒、炭化物粒(φ 5mm以下)を含む。

第6章第7図 IV区J1(6)号住居ピット断面



J 2 (7)号住居 ビット共通土層

- a. 暗褐色土 黄褐色シルト質土粒を含む。粘性が有り固くしまっている。
- b. 暗褐色土 黄褐色シルト質土粒を含む。やわらかい。
- c. 暗褐色土 黄褐色シルト質土粒、礫(φ 5 cm以下)を含む。粘性が有り固くしまっている。
- d. 暗褐色土 黄褐色シルト質土粒、礫(φ 5 cm以下)を含む。やわらかい。
- e. 暗褐色土 黄褐色シルト質土粒、炭化物(φ 5 mm以下)を含む。粘性が有り固くしまっている。
- f. 暗褐色土 黄褐色シルト質土粒、炭化物(φ 5 mm以下)を含む。やわらかい。
- g. 暗褐色土 黄褐色シルト質土粒、礫(φ 5 cm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)を含む。粘性が有り固くしまっている。

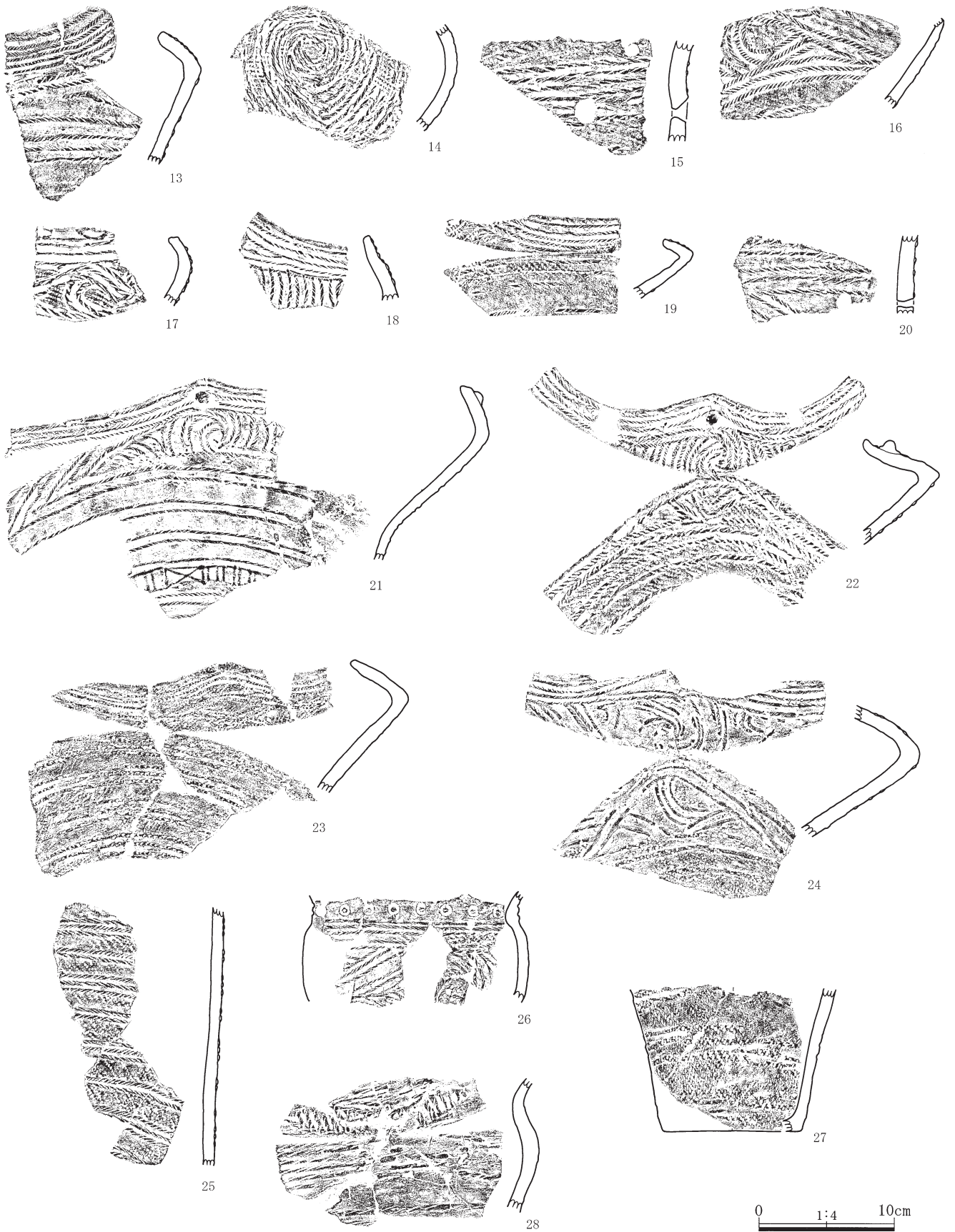
第6章第8図 IV区J 2 (7)号住居ビット断面

第6章 IV区の調査



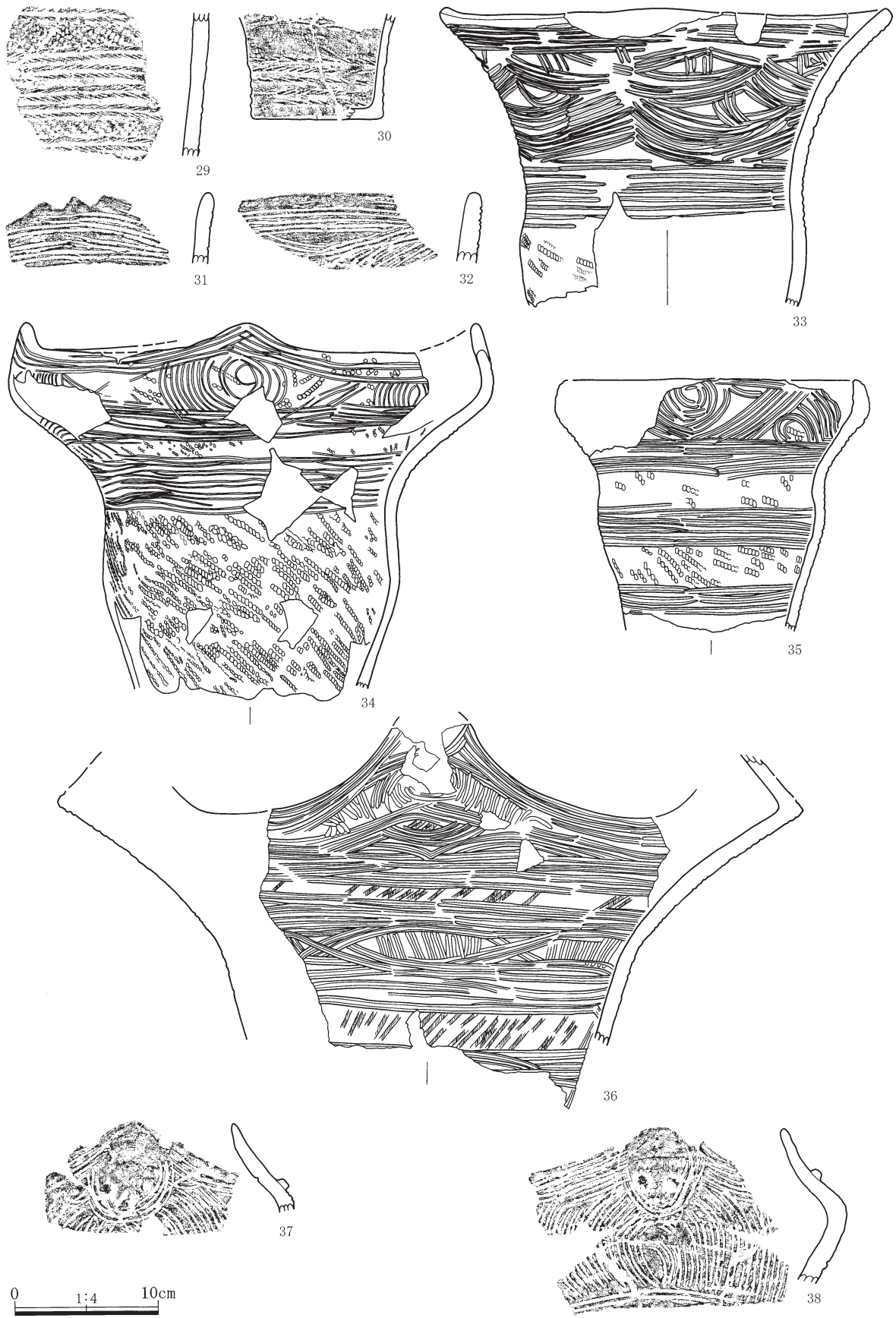
0 1:4 10cm

第6章第9図 IV区J 1(6)・J 2(7)号住居出土縄文土器(1)

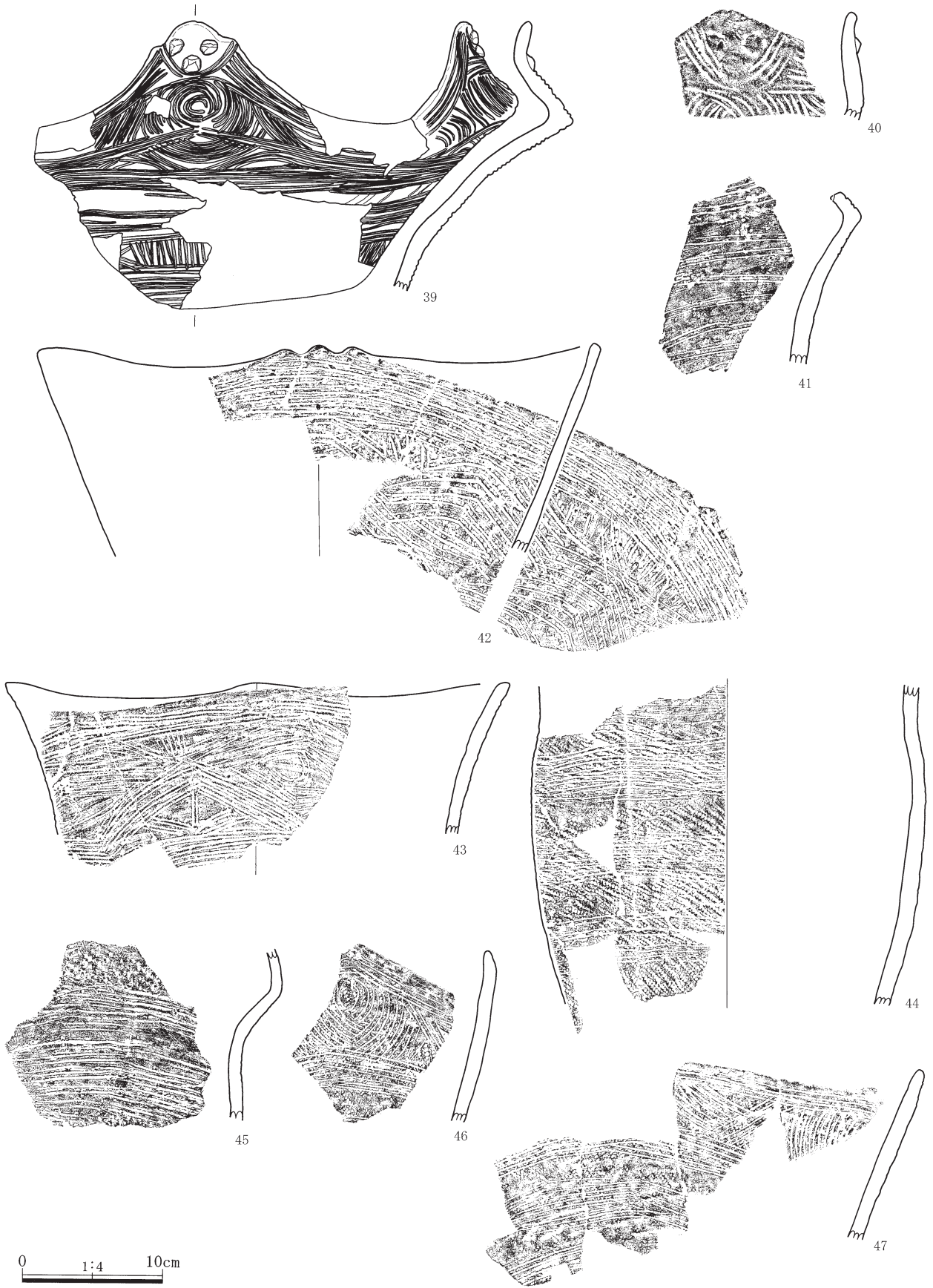


第6章第10図 IV区J1(6)・J2(7)号住居出土縄文土器(2)

第6章 IV区の調査



第6章第11図 IV区J 1(6)・J 2(7)号住居出土縄文土器(3)

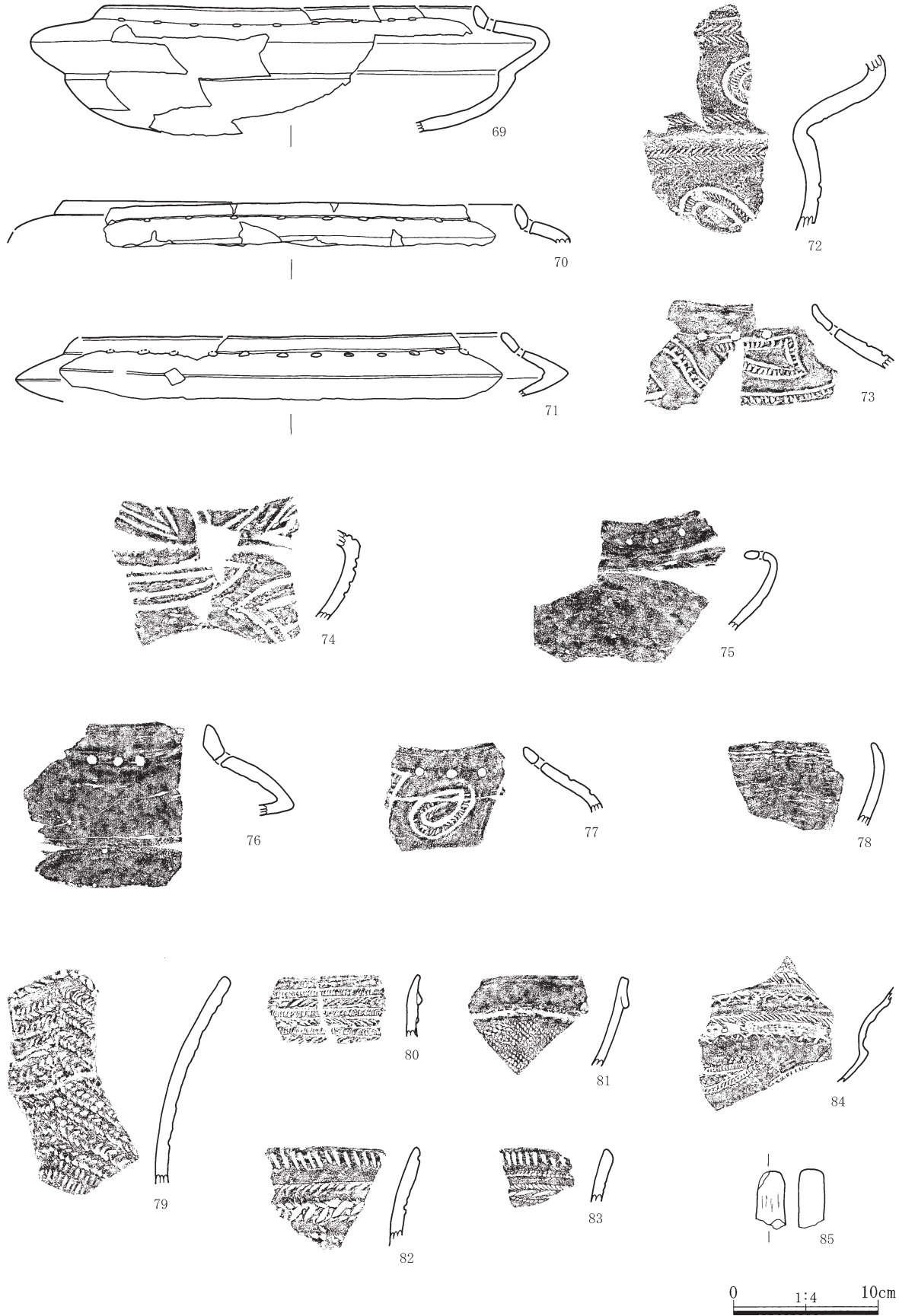


第6章第12図 IV区J 1(6)・J 2(7)号住居出土縄文土器(4)

第6章 IV区の調査



第6章第13図 IV区 J 1 (6)・J 2 (7)号住居出土縄文土器(5)



第6章第14図 IV区J 1(6)・J 2(7)号住居出土縄文土器(6)

第6章 IV区の調査

第6章表3 IV区J1(6)号・J2(7)号住居出土縄文土器観察表(第6章第9~14図、PL.24~28)

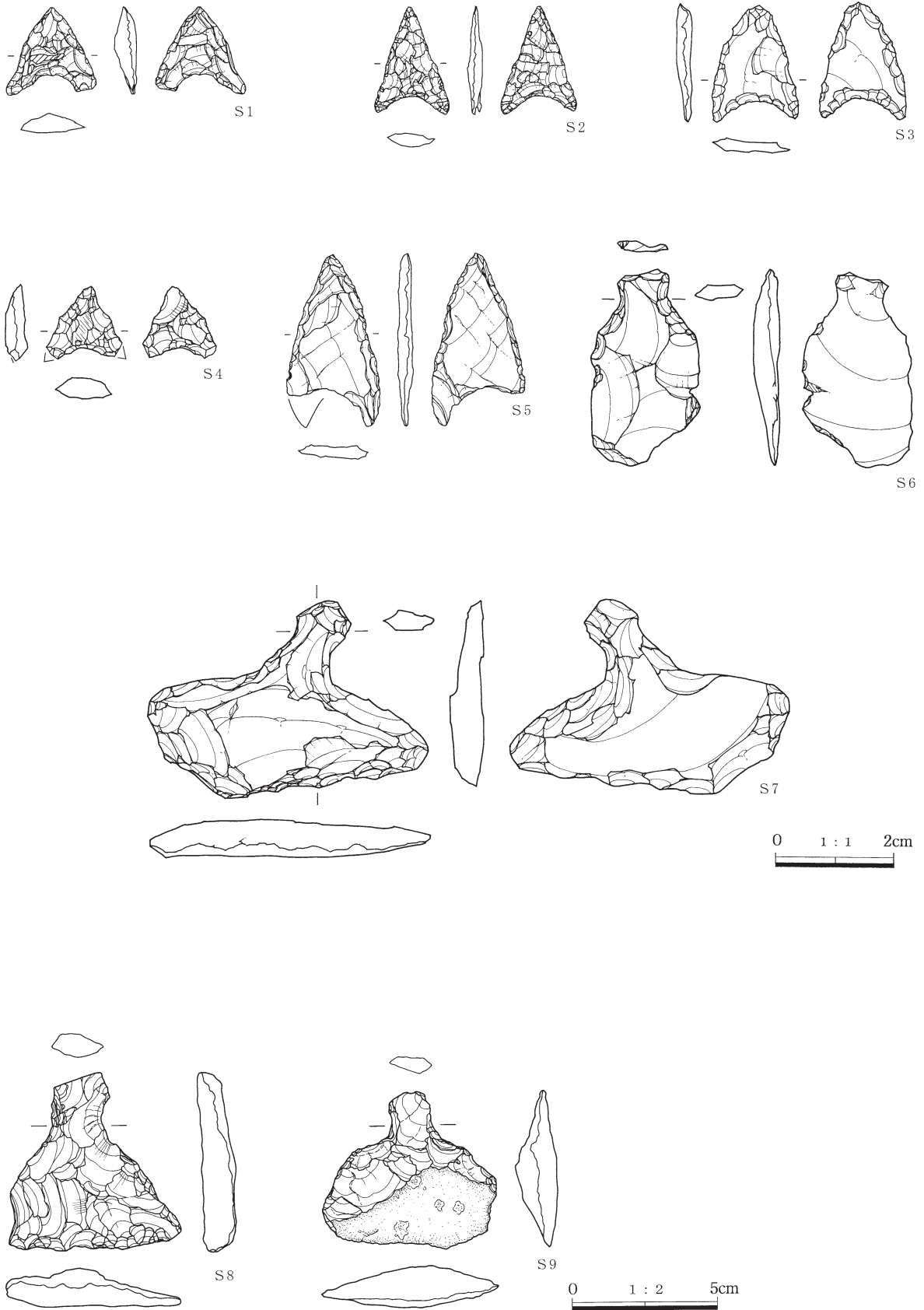
番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	埋没土	深鉢	口縁破片	良	灰黄褐	10YR4/2	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	巾7mmの半截竹管による平行沈線と爪形文。
P2	下層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	2.5YR4/4	φ1~3mmの小石、片岩	諸磯b式(古)	巾5mmの半截竹管による平行沈線と爪形文を横位施文。間に斜位方向の沈線を後から施文する。
P3	下層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾6mmの半截竹管による平行沈線と爪形文で文様を描く。
P4	下層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	巾6mmの半截竹管による平行沈線と爪形文で横位施文。間に斜位の刻み。
P5	No205・207・212、下層	深鉢	胴部	普通	褐	7.5YR4/3	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中)	矢羽根状に刻みのある浮線で横位区画する。縄文原体 RL。
P6	No52	深鉢	口縁破片	不良	浅黄橙	10YR8/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位区画。浮線は矢羽根状の刻みを持つ。縄文原体 RL。
P7	下層、埋没土	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	φ1~3mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。区画内は、弧線文、釣り針状文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P8	No36・136、埋没土	深鉢	口縁	不良	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1~3mmの小石多い	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部3単位の突起。側縁部に粘土瘤を付けて獸面を表現する。浮線による横位区画と渦巻文。浮線には矢羽根状の刻みを施す。縄文原体 RL。
P9	No170・200、下層、埋没土	深鉢	口縁	良	橙	7.5YR6/6	φ1~3mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。口縁部には弧線文。釣り針状文等が施文される。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P10	No60	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。区画内に弧線文、渦巻文。浮線には矢羽根状の刻み。
P11	埋没土	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1~2mmの小石多い	諸磯b式(中2)	浮線による渦巻文。弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。
P12	下層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。弧線文。浮線には爪形文が施文される。頸部にはφ7mmの円形刺突。
P13	No91	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。浮線の胎土が本体と異なる。
P14	下層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による渦巻文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P15	No317	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR4/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位施文。浮線には矢羽根状の刻み。補修孔。縄文原体 RL。
P16	No49	深鉢	口縁破片	普通	灰褐	5YR4/2	細かい砂粒	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位区画と弧線、釣り針状文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P17	下層	深鉢	口縁破片	良	灰褐	5YR4/2	φ1~2mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線で口唇に「×」字文。口縁部に弧線、釣り針状文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P18	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(中2)	浮線による文様帯区画。区画内に弧線文。
P19	下層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位区画。胴部には浮線の貼り付けた痕跡が凹線となって残る。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P20	No4	深鉢	胴部破片	良	橙	2.5YR6/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。補修孔。
P21	No72・73・203	深鉢	口縁	良	にぶい黄褐	10YR5/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁側縁に粘土瘤貼付による突起。浮線による横位区画。口縁部には、入り組み風車文。胴部には「×」字文。浮線には矢羽根状の刻み。
P22	No251・258・267、埋没土	深鉢	口縁	良	にぶい黄橙	10YR6/3	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	口縁くつ先状になる。波状口縁側縁に粘土瘤による突起。浮線による横位区画。口縁部には入り組み風車文。弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P23	No105	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には爪形文施文。縄文原体 RL。内側明赤褐。
P24	No286	深鉢	口縁破片	良	赤褐	5YR4/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。区画内には入り組み風車文、弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。
P25	下層	深鉢	胴部破片	普通	明黄褐	10YR7/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位施文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P26	No264、埋没土	深鉢	胴部	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	胴くびれ部にφ6mmの円形刺突列が廻る。浮線による風車文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P27	No99、埋没土	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線貼付後縄文施文。縄文原体 RL。
P28	No334	深鉢	胴部破片	不良	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1~2mmの小石多い	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線に矢羽根状の刻み。
P29	埋没土	深鉢	胴部破片	不良	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P30	埋没土	深鉢	胴部~底部破片	不良	明黄褐	10YR7/6	φ1~2mmの小石多い	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。底部内面にスス附着。縄文原体 RL。
P31	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1~2mmの小石多い	諸磯b式(中2)	口縁に3単位の突起。巾4mmの平行沈線横位施文。

第1節 IV区遺構

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P32	No332	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線横位施文。三角形の文様。
P33	7住 No1	深鉢	口縁～胴部 口・(31.4) 高・20.7残	普通	にぶい赤褐	2.5YR4/3	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	巾6mmの平行沈線による横位区画。区画内に鋸 歯文。三角文、弧線文施文。縄文原体 RL。
P34	No178・197、 下層	深鉢	口縁～胴部 口・(31.5) 高・26.0残	普通	赤褐	2.5YR4/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	4単位の波状口縁。巾4mmの平行沈線による横 位区画。口縁部文様帯に渦巻文、弧線文。縄文 原体 RL。
P35	7住 No2	深鉢	口縁～胴部 口・(21.9) 高・17.6残	普通	赤褐	2.5YR4/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線横位区画。口縁部渦巻文、弧 線文。胴部外面膨らみ部スス付着。縄文原体 RL。
P36	No78・89・244	深鉢	口縁	良	赤褐	2.5YR4/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	39と同一個体。
P37	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～3mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部3単位の突起。側縁に粘土瘤を3 個貼付し、獣面を表現する。巾4mmの平行沈線 による弧線文。38と同一個体。
P38	下層 埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～3mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	37と同一個体。
P39	No103・111・ 228	深鉢	口縁	良	赤褐	2.5YR4/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻みを入れ3単位の突起。側縁 には粘土瘤を貼付し、獣面を表現する。巾4mm の平行沈線による横位区画。区画内に渦巻文。 弧線文。頸部には「×」字文。縄文原体 Lr。36 と同一個体。
P40	No152	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁側縁部に粘土瘤3個貼付し獣面を表現 する。巾4mmの平行沈線による弧線文。
P41	No48	深鉢	口縁破片	良	赤褐	2.5YR4/6	細かい砂粒、黒色 粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線横位施文。
P42	No271、下層	深鉢	口縁	普通	赤褐	2.5YR4/6	φ1～3mmの小石、 軽石粒多い	諸磯b式(中2)	口縁部に3単位の突起。巾5mmの平行沈線によ る横位区画。区画内波状文。
P43	No202、下層、 埋没土	深鉢	破片	不良	暗褐	10YR3/4	砂粒多い	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による文様区画。区画内菱形 文、釣り針状文。4単位の波状口縁。
P44	No127・132・ 298、下層、埋 没土	深鉢	胴部	普通	暗赤褐	5YR3/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 RL。
P45	No195	深鉢	胴部破片	普通	灰褐	5YR4/2	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線横位施文。縄文原体 RL。
P46	No214	深鉢	口縁破片	普通	灰褐	5YR4/2	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内対弧 文。縄文原体 RL。
P47	No169・171・ 175・176、下 層、埋没土	深鉢	口縁破片	普通	灰褐	5YR4/2	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内対弧 文。縄文原体 RL。
P48	下層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤貼付。巾5mmの平行 沈線による弧線文。
P49	No320	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による文様区画。区画内弧線、 斜線施文。縄文原体 RL。
P50	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。区画内弧線、 斜線文。縄文原体 RL。
P51	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	灰褐	5YR4/2	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤貼付。巾4mmの平行 沈線による横位区画。区画内対弧文。
P52	No39	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤を貼付後剥離。獣面 を表現。巾4mmの平行沈線による文様区画。対 弧文。
P53	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1mmの小石、黒 色粒	諸磯b式(新)	波状口縁、くつ先状になる。巾3mmの平行沈線 による文様区画。区画内「×」状文、三角文施 文。縄文原体 RL。
P54	No216	深鉢	口縁破片	不良	明赤褐	5YR5/6	砂粒多い	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に3単位の突起。側縁に粘土瘤貼 付獣面を表現する。巾3mmの平行沈線による横 位区画。弧線文。縄文原体 RL。
P55	No138・141・ 327	深鉢	胴部	普通	灰褐	5YR4/2	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 Lr。
P56	6住、4住	深鉢	胴部	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による横位区画。区画内に渦 巻文、弧線文施文。縄文原体 RL。57と同一個体。
P57	No52 埋没土	深鉢	胴部	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	56と同一個体。
P58	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 Lr。
P59	下層	深鉢	胴部破片	不良	灰褐	7.5YR4/2	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。補修孔。縄 文原体 RL。
P60	埋没土	深鉢	胴部～底部 破片	普通	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 Lr。
P61	埋没土	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線横位施文。縄文原体 Lr。
P62	No198	深鉢	底部破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線横位施文。
P63	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	黒褐	5YR3/1	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁側縁部に粘土瘤貼付。縄文原体 RL 燃 糸。

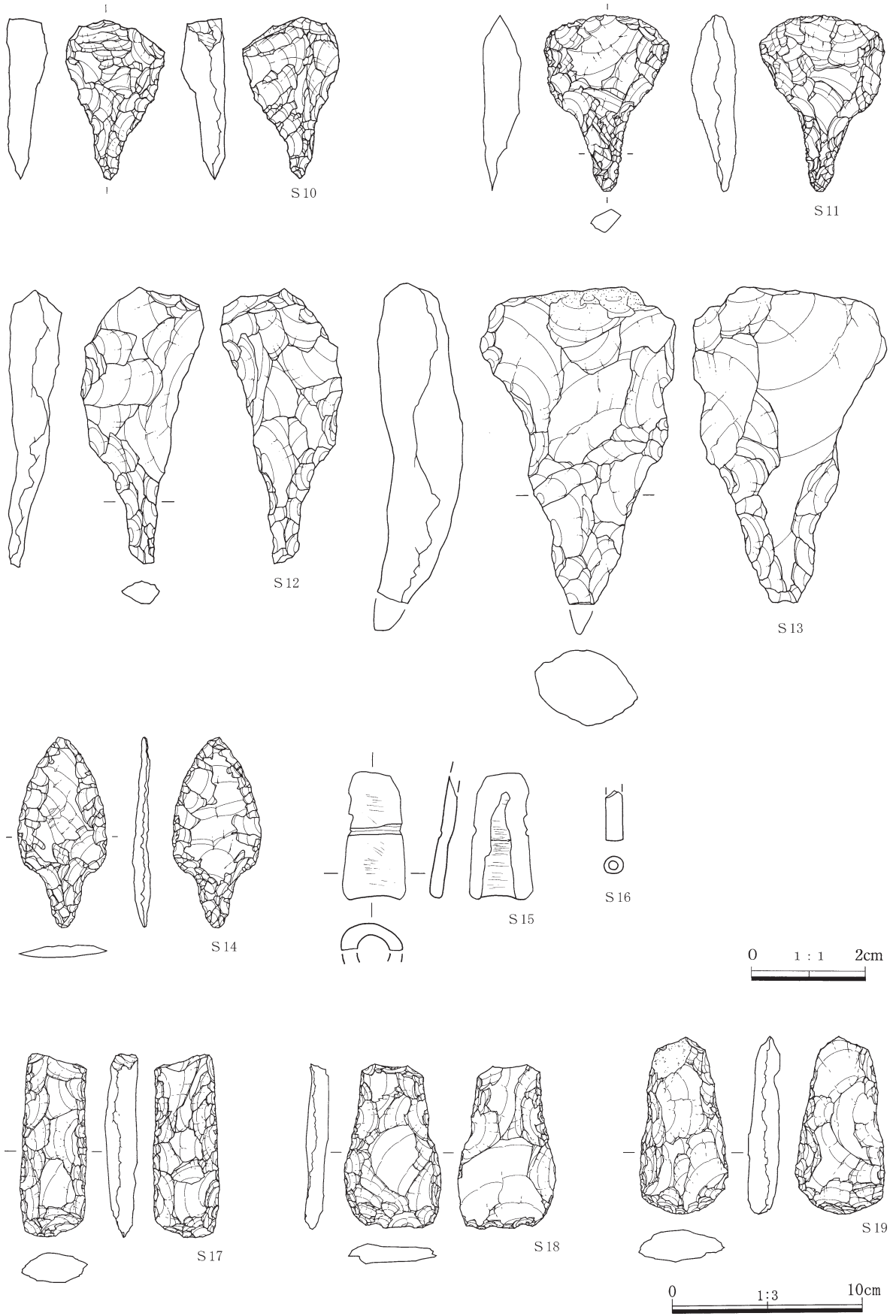
第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P64	埋没土	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	縄文原体 RL。
P65	埋没土	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	縄文原体 RL。
P66	No95・100・ 101・104、埋 没土、下層	深鉢	底部	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	縄文原体 RL。
P67	No330	深鉢	底部破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石 多い	諸磯b式(中2)	縄文原体 RL。
P68	下層	深鉢	底部破片	不良	明赤褐	5YR5/6	砂粒多い	諸磯b式(中2)	縄文原体 RL。
P69	No16・19・21・ 22、埋没土	有孔浅鉢	口縁～底部 口・(26.0) 高・8.7残	良	灰褐	7.5YR4/2	細かい砂粒、軽石 粒	諸磯b式(中2)	φ6mmの孔列が口縁に廻る。
P70	下層	有孔浅鉢	口縁	良	黒褐	10YR3/2	細かい砂粒、雲母	諸磯b式(中2)	φ4～5mmの孔列が口縁に廻る。
P71	No223・337	有孔浅鉢	口縁	良	明黄褐	10YR6/6	細かい砂粒、軽石 粒	諸磯b式(中2)	φ5～6mmの孔列が口縁に廻る。
P72	No2、埋没土	有孔浅鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	巾10mmの半截竹管による平行沈線と爪形文による木葉文。くびれ部に矢羽根状の沈線。
P73	埋没土 下層	有孔浅鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	口縁にφ5mmの孔列。沈線による並行線と爪形文で木葉文を描く。
P74	No256	有孔浅鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	沈線による並行線で木葉文を描く。
P75	埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	普通	灰黄褐	10YR4/2	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	φ4mmの孔列が口縁に廻る。
P76	No64	有孔浅鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	φ5mmの孔列が口縁に廻る。横方向のミガキ整形、肩部に黒斑。
P77	埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐	10YR4/3	砂粒多い	諸磯b式(中2)	φ5mmの孔列が口縁に廻る。沈線を並行させ爪形文とともに木葉文を描く。
P78	下層	有孔浅鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/4	細かい砂粒	浮島Ⅲ式	口縁に巾4mmの半截竹管端部の押し引き文が廻る。
P79	埋没土	浅鉢	口縁破片	不良	にぶい黄褐	10YR4/3	φ1～2mmの小石	浮島Ⅱ式	口縁に刺突列。巾8mmの変形爪形文を山形に施文。
P80	埋没土	浅鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	北白川下層Ⅱc式	間隔の狭い爪形文と刻みを持つ隆線が横位に交互施文。
P81	下層	浅鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	大木5式	折り返し口縁。縄文原体 RL 横。
P82	埋没土	深鉢	口縁破片	良	灰褐	7.5YR4/2	細かい砂粒	浮島Ⅲ式	口唇に条線帯。巾16mmの変形爪形文と、斜め刺し切り刻み列。
P83	埋没土	深鉢	口縁破片	良	灰褐	7.5YR4/2	細かい砂粒	浮島Ⅲ式	口唇に条線帯。巾3mmの押し引き沈線、斜位の切り刻み列。
P84	下層、埋没土	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR7/3	細かい砂粒	北白川下層Ⅱc式	胴上部刻みを持つ隆線による横位区画。胴下部巾4mmの半截竹管による平行沈線と爪形文で木葉文を描く。表面ベンガラ。
P85	埋没土	土玉	1/2	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式	円筒形で縦位にミガキ整形。

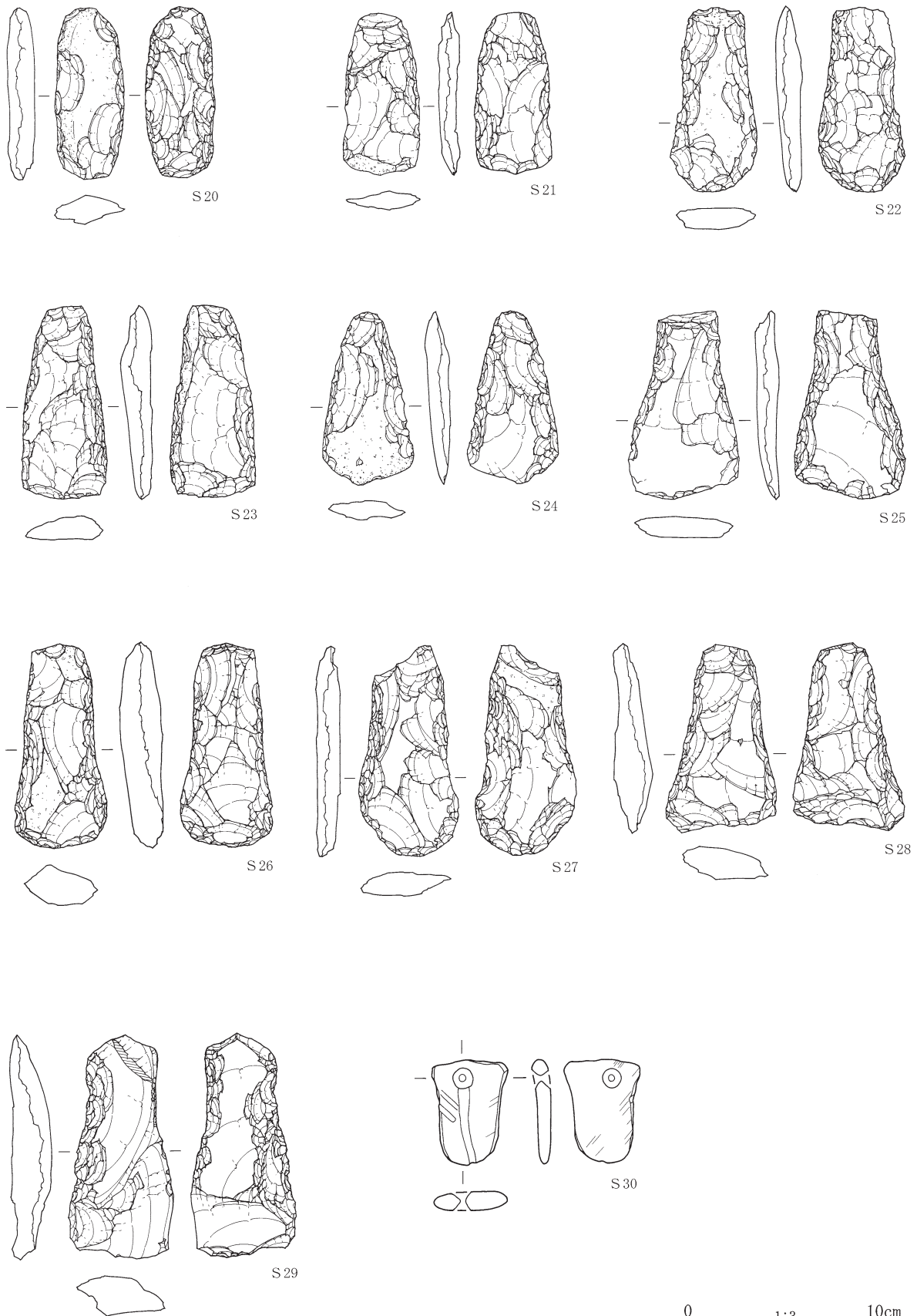


第6章第15図 IV区J1(6)号住居出土縄文石器(1)

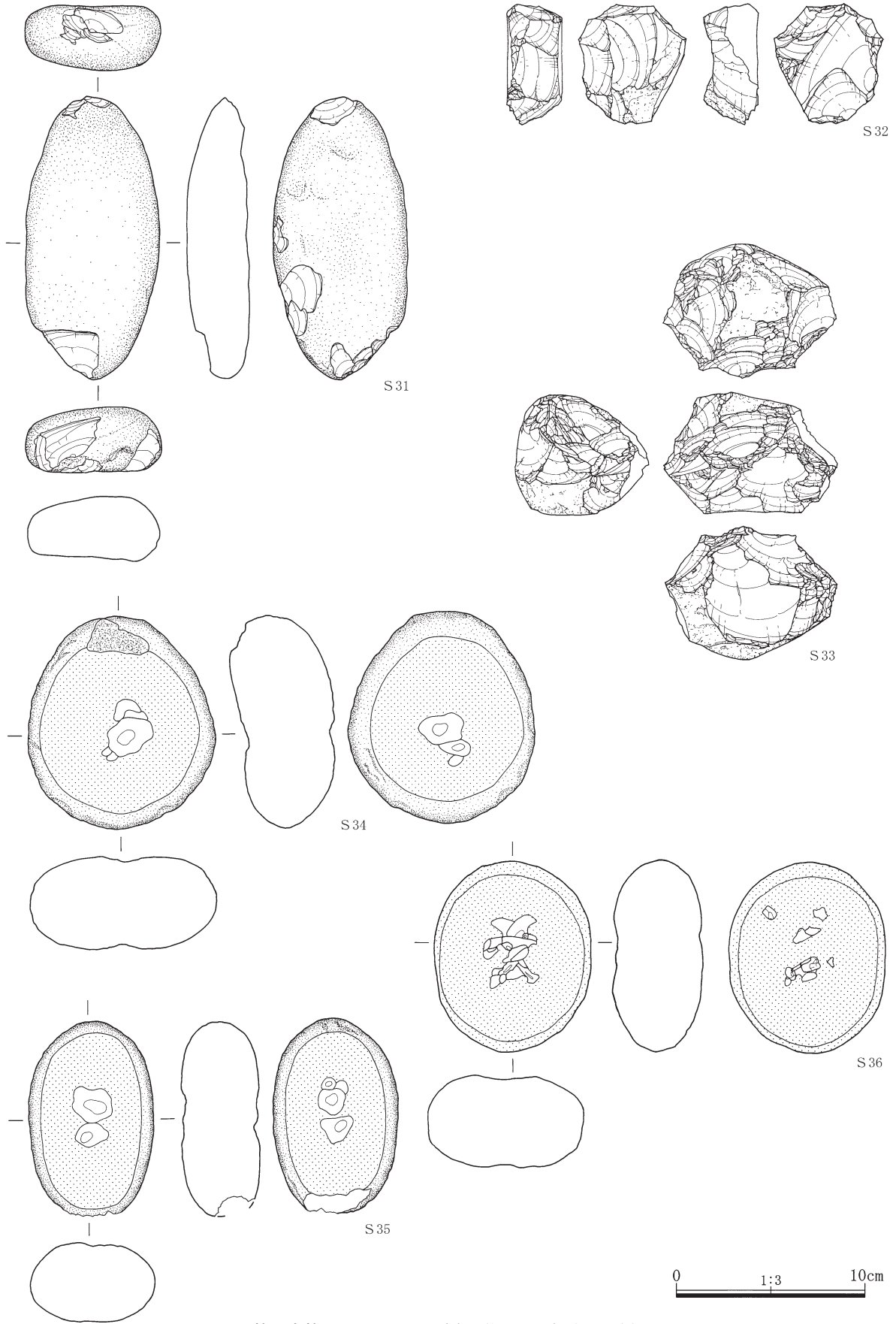
第6章 IV区の調査



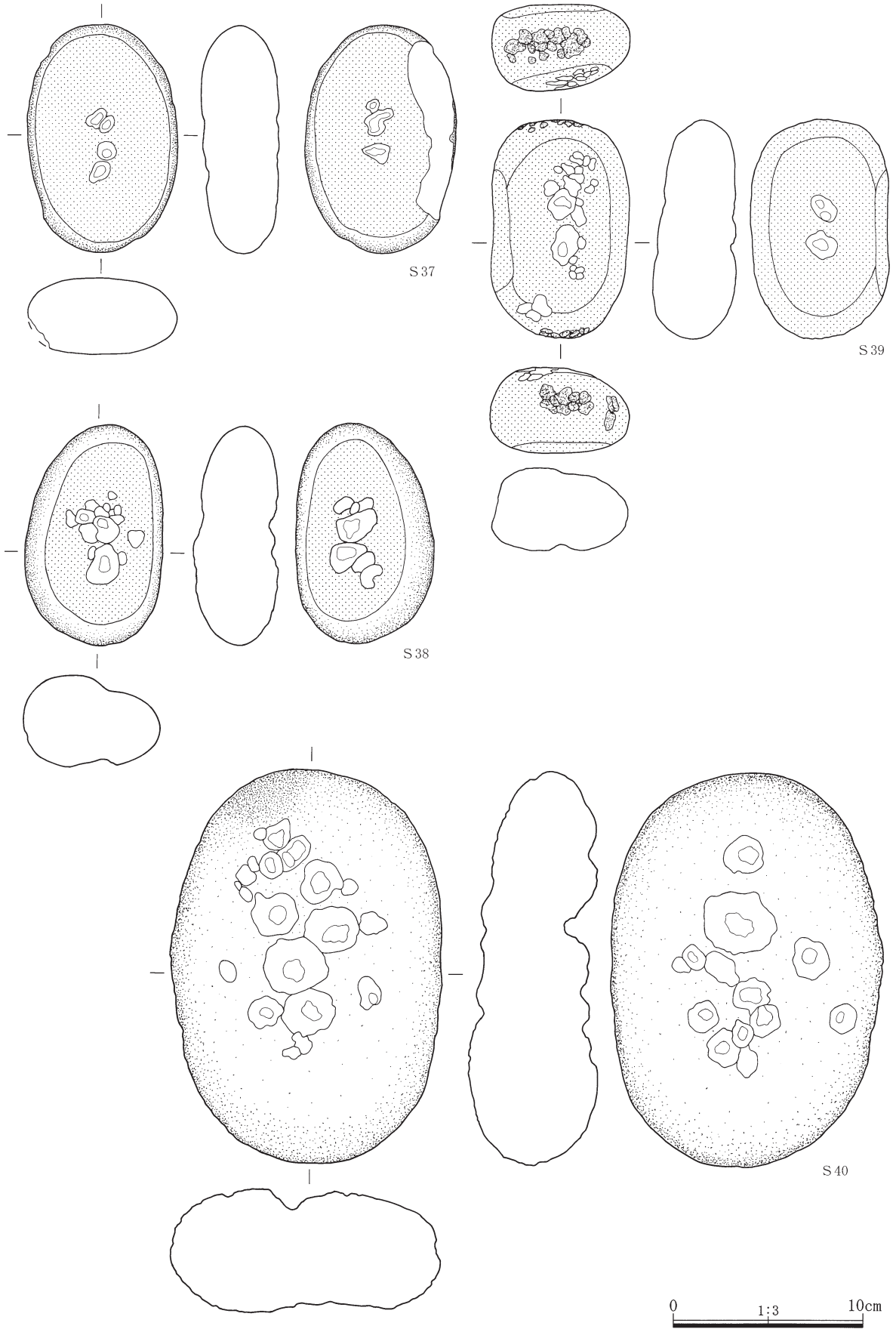
第6章第16図 IV区J 1(6)号住居出土縄文石器(2)



第6章第17図 IV区J1(6)号住居出土縄文石器(3)



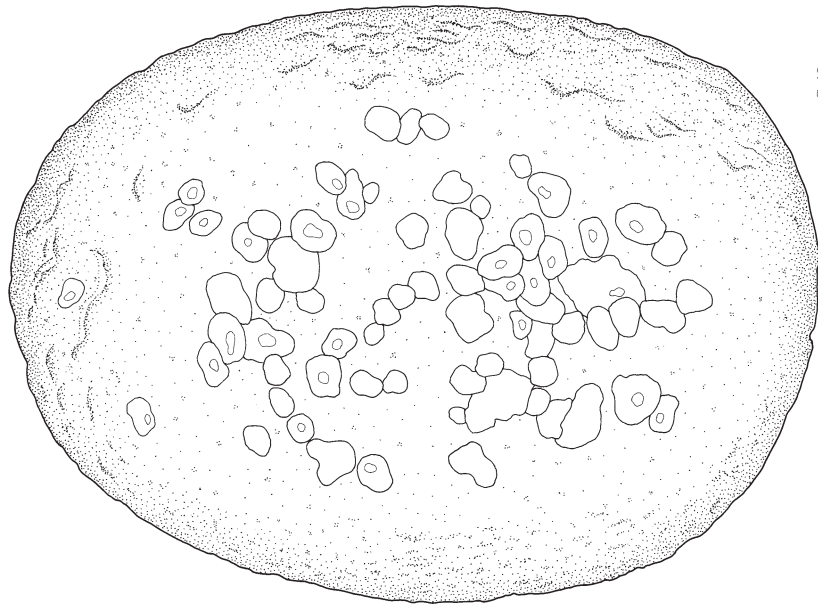
第6章第18図 IV区J 1(6)号住居出土縄文石器(4)



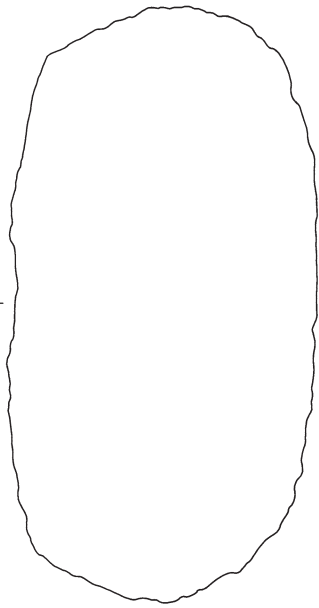
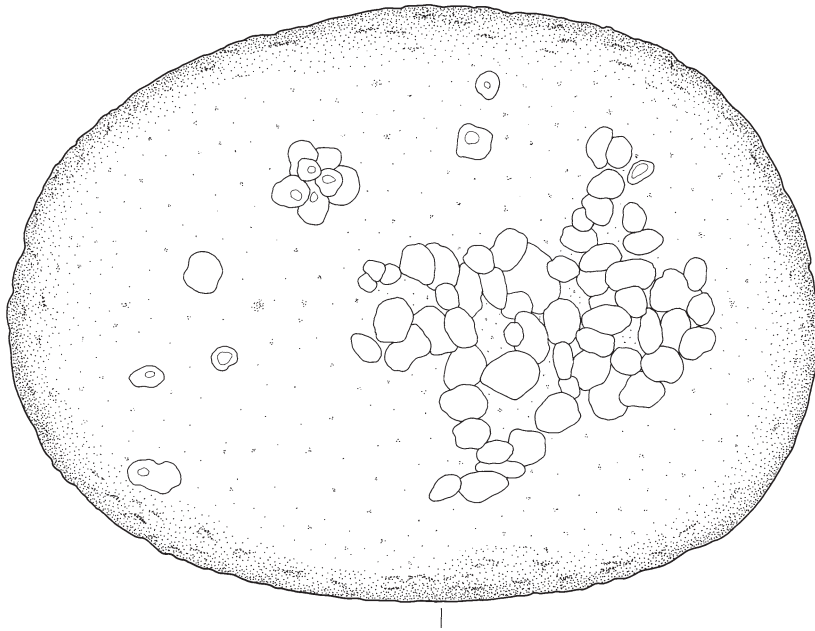
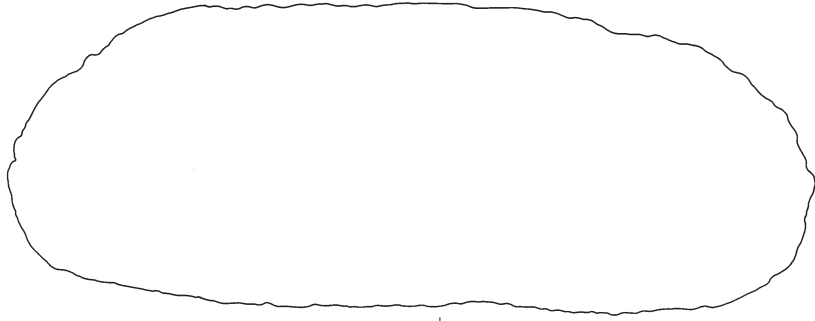
第6章第19図 IV区J1(6)号住居出土縄文石器(5)



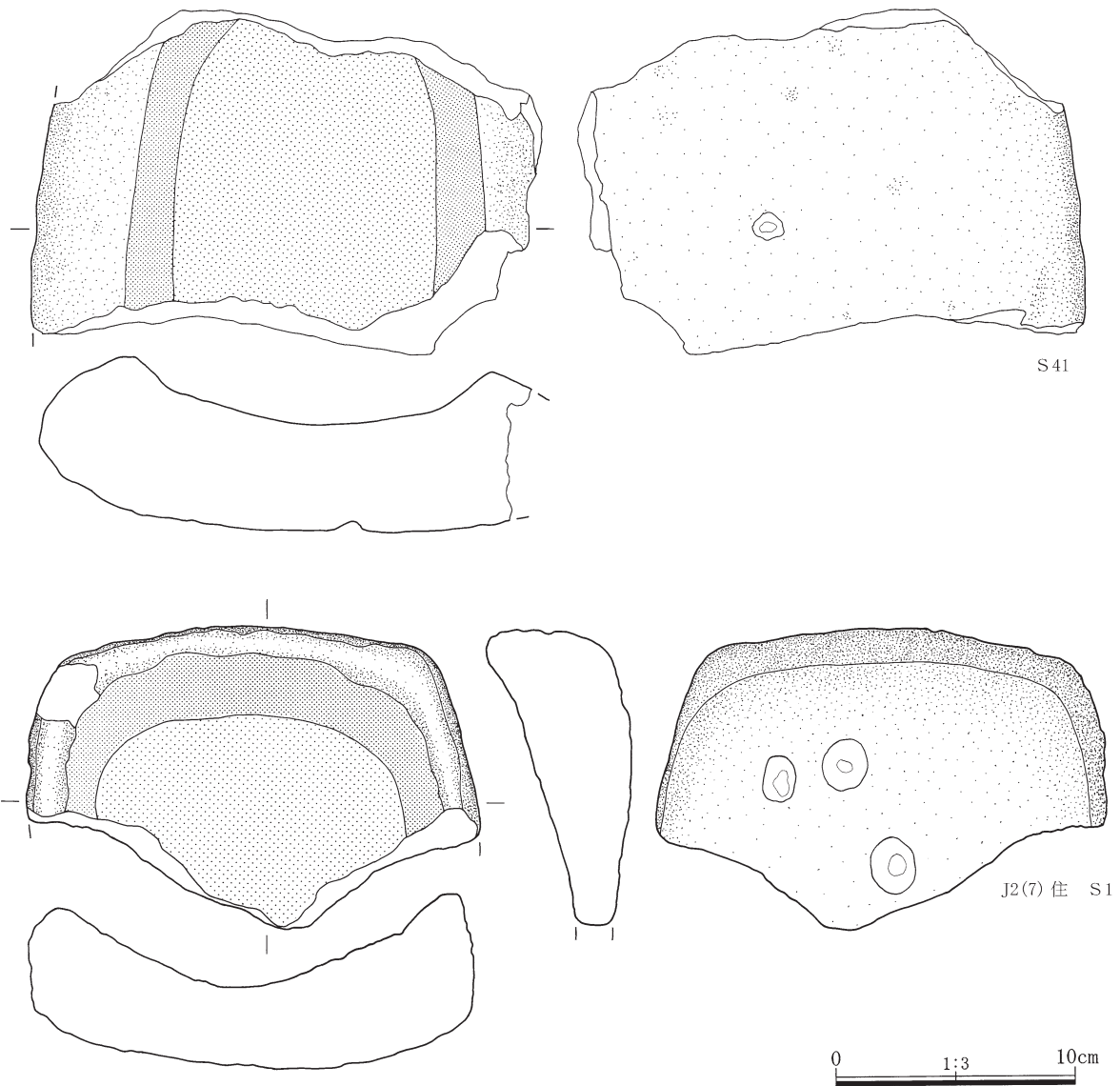
第6章第20図 IV区J 1(6)号住居出土縄文石器(6)



S43



第6章第21図 IV区J1(6)号住居出土縄文石器(7)



第6章第22図 IV区 J 1 (6)号住居出土縄文石器 (8)、J 2 (7)号住居出土縄文石器

第6章表4 IV区J1(6)号住居出土縄文石器観察表(第6章第15~22図、PL.29~32)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	下層 No135	石鏃	完形	1.50	1.60	0.42	0.63	黒色安山岩	頁岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 2	下層 No134	石鏃	完形	1.80	1.30	0.30	0.42	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 3	埋没土	石鏃	完形	1.90	1.50	0.30	0.80	黒色頁岩	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 4	埋没土	石鏃	下端部欠損	(1.20)	1.20	0.40	0.40	黒曜石	—	正三角形無茎鏃。凹基。
S 5	No107	石鏃	一部欠損	2.90	1.60	0.20	1.10	ホルンフェルス?	黒雲母片岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 6	埋没土	石匙	一部欠損	3.10	1.80	0.40	2.50	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	縦型石匙。左右非対称。
S 7	No112	石匙	完形	3.80	4.80	0.50	7.90	黒色頁岩	砂岩	横型石匙。左右非対称。
S 8	No138	石匙	完形	6.00	5.70	1.15	32.40	黒色頁岩	—	横型石匙。左右非対称。
S 9	下層	石匙	完形	5.20	5.70	1.40	30.50	黒色頁岩	—	横型石匙。左右対称。一部表面残存。
S 10	埋没土	石錐	完形	2.70	1.80	0.70	3.20	チャート	—	刃部長さ約9mm、幅約5mm。
S 11	No141	石錐	刃部破損	3.00	2.30	0.80	4.30	チャート	チャート	刃部長さ約12mm、幅約6mm。
S 12	下層	石錐	完形	4.80	1.90	0.90	6.40	珪質頁岩	—	刃部長さ約13mm、幅約5mm。
S 13	埋没土	石錐	刃部破損	5.40	3.40	1.30	22.10	珪質頁岩	—	—
S 14	下層 No136	尖頭器?	完形	3.30	1.70	0.38	1.53	チャート	チャート	有茎尖頭器。
S 15	No122	装身具	破片	(2.20)	(1.10)	0.35	1.20	滑石	—	—
S 16	No 1	管玉	一部欠損	0.90	0.30	0.30	0.13	赤碧玉	—	孔径 15mm。
S 17	Pit 8	打製石斧	上端部欠損	9.50	3.50	1.70	67.10	黒色頁岩	中粒凝灰岩	短冊形石斧。
S 18	埋没土	打製石斧	一部欠損	8.60	5.10	1.20	53.50	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 19	下層	打製石斧	一部欠損	9.20	4.60	1.60	78.70	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 20	埋没土	打製石斧	完形	8.70	3.60	1.40	57.90	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 21	埋没土	打製石斧	上端部欠損	8.20	3.90	1.00	38.80	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 22	下層	打製石斧	一部欠損	9.30	4.40	1.30	63.50	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 23	No115	打製石斧	一部欠損	9.80	4.30	1.50	69.60	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 24	埋没土	打製石斧	完形	8.70	4.70	1.00	40.80	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。1面に表面残存。
S 25	下層	打製石斧	一部欠損	9.60	5.60	1.20	77.50	黒色頁岩	頁岩	撥形石斧。1面に表面残存。
S 26	埋没土	打製石斧	一部欠損	10.40	4.70	2.20	109.10	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 27	埋没土	打製石斧	上端部欠損	10.70	5.20	1.20	76.40	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 28	埋没土	打製石斧	完形	9.70	5.70	1.70	87.60	黒色頁岩	頁岩	撥形石斧。一部表面残存。
S 29	埋没土	打製石斧	一部欠損	11.40	5.50	2.00	118.60	黒色頁岩	頁岩	撥形石斧。
S 30	No103	砥石	完形	5.40	3.90	1.00	20.00	凝灰質砂岩	—	直径約4mmの孔1ヶ所有。条痕溝有。
S 31	埋没土	敲石	一部欠損	14.70	7.00	3.20	520.00	変質玄武岩	細粒凝灰岩	2面に敲打痕有。
S 32	埋没土	石核	完形	6.40	5.90	2.80	111.60	珪質頁岩	珪質頁岩	一部表面残存。
S 33	埋没土	石核	完形	6.80	8.90	6.00	355.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S 34	No118	磨石	完形	11.20	9.80	4.40	870.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S 35	埋没土	磨石	一部欠損	10.20	6.50	4.00	398.00	粗粒輝石安山岩	細粒凝灰岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S 36	No116	磨石	完形	10.10	8.20	4.80	600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S 37	No301	磨石	一部欠損	11.90	7.80	4.00	560.00	石英閃緑岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S 38	No303	磨石	完形	11.40	7.20	4.80	515.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S 39	埋没土	磨石・凹石	完形	11.40	7.20	4.30	610.00	粗粒輝石安山岩	細粒凝灰岩	2面使用。2面を凹石としても使用。 2面に敲打痕有。
S 40	No113	多孔石	完形	26.00	14.10	6.70	1,900.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 41	No338	凹石	完形	26.50	16.00	6.50	3,350.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 42	埋没土	多孔石	完形	24.70	19.70	7.60	4,250.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 43	No306	凹石	完形	41.60	31.40	16.00	27,080.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 44	下層	石皿	破片	(14.20)	(20.20)	7.20	2,600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。

第6章表5 IV区J2(7)号住居出土縄文石器観察表(第6章第22図、PL.32)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	No 9	石皿	破片	(12.60)	18.60	7.10	1,270.00	溶結凝灰岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。1面を凹石として使用。

第6章 IV区の調査

(3) IV区J3(4)号住居

位置：Dl-45・46G、Dm-45・46G、Dn-45・46G

時期：縄文時代前期に比定される。

重複：重複は、認められなかった。

形状：正方形を呈する。

規模：住居の規模は、一辺約7mである。

面積：住居床面の面積は、約33.33㎡である。

覆土：覆土は、6層に分かれる。遺物は、1層及び2層に多く含まれている。

床面：床面は、比較的平坦である。

炉：炉は、住居北東部に1基検出された。炉は不整形を呈し、規模は直径約95cmである。但し、この炉は柱穴P10と重複しており、新旧関係は、炉の方が古い。

埋設土器：埋設土器は、検出されなかった。

柱穴：柱穴は、10基検出された。規模は、以下の通りである。

(P1) 直径約70cm・深さ約45cm、覆土は2層

(P2) 直径約45～50cm・深さ約40cm、覆土は1層

(P3) 直径約45～50cm・深さ約40cm、覆土は2層

(P4) 直径約35～40cm・深さ約20cm、覆土は2層

(P5) 直径約45cm・深さ約30cm、覆土は3層

(P6) 直径約40～60cm・深さ約20cm、覆土は1層

(P7) 直径約35～50cm・深さ約50cm、覆土は3層

(P8) 直径約25cm・深さ約10cm、覆土は1層

(P9) 直径約25cm・深さ約10cm、覆土は1層

(P10) 直径約35～40cm・深さ約50cm、覆土は3層

IV区J3(4)号住居 A-A'、B-B'

1. 黒褐色土 暗褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、礫(φ8cm以下)、炭化物(φ5mm以下)を含む。固くしまっている。

1'. 1層より暗褐色土粒が多い。

2. 1層と同じだが、1層より赤味が強く、粘性が有る。

2'. 2層より暗褐色土粒が多い。

3. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。炭化物(φ2mm以下)を少量含む。やわらかく粘性が有る。

4. 暗褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。粘性が有り固くしまっている。

5. 1層と同じだが、1層より炭化物が多く、焼土粒(φ2mm以下)を含む。

6. 黒色土 暗褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)を少量含む。粘性が有り固くしまっている。(地山の流れ込み)



第6章写真5 IV区J3(4)号住居空撮 [上が南]

周溝：周溝は、住居の3辺に検出された。深さは、約10cm～20cmで、覆土は1層～2層である。

(北部：北西～南東) 長さ約3.3m

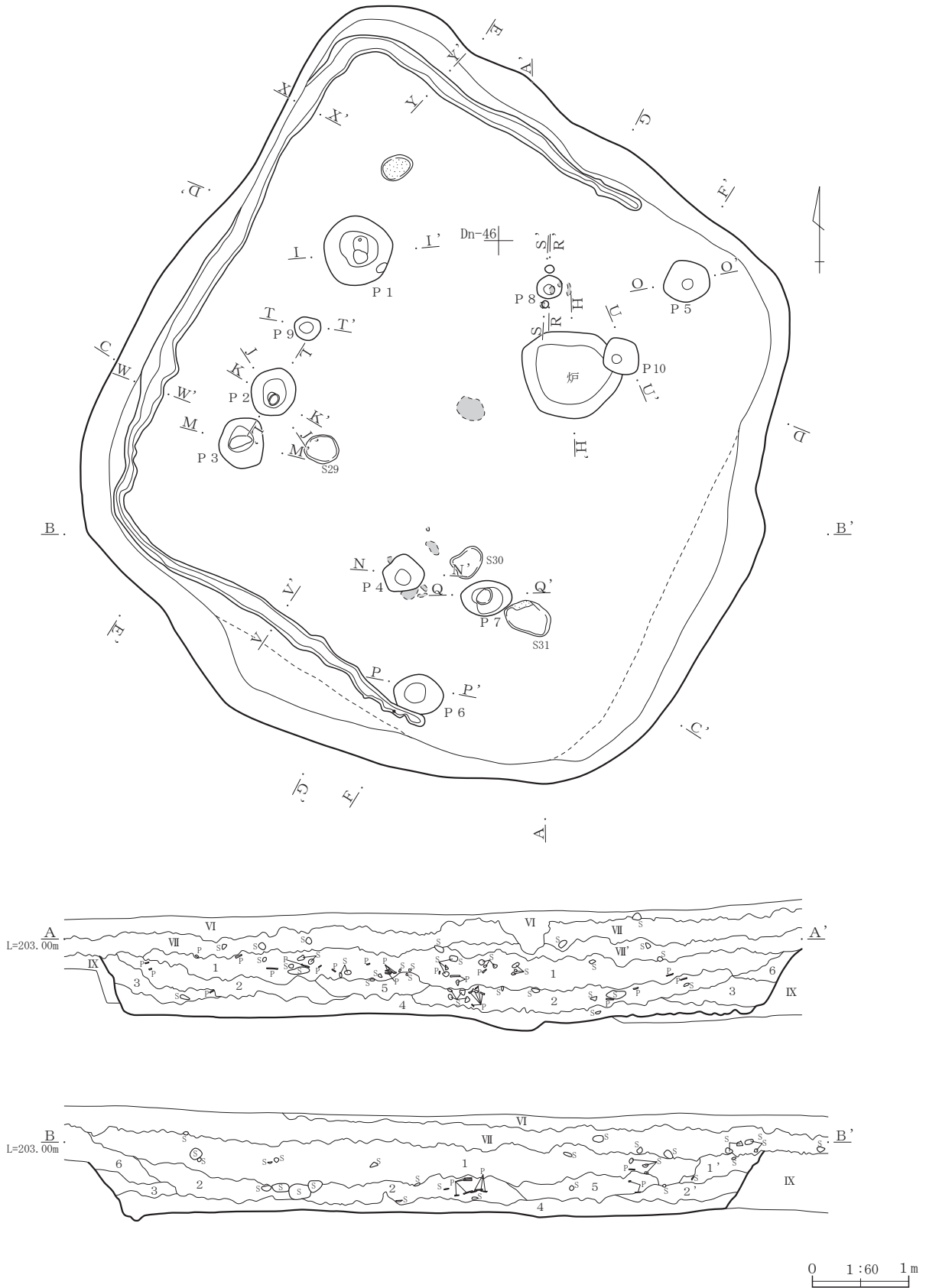
(西部：北東～南西) 長さ約5.5m

(南部：北西～南東) 長さ約3.9m

遺物：遺物は、土器と石器が出土した。

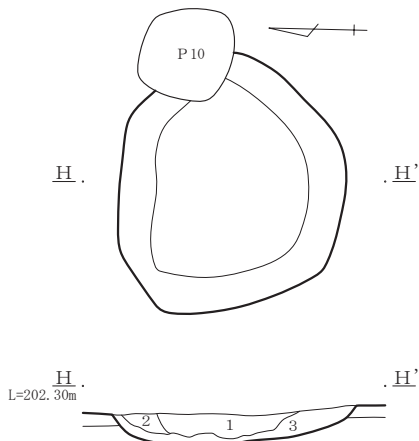
(土器) 土器が90点出土した。内訳は、諸磯a式深鉢12点・諸磯b式深鉢39点・諸磯c式深鉢7点・諸磯b式有孔浅鉢7点・諸磯b式浅鉢4点・諸磯c式浅鉢1点等である。

(石器) 石器が31点出土した。内訳は、石鏃5点・石匙4点・打製石斧6点・砥石1点・凹石4点・磨石6点・石皿2点・台石3点である。



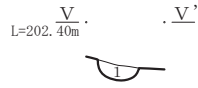
第6章第23図 IV区J3(4)号住居

第6章 IV区の調査



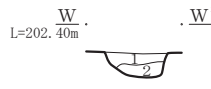
J 3 (4)号住居 炉 H-H'

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 5 cm以下)、炭化物(φ 8 mm以下)、焼土ブロック(φ 3 cm以下)を含む。
2. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。粘性が有る。
3. 褐色土 黒褐色土粒を少量含む。シルト質でやわらかい。



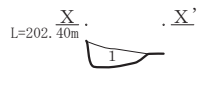
J 3 (4)号住居 周溝 V-V'

1. 暗褐色土 褐色土粒を含む。固くしまっている。



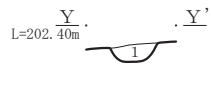
W-W'

1. 暗褐色土 褐色土粒を含む。シルト質でやわらかい。
2. 暗褐色土 褐色土粒を少量含む。シルト質でやわらかい。やや粘性が有る。



X-X'

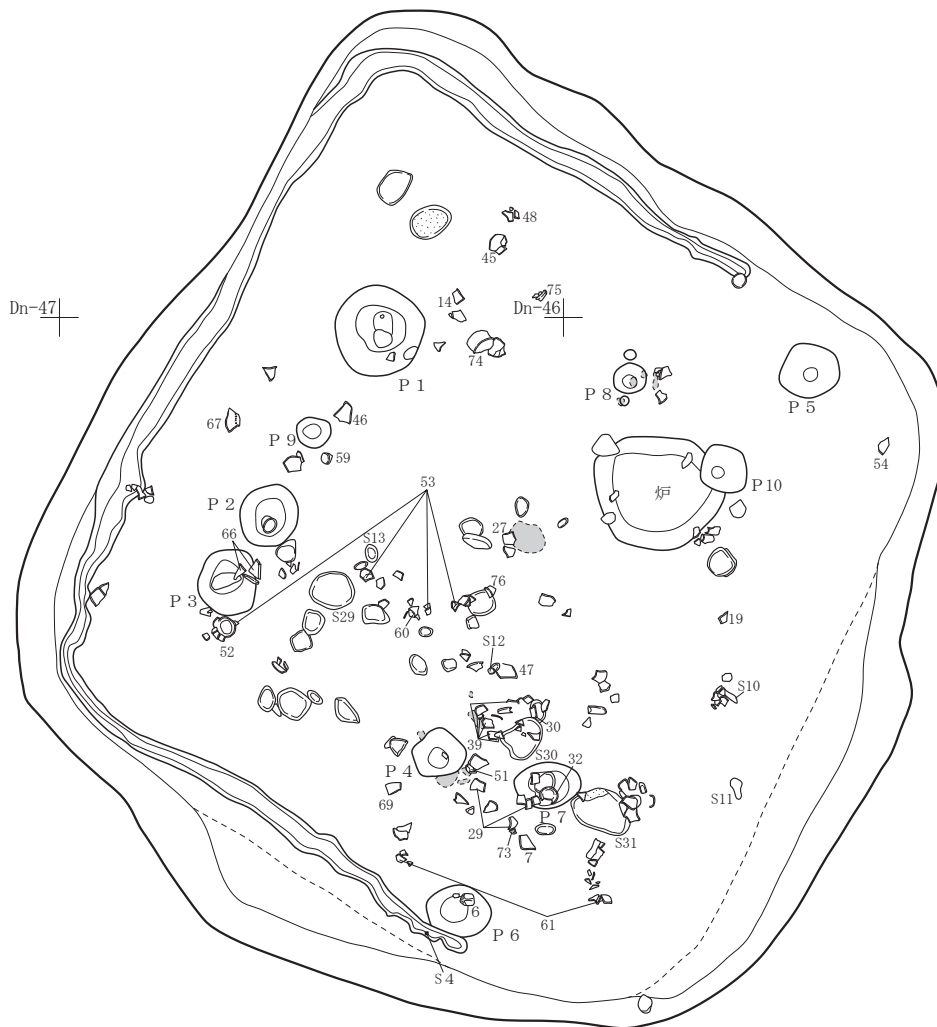
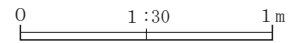
1. 暗褐色土 褐色土粒を含む。シルト質でやわらかい。



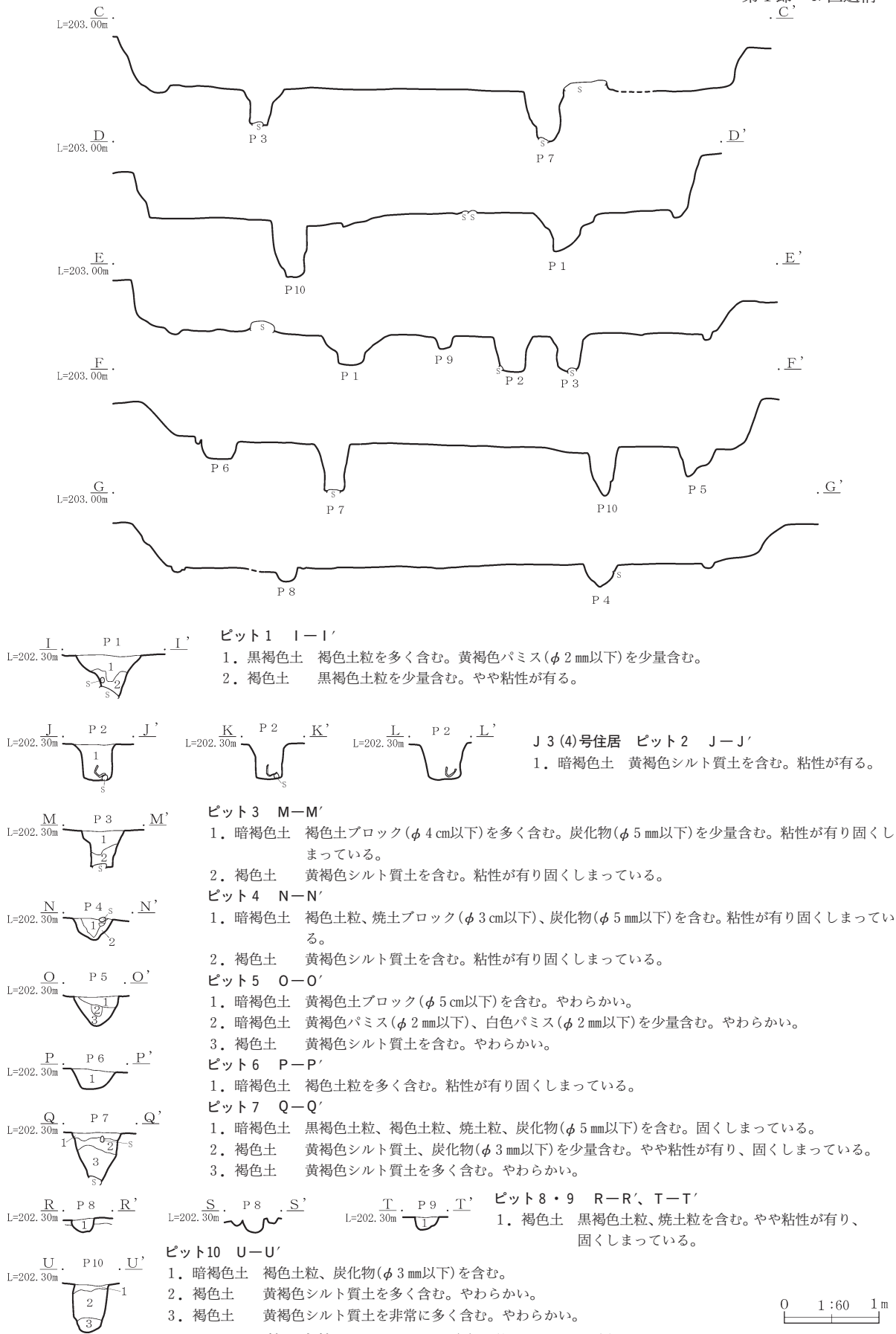
Y-Y'

1. 暗褐色土 褐色土粒を含む。粘性が有り、やや固くしまっている。

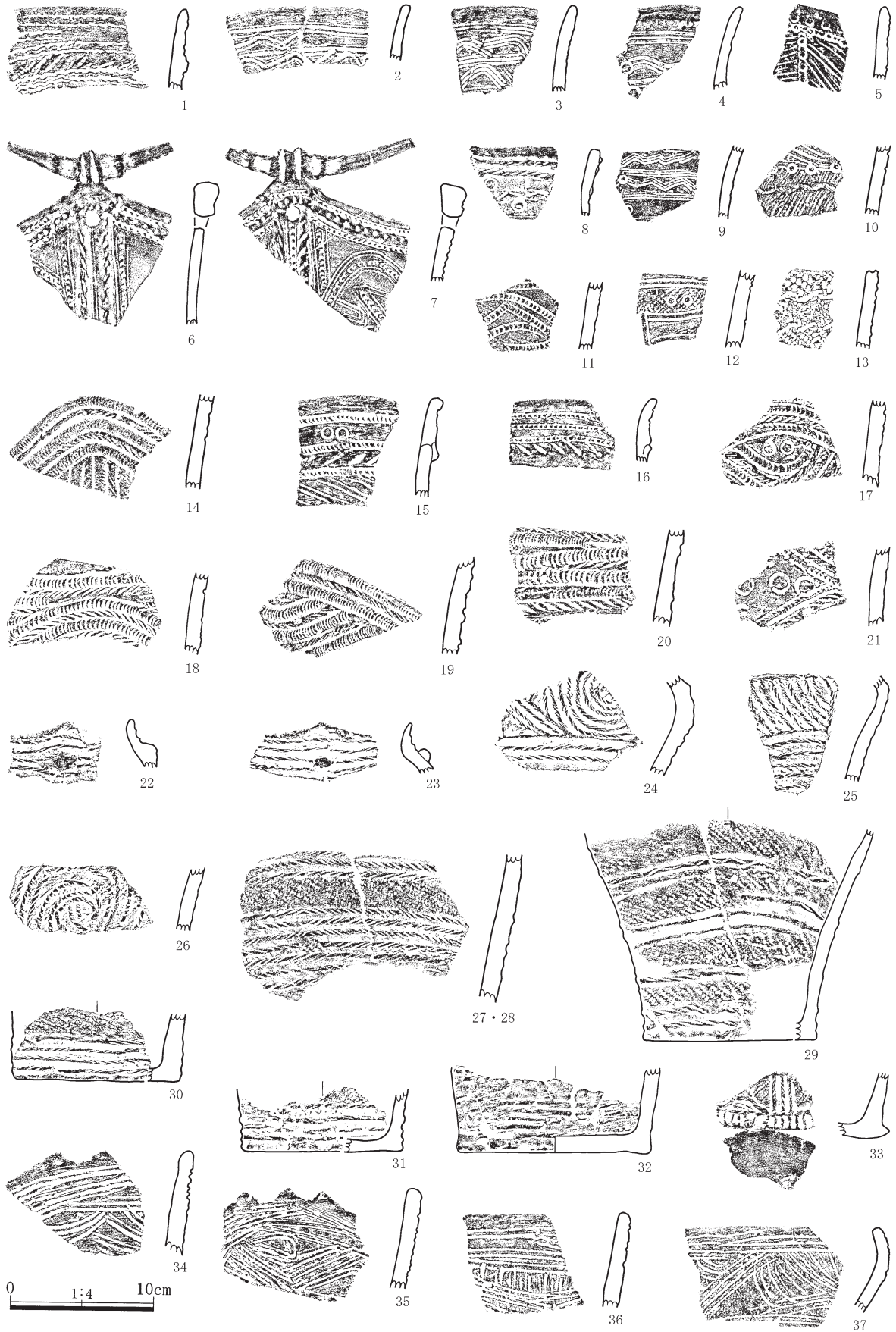
第6章第24図 IV区 J 3 (4)号住居炉、周溝断面



第6章第25図 IV区 J 3 (4)号住居遺物出土状況



第6章 IV区の調査

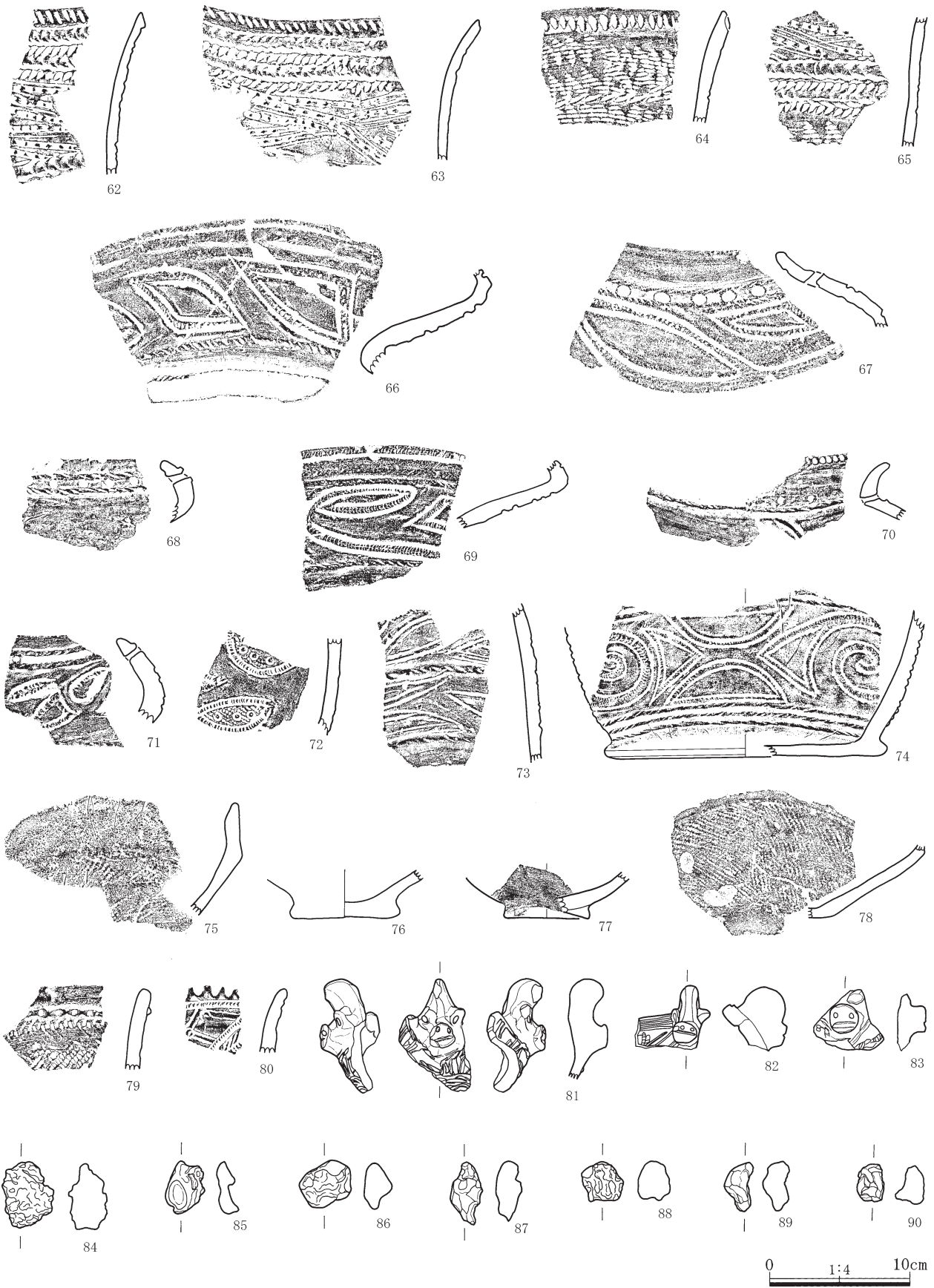


第6章第27図 IV区J3(4)号住居出土縄文土器(1)



第6章第28図 IV区J3(4)号住居出土縄文土器(2)

第6章 IV区の調査



第6章第29図 IV区J3(4)号住居出土縄文土器(3)

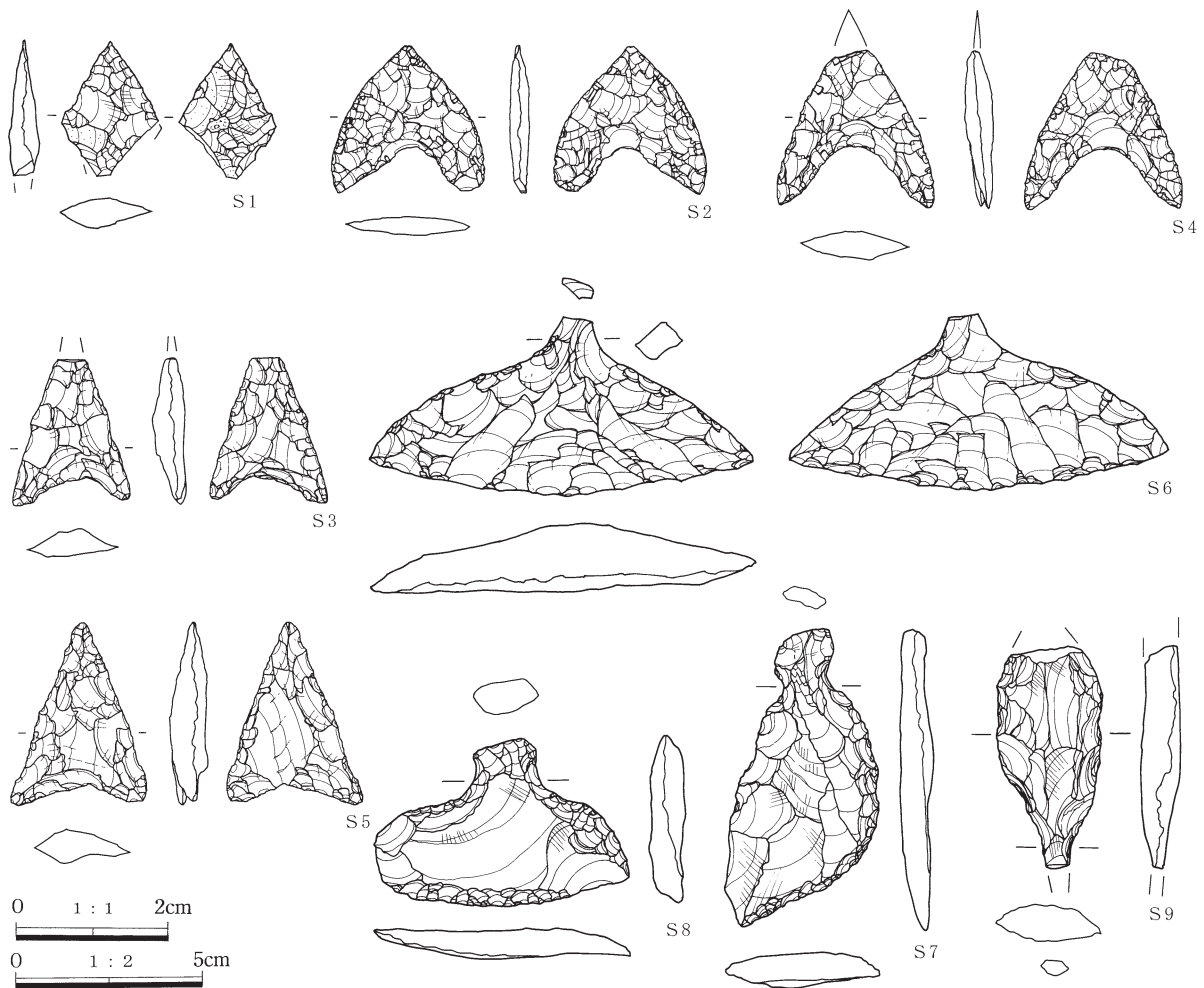
第6章表6 IV区J3(4)号住居出土縄文土器観察表(第6章第27~29図、PL.36~38)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	埋没土	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾6mmの半截竹管によるコンパス文を横位に施文。縄文原体RL。
P2	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸磯a式(新)	巾6mmの平行沈線による横位区画。区画内に鋸歯文。
P3	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯a式(新)	巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内に鋸歯文。
P4	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	赤褐	5YR4/8	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯a式(新)	巾8mmの平行沈線による横位区画と波状文。φ8mmの円形刺突を縦位に加える。
P5	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯a式(古)	巾4mmの平行沈線による縦位区画と肋骨文。φ4mmの円形刺突が口縁と縦位区画線に沿って施文される。
P6	No101	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR7/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	波状口縁頂部に刻みを入れて3単位の突起を作る。隆線と爪形文を口縁に沿って施文する。波頂部下に円形の孔を穿つ。隆線と爪形文を波頂部から垂下させ縦位の区画を作る。7と同一個体。
P7	No102	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR7/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾3mmの平行沈線による木葉文。沈線間に爪形文施文。6と同一個体。
P8	埋没土	深鉢	口縁破片	不良	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの小石多い	諸磯b式(古)	浮線に刻みを持つ。横位施文。φ9mmの円形刺突。
P9	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石多い	諸磯a式(新)	2mm間隔3本の沈線による横位区画と鋸歯文。φ6mmの円形刺突。
P10	埋没土	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	2.5YR5/8	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾4mmの平行沈線による文様施文。φ6mmの円形刺突。縄文は結節縄文。縄文原体Lr。
P11	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾5mmの爪形文による木葉文。
P12	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	巾5mmの平行沈線による木葉文。φ6mmの円形刺突。縄文原体LR。
P13	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/3	φ1mmの小石	諸磯a式(新)	縄文原体RL。
P14	No3	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1~2mmの小石多い	諸磯b式(古)	巾8mmの爪形文による文様施文。爪形文間が隆線文になり刻みを持つ。
P15	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	赤褐	5YR4/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯a式(新)	巾5mmの爪形文横位施文。隆線に刻みを持つ。φ8mmの円形刺突。16と同一個体。
P16	埋没土	深鉢	破片	普通	暗赤褐	5YR3/3	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯a式(新)	15と同一個体。
P17	埋没土	深鉢	胴部破片	良	褐	7.5YR4/3	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(古)	巾7mmの爪形文による変形木葉文、爪形文間の隆線に刻み。φ9mmの円形刺突。
P18	埋没土	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1~2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(古)	巾10mmの爪形文による曲線文。爪形文間の隆線に刻み。
P19	No11	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(古)	巾10mmの爪形文による曲線文。爪形文間隆線に刻み。
P20	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1~3mmの小石多い	諸磯b式(古)	巾10mmの爪形文による文様施文。爪形文間に刻み。
P21	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR7/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(古)	巾8mmの爪形文による文様施文。φ18mmの円形刺突。
P22	埋没土	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤貼付。浮線による横位施文。浮線に矢羽根状の刻み。
P23	埋没土	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤貼付。浮線による横位施文。浮線に矢羽根状の刻み。
P24	埋没土	深鉢	口縁破片	良	灰褐	5YR5/2	φ1~3mmの小石、軽石粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。区画内渦巻文。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体LR。
P25	埋没土	深鉢	胴部破片	良	灰褐	5YR5/2	φ1mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画と渦巻文。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P26	埋没土	深鉢	胴部破片	良	にぶい褐	7.5YR5/3	φ1~3mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による渦巻文。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体LR。
P27	No51	深鉢	胴部破片	不良	明赤褐	5YR5/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体RL。28と同一個体。
P28	埋没土	深鉢	胴部破片	不良	明赤褐	5YR5/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯c式(中1)	27と同一個体。
P29	No20・21・24	深鉢	胴部~底部破片	不良	にぶい黄橙	10YR6/4	砂粒多い	諸磯c式(中1)	浮線を2本対にして横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P30	No28	深鉢	胴部~底部破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1mmの小石、白色粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P31	埋没土	深鉢	胴部~底部破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体LR。
P32	No19	深鉢	胴部~底部	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1mmの小石	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線に斜位の刻み。
P33	埋没土	深鉢	底部破片	良	明黄褐	10YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による縦・弧線、梯子状文。縄文原体LR。
P34	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	口唇に2単位の突起。巾5mmの平行沈線による横線、弧線文。
P35	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁口唇に3単位の突起。巾4mmの平行沈線による菱形文、釣り針状文。
P36	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画と縦位の施文。
P37	埋没土	深鉢	口縁破片	不良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内弧線文。縄文原体RL。

第6章 IV区の調査

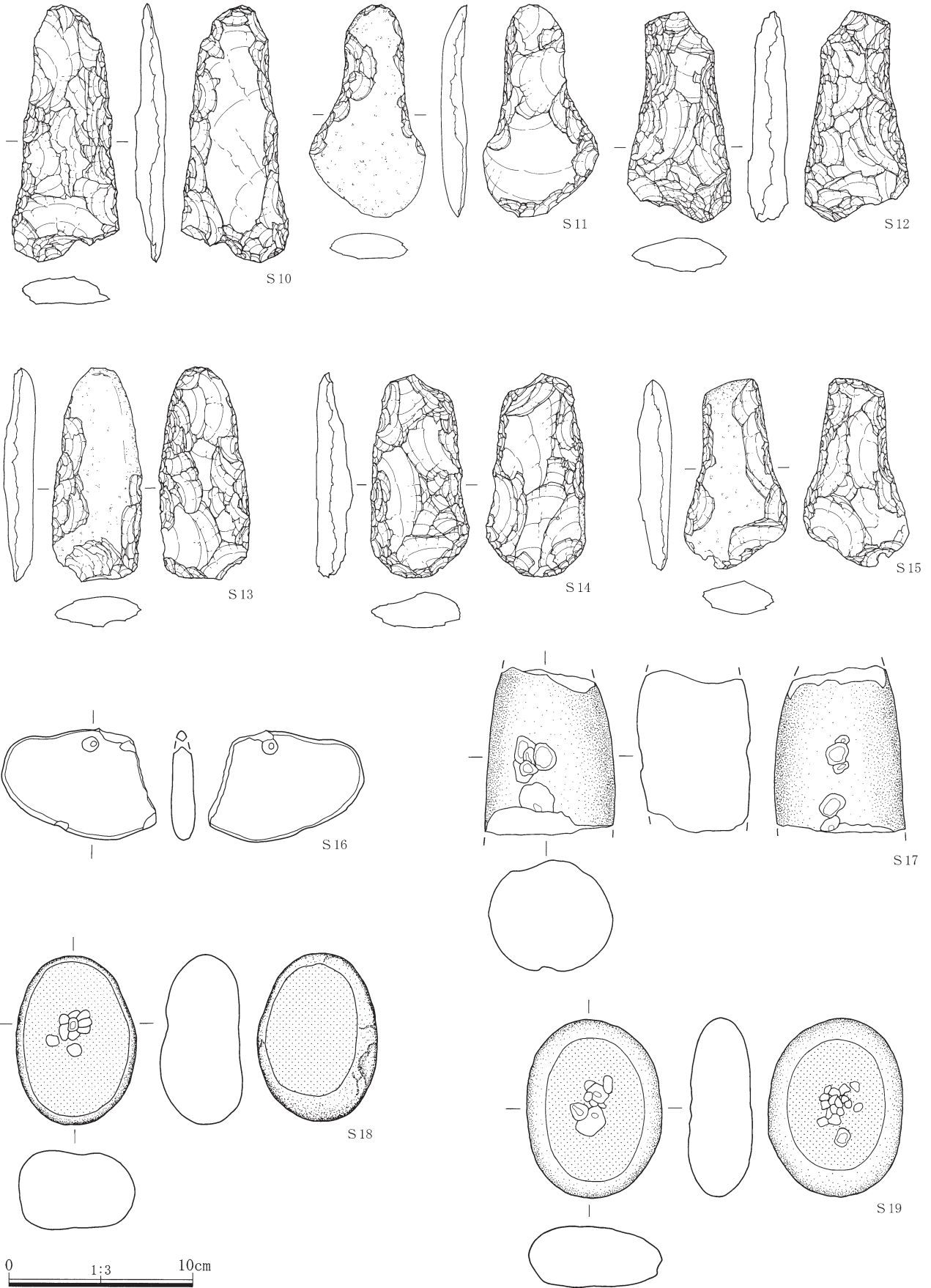
番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P38	埋没土	深鉢	口縁破片	不良	橙	5YR6/8	φ1～3mmの小石、 軽石粒多い	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画と菱形文。縄文原体 RL。
P39	No31・52	深鉢	口縁破片	不良	橙	5YR6/8	φ1～3mmの小石、 軽石粒多い	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画と菱形文。
P40	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/8	φ1mmの小石	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。区画内に渦巻文。縄文原体 RL。
P41	埋没土	深鉢	口縁破片	不良	橙	7.5YR6/6	φ1～3mmの小石 多い	諸磯b式(中2)	波状口縁口唇部に3単位の突起。巾3mmの平行沈線横位施文。
P42	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1～3mmの小石 多い	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線横位区画。沈線に斜の刻み。区画内弧線文。縄文原体 RL。
P43	埋没土	深鉢	口縁破片	不良	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1mmの小石、 軽石	諸磯b式(中2)	口縁に円形の貼付文。巾3mmの平行沈線による横位区画と斜線文。
P44	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1～3mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	口縁部に渦巻状の突起。巾4mmの平行沈線による対弧文。
P45	No.2	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1～2mmの小石、 軽石粒多い	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内の縄文を磨り消している。縄文原体 RL。
P46	No49	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1～3mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 RL。
P47	No77	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画と弧線文。釣り針状文。
P48	No.1	深鉢	胴部破片	普通	灰褐	7.5YR4/2	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 RL。
P49	No14	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。区画内に渦巻文。縄文原体 Lr。
P50	埋没土	深鉢	胴部破片	不良	灰褐	7.5YR4/2	砂粒多い	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 RL。
P51	No26	深鉢	底部	不良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 Lr。
P52	No43	深鉢	底部	普通	明赤褐	2.5YR5/8	φ1～2mmの小石、 軽石粒多い	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。内面スス付着。縄文原体 RL。
P53	No38・40・41・ 66、埋没土	深鉢	口縁～胴部	普通	赤褐	5YR4/6	φ1～3mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中)	縄文原体 Lr。
P54	No103	深鉢	胴部～底部	不良	明赤褐	5YR5/8	砂粒多い	諸磯a式(新)	縄文原体 RL。
P55	埋没土	深鉢	胴部～底部	不良	明赤褐	5YR5/8	φ1～3mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P56	埋没土	深鉢	底部	不良	明赤褐	5YR5/8	砂粒多い	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P57	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中)	結束の羽状縄文。縄文原体 RL、LR。羽状縄文。
P58	埋没土	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	RLを軸としてR1を第1種の附加条にしている。RL、R1。
P59	No48	深鉢	底部破片	不良	明赤褐	5YR5/8	φ1～2mmの小石 多い	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P60	No39	深鉢	底部破片	良	明褐	7.5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P61	No18・32	深鉢	胴部～底部 破片	普通	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P62	埋没土	深鉢	口縁破片	良	暗黄褐	2.5Y5/2	細かい砂粒	浮島III式	口唇に斜位の短い刻み。巾12mmの変形爪形文と、巾4mmの押し引きの爪形文を横位に施文。菱形文を作る。63・65と同一個体。
P63	埋没土	深鉢	口縁破片	良	黄灰	2.5Y4/1	細かい砂粒	浮島III式	62・65と同一個体。
P64	埋没土	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい黒色粒	浮島III式	口唇に短い条線帯。貝殻腹縁によるロッキング施文。頸部に短い斜位の沈線列が施文される。
P65	埋没土	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい黒色粒	浮島III式	胴部に貝殻腹縁によるロッキング施文。62・63と同一個体。
P66	No42、 埋没土	有孔浅鉢	底部破片	不良	にぶい黄褐	10YR4/3	細かい砂粒多い	諸磯b式(中)	沈線により5～8mm巾の爪形文施文域を作り、木葉文を構成する。
P67	No46	有孔浅鉢	底部破片	不良	にぶい黄褐	10YR4/3	細かい砂粒多い	諸磯b式(中)	頸部にφ7mmの孔列。沈線で4～6mm巾の爪形文施文域を作り、木葉文を構成する。
P68	埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中)	口縁に刻みのある浮線が2条廻り、その間にφ5mmの孔列。
P69	No34	有孔浅鉢	口縁破片	不良	橙	7.5YR6/8	φ1～3mmの小石、 軽石粒、雲母	諸磯b式(中)	沈線で巾4～7mmの並行線を作り、爪形文施文し木葉文を描く。
P70	埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	良	赤褐	2.5YR4/6	φ1mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中)	口唇に刻み。頸部に浮線が廻る。頸部にφ3mmの孔列。
P71	埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/8	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中)	口縁部に浮線が廻り間にφ3mmの孔を持つ。沈線により木葉文を描き爪形文が施文される。
P72	埋没土	深鉢	胴部破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯a式	巾5mmの半截竹管による平行沈線と爪形文で木葉文を描く文様内には、縄文とφ5mmの円形刺突。縄文原体 RL。
P73	No21	有孔浅鉢	肩部破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(古)	刻みを持つ隆線が2条廻る。巾5mmの平行沈線による木葉文。
P74	No.5、埋没土	浅鉢	胴部～底部	普通	明黄褐	10YR7/6	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	沈線を巾5～8mm並行させ木葉文を描く。沈線間には爪形文充填。底部には矢羽根状の刻みのある浮線が3条廻る。
P75	No104	浅鉢	底部破片	不良	橙	7.5YR6/6	砂粒多い	諸磯b式	全体に磨減多い。縄文原体 Lr。
P76	No37	浅鉢	底部	良	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中)	横位のナデ整形。

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P77	埋没土	浅鉢	底部	普通	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの砂粒	諸磯b式(中)	底部上げ底で高台状になる。横位の整形痕。
P78	埋没土	浅鉢	底部破片	良	明赤褐	5YR5/8	φ1~3mmの小石	諸磯b式(古)	縄文原体RL。
P79	埋没土	浅鉢	口縁破片	普通	赤褐	2.5YR4/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式	口縁に凸帯が廻る。凸帯には丘痕。縄文原体LR。
P80	埋没土	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/3	細かい砂粒	格子目土器	口唇に刻みを持ち鋸歯状になる。巾5mmの半截竹管による平行沈線で格子目文を作る。沈線間に爪形文が充填される部分もある。交点に円形の刺突。
P81	No169	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	浮線による文様施文。浮線には矢羽根状の刻み。粘土瘤を貼り付け獣面を表現する。
P82	No149	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	平行沈線による文様区画。粘土瘤を貼り付け獣面を表現する。
P83	No150	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	粘土瘤貼付による獣面表現。
P84	No237	粘土塊	破片	普通	橙	5YR6/8	—	—	—
P85	No238	粘土塊	破片	普通	橙	5YR6/8	—	—	—
P86	No239	粘土塊	破片	普通	橙	5YR6/8	—	—	—
P87	No240	粘土塊	破片	普通	橙	5YR6/8	—	—	—
P88	No241	粘土塊	破片	普通	橙	5YR6/8	—	—	—
P89	No242	粘土塊	破片	普通	橙	5YR6/8	—	—	—
P90	No243	粘土塊	破片	普通	橙	5YR6/8	—	—	—

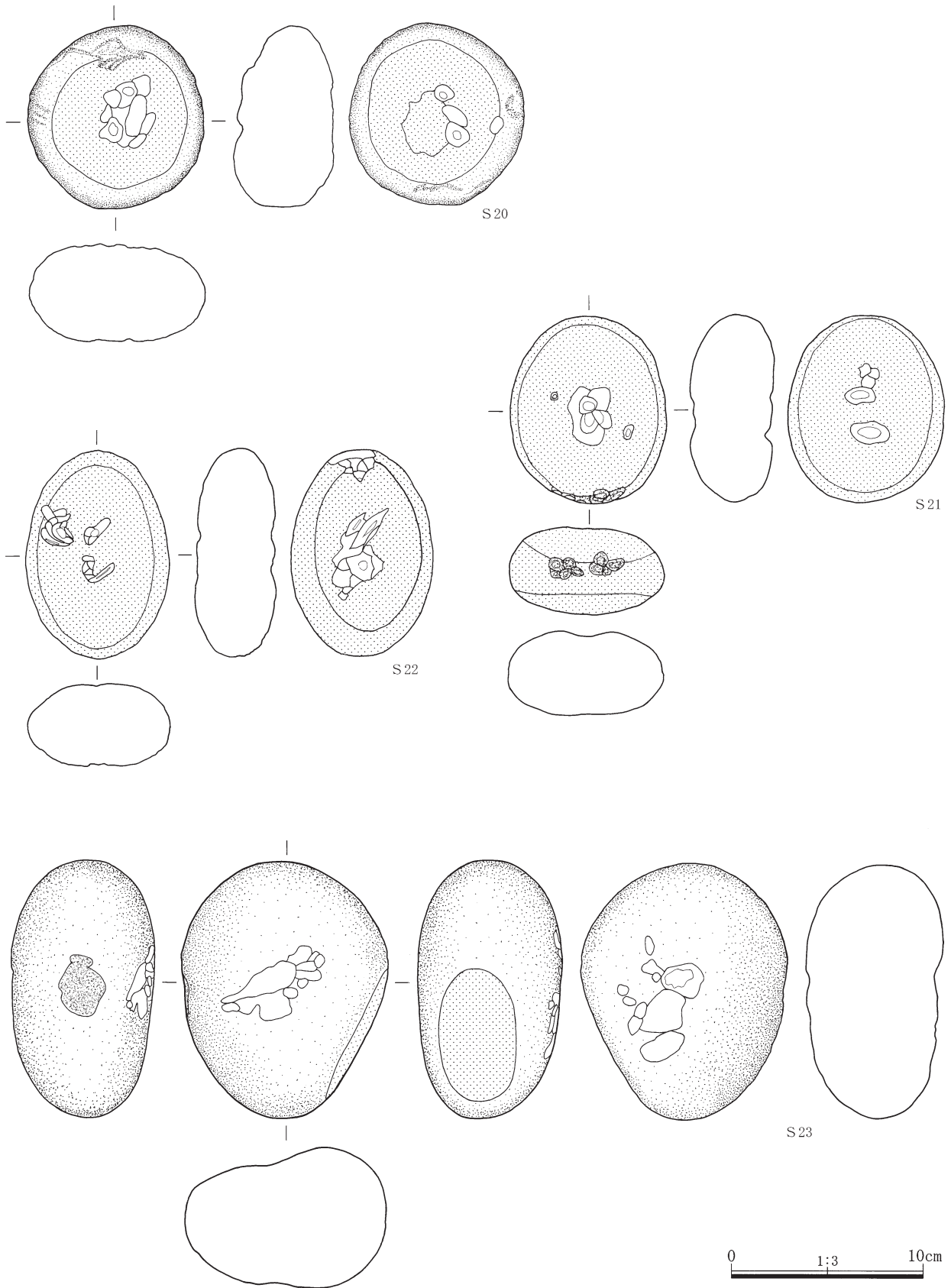


第6章第30図 IV区J3(4)号住居出土縄文石器(1)

第6章 IV区の調査

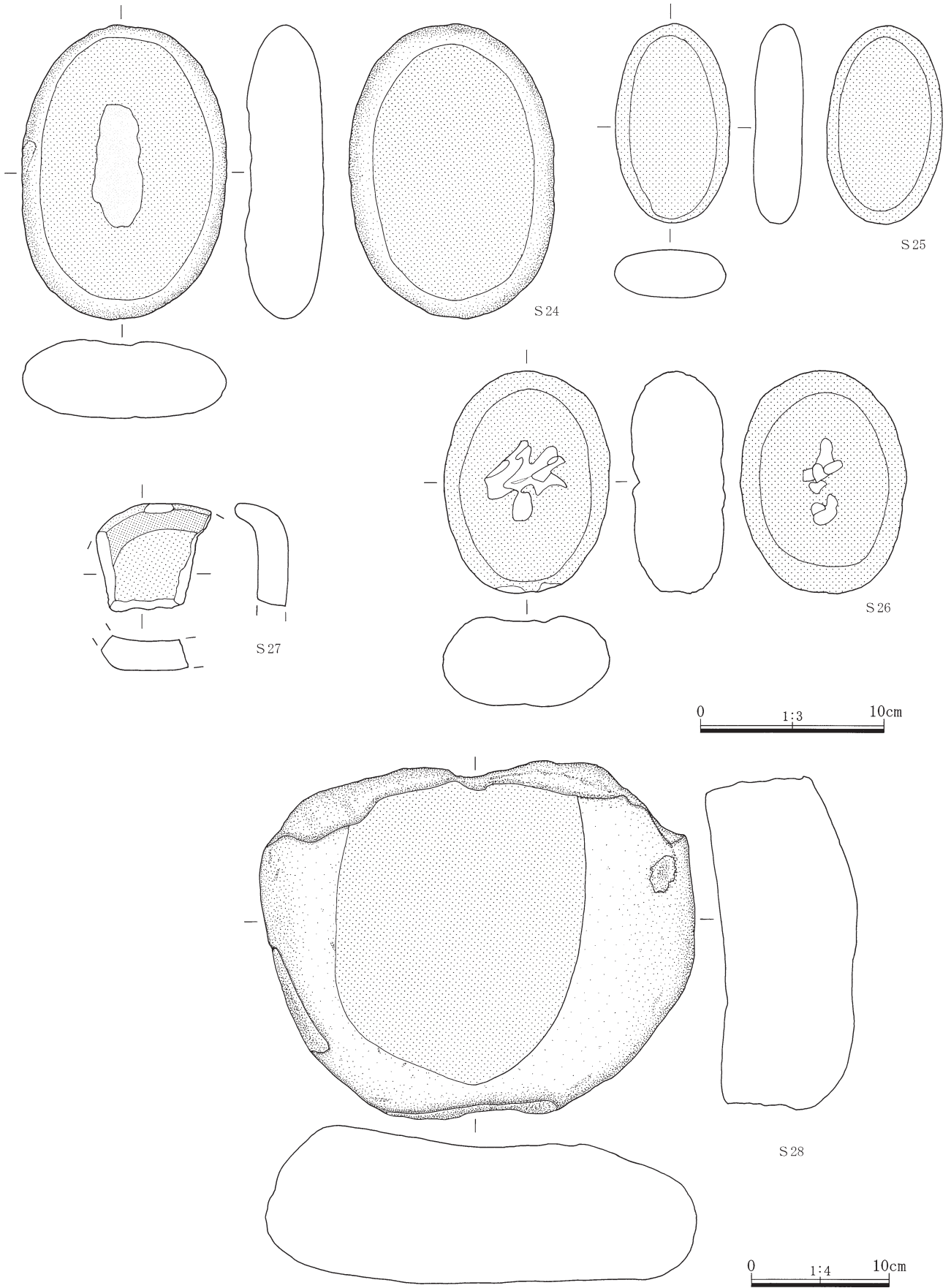


第6章第31図 IV区 J 3 (4)号住居出土縄文石器(2)

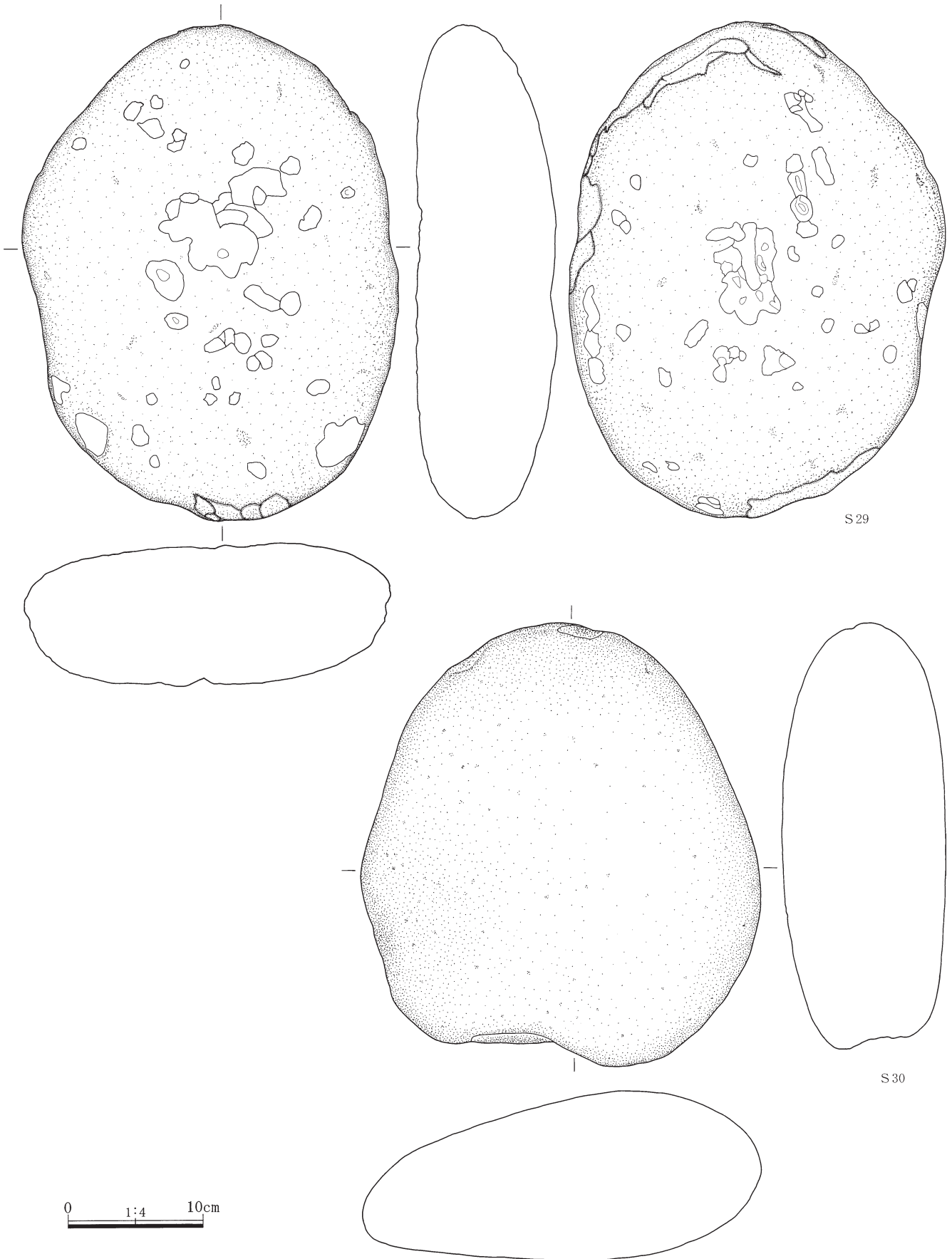


第6章第32図 IV区J3(4)号住居出土縄文石器(3)

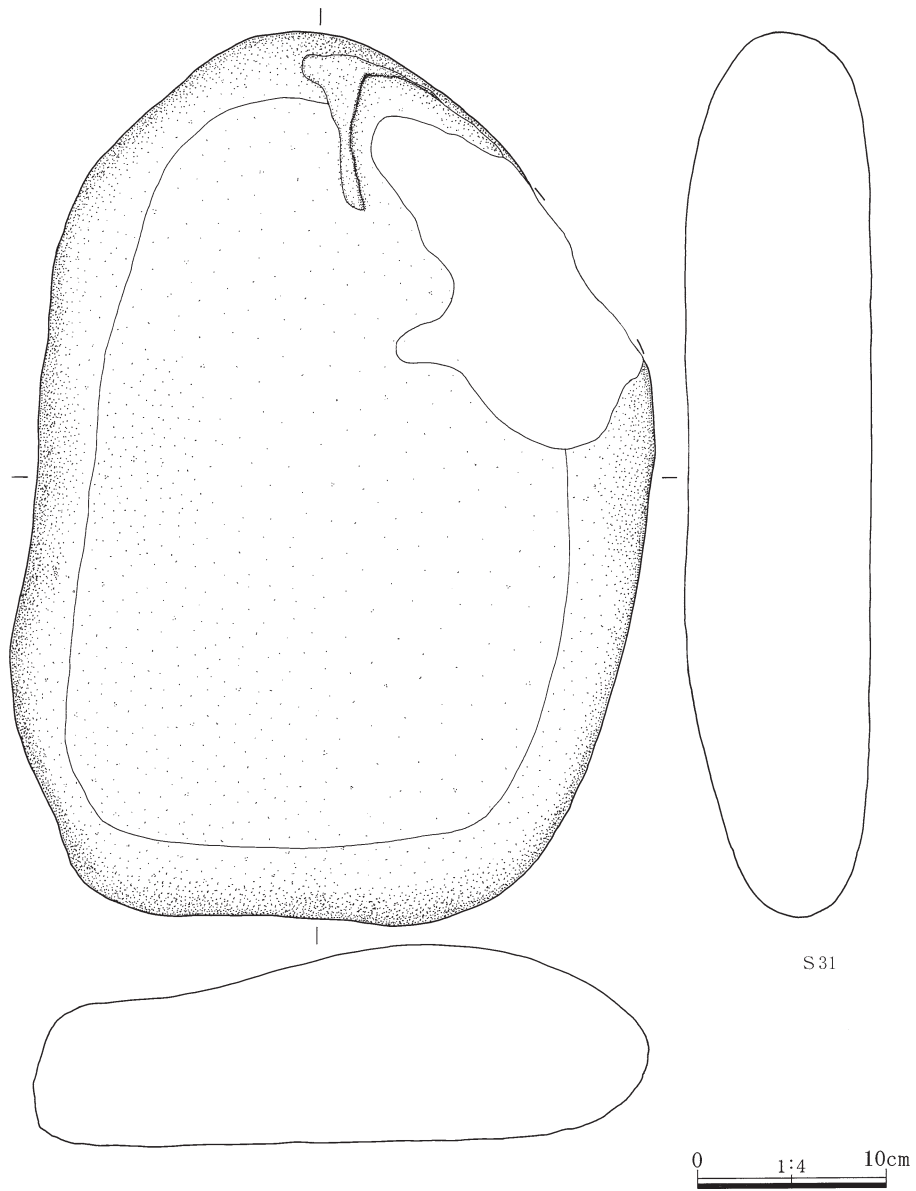
第6章 IV区の調査



第6章第33図 IV区J3(4)号住居出土縄文石器(4)



第6章第34図 IV区J3(4)号住居出土縄文石器(5)



第6章第35図 IV区J3(4)号住居出土縄文石器(6)

第6章表7 IV区J3(4)号住居出土縄文石器観察表(第6章第30~35図、PL.39~41)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値(cm)			重量(g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	埋没土	石鏃	一部欠損	(1.75)	(1.30)	0.40	0.60	黒曜石	黒曜岩	—
S 2	埋没土	石鏃	完形	1.90	2.00	0.30	0.88	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 3	埋没土	石鏃	尖端部欠損	(1.90)	1.50	0.40	0.86	黒色安山岩	無斑晶質安山岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 4	No105	石鏃	尖端部欠損	(1.90)	2.10	0.40	1.00	赤碧玉	鉄石英(赤玉石)	正三角形無茎鏃。凹基。
S 5	埋没土	石鏃	一部欠損	2.40	1.85	0.50	1.45	黒色安山岩	無斑晶質安山岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 6	埋没土	石匙	完形	2.40	5.00	0.90	7.60	珪化凝灰岩	流紋岩	横型石匙。左右対称。
S 7	埋没土	石匙	完形	6.90	3.90	0.90	24.20	黒色頁岩	—	縦型石匙。左右非対称。
S 8	埋没土	石匙	完形	4.45	6.55	0.80	20.70	黒色頁岩	—	横型石匙。左右対称。
S 9	埋没土	石鏃	上下端欠損	(5.80)	2.80	1.50	18.90	黒色頁岩	—	刃部破損。
S 10	No63	打製石斧	一部欠損	13.80	5.80	1.60	130.20	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 11	No94	打製石斧	完形	11.40	6.10	1.40	101.50	黒色頁岩	砂岩	撥形石斧。1面表面残存。
S 12	埋没土	打製石斧	一部欠損	11.30	5.70	2.10	140.80	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 13	埋没土	打製石斧	完形	11.50	4.80	1.70	108.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。1面表面残存。
S 14	埋没土	打製石斧	一部欠損	11.00	5.40	1.90	119.60	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 15	埋没土	打製石斧	一部欠損	10.20	5.80	1.80	107.20	黒色頁岩	頁岩	撥形石斧。1面表面残存。
S 16	No104	砥石	一部欠損	5.90	(7.60)	1.30	72.00	牛伏砂岩	—	直径約4mmの孔1ヶ所有。
S 17	埋没土	凹石	上下端欠損	(9.00)	6.90	6.00	472.00	デイサイト	中粒凝灰岩	2面使用。
S 18	埋没土	磨石	完形	9.10	6.50	4.30	386.00	文象斑岩	ヒン岩	2面使用。1面を凹石としても使用。
S 19	No93	磨石	完形	9.60	7.30	3.50	378.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 20	埋没土	磨石	完形	9.40	9.10	5.00	585.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S 21	埋没土	磨石	完形	9.70	8.00	4.40	484.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。1面に敲打痕。
S 22	埋没土	磨石	完形	10.70	7.40	4.20	472.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S 23	埋没土	凹石	完形	13.30	10.60	7.30	1,470.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。1面を磨石として使用。
S 24	埋没土	凹石	完形	15.90	11.00	4.20	995.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。1面を磨石として使用。
S 25	埋没土	磨石	完形	10.70	6.10	2.60	279.00	黒色頁岩	頁岩	全面使用。
S 26	Pit 4 埋没土	凹石	完形	12.00	9.00	5.00	785.00	石英閃緑岩	石英閃緑岩	2面使用。2面を磨石としても使用。
S 27	埋没土	石皿	破片	(5.80)	(6.20)	3.10	78.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。
S 28	埋没土	石皿	1/2	24.30	(31.30)	11.10	14,350.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。
S 29	No108	台石	完形	36.80	28.10	10.50	14,950.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 30	No99	台石	完形	32.30	29.60	12.40	17,350.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。
S 31	No107	台石	一部欠損	43.00	32.60	10.40	27,400.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。



第6章写真6 IV区J3(4)号住居遺物出土状況[北→]

第6章 IV区の調査

(4) J 4 (2)号住居

位置：Dx-39・40G、Dy-39・40G、Dz-39・40G

時期：縄文時代前期に比定される。

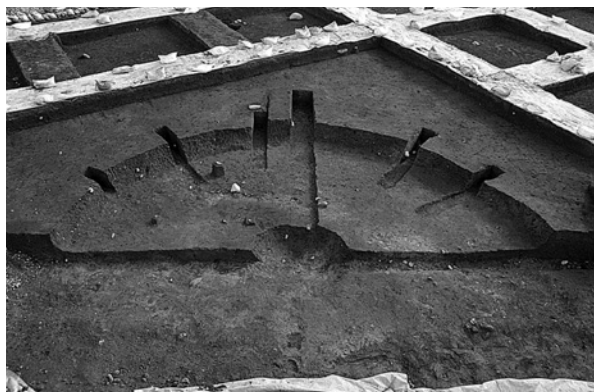
重複：倒木痕5カ所との重複が認められた。

形状：4期にわたる調査期間の中で、住居中央部で調査区が分かれ、埋め戻しをした後に再度発掘を実施したために、住居西側の検出状況が一部不明瞭である。しかしながら、東側の検出状況から、住居の形状は円形であると推定される。

規模：住居の規模は、直径約7.4mであると推定される。

面積：住居床面の面積は、約35.33㎡である。但し、これは東側半分の面積であり、住居全体では、約70㎡であると推定される。

覆土：覆土は、9層に分かれる。遺物は、2層



第6章写真7 IV区J 4 (2)号住居全景 [西→]



第6章写真9 IV区J 4 (2)号住居炉全景 [東→]

に多く含まれている。

床面：床面は、一部倒木痕により攪乱されているが、比較的平坦である。

炉：炉は、住居中央部に1基検出された。炉は円形を呈し、規模は直径約1.5mである。

埋設土器：埋設土器は、検出されなかった。

柱穴：柱穴は、4基検出された。規模は、以下の通りである。

(P 1) 直径約45cm・深さ約25cm、覆土は4層

(P 2) 直径約30cm・深さ約20cm、覆土は2層

(P 3) 直径約35~40cm・深さ約25cm、覆土は3層

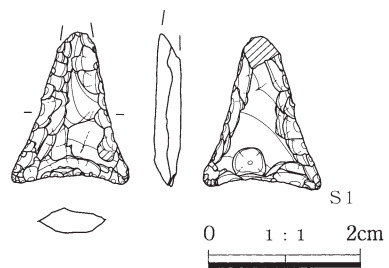
(P 4) 直径約35cm・深さ約25cm、覆土は2層

周溝：周溝は、検出されなかった。

遺物：遺物は、石鏃が1点出土した。



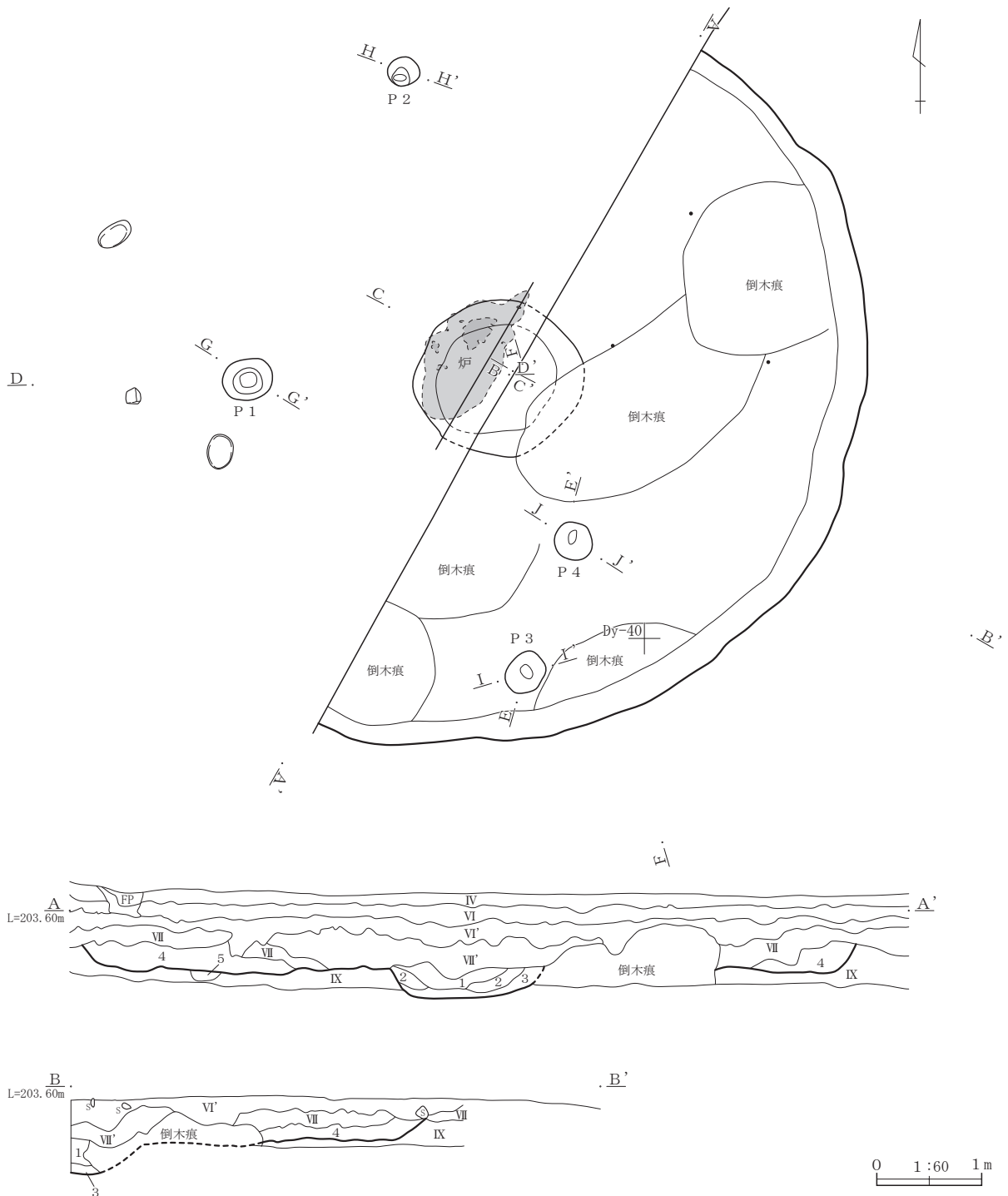
第6章写真8 IV区J 4 (2)号住居全景 [東→]



第6章第36図 IV区J 4 (2)号住居出土縄文石器

第6章表8 IV区J 4 (2)号住居出土縄文石器観察表 (第6章第36図、PL. 42)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	埋没土	石鏃	先端部欠損	(2.00)	1.60	0.35	0.92	黒色頁岩	細粒凝灰岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。

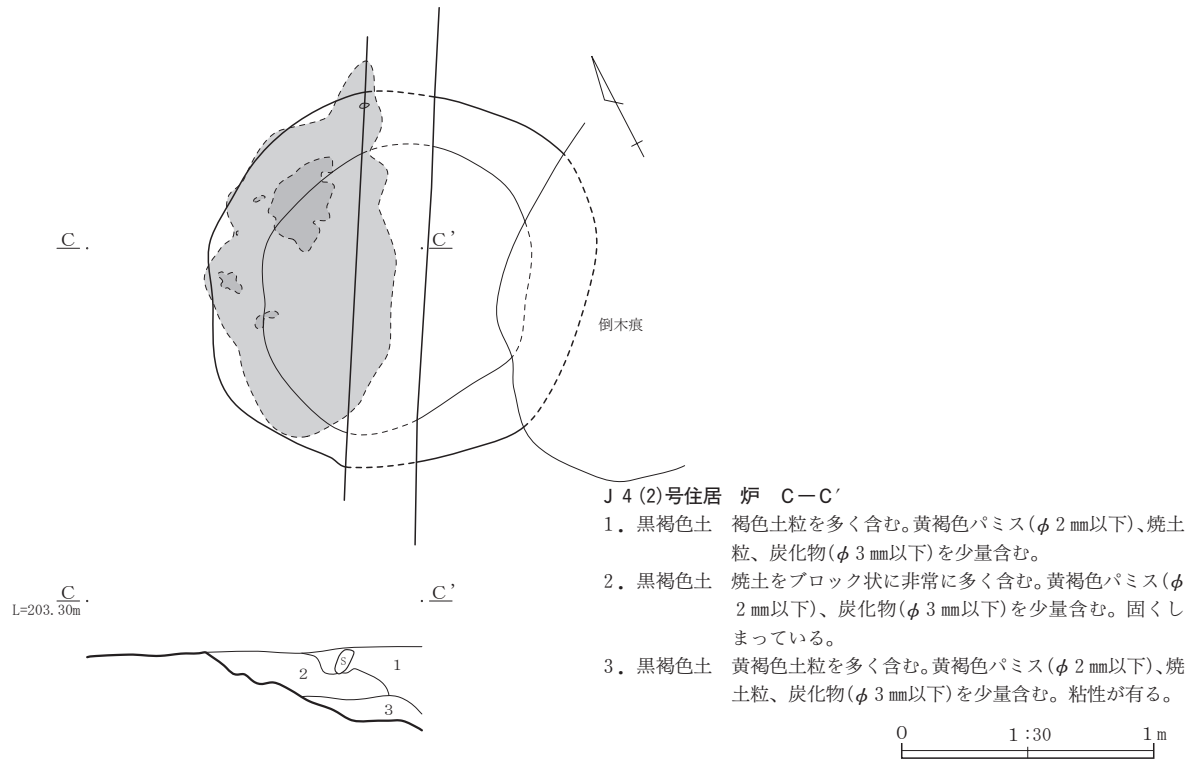


IV区J4(2)号住居 A-A'、B-B'

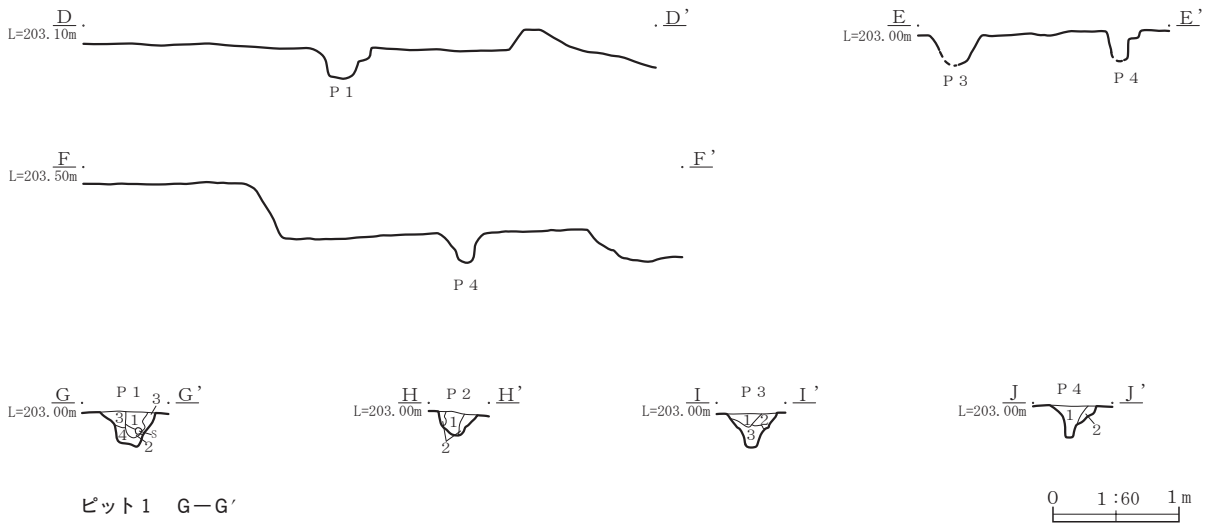
1. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(ϕ 2mm以下)、焼土粒、炭化物(ϕ 3mm以下)を少量含む。
2. 黒褐色土 焼土をブロック状に非常に多く含む。黄褐色パミス(ϕ 2mm以下)、炭化物(ϕ 3mm以下)を少量含む。固くしまっている。
3. 黒褐色土 黄褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(ϕ 2mm以下)、焼土粒、炭化物(ϕ 3mm以下)を少量含む。粘性がある。
4. 黒褐色土 黄褐色パミス(ϕ 2mm以下)、炭化物(ϕ 2mm以下)を少量含む。褐色土粒を多く含む。やや固くしまっている。
5. 黒褐色土 黄褐色パミス(ϕ 2mm以下)、褐色土粒、黄褐色土粒を少量含む。柱穴か？
- IV. 黒褐色土 FA粒、ブロック(ϕ 30mm以下)を非常に多く含む。
- IV'. 黒褐色土 黄褐色パミス(ϕ 3mm以下)、褐色土粒を含む。
- VI. 黒褐色土 黄褐色パミス(ϕ 3mm以下)を含む。
- VI'. 黒褐色土 黄褐色パミス(ϕ 3mm以下)、褐色土粒を含む。
- VII. 黒褐色土 黄褐色パミス(ϕ 3mm以下)を少量含む。褐色土粒、ブロック(ϕ 50mm以下)を多く含む。
- VII'. 黄褐色土 黒褐色土粒を含む。
- IX. 黄褐色土 黒褐色土粒を含む。

※ 1～3層は炉埋没土

第6章第37図 IV区J4(2)号住居



第6章第38図 IV区J4(2)号住居炉



ピット1 G-G'

1. 暗褐色土 黄褐色土粒をやや多く含む。炭化物を少量含む。
2. 黒褐色土 黄褐色パミス(ϕ 2mm以下)、黄褐色土粒を少量含む。粘性が有り、非常に固くしまっている。
3. 暗褐色土 黄褐色土粒を少量含む。粘性が有り、固くしまっている。
4. 黒褐色土 黄褐色土粒を少量含む。粘性が有り、固くしまっている。

ピット2 H-H'

1. 暗褐色土 黄褐色土粒をやや多く含む。炭化物を少量含む。
2. 暗褐色土 黄褐色土粒を非常に多く含む。

ピット3 I-I'

1. 暗褐色土 黄褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(ϕ 1mm以下)、炭化物を少量含む。
2. 暗褐色土 黄褐色土粒を非常に多く含む。黄褐色パミス(ϕ 1mm以下)を少量含む。

ピット4 J-J'

1. 黒褐色土 暗褐色土粒、黄褐色パミス(ϕ 1mm以下)、炭化物を少量含む。
2. 暗褐色土 黒褐色土粒、黄褐色パミス(ϕ 1mm以下)、炭化物を少量含む。
3. 暗褐色土 黄褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(ϕ 1mm以下)、炭化物を少量含む。粘性が有る。

第6章第39図 IV区J4(2)号住居・ピット断面

2. 配石遺構

IV区縄文面から、配石遺構が1基検出された。

(1) IV区J 1号配石遺構

位置：Ds-37・38G、Dt-37・38Gから検出された。

規模：長軸（南北）約6.5m・短軸（東西）約3.5mの規模である。

土層：土層は、1層である。

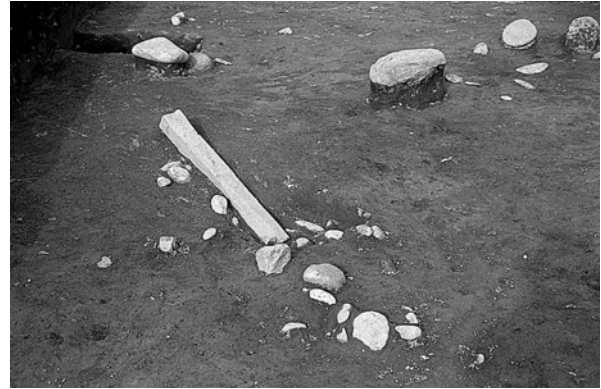
遺物：土器4点・石器2点が出土した。

（土器）諸磯b式の深鉢4点が出土した。

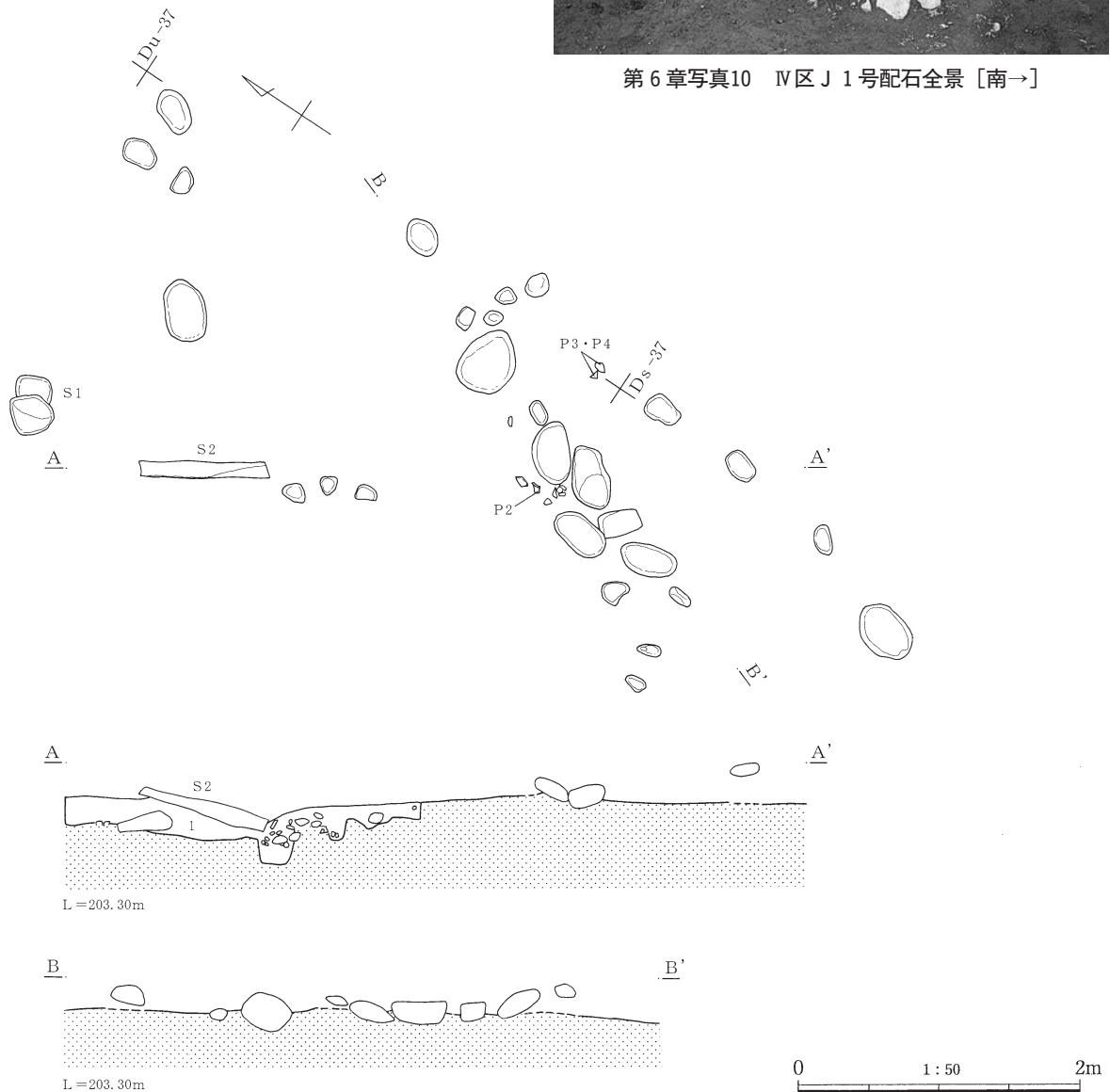
（石器）多孔石1点・石棒1点が出土した。

重複：重複は、認められなかった。

備考：本配石遺構の石棒は、検出時には倒れていたが、断面を観察すると、ピットが認められるため、石棒は、垂直に立てられていた可能性が高い。

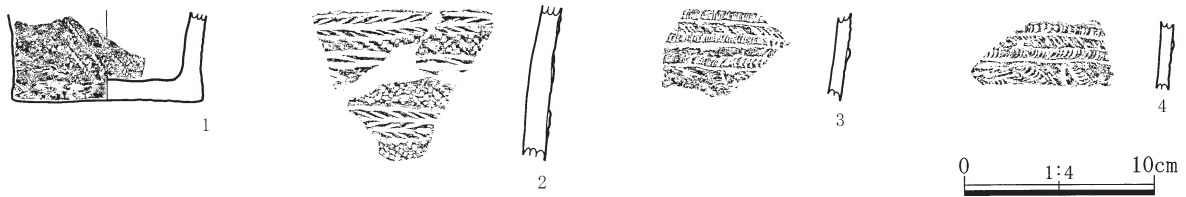


第6章写真10 IV区J 1号配石全景 [南→]



第6章第40図 IV区J 1号配石

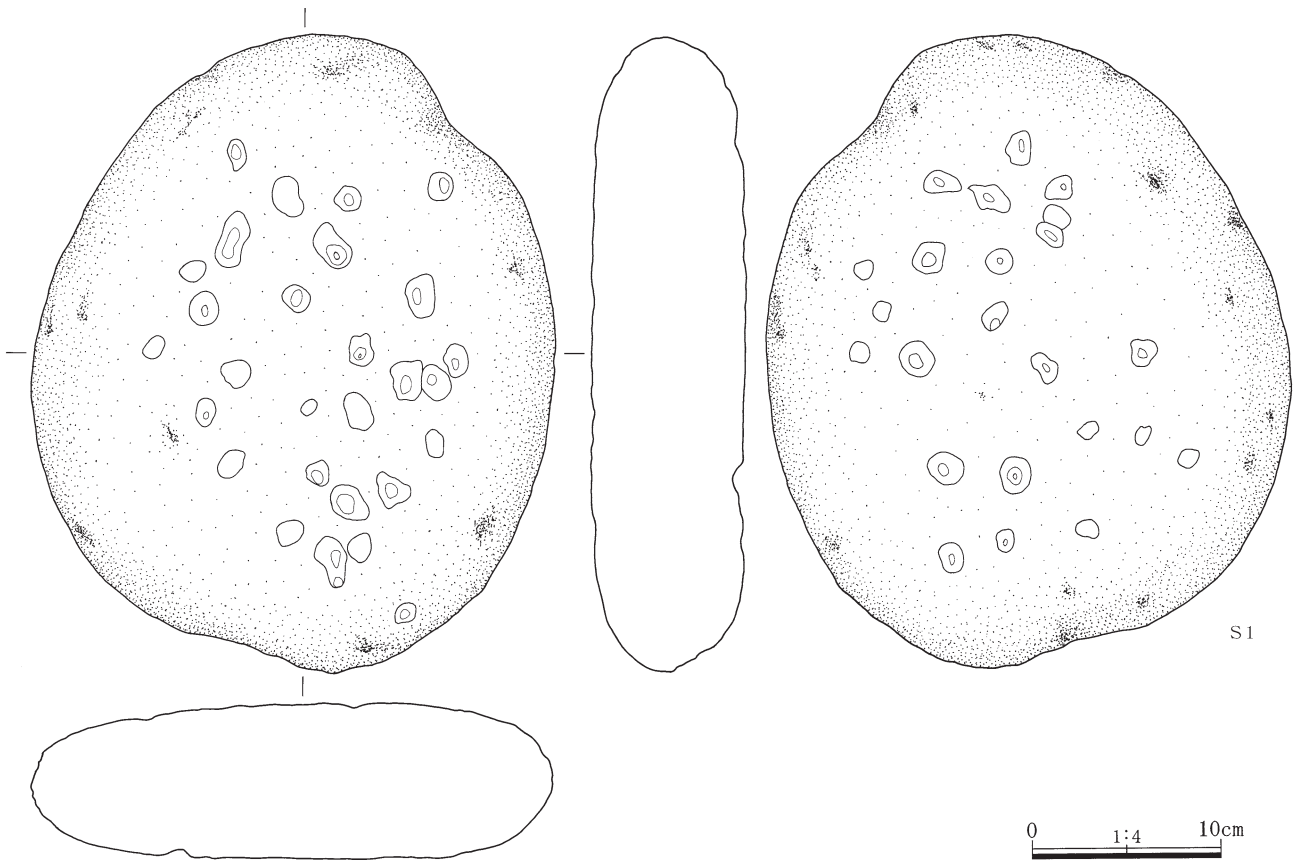
第6章 IV区の調査



第6章第41図 IV区J1号配石出土縄文土器

第6章表9 IV区J1号配石出土縄文土器観察表 (第6章第41図、PL.43)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	No. 5	深鉢	底部	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体RL横。附加条1種。
P 2	No. 4	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P 3	No. 1	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR7/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	間隔の狭い爪形文。間には刻みのある隆線。4と同一個体。
P 4	No. 1	深鉢	破片	普通	橙	5YR6/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	3と同一個体。



第6章第42図 IV区J1号配石出土縄文石器

第6章表10 IV区J1号配石出土縄文石器観察表 (第6章第42図、PL.43)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	No. 8	多孔石	完形	33.40	27.70	8.20	10,750.00	粗粒輝石安山岩	角閃石輝石安山岩	2面を使用。
S 2	No. 7	石棒	完形	93.50	10.00	9.50	1,842.00	粗粒輝石安山岩	—	柱状節理をそのまま使用。

3. 集石

IV区縄文面から、集石遺構が2基検出された。

(1) IV区J1号集石

位置：Eb-46Gから検出された。

規模：長軸（東西）約2m・短軸（南北）約1.4mの規模である。

土層：土層は、不明である。

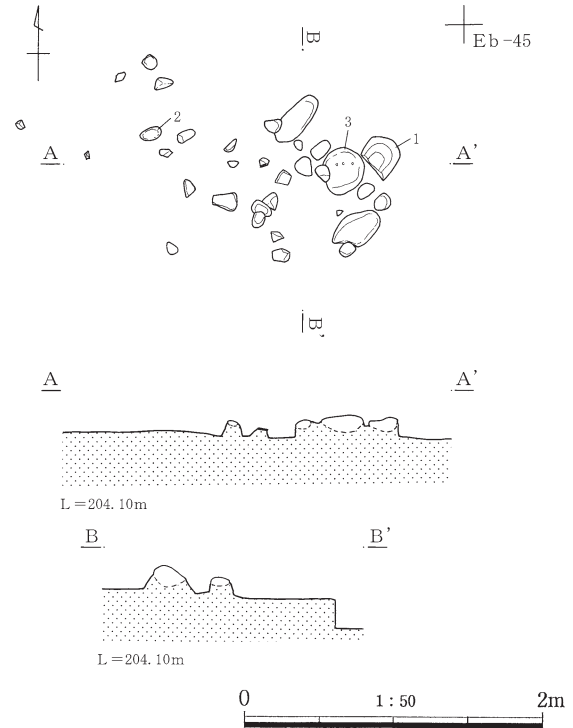
遺物：石器3点が出土した。内訳は、石皿1点・磨石1点・多孔石1点である。

重複：重複は、認められなかった。

備考：本集石遺構の性格は不明である。



第6章写真11 IV区J1号集石遺物出土状況 [西→]

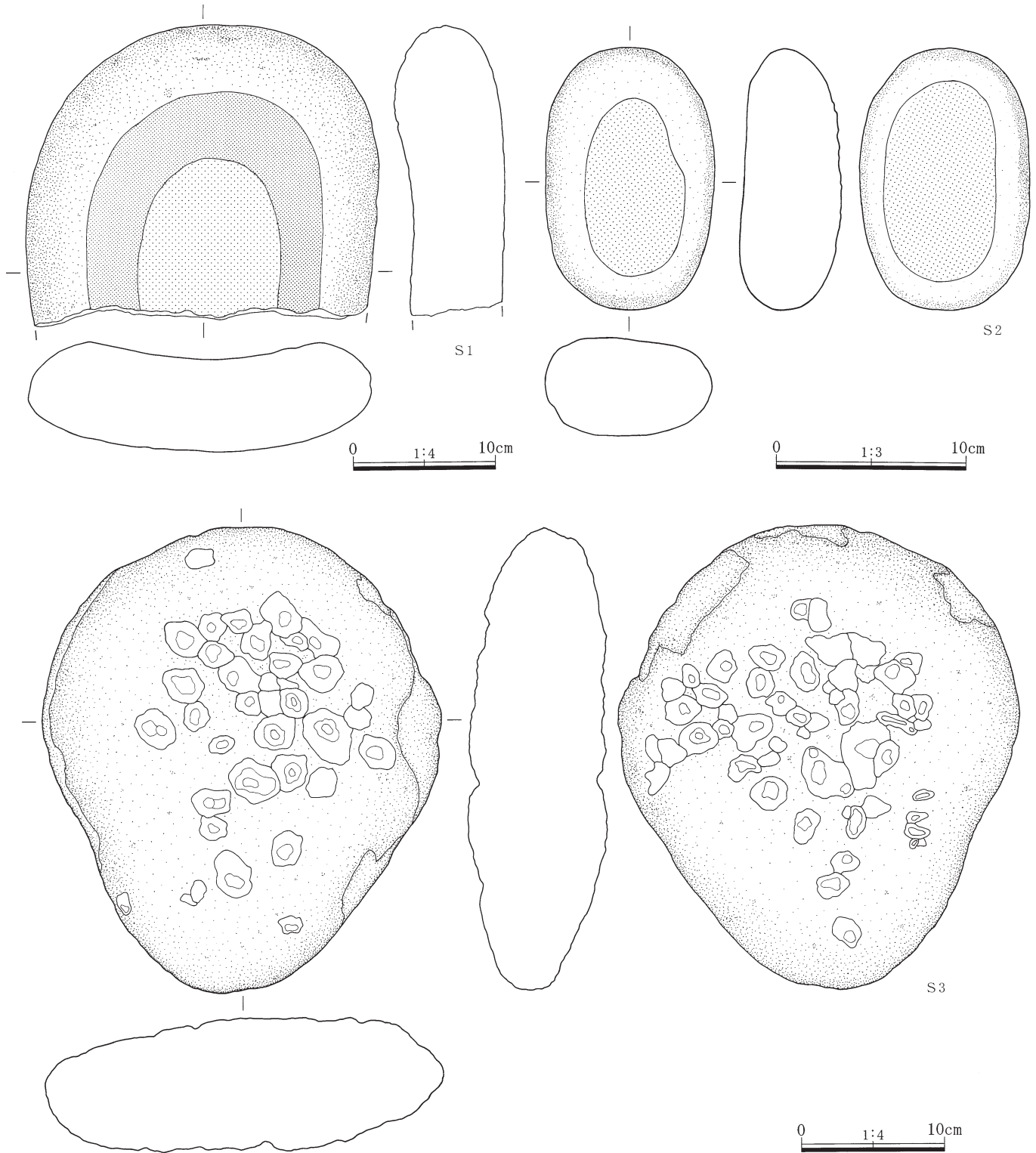


第6章第43図 IV区J1号集石



第6章写真12 IV区J1号集石遺物出土状況（近接）[西→]

第6章 IV区の調査



第6章第44図 IV区J1号集石出土縄文石器

第6章表11 IV区J1号集石出土縄文石器観察表 (第6章第44図、PL.44・45)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	No. 5	石皿	1/2	(20.40)	24.50	7.30	5,800.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。
S 2	No. 7	磨石	完形	13.70	8.80	5.40	1,020.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 3	No. 6	多孔石	完形	32.50	27.90	9.50	9,500.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。

(2) IV区J 2号集石

位置：Dj-39Gから検出された。

規模：長軸（東西）約1m・短軸（南北）約0.6mの規模である。

土層：土層は、不明である。

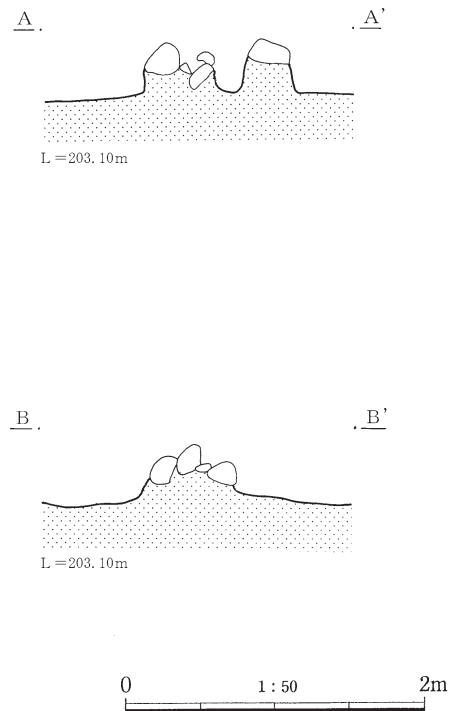
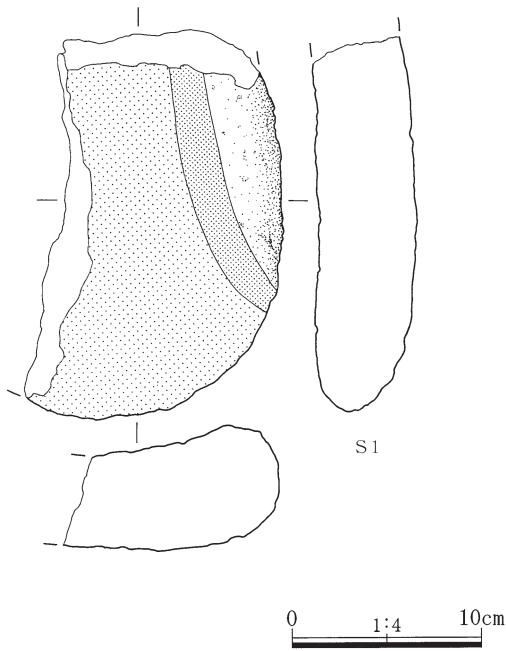
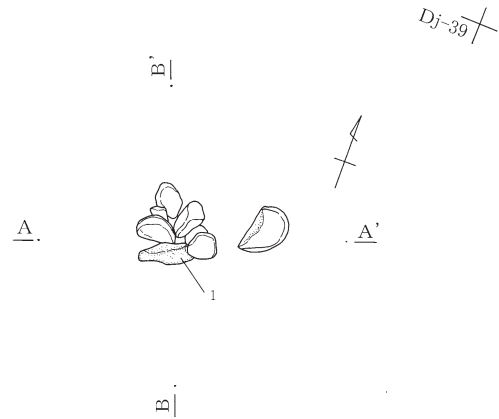
遺物：破損した石皿1点が出土した。

重複：重複は、認められなかった。

備考：本集石遺構の性格は不明であるが、破損した石皿に6点の石を載せた状態で検出されている。何らかの廃棄に伴う儀礼であろうか。



第6章写真13 IV区J 2号集石全景 [南→]



第6章第45図 IV区J 2号集石・出土縄文石器

第6章表12 IV区J 2号集石出土縄文石器観察表（第6章第45図、PL. 45）

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	No.1	石皿	破片	20.20	13.70	6.70	2,100.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。

4. 埋甕

IV区縄文面から、埋甕遺構が1基検出された。

(1) IV区J 1号埋甕

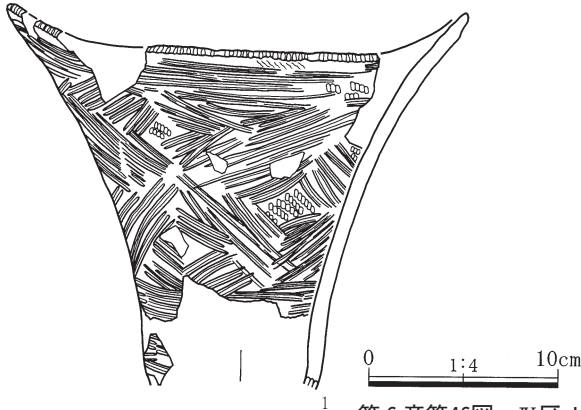
位置：Di-40Gから検出された。

遺物：浮島Ⅱ式土器深鉢1点・石皿1点が検出。

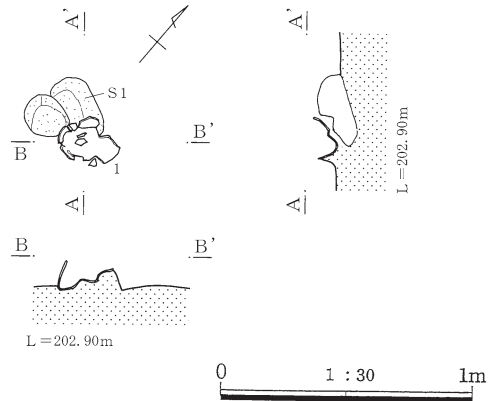
備考：浮島式土器の主体分布圏は、茨城県・千葉県・栃木県・埼玉県東部であるが、本遺跡の北部に位置する昭和村の糸井宮前遺跡でも出土している。



第6章写真14 IV区J 1号埋甕遺物出土状況 [南→]

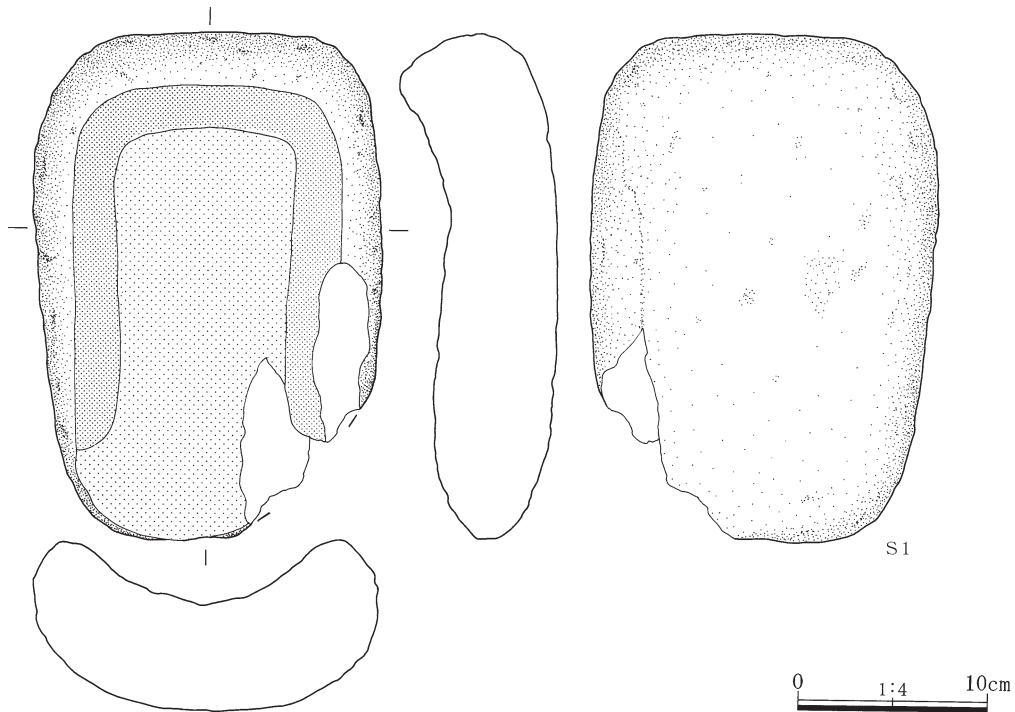


第6章第46図 IV区J 1号埋甕・出土縄文土器



第6章表13 IV区J 1号埋甕出土縄文土器観察表 (第6章第46図、PL. 45)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	1号埋甕 No. 1	深鉢	口縁~胴部 口・(24.4) 高・20.0残	普通	にぶい褐	7.5YR5/3	細かい砂粒	浮島Ⅱ式	口唇に竹管刺突。大きな2単位波状になる。 口縁部半截竹管による菱形文。



第6章第47図 IV区J 1号埋甕出土縄文石器

第6章表14 IV区J 1号埋甕出土縄文石器観察表 (第6章第47図、PL. 46)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	No. 2	石皿	一部欠損	26.70	18.20	9.10	5,150.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。

5. 遺物集中

IV区縄文面から、遺物集中遺構が6カ所検出された。

(1) IV区J 1 (2)号遺物集中

位置：D1-45Gから検出された。

規模：長軸（南北）約1.7m・短軸（東西）約1mの規模である。

土層：土坑状の掘り込みは、認められなかった。

遺物：遺物は、諸磯式縄文土器深鉢片が7点出土した。内訳は、諸磯a式1点・諸磯b式5点・諸磯式1点である。これらの土器の内、No1は4点・No2は6点・No3は2点・No5は2点・No6は6点を接合して復元している。

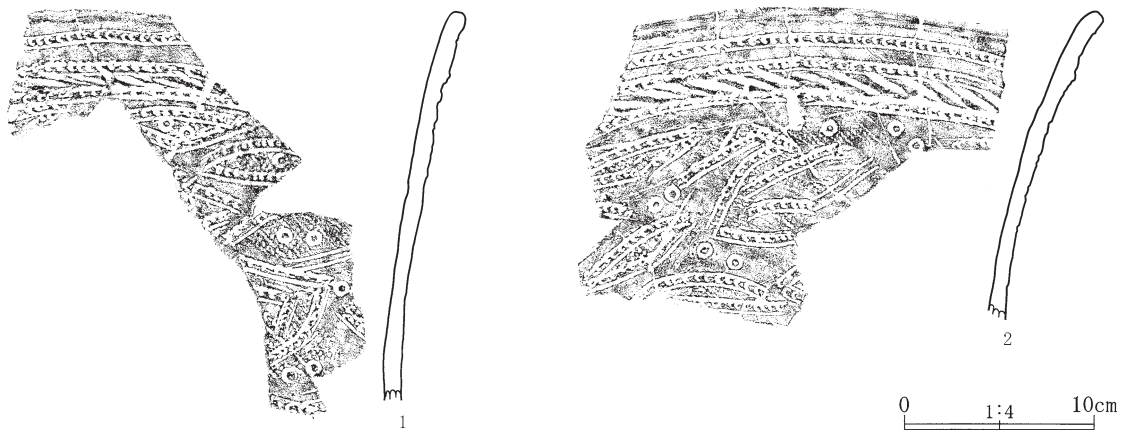
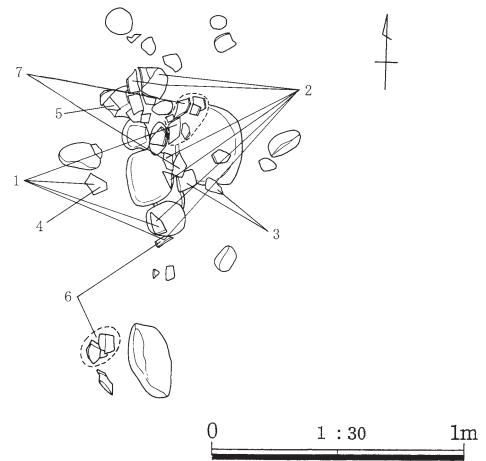
なお、この遺物集中から石も多数検出されたが、明らかな遺物として認められたものはなかった。

重複：重複は、認められなかった。

備考：本遺構の性格は、不明である。

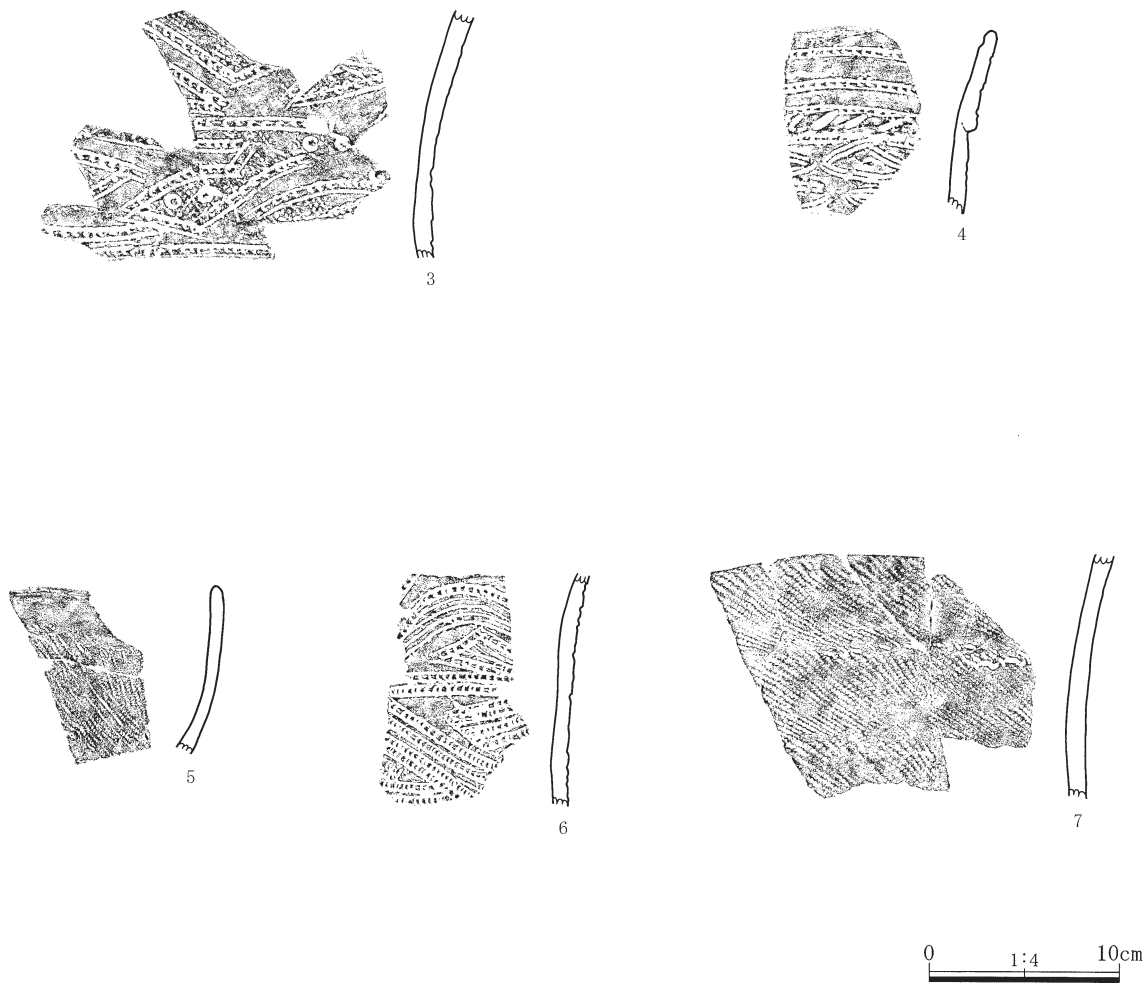


第6章写真15 IV区J 1 (2)号遺物集中全景 [南→]



第6章第48図 IV区J 1 (2)号遺物集中・出土縄文土器(1)

第6章 IV区の調査



第6章第49図 IV区J1(2)号遺物集中出土縄文土器(2)

第6章表15 IV区J1(2)号遺物集中出土縄文土器観察表(第6章第48・49図、PL.46)

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	2号 No.4・5・7・ 15、埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾5mmの半截竹管による平行沈線と爪形文により木葉文を描く。口縁部に刻みを持つ隆線が廻る。磨り消し縄文。縄文原体RL。
P 2	2号 No.3、埋没土	深鉢	口縁	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(古)	1・3と同一個体。
P 3	2号 No.5・6	深鉢	破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(古)	1・2と同一個体。
P 4	2号 No.16・17	深鉢	口縁破片	普通	暗赤褐	5YR3/2	φ1mmの小石多い	諸磯b式(古)	巾4mmの半截竹管による平行沈線と爪形文、刻みを持つ隆線が横位に廻る。頸部に巾4mmの並行沈線による木葉文。
P 5	2号 No.14、埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯a式	附加条1種縄文。縄文原体RL。
P 6	2号 No.9	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(古)	巾4mmの半截竹管による平行沈線と爪形文によるπ字、釣り針状文。
P 7	2号 No.2	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯式	結節縄文。縄文原体RL。

(2) IV区J 2 (3)号遺物集中

位置：Dc-41・42G、Dd-41・42Gから検出された。

規模：長軸（北西～南東）約2.7m・短軸（北東～南西）約1.5mの規模である。

土層：土坑状の掘り込みは、認められなかった。

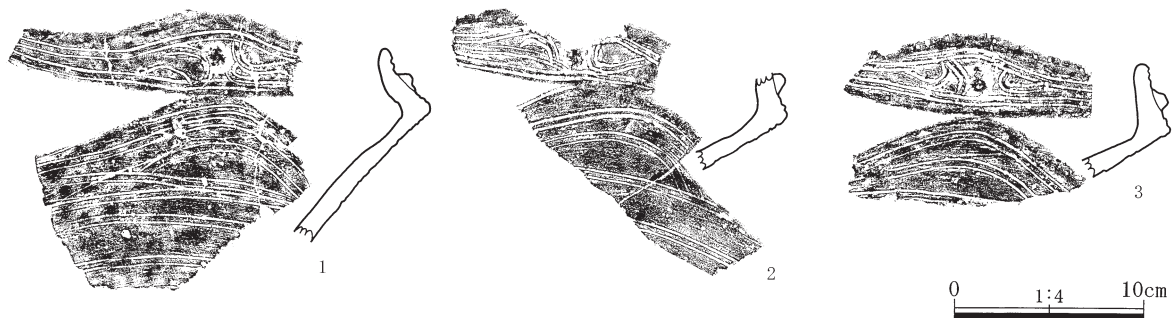
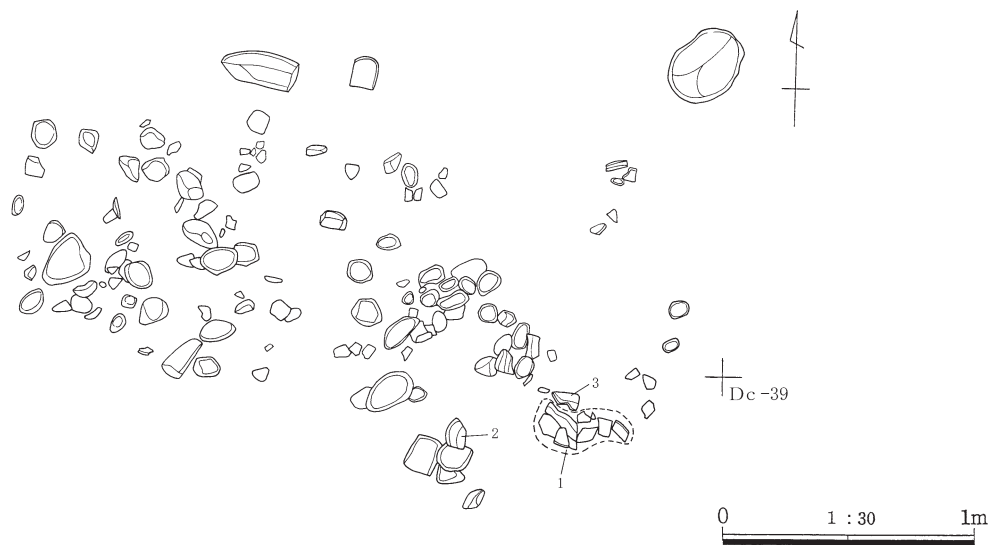
遺物：遺物は、諸磯b式深鉢3点が出土している。

重複：重複は、認められなかった。

備考：本遺構の性格は、不明である。



第6章写真16 IV区J 2 (3)号遺物集中全景 [西→]



第6章第50図 IV区J 2 (3)号遺物集中・出土縄文土器

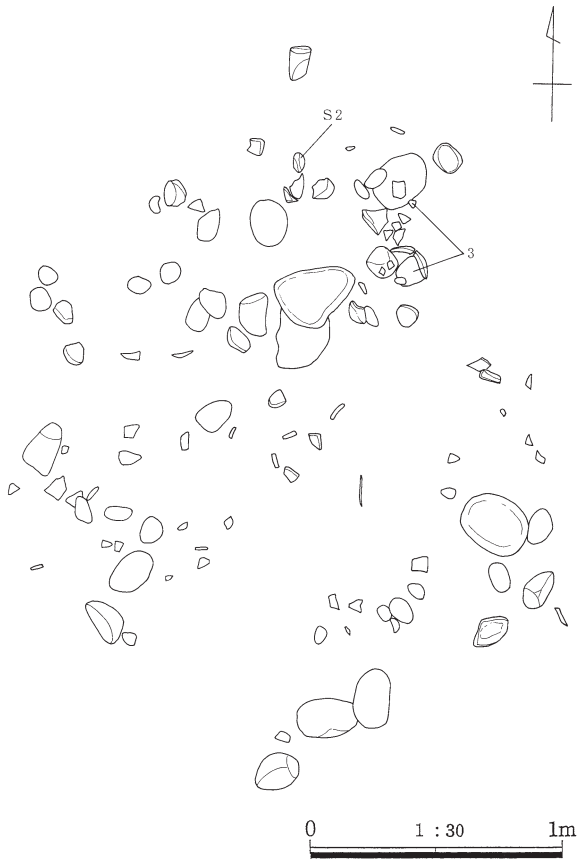
第6章表16 IV区J 2 (3)号遺物集中出土縄文土器観察表 (第6章第50図、PL. 47)

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	3号 No26	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/8	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(新)	口縁くつ先状に屈曲。波状口縁側縁部に粘土瘤貼付。巾5mmの平行沈線による横位区画。口縁部文様には釣り針状文。2・3と同一個体。
P 2	3号 No25・26	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/8	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(新)	1・3と同一個体。
P 3	3号 No21	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(新)	1・2と同一個体。

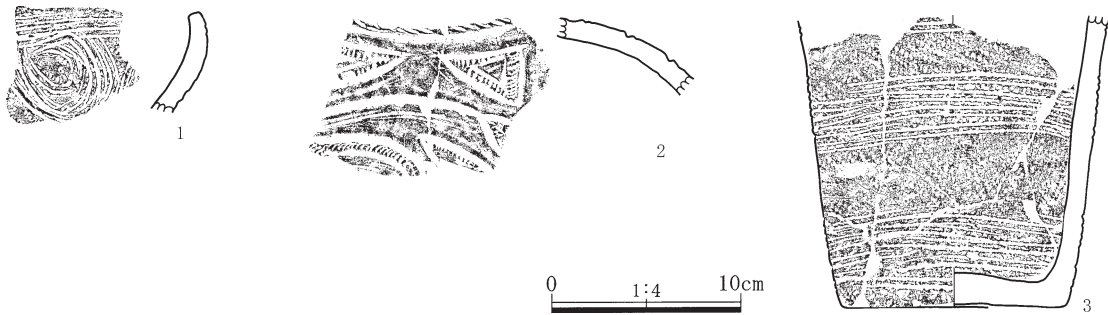
第6章 IV区の調査

(3) IV区 J 3 (4)号遺物集中

位置：Db-41G・Dc-41Gから検出された。
 規模：長軸（南北）約3m・短軸（東西）約2mの規模である。
 土層：土坑状の掘り込みは、認められなかった。
 遺物：遺物は、土器と石器が検出された。
 （土器）諸磯b式深鉢3点が出土。
 （石器）磨石1点・凹石1点が出土。
 重複：重複は、認められなかった。
 備考：本遺構の性格は、不明である。



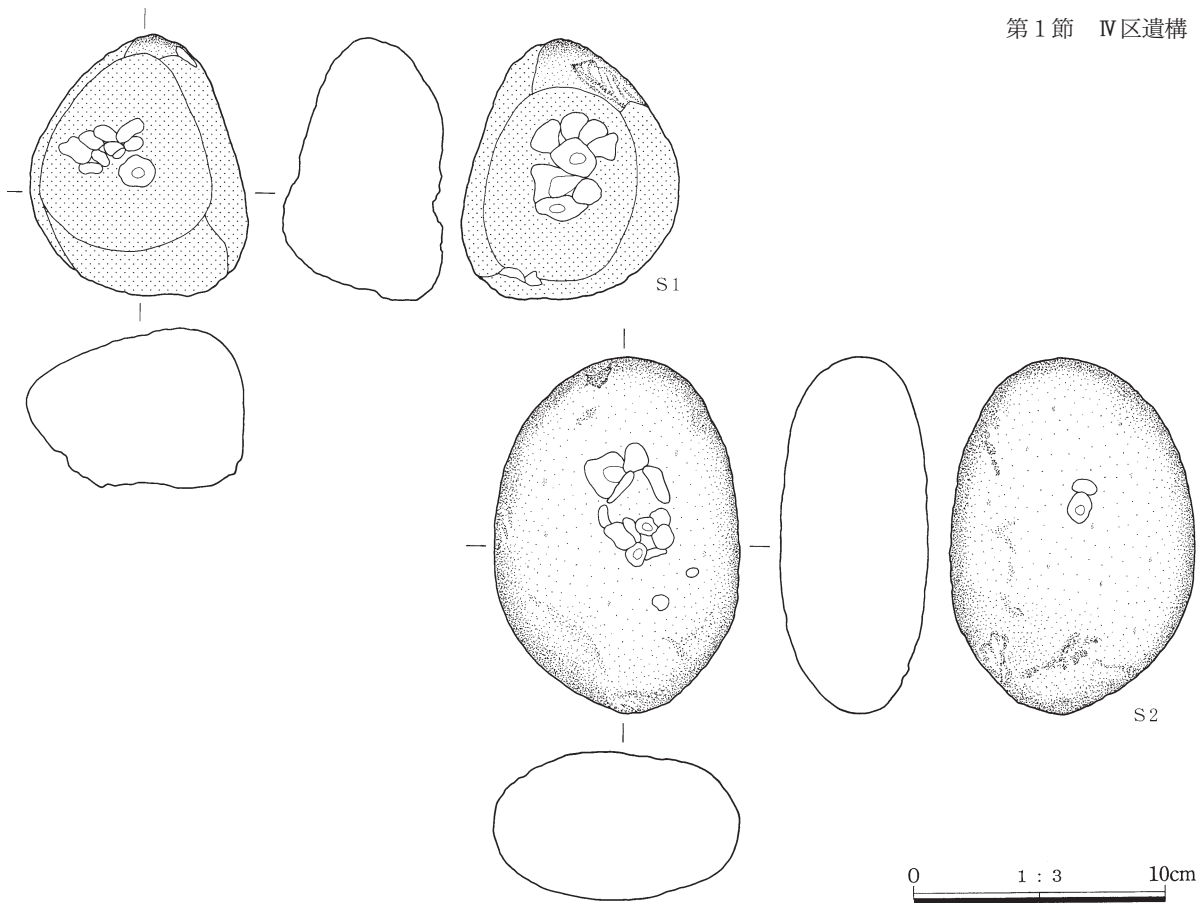
第6章写真17 IV区 J 3 (4)号遺物集中遺物出土状況 [南→]



第6章第51図 IV区 J 3 (4)号遺物集中・出土縄文土器

第6章表17 IV区 J 3 (4)号遺物集中出土縄文土器観察表（第6章第51図、PL. 47）

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	4号 No47	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR4/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線を集合化させ渦巻文を作る。縄文原体RL。
P 2	4号 埋没土	有孔浅鉢	破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中)	沈線を5～8mm並行させ爪形文を施文し、木葉文を描く。
P 3	4号 No17・20	深鉢	胴部～底部	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1～2mmの小石、 白色粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。縄文原体RL。



第6章第52図 IV区J3(4)号遺物集中出土縄文石器

第6章表18 IV区J3(4)号遺物集中出土縄文石器観察表(第6章第52図、PL.47)

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	4号 埋没土	磨石	完形	10.40	8.40	5.80	610.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	3面使用。2面を凹石として使用。
S 2	4号 No.6	凹石	完形	14.10	9.70	5.80	890.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。

(4) IV区J4(5)号遺物集中

位 置：De-42・43Gから検出された。

規 模：長軸(東西)約10m・短軸(南北)約4mの規模である。

土 層：土坑状の掘り込みは、認められなかった。

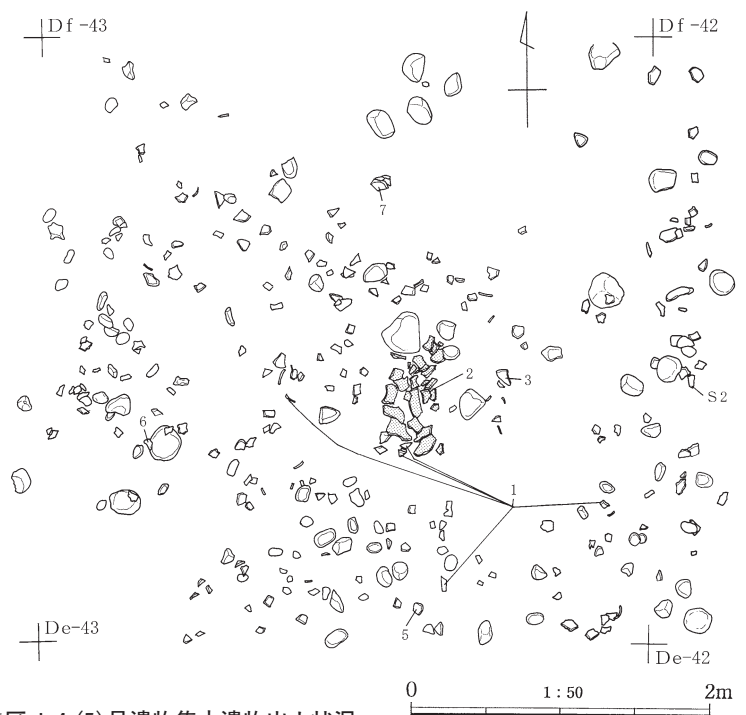
遺 物：遺物は、土器と石器が検出された。

(土器) 諸磯b式深鉢6点・諸磯c式深鉢1点・諸磯式ミニチュア土器1点が出土。

(石器) 石錐1点・打製石斧1点が出土。

重 複：重複は、認められなかった。

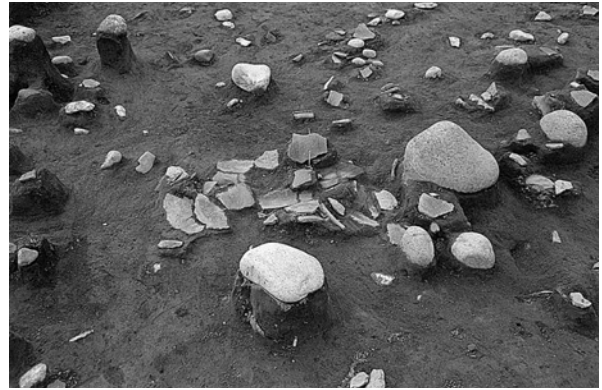
備 考：本遺構の性格は、不明である。



第6章第53図 IV区J4(5)号遺物集中遺物出土状況



0 1:4 10cm

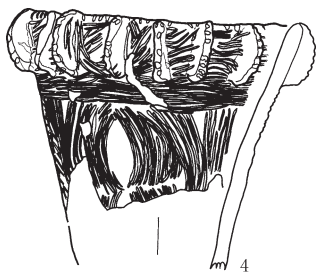


第6章写真18 IV区J 4 (5)号遺物集中遺物出土状況 [東→]

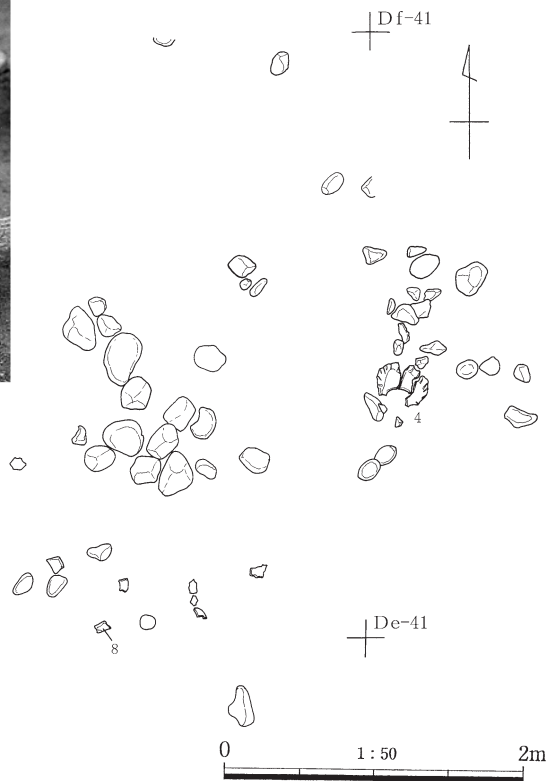
第6章第54図 IV区J 4 (5)号遺物集中出土縄文土器(1)



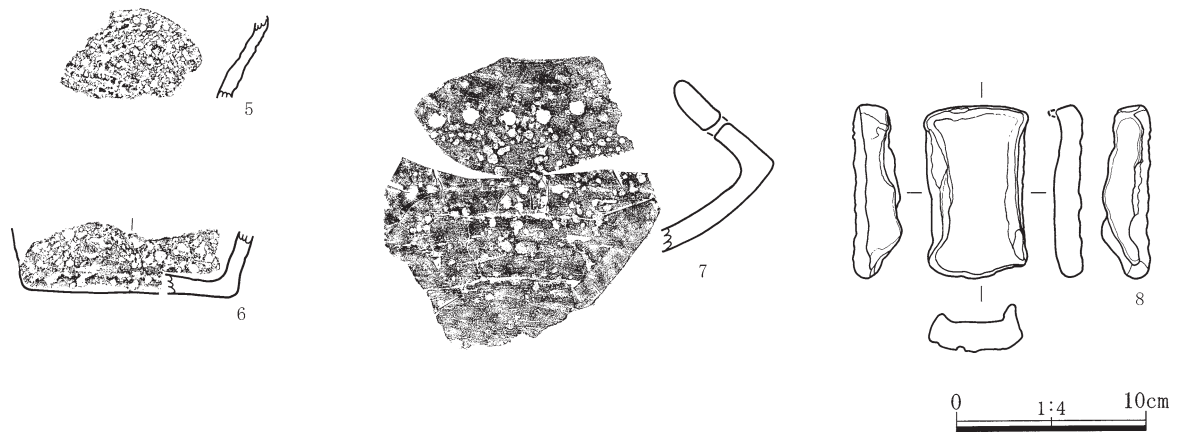
第6章写真19 IV区J 4 (5)号遺物集中 P 4 出土状況 [北→]



0 1:4 10cm



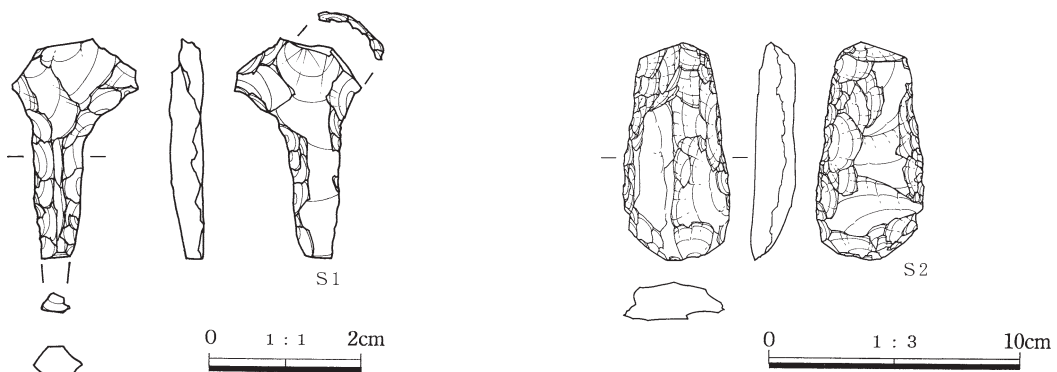
第6章第55図 IV区J 4 (5)号遺物集中・出土縄文土器(2)



第6章第56図 IV区J4(5)号遺物集中出土縄文土器(3)

第6章表19 IV区 J4(5)号遺物集中出土縄文土器観察表 (第6章第54~56図、PL.48)

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	5号 No40・66・76・ 129	深鉢	口縁	普通	暗赤褐	5YR3/2	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線横位区画。口縁部斜線、弧線文。縄文原体RL。2と同一個体。
P 2	5号 No76	深鉢	口縁	普通	暗赤褐	5YR3/2	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	1と同一個体。
P 3	5号 No73・101	深鉢	口縁破片	普通	明褐	7.5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位施文。浮線には爪形文が施文される。縄文原体RL。
P 4	5号 No199	深鉢	口縁~胴部 口・14.6 高・13.3残	普通	にぶい橙	5YR6/4	φ1~3mmの小石	諸磯c式(古)	内面スス付着。口縁に棒状貼付文、沈線による対弧文。
P 5	5号 No64	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には爪形文が施文。区画内にはφ1mm以下の刺突によりアーチ形の弧線が描かれる。縄文原体RL。
P 6	5号 No197	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1~3mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中)	縄文原体RL。
P 7	5号 No98	深鉢	口縁破片	良	明褐	7.5YR5/6	φ1~3mmの小石、 軽石粒	諸磯b式	φ5~6mmの孔列が口縁に廻る。
P 8	5号 No145	ミニチュ ア土器	破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯式	石皿の土製模造品。



第6章第57図 IV区J4(5)号遺物集中出土縄文石器

第6章表20 IV区J4(5)号遺物集中出土縄文石器観察表 (第6章第57図、PL.48)

番号	旧遺物番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	5号 No82	石錐	刃部破損	(2.82)	(1.64)	0.37	1.46	珪質頁岩	細粒凝灰岩	刃部長さ約18mm、幅約5mm。
S 2	5号 No246	打製石斧	上端部欠損	8.50	4.20	1.60	69.40	黒色頁岩	—	短冊形石斧。

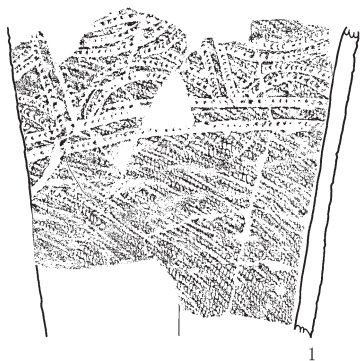
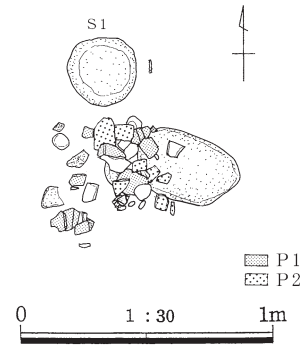
第6章 IV区の調査

(5) IV区J 5 (6)号遺物集中

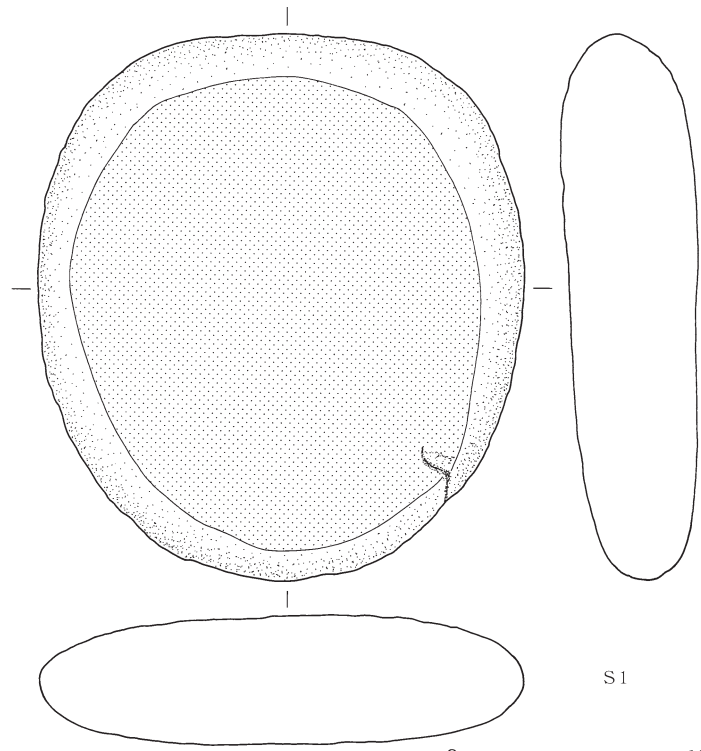
位置：Dm-45・46Gから検出された。
 規模：約1.3m四方の規模である。
 土層：土坑状の掘り込みは、認められなかった。
 遺物：土器と石器が検出された。
 (土器) 諸磯b式深鉢2点が出土している。
 (石器) 石皿1点が出土している。
 重複：重複は、認められなかった。
 備考：本遺構の性格は、不明である。



第6章写真20 IV区J 5 (6)号遺物集中遺物出土状況 [南→]



0 1:4 10cm



0 1:3 10cm

第6章第58図 IV区J 5 (6)号遺物集中・出土縄文土器・石器

第6章表21 IV区J 5 (6)号遺物集中出土縄文土器観察表 (第6章第58図、PL. 49)

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	6号、No 2・4・7・8・12・18・19・21・23~27・33	深鉢	胴部	普通	暗赤褐	5YR3/3	φ1~3mmの小石、軽石粒	諸磯b式(古)	巾4mmの半截竹管による平行沈線爪形文により横位区画し、区画内を縦位に分割する。縦区画内を対向する弧線文を施文。縄文原体RL。
P 2	6号、No 1・6・9~11・13・14・17・18・20	深鉢	胴部~底部	普通	明褐	7.5YR5/6	φ1~3mmの小石、軽石粒	諸磯b式(古)	縄文原体RL。

第6章表22 IV区J 5 (6)号遺物集中出土縄文石器観察表 (第6章第58図、PL. 49)

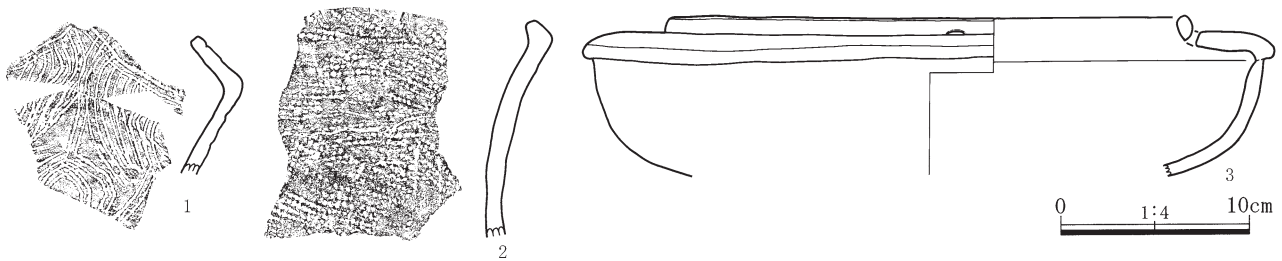
番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	6号 No34	石皿	完形	21.70	19.10	5.20	3,040.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。

(6) IV区J 6 (7)号遺物集中

位置：Db-41・42Gから検出された。
 土層：土坑状の掘り込みは、認められなかった。
 遺物：遺物は、土器と石器が検出された。
 (土器) 諸磯b式深鉢2点・有孔浅鉢1点が出土。
 (石器) 石皿1点が出土している。
 重複：重複は、認められなかった。
 備考：本遺構の性格は、不明である。



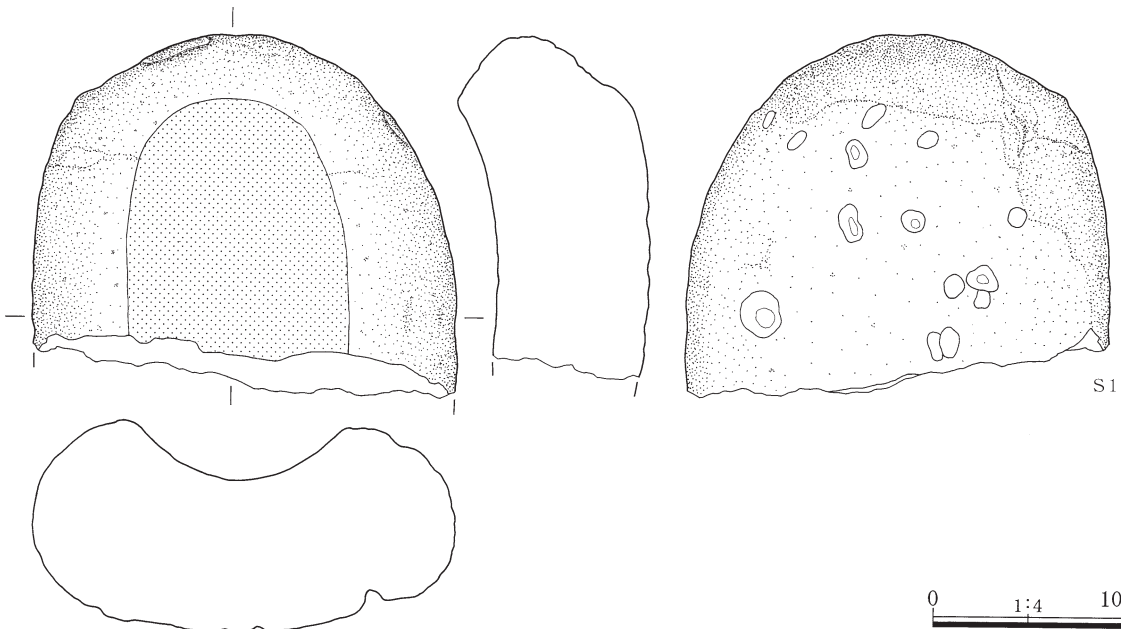
第6章写真21 IV区J 6 (7)号遺物集中遺物出土状況 [南→]



第6章第59図 IV区J 6 (7)号遺物集中出土縄文土器

第6章表23 IV区J 6 (7)号遺物集中出土縄文土器観察表 (第6章第59図、PL. 50)

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	7号	深鉢	口縁破片	良	黒褐	10YR3/2	細かい砂粒	諸磯b式(新)	巾4mmの平行沈線で弧線文、渦巻文を描く。
P 2	7号	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(新)	縄文原体RL。
P 3	7号	有孔浅鉢	口縁~胴部 口・(27.4) 高・8.2残	良	赤褐	5YR4/6	細かい砂粒、黒色粒	諸磯b式(新)	φ8mmの偏平な孔列が口縁に廻る。無文。

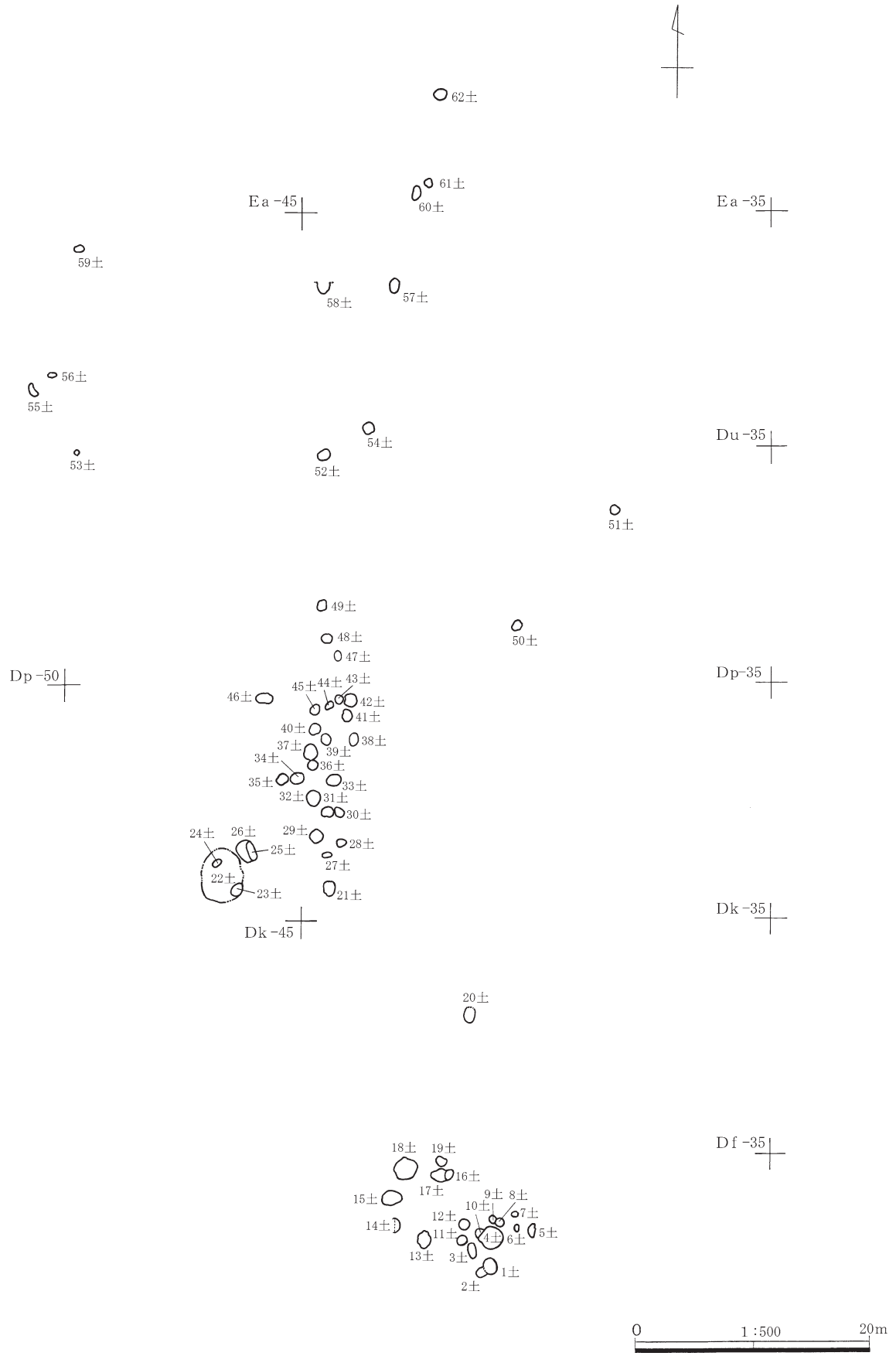


第6章第60図 IV区J 6 (7)号遺物集中出土縄文石器

第6章表24 IV区J 6 (7)号遺物集中出土縄文石器観察表 (第6章第60図、PL. 50)

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	7号 No.1	石皿	1/2	(19.10)	22.30	11.20	5,850.00	溶結凝灰岩	デイサイト	縁有。2面使用。1面を凹石として使用。

第6章 IV区の調査



第6章第61図 IV区縄文面 土坑位置図

6. 土坑

IV区縄文面から、土坑が62基検出された。

(1) IV区 J 1 (212)号土坑

位置：Dc-40・41Gから検出された。

形状：不整形土坑

規模：長軸約1.4m・短軸約1.2m・深さ約90cm

土層：土層は、4層である。

遺物：諸磯b式土器の有孔浅鉢1点が出土した。

重複：2号土坑と重複している。新旧関係は、

本1号土坑の方が新しい。

(2) IV区 J 2 (213)号土坑

位置：Dc-41Gから検出された。

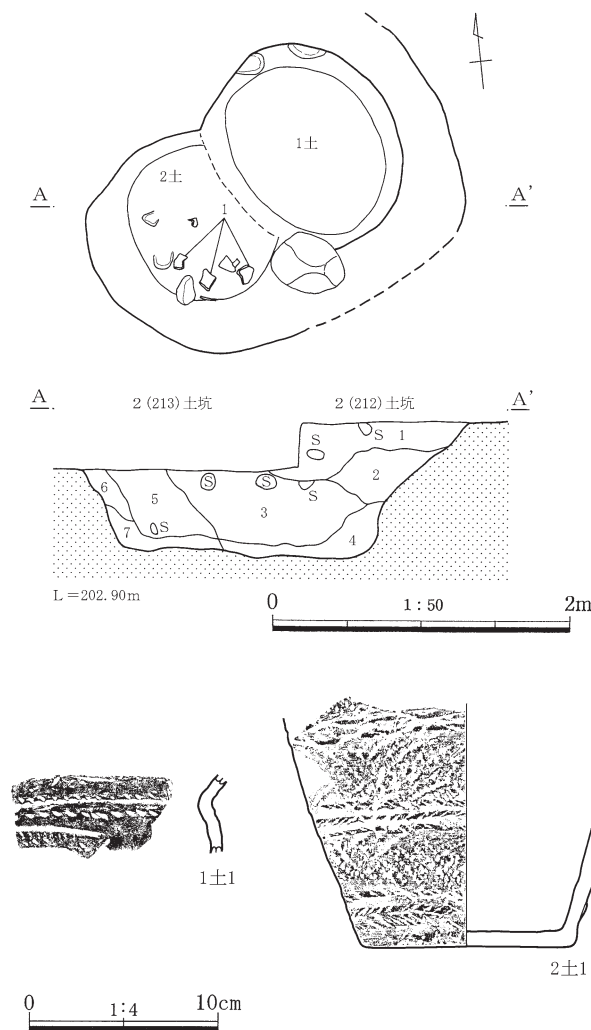
形状：楕円形であると推定される。

規模：現状で、長軸約2.5m・短軸約1.5m・深さ約55cmである。

土層：土層は、3層に分かれる。

遺物：諸磯b式土器の深鉢1点・石皿1点が出土した。

重複：1号土坑と重複している。新旧関係は、本2号土坑の方が古い。



IV区 J 1 (212)・J 2 (213)号土坑

J 1 (212)号土坑

1. 暗褐色土 黄褐色パミス(φ2mm以下)、白色パミス(φ1mm以下)、炭化物(φ3mm以下)、礫(φ10cm以下)を含む。やや固くしまっている。
2. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ2mm以下)、白色パミス(φ1mm以下)、炭化物(φ3mm以下)を少量含む。
3. 暗褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色パミス(φ2mm以下)、白色パミス(φ1mm以下)、炭化物(φ3mm以下)、礫(φ10cm以下)を含む。やや固くしまっている。
4. 暗褐色土 黄褐色土粒を多く含む。やわらかい。

J 2 (213)号土坑

5. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色パミス(φ2mm以下)、白色パミス(φ1mm以下)、炭化物(φ3mm以下)、礫(φ10cm以下)を含む。やや固くしまっている。
6. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。やや固くしまっている。
7. 暗褐色土 黄褐色土を多く含む。粘性有る。

第6章第62図 IV区 J 1 (212)・J 2 (213)号土坑、J 1 (212)号土坑出土縄文土器・石器

第6章表25 IV区 J 1 (212)・J 2 (213)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第62図、PL. 51)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
J1土 P1	212号土坑	有孔浅鉢	胴部破片	普通	褐	7.5YR4/3	φ1mmの小石、金雲母	諸磯b式(中)	くびれ部に交互刺突文。胴部に沈線による木葉文。
J2土 P1	213号土坑 No.1・4・5	深鉢	胴部～底部	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の沈線。縄文原体 RL。

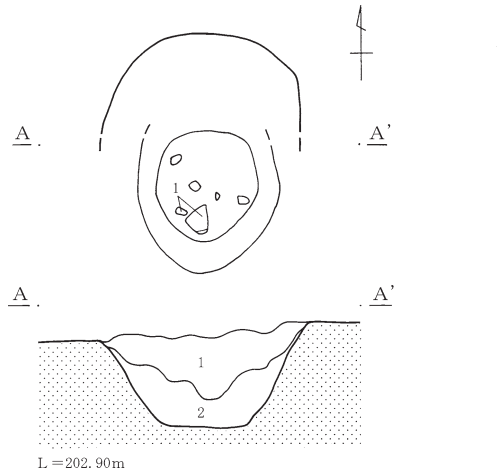
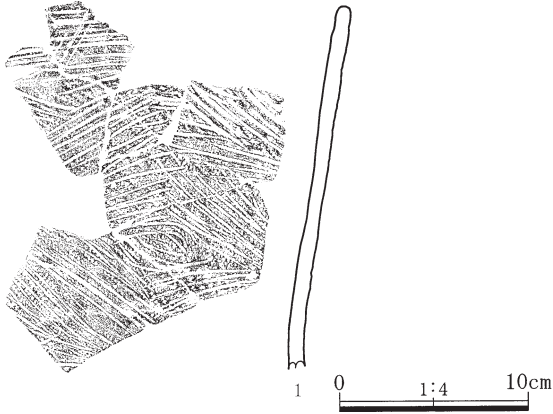
第6章表26 IV区 J 1 (212)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第62図、PL. 51)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	212土・埋没土	石皿	1/2	(18.40)	19.40	9.50	3,160.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。

第6章 IV区の調査

(3) IV区 J 3 (209)号土坑

位置：Dc-41G、Dd-41Gから検出された。
 形状：南半が不明であるが、恐らく、楕円形土坑であると推定される。
 規模：現状で、長軸約(1.55m)・短軸約1.3m・深さ約60cmである。
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：諸磯b式の深鉢1点が出土した。



IV区 J 3 (209)号土坑

1. 黒褐色土 礫(φ 5 cm以下)、黄褐色パミス(φ 2 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物、褐色土粒を含む。やや粘性が有り固くしまっている。
2. 黒褐色土 礫(φ 3 cm以下)、黄褐色パミス(φ 2 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物を少量含む。褐色土粒を多く含む。やや粘性が有りやや固くしまっている。

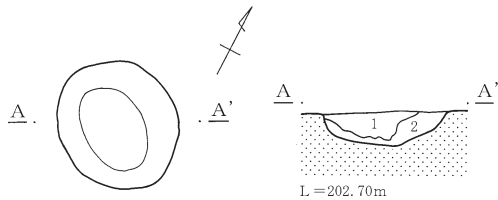
第6章第63図 IV区 J 3 (209)号土坑・出土縄文土器

第6章表27 IV区 J 3 (209)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第63図、PL. 51)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	209号土坑、 No. 4・5	深鉢	胴部破片	不良	橙	5YR6/6	鈎物粒、砂粒含む	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による菱形文。釣り針状文。

(4) IV区 J 6 (242)号土坑

位置：Dd-40Gから検出された。
 形状：円形土坑
 規模：直径約80cm～90cm・深さ約20cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



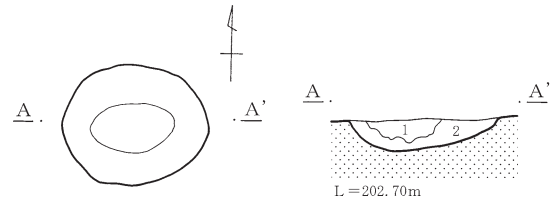
IV区 J 6 (242)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)を含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)を少量含む。

第6章第64図 IV区 J 6 (242)号土坑

(5) IV区 J 7 (241)号土坑

位置：Dd-40Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約95cm・短軸約80cm・深さ約20cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区 J 7 (241)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)を含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)を少量含む。

第6章第65図 IV区 J 7 (241)号土坑

(6) IV区 J 4 (221)号土坑

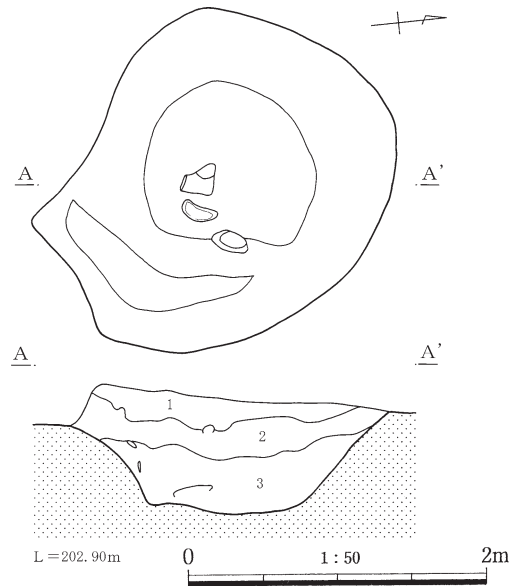
位置：Dd-40・41Gから検出された。

形状：不整円形土坑

規模：長軸約2.3m・短軸約2m・深さ約75cm

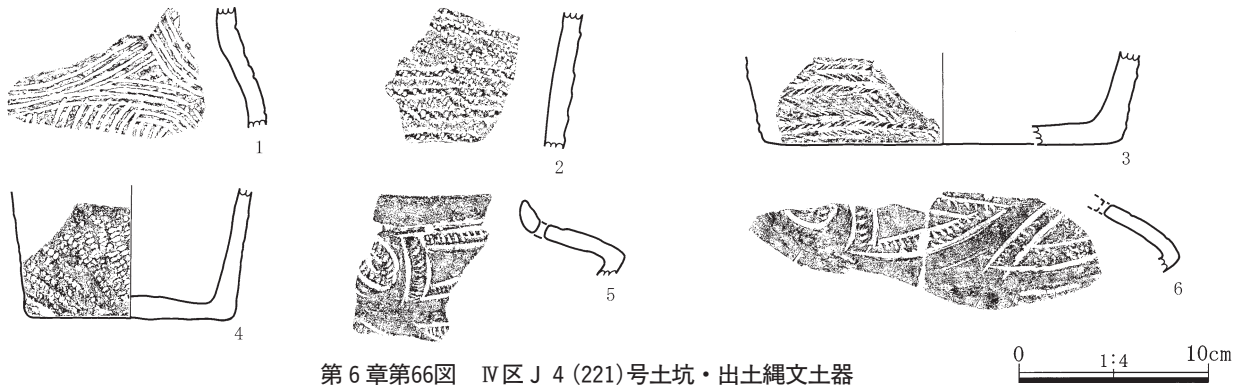
土層：土層は、3層に分かれる。

遺物：諸磯b式深鉢4点・同有孔浅鉢2点が出土した。また、石匙（横型）1点・打製石斧1点が出土した。



IV区 J 4 (221)号土坑

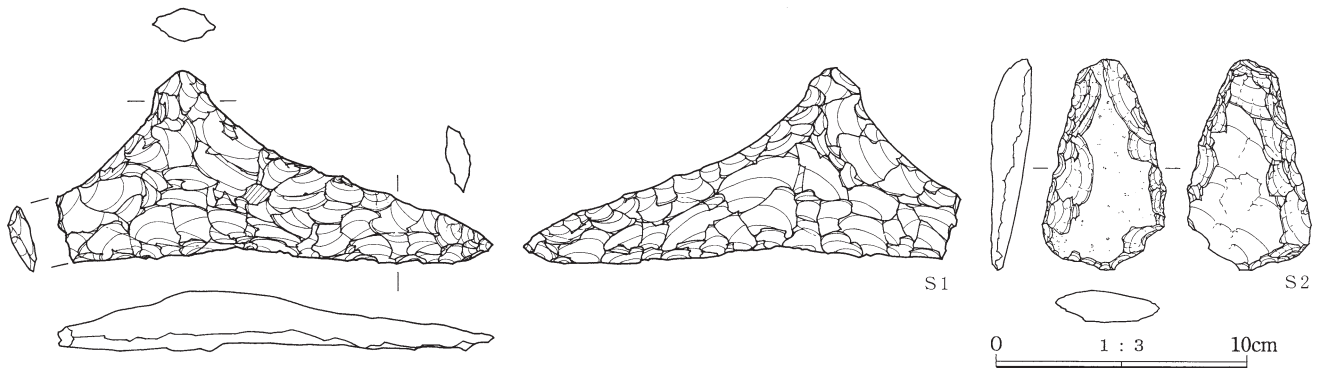
1. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色パミス(φ2mm以下)、白色パミス(φ1mm以下)、炭化物(φ3mm以下)、礫(φ5cm以下)を含む。やや固くしまっている。
2. 黒褐色土 1層と同じだが、褐色土粒をより多く含む。
3. 暗褐色土 黄褐色土粒を多く含む。炭化物(φ5mm以下)、礫(φ20cm以下)を含む。やわらかい。



第6章第66図 IV区 J 4 (221)号土坑・出土縄文土器

第6章表28 IV区 J 4 (221)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第66図、PL. 52)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	221号土坑	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による弧線。渦巻文。縄文原体LR。
P 2	221号土坑	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線横位施文。浮線上に縄文施文。内面スス付着。縄文原体RL。
P 3	221号土坑	深鉢	底部破片	不良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線横位施文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P 4	221号土坑	深鉢	底部	普通	明赤褐	5YR5/8	細かい小石多い	諸磯b式(中2)	内面スス付着。縄文原体RL。
P 5	221号土坑	有孔浅鉢	口縁破片	不良	赤褐	5YR5/4	φ1~2mmの小石多い	諸磯b式(中2)	口縁にφ4mmの孔列が廻る。沈線を並行させ爪形文を施文し、木葉文を描く。
P 6	221号土坑	有孔浅鉢	肩部破片	普通	灰褐	5YR4/2	φ1~2mmの小石多い	諸磯b式(中2)	φ4mmの孔。沈線を並行させ爪形文を施文し、木葉文を描く。



第6章第67図 IV区 J 4 (221)号土坑出土縄文石器

第6章表29 IV区 J 4 (221)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第67図、PL. 52)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	221土・No139	石匙	一部破損	2.47	(5.67)	0.64	6.37	珪質頁岩	変質流紋岩	横型石匙。一部表面残存。
S 2	221土・埋没土	打製石斧	完形	8.80	4.90	1.30	54.90	黒色頁岩	—	撥形石斧。1面表面残存。

第6章 IV区の調査

(7) IV区 J 5 (210)号土坑

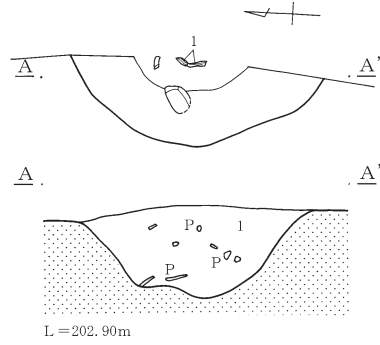
位置：Dd-40Gから検出された。

形状：東半が不明であるが、恐らく、楕円形土坑であると推定される。

規模：現状で、長軸約1.65m・短軸約(55cm)・深さ約60cm

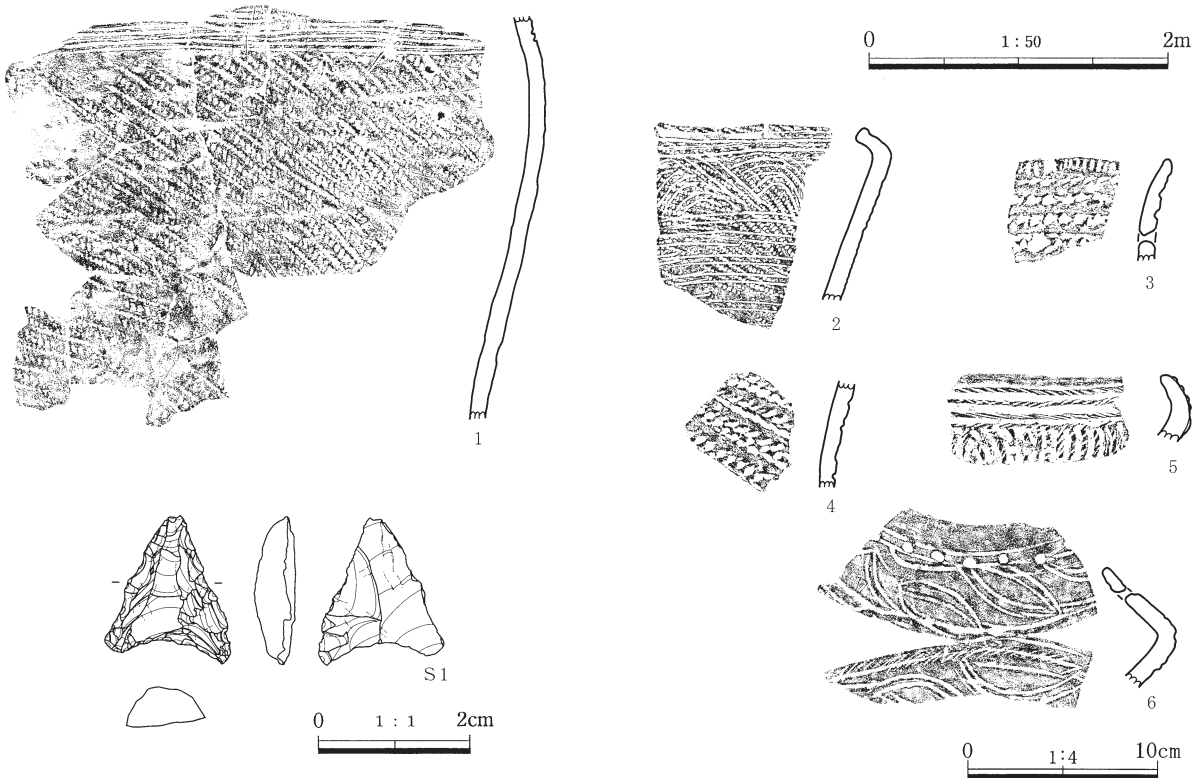
土層：土層は、1層である。

遺物：諸磯b式深鉢2点・浮島Ⅲ式深鉢2点・諸磯c式深鉢1点・同有孔浅鉢1点が出土した。また、石鏃1点が出土した。



IV区 J 5 (210)号土坑

1. 黒褐色土 礫(φ 5 cm以下)、炭化物(φ 1 mm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、褐色土粒を含み、固くしまっている。



第6章第68図 IV区 J 5 (210)号土坑・出土縄文土器・石器

第6章表30 IV区 J 5 (210)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第68図、PL. 52)

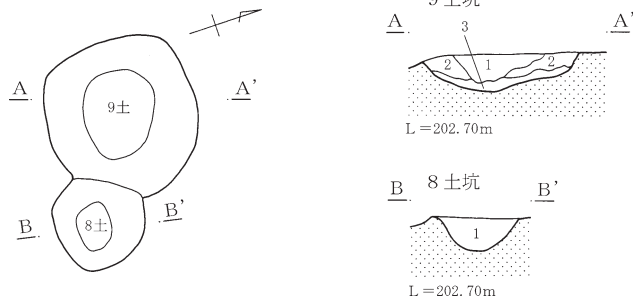
番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	210号土坑 No.3、埋没土	深鉢	胴部破片	不良	明赤褐	5YR5/8	石粒、砂粒含む	諸磯b式(中2)	巾3~4mmの平行沈線を集合化させ横位区画。縄文原体RL。
P 2	210号土坑 埋没土	深鉢	口縁破片	普通	暗赤褐	5YR3/3	鋳物粒、砂粒含む	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内に斜線と弧線。縄文原体RL。
P 3	210号土坑 埋没土	深鉢	口縁破片	良	暗赤褐	5YR3/2	細かい砂粒	浮島Ⅲ式	口唇に条線。三角文が数段施文される。補修孔。
P 4	210号土坑 埋没土	深鉢	胴部破片	良	暗赤褐	5YR3/2	細かい砂粒	浮島Ⅲ式	三角文施文。
P 5	210号土坑 埋没土	深鉢	口縁破片	普通	黒褐	5YR3/1	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画と弧線。
P 6	210号土坑 埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	砂粒、軽石粒	諸磯b式(中2)	浮線を並行させ木葉文を作る。

第6章表31 IV区 J 5 (210)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第68図、PL. 52)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	210土・No.97	石鏃	尖端部欠損	1.90	1.70	0.56	1.45	チャート	チャート	正三角形無茎鏃。凹基。

(8) IV区 J 8 (240)号土坑

位置：Dd-40Gから検出された。
 形状：円形土坑
 規模：直径約60cm・深さ約20cm
 土層：土層は、1層である。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



(9) IV区 J 9 (239)号土坑

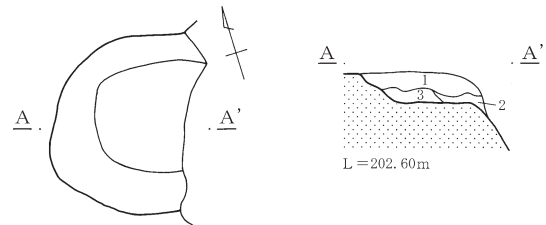
位置：Dd-40Gから検出された。
 形状：円形土坑
 規模：直径約1.1m・深さ約25cm
 土層：土層は、3層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。

IV区 J 8 (240)号土坑
 1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)を含む。
 IV区 J 9 (239)号土坑
 1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)を含む。
 2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。
 3. 黒褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。

第6章第69図 IV区 J 8 (240)・J 9 (239)号土坑

(10) IV区 J 10(238)号土坑

位置：Dd-41Gから検出された。
 形状：東半が不明であるため、形状は不明である。
 規模：現状で、長軸約(85cm)・短軸約1.15m・深さ約20cmである。
 土層：土層は、3層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。

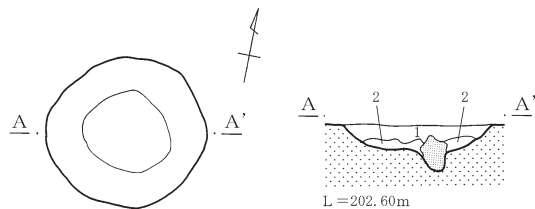


IV区 J 10(238)号土坑
 1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)を含む。
 2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)を少量含む。
 3. 褐色土 黒褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)を少量含む。

第6章第70図 IV区 J 10(238)号土坑

(11) IV区 J 11(236)号土坑

位置：Dd-41Gから検出された。
 形状：円形土坑
 規模：直径約1 m~1.1m・深さ約15cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。

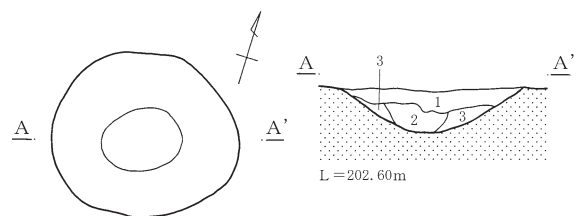


IV区 J 11(236)号土坑
 1. 黒褐色土 褐色土粒、白色パミス(φ 2 mm以下)、礫(φ 5 cm以下)を含む。
 2. 褐色土 黒褐色土粒、白色パミス(φ 2 mm以下)、礫(φ 5 cm以下)を少量含む。

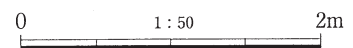
第6章第71図 IV区 J 11(236)号土坑

(12) IV区 J 12(237)号土坑

位置：Dd-41Gから検出された。
 形状：円形土坑
 規模：1.05m~1.25m・深さ約25cm
 土層：土層は、3層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区 J 12(237)号土坑
 1. 黒褐色土 褐色土粒、白色パミス(φ 2 mm以下)を含む。
 2. 褐色土 黒褐色土粒、礫(φ 3 cm以下)を含む。
 3. 褐色土 黒褐色土粒を少量含む。



第6章第72図 IV区 J 12(237)号土坑

第6章 IV区の調査

(13) IV区 J 13(214)号土坑

位置：Dd-42Gから検出された。

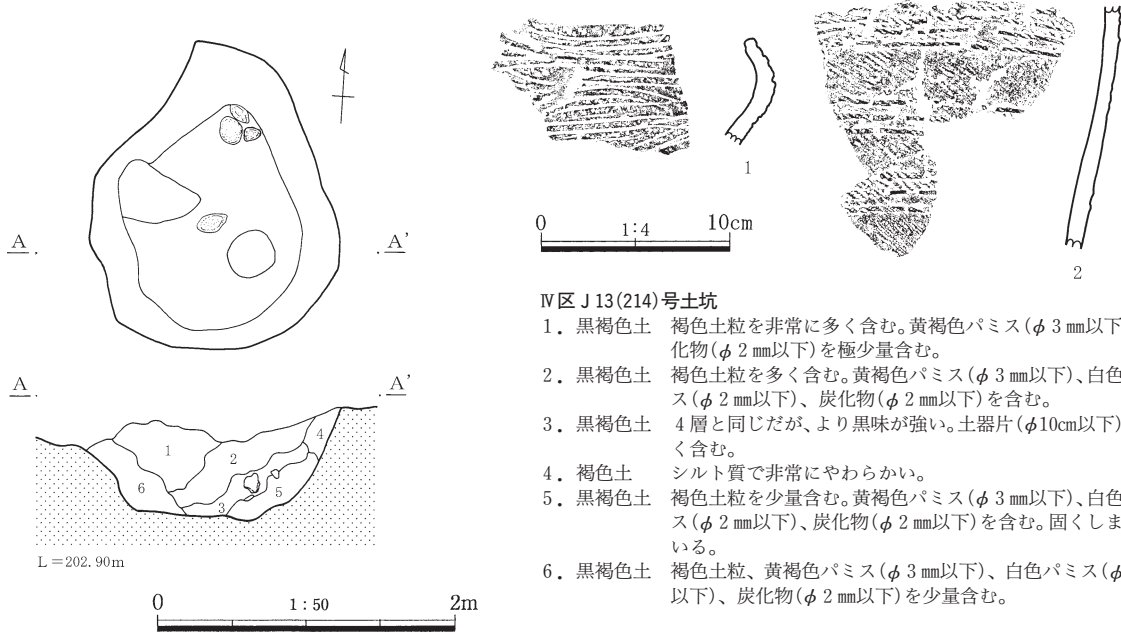
土層：土層は、6層に分かれる。

形状：不整形円形土坑

遺物：諸磯b式深鉢2点・石匙2点が出土した。

規模：長軸約2m・短軸約1.65m・深さ約55cm

性格：風倒木の可能性が高い。



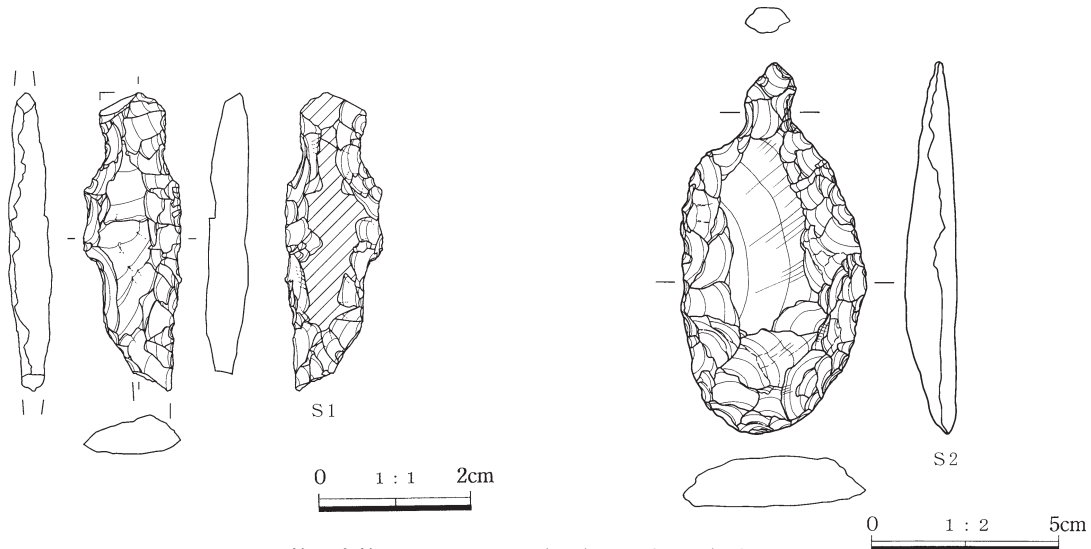
IV区 J 13(214)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、炭化物(φ2mm以下)を極少量含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ2mm以下)を含む。
3. 黒褐色土 4層と同じだが、より黒味が強い。土器片(φ10cm以下)を多く含む。
4. 褐色土 シルト質で非常にやわらかい。
5. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ2mm以下)を含む。固くしまっている。
6. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ2mm以下)を少量含む。

第6章第73図 IV区 J 13(214)号土坑・出土縄文土器

第6章表32 IV区 J 13(214)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第73図、PL. 53)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	214号土坑	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾7mmの平行沈線による横位区画。縄文原体RL。
P 2	214号土坑	深鉢	胴部破片	不良	橙	7.5YR7/6	φ1mmの小石、軽石多い	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体RL。



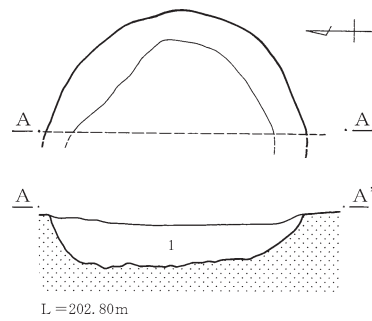
第6章第74図 IV区 J 13(214)号土坑出土縄文石器

第6章表33 IV区 J 13(214)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第74図、PL. 53)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	214土・No99	石匙	一部欠損	4.00	1.30	0.58	3.25	チャート	チャート	縦型石匙。左右非対称。
S 2	214土・No131	石匙	完形	9.81	4.82	1.30	63.30	黒色頁岩	—	縦型石匙。

(14) IV区 J 14(218)号土坑

位置：Dd-42Gから検出された。
 形状：西半が不明であるが、恐らく円形土坑であると推定される。
 規模：現状で、長軸約1.7m・短軸約(90cm)・深さ約25cmである。
 土層：土層は、1層である。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



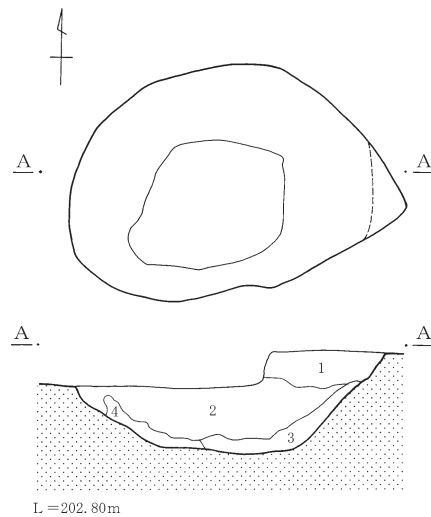
IV区 J 14(218)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 3 cm以下)を多く含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 3 mm以下)を少量含む。固くしまっている。

第6章第75図 IV区 J 14(218)号土坑

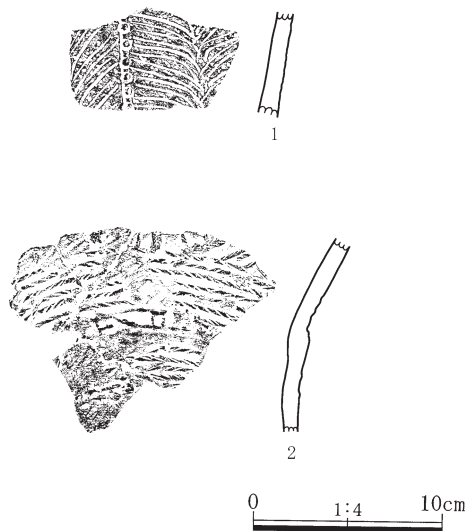
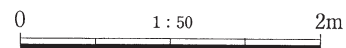
(15) IV区 J 15(217)号土坑

位置：De-42・43Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約2.2m・短軸約1.5m・深さ約65cmである。
 土層：土層は、4層に分かれる。
 遺物：諸磯 a 式深鉢 1 点・諸磯 b 式深鉢 1 点が出土した。



IV区 J 15(217)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 3 cm以下)を多く含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)、礫(φ 3 cm以下)を含む。固くしまっている。
2. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 3 cm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)、礫(φ 5 cm以下)を含む。固くしまっている。
3. 暗褐色土 黄褐色土粒、小礫(φ 5 mm以下)を多く含む。やわらかい。
4. 黒褐色土 黄褐色土ブロック(φ 2 cm以下)、小礫(φ 5 mm以下)を含む。



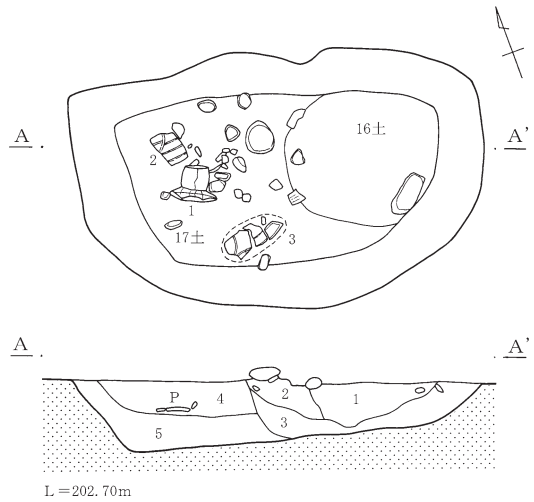
第6章第76図 IV区 J 15(217)号土坑・出土縄文土器

第6章表34 IV区 J 15(217)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第76図、PL. 53)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	217号土坑	深鉢	胴部破片	普通	灰褐	5YR5/2	細かい砂粒	諸磯 a 式(新)	巾 4 mmの平行沈線による縦位区画に肋骨文。交点に円形の刺突文。
P 2	217号土坑	深鉢	胴部破片	良	橙	5YR6/6	φ 1~2 mmの小石	諸磯 b 式(中2)	沈線による施文。浮線には矢羽根状の刻み。

(16) IV区 J 16(245)号土坑

位置：De-41Gから検出された。
 形状：円形土坑
 規模：直径約90cm～1m・深さ約30cmである。
 土層：土層は、3層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。
 重複：IV区 J 17号土坑の東部で、重複する。新旧関係は、本 J 16号土坑の方が新しい。

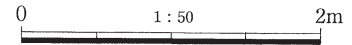


IV区 J 16(245)・J 17(244)号土坑
 J 16(245)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 2cm以下)、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 5mm以下)、礫(φ 5cm以下)を含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 5mm以下)を含む。
3. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 5mm以下)を少量含む。

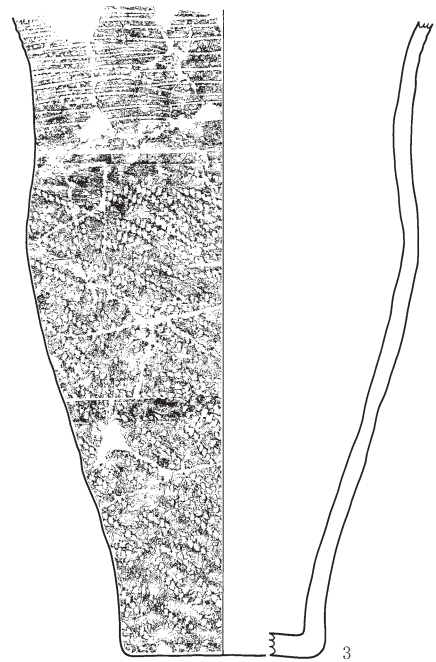
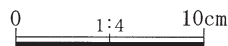
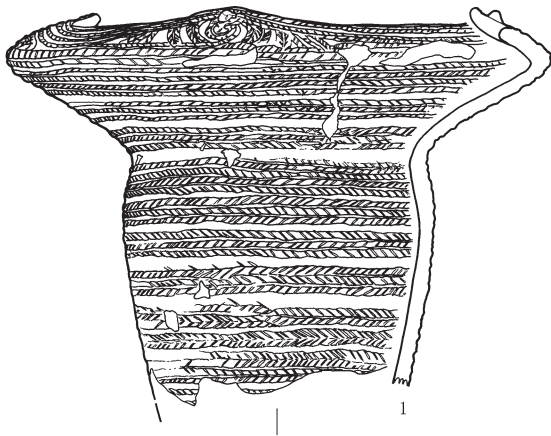
J 17(244)号土坑

4. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 5mm以下)、礫(φ 5cm以下)を含む。
5. 褐色土 黒褐色土、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 5mm以下)、礫(φ 5cm以下)を少量含む。



(17) IV区 J 17(244)号土坑

位置：De-41・42Gから検出された。
 形状：円形土坑
 規模：長軸約2.7m・短軸約1.65m・深さ約40cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：諸磯b式深鉢3点・諸磯c式深鉢1点・諸磯a式深鉢1点出土した。
 重複：IV区 J 16号土坑と重複する。新旧関係は、本 J 17号土坑の方が古い。



第6章第77図 IV区 J 16(237)・J 17(244)号土坑、J 17(244)号土坑出土縄文土器

第6章表35 IV区J17(244)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第77図、PL.54)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	244号土坑 No.1	深鉢	口縁～胴部 口・20.0 高・21.0残 最大径・28.6	普通	橙	7.5YR6/8	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁、側縁部に粘土瘤貼付。浮線文横位区画。口縁部風車状渦巻文。浮線に矢羽根状の刻み。内面スス付着。縄文原体RL。
P 2	244号土坑 No.2	深鉢	胴部	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1～3mmの小石 多い	諸磯b式(中)	縄文原体Lr。
P 3	244号土坑 No.6	深鉢	胴部～底部	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	くびれ部に沈線で横位区画。内面スス付着。縄文原体RL。附加条。
P 4	244号土坑	深鉢	胴部破片	良	にぶい赤褐	5YR5/3	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線は矢羽根状施文。縄文原体RL。
P 5	244号土坑	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1～3mmの小石	諸磯a式	巾4mmの平行沈線爪形文による木葉文。

(18) IV区J18(215)号土坑

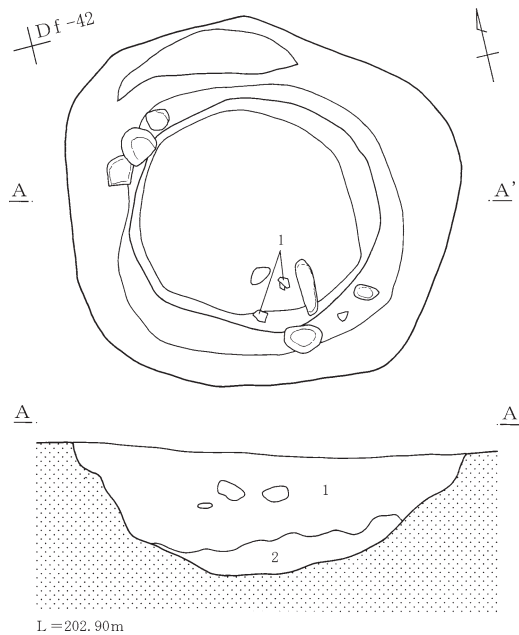
位置：De-42Gから検出された。

形状：不整円形土坑

規模：直径約2.45m～2.65m・深さ約80cm

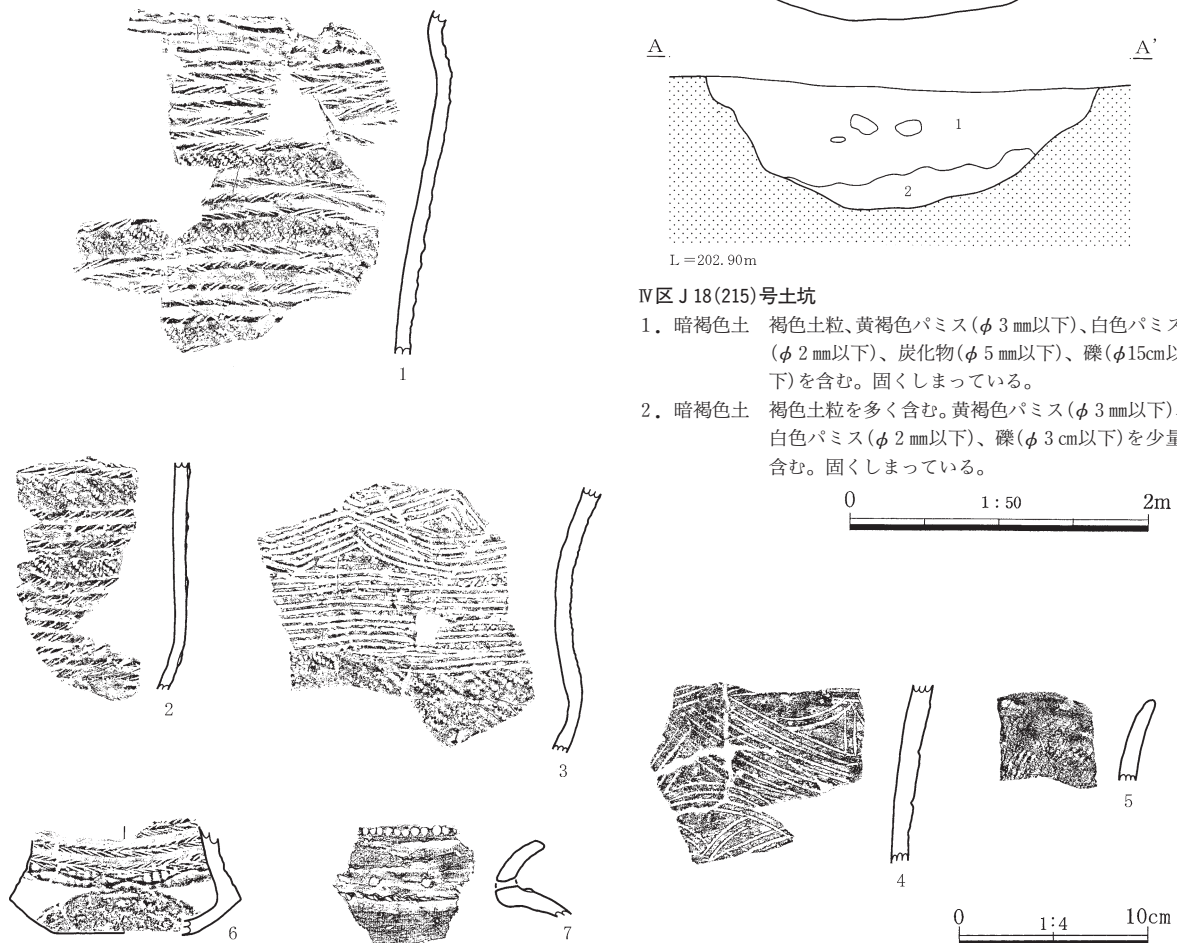
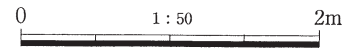
土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：諸磯b式深鉢6点・同有孔浅鉢1点が出土した。また、磨石1点・石皿1点が出土した。



IV区J18(215)号土坑

1. 暗褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)、礫(φ15cm以下)を含む。固くしまっている。
2. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、礫(φ3cm以下)を少量含む。固くしまっている。

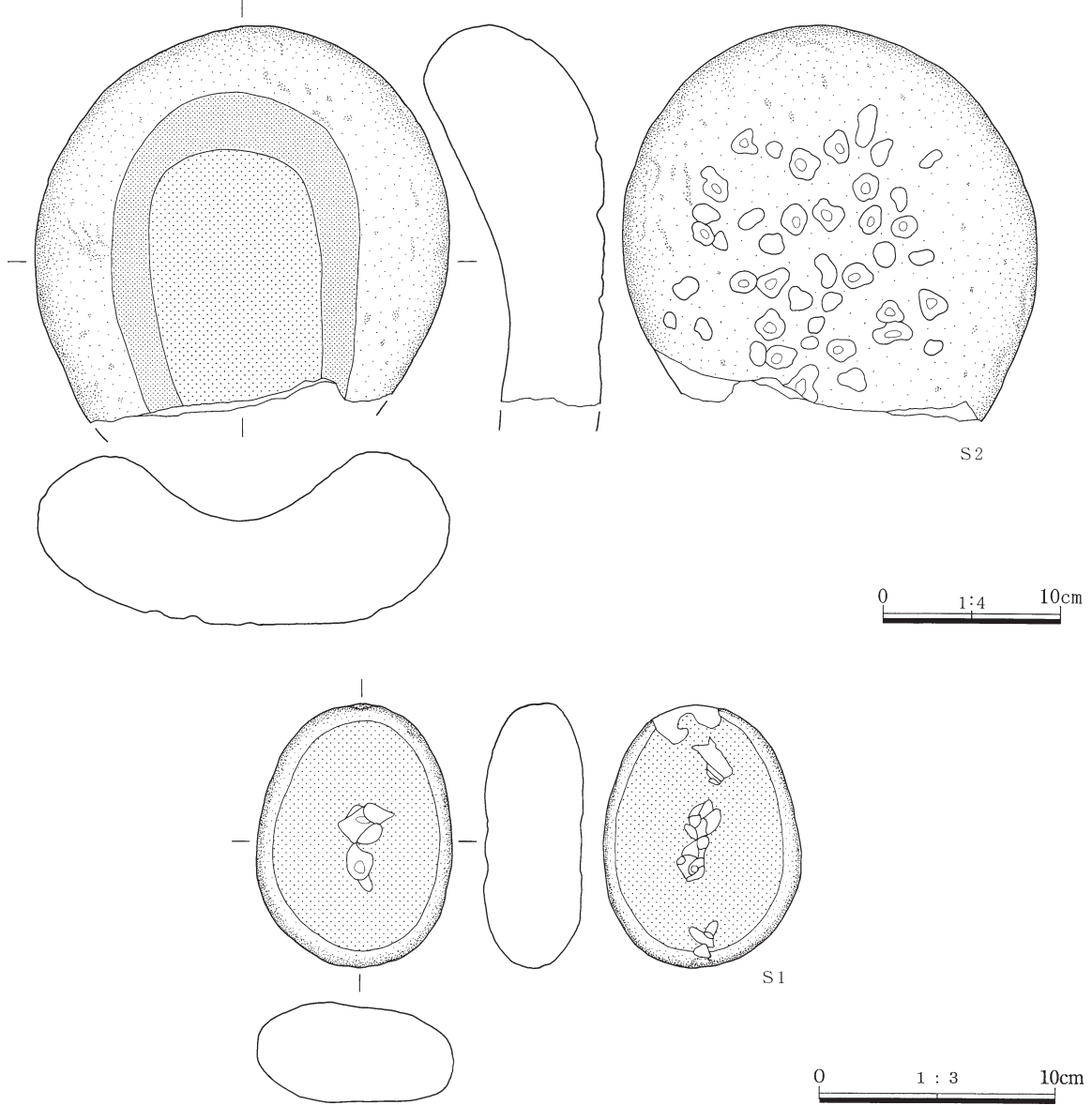


第6章第78図 IV区J18(215)号土坑・出土縄文土器

第6章 IV区の調査

第6章表36 IV区J 18(215)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第78図、PL. 55)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P 1	215号土坑 No.2・3	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。内面下部スス附着。縄文原体 RL。2と同一個体。
P 2	215号土坑	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	1と同一個体。
P 3	215号土坑	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1~3mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による横位区画。区画内菱形文。縄文原体 RL。
P 4	215号土坑	深鉢	胴部破片	不良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による横位区画。弧線、斜線文。
P 5	215号土坑	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式	縄文原体 Lr。
P 6	215号土坑	深鉢	底部	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。「×」状文。浮線には矢羽根状の刻み。
P 7	215号土坑	有孔浅鉢	口縁破片	良	赤褐	2.5YR4/6	細かい砂粒	諸磯b式(新)	くびれ部にφ4mmの孔が廻る。



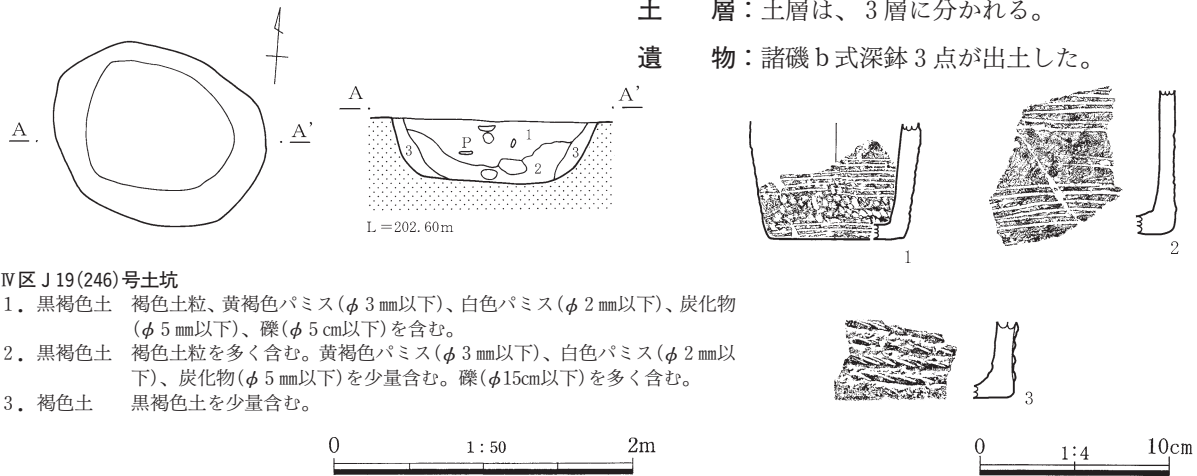
第6章第79図 IV区J 18(215)号土坑出土縄文石器

第6章表37 IV区J 18(215)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第79図、PL. 55)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	215土・埋没土	磨石	完形	10.00	8.30	4.30	600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S 2	215土・No.5	石皿	下端部欠損	(22.40)	23.30	9.70	5,900.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。1面を凹石としても使用。

(19) IV区 J 19(246)号土坑
位置：De-41・42Gから検出された。

形状：不整円形土坑
規模：長軸約1.45m・短軸約1.2m・深さ約40cm
土層：土層は、3層に分かれる。
遺物：諸磯b式深鉢3点が出土した。



IV区 J 19(246)号土坑

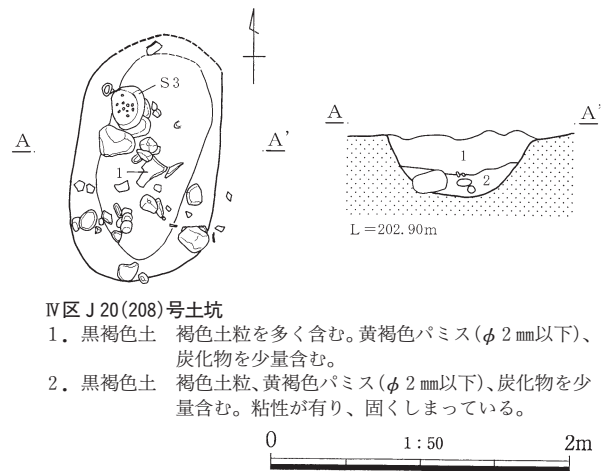
1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)、礫(φ5cm以下)を含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を少量含む。礫(φ15cm以下)を多く含む。
3. 褐色土 黒褐色土を少量含む。

第6章第80図 IV区 J 19(246)号土坑・出土縄文土器

第6章表38 IV区 J 19(246)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第80図、PL. 56)

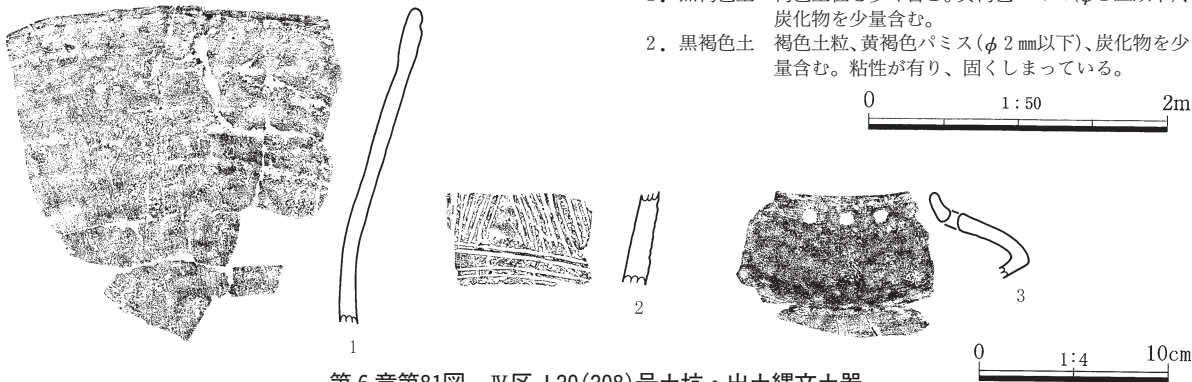
番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	246号土坑	深鉢	底部破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線を集合化させ横位区画。縄文原体RL。
P 2	246号土坑	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線を集合化させ横位区画。
P 3	246号土坑	深鉢	底部破片	普通	橙	7.5YR7/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位施文。内面スス附着。

(20) IV区 J 20(208)号土坑
位置：Dh-41G、Di-41Gから検出された。
形状：楕円形土坑
規模：長軸約1.6m・短軸約95cm・深さ約35cm
土層：土層は、2層に分かれる。
遺物：諸磯b式深鉢2点・同有孔浅鉢1点が出土した。また、多孔石(両面)1点が出土した。



IV区 J 20(208)号土坑

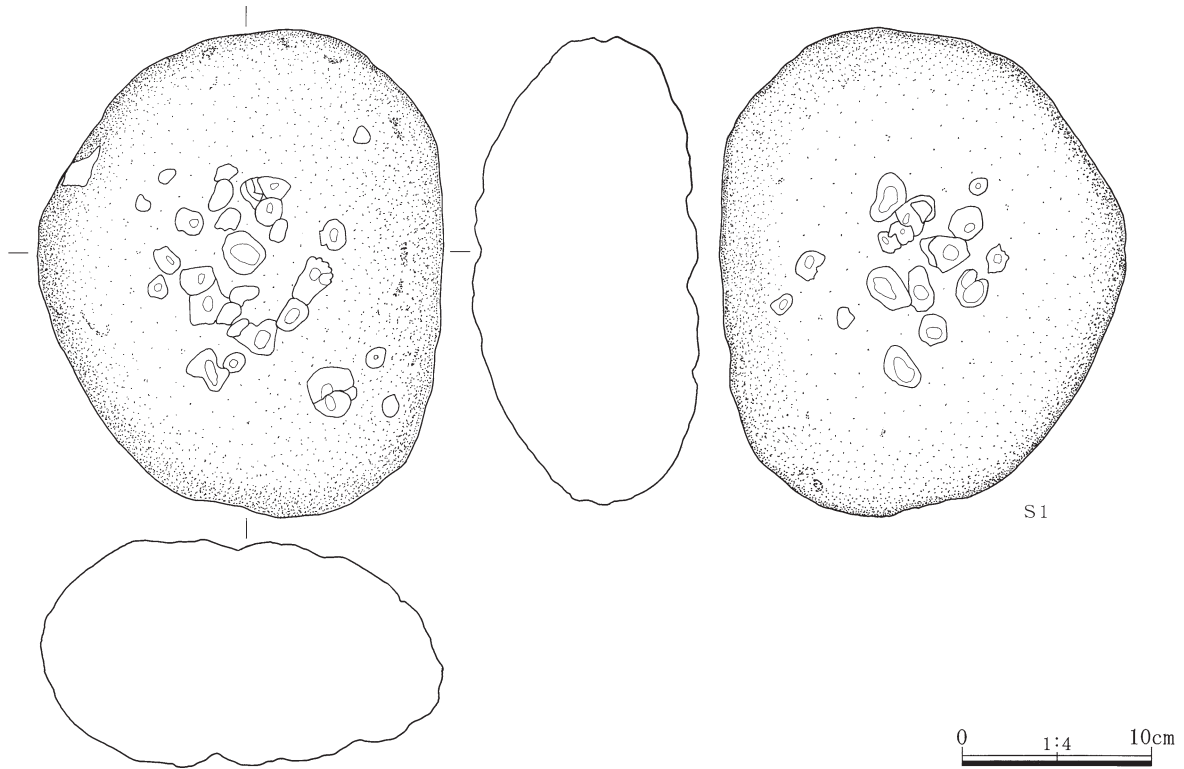
1. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ2mm以下)、炭化物を少量含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ2mm以下)、炭化物を少量含む。粘性があり、固くしまっている。



第6章第81図 IV区 J 20(208)号土坑・出土縄文土器

第6章表39 IV区 J 20(208)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第81図、PL. 56)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	208号土坑 No.11	深鉢	口縁~胴部	良	暗赤褐	5YR3/2	白色粒・砂粒多い	諸磯b式(中)	外面スス附着。
P 2	208号土坑 No.3	深鉢	胴部破片	普通	灰褐	5YR4/2	砂粒多い	諸磯b式(新)	巾3mmの平行沈線による横位区画と斜線。内面明赤褐。
P 3	208号土坑 No.16	有孔浅鉢	口縁破片	不良	明赤褐~灰褐	5YR5/8 5YR4/2	砂粒多く含む	諸磯b式(中2)	φ5~6mmの孔列が口縁に廻る。



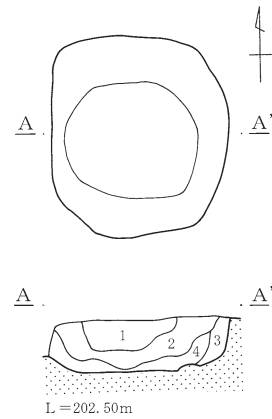
第6章第82図 IV区 J 20(208)号土坑出土縄文石器

第6章表40 IV区 J 20(208)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第82図、PL. 56)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	208土・No14	多孔石	完形	24.70	21.20	11.90	7,600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。

(21) IV区 J 21(233)号土坑

- 位 置：Dk-44Gから検出された。
 形 状：不整円形土坑
 規 模：長軸約1.3m・短軸約1.15m・深さ約35cm
 土 層：土層は、4層に分かれる。
 遺 物：遺物は、出土しなかった。



IV区 J 21(233)号土坑

1. 黒褐色土 全体的に白色微細粒子が含まれる。
2. 暗褐色土 褐色のブロックを含み、1層との境に白色微細粒子を含む。
3. 褐色土と暗褐色土の混土 下層ほど水分を含み、多少粘性が有る。
4. 褐色土 多少粘性が有り、2層との境に暗褐色のブロックが含まれる。

第6章第83図 IV区 J 21(233)号土坑

(22) IV区 J 22(211)号土坑

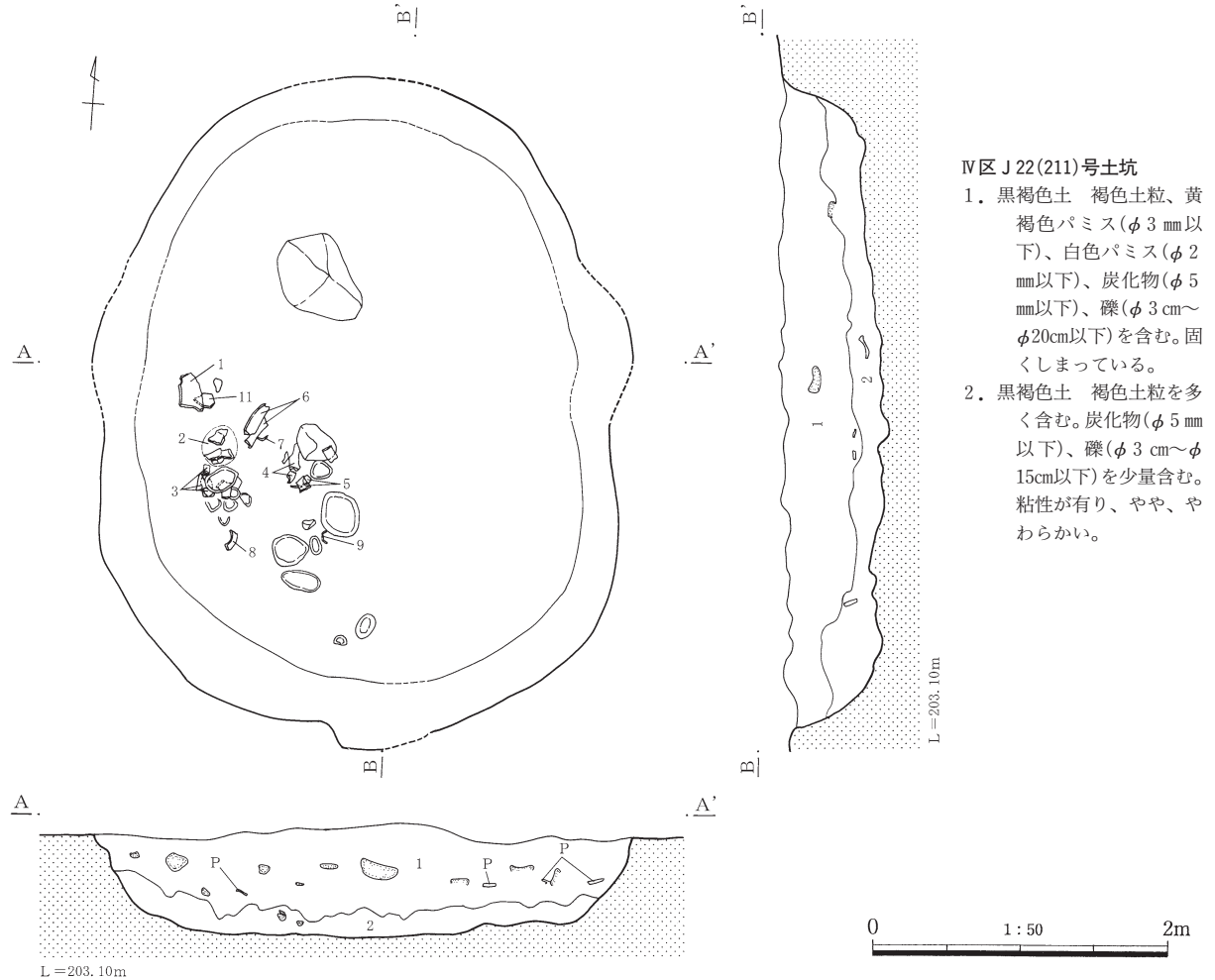
位置：Dk-46G、Dl-46Gから検出された。

形状：楕円形土坑

規模：長軸約4.45m・短軸約3.35m・深さ約65cm

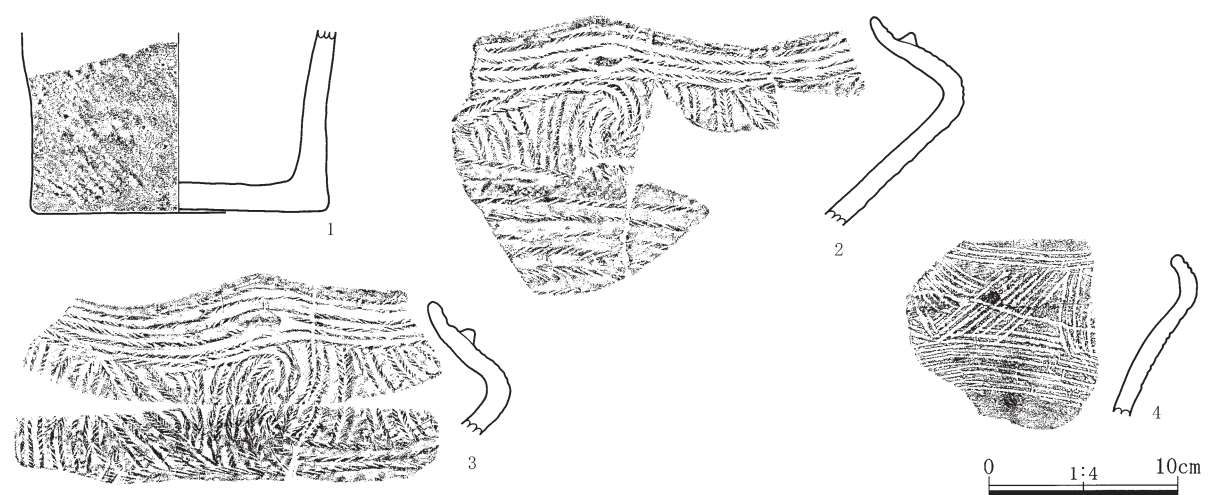
土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：諸磯b式深鉢6点・同有孔浅鉢1点・浮島Ⅲ式深鉢2点・北白川下層Ⅱc式浅鉢1点が出土した。また、砥石1点・石匙1点・尖頭器1点・敲石1点・打製石斧1点・磨石1点・凹石1点・石皿2点が出土した。



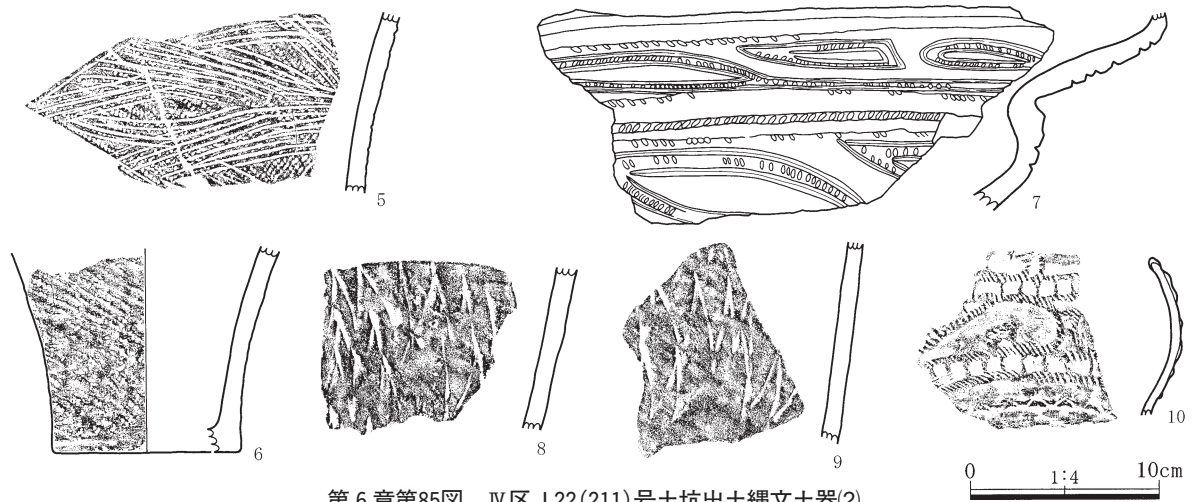
IV区 J 22(211)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)、礫(φ 3 cm~φ 20cm以下)を含む。固くしまっている。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。炭化物(φ 5 mm以下)、礫(φ 3 cm~φ 15cm以下)を少量含む。粘性が有り、やや、やわらかい。



第6章第84図 IV区 J 22(211)号土坑・出土縄文土器(1)

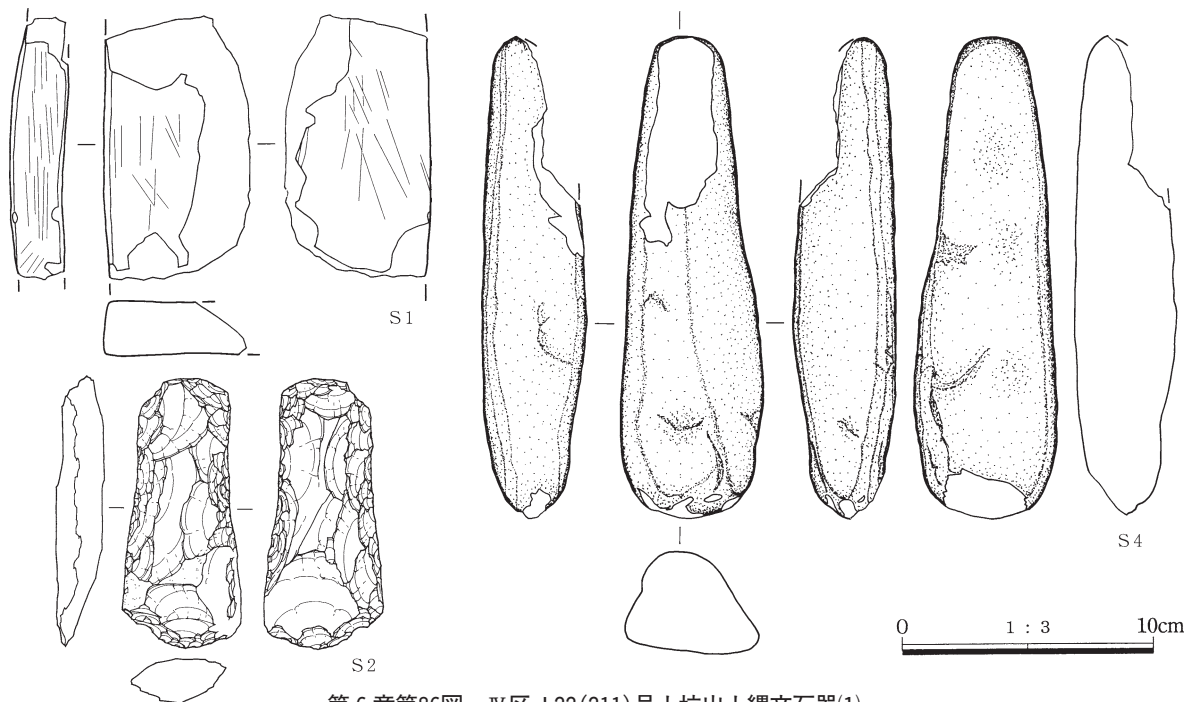
第6章 IV区の調査



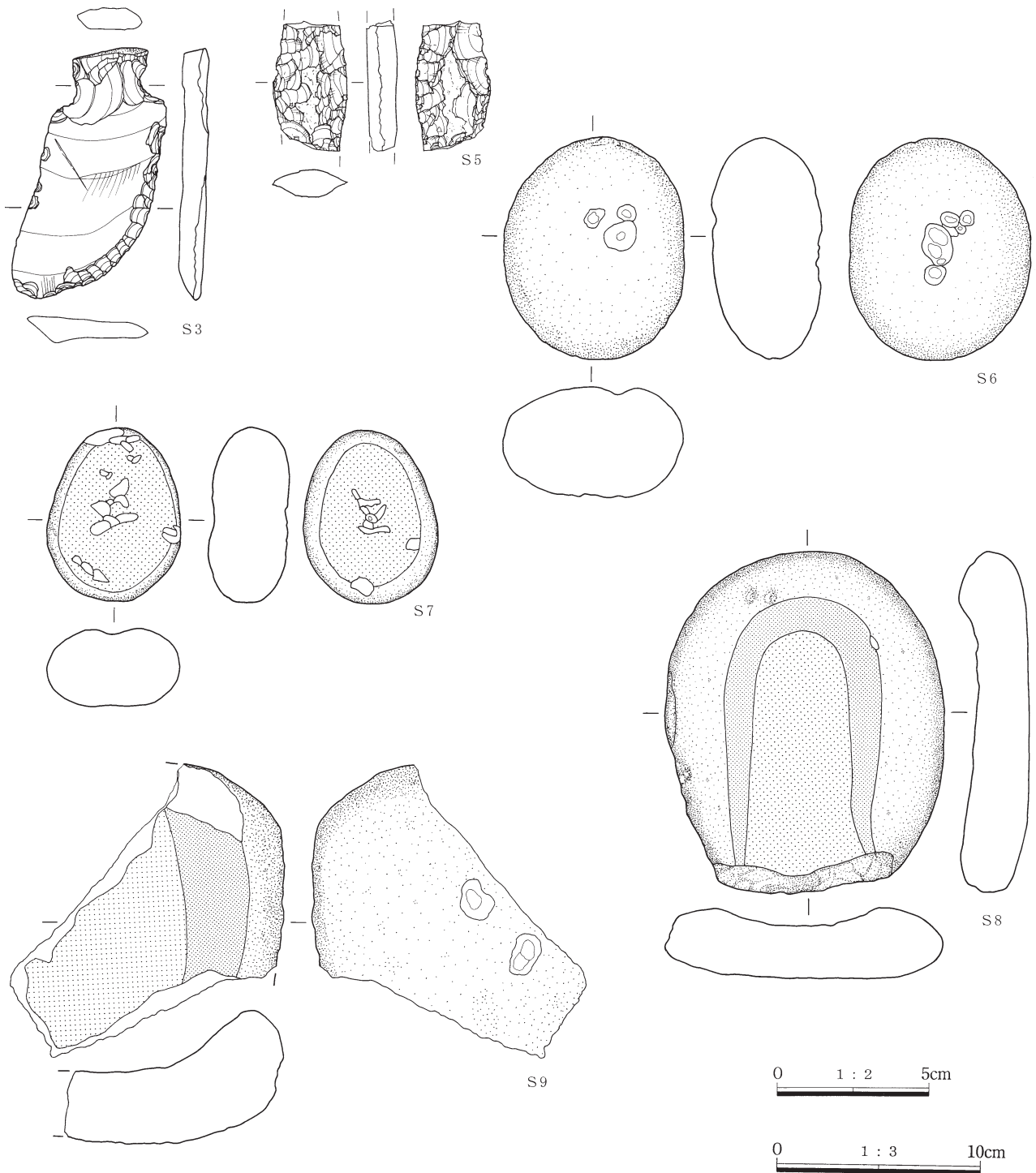
第6章第85図 IV区 J 22(211)号土坑出土縄文土器(2)

第6章表41 IV区 J 22(211)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第84・85図、PL. 57)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	211号土坑 No. 8	深鉢	底部	普通	明黄褐	10YR7/6	細かい砂粒多い	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P 2	211号土坑 No. 2・3	深鉢	口縁	普通	にぶい褐	7.5YR6/3	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤貼付。浮線による横位区画、風車状渦巻文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 LR 横。3と同一個体。
P 3	211号土坑 No. 4	深鉢	口縁	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	2と同一個体。
P 4	211号土坑 No. 11	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/4	φ1mmの小石多い	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。口縁部斜線、弧線文様。
P 5	211号土坑	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内斜線、弧線文。縄文原体 RL。
P 6	211号土坑	深鉢	胴部~底部 破片	不良	明赤褐	5YR5/8	砂粒多い	諸磯b式(中2)	縄文原体 RL。
P 7	211号土坑 No. 6	有孔浅鉢	胴部	不良	暗褐	7.5YR3/3	φ1~2mmの小石、 金雲母	諸磯b式(中2)	沈線による並行線に爪形文を充填し、木葉文を作る。
P 8	211号土坑 No. 11	深鉢	胴部破片	普通	明褐	7.5YR5/6	細かい砂粒	浮島Ⅲ式	貝殻腹縁によるロッキング施文。
P 9	211号土坑 No. 9	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	浮島Ⅲ式	貝殻腹縁によるロッキング施文。内面スス付着。
P 10	211号土坑	浅鉢	破片	不良	浅黄橙	10YR8/4	φ1~2mmの小石	北白川下層Ⅱc 式	刻みを持つ偏平な浮線による梯子状文、弧線文。



第6章第86図 IV区 J 22(211)号土坑出土縄文土器(1)



第6章第87図 IV区J22(211)号土坑出土縄文石器(2)

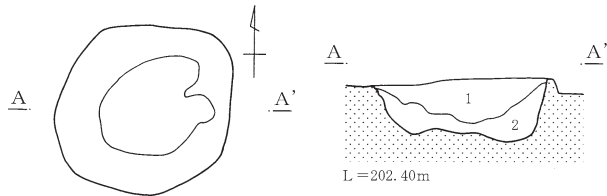
第6章表42 IV区J22(211)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第86・87図、PL.58)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	211土・周辺	砥石	一部破損	(10.20)	5.70	2.20	168.00	頁岩	流紋岩	3面使用。
S 2	211土・トレンチ	打製石斧	一部欠損	10.60	4.70	1.80	93.60	黒色頁岩	—	短冊形石斧。一部表面残存。
S 3	211土・埋没土	石匙	一部破損	7.83	3.90	0.77	33.10	黒色頁岩	—	縦型石匙。左右非対称。
S 4	211土・埋没土	敲石	一部破損	19.00	5.60	4.10	590.00	変玄武岩	変質凝灰岩	1面に敲打痕有。
S 5	211土・埋没土	尖頭器・槍先	上下端欠損	(6.20)	3.70	1.50	41.80	チャート	—	2面に一部表面残存。
S 6	211土・埋没土	凹石	完形	10.90	8.70	5.30	640.00	粗粒輝石安山岩	—	2面使用。
S 7	211土・埋没土	磨石	完形	8.50	6.60	3.70	304.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S 8	211土・埋没土	石皿	一部欠損	(16.60)	13.50	3.50	1,130.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。
S 9	211土・埋没土	石皿	破片	(11.50)	(10.70)	5.30	680.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。1面を凹石として使用。

第6章 IV区の調査

(23) IV区 J 23(251)号土坑

位置：Dk-46Gから検出された。
 形状：不整形円形土坑
 規模：直径約1.15m～1.3m・深さ約40cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



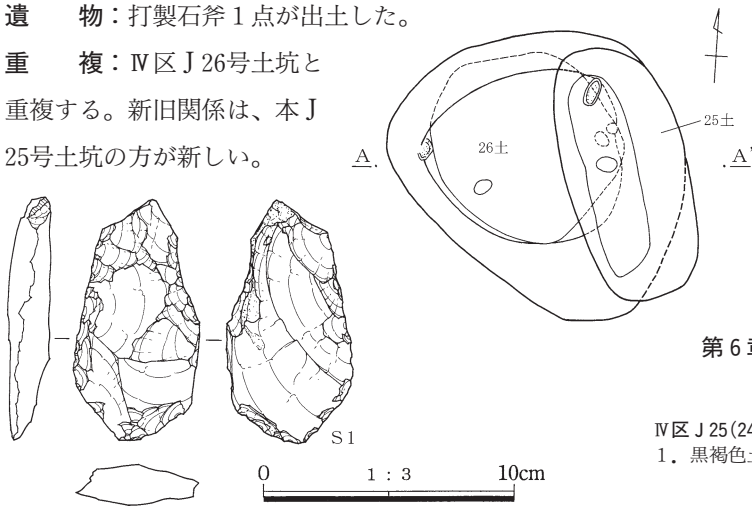
IV区 J 23(251)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 3cm以下)を多く含む。黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 3mm以下)を少量含む。粘性が有り、非常に固くしまっている。
2. 褐色土 黒褐色土粒を含む。粘性が有り、非常に固くしまっている。

第6章第88図 IV区 J 23(251)号土坑

(25) IV区 J 25(248)号土坑

位置：Dl-46Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約1.7m・短軸約80cm・深さ約25cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：打製石斧1点が出土した。
 重複：IV区 J 26号土坑と重複する。新旧関係は、本 J 25号土坑の方が新しい。



第6章第91図 IV区 J 25(248)号土坑出土縄文石器

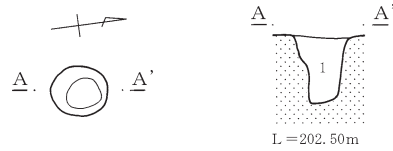
第6章表43 IV区 J 25(248)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第91図、PL. 58)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)		
				長さ	幅	厚さ
S 1	248土・埋没土	打製石斧	一部欠損	9.50	5.00	1.70

重量 (g)	石材		特徴
	A	B	
82.50	黒色頁岩	—	短冊形石斧。

(24) IV区 J 24(252)号土坑

位置：Dl-46Gから検出された。
 形状：円形土坑
 規模：直径約35cm・深さ約45cm
 土層：土層は、1層である。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



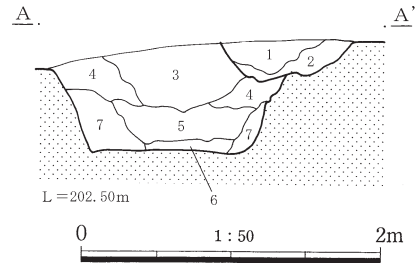
IV区 J 24(252)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。粘性が有り固くしまっている。

第6章第89図 IV区 J 24(252)号土坑

(26) IV区 J 26(249)号土坑

位置：Dl-46Gから検出された。
 形状：不整形円形土坑
 規模：長軸約2m・短軸約1.9m・深さ約70cm
 土層：土層は、5層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。
 重複：IV区26号土坑と重複する。新旧関係は、本土坑の方が古い。



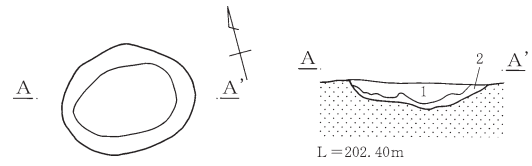
第6章第90図 IV区 J 25(248)・J 26(249)号土坑

IV区 J 25(248)・J 26(249)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 3mm以下)を含む。粘性が有り固くしまっている。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。粘性が有る。
3. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)を含む。
4. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。粘性が有り固くしまっている。
5. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色土ブロック(φ 1cm以下)を含む。粘性が有る。
6. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色土ブロック(φ 1cm以下)を含む。粘性が有り、非常に固くしまっている。
7. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色土ブロック(φ 1cm以下)を多く含む。粘性が有り固くしまっている。

(27) IV区 J 27(243)号土坑

位置：D1-44Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約90cm・短軸約70cm・深さ約15cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



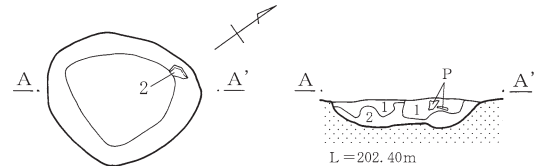
IV区 J 27(243)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 3cm以下)を含む。固くしまっている。
2. 黄褐色土 黒褐色土粒を含む。やや粘性が有る。

第6章第92図 IV区 J 27(243)号土坑

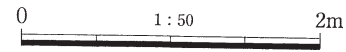
(28) IV区 J 28(234)号土坑

位置：D1-44Gから検出された。
 形状：不整形円形土坑
 規模：長軸約1m・短軸約85cm・深さ約15cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：諸磯a式深鉢2点出土した。



IV区 J 28(234)号土坑

1. 暗褐色土 所々に褐色のブロックを含む。
2. 褐色土 暗褐色のブロックを少量含む。粘質性有り。



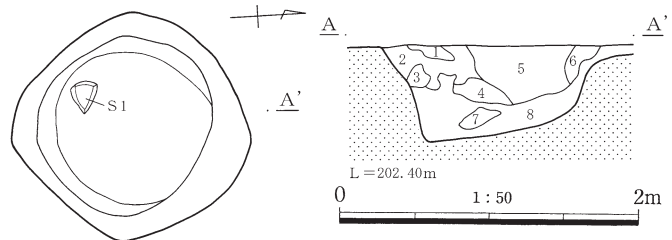
第6章第93図 IV区 J 28(234)号土坑・出土縄文土器

第6章表44 IV区 J 28(234)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第94図、PL. 59)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	234号土坑	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾2mmの平行沈線爪形文が横位に廻る。縄文原体RL。
P 2	234号土坑 No.1	深鉢	胴部破片	普通	赤褐	5YR4/6	φ 1mmの小石、軽石粒多い	諸磯a式(新)	巾3mmの平行沈線爪形文による木葉文。文様内に縄文。間を磨り消している。φ 4mmの円形刺突。縄文原体RL。

(29) IV区 J 29(235)号土坑

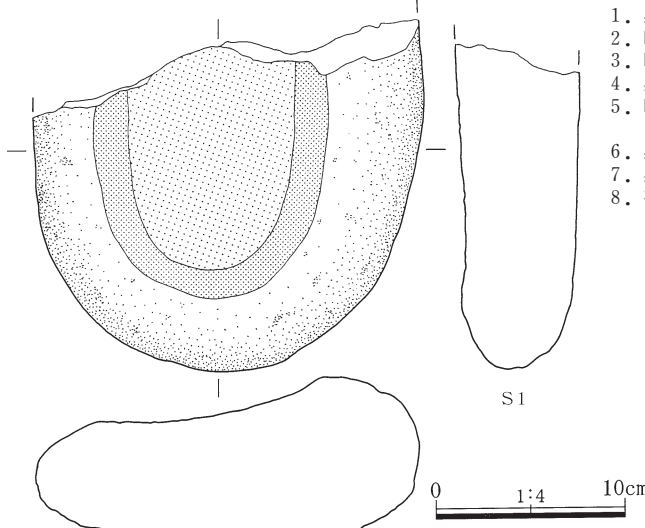
位置：D1-44Gから検出された。
 形状：不整形円形土坑
 規模：直径約1.5m~1.6m・深さ約60cm
 土層：土層は、8層に分かれる。
 遺物：石皿1点出土している。



IV区 J 29(235)号土坑

1. 黒褐色土 中央部に褐色のブロックを含み、白色及び黄細粒子を含む。
2. 暗褐色土 褐色の粒及び白色微細粒子を含む。
3. 暗褐色土主体で褐色土のブロックが混ざったもの。
4. 黒褐色土 褐色の粒が極少量含まれ、白色の細粒子を含む。
5. 暗褐色土 褐色のブロック、白色微細粒子が含まれる。2層より明るい。
6. 黒褐色土 褐色の粒を少量含み、白色及び黄細粒子を含む。
7. 黒褐色土 白色の微細粒子が含まれる。
8. 褐色土主体 暗褐色土の土が混ざったもの。

第6章第94図 IV区 J 29(235)号土坑



第6章表45 IV区 J 29(235)号土坑出土縄文石器
 観察表 (第6章第95図、PL. 59)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存	計測値 (cm)			重量 (g)
				長さ	幅	厚さ	
S 1	235土・No.1	石皿	1/2	(18.40)	20.70	8.20	3,820.00

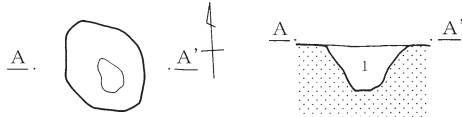
石材		特徴
A	B	
粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。

第6章第95図 IV区 J 29(235)号土坑出土縄文石器

第6章 IV区の調査

(30) IV区 J 30(206)号土坑

位置：Dm-44Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約65cm・短軸約50cm・深さ約30cm
 土層：土層は、1層である。
 遺物：遺物は、出土しなかった。

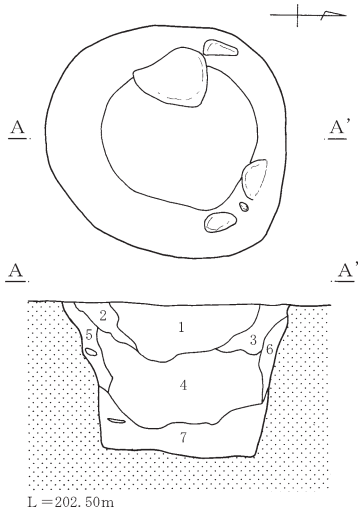


IV区 J 30(206)号土坑
 1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物を含む。

第6章第96図 IV区 J 30(206)号土坑

(32) IV区 J 32(232)号土坑

位置：Dm-44Gから検出された。
 形状：不整形土坑
 規模：直径約1.55m~1.7m・深さ約1m
 土層：土層は、7層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。

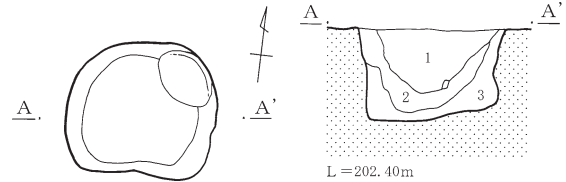


IV区 J 32(232)号土坑
 1. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。炭化物(φ 5 mm以下)を少量含む。やや粘性が有る。
 2. 暗褐色土 褐色土粒を少量含む。粘性が有り固くしまっている。
 3. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 3 mm以下)を少量含む。固くしまっている。
 4. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 3 mm以下)を少量含む。粘性が有り固くしまっている。
 5. 黒褐色土 黄褐色土ブロック(φ 5 cm以下)、礫(φ 5 cm以下)を含む。粘性が有り固くしまっている。
 6. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。粘性が有る。
 7. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色シルト質土を多く含む。やや粘性が有りやわらかい。

第6章第98図 IV区 J 32(232)号土坑

(31) IV区 J 31(229)号土坑

位置：Dm-44Gから検出された。
 形状：不整形土坑
 規模：直径約1m~1.05m・深さ約60cm
 土層：土層は、3層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。

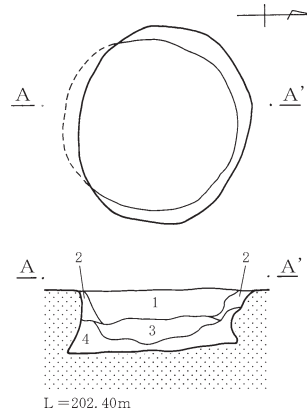


IV区 J 31(229)号土坑
 1. 暗褐色土 上層部に白色及び黄色の微細粒子を含む。
 2. 暗褐色土に褐色の大きなブロックが混ざったもの。
 3. 褐色土の中に暗褐色土のブロックが含まれる。粘質土。

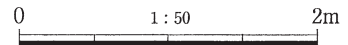
第6章第97図 IV区 J 31(229)号土坑

(33) IV区 J 33(247)号土坑

位置：Dm-44G、Dn-44Gから検出された。
 形状：不整形土坑
 規模：直径約1.15m~1.3m・深さ約40cm
 土層：土層は、4層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



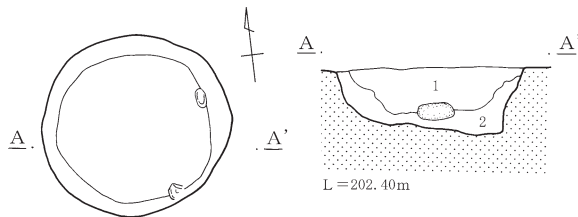
IV区 J 33(247)号土坑
 1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)を含む。
 2. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色土ブロック(φ 1 cm以下)を多く含む。
 3. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)を含む。やや粘性が有る。
 4. 褐色土 黒褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)を少量含む。やや粘性が有る。



第6章第99図 IV区 J 33(247)号土坑

(34) IV区 J 34(250)号土坑

位置：Dm-45G、Dn-45Gから検出された。
 形状：円形土坑
 規模：直径約1.2m・深さ約40cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



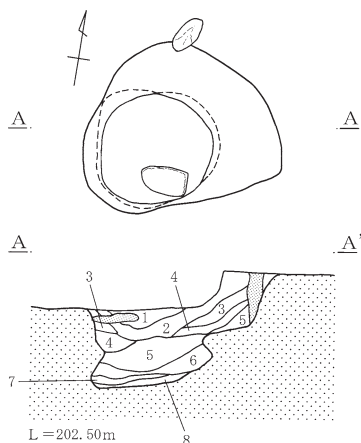
IV区 J 34(250)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)を含む。粘性が有り固くしまっている。
2. 褐色土 黒褐色土粒を多く含む。粘性が有り、非常に固くしまっている。

第6章第100図 IV区 J 34(250)号土坑

(35) IV区 J 35(253)号土坑

位置：Dm-45G、Dn-45Gから検出された。
 形状：不整円形土坑
 規模：直径約1.2m~1.25m・深さ約70cm
 土層：土層は、8層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



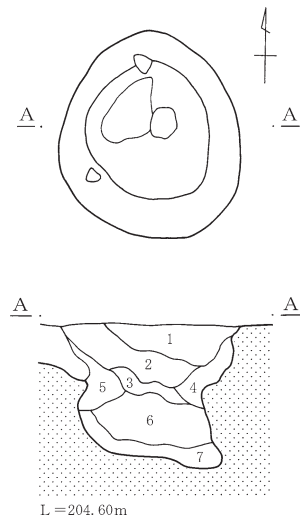
IV区 J 35(253)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 2mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)を含む。
2. 黒褐色土 1層より褐色土粒を多く含む。
3. 褐色土 黒褐色土粒、黄褐色シルト質土粒を含む。
4. 褐色土 3層より黒褐色土粒を多く含む。
5. 褐色土 4層よりさらに黒褐色土粒を多く含む。
6. 褐色土 5層より粘性が有る。
7. 暗褐色土 褐色土粒、黄褐色シルト質土粒を含む。粘性が有り固くしまっている。
8. 暗褐色土 7層より粘性が有り、非常に固くしまっている。

第6章第101図 IV区 J 35(253)号土坑

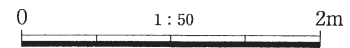
(36) IV区 J 36(231)号土坑

位置：Dn-44Gから検出された。
 形状：不整円形土坑
 規模：長軸約1.2m~1.35m・深さ約85cm
 土層：土層は、7層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区 J 36(231)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 5cm以下)、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 3mm以下)、炭化物(φ 5mm以下)を含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 3mm以下)、炭化物(φ 5mm以下)を含む。やや固くしまっている。
3. 黒褐色土 黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 3mm以下)、炭化物(φ 5mm以下)を含む。固くしまっている。
4. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色シルト質土ブロック(φ 3cm以下)を多く含む。やや粘性が有る。
5. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 3cm以下)を含む。粘性が有る。
6. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、炭化物(φ 5mm以下)を含む。粘性が有りやや固くしまっている。
7. 暗褐色土 黄褐色シルト質土を多く含む。粘性が有りやわらかい。

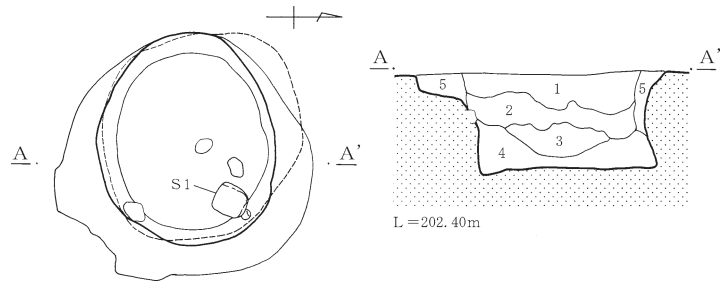


第6章第102図 IV区 J 36(231)号土坑

第6章 IV区の調査

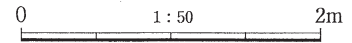
(37) IV区 J 37(228)号土坑

位置：Dn-44Gから検出された。
 形状：不整円形土坑
 規模：直径約1.2m～1.4m・深さ約60cm
 土層：土層は、5層に分かれる。
 遺物：石皿1点が出土した。



IV区 J 37(228)号土坑

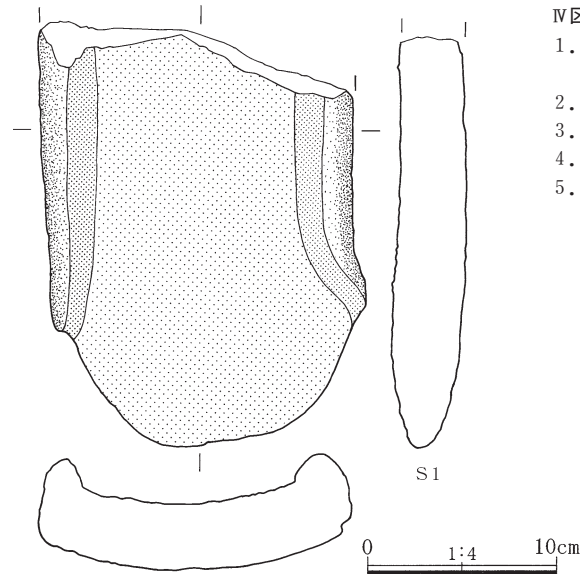
1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)を含む。やや固くしまっている。
2. 暗褐色土 褐色土粒を含む。やや粘性が有る。
3. 褐色土 黄褐色シルト質土を多く含む。やわらかい。
4. 褐色土 黄褐色シルト質土を少量含む。粘性が有り固くしまっている。
5. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。やわらかい。



第6章第103図 IV区 J 37(228)号土坑

(38) IV区 J 40(226)号土坑

位置：Do-44G、Dp-44Gから検出された。
 形状：不整円形土坑
 規模：直径約1.45m～1.55m・深さ約60cm
 土層：土層は、3層に分かれる。
 遺物：諸磯a式深鉢4点・諸磯b式深鉢2点が出土した。また、磨石1点が出土した。

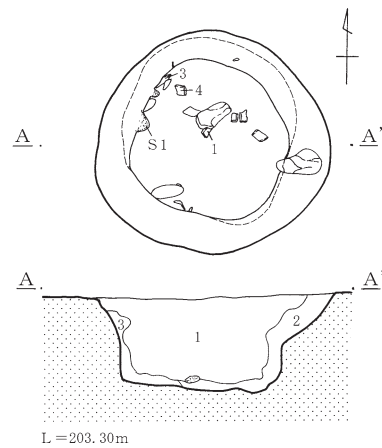
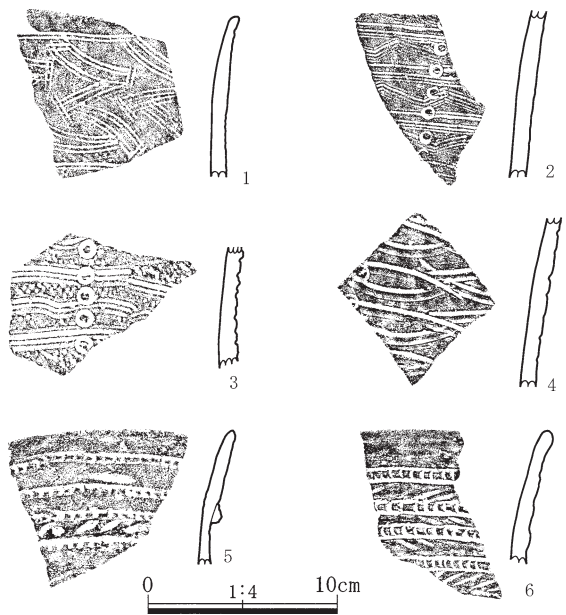


第6章第104図 IV区 J 37(228)号土坑出土縄文石器

第6章表46 IV区 J 37(228)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第104図、PL.60)

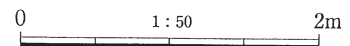
番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存	計測値 (cm)			重量 (g)
				長さ	幅	厚さ	
S 1	228土・No 1	石皿	2/3	(22.30)	17.30	6.20	2,050.00

石 材		特 徴
A	B	
粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。



IV区 J 40(226)号土坑

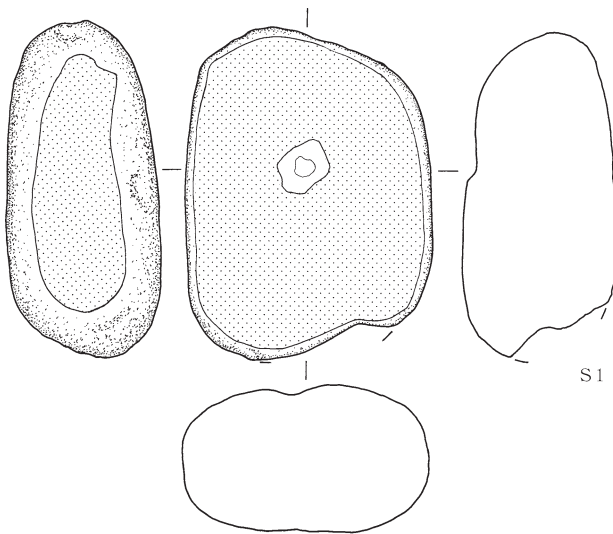
1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 3mm以下)、炭化物(φ 5mm以下)、焼土ブロック(φ 3mm以下)を含む。固くしまっている。
2. 暗褐色土 黄褐色シルト質土を含む。やわらかい。
3. 褐色土 黄褐色シルト質土を含む。粘性が有り固くしまっている。



第6章第105図 IV区 J 40(226)号土坑・出土縄文石器

第6章表47 IV区J40(226)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第105図、PL.61)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	226号土坑 No.4	深鉢	胴部破片	不良	にぶい橙	7.5YR7/3	砂粒多い	諸磯a式(新)	巾2mmの平行沈線による木葉文。縄文原体RL。
P2	226号土坑	深鉢	口縁破片	不良	赤褐	2.5YR4/6	φ1mmの小石、白色粒	諸磯a式(新)	巾2mmの平行沈線による横線鋸歯文。φ5mmの円形刺突縦位施文。縄文原体LR。
P3	226号土坑 No.7	深鉢	胴部破片	不良	にぶい橙	5YR6/4	φ1mmの小石、白色粒多い	諸磯a式(新)	巾2mmの平行沈線を重ねた沈線による横波状文。φ8mmの円形竹管を縦位に施文。
P4	226号土坑 No.6	深鉢	胴部破片	不良	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾5mmの平行沈線でレンズ状弧線文。円形の刺突。
P5	226号土坑 埋没土	深鉢	口縁破片	不良	暗赤褐	5YR3/3	φ1mmの小石多い	諸磯b式(古)	巾3mmの爪形文横位施文。頸部に刻みのある隆線が廻る。
P6	226号土坑 埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾6mmの爪形文が横位に施文。間に刻みのある隆線。



第6章表48 IV区J40(226)号土坑出土縄文石器観察表(第6章第106図、PL.61)

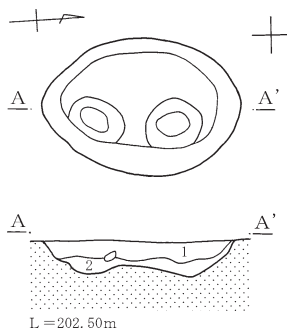
番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)		
				長さ	幅	厚さ
S1	226土・No.9	磨石	一部欠損	(13.20)	9.80	6.20

重量 (g)	石材		特徴
	A	B	
1,060.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。1面を凹石としても使用。

第6章第106図 IV区J40(226)号土坑出土縄文石器

(39) IV区J38(224)号土坑

位置：Dn-43Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約1.3m・短軸約90cm・深さ約25cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



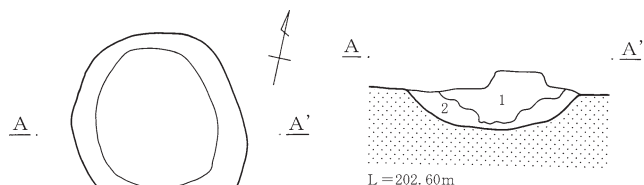
IV区J38(224)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色土ブロックを含む。
2. 黄褐色土 黒褐色土粒を含む。

第6章第107図 IV区J38(224)号土坑

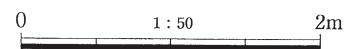
(40) IV区J39(216)号土坑

位置：Dn-44Gから検出された。
 形状：不整円形土坑
 規模：直径約1.1m~1.2m・深さ約40cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区J39(216)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、礫(φ10cm以下)を含む。固くしまっている。
2. 黒褐色土 黄褐色土粒を非常に多く含む。粘性が有る。



第6章第108図 IV区J39(216)号土坑

第6章 IV区の調査

(41) IV区 J 41(225)号土坑

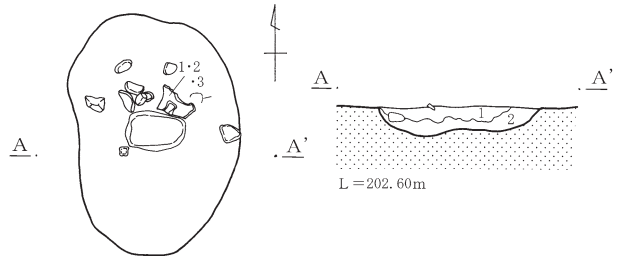
位置：Do-43・44Gから検出された。

形状：楕円形土坑

規模：長軸約1.55m・短軸約1.05m・深さ約15cm

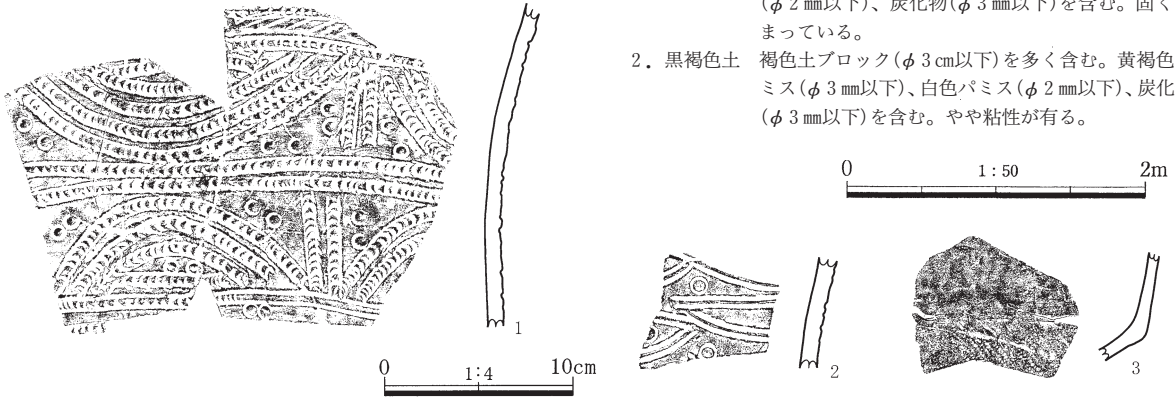
土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：諸磯b式土器の深鉢3点が出土した。



IV区 J 41(225)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 3 mm以下)を含む。固くしまっている。
2. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 3 cm以下)を多く含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 3 mm以下)を含む。やや粘性がある。



第6章第109図 IV区 J 41(225)号土坑・出土縄文土器

第6章表49 IV区 J 41(225)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第109図、PL. 61)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	225号土坑 No.2	深鉢	胴部	普通	にぶい赤褐	2.5YR5/4	φ 1~2 mmの小石	諸磯b式(古)	巾7 mmの平行沈線爪形文で横位区画。区画内を木葉文から変化した弧線文。円形刺突が加えられる。
P 2	225号土坑 No.2	深鉢	破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	φ 1~2 mmの小石	諸磯b式(古)	巾4 mmの平行沈線による木葉文。円形刺突。
P 3	225号土坑 No.2	深鉢	胴部破片	良	橙	5YR6/6	φ 1~2 mmの小石、 軽石粒	諸磯a式(新)	上半部横位ミガキ。下半部縄文施文。縄文原体 RL。

(42) IV区 J 42(219)号土坑

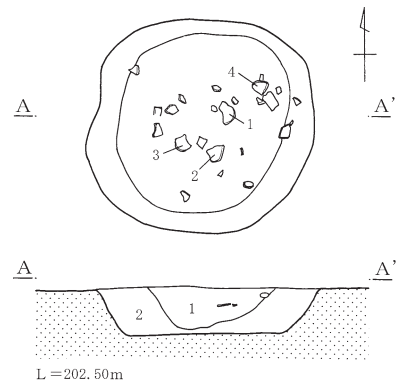
位置：Do-43・44Gから検出された。

形状：不整円形土坑

規模：直径約1.45m・深さ約30cm

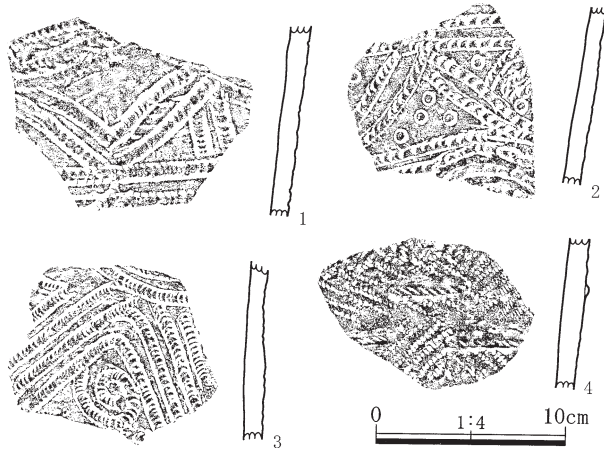
土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：諸磯c式深鉢4点・石匙 1点が出土した。



IV区 J 42(219)号土坑

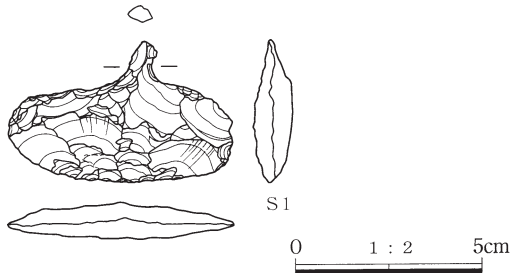
1. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 3 mm以下)を含む。固くしまっている。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 3 mm以下)を少量含む。粘性があり、やわらかい。



第6章第110図 IV区 J 42(219)号土坑・出土縄文土器

第6章表50 IV区J42(219)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第110図、PL.62)

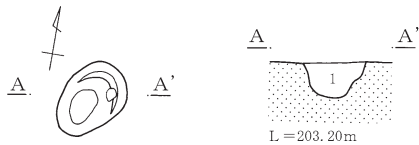
番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	219号土坑 No17	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	巾7mmの平行沈線爪形文による小形文。
P 2	219号土坑 No19	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR4/4	φ1~2mmの砂粒	諸磯c式(中1)	巾6mmの爪形文による山形文。円形刺突文。
P 3	219号土坑 No15	深鉢	胴部破片	普通	灰褐	5YR5/2	φ1~2mmの小石	諸磯c式(中1)	巾6mmの爪形文による山形文。渦巻文。
P 4	219号土坑 No5	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	φ1~2mmの砂粒	諸磯c式(中1)	浮線横位施文。浮線上に縄文。内面スス付着。縄文原体 RL、LR。羽状縄文。



第6章第111図 IV区J42(219)号土坑出土縄文石器

(43) IV区J44(207)号土坑

位置：Do-44Gから検出された。
 形状：不整円形土坑
 規模：長軸約55cm・短軸約40cm・深さ約25cm
 土層：土層は、1層である。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区J44(207)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ2mm以下)、炭化物を含む。

第6章第112図 IV区J44(207)号土坑

(45) IV区J43(230)号土坑

位置：Do-44Gから検出された。
 形状：不整円形土坑
 規模：直径約95cm・深さ約45cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：磨石1点・凹石1点。

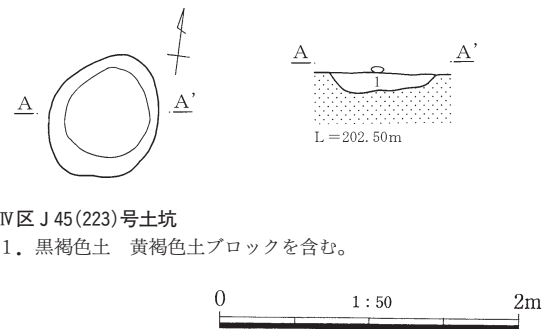
第6章表51 IV区J42(219)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第111図、PL.62)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存	計測値 (cm)			重量 (g)
				長さ	幅	厚さ	
S 1	219土・No113	石匙	完形	3.63	3.71	0.98	17.60

石材		特徴
A	B	
黒色安山岩	—	横型石匙。左右対称。

(44) IV区J45(223)号土坑

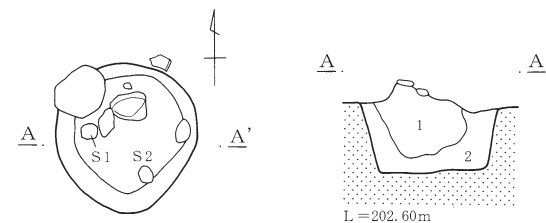
位置：Do-44Gから検出された。
 形状：不整円形土坑
 規模：長軸約85cm・短軸約70cm・深さ約15cm
 土層：土層は、1層である。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区J45(223)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色土ブロックを含む。

第6章第113図 IV区J45(223)号土坑

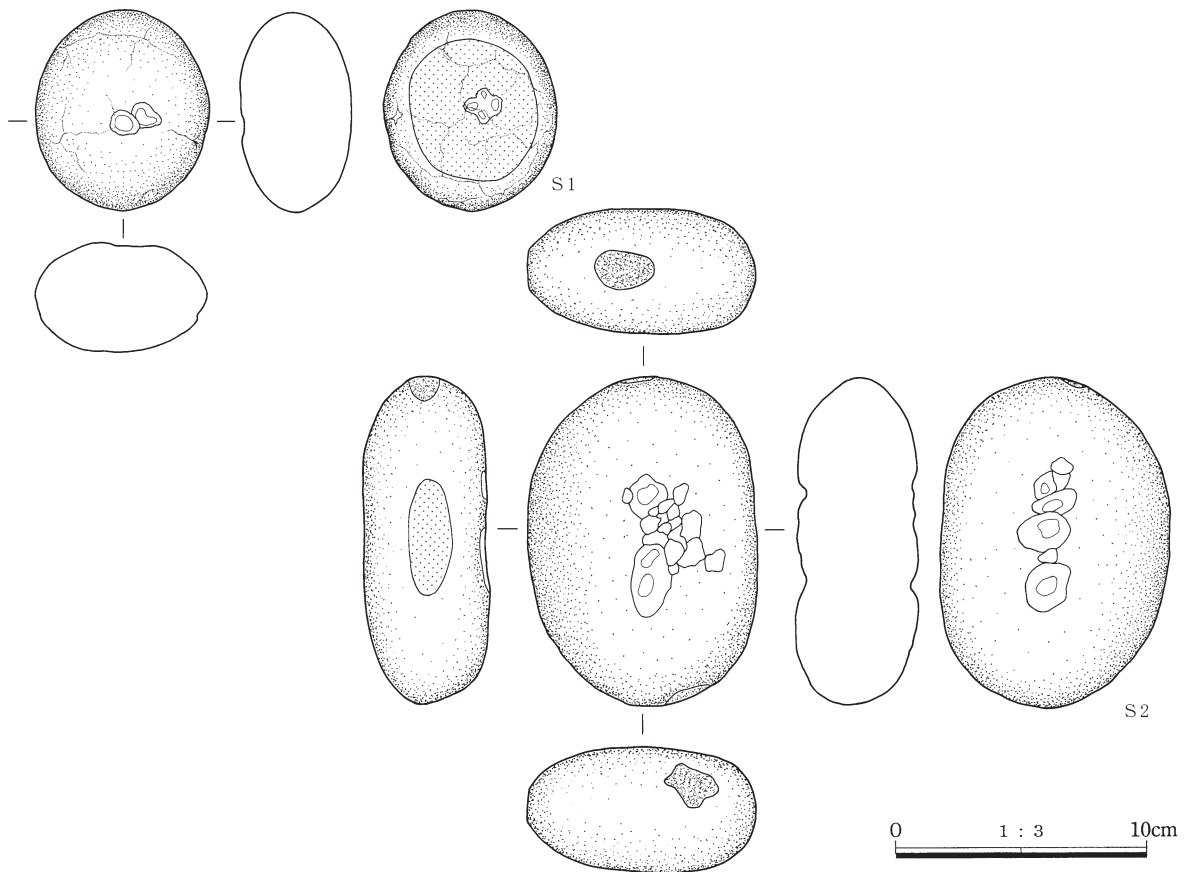


IV区J43(230)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ3mm以下)、炭化物(φ5mm以下)、焼土ブロック(φ5cm以下)を含む。固くしまっている。
 2. 暗褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。粘性が有り固くしまっている。

第6章第114図 IV区J43(230)号土坑

第6章 IV区の調査



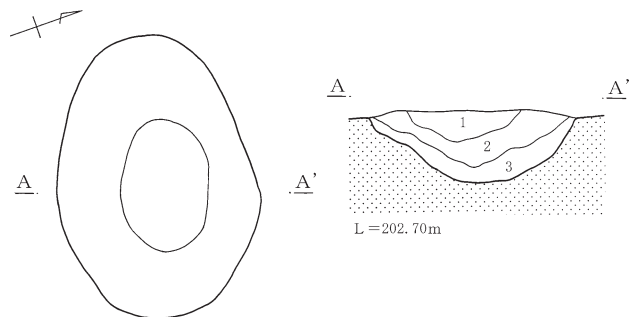
第6章第115図 IV区 J 43(230)号土坑出土縄文石器

第6章表52 IV区 J 43(230)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第115図、PL. 62)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	230土・No.3	磨石	完形	7.90	6.80	4.30	232.00	凝灰質砂岩	中粒砂岩	1面使用。1面を凹石として使用。
S 2	230土・No.5	凹石	完形	13.00	9.10	5.00	865.00	粗粒輝石安山岩	中粒砂岩	2面使用。1面を磨石として使用。 2面に敲打痕有。

(46) IV区 J 46(227)号土坑

位 置：Do-45Gから検出された。
 形 状：楕円形土坑
 規 模：長軸約1.85m・短軸約1.35m・深さ約45cm
 土 層：土層は、3層に分かれる。
 遺 物：諸磯式土器の深鉢1点が出土した。



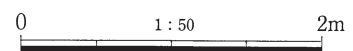
第6章表53 IV区 J 46(227)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第116図、PL. 63)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調	
					色	番号
P 1	227号土坑	深鉢	底部	普通	明赤褐	5YR5/6

胎 土	分 類	文 様
細かい砂粒	諸磯式	縄文原体 RL 横。

IV区 J 46(227)号土坑

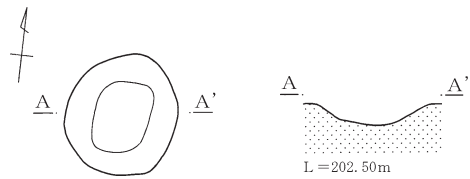
1. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ3mm以下)を含む。固くしまっている。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。粘性が有りやや固くしまっている。
3. 褐色土 黄褐色シルト質土を少量含む。粘性が有り固くしまっている。



第6章第116図 IV区 J 46(227)号土坑・出土縄文土器

(47) IV区 J 47(223)号土坑

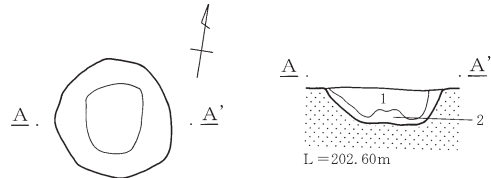
位置：Dp-44Gから検出された。
 形状：不整形円形土坑
 規模：直径約75cm～80cm・深さ約15cm
 土層：不明。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



第6章第117図 IV区 J 47(223)号土坑

(48) IV区 J 48(222)号土坑

位置：Dp-44G、Dq-44Gから検出された。
 形状：不整形円形土坑
 規模：直径約75cm・深さ約20cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



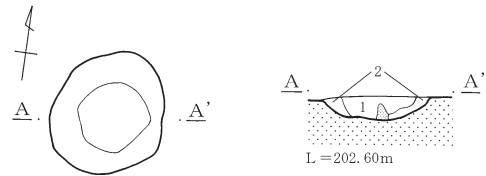
IV区 J 48(222)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色土ブロックを少量含む。
2. 黄褐色土 黒褐色土粒を含む。

第6章第118図 IV区 J 48(222)号土坑

(49) IV区 J 49(220)号土坑

位置：Dq-44Gから検出された。
 形状：不整形円形土坑
 規模：直径約75cm～80cm・深さ約15cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



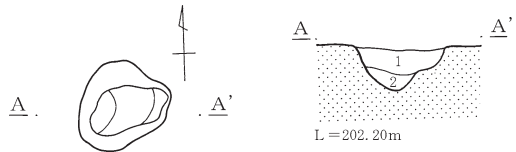
IV区 J 49(220)号土坑

1. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ 2mm以下)、白色パミス(φ 1mm以下)を少量含む。
2. 暗褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。粘性が有りやわらかい。

第6章第119図 IV区 J 49(220)号土坑

(50) IV区 J 50(204)号土坑

位置：Dq-40Gから検出された。
 形状：不整形円形土坑
 規模：直径約55cm～65cm・深さ約25cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



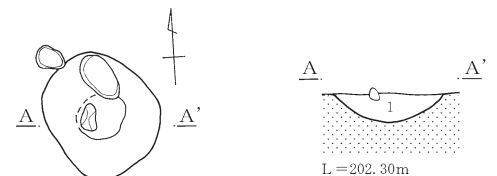
IV区 J 50(204)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 2mm以下)、炭化物を含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ 2mm以下)、炭化物を少量含む。

第6章第120図 IV区 J 50(204)号土坑

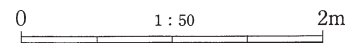
(51) IV区 J 51(205)号土坑

位置：Ds-38Gから検出された。
 形状：不整形円形土坑
 規模：直径約70cm～80cm・深さ約15cm
 土層：土層は、1層である。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区 J 51(205)号土坑

1. 暗褐色土 礫(φ 5cm以下)、黄褐色パミス(φ 2mm以下)、炭化物、褐色土粒を含む。



第6章第121図 IV区 J 51(205)号土坑

第6章 IV区の調査

(52) IV区 J 52(102)号土坑

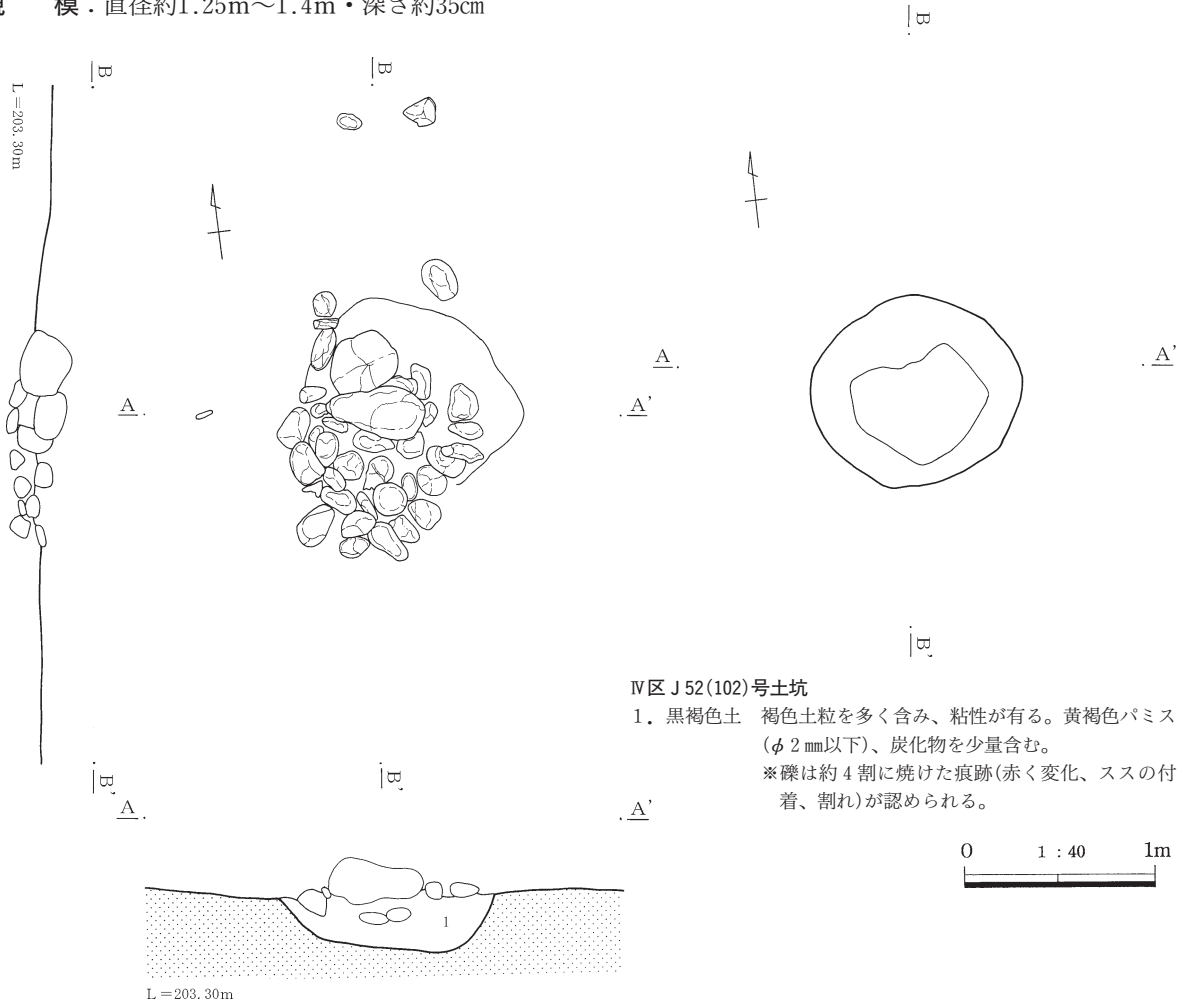
位置：Dt-44Gから検出された。

土層：土層は、1層である。

形状：不整形円形土坑

遺物：遺物は、出土しなかった。

規模：直径約1.25m～1.4m・深さ約35cm



第6章第122図 IV区 J 52(102)号土坑

IV区 J 52(102)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒を多く含み、粘性が有る。黄褐色パミス(ϕ 2 mm以下)、炭化物を少量含む。
※礫は約4割に焼けた痕跡(赤く変化、ススの付着、割れ)が認められる。

(53) IV区 J 53(399)号土坑

位置：Du-49Gから検出された。

IV区 J 53(399)号土坑

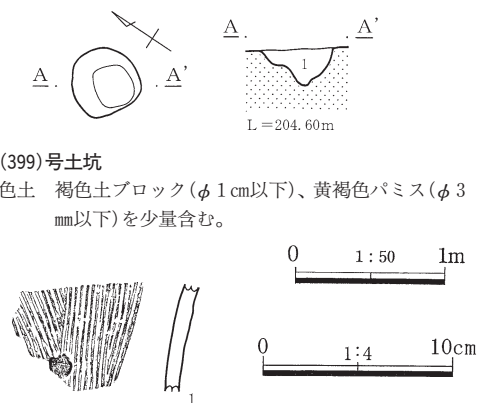
形状：不整形円形土坑

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(ϕ 1 cm以下)、黄褐色パミス(ϕ 3 mm以下)を少量含む。

規模：直径約40cm～45cm・深さ約25cm

土層：土層は、1層である。

遺物：諸磯C式深鉢1点が出土した。



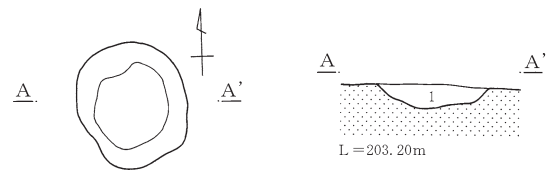
第6章第123図 IV区 J 53(399)号土坑・出土縄文土器

第6章表54 IV区 J 53(399)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第123図、PL. 64)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	399号土坑	深鉢	胴部破片	良	にぶい褐	7.5YR5/3	砂粒、白色粒	諸磯C式(新)	集合沈線による縦位弧線、ボタン状貼付文。

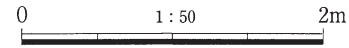
(54) IV区 J 54(103)号土坑

位置：Du-43Gから検出された。
 形状：不整形円形土坑
 規模：直径約70cm~80cm・深さ約15cm
 土層：土層は、1層である。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区 J 54(103)号土坑

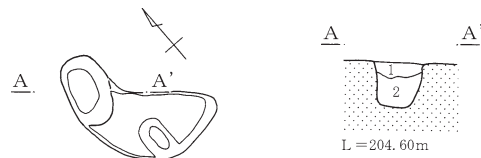
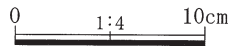
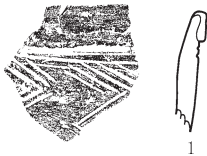
1. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ 2mm以下)、炭化物を少量含む。



第6章第124図 IV区 J 54(103)号土坑

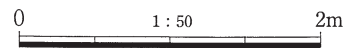
(55) IV区 J 55(392)号土坑

位置：Dv-50Gから検出された。
 形状：不整形土坑
 規模：長軸約1m・短軸約30cm・深さ約30cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：土器型式不明で、縄文前期末の深鉢1点
 が出土した。



IV区 J 55(392)号土坑

1. 暗褐色土 褐色土ブロック(φ 1cm以下)、黄褐色パミス(φ 3mm以下)を極少量含む。
2. 1層と同様だが、黒褐色土ブロック(φ 1cm以下)を少量含み、固くしまっている。



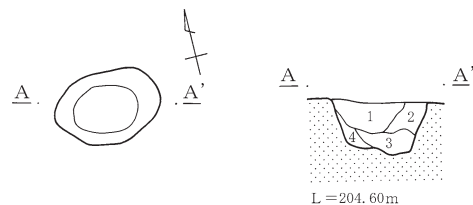
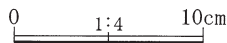
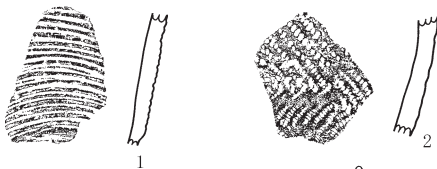
第6章第125図 IV区 J 55(392)号土坑・出土縄文土器

第6章表55 IV区 J 55(392)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第125図、PL. 64)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	392号土坑	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	前期末	折り返し口縁。巾4mmの平行沈線を矢羽根状に施文。

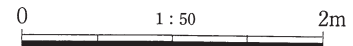
(56) IV区 J 56(390)号土坑

位置：Dv-50Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約70cm・短軸約50cm・深さ約35cm
 土層：土層は、4層に分かれる。
 遺物：諸磯c式深鉢2点が出土した。



IV区 J 56(390)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 1cm以下)、黄褐色パミス(φ 3mm以下)を少量含む。
2. 暗褐色土 褐色土ブロック(φ 1cm以下)、黄褐色パミス(φ 3mm以下)を極少量含む。
3. 2層と同様だが、黒褐色土ブロック(φ 1cm以下)を少量含み、固くしまっている。
4. 2層と同様だが、黄褐色土ブロック(φ 2cm以下)を少量含み、やわらかい。



第6章第126図 IV区 J 56(390)号土坑・出土縄文土器

第6章表56 IV区 J 56(390)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第126図、PL. 64)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	390号土坑	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	平行沈線を集合させ渦巻文を描く。
P 2	390号土坑	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(新)	縄文原体 RL、LR 横。羽状縄文。

第6章 IV区の調査

(57) IV区 J 57(105)号土坑

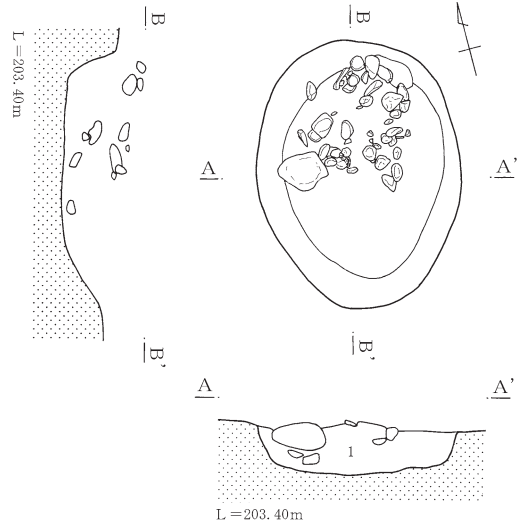
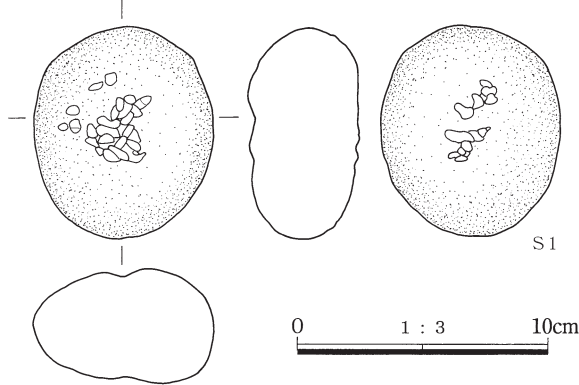
位置：Dx-42・43Gから検出された。

形状：楕円形土坑

規模：長軸約1.75m・短軸約1.35m・深さ約30cm

土層：土層は、1層である。

遺物：凹石1点が出土した。



IV区 J 57(105)号土坑

1. 暗褐色土 黄褐色土ブロック(φ 3 cm以下)を多く含む。炭化物を少量含む。非常に固くしまっている。

第6章第127図 IV区 J 57(105)号土坑・出土縄文石器

第6章表57 IV区 J 57(105)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第127図、PL. 64)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存	計測値 (cm)			重量 (g)
				長さ	幅	厚さ	
S 1	105土・埋没土	凹石	完形	8.30	7.10	4.50	360.00
石 材		特 徴					
A 粗粒輝石安山岩		B 輝石安山岩		2面使用。			

(58) IV区 J 58(101)号土坑

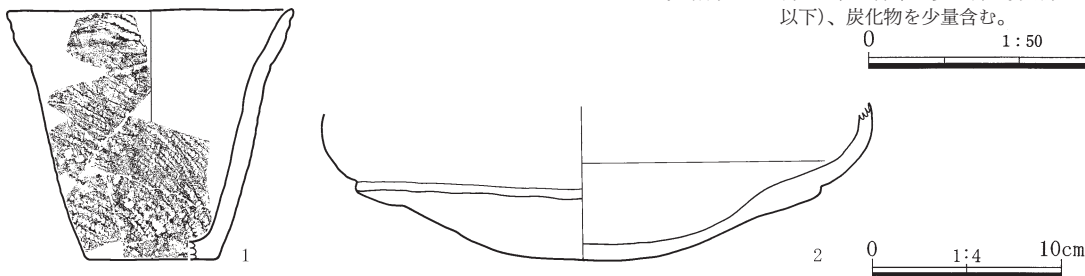
位置：Dx-44Gから検出された。

形状：北半部が不明であるが、恐らく、楕円形土坑であると推定される。

規模：現状で、長軸約(1m)・短軸約95cm・深さ約30cm

土層：土層は、1層である。

遺物：諸磯b式深鉢1点・同有孔浅鉢1点出土。



IV区 J 58(101)号土坑

1. 暗褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。黄褐色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物を少量含む。

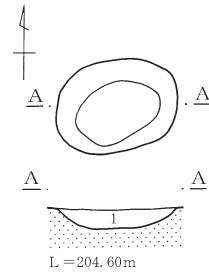
第6章第128図 IV区 J 58(101)号土坑・出土縄文土器

第6章表58 IV区 J 58(101)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第128図、PL. 65)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P 1	101号土坑 No.2	深鉢	口縁～底部	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒含む	諸磯b式	縄文原体RL。
P 2	101号土坑 No.1	有孔浅鉢	底部	良	にぶい橙	7.5YR7/4	φ 1～2 mmの小石、黒色粒	諸磯b式(中2)	外面横位のナデ整形。

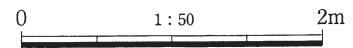
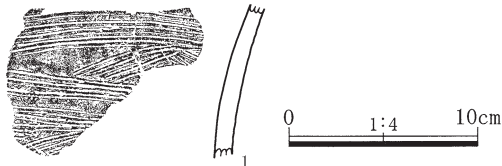
(59) IV区 J 59(372)号土坑

位置：Dy-49Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約80cm・短軸約60cm・深さ約10cm
 土層：土層は、1層である。
 遺物：諸磯b式深鉢1点が出土した。



IV区 J 59(372)号土坑

1. 暗褐色土 褐色土ブロック(φ1cm以下)、黄褐色パミス(φ3mm以下)を極少量含む。



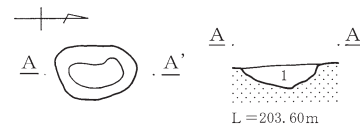
第6章第129図 IV区 J 59(372)号土坑・出土縄文土器

第6章表59 IV区 J 59(372)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第129図、PL. 64)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成 色	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	372号土坑	深鉢	胴部破片	良	灰黄褐	10YR4/2	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画と山形文。

(60) IV区 J 60(99)号土坑

位置：Ea-42Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約55cm・短軸約35cm・深さ約15cm
 土層：土層は、1層である。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



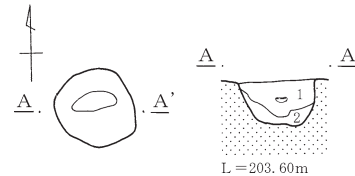
IV区 J 60(99)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色土パミス、礫(φ2cm以下)、褐色土粒を含む。

第6章第130図 IV区 J 60(99)号土坑

(61) IV区 J 61(98)号土坑

位置：Ea-42Gから検出された。
 形状：不整円形土坑
 規模：直径約50cm・深さ約25cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



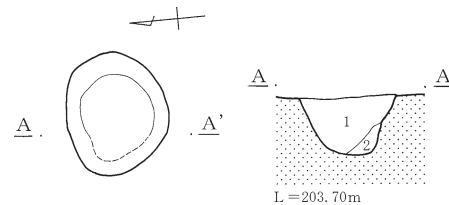
IV区 J 61(98)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色土パミス、炭化物、褐色土粒を含む。
 2. 黒褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。

第6章第131図 IV区 J 61(98)号土坑

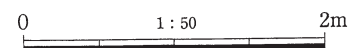
(62) IV区 J 62(100)号土坑

位置：Ec-42Gから検出された。
 形状：不整円形土坑
 規模：直径約65cm~80cm・深さ約35cm
 土層：土層は、2層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区 J 62(100)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色土パミス、炭化物、褐色土粒を含む。固くしまっている。
 2. 黒褐色土 黄褐色土パミスを少量含む。褐色土粒を多く含む。



第6章第132図 IV区 J 62(100)号土坑

7. 焼土

IV区縄文面から、焼土遺構が1基検出された。この焼土遺構は、3箇所に分かれているので、便宜的に分けた。重複は認められず、遺物は出土しなかった。土層には、炭化物や焼土ブロックが認められる。

(1) IV区J 1号焼土-1 [A-A']

形状：楕円形を呈する。

規模：長軸（南北）約1.2m・短軸（東西）約95cm・深さ約15cmの規模である。

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。

(2) IV区J 1号焼土-2 [B-B']

形状：楕円形を呈する。

規模：長軸（北東～南西）約80cm・短軸（北西～南東）約60cm・深さ約10cmの規模である。

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



第6章写真22 IV区J 1号焼土出土状況 [南→]

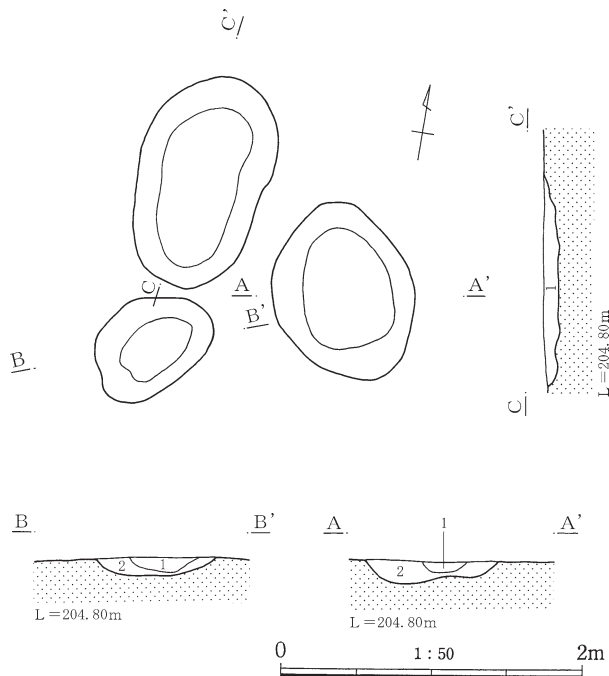
(3) IV区J 1号焼土-3 [C-C']

形状：楕円形を呈する。

規模：長軸（南北）約1.4m・短軸（東西）約80cm・深さ約10cmの規模である。

土層：土層は、1層である。

遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区J 1号焼土 A-A'

1. 褐色土 焼土ブロック(φ 2 cm以下)を非常に多く含む。
2. 暗褐色土 褐色土ブロック(φ 1 cm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、礫(φ 2 cm以下)を少量含む。

B-B'

1. 褐色土 焼土ブロック(φ 2 cm以下)を非常に多く含む。
2. 暗褐色土 褐色土ブロック(φ 1 cm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、礫(φ 2 cm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)を少量含む。

C-C'

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 1 cm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)、礫(φ 1 cm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)を少量含む。

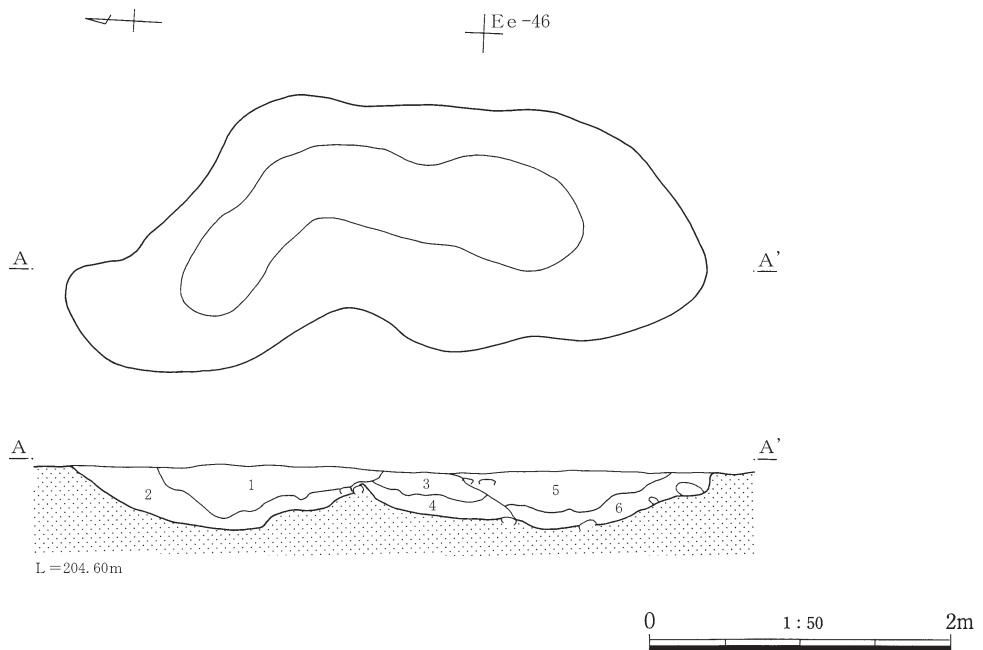
第6章第133図 IV区J 1号焼土

8. 倒木

IV区縄文面から、倒木遺構が1基検出された。発掘調査時は、294号・295号・296号土坑の3基の土坑として調査されていたが、遺物整理の段階で、倒木痕に分類し直した。その理由として、平面形状が2面(FP下)で検出された倒木痕跡に似ていること・土層に炭化物を多数含むこと等である。

(1) J 1 (8)号倒木

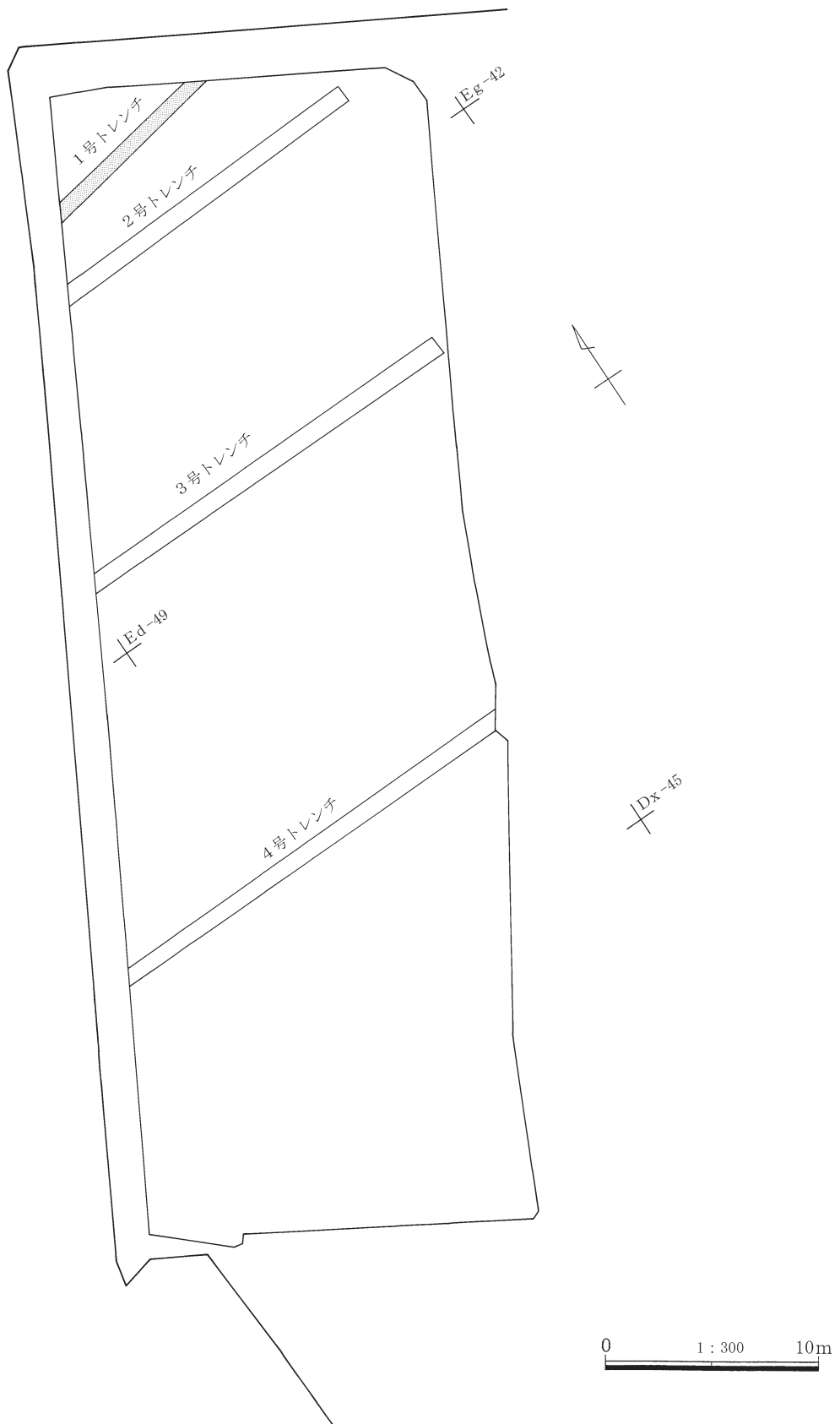
形状：不整楕円形を呈する。
 規模：長軸（南北）約4.25m・短軸（東西）約1.3m～1.6m・深さ約10cm～40cmの規模である。
 土層：土層は、6層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区 J 1号倒木痕

1. 黒褐色土 黄褐色パミス(φ 3 mm以下)をやや多く含む。炭化物(φ 5 mm以下)、礫(φ 3 cm以下)を少量含む。
2. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 2 cm以下)を多く含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)を少量含む。
3. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 1 cm以下)、炭化物(φ 3 mm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)を少量含む。
4. 黒褐色土 炭化物(φ 1 cm以下)、礫(φ 5 cm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)を少量含む。
5. 黒褐色土 黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、礫(φ 5 cm以下)をやや多く含む。
6. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 2 cm以下)、礫(φ 10cm以下)を多く含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)を少量含む。

第6章第134図 IV区 J 1号倒木痕



第6章第135図 IV区トレンチ位置図

9. トレンチ

IV区の1号トレンチから、土器と石器が出土した。土器は、十三菩提式深鉢1点・興津II式深鉢1点・諸磯b式有孔深鉢1点を掲載した。石器は、石核1

点・打製石斧1点を掲載した。

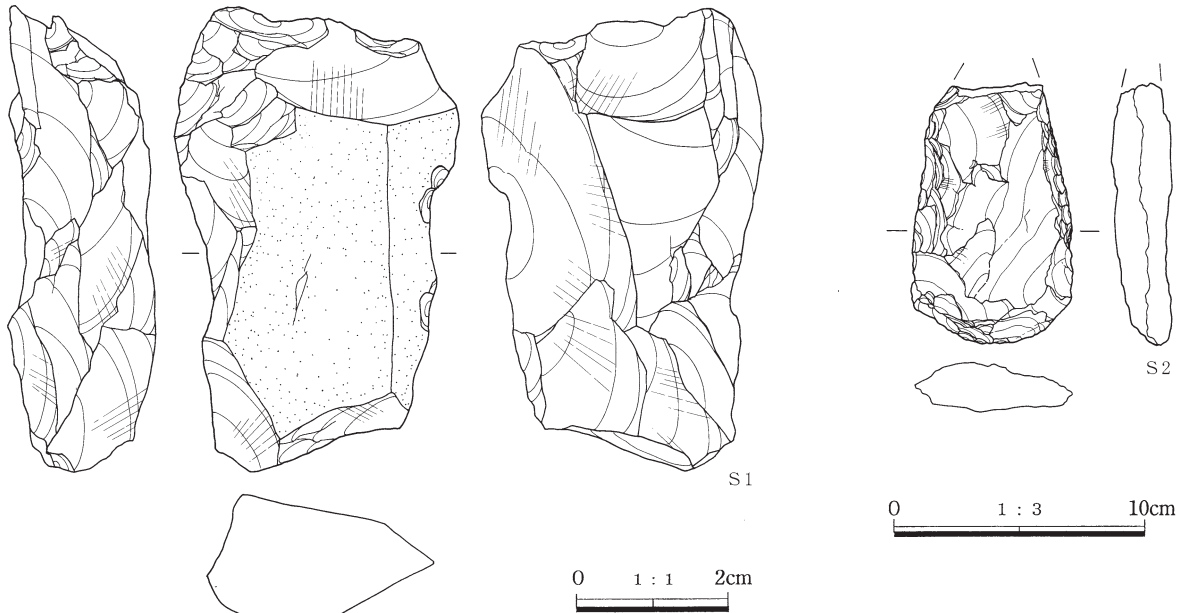
また、グリッドが特定できない遺構外出土遺物の内、土器3点を掲載した。



第6章第136図 IV区1号トレンチ出土縄文土器

第6章表60 IV区1号トレンチ出土縄文土器観察表 (第6章第136図、PL.66)

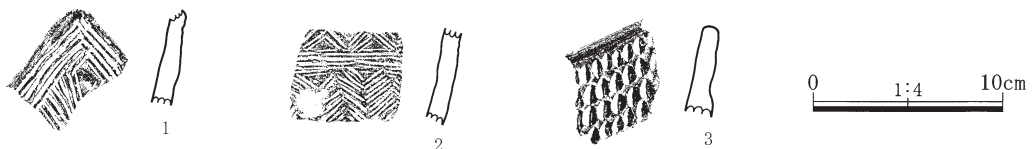
番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	1号トレンチ	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒	十三菩提式	集合沈線による鋸歯文、三角印刻。
P 2	1号トレンチ	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1~2mmの小石	興津II式	凹凸文。
P 3	1号トレンチ	有孔深鉢	破片	良	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	沈線を巾8~10mmに並行させ爪形文を施し木葉文を描く。



第6章第137図 IV区1号トレンチ出土縄文石器

第6章表61 IV区1号トレンチ出土縄文石器観察表 (第6章第137図、PL.66)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 2	埋没土	打製石斧	上端部欠損	(10.15)	6.30	2.40	206.00	変玄武岩	—	短冊形石斧。



第6章第138図 IV区一括出土縄文土器

第6章表62 IV区一括出土縄文土器観察表 (第6章第138図、PL.66)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	IVC区 VII層	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	十三菩提式	集合沈線による菱形文。スス付着。
P 2	IVC区 一括	深鉢	破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	十三菩提式	集合沈線横位区画、鋸歯文。
P 3	IVC区 一括	深鉢	口縁破片	良	明黄褐	10YR7/6	砂粒	興津II式	凹凸文。

第2節 IV区遺構外

IV区遺構外の掲載遺物は、土器が165のグリッドから463点、石器が154のグリッドから325点の合計503点を掲載した。

出土土器及び石器の内訳は、以下の表通りである。

1. 土器

土器の内、型式が判明したものは、諸磯a式55点・諸磯b式443点・諸磯c式62点・諸磯式4点・浮島式38点・興津式9点・大木式30点・十三菩提式32点である。その他、北白川下層IIc式・下島式・有尾式等が出土している。

大きな傾向として、V区と同様に諸磯b式を中心

とした諸磯式が主体である。

土器の器種は、深鉢が大多数を占め、次に有孔浅鉢・浅鉢となる。

2. 石器

石器の内、出土点数順にみると、打製石斧101点・石鏃56点・磨石37点・凹石34点・石匙20点・石核20点・石皿12点等となる。

大きな傾向として、V区と同様に打製石斧・石鏃・磨石・凹石・石匙等が中心である。

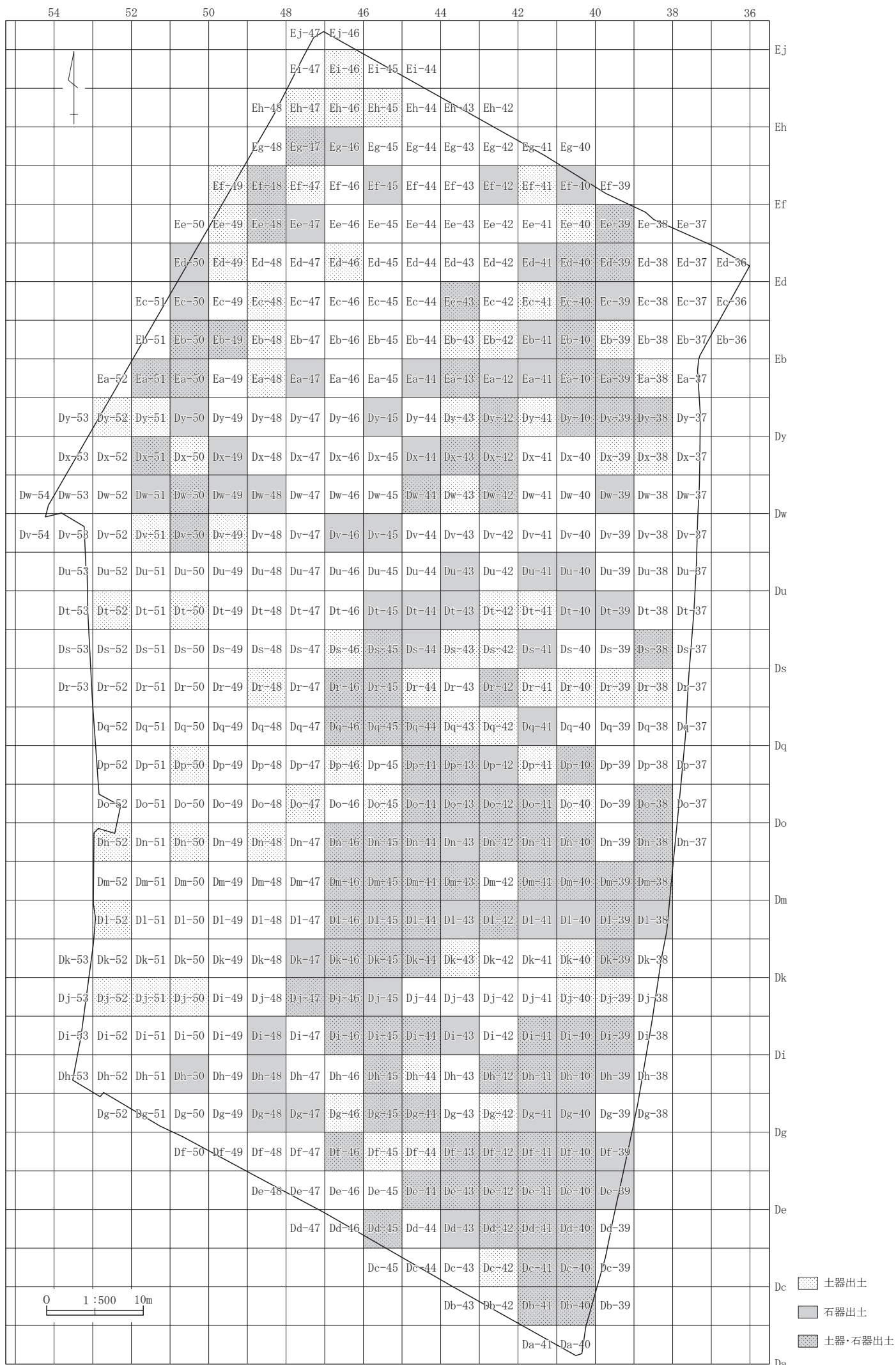
石器の出土層位では、V区と同様にほとんどの器種がVI層及びVII層から出土している。

第6章表63 IV区縄文面 遺構外縄文土器まとめ

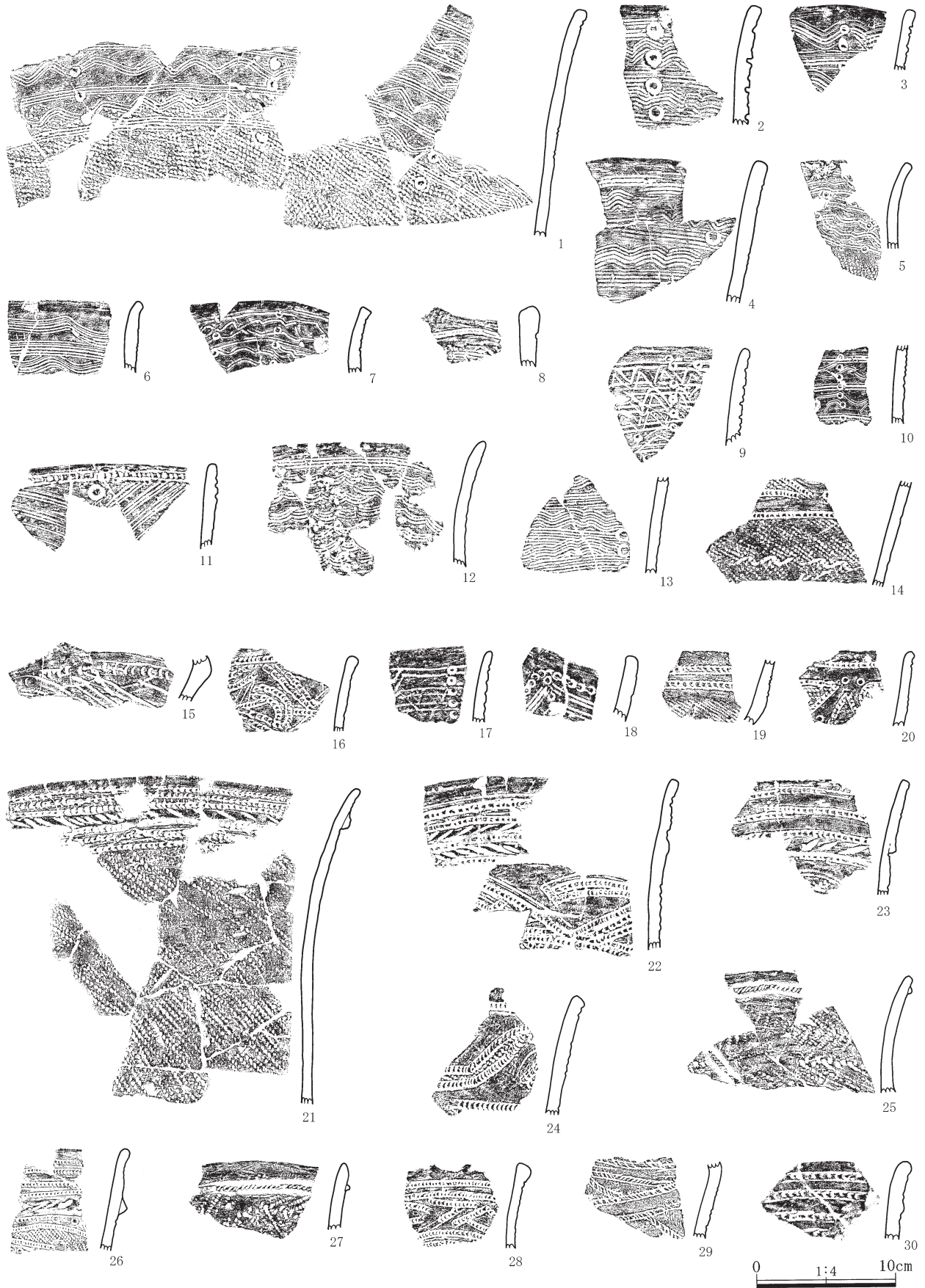
土器型式	諸磯a式			諸磯b式					諸磯c式			諸磯(中)	諸磯	浮島			興津		大木			十三菩提	
	古	新	不明	古	中1	中2	中	新	不明	古	中1			不明	浮島II	浮島III	不明	興津I	興津II	大木5	大木5b		不明
深鉢	4	42	4	58	3	200	56	31	19	10	38	4	1	2	2	18	1	1	8	23	3	4	32
浅鉢	—	—	—	—	2	32	10	2	2	—	9	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
有孔浅鉢	—	4	1	2	—	2	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
ミニチュア土器	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
土製円盤等	—	—	—	—	—	2	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
総計	4	46	5	60	5	236	66	33	33	10	48	4	1	3	3	19	1	1	8	23	3	4	32

第6章表64 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器まとめ

	石鏃	尖頭器	石匙	石錐	打斧	砥石	敲石	石核	磨石	凹石	多孔石	石皿	台石	異形	石刃	削器	台形	石鏃	剥片	磨斧	耳飾り
VI層	16	1	6	1	38	—	1	9	10	10	2	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—
VII層	25	—	7	3	54	6	1	8	17	19	5	8	—	—	—	2	—	—	1	4	1
VIII層	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
IX層	4	—	5	2	8	—	1	2	10	5	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—
X層	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
層位不明	10	—	2	2	1	—	—	1	—	—	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
合計	56	2	20	8	101	6	3	20	37	34	9	12	—	1	1	3	—	—	2	4	1

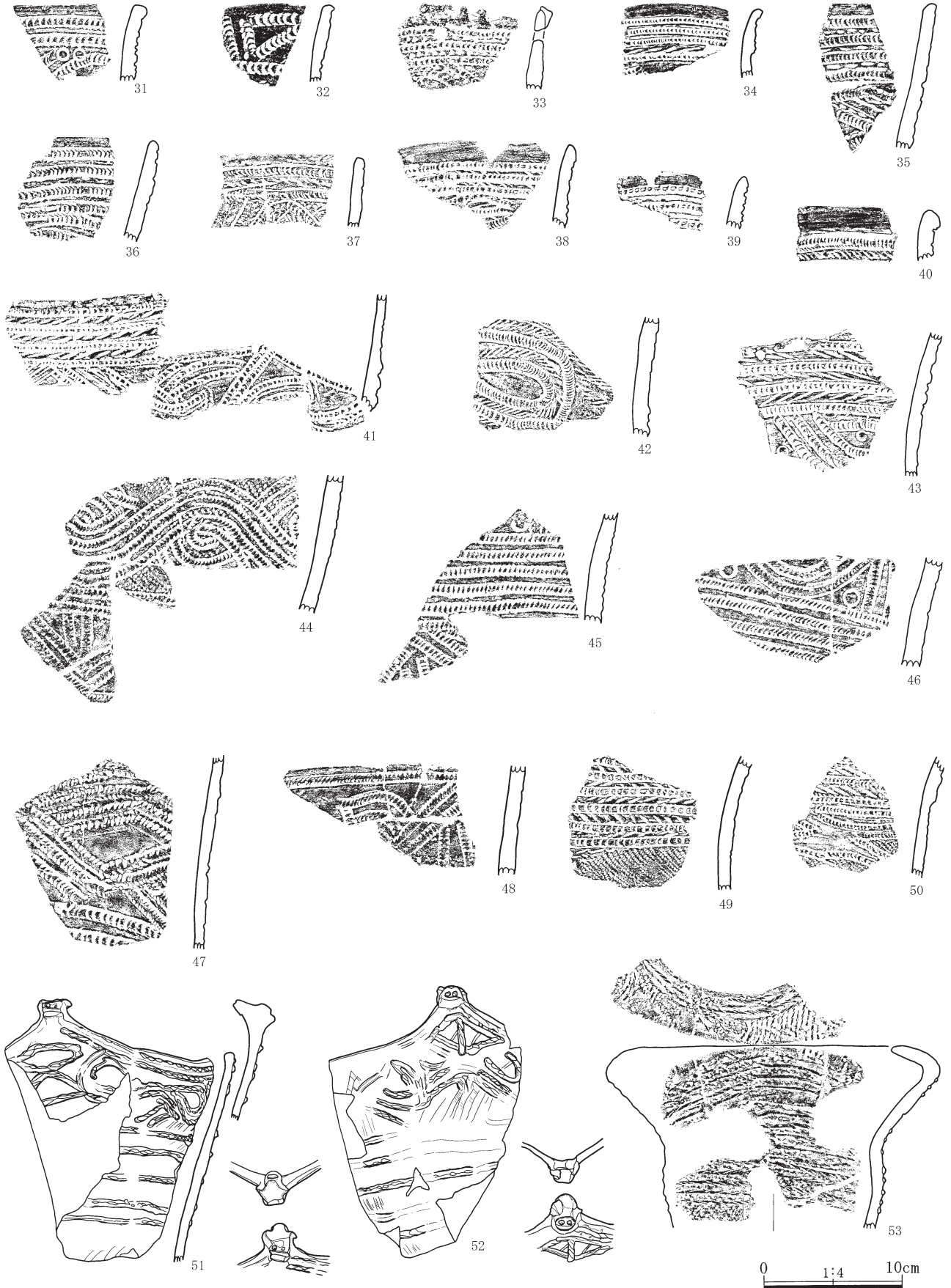


第6章第139図 IV区グリッド配置図



第6章第140図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)

第2節 IV区遺構外



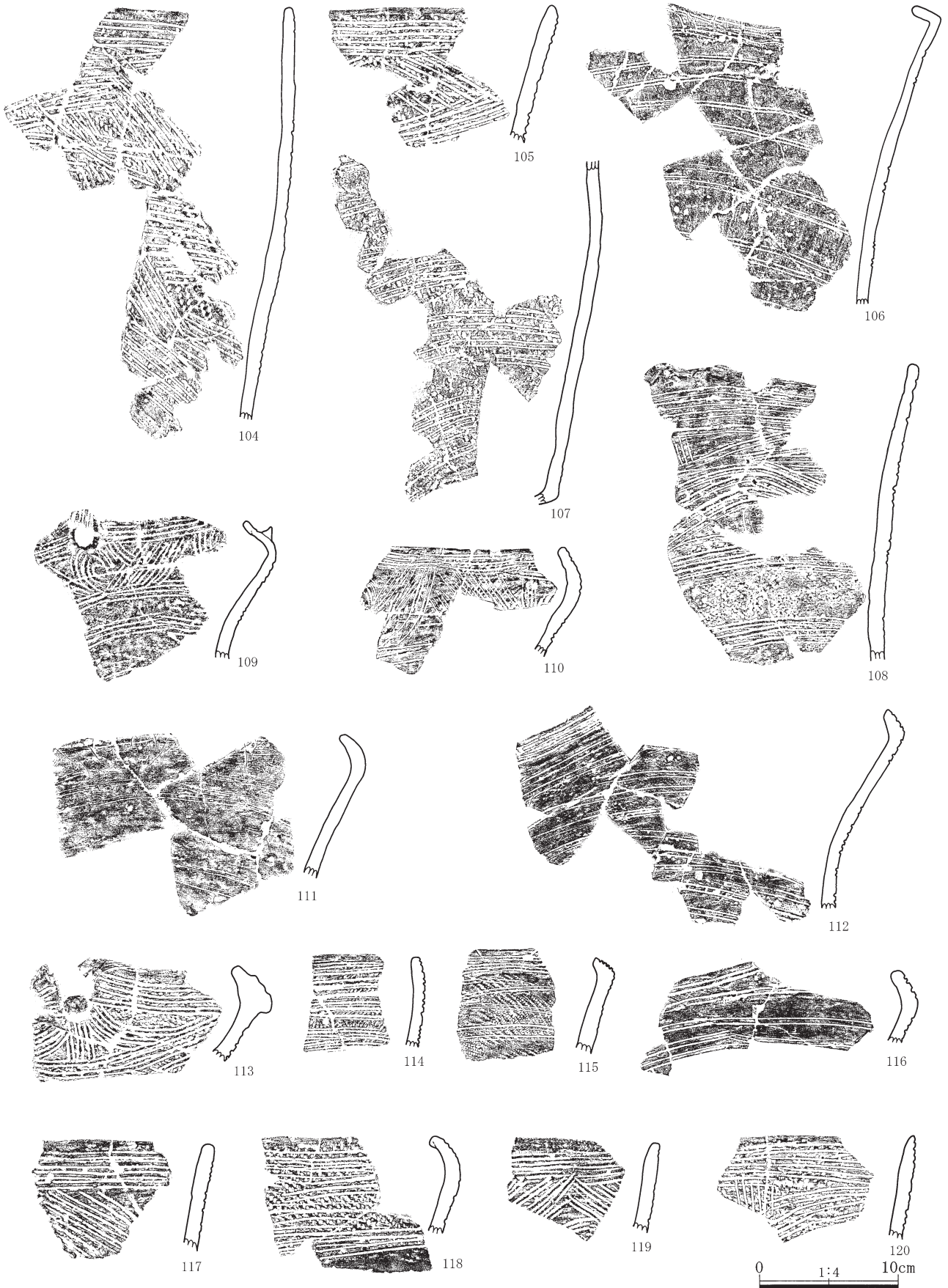
第6章第141図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)



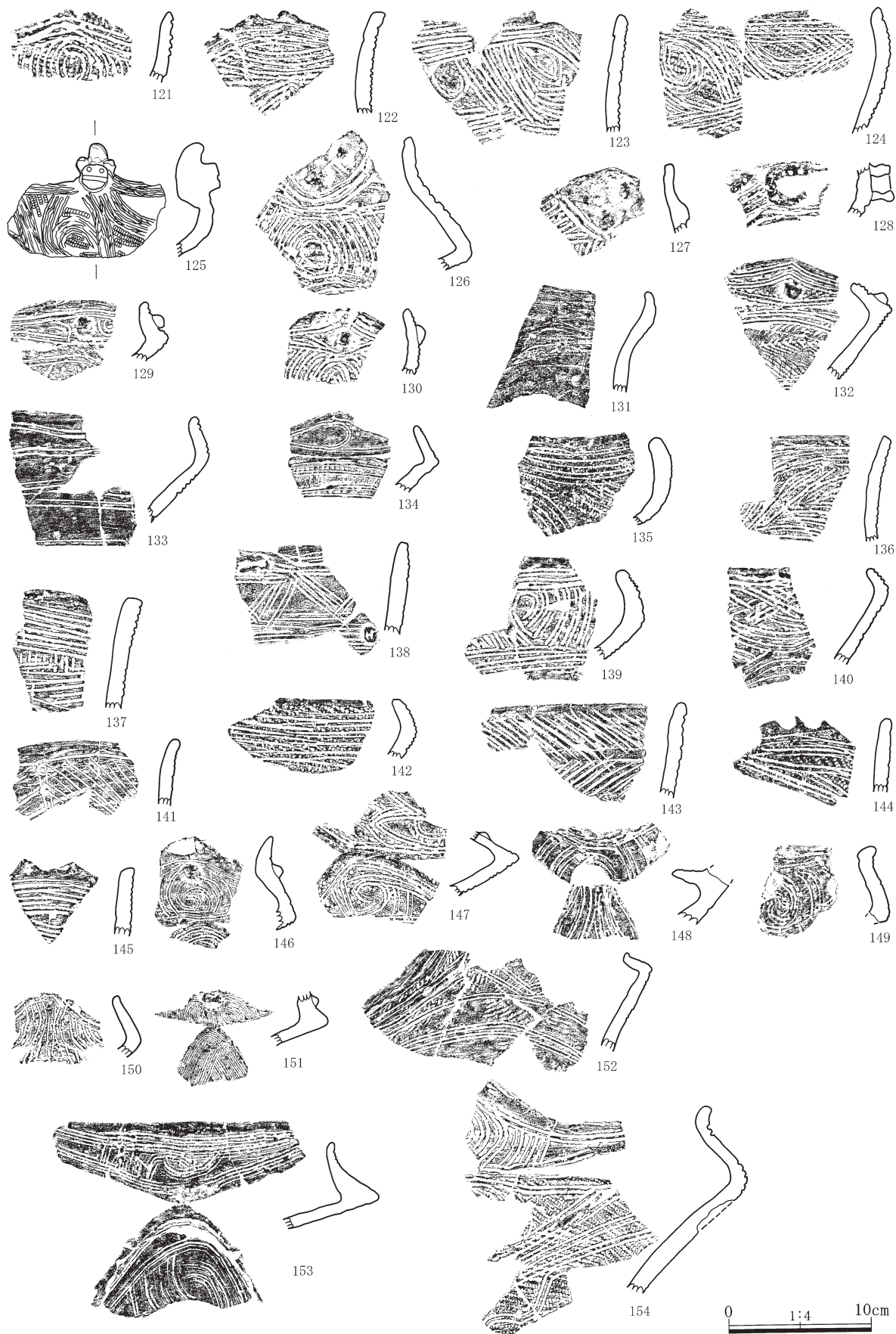
第6章第142図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)



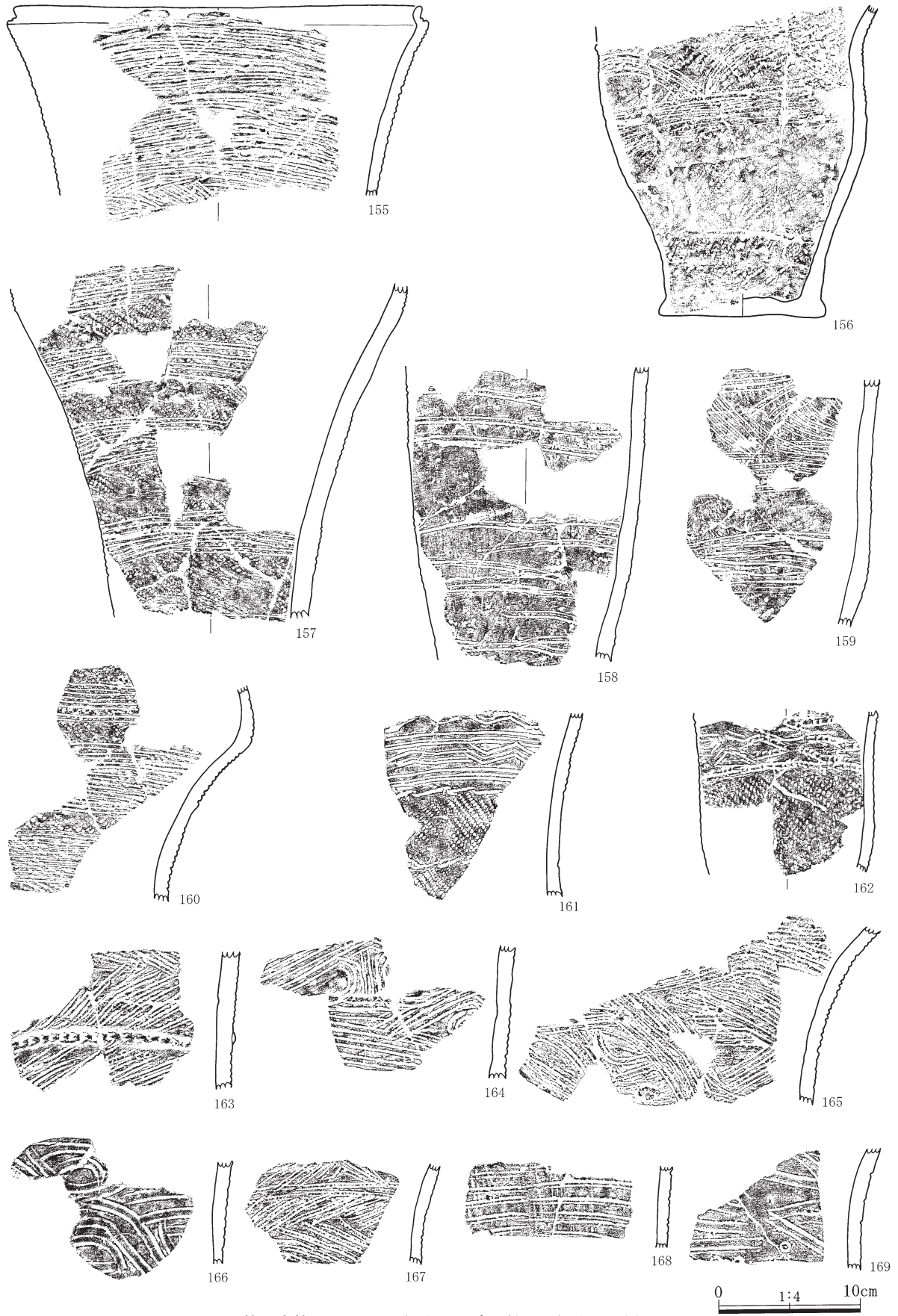
第6章第143図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)



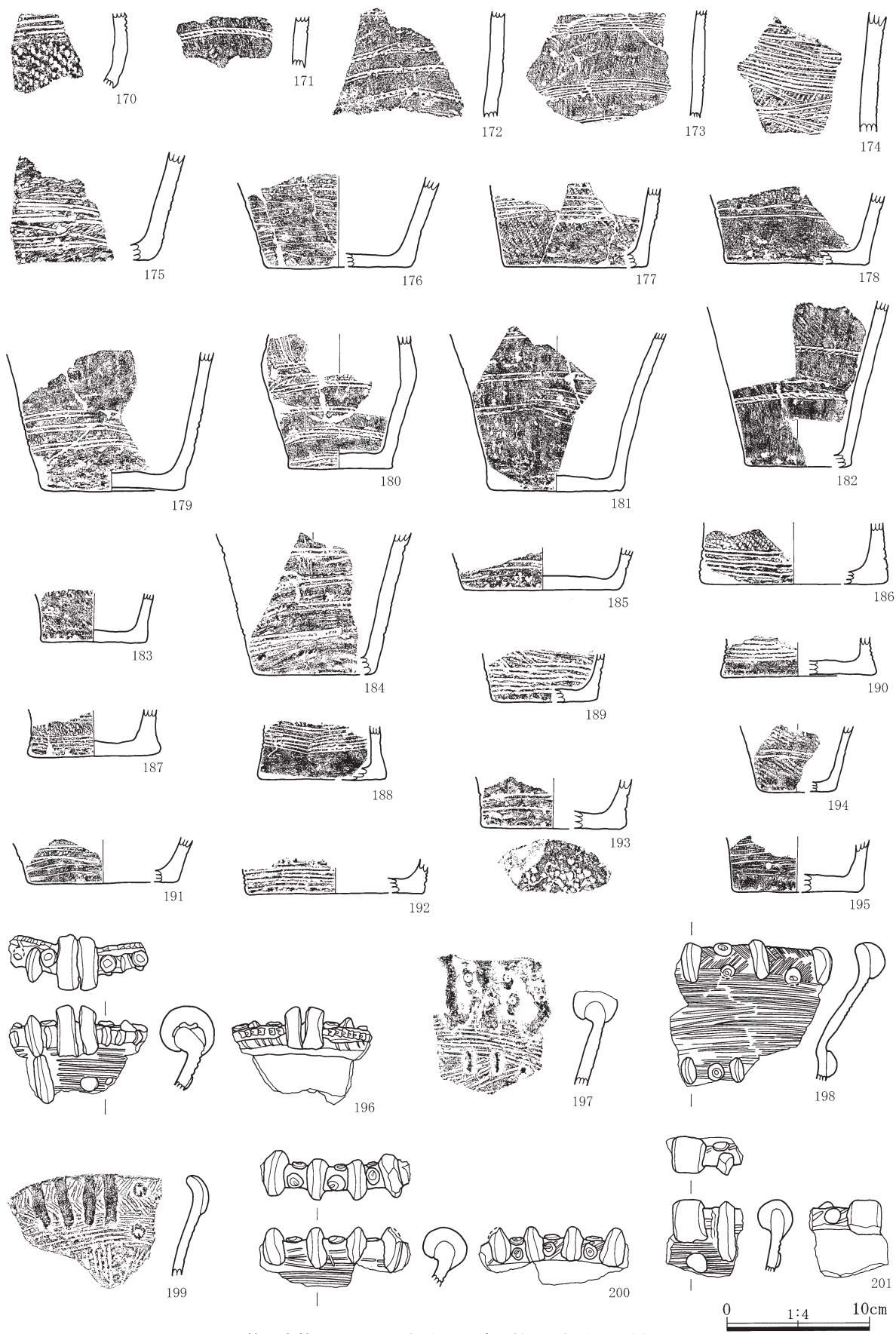
第6章第144図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(5)



第6章第145図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(6)

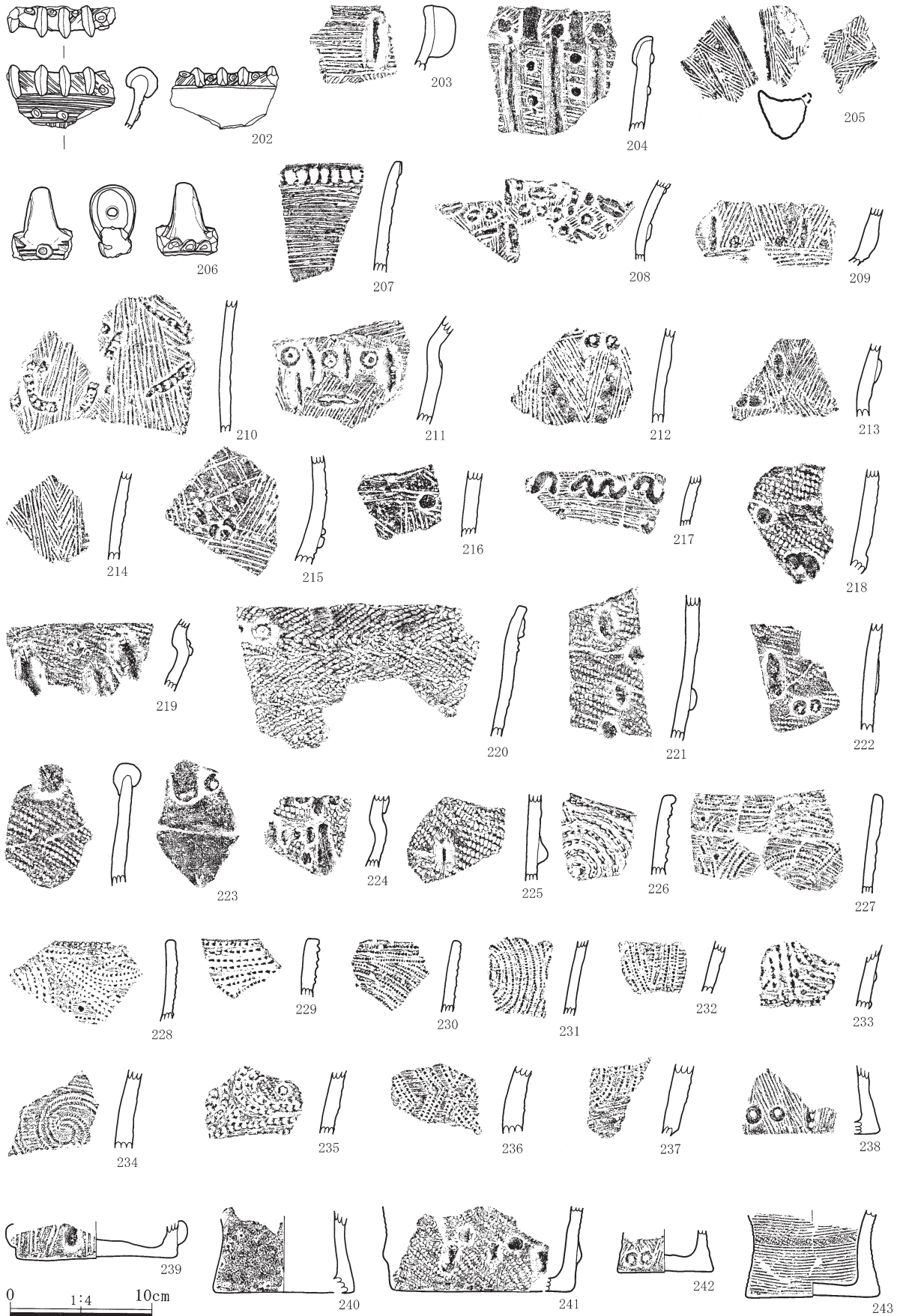


第6章第146図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(7)

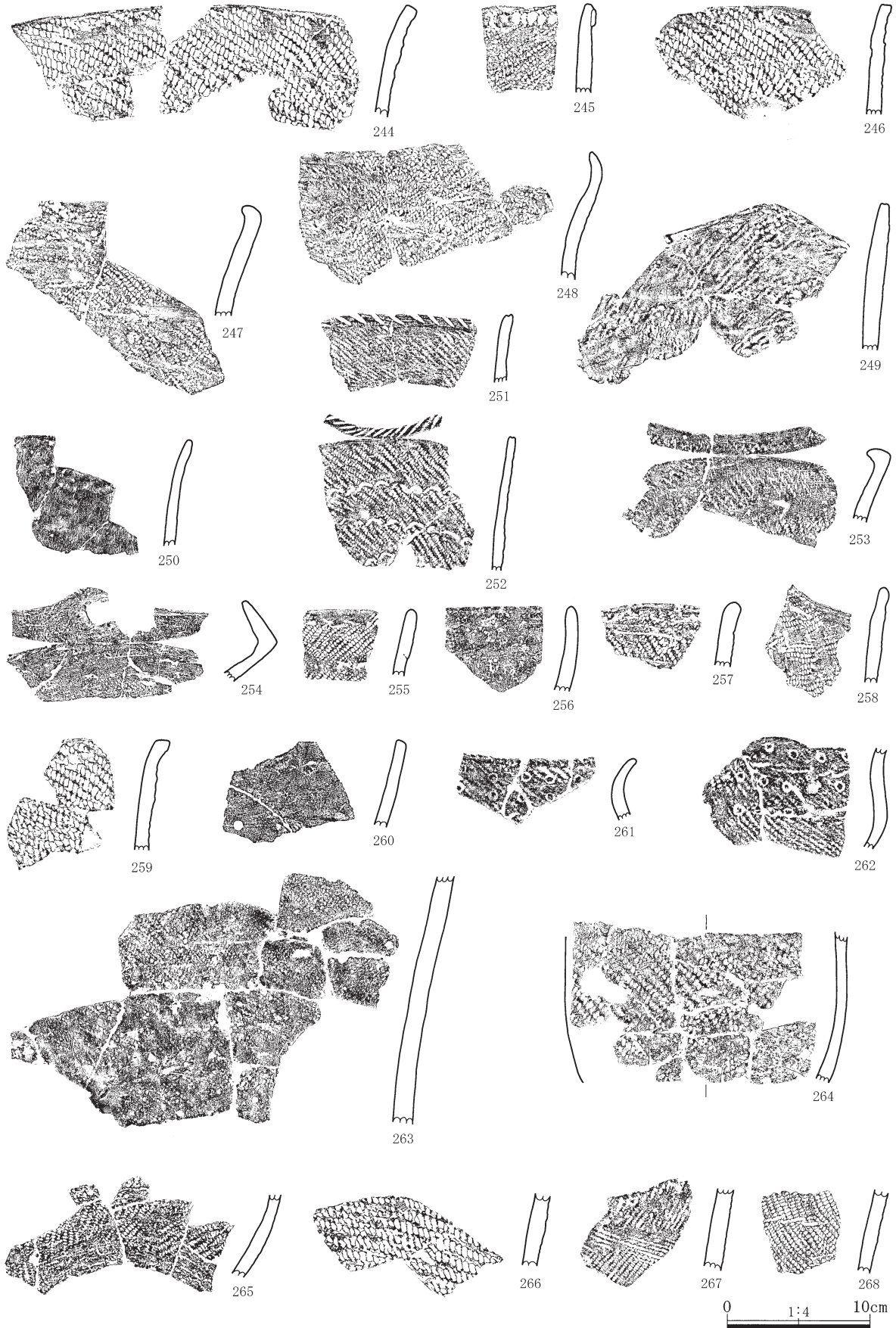


第6章第147図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(8)

第6章 IV区の調査



第6章第148図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(9)

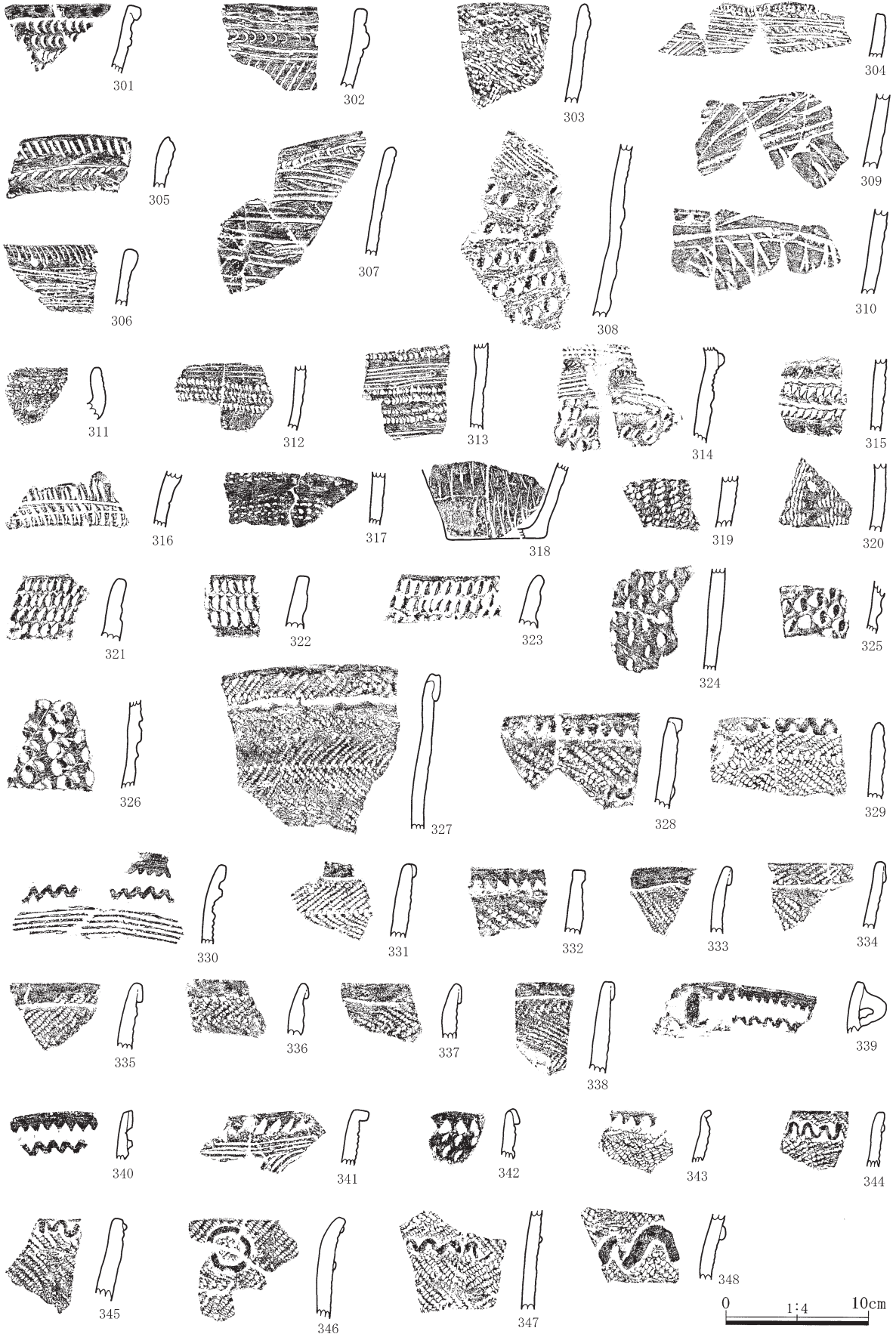


第6章第149図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(10)

第6章 IV区の調査



第6章第150図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)



第6章第151図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(12)

第6章 IV区の調査



第6章第152図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(13)



第6章第153図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(14)

第6章 IV区の調査



第6章第154図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(15)

第6章表65 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表(第6章第140~154図、PL.67~82)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	Dm-44G VI・VII・IX層	深鉢	口縁	普通	明赤褐	2.5YR5/6	細かい砂粒多い	諸磯a式(新)	巾2mmの平行沈線を2重にして横線と波状線を描く。φ8mmの円形刺突列を縦位に施文。縄文原体RL。
P 2	Dn-42G VII層	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	半截竹管を束ねた櫛状の工具で、横線、波状線を描く。φ12mmの円形刺突が縦位に施文される。
P 3	Dm-39G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯a式(新)	半截竹管を束ねた櫛状の工具による横線、波状線、φ6mmの円形刺突が縦位に施文される。
P 4	Dn-42G VII層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	櫛状の工具による横線と波状線。φ10mmの円形竹管を縦位に施文。
P 5	Dp-44G IX層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR4/3	φ1mmの軽石粒	諸磯a式(新)	巾3mmの波状線、φ5mmの円形竹管縦位施文。縄文原体RL。
P 6	Dn-42G VII層	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR6/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	櫛状工具による横線と波状線。
P 7	Dp-44G IX層	深鉢	口縁破片	良	灰褐	5YR4/2	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾3mmの沈線による横線、波状線。φ4mmの円形刺突。
P 8	Do-42G VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾3mmの沈線による横線。
P 9	Dm-43G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾5mmの平行沈線による横線、波状線。φ5mmの円形刺突を縦位に施文。
P 10	Dp-44G IX層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	2.5YR5/4	φ1~2mmの小石	諸磯a式(新)	巾2mmの平行沈線による横線、波状線。φ4mmの円形刺突を縦位に施文。
P 11	Ds-43G VII層	深鉢	口縁破片	普通	灰赤	2.5YR4/2	φ1~2mmの小石	諸磯a式(古)	巾5mmの平行沈線爪形文が廻る。φ10mmの円形刺突と米字文。
P 12	Ed-39G VII層	深鉢	口縁破片	不良	暗赤褐	5YR3/2	φ1~2mmの小石多い	諸磯a式(新)	櫛状工具による横線と波状線。
P 13	Ec-40G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯a式(新)	櫛状工具による横線、波状線。φ8mmの円形刺突を縦位に施文。
P 14	Ed-39G VII層	深鉢	胴部破片	不良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾4mmの半截竹管爪形文による木葉文、磨り消し縄文。胴下部縄文は結節縄文になる。縄文原体RL。
P 15	DI-44G VII層	深鉢	口縁破片	普通	灰褐	5YR4/2	φ1~3mmの小石多い	諸磯a式(古)	口唇に突起。口縁に沿って爪形文施文。巾5mmの平行沈線による米字文。
P 16	Ed-46G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/3	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾4mmの平行沈線爪形文による木葉文。
P 17	Dp-44G IX層	深鉢	口縁破片	不良	淡黄	2.5Y8/3	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾5mmの横位の平行沈線と円形刺突を縦位に施文。
P 18	Ed-39G VII層 Ed-40G VI層	深鉢	口縁破片	不良	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾4mmの平行沈線、円形刺突を口縁に沿って施文。
P 19	Dq-42G VII層	浅鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾5mmの平行沈線爪形文横位施文。縄文原体RL。
P 20	Dt-41G VII層	浅鉢	口縁破片	良	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯a式	巾4mmの平行沈線爪形文による木葉文。磨り消し縄文。縄文原体RL。
P 21	Dr-44G VII・IX層	深鉢	口縁	普通	にぶい褐	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾4mmの爪形文横位施文。爪形文間に刻みを持つ隆線。縄文原体RL。
P 22	Di-46G VII・IX層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(古)	巾5mmの平行沈線爪形文による変形木葉文。
P 23	Dp-44G VII・IX層	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/3	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	巾4mmの爪形文横位施文。隆線に斜の刻み。
P 24	Di-46G IX層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/3	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	巾6mmの平行沈線爪形文による変形木葉文。27と同一個体。
P 25	Dq-45G IX層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	太さ3mmの浮線が口縁に廻り、口縁部文様を描く。浮線には刻み。断面形は凸形。縄文原体RL、LR。26と同一個体。
P 26	Dn-44G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	太さ3mmの半截竹管による平行沈線爪形文による木葉文。文様間に刻みを持つ隆線。縄文原体RL。25と同一個体。
P 27	Dq-45G IX層	深鉢	破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	24と同一個体。
P 28	Do-41G VII層	深鉢	口縁破片	普通	明褐	7.5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	口唇部に2単位の突起。巾5mmの平行沈線爪形文による木葉文から変化した文様施文。
P 29	Do-40G VI層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾4mmの平行沈線に刻みを加えたもので、木葉文を描く。
P 30	Do-47G IX層	深鉢	口縁破片	不良	橙	5YR6/8	砂粒、軽石粒	諸磯b式(古)	巾6mmの平行沈線爪形文横位施文。間の隆線には斜位の刻み。
P 31	Ea-38G VII層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾7mmの平行沈線爪形文による文様施文と円形刺突。
P 32	Ds-42G	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾8~9mmの平行沈線爪形文による文様施文。
P 33	Ea-38G VII層	深鉢	口縁破片	不良	黄橙	7.5YR7/8	砂粒多い	諸磯b式(古)	口唇部に突起。巾5mmの平行沈線爪形文による文様施文、補修孔。
P 34	Dy-38G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(古)	巾5mmの平行沈線爪形文による文様施文。間に刻みを持つ隆線。
P 35	Dp-44G IX層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾7mmの平行沈線爪形文による文様施文。間に横長の刺突列が加えられる。

第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 36	Dk-45G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1mmの小石、白色粒多い	諸磯b式(古)	巾8mmの平行沈線爪形文による文様施文。
P 37	Df-44G Ⅵ・Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾8mmの平行沈線爪形文による文様施文。
P 38	Ed-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(古)	巾7mmの平行沈線爪形文による文様施文。
P 39	Do-45G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/3	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	巾7mmの平行沈線爪形文による文様施文。
P 40	Dn-42G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	5YR6/4	φ1mmの小石	諸磯b式(古)	巾11mmの平行沈線爪形文による文様施文。間に刻みのある隆線。
P 41	Di-46G Ⅸ層、 Dh-46G Ⅶ層、 Dk-45・47G	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒、黒色粒	諸磯b式(古)	巾5mmの平行沈線爪形文による変形木葉文。口縁部文様を区画する隆線には斜位の刻み。
P 42	Dr-44G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/3	φ1~2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(古)	巾8mmの平行沈線爪形文と間の刻みを持つ隆線による楕円文様施文。
P 43	Dy-38G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	灰褐	7.5YR4/2	細かい砂粒、軽石粒	諸磯b式(古)	巾7mmの平行沈線爪形文による横位区画と変形木葉文。間の隆線には斜位の刻み。
P 44	Eb-39G Ⅶ層、 Ec-39G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒、黒色粒	諸磯b式(古)	巾8mmの平行沈線爪形文による波状文、蔵手文。縄文原体 RL。
P 45	Eb-39G Ⅶ・Ⅸ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾8mmの平行沈線爪形文による文様施文。
P 46	Eb-39G Ⅸ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(古)	巾8mmの平行沈線爪形文による文様区画。
P 47	Dx-43G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾8~10mmの平行沈線爪形文による菱形文。
P 48	Eb-39G Ⅸ層、 Ec-39G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	不良	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(古)	巾8mmの平行沈線爪形文による文様施文。
P 49	Dn-38G Ⅵ層、 Dn-39G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石、黒色粒	諸磯b式(古)	巾6mmの平行沈線爪形文横位施文。間の隆線に刻み。縄文原体 RL。
P 50	Dk-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄褐	10YR5/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(古)	巾5mmの半截竹管爪形文による木葉文、磨り消し縄文。隆線には斜位の刻み。縄文原体 RL。
P 51	Dn-48G Ⅶ層	深鉢	口縁~胴部	良	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1~3mmの小石	諸磯c式(中1)	波状口縁頂部に獣面把手。内面からも獣面表現があり二面性を持つ。浮線による横位区画。口縁に渦巻文、π字文。浮線断面凸形。刻み。縄文原体 LR。52と同一個体。
P 52	Dn-48G Ⅶ層	深鉢	口縁~胴部	良	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1~3mmの小石	諸磯c式(中1)	51と同一個体。
P 53	De-42G Ⅶ層、 Df-42G Ⅸ層・FA下	深鉢	口縁~胴部	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。口縁部文様は弧線、渦巻文施文。縄文原体 RL。
P 54	Df-43G Ⅵ層、 Df-47G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。口縁部文様渦巻文。浮線に刻み。縄文原体 RL。
P 55	Dm-46G Ⅸ・Ⅹ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部は切り込みを持つ3単位の突起になる。側縁に粘土瘤を貼付し獣面を表現する。浮線による渦巻文。
P 56	Do-44G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明黄褐	10YR6/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による対弧状渦巻文。浮線には刻み。縄文原体 RL。
P 57	Dq-45G Ⅸ層	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/3	φ1~3mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による文様区画。口縁部には渦巻文。浮線に棒状のもので押圧を加える。口唇部は刻み。浮線の断面凸形。58と同一個体。
P 58	Dk-46G Ⅵ層	深鉢	破片	良	褐	7.5YR4/3	φ1~3mmの小石	諸磯c式(中1)	57と同一個体。
P 59	Dq-42G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による渦巻文。浮線に刻み。浮線断面凸形。
P 60	Dh-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(中2)	浮線による弧線文。浮線に刻み。
P 61	Dd-42G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による弧線文。浮線に刻み。
P 62	Di-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR4/3	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	巾5mmの平行沈線爪形文と間の隆線に刻みを持つ。
P 63	Dy-51G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	下島式	結節沈線による渦巻文。
P 64	Do-44G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR4/3	細かい砂粒	諸磯b式(中)	口縁に沿って浮線2条が廻る。口縁に巾4mmの平行沈線が格子目状に施文。

第2節 IV区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P65	Df-46G VI層、 Dg-42G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による渦巻文、「×」字文。浮線には刻み。縄文原体 RL。
P66	Df-40G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画と弧線。浮線には矢羽根状の刻み。
P67	Dg-45G VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒多い	諸磯b式(中2)	浮線による文様施文。浮線には縄文が施文される。縄文原体 RL 横。
P68	Do-44G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	口唇部に突起と沈線施文。浮線による文様区画。区画内に巾8mmの平行沈線と円形刺突。
P69	Do-47G IX層	深鉢	口縁破片	不良	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	偏平な浮線文による文様施文。口縁は大波状になり頂部側面に獣面を表現する。浮線には矢羽根状の刻み。
P70	Do-47G IX層	深鉢	口縁破片	不良	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁になり、頂部側縁には獣面を表現する。浮線による弧線文等。浮線には刻み。
P71	De-41G VII層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄	2.5Y6/3	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤貼付し獣面を表現する。浮線による文様施文。浮線に刻み。
P72	DI-45G VI層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。区画内に弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P73	Dd-42G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/3	細砂、黒色粒	諸磯b式(新)	口縁くつ先状になる。偏平な浮線による横位区画。区画内には弧線文、渦巻文。
P74	Dk-43G VII層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1mmの小石多い	諸磯c式(中1)	波状口縁、口唇部に刻み。浮線による山形文。浮線には縄文施文。縄文原体 LR。
P75	Dq-44G VI層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(新)	波状口縁頂部側縁に棒状の貼り付け。結節浮線による弧線文。
P76	Dm-46G VII・IX・X層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。区画内に矢羽根状の文様施文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 LR。
P77	Do-39G VI層、 Do-40G VII層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。内面スス付着。縄文原体 RL。
P78	Do-47G IX層	深鉢	胴部破片	不良	明赤褐	5YR5/8	φ1～3mmの小石、 軽石粒多い	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画と弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P79	Do-44G VII層	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 LR。
P80	Do-44G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/3	φ1mmの小石	諸磯b式(中2)	隆線に爪形の刺突を持つもので横位区画。巾3mmの平行沈線を矢羽根状に施文。
P81	Do-44G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線に矢羽根状の刻み。
P82	Dx-42G VI・IX層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P83	Db-41G VII層	深鉢	胴部破片	不良	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒、軽石粒	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P84	Dd-42G VII層	深鉢	胴部破片	不良	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	偏平な浮線による横位区画。区画内に弧線文。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P85	Dm-46G IX層	深鉢	口縁～胴部破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線による弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。
P86	Ds-38G VI層、 Dt-38G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線には「×」字状、矢羽根状の刻みを持つ。縄文原体 RL。
P87	Dh-45G VII層、 Di-45G VII層	深鉢	胴部破片	不良	灰褐	7.5YR5/2	φ1～2mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による口縁部横位区画。区画内縦位弧線文、浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P88	Dc-41G IX層	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	5YR6/4	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P89	Dp-46G VI層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR4/3	細かい砂粒	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P90	Dr-44G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR5/3	φ1～2mmの小石多い	諸磯c式(中1)	浮線による口縁部横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。断面凸形。縄文原体 RL。
P91	Dj-40G VI層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1～2mmの小石多い	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線に矢羽根状の刻み。内面スス付着。縄文原体 RL。
P92	Dc-41G IX層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P93	Dd-40G IX層、 Do-40G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/3	細かい砂粒	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線に斜位の刻み。
P94	Dr-44G VII層	深鉢	胴部破片	不良	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒、白色粒	諸磯b式(中1)	浮線による渦巻文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P95	Do-43G VI・VII層	深鉢	胴部破片	不良	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒、黒色粒多い	諸磯c式(中1)	浮線による文様区画。浮線にはやや大きめの刻み。断面は凸形になる。縄文原体 RL。
P96	De-43G VII層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒、黒色粒	諸磯b式(中1)	浮線による横位施文。浮線には爪形文が施文される。

第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 97	Do-40G VI層	深鉢	底部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。梯子状施文。浮線には「×」状の刻み。
P 98	Dc-40G IX層	深鉢	底部	普通	にぶい橙	7.5YR7/3	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P 99	Dd-40G VII層	深鉢	底部破片	不良	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒、軽石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P 100	Dk-46G VI層	深鉢	底部	不良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	偏平な浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P 101	Df-41G VII層	深鉢	底部破片	良	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	偏平な浮線文による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。
P 102	Dk-46G IX層	深鉢	胴部	不良	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯b式(新)	浮線による横位区画。浮線上に縄文施文。浮線の胎土と本体の胎土が異なる。縄文原体 RL。
P 103	Dd-40G VII層	深鉢	底部	不良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒多い	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P 104	Dm-46G IX・X層	深鉢	口縁～胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	巾6mmの平行沈線による横位区画。区画内に菱形文。縄文原体 RL。
P 105	Dm-46G IX層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による横位区画。菱形文。縄文原体 RL。
P 106	Dc-40G VII層、 Dc-41G VII層	深鉢	口縁～胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。口縁部文様帯には弧線文。
P 107	Dm-46G VII層	深鉢	胴部～底部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線を集合化させ横位の区画を作る。縄文原体 RL。
P 108	Dm-45G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁口唇部に3単位の突起。巾4mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 RL。
P 109	Dk-46G VII層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(中2)	口縁に「の」の字形の粘土瘤貼付。巾3mmの平行沈線による文様区画。口縁部には斜線文、釣り針状文などが施文される。
P 110	Eb-40G VI層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による文様区画。区画内に斜線弧線文様。
P 111	Dc-42G VII・IX層	深鉢	口縁～胴部破片	普通	明褐	7.5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。波状口縁側縁に粘土瘤による突起。
P 112	Dd-41G VI層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。
P 113	Do-42G VII層	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁部に粘土瘤を貼付し獣面把手を作る。巾4mmの平行沈線による弧線文。縄文原体 RL。
P 114	Dx-42G VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線を数本単位で集合化させ横位区画する。
P 115	Di-41G VII層	深鉢	口縁破片	普通	黄褐	10YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線横位施文。縄文原体 RL。
P 116	Dd-41G VI・VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁。巾3mmの平行沈線による横位区画。
P 117	Dm-45G VII層	深鉢	口縁破片	普通	明褐	7.5YR5/6	φ1mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による文様施文。
P 118	Dd-42G VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位施文。縄文原体 RL。
P 119	Dq-45G VI層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒、白色粒	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線を集合させ文様施文。
P 120	Di-46G VI層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾5～6mmの平行沈線を集合させ文様施文。縄文原体 RL。
P 121	De-44G VII層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中1)	巾5mmの平行沈線による同心円状の弧線。縄文原体 RL。
P 122	Dq-44G VII・IX層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/3	細かい砂粒、軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁3単位の小突起。巾5mmの平行沈線による弧線文。
P 123	Dh-41G VII層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁3単位の小突起。巾5mmの平行沈線による弧線文。釣り針状文。
P 124	Df-41G VII層、 Dg-41G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁に突起。巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内に弧線文、釣り針状文。縄文原体 RL。
P 125	Dp-43G	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(中1)	口縁頂部に獣面が把手状にのる。巾3mmの平行沈線による弧線文。釣り針状文。平行沈線に矢羽根状の刻みが加えられる。縄文原体 RL。
P 126	De-43G VII層	深鉢	口縁破片	普通	明褐	7.5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤貼付し獣面を表現する。巾5mmの平行沈線による渦巻弧線。
P 127	Dd-42G VI層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁側縁に粘土瘤貼付し獣面を表現する。巾5mmの平行沈線による弧線文。
P 128	De-44G VII層	深鉢	口縁破片	良	明褐	7.5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	太い「の」の字形の隆線を口縁に貼り付ける。巾4mmの平行沈線横位施文。
P 129	Dd-40G VII層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(新)	波状口縁側縁部に粘土瘤貼付。巾4mmの平行沈線による文様施文。
P 130	Dk-46G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁側縁部に粘土瘤貼付。巾3mmの平行沈線による渦巻弧線文。縄文原体 RL。

第2節 IV区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P131	De-41G VII層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/6	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	浅い沈線による横位区画。
P132	Dc-40G VII層	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤貼付。巾3mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 RL、Lr。
P133	Dd-41G VI層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒、黒色 粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。
P134	Dg-46G VI層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1mmの小石、黒色 粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。
P135	Dh-41G VII層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による文様施文。縄文原体 RL。
P136	Dd-42G VII層	深鉢	口縁破片	良	褐	10YR4/6	細かい砂粒	諸磯b式(新)	巾3mmの平行沈線を集合させ文様を描く。
P137	Eb-40G VI層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。
P138	Dn-52G VI層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯c式(古)	巾3~4mmの平行沈線横位区画し、鋸歯文施文、ボタン状横長の棒状貼付文。
P139	Dk-46G IX層	深鉢	口縁破片	普通	赤褐	5YR4/6	細かい砂粒、軽石 粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画と対弧線文。
P140	Dd-45G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による弧線文。
P141	Dh-44G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1~2mmの小石	諸磯a式(古)	巾4mmの平行沈線による米字文。交点に円形の刺突。
P142	Dc-42G VII層	深鉢	口縁破片	普通	褐	10YR4/4	φ1mmの小石	諸磯b式(中2)	巾3~4mmの平行沈線横位に施文。縄文原体 RL。
P143	Dq-43G VII層	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR6/6	φ1~2mmの小石	諸磯c式(古)	巾5mmの平行沈線下、矢羽根文様。
P144	Dc-40G IX層	深鉢	口縁破片	不良	淡黄	2.5Y8/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁口唇に3単位の突起。巾4mmの平行沈線。縄文原体 RL 横。
P145	Dm-40G VI層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	口唇に2単位の小突起。巾4mmの平行沈線横位施文。
P146	Db-41G VII層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1mmの小石、黒色 粒	諸磯b式(新)	波状口縁頂部側縁にボタン状貼付。くつ先状に屈曲。巾2mmの平行沈線による風車状渦巻文。
P147	Dc-41G VII層	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒、黒色 粒	諸磯b式(新)	波状口縁頂部側縁にボタン状貼付文。くつ先状に屈曲。巾2mmの平行沈線による弧線文。風車状渦巻文。
P148	Dp-44G IX層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1mmの小石多い	諸磯b式(新)	大波状口縁。くつ先状に屈曲。巾3mmの平行沈線を数本集合させ弧線文、対弧文を施文。
P149	Ea-40G VI層	深鉢	口縁破片	普通	明褐	7.5YR5/6	φ1mmの小石多い	諸磯b式(新)	波状口縁。くつ先状に屈曲。巾2mmの平行沈線による風車状渦巻文施文。
P150	Db-40G VII層	深鉢	口縁破片	良	褐灰	7.5YR4/1	細かい砂粒	諸磯b式(新)	波状口縁。くつ先状に屈曲。巾3mmの平行沈線を集合させ弧線文施文。
P151	Dx-39G VI層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1mmの小石	諸磯b式(新)	波状口縁頂部側縁にボタン状貼付。集合沈線による風車状渦巻文。対弧文施文。
P152	Dc-40G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁巾3mmの平行沈線による文様施文。縄文原体 Lr。
P153	Do-45G VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯b式(新)	波状口縁。くつ先状に屈曲。巾2mmの平行沈線を集合させ風車状渦巻文施文。
P154	Di-45G VII層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(新)	波状口縁。くつ先状に屈曲。巾5mmの平行沈線による渦巻文、弧線文。縄文原体 RL。
P155	Db-41G VII層	深鉢	胴部	良	橙	5YR6/6	φ1~2mmの小石 多い	諸磯b式(新)	平行沈線を集合させ横位に区画。矢羽根状文施文。
P156	Dw-43G	深鉢	胴部	普通	褐	7.5YR4/3	φ1~2mmの小石 多い	諸磯b式(中2)	巾3~4mmの平行沈線を集合させ横位区画。区画内に弧線文。縄文原体 Lr。
P157	Dd-42G VII層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中)	巾3~4mmの平行沈線数本を集合化させて横位区画。縄文原体 RL。
P158	Db-40G VII層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中)	巾5mmの平行沈線による横位区画。内面スス付着。
P159	Di-41G VII・IX層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による横位区画。
P160	Dd-42G VII層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線を集合させ横位の区画。縄文原体 RL。
P161	Dn-45G IX層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR4/3	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中1)	平行沈線を2段に重ねて横位の区画と鋸歯状の施文。縄の末端の結び目施文。縄文原体 RL。
P162	Dm-45G VII層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯a式(新)	巾4mmの平行沈線爪形文で文様帯を区画し、木葉文を施文。縄文原体 RL。
P163	Do-44G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸磯c式(新)	結節浮線を胴部に廻らし、上下に巾4mmの平行沈線を矢羽根状に施文。
P164	Dg-42G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾5~6mmの平行沈線による菱形区画内に釣り針状文を施文。
P165	Dm-46G IX層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾5~6mmの平行沈線による菱形区画に釣り針状文を施文。
P166	Dp-44G IX層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	巾7mmの平行沈線による波状文、蕨手文。
P167	Dc-41G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯c式(新)	巾3mmの平行沈線による横位区画。その上下に矢羽根状文施文。

第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P168	Dm-50G VII層	深鉢	胴部破片	不良	橙	7.5YR6/6	砂粒多い	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。
P169	Ed-40G VII・IX層	深鉢	胴部破片	普通	褐	7.5YR4/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(古)	巾8mmの平行沈線による変形木葉文、円形刺突。
P170	Ec-48G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/4	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	巾4mmの平行沈線による横位区画。縄文原体RL。
P171	Dm-45G VI層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線横位施文。沈線に刻み。内面スス付着。
P172	Dc-41G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1～2mmの小石、 軽石粒多い	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位施文。平行沈線に刺突が加えられる。
P173	Dc-41G VII層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	巾2mmの平行沈線による横位区画。
P174	Dy-42G VII層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	巾3～4mmの平行沈線による横位施文。区画内に菱形文。縄文原体Lr。
P175	Dc-42G VI層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線を集合化させて横位施文。縄文原体Lr。
P176	Dt-52G VII層	深鉢	底部	普通	明褐	7.5YR5/6	φ1mmの小石、黒色粒	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線を集合化させて横位区画。
P177	Df-42G VI層	深鉢	底部	普通	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線を集合化させて横位区画。縄文原体RL。
P178	Dc-41G VII層	深鉢	底部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。内面スス付着。
P179	Dc-41G VII層	深鉢	胴部～底部	良	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線横位区画。
P180	Dc-41G VII層	深鉢	胴部～底部	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(新)	巾3mmの平行沈線による横位区画。胴部には対弧文。沈線には半截竹管の端部による刺突。
P181	Dm-41G VII層	深鉢	胴部～底部	良	にぶい橙	5YR6/4	φ1～2mmの小石、 軽石粒多い	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線横位区画。内面スス付着。
P182	Dm-45G VI層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。内面スス付着。縄文原体RL。
P183	Dx-42G VII層	深鉢	底部	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒、軽石粒	諸磯b式(中2)	縄文原体RL。
P184	Dc-41G VII層	深鉢	胴部～底部	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による横位区画。
P185	De-41G IX層	深鉢	底部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線横位施文。
P186	Df-41G VII層	深鉢	底部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。縄文原体RL。
P187	Ee-44G IX層	深鉢	底部	普通	にぶい橙	5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線横位施文。縄文原体RL。
P188	Eb-39G VI層	深鉢	底部	良	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	巾2mmの平行沈線を集合化させ横位施文。内面スス付着。
P189	Di-46G VII層	深鉢	底部	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(新)	巾2～3mmの平行沈線を集合化させ横位施文。
P190	Dm-41G VI層	深鉢	底部破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒、黒色粒	諸磯b式(新)	巾2mmの平行沈線を集合化させ横位施文。
P191	Di-52G VII層	深鉢	底部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中)	巾5mmの平行沈線横位施文。
P192	Ed-49G VII層	深鉢	底部破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(新)	巾2mmの平行沈線を集合化させ横位施文。
P193	Df-42G VII層	深鉢	底部破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。
P194	Db-41G VII層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線横位区画。
P195	De-41G VI層	深鉢	底部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線横位施文。
P196	Ea-40G	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR5/3	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	口唇部凹凸文。棒状、ボタン状貼付文。内面の棒状貼付文には爪形施文。地文に横位の沈線施文。
P197	Di-44G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	巾4mmの平行沈線を集合化させ横位、斜位に施文。棒状、ボタン状貼付文。
P198	Dr-46G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	集合沈線による矢羽根状文、横線文。棒状、ボタン状貼付文。
P199	Dj-50G VI層	深鉢	口縁破片	不良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(古)	巾3mmの平行沈線で口縁部矢羽根文。頸部横位施文。胴部に縦位区画。棒状、ボタン状貼付文。
P200	Dr-44G	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸磯c式(新)	地文に斜線、横線。ボタン状、棒状貼付文。
P201	Eb-43G	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/4	細かい砂粒	諸磯c式(新)	地文に斜線、横線。ボタン状、棒状貼付文。
P202	Dp-44G	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸磯c式(新)	集合沈線による斜線、横線、ボタン状、棒状の貼付文。
P203	Dc-41G VII層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	細かい砂粒	諸磯c式(古)	巾3mmの平行沈線を集合化させ口縁部横位施文。胴部対弧文、棒状貼付文。
P204	Dy-43G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯c式(新)	沈線により口縁内面斜線、外面横線、長い棒状、ボタン状貼付文。
P205	Dx-42G VII層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	大波状口縁の突起部。集合沈線による矢羽根文。

第2節 IV区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P206	Dl-42G	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯c式(新)	集合沈線横位施文。ボタン状の貼付文。環状になる突起。
P207	Dr-41G VI層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(古)	口縁に凹凸文。集合沈線横位施文。外面スス付着。
P208	Dp-44G VI・VII層、 Dq-41G VI・IX層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(新)	平行沈線を集合させ、斜線、弧線を施文。棒状、ボタン状貼付文。
P209	Eb-43G VII層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(新)	平行沈線を集合化させ矢羽根状文。ボタン状、棒状貼付文。内面スス付着。
P210	Dn-46G VII層	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒	諸磯c式(新)	巾3mmの平行沈線を集合化させ縦位区画。矢羽根状文を施文。太い浮線で斜線や弧線を描く。浮線には爪形文施文。
P211	Ed-40G VII層	深鉢	胴部破片	良	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	平行沈線を集合化させ、矢羽根状に施文。棒状、ボタン状の貼付文。
P212	Eh-46G VII層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	集合沈線による縦位区画と矢羽根文。ボタン状貼付文。
P213	Ea-48G VII層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	集合沈線による矢羽根状、格子状文。棒状、ボタン状貼付文。
P214	Ea-51G VII層	深鉢	胴部破片	普通	黄褐	10YR5/6	細かい砂粒	諸磯c式(古)	集合沈線による縦位区画と矢羽根状文。
P215	Dy-40G VII層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/8	φ1～3mmの小石	諸磯c式(新)	巾4mmの平行沈線を集合化させ弧線施文。
P216	Dv-51G VII層	深鉢	胴部破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式	平行沈線による文様施文。ボタン状貼付文。
P217	Ea-43G VII層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(新)	巾3mmの平行沈線を集合化させ横位に施文。粘土紐を鋸歯状に貼付。ボタン状貼付文。
P218	Dr-45G VII層	深鉢	口縁破片	不良	橙	5YR6/8	黒色粒	諸磯c式(新)	粘土紐鋸歯状に貼付。ボタン状貼付文。縄文原体RL。
P219	Ea-43G VI層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	縄文原体RL。
P220	Ea-43G VI・VII層	深鉢	口縁破片	良	橙	2.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	縄文原体RLとLRの結束羽状縄文。縄の末端に結節が行われている。ボタン状貼付文。縄文原体RL、LR。
P221	Dn-50G VI・VII層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/8	細かい砂粒	諸磯c式(新)	縄文原体RL。
P222	Dy-43G VII層、 Dy-44G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR4/3	細かい砂粒	諸磯c式(新)	短めの棒状貼付文。縄文原体RL。
P223	Dy-41G VI層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(新)	棒状、ボタン状貼付文。縄文原体RL。
P224	Do-43G VI層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(新)	棒状、ボタン状貼付文。縄文原体RL。
P225	Dr-38G VII層	深鉢	胴部破片	普通	灰褐	5YR5/2	細かい砂粒	諸磯c式(古)	ボタン状貼付文。縄文原体RL。
P226	Dj-52G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	下島式	地文に横位の沈線。結節浮線による渦巻文。
P227	Dy-40G VI層	深鉢	口縁破片	不良	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	下島式	地文横位の沈線。結節浮線による渦巻文。浮線の胎土は土器本体と異なる。ボタン状貼付文。
P228	Ds-45G VI層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	下島式	地文横位の沈線。結節浮線による渦巻文。
P229	Eb-43G VI層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石、 黒色粒	下島式	結節浮線による渦巻文。
P230	Ef-49G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	φ1～2mmの小石、 黒色粒	下島式	結節浮線による渦巻文。浮線と土器の胎土が異なる。231と同一個体。
P231	Ea-51G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	φ1～2mmの小石、 黒色粒	下島式	230と同一個体。
P232	Eh-47G VII層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	下島式	地文に横位の沈線。結節浮線による対弧文。浮線と土器の胎土が異なる。
P233	Dk-39G VI層	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR7/6	φ1～3mmの小石	下島式	地文に横位の沈線。結節浮線による渦巻文。
P234	Dm-43G VI層	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒、黒色 粒	諸磯b式(新)	扁平な浮線による渦巻文。浮線には矢羽根状の刻み。浮線と土器の胎土が異なる。縄文原体RL。
P235	Dg-40G VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	下島式	結節浮線による渦巻文。ボタン状貼付文。縄文原体RL。
P236	Dy-40G VII層	深鉢	胴部破片	普通	暗赤褐	5YR3/2	細かい砂粒、軽石 粒	下島式	地文に巾2mmの平行沈線横位施文。結節浮線による対弧文。矢羽根文。
P237	Eb-50G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	砂粒、軽石粒	下島式	地文横位の沈線施文。結節浮線による渦巻文。
P238	Eb-42G VII層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、白色粒	諸磯c式(新)	巾4mmの平行沈線による縦位施文。棒状貼付文。内面スス付着。
P239	Eb-43G VI層	深鉢	底部	普通	橙	5YR6/6	砂粒、白色粒	諸磯c式(新)	巾2～3mmの平行沈線による縦位施文。ボタン状、棒状貼付文。

第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P240	Dv-50G Ⅶ層	深鉢	底部破片	普通	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒、黒色粒	諸磯c式	無文。
P241	Ea-43G Ⅵ層	深鉢	胴部～底部破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(新)	棒状、ボタン状貼付文。縄文原体 RL。
P242	Di-40G Ⅵ層	深鉢	底部破片	良	明赤褐	5YR5/6	砂粒	諸磯c式(新)	集合沈線による矢羽根文。棒状、ボタン状貼付文。
P243	Dt-42G Ⅶ層	深鉢	底部	良	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯c式(古)	集合沈線による横位区画。
P244	Do-44G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式	縄文原体 RL。
P245	Dh-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	口唇に凹凸文、円形貼付文。縄文原体 LR。
P246	Do-44G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/3	φ1～3mmの小石	諸磯b式	縄文原体 RL。
P247	Db-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P248	DI-46G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	原体末端を結節。縄文原体 LR。
P249	Db-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原体 Lr。
P250	Do-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR4/3	砂粒、軽石粒	諸磯b式(中)	縄文原体 Lr。
P251	Dp-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明黄褐	10YR6/6	φ1mmの小石	諸磯b式(中)	口唇に刻み。縄文原体 RL。
P252	Ec-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1mmの小石	諸磯b式	口唇に刻み。原体末端結節。内面スス付着。縄文原体 RL。
P253	Dc-42G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒多い	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P254	Dc-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明褐	7.5YR5/6	φ1mmの小石、黒色粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P255	Dn-38G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	5YR6/4	砂粒	諸磯b式	縄文原体 LR。
P256	Di-46G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式	無文。
P257	Db-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式	縄文原体 RL。
P258	Dv-50G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式	内外面スス付着。縄文原体 LR。
P259	Dp-44G Ⅵ・Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式	縄文原体 RL。
P260	De-44G Ⅵ層	鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式	貫通していないφ4mmの孔がある。
P261	Dk-46G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	不良	橙	7.5YR7/6	砂粒、軽石粒	諸磯a式(新)	φ5mmの円形刺突列。縄文原体 RL。262と同一個体。
P262	Dk-45G Ⅶ・Ⅷ層	深鉢	破片	不良	橙	5YR7/6	砂粒、軽石粒	諸磯a式(新)	261と同一個体。
P263	Dm-45G Ⅶ層	深鉢	胴部	良	橙	5YR6/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中)	内外面スス付着。縄文原体 RL。
P264	Dp-43G Ⅷ層	深鉢	胴部	普通	橙	7.5YR7/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P265	Df-40G Ⅵ・Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	明黄褐	10YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式	縄文原体 LR。
P266	Do-44G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式	縄文原体 RL。
P267	Dn-44G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	明黄褐	10YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式	縄文原体 LR、RL。
P268	Dh-42G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	砂粒	諸磯b式	原体の末端結節。縄文原体 RL。
P269	Do-44G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式	縄文原体 RL。
P270	Df-46G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P271	Do-44G Ⅵ・Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	浮島Ⅲ式	貝殻腹縁によるロッキング。
P272	Dk-46G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	明褐	7.5YR5/6	φ1mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P273	Dq-45G Ⅵ・Ⅶ層	深鉢	底部破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	羽状縄文。縄文原体 RL、LR。
P274	Dn-46G Ⅶ層	深鉢	底部破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P275	Do-44G Ⅶ層	深鉢	底部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	浮島Ⅲ式	貝殻腹縁によるロッキング。
P276	Dj-39G Ⅶ層	深鉢	底部破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式	無文。
P277	Dp-43G Ⅷ層	深鉢	底部破片	不良	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯b式	縄文原体 LR。

第2節 IV区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P278	Ee-39G Ⅶ層	浅鉢	底部破片	良	灰褐	5YR5/2	砂粒、軽石粒	諸磯a式(新)	縄文原体 RL。
P279	Eh-46G Ⅶ層	深鉢	底部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P280	Dp-43G Ⅸ層	深鉢	底部破片	不良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 Lr。
P281	Ec-44G Ⅶ層	深鉢	底部破片	不良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL、LR。
P282	Dk-46G Ⅶ層	深鉢	底部破片	不良	橙	5YR6/8	φ1～2mmの白色粒	諸磯b式(中)	原体末端を結節。縄文原体 RL。
P283	Ec-43G Ⅵ層	深鉢	底部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	小石、白色粒	諸磯b式(中)	—
P284	Dp-44G Ⅸ層	深鉢	底部	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P285	Dr-45G Ⅵ層	深鉢	底部破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P286	Dq-42G Ⅵ層	深鉢	底部破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P287	Ed-40G Ⅶ層	深鉢	底部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	砂粒	諸磯b式(中)	内面スス付着。縄文原体 RL。
P288	Dr-45G Ⅶ層	深鉢	底部	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒、繊維	有尾式	羽状縄文。縄文原体 RL、LR。
P289	Dd-40G Ⅵ層	深鉢	底部	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P290	DI-46G Ⅵ層、 Dk-45G Ⅵ・Ⅸ層	深鉢	底部	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯a式(新)	縄文原体 RL。
P291	Db-41G Ⅶ層	深鉢	底部	良	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P292	Eb-43G Ⅵ層	深鉢	底部	普通	にぶい橙	5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯b～c式	縦位のミガキ整形。
P293	Dj-46G Ⅶ層	深鉢	底部	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯b式(中)	無文。
P294	Dg-42G Ⅶ層	深鉢	底部	普通	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯c式	縄文原体 RL。
P295	Dw-43G No.2	深鉢	底部	普通	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石、軽石粒多い	諸磯b式(中)	原体末端結節。縄文原体 RL。
P296	Dm-45G Ⅶ層	深鉢	底部	普通	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P297	Dw-44G No.1	深鉢	底部	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P298	Do-45G Ⅶ層、 Dn-46G Ⅵ層、 Dm-46G Ⅸ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR5/4	砂粒	浮島Ⅲ式	口唇に条線帯。巾12mmの変形爪形文。巾3mmの押し引きの爪形文で菱形を作る。内面スス付着。
P299	DI-46G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	浮島Ⅲ式	口唇部に条線帯。貝殻腹縁によるロッキング施文。斜位の刻み列。
P300	Dy-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	浮島Ⅱ式	口縁部に刻みを持つ隆線と平行沈線爪形文が廻る。補修孔。
P301	Ea-51G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	浮島Ⅱ式	折り返し口縁爪形文列横位施文。
P302	De-43G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	灰褐	5YR5/2	砂粒	浮島Ⅱ式	巾6mmの半截竹管による両端押し引きの平行沈線、爪形文が口縁に廻る。斜位に押し引きの沈線。
P303	Dx-38G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒、黒色粒	浮島Ⅱ式	半截竹管の押し引き沈線による格子目文。
P304	Di-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR5/4	細かい砂粒	浮島Ⅱ式	口唇に竹管による刺突。巾4mmの平行沈線による菱形文。縄文原体 RL。
P305	Dn-45G Ⅸ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	砂粒	浮島Ⅲ式	口唇に縦位条線帯。巾15mmの半截竹管による変形爪形文。
P306	Dd-42G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	浮島Ⅱ式	口唇に刻み。巾3mmの平行沈線横位施文。
P307	DI-45G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	浮島Ⅱ式	巾6mmの沈線による文様施文。口縁に平行沈線爪形文が廻る。
P308	Dx-51G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～3mmの小石	浮島Ⅲ式	胴上半に凹凸文。下半に平行沈線による斜線文。
P309	Dj-47G Ⅵ層、 Dk-47G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	不良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	浮島Ⅱ式	巾6mmの沈線と3mmの平行沈線による斜線文。胴下半に貝殻腹縁によるロッキング。

第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P310	Dj-47G VI層、 Dk-47G IX層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	砂粒、黒色粒	浮島II式	巾6mmの平行沈線横位区画。貝殻腹縁によるロッキング。
P311	Dd-42G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/3	φ1mmの小石	浮島式	半截竹管両端による平行刺突文。
P312	Dc-40G VII層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい褐	7.5YR5/4	砂粒	浮島II式	横位に変形爪形文施文。
P313	Dc-40G VI・VII層	深鉢	胴部破片	良	灰褐	7.5YR4/2	細かい砂粒	浮島II式	横位に変形爪形文と平行沈線を施文する。
P314	Dx-51G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	砂粒多い	諸磯c・興津式	横位の結節浮線文と平行沈線、下部に凹凸文。
P315	Dm-46G VII層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄褐	10YR5/3	砂粒	浮島III式	三角文横位施文。
P316	DI-38G VI・VII層	深鉢	胴部破片	良	明黄褐	10YR7/6	砂粒、黒色粒	興津I式	貝殻腹縁によるロッキングと横位の沈線。
P317	Di-41G VII層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	浮島III式	半截竹管両端による連続刺突文。赤色塗彩。
P318	Dm-45G VII層	深鉢	胴部～底部 破片	普通	明褐	7.5YR5/6	砂粒	浮島II式	細かい貝殻腹縁によるロッキング。
P319	Do-43G IX層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、黒色粒	浮島II式	貝殻腹縁によるロッキング。
P320	Do-42G VII層	深鉢	胴部破片	不良	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	浮島II式	貝殻腹縁によるロッキング。
P321	Dx-50G VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	興津II式	凹凸文。
P322	Dv-50G VII層	深鉢	口縁破片	良	明黄褐	10YR7/6	細かい砂粒	興津II式	凹凸文。
P323	Dx-51G VII層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	興津II式	凹凸文。
P324	Eh-46G VII層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	興津II式	凹凸文。
P325	Eb-40G VII層	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒、黒色粒	興津II式	凹凸文。
P326	Dq-44G VII層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR7/6	φ1～3mmの小石	興津II式	凹凸文。
P327	Ef-41G X層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒、黒色粒	大木5式	折り返し口縁。原体結束。縄文原体 RL、LR。
P328	Ee-48G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、黒色粒	大木5式	口縁に鋸歯文が廻る。頸部に粘土紐による山形文。縄文原体 RL。
P329	Dr-40G VI層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1～2mmの小石、砂粒	大木5式	粘土紐による山形文。縄文原体 RL、LR。
P330	Dv-50G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石	大木5b式	口縁に2段の山形文。印刻によって作られる。頸部には平行沈線。
P331	Eh-46G VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、白色粒	大木5式	口縁折り返し。縄文原体 RL、LR。
P332	Ee-48G VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	口縁に山形文が廻る。折り返し口縁の肥厚部を削って作り出す。縄文原体 RL。
P333	Eg-47G VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	口縁折り返し。縄文原体 RL。
P334	Dp-43G VII層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1mmの小石、軽石粒	大木5式	口縁折り返し。縄文原体 LR、RL。
P335	Dq-44G VI層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石	大木5式	口縁折り返し。縄文原体 LR。
P336	Dy-51G VI層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	大木5式	原体結束。口縁折り返し。縄文原体 RL、LR。
P337	Dy-51G VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	大木5式	口縁折り返し。縄文原体 RL、LR。
P338	Dy-41G VI層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	口縁折り返し。縄文原体 RL。
P339	Dy-50G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	5YR6/4	φ1～3mmの小石	大木5b式	口縁に鋸歯文。頸部に山形文。橋状の把手が付く。折り返し口縁を削って鋸歯文を作っている。
P340	Dv-50G VII層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	5YR6/4	φ1～3mmの小石	大木5b式	口縁に鋸歯文。頸部に山形文。折り返し口縁を削り出して作っている。
P341	Dv-50G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1mmの小石、軽石粒	大木5式	口縁折り返し削って鋸歯文を作る。頸部は巾4mmの平行沈線による文様施文。
P342	Eh-45G	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	φ1～2mmの小石、白色粒	大木・興津式	口縁折り返し、刻みによる鋸歯文。頸部に凹凸文。
P343	Dv-51G VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石	大木式	口縁折り返し刻みによる鋸歯文。原体末端の結節。縄文原体 RL。
P344	Ea-43G VI層	深鉢	口縁破片	普通	明褐	7.5YR5/6	砂粒	大木式	粘土紐貼付による山形文。縄文原体 RL、LR。
P345	Dn-38G VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細粒、黒色粒	大木式	粘土紐貼付による山形文。縄文原体 RL。
P346	Dr-38G VII層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒	大木5式	粘土紐貼付による円形文。縄文原体 LR。

第2節 IV区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P347	Ea-51G VI層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/3	砂粒、軽石粒	大木5式	粘土紐貼付による山形文。縄文原体 RL、LR。
P348	Ds-46G VI層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒、黒色粒	大木5式	粘土紐貼付による山形文。縄文原体 RL。
P349	Dw-44G VI層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/8	φ1～3mmの小石、軽石粒	大木5式	粘土紐刻みによる山形文。縄文原体 RL、LR。
P350	Dy-39G VI層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	砂粒、黒色粒	諸磯c・大木5式	ボタン状貼付文と粘土紐貼付による山形文。縄文原体 Lr。
P351	Dq-45G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/3	砂粒、軽石粒	大木5式	原体結束。粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 RL、LR。
P352	Ea-43G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	砂粒、黒色粒	大木5式	円形の貼付文。縄文原体 RL。
P353	Eb-48G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、軽石粒	大木5式	粘土紐貼付による山形文。縄文原体 RL、LR。
P354	Eb-49G VI層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	砂粒、黒色粒	大木5式	粘土紐貼付による山形文。縄文原体 RL。
P355	Dq-44G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	砂粒	大木5式	折り返し口縁。粘土紐貼付による山形文。縄文原体 RL 横。
P356	Dq-44G VII層	深鉢	胴部破片	不良	明黄褐	10YR7/6	砂粒、白色粒	大木5式	粘土紐貼付による山形文。縄文原体 RL、LR。
P357	Dy-52G VII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	大木式	粘土紐貼付による山形文。縄文原体 RL。
P358	Dm-38G VI層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	砂粒、軽石粒	諸磯c式(中1)	巾7mmの平行沈線爪形文による木葉文。φ5mmの孔列が口縁に廻る。
P359	De-44G VII層	有孔浅鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯c式(中1)	φ5mmの孔列が口縁に廻る。巾6mmの平行沈線爪形文による木葉文、渦巻文。
P360	Df-45G VII層	有孔浅鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石、白色粒、金雲母	諸磯b式(中2)	φ6mmの孔列が口縁に廻る。孔の上下に刻みを持つ浮線沈線による並行線と爪形文による木葉文。
P361	Dm-38G VII層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	φ5mmの孔。巾7mmの平行沈線爪形文による木葉文。
P362	Dd-41G IX層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	φ4mmの孔列が口縁に廻る。沈線による並行線と爪形文による木葉文。
P363	Dy-43G VII層	有孔浅鉢	口縁破片	不良	浅黄	2.5Y7/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(中1)	φ5mmの孔列が口縁に廻る。孔の上下に浮線、巾4mmの平行沈線爪形文による木葉文。
P364	Dl-46G IX層	有孔浅鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	口唇部に斜位の刻み。φ5mmの孔列が口縁に廻る。孔を平行沈線が結ぶ。胴部には沈線による並行線と爪形文で弧線文を描く。
P365	Dd-41G VII層	有孔浅鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	φ4mmの孔列が口縁に廻る。沈線による並行線と爪形文で木葉文を描く。
P366	Dk-46G IX層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	口縁に偏平な孔を持つ。縄文原体 RLの原体圧痕が口縁下に廻る。沈線と爪形文による木葉文。縄文原体 RL。
P367	De-40G IX層	有孔浅鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/3	砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	φ5mmの孔列が口縁に廻る。巾10mmの平行沈線爪形文による木葉文。
P368	Dm-45G VII層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	φ4mmの孔列が口縁に廻る。孔の上下に隆起線が廻る。
P369	Eb-39G VI層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒、金雲母	諸磯b式(中2)	口縁にφ6mmの孔。
P370	Dc-41G VII層	有孔浅鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1mmの小石、黒色粒	諸磯b式(中2)	口縁にφ6mmの孔。
P371	Dl-46G IX層	有孔浅鉢	口縁～胴部破片	良	にぶい橙	5YR6/4	砂粒	諸磯b式(中1)	口縁に刻みのある隆起線が2条廻る。肩部にφ3mmの孔列。巾4mmの平行沈線爪形文による木葉文。373と同一個体。
P372	Db-41G VII層	有孔浅鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	口縁に縦5mm、横6mmの孔列が廻る。
P373	Do-44G IX層、 Dp-44G VII層	有孔浅鉢	破片	普通	明赤褐	5YR5/6	砂粒	諸磯b式(中1)	371と同一個体。
P374	Dc-45G VII層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中)	口縁に刻みを持つ浮線が2条廻る。間にφ6mmの孔列。
P375	Dk-44G IX層	浅鉢	口縁破片	良	明褐	7.5YR5/6	砂粒	諸磯a式(新)	口縁に隆起線が廻る。φ4mmの孔が焼成後あけられる。
P376	Ed-40G VII層	浅鉢	胴部破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾3mmの平行沈線爪形文による木葉文。縄文原体結節。縄文原体 RL。377と同一個体。
P377	Ed-40G VII層	浅鉢	破片	良	橙	5YR6/8	細かい砂粒	諸磯a式(新)	376と同一個体。
P378	Dm-46G IX層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	口縁に縦5mm、横10mmの偏平な孔。縄文原体圧痕が廻る。沈線と爪形文施文。縄文原体 RL。
P379	Df-41G VII層	有孔浅鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	沈線3条が横位に廻る。間を矢羽根状の刻み。沈線による並行線と爪形文による木葉文。
P380	Dm-46G VII層	有孔浅鉢	胴部破片	良	明黄褐	10YR7/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	沈線による並行線と爪形文による木葉文。
P381	Dj-50G VI層	有孔浅鉢	胴部破片	普通	明褐	7.5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	沈線による並行線と爪形文で木葉文施文。

第6章 IV区の調査

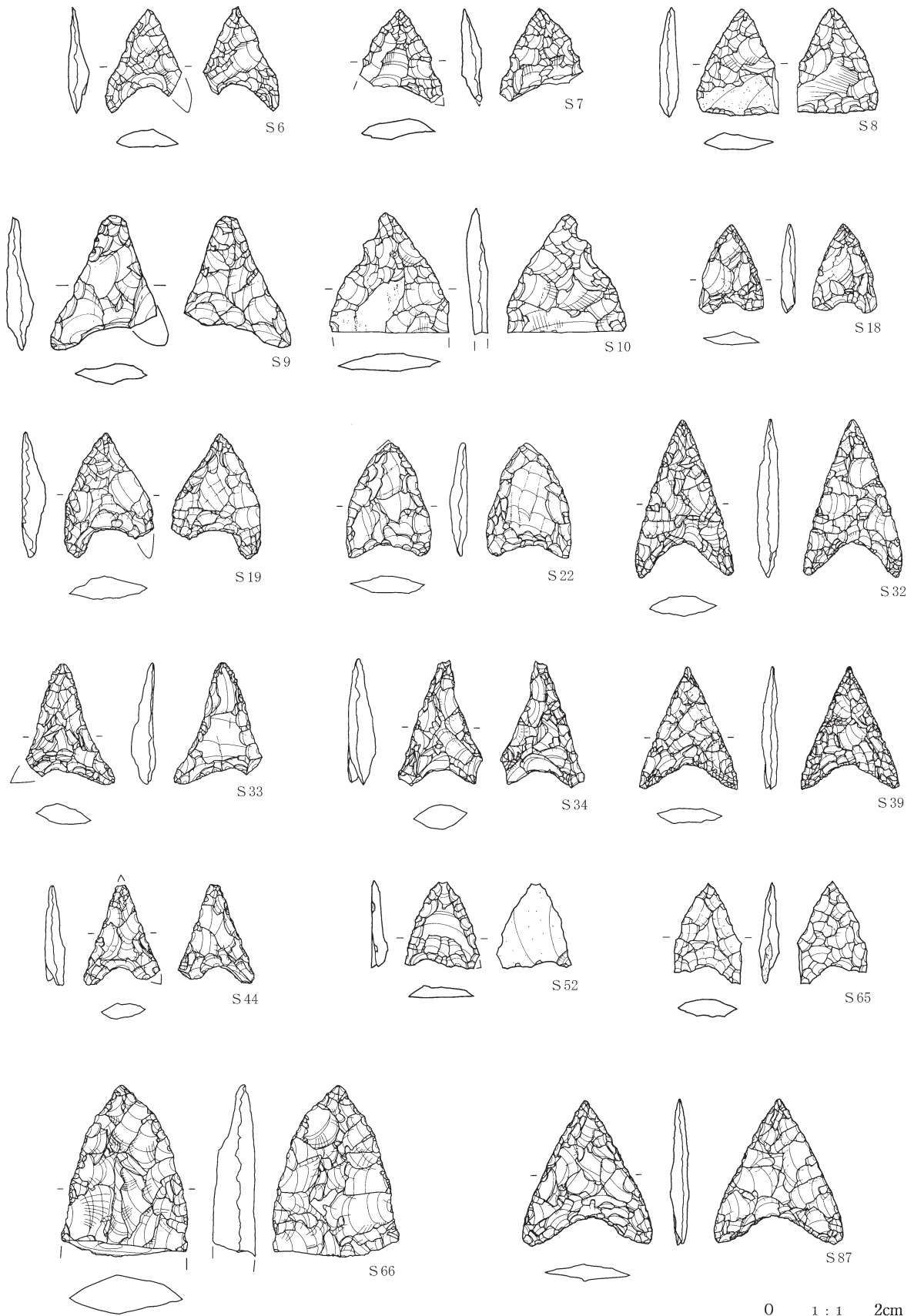
番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 382	Dc-40G Ⅶ層	有孔浅鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	沈線による並行線と爪形文で木葉文施文。
P 383	Df-45G Ⅶ層	有孔浅鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	矢羽根状の刻みを持つ沈線が廻る。沈線による並行線と爪形文で木葉文施文。
P 384	Ds-43G Ⅶ層	有孔浅鉢	胴部破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	沈線による並行線と爪形文で木葉文を施文。
P 385	Dj-40G Ⅶ層	有孔浅鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	巾5mmの平行沈線による木葉文。
P 386	Dk-46G Ⅶ層	有孔浅鉢	胴部破片	良	明褐	7.5YR5/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	沈線を横位に施文。沈線間に刻み。
P 387	Dm-45G Ⅶ層	浅鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式	口唇に刻み列。
P 388	Dp-38G Ⅵ・Ⅶ層	浅鉢	底部破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(古)	縄文原体 RL。
P 389	Dj-47G Ⅸ層	有孔浅鉢	底部	不良	にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式	無文。
P 390	Dw-42G No.1	有孔浅鉢	底部	良	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの砂粒、 軽石粒、金雲母	諸磯b式	無文。
P 391	DI-44G Ⅵ層、 Dk-44G Ⅸ層	浅鉢	口縁破片	良	浅黄橙	10YR8/4	細かい砂粒	北白川下層II c 式	隆線に刻みを加える。赤色塗彩。392と同一個体。
P 392	Dk-46G Ⅸ層	浅鉢	口縁破片	良	浅黄橙	10YR8/3	細かい砂粒	北白川下層II c 式	391と同一個体。
P 393	Dm-46G Ⅶ層	浅鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい砂粒	北白川下層II c 式	隆線に刻み。縄文原体 LR。
P 394	DI-45G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	口縁側縁に粘土瘤を貼付し獣面を表現する。
P 395	DI-46G Ⅸ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁側縁に獣面を表現する。巾3mmの平行沈線による渦巻文。
P 396	DI-45G Ⅸ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	細粒	諸磯b式(中2)	口縁側縁に粘土瘤貼付による獣面を表現する。平行沈線横位施文。口唇に「×」字状の刻み。
P 397	DI-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	波状口縁側縁に獣面を表現する。巾4mmの平行沈線。
P 398	DI-45G Ⅸ層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/4	細かい砂粒	諸磯b式(中)	粘土紐貼付による獣面表現。
P 399	Dm-45G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	口縁端部に獣面を表現する突起。巾4mmの平行沈線横位施文。
P 400	De-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	暗褐	7.5YR3/4	細かい砂粒	諸磯b式(中)	粘土紐貼付による獣面表現。
P 401	Dr-45G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	黄橙	10YR8/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	波状口縁頂部に突起。口唇に刻み。浮線による弧線文。浮線には刻み。縄文原体 RL。
P 402	Dh-45G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	口縁側縁に粘土瘤を貼付し獣面を表現する。巾3mmの平行沈線による渦巻文。
P 403	Do-44G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	不良	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒、白色粒	諸磯b式(中2)	口縁側縁に粘土瘤による突起。
P 404	Dq-44G Ⅶ層	ミニチュア土器	破片 口・(4.0) 高・2.9 底・(4.6)	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式	有孔浅鉢の模倣。口縁にφ1mmの孔列。
P 405	DI-45G Ⅶ層	ミニチュア土器	破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式	縄文原体 Lr。
P 406	Dm-45G Ⅶ層	ミニチュア土器	破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	砂粒、軽石粒	諸磯b式	指頭痕。
P 407	De-40G	ミニチュア土器	破片 高・(2.1) 底・(3.4)	普通	にぶい橙	5YR7/3	細かい砂粒	諸磯b式	—
P 408	De-40G Ⅶ層	ミニチュア土器	破片	良	にぶい褐	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸磯b式	高坏形の土器。指頭痕。
P 409	Do-38G Ⅶ層	土製品	破片	良	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒、黒色粒	諸磯c式	—
P 410	Dp-50G Ⅵ層	耳栓	破片	普通	暗褐	7.5YR3/3	砂粒	諸磯式	側縁角に刻み。
P 411	Dw-44G Ⅵ層	土製品	破片	良	褐	7.5YR4/3	砂粒	前期	無文。
P 412	Dr-42G Ⅶ層	土製品	完形	良	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式	φ4mmの焼成前の孔。
P 413	Dd-42G Ⅶ層	土製円盤	完形	良	にぶい赤褐	5YR4/3	小石	諸磯b式(中)	外縁ミガキ成形。刻みのある浮線。縄文原体 RL。
P 414	Dr-45G Ⅸ層	土製円盤	完形	普通	灰褐	5YR4/2	φ1mmの小石、砂粒	諸磯b式(中)	外縁ミガキ成形。平行沈線矢羽根文。
P 415	Db-41G Ⅸ層	土製円盤	完形	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1mmの小石	諸磯b式	外縁打ち欠き成形。底部片利用。
P 416	Df-45G Ⅶ層	土製円盤	完形	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式	外縁打ち欠き成形。底部片利用。

第2節 IV区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 417	Dr-44G Ⅶ層	土製円盤	完形	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、軽石粒	諸磯b式	外縁打ち欠き成形。底部片利用。
P 418	De-42G Ⅸ層	土製円盤	完形	良	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒	諸磯b式	外縁打ち欠き成形。底部片利用。
P 419	Dj-50G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	前期末	無文。折り返し口縁。
P 420	Do-42G Ⅵ層	深鉢	頸部破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1～3mmの小石	格子目文土器	浮線3条横位に廻る。頸部には巾3mmの平行沈線による格子目文。浮線には縄文施文。
P 421	DI-46G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾3mmの平行沈線による三角文。波状文。平行沈線の間に爪形文施文。
P 422	Dg-46G Ⅶ層	深鉢	口縁～底部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	砂粒	諸磯a式	巾2mmの平行沈線横位施文。口縁に円形刺突、爪形文列。
P 423	Ed-40G Ⅶ層	深鉢	頸部破片	普通	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	格子目文土器	頸部の横位区画に爪形文。巾7mmの平行沈線による格子目文。
P 424	DI-46G Ⅸ層、 Dk-46G Ⅵ層、 Dh-45G FA下	深鉢	胴部	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒	前期後半	附加条3種の縄文施文。縄文原体 Lr. 425と同一個体。
P 425	Dk-46G Ⅶ層	深鉢	破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/3	砂粒	前期後半	424と同一個体。
P 426	Dj-47G Ⅸ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、軽石粒	浮島式	貝殻腹縁によるロッキング。
P 427	Dv-49G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明褐	7.5YR5/6	砂粒、黒色粒	前期末	巾4～5mmの平行沈線による鋸歯文。
P 428	Ee-50G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	口縁に粘土紐を貼り付け鋸歯状に刻む。4mmの平行沈線による文様施文。
P 429	Ef-49G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	十三善提式	巾4mmの平行沈線による渦巻文、ボタン状貼付文。
P 430	Dy-52G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明褐	7.5YR5/6	細かい砂粒	十三善提式	巾3～4mmの平行沈線による三角文。
P 431	Ee-48G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/3	細かい砂粒	十三善提式	巾4mmの平行沈線による渦巻文。
P 432	Dt-50G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	砂粒、黒色粒	十三善提式	巾2～3mmの平行沈線を重ねて山形文施文。
P 433	Ef-49G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明褐	7.5YR5/8	砂粒、黒色粒	十三善提式	巾5mmの平行沈線による横位区画、縦位区画。区画内に山形文。
P 434	Ee-49G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1～3mmの小石、 軽石粒	十三善提式	巾3mmの平行沈線による横位区画。上部は渦巻文。下部は山形文。内面スス付着。
P 435	Ea-51G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	十三善提式	口縁に三角の刻みを加えた鋸歯文。口縁部に巾2mmの平行沈線による渦巻文。斜線文。沈線間に印刻を加える。
P 436	Ea-51G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、黒色粒	十三善提式	巾2mmの平行沈線による横位区画。区画内山形文。三角の印刻。
P 437	Dv-50G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR4/3	砂粒	十三善提式	巾2mmの平行沈線による横位区画。区画内山形文。三角の印刻。
P 438	Ea-40G Ⅸ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1mmの小石、黒色粒	十三善提式	口縁上部に三角の刻みによる鋸歯文。口縁部巾2mmの平行沈線による横位区画。区画内平行沈線による山形文と三角印刻。
P 439	Ea-51G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	砂粒	十三善提式	巾3mmの平行沈線による渦巻文。内面スス付着。
P 440	Ea-51G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	砂粒	十三善提式	巾2mmの平行沈線による横位区画。区画内山形文と三角印刻。
P 441	Ee-49G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	十三善提式	巾3mmの平行沈線による横位区画。区画内山形文と三角印刻。
P 442	Dw-50G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石	十三善提式	巾2mmの平行沈線による渦巻文と山形文。
P 443	Dm-40G Ⅵ・Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	十三善提式	巾3mmの平行沈線による横位区画。区画内渦巻文、山形文。円形、三角の印刻。
P 444	Ef-48G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい褐	7.5YR5/3	細かい砂粒	十三善提式	巾3mmの平行沈線による横位区画。区画内山形文と三角印刻。
P 445	Ef-47G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	不良	明黄褐	10YR6/6	砂粒、黒色粒	十三善提式	巾3mmの平行沈線による横位区画。区画内山形文と三角印刻。
P 446	Dx-51G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1～2mmの小石	十三善提式	口縁上部に結節浮線文による山形文。下部に渦巻文、山形文。縄文原体 LR 横。
P 447	Dk-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	砂粒、黒色粒	十三善提式	結節沈線による横位区画。区画内山形文、渦巻文。三角印刻。
P 448	Dq-44G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	砂粒	十三善提式	巾4mmの結節沈線による文様施文。棒状の貼付文。印刻。
P 449	Eh-47G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	十三善提式	口縁上部に三角の刻みによる鋸歯文。結節沈線による山形文と三角印刻。
P 450	Dn-45G Ⅵ・Ⅶ層	深鉢	口縁破片	不良	橙	7.5YR7/6	φ1～2mmの小石	十三善提式	口縁上部に三角の刻みによる山形文。結節沈線による文様施文。
P 451	Ei-46G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	十三善提式	口縁上部に三角の刻みによる山形文。結節沈線による渦巻文。

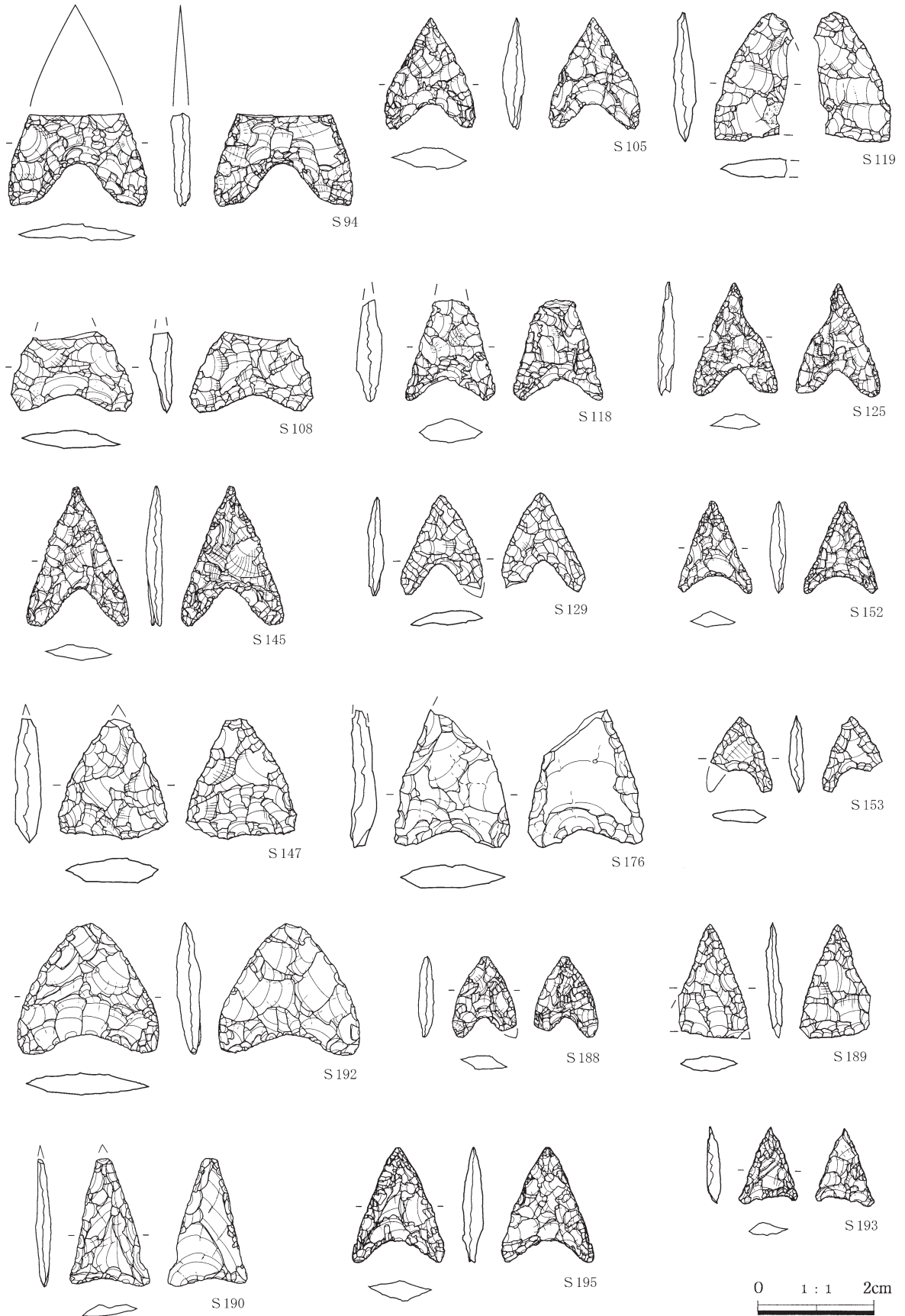
第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 452	Ea-51G VII層	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR6/6	細かい砂粒	十三菩提式	口縁を肥厚させ粘土瘤貼付。結節沈線による山形文、渦巻文施文。間に印刻文。
P 453	Dy-45G VII層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	十三菩提式	沈線による弧線文。貝殻腹縁による連続刺突文。三角印刻。
P 454	Dp-46G VII層	深鉢	胴部破片	不良	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	十三菩提式	平行沈線による文様区画と太い沈線による山形文。
P 455	DI-42G VI層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石、白色粒	十三菩提式	波状口縁で折り返して口縁部肥厚させる。爪形文列、口縁内面に「の」の字形の貼付。縄文原体LR。
P 456	Dk-45G VI層、 Dk-46G VI層	深鉢	口縁破片	良	明褐	7.5YR5/6	φ1～2mmの小石	十三菩提式	沈線による口縁部文様区画。区画内縦位の沈線。
P 457	Ea-38G VII層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒	十三菩提式	平行沈線による縦位区画。同心円文、三角印刻、円形印刻。
P 458	Dp-43G VI層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒	加曾利EⅣ式	口縁部に隆起線が廻る。
P 459	Dd-41G VI層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石	加曾利BⅠ式	口縁部に橋状把手。「8」の字文様。口縁部文様は横位の平行沈線を施文し、刻みを加える。胴部沈線による矢羽根文。
P 460	Dj-47G VII層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	砂粒	加曾利BⅠ式	波状口縁頂部側縁に孔を持つ。刻みを持つ隆線による斜格子目文。隆線に爪形文が沿って施文される。
P 461	Dr-48G VI層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	加曾利BⅠ式	口縁に粘土瘤貼付。平行沈線による横位区画。縄文原体LR。
P 462	Dr-39G VI層	注口土器	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR6/3	砂粒、黒色粒	加曾利BⅠ式	橋状把手。口縁部に刻みを持つ隆線が廻る。
P 463	De-39G VII層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	φ1～2mmの小石	加曾利BⅠ式	胴くびれ部に横位の沈線。矢羽根文。内面スス付着。

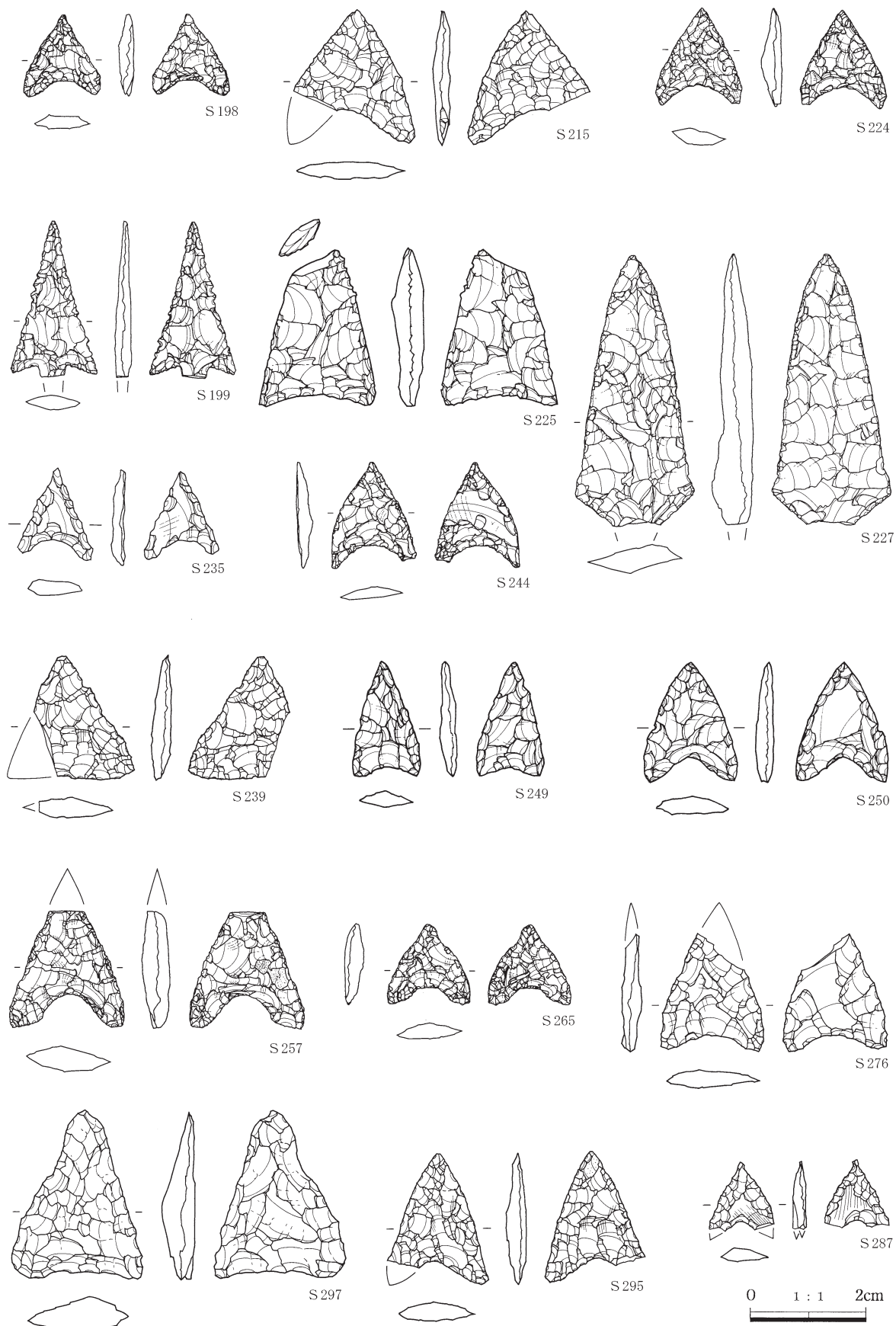


第6章第155図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)

第6章 IV区の調査

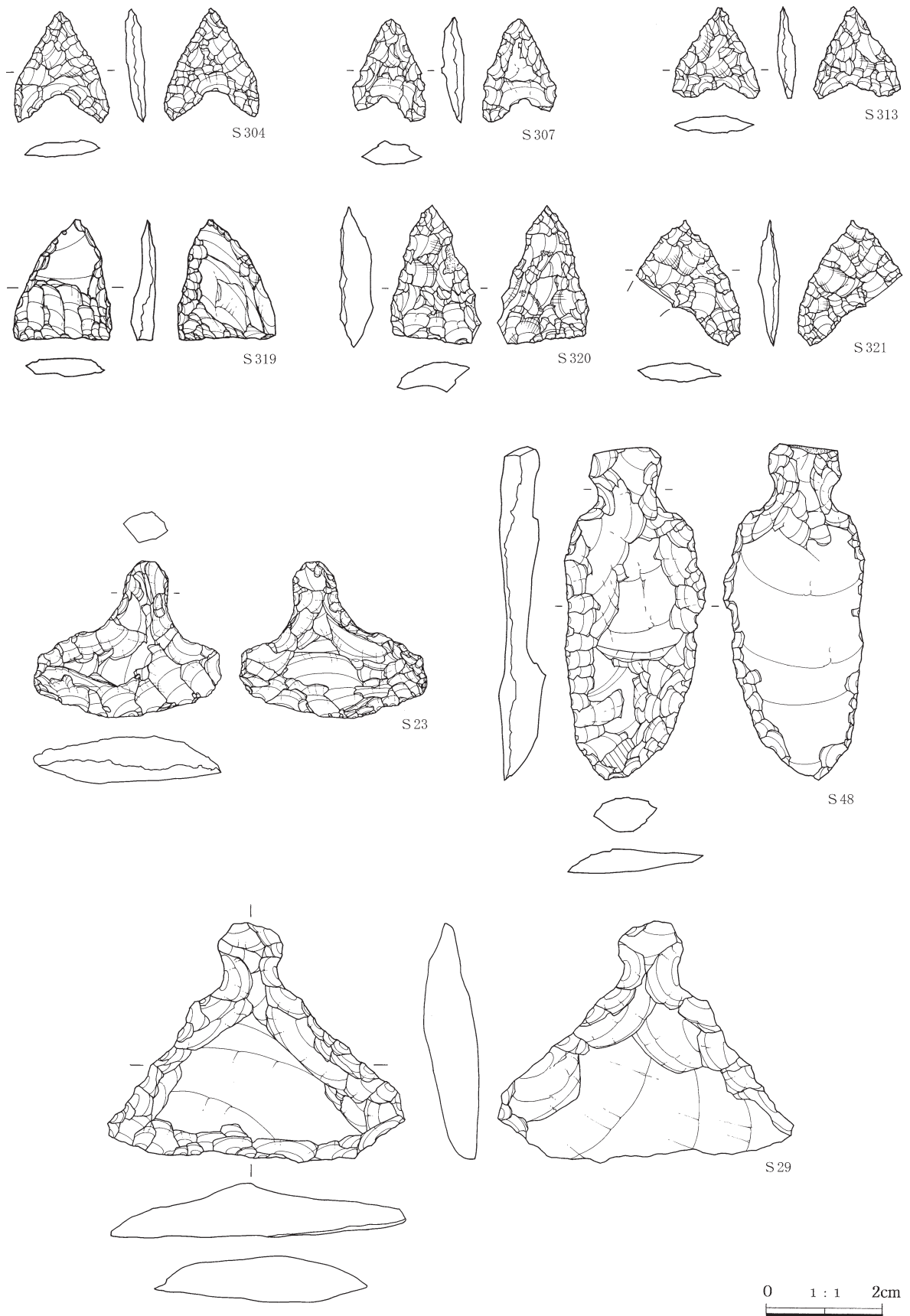


第6章第156図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)

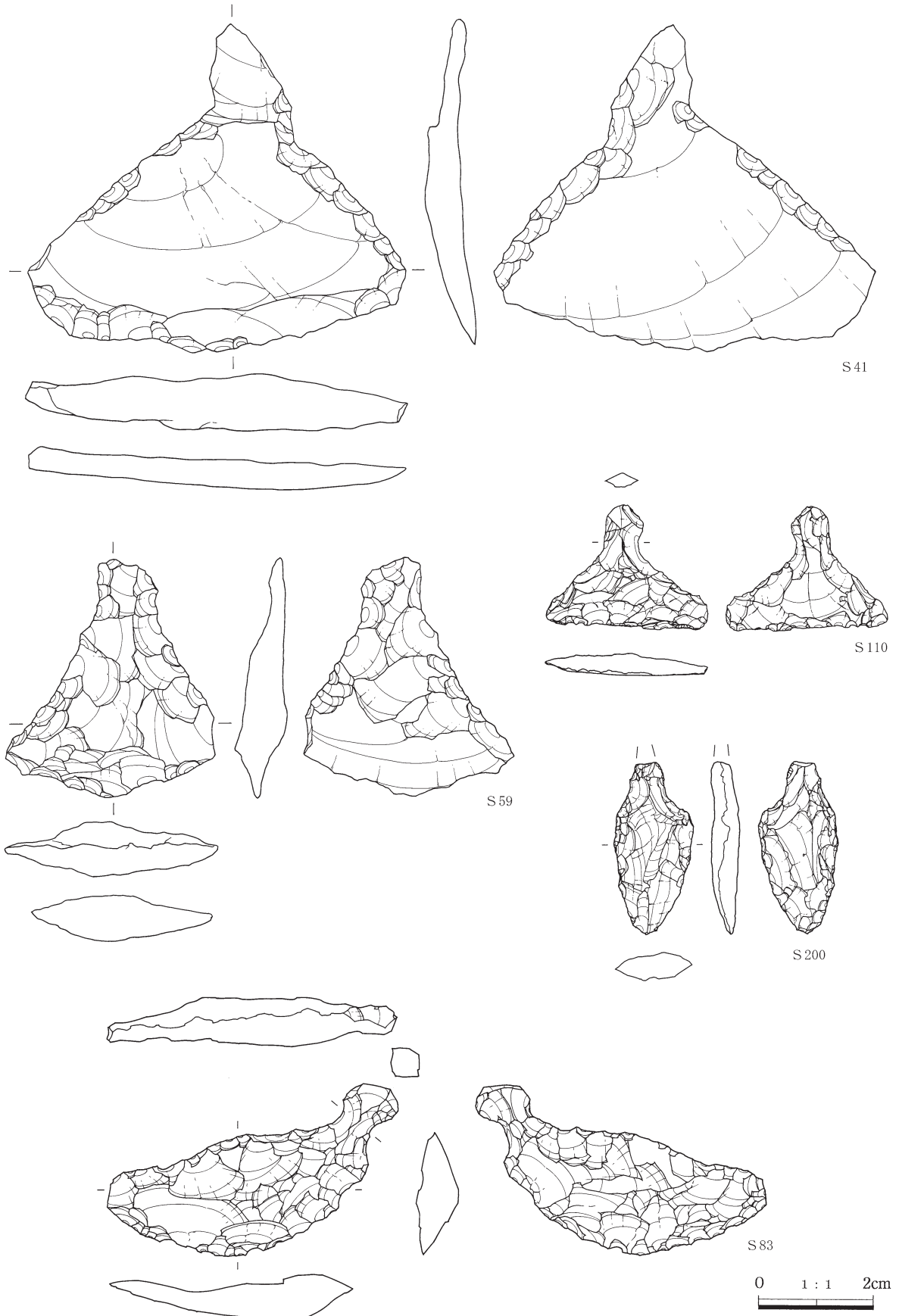


第6章第157図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(3)

第6章 IV区の調査

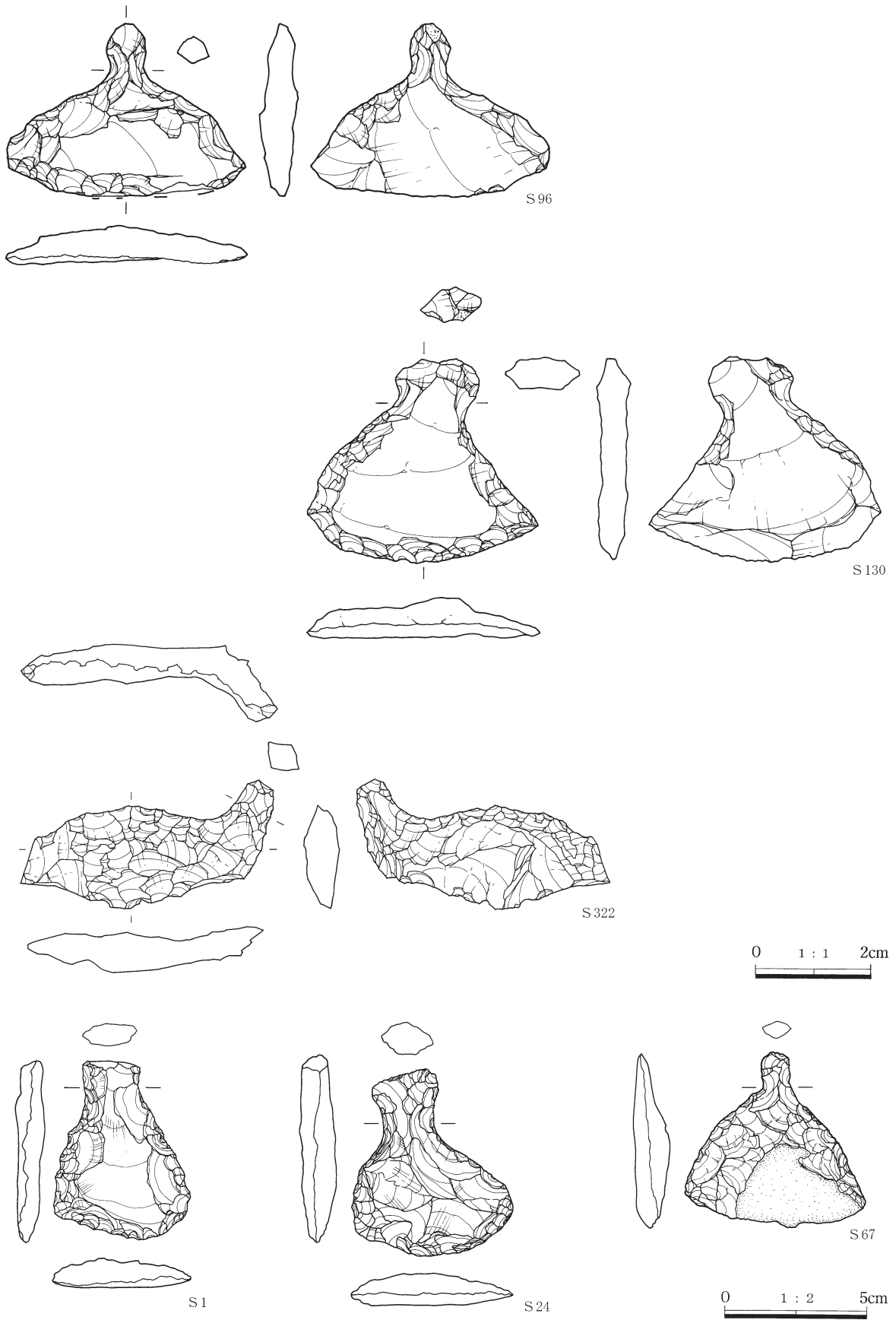


第6章第158図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(4)



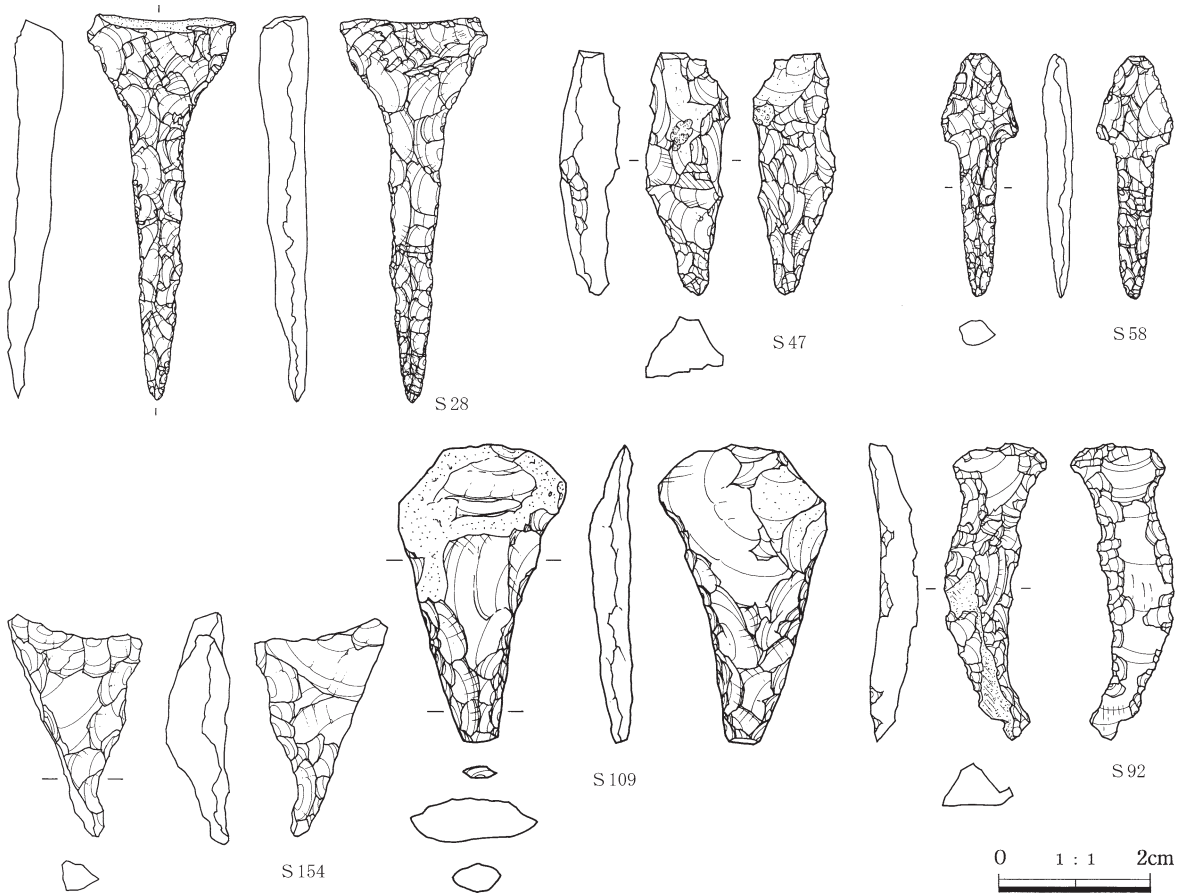
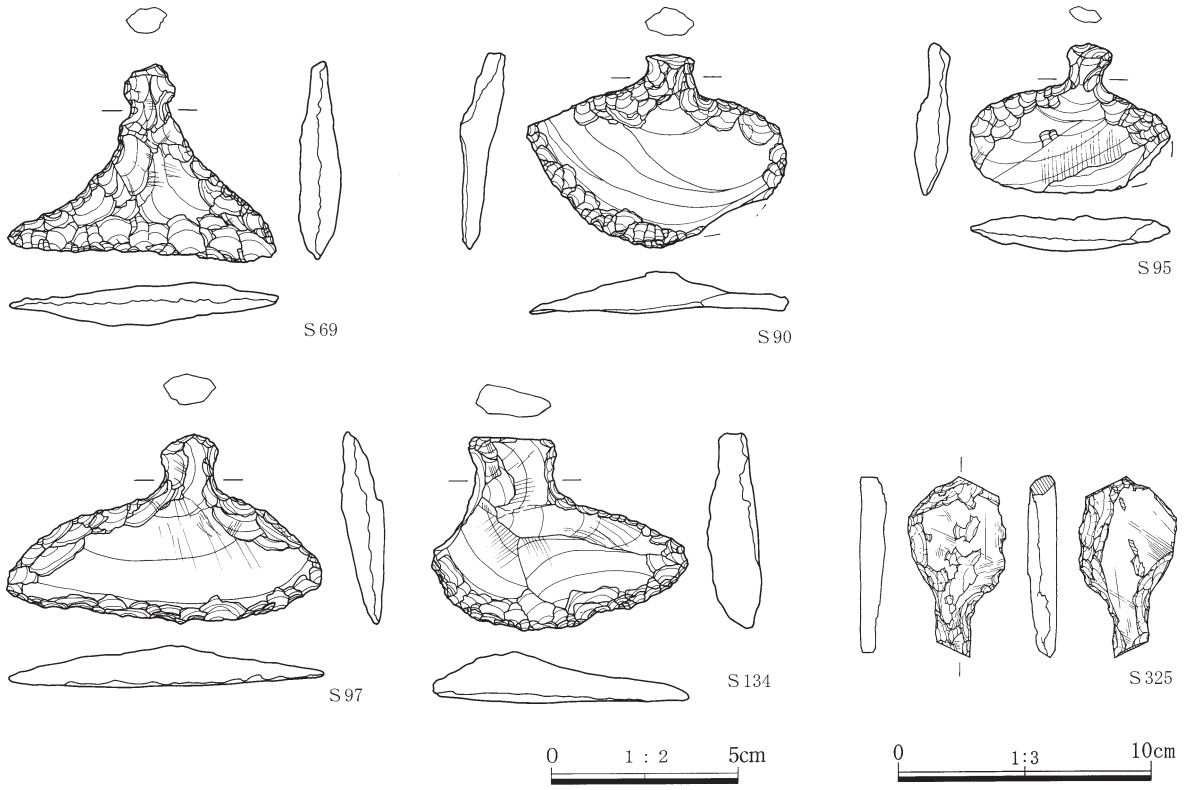
第6章第159図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(5)

第6章 IV区の調査



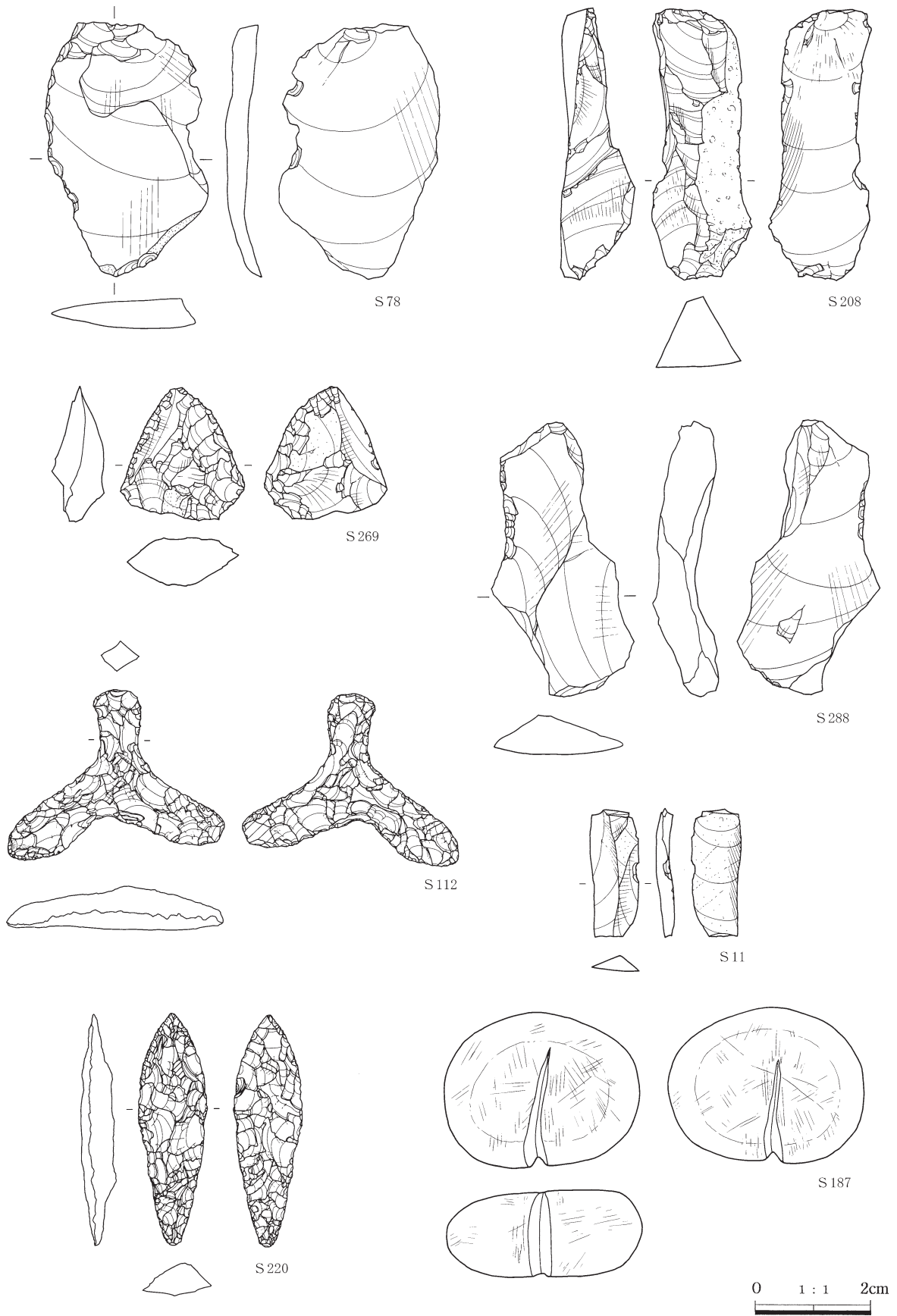
第6章第160図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(6)

第2節 IV区遺構外

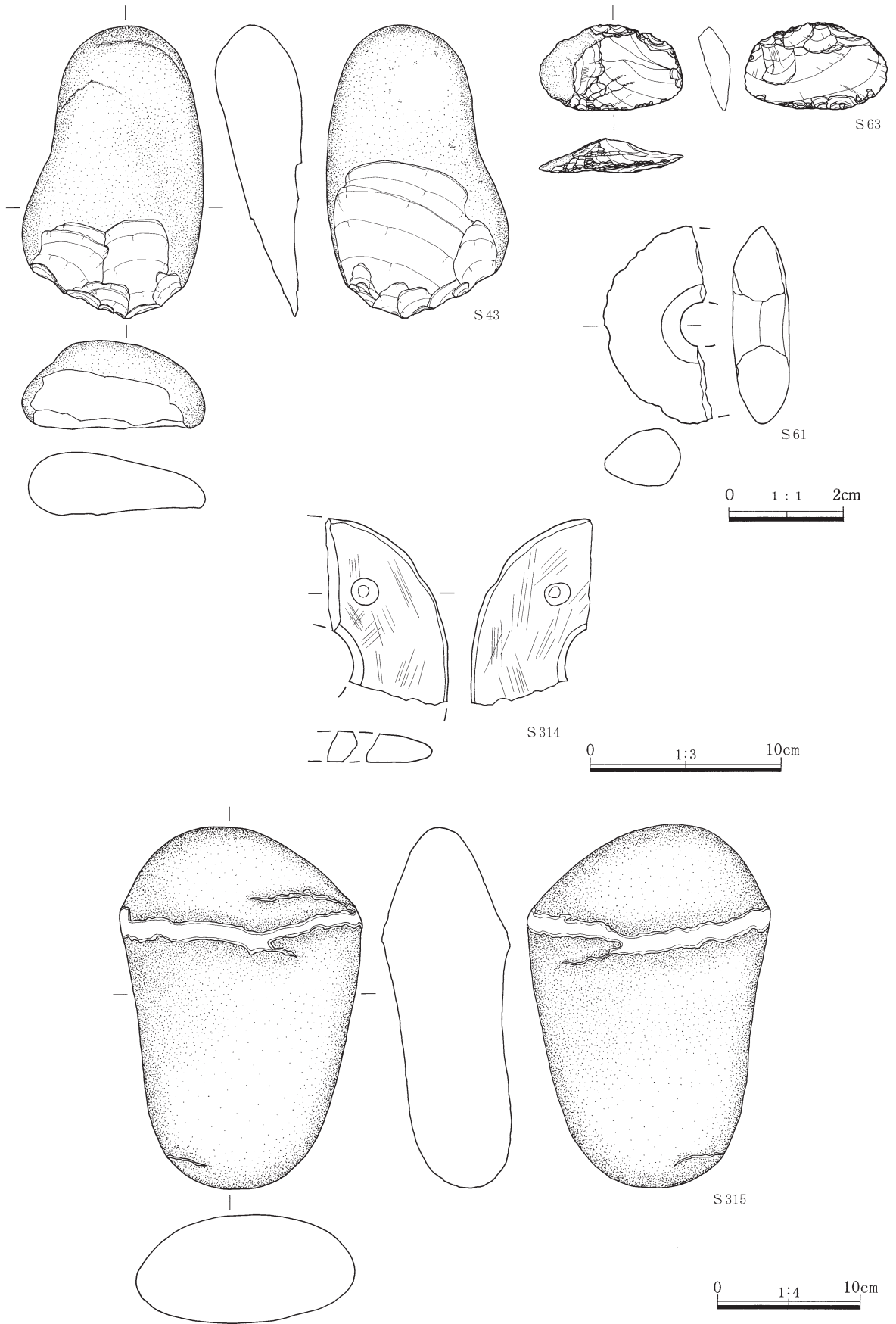


第6章第161図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(7)

第6章 IV区の調査

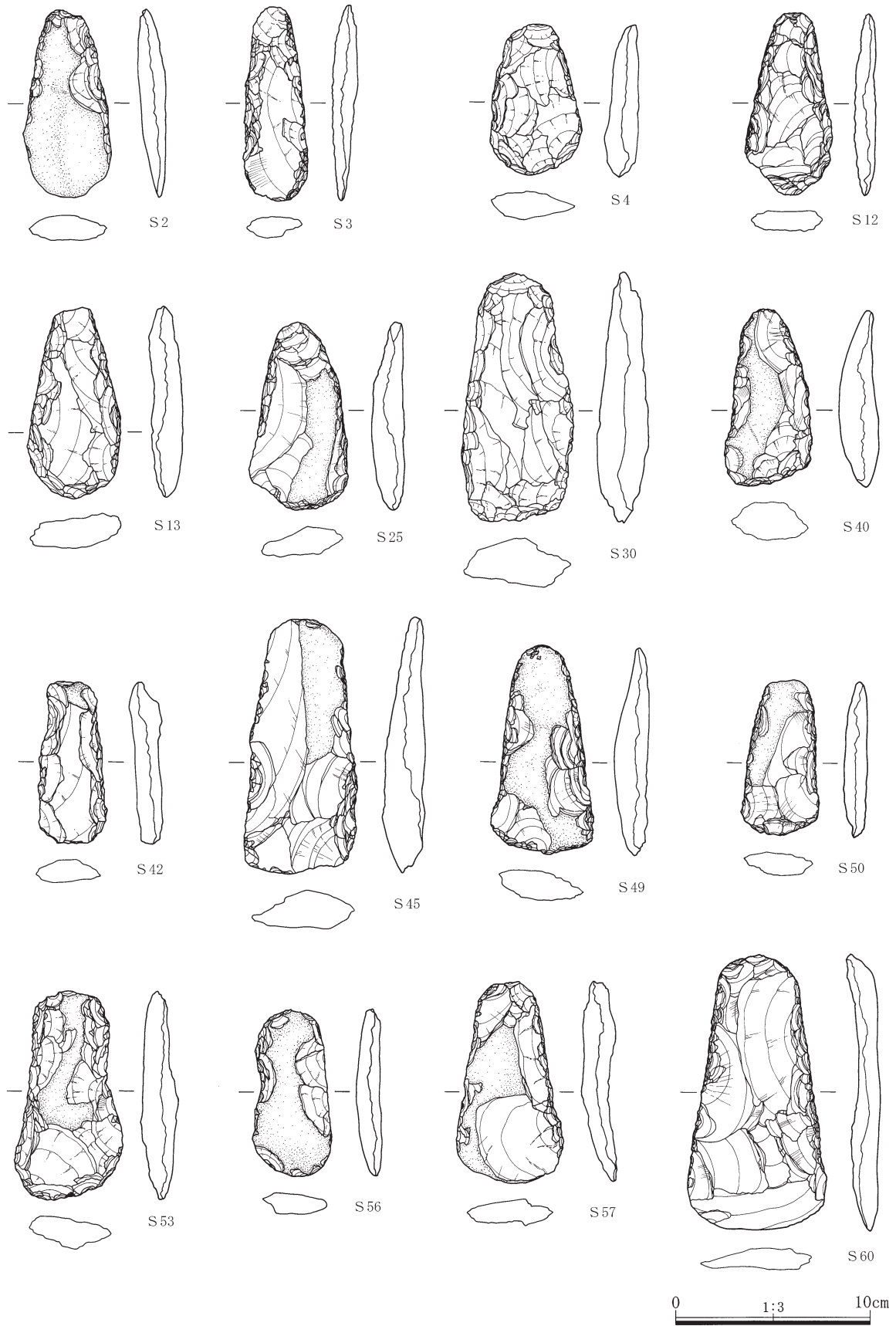


第6章第162図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(8)

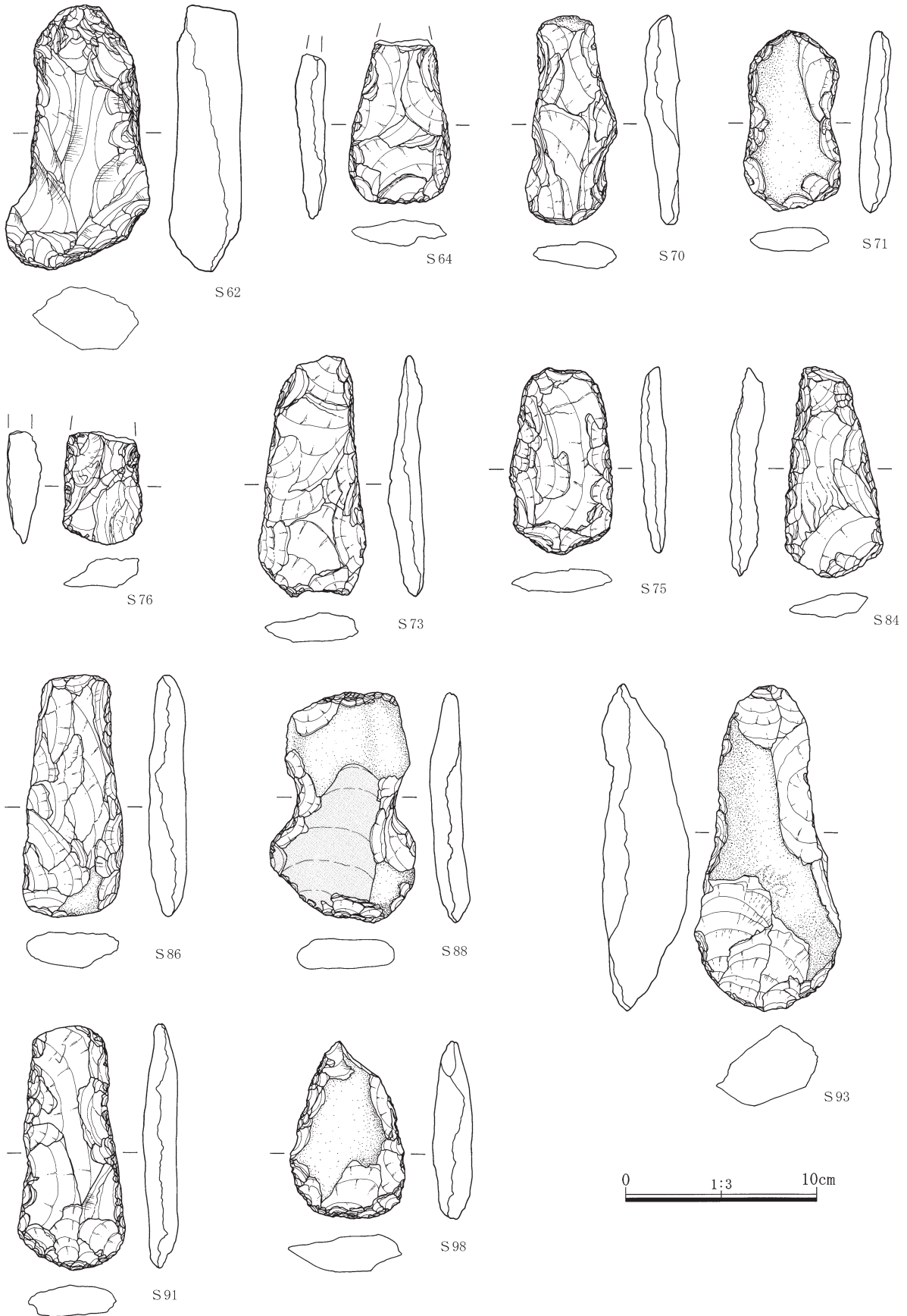


第6章第163図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(9)

第6章 IV区の調査

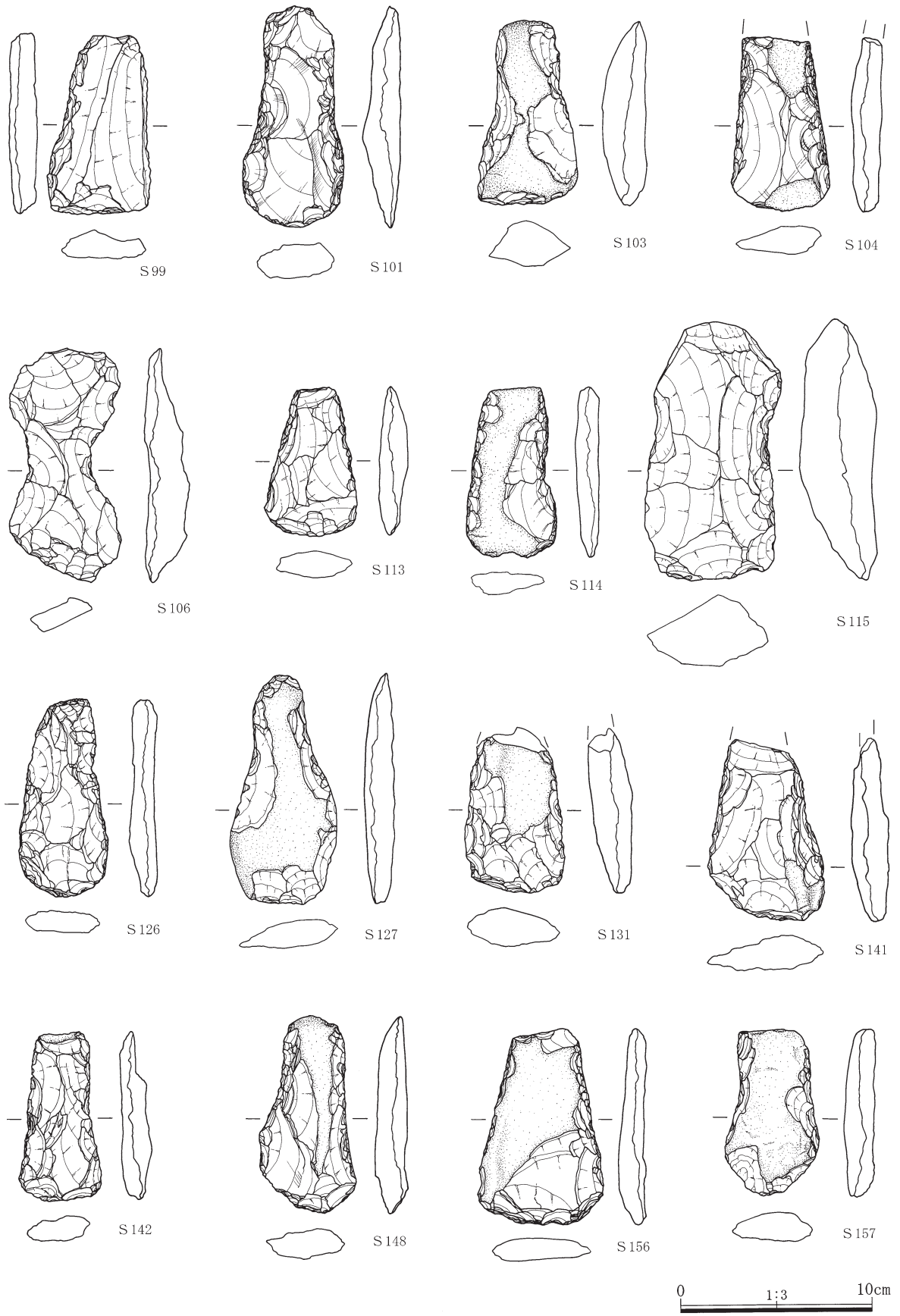


第6章第164図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(10)

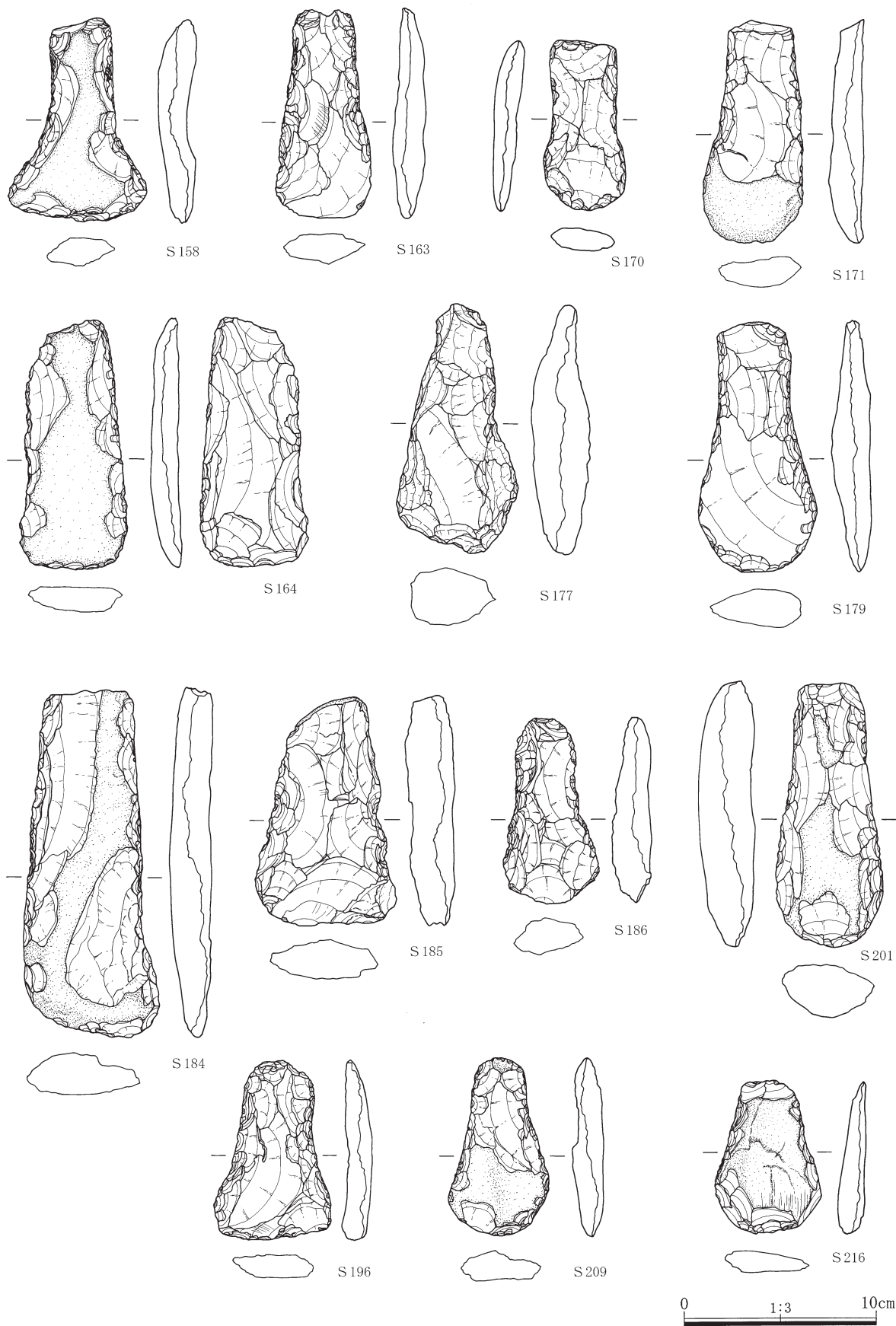


第6章第165図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)

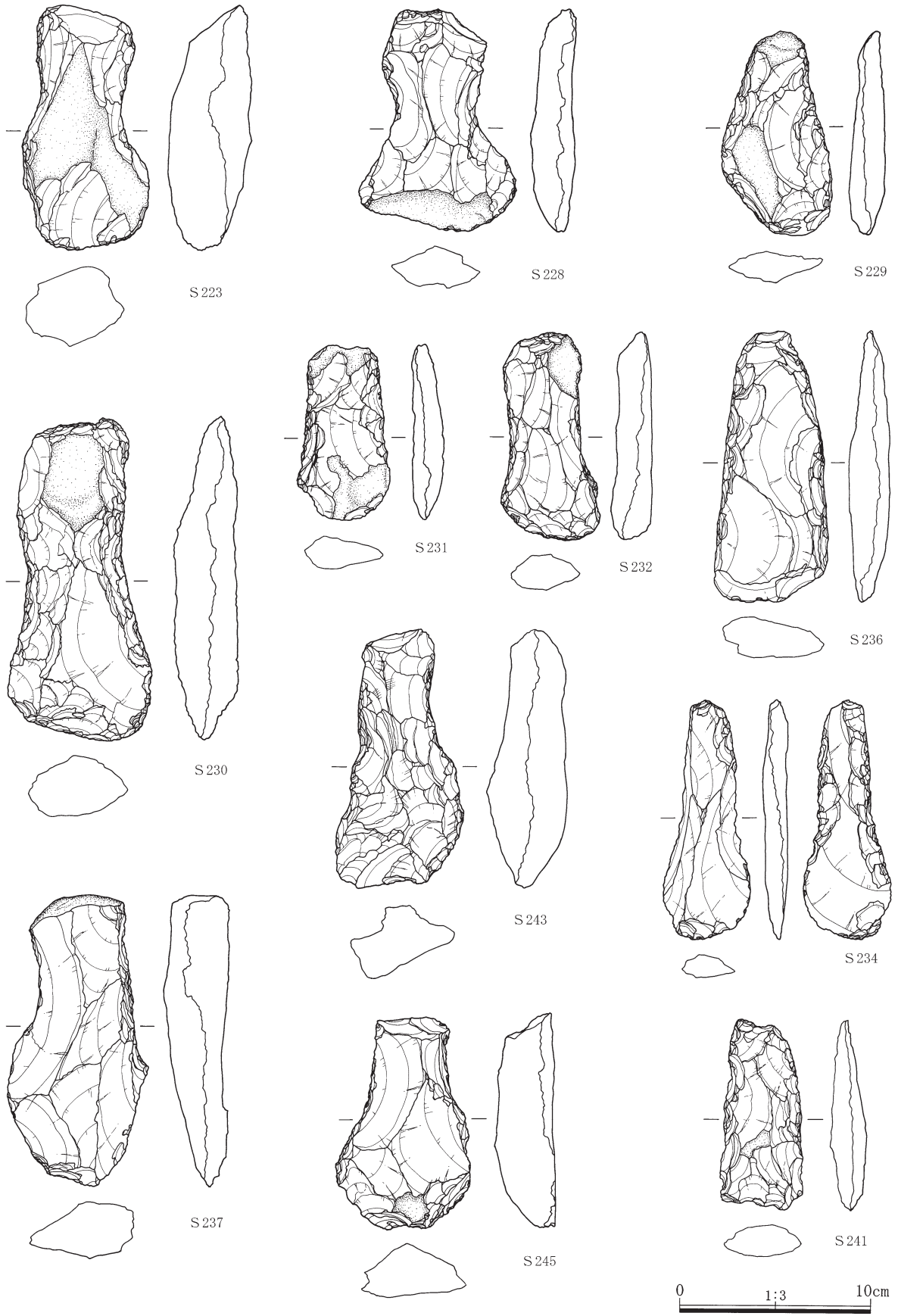
第6章 IV区の調査



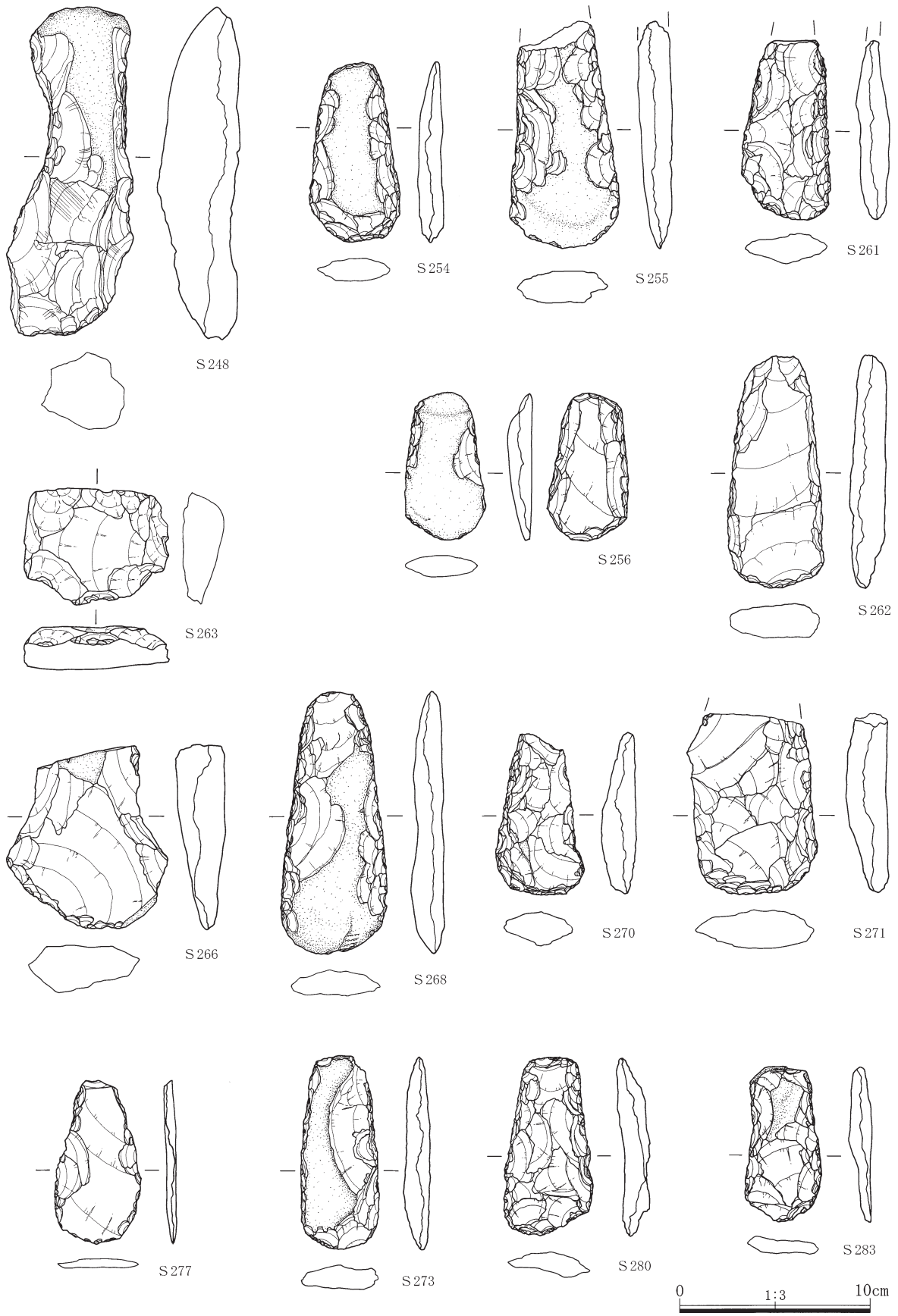
第6章第166図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(12)



第6章第167図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(13)



第6章第168図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(14)



第6章第169図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(15)

第6章 IV区の調査

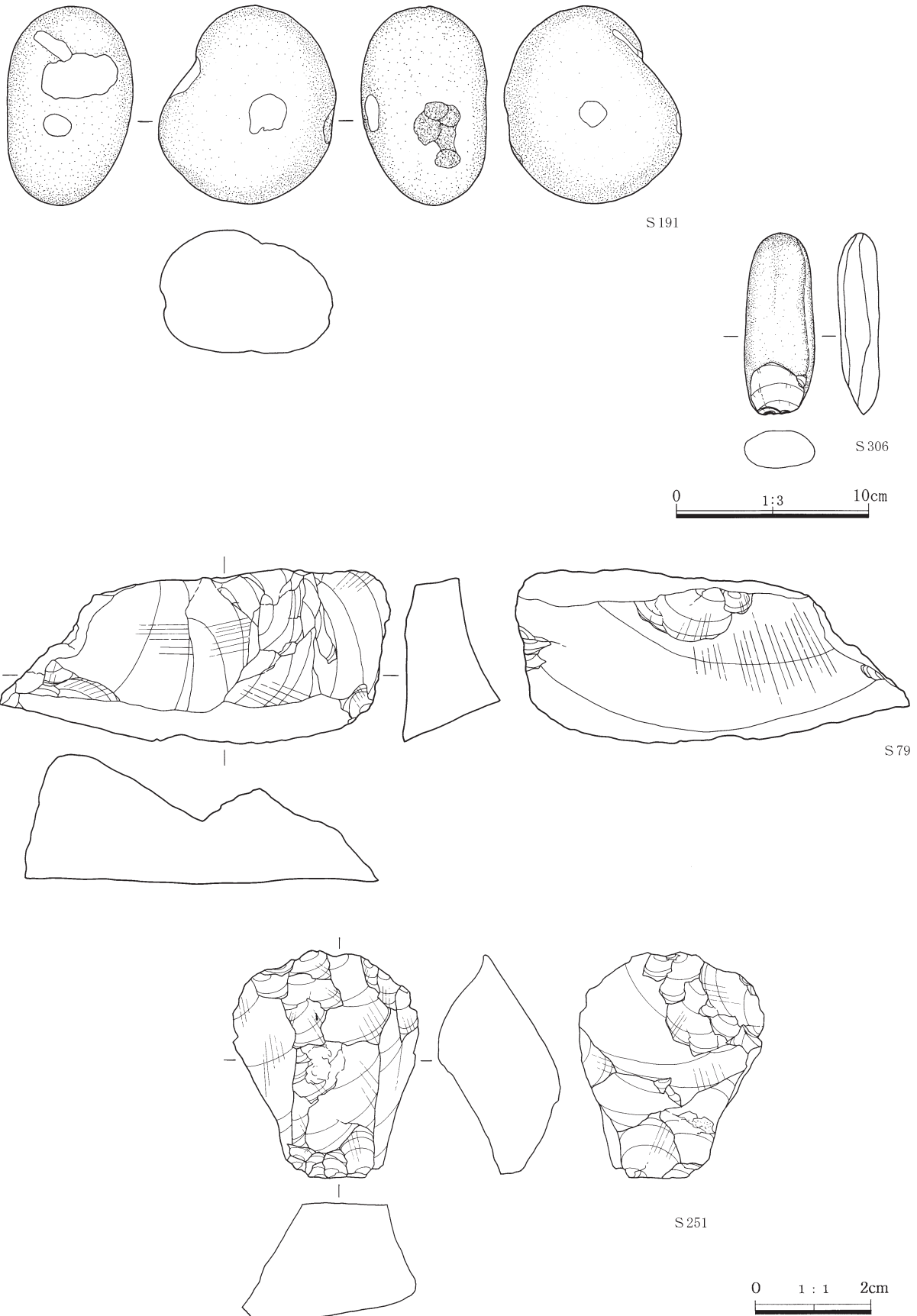


第6章第170図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(16)

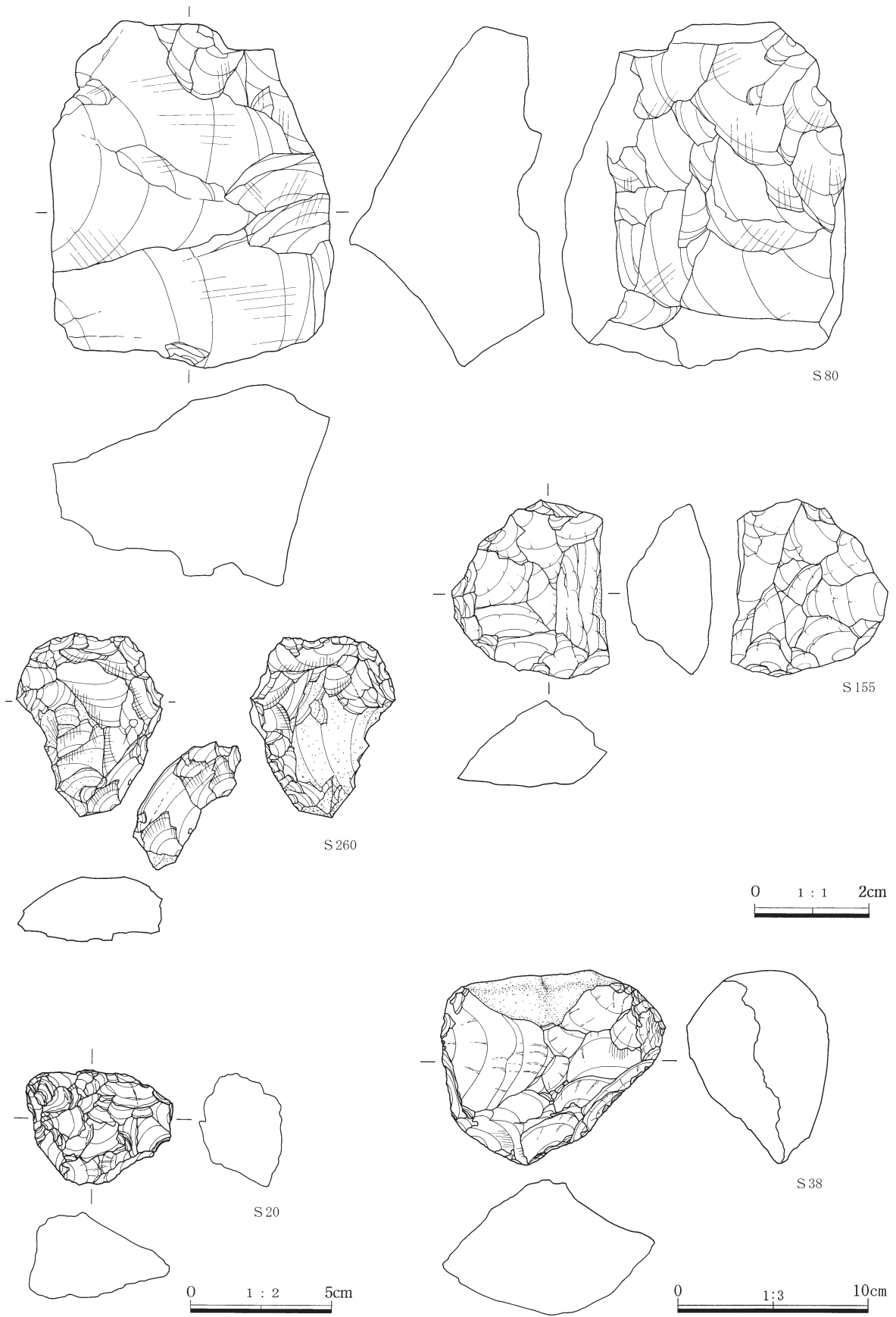


第6章第171図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(17)

第6章 IV区の調査

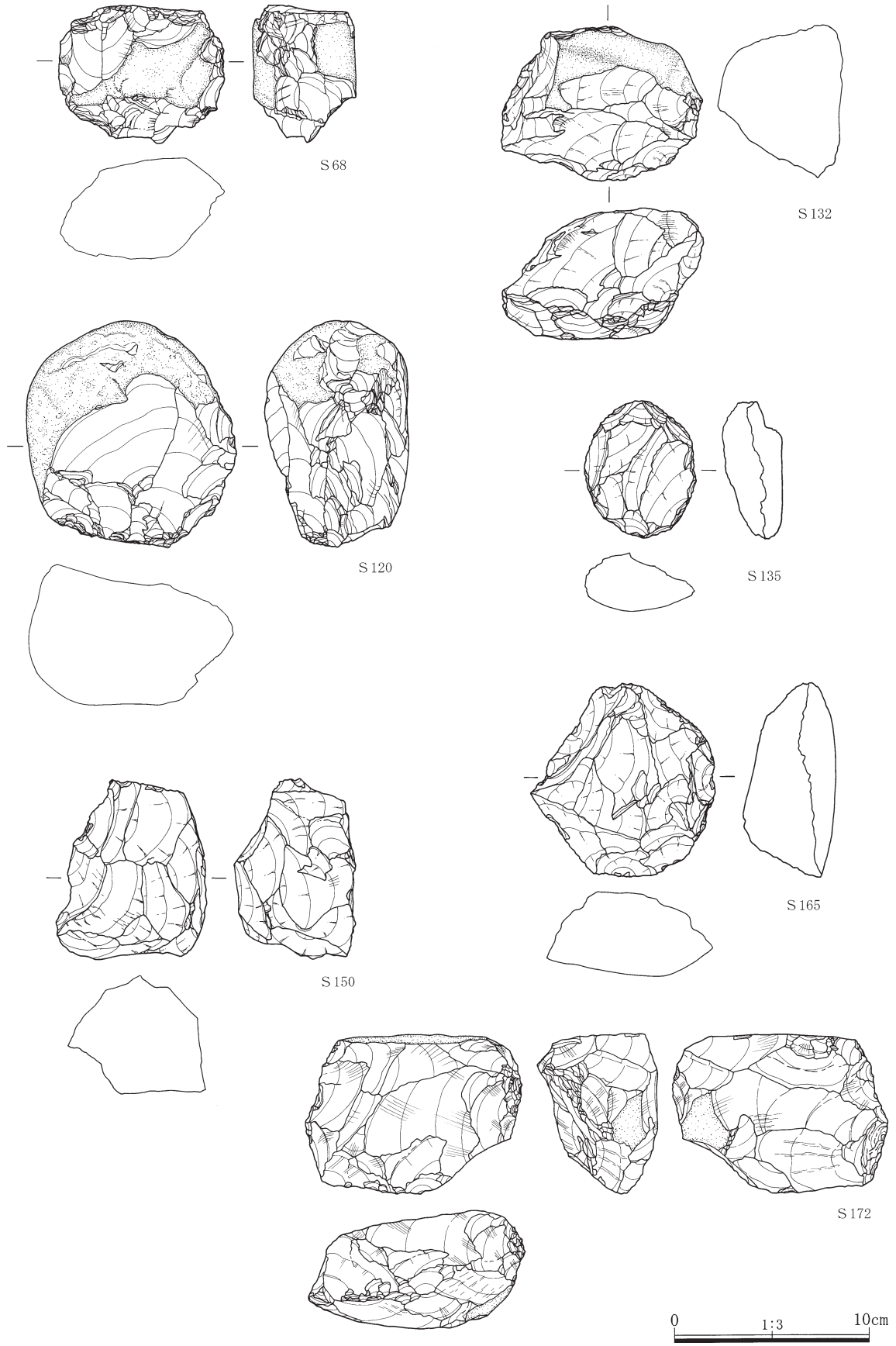


第6章第172図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(18)

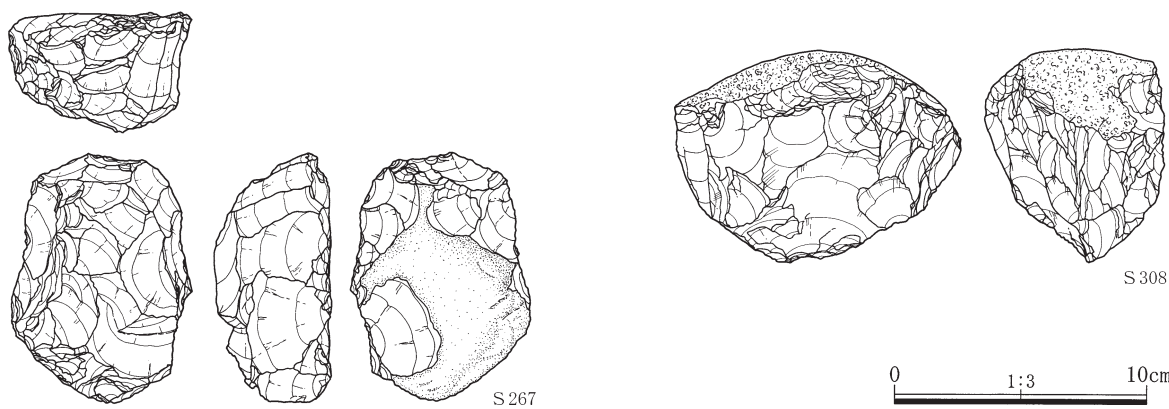
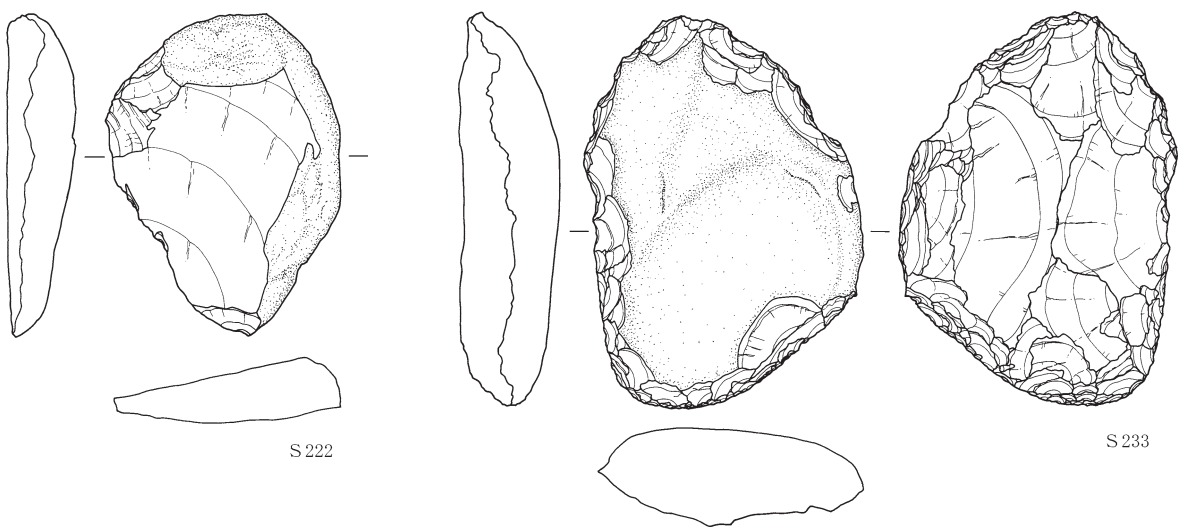
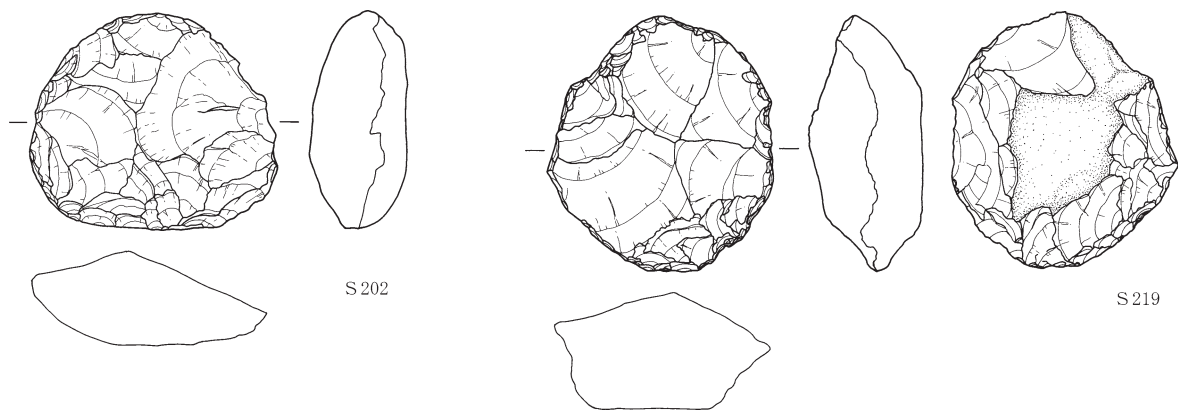


第6章第173図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(19)

第6章 IV区の調査

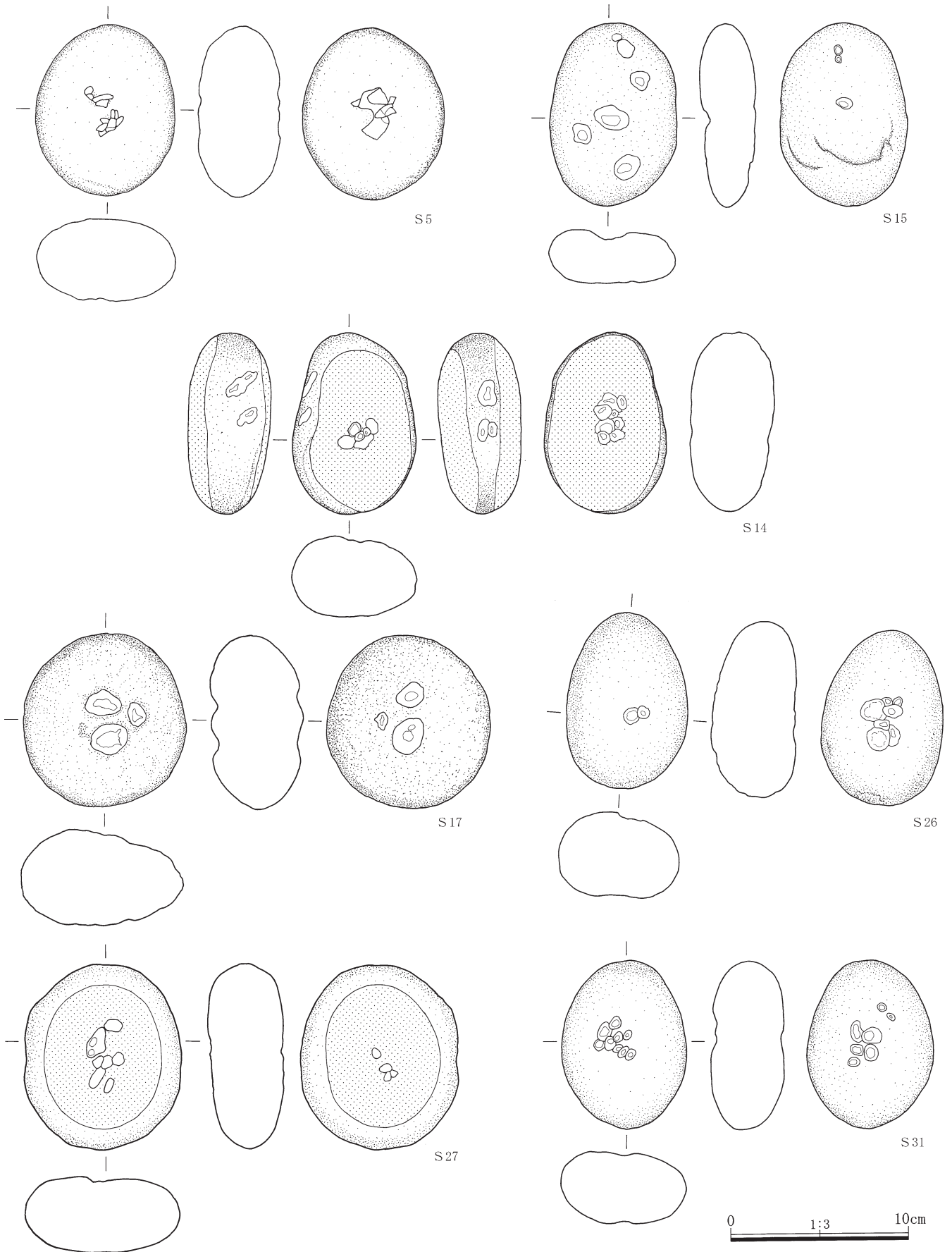


第6章第174図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(20)

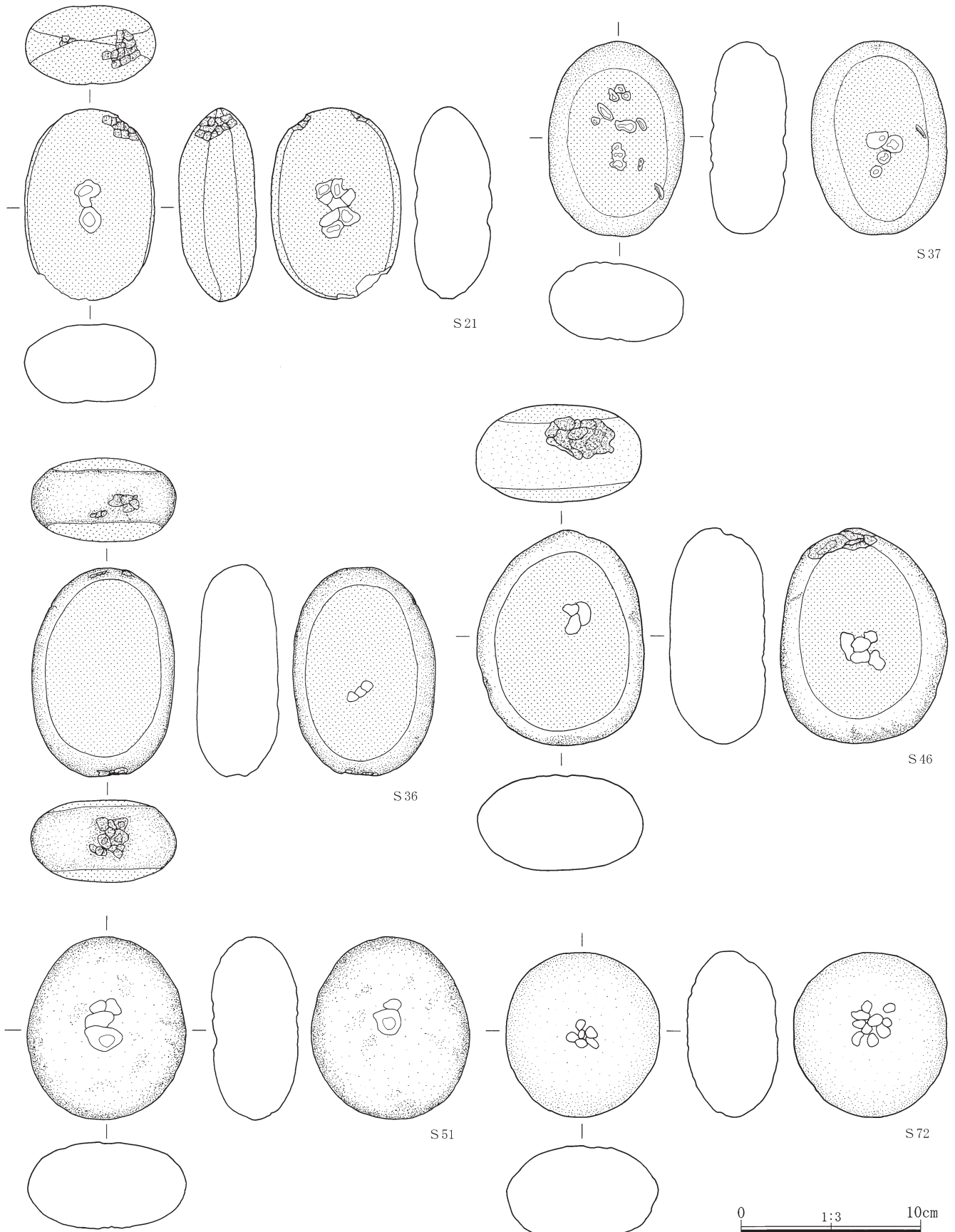


第6章第175図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)

第6章 IV区の調査

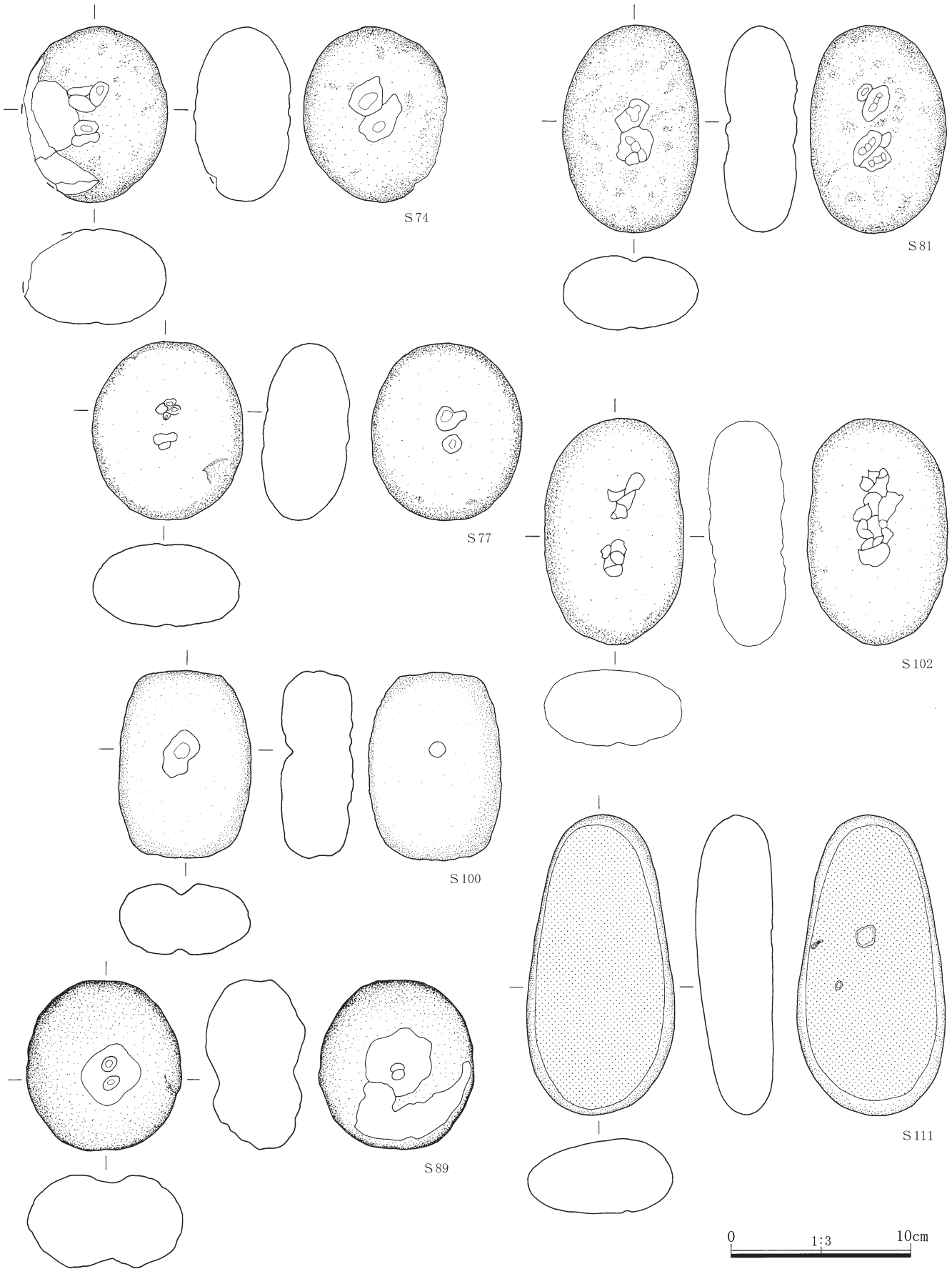


第6章第176図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)

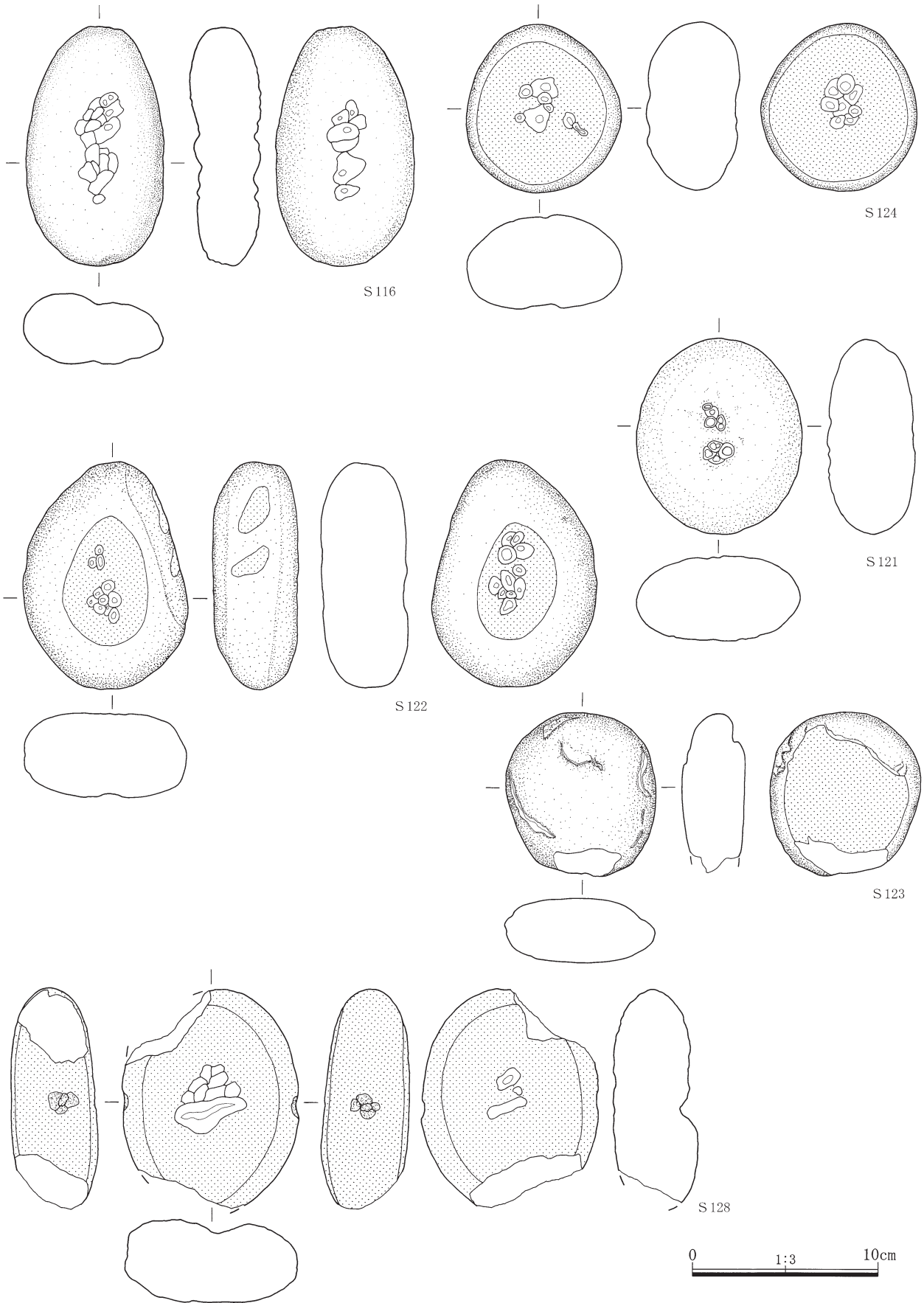


第6章第177図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(23)

第6章 IV区の調査

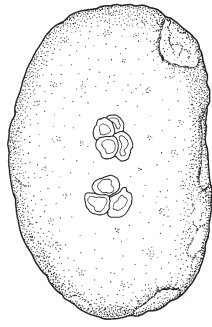
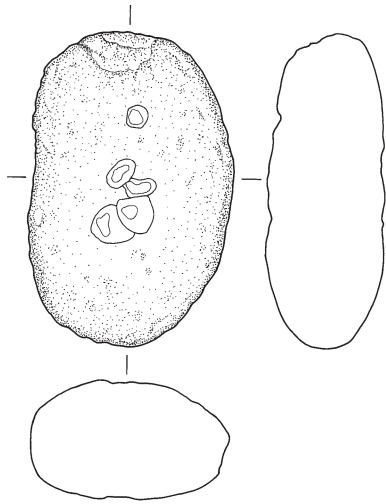


第6章第178図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(24)

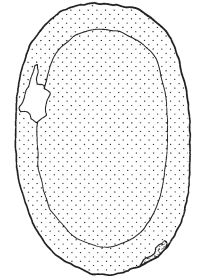
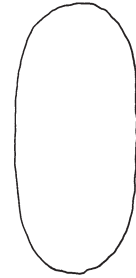
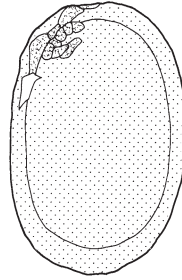
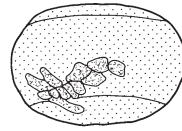


第6章第179図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(25)

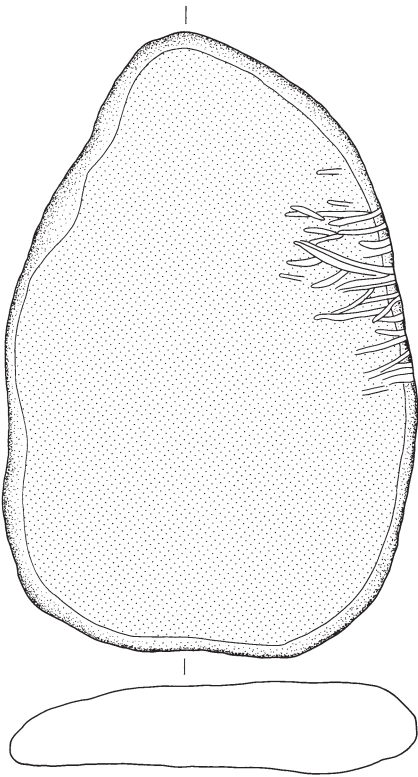
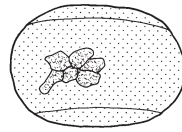
第6章 IV区の調査



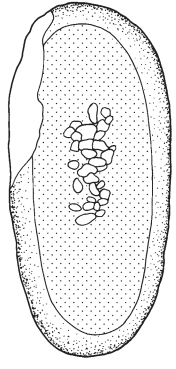
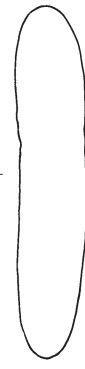
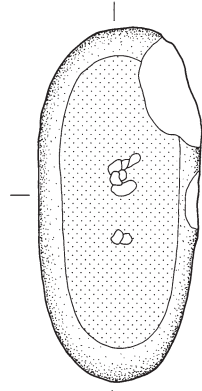
S136



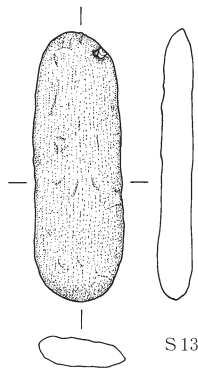
S138



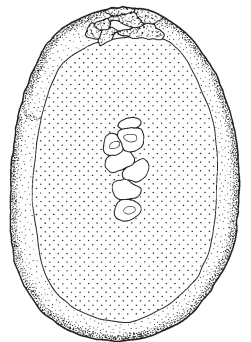
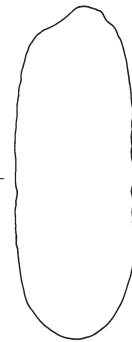
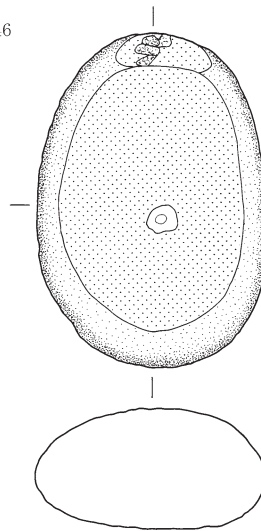
S146



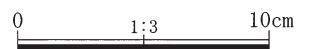
S149



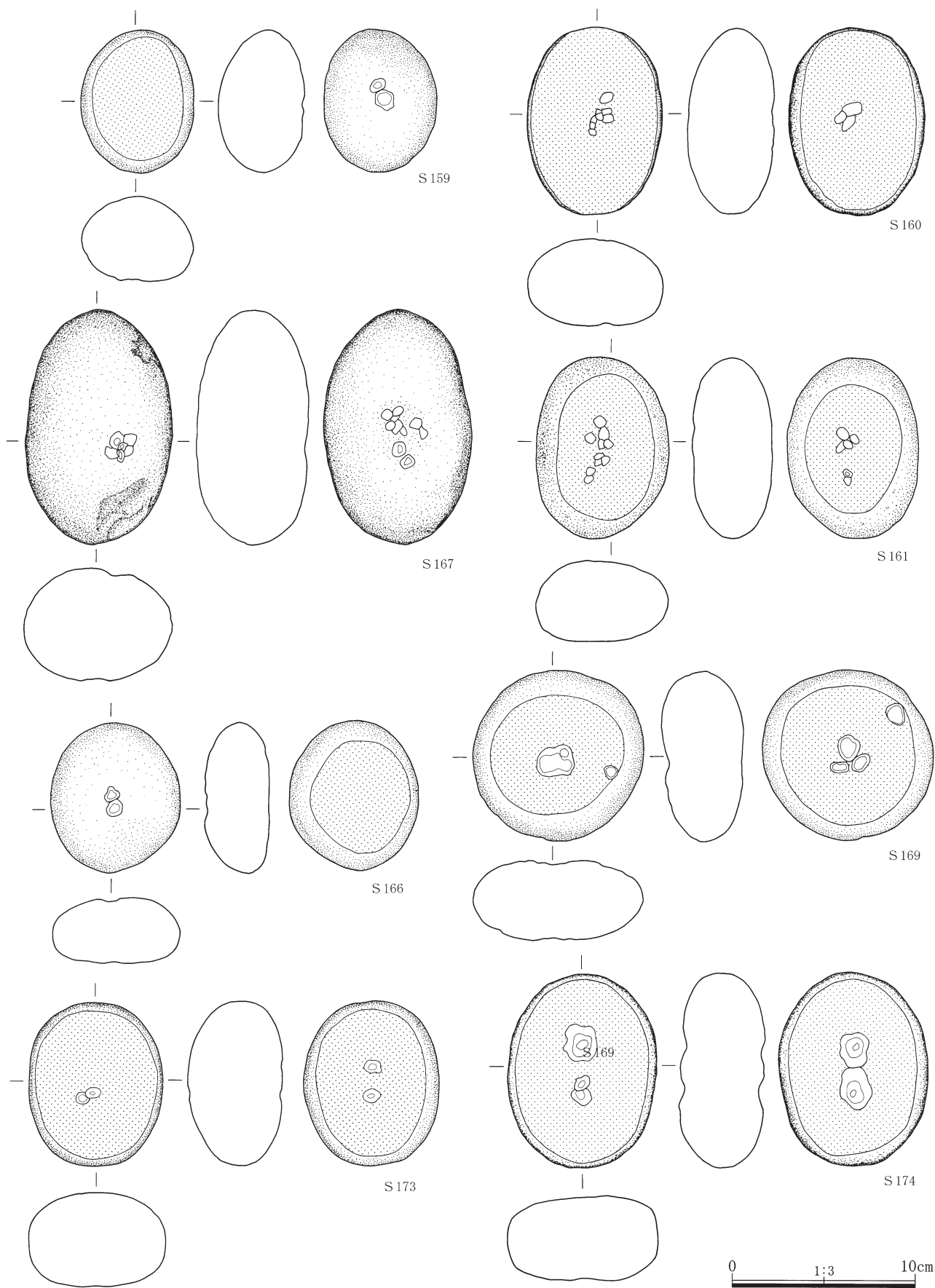
S139



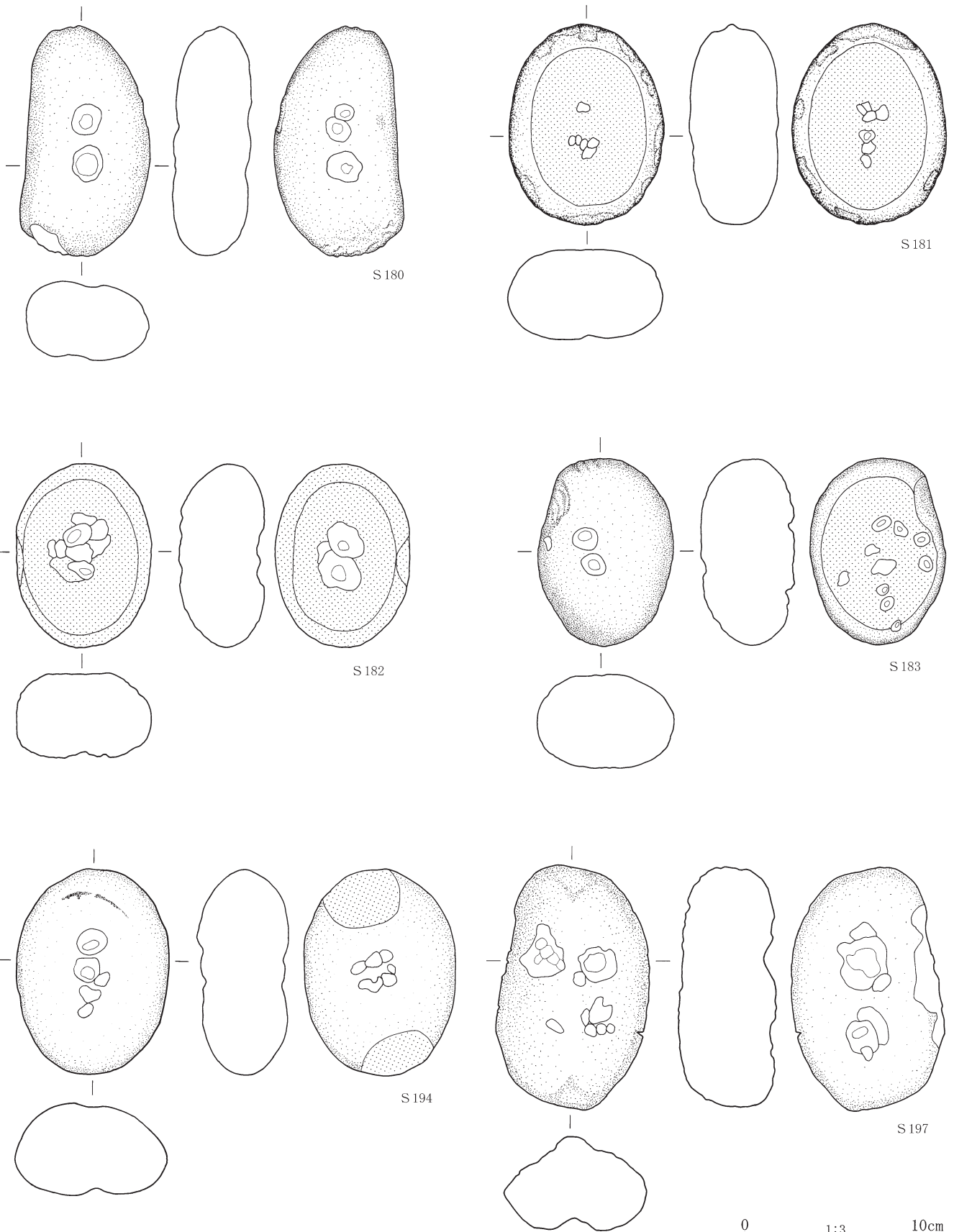
S151



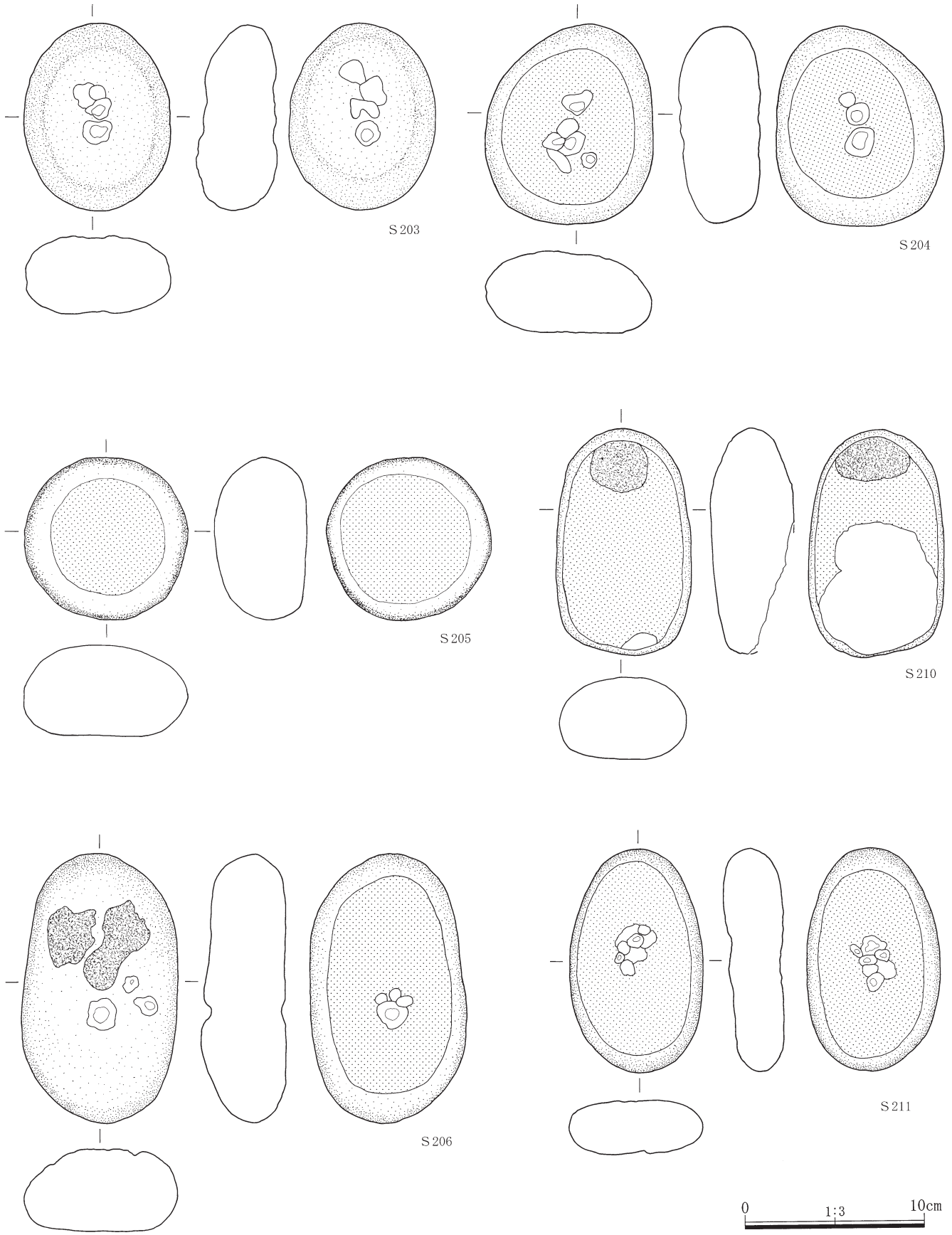
第6章第180図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(26)



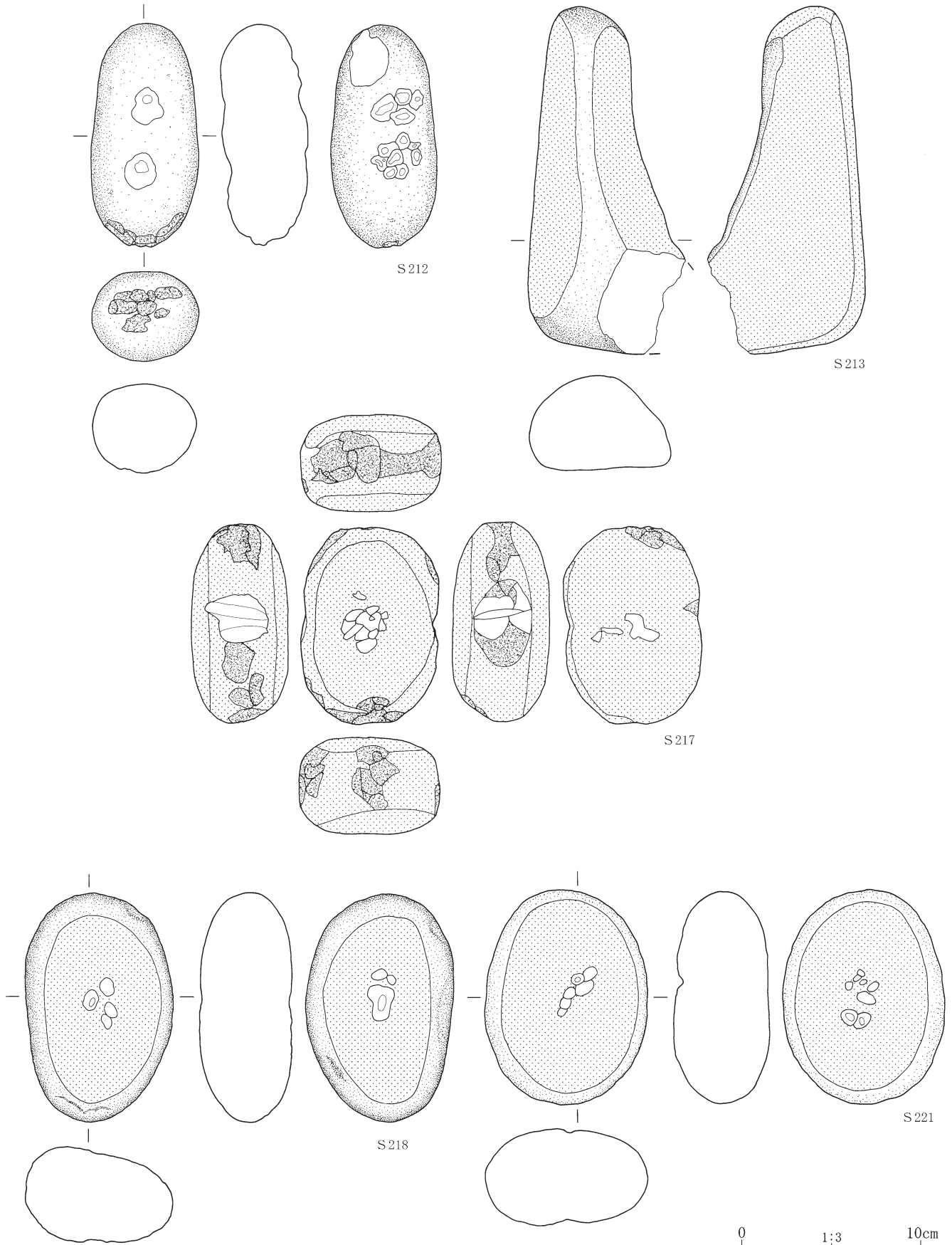
第6章第181図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(7)



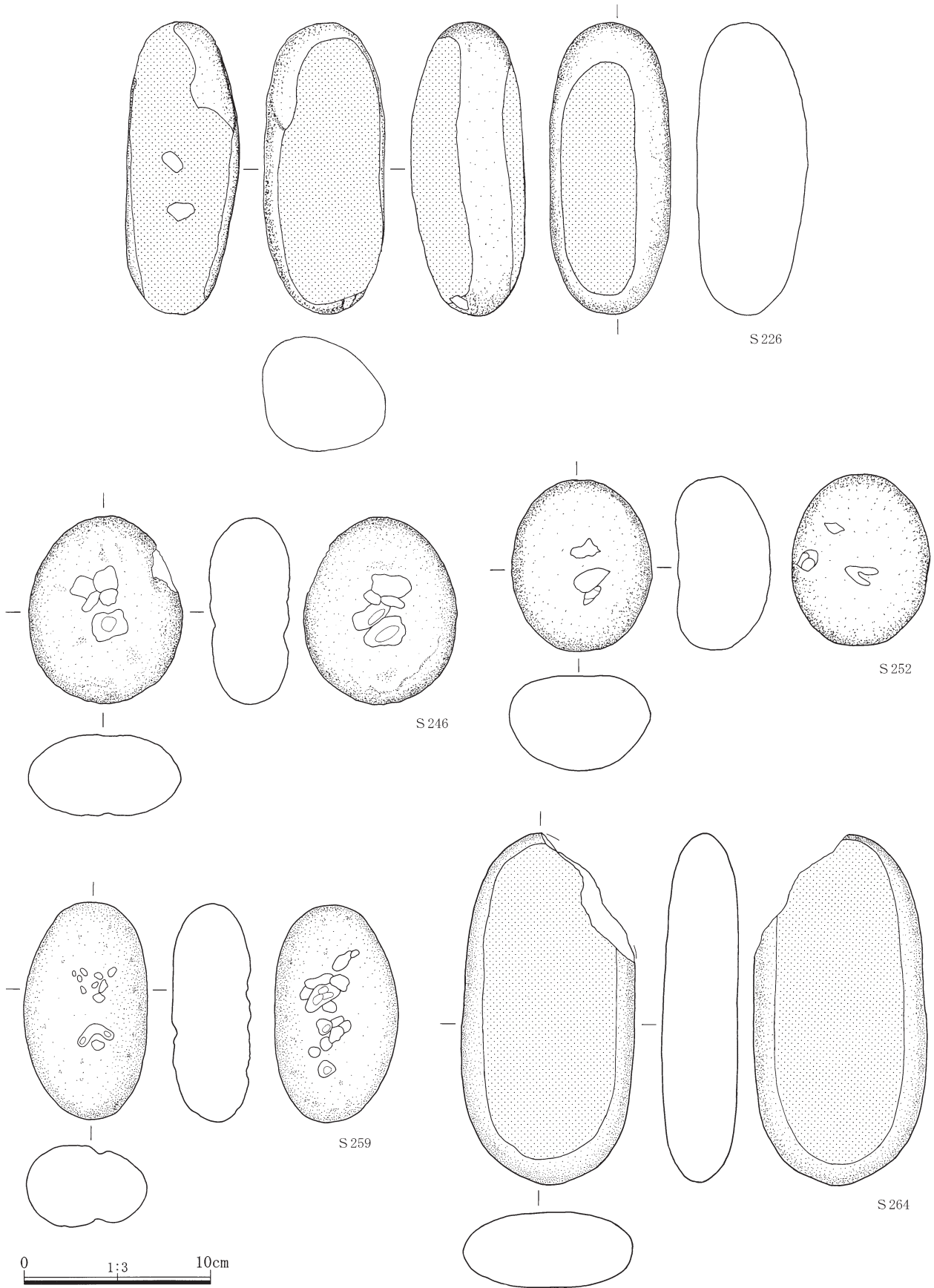
第6章第182図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(28)



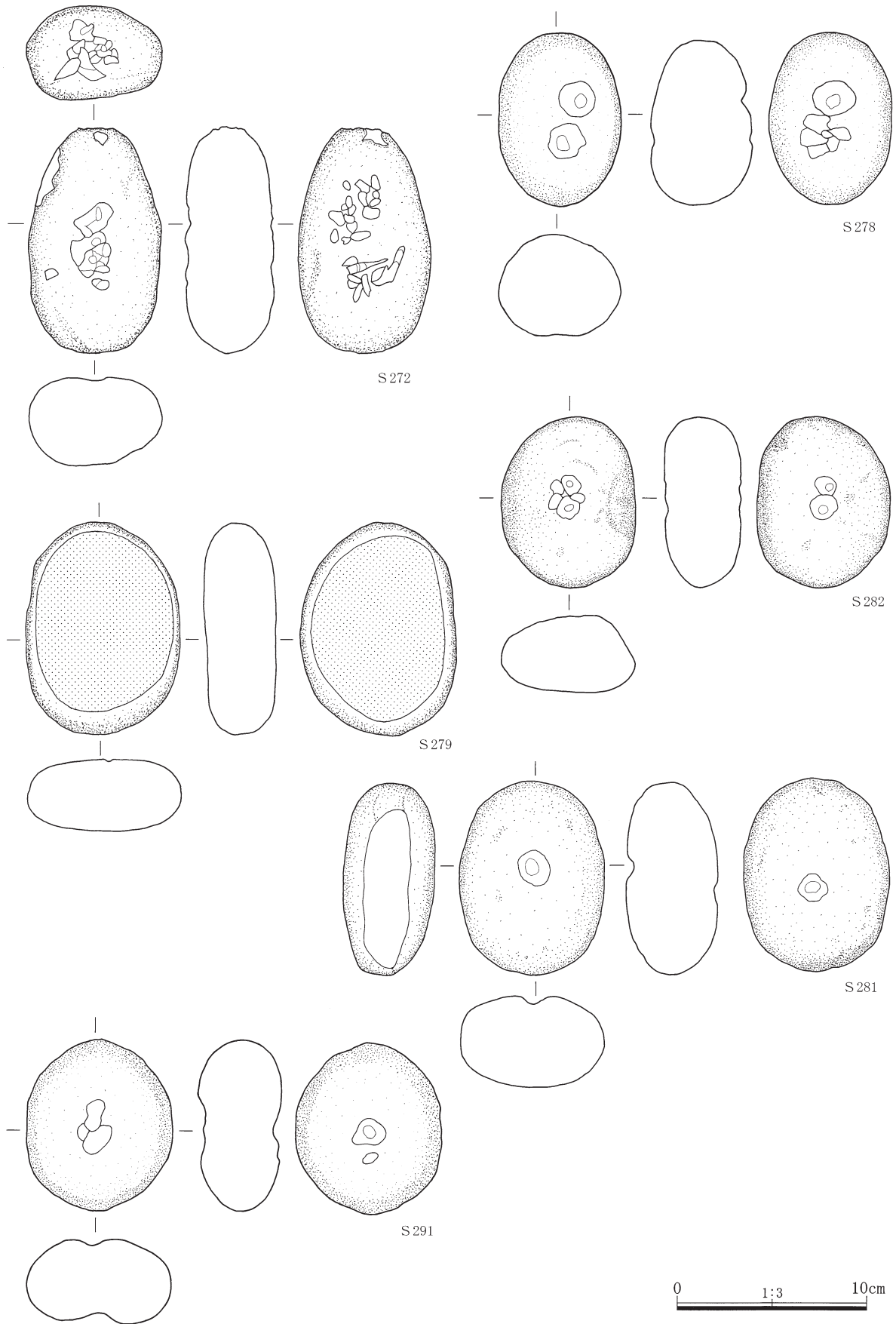
第6章第183図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(29)



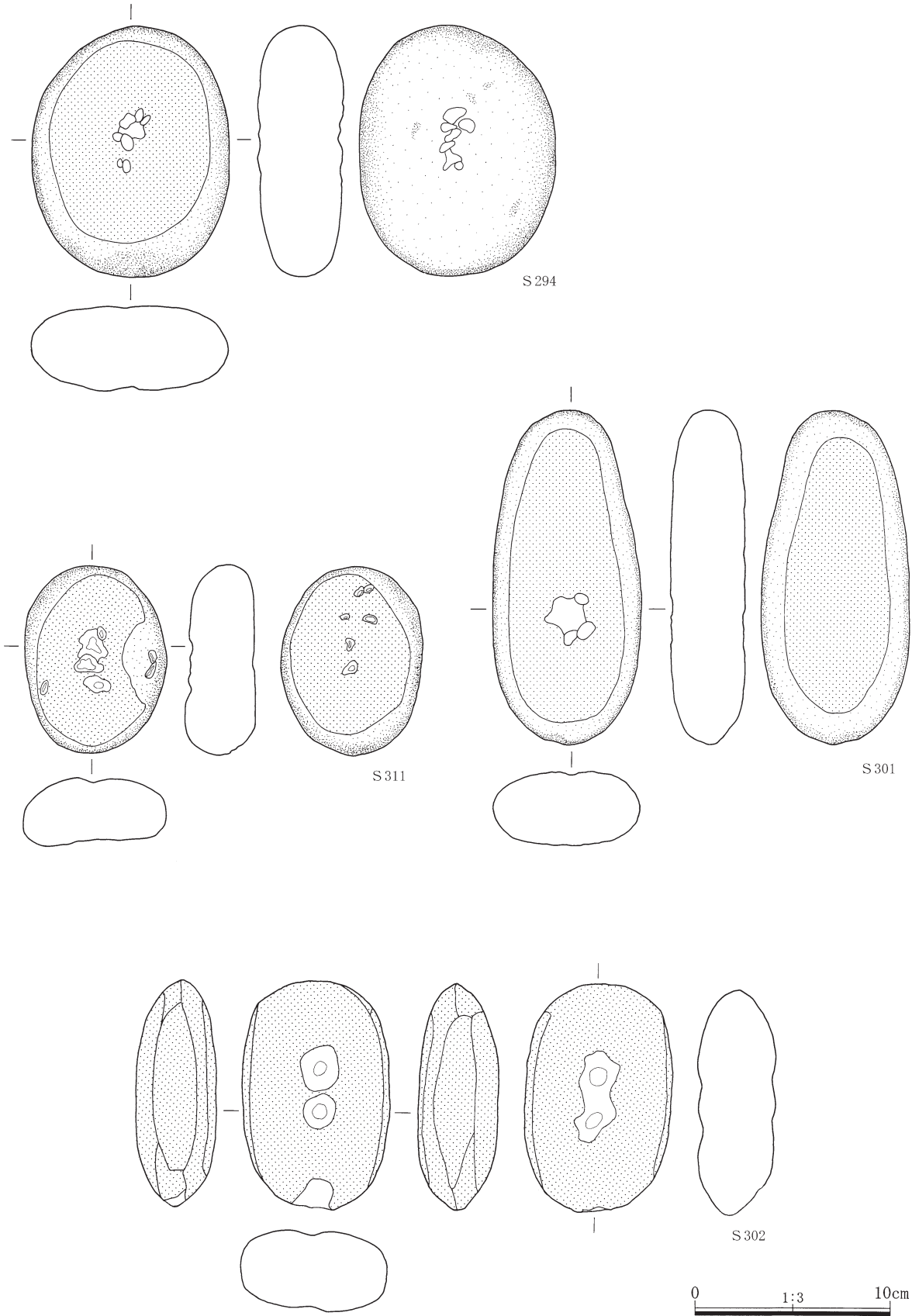
第6章第184図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(30)



第6章第185図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(31)

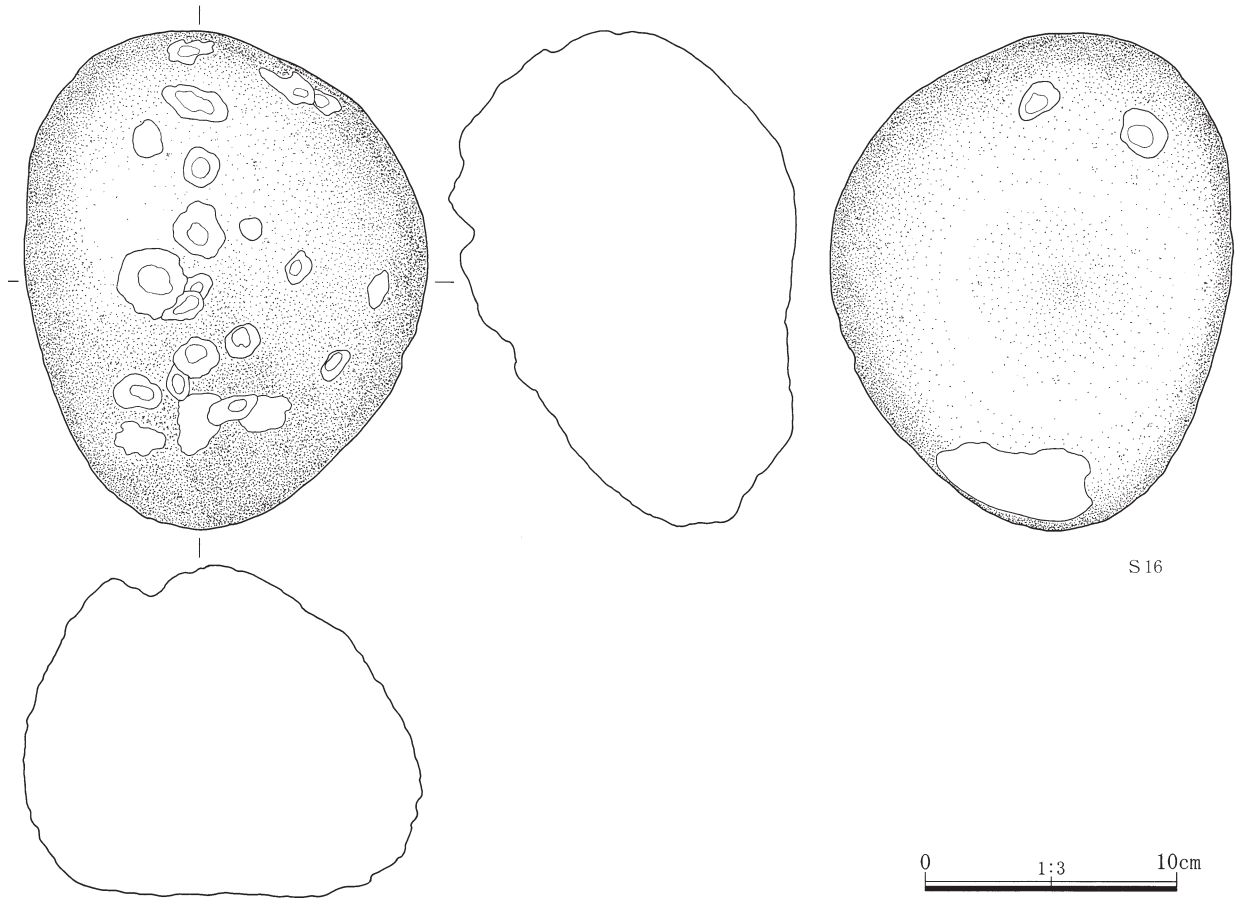


第6章第186図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(32)

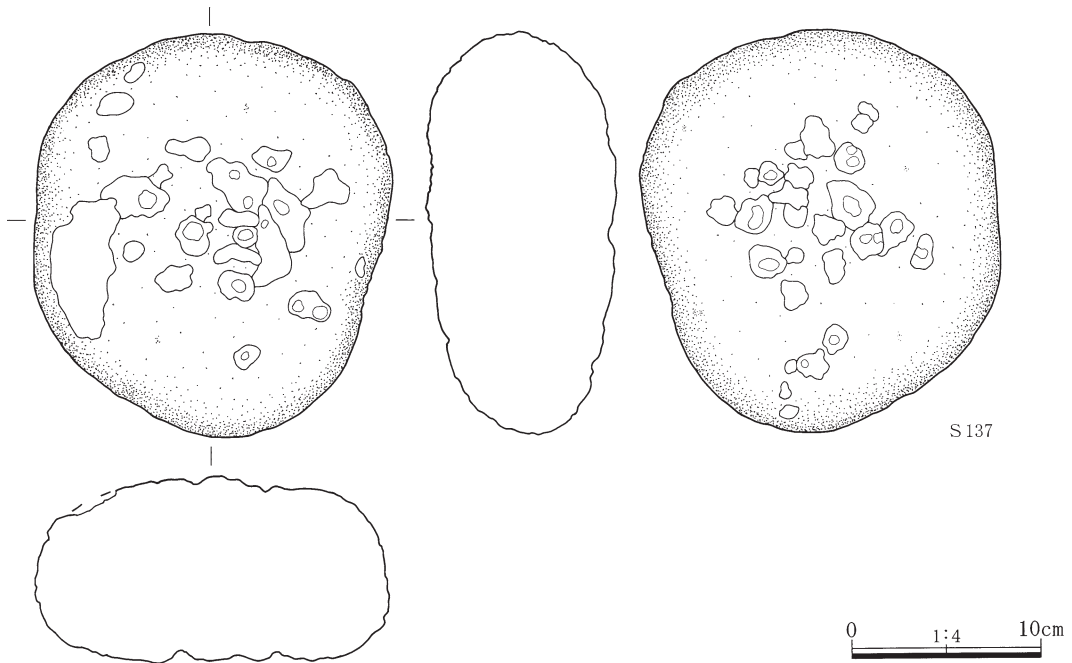


第6章第187図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(33)

第6章 IV区の調査

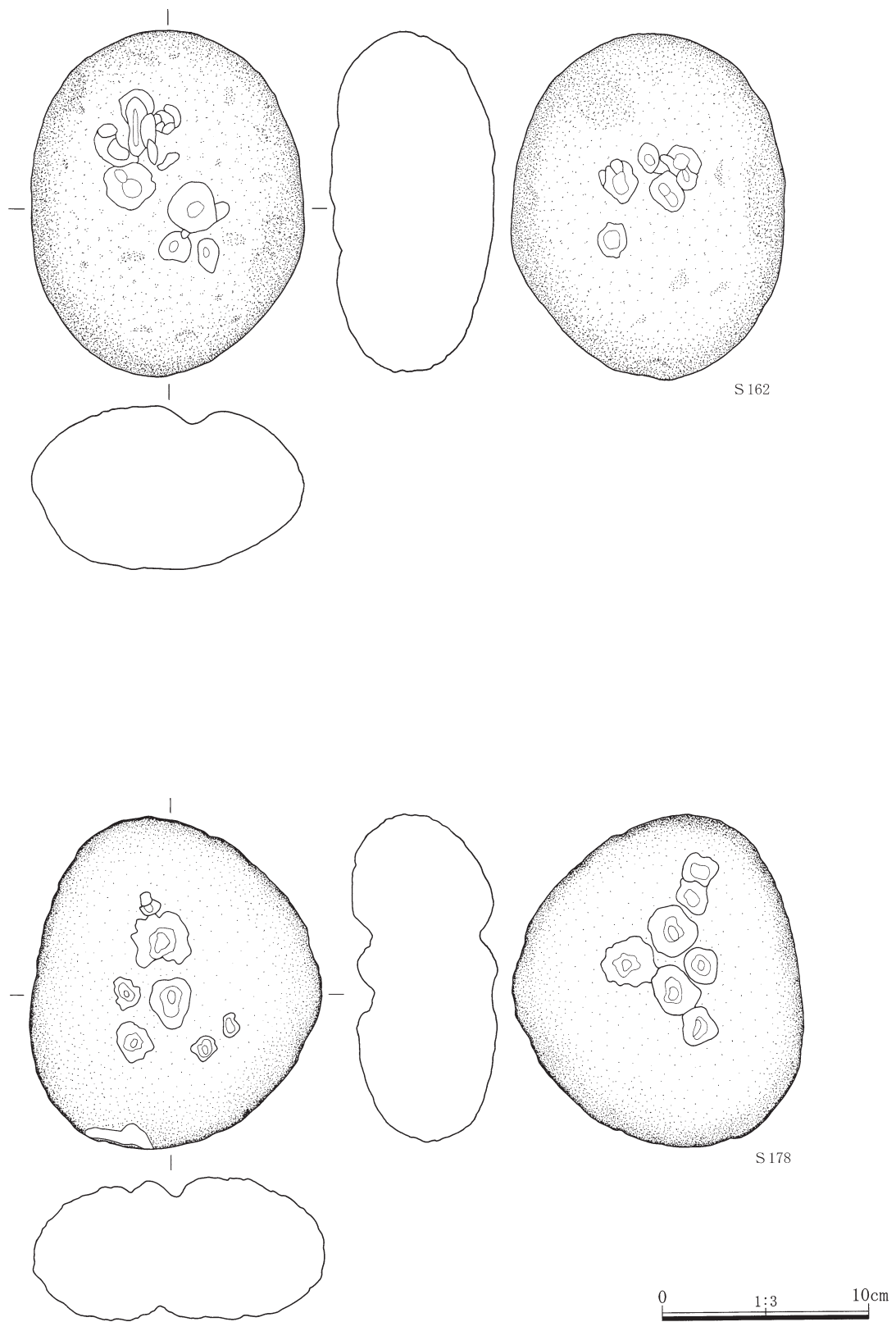


S16

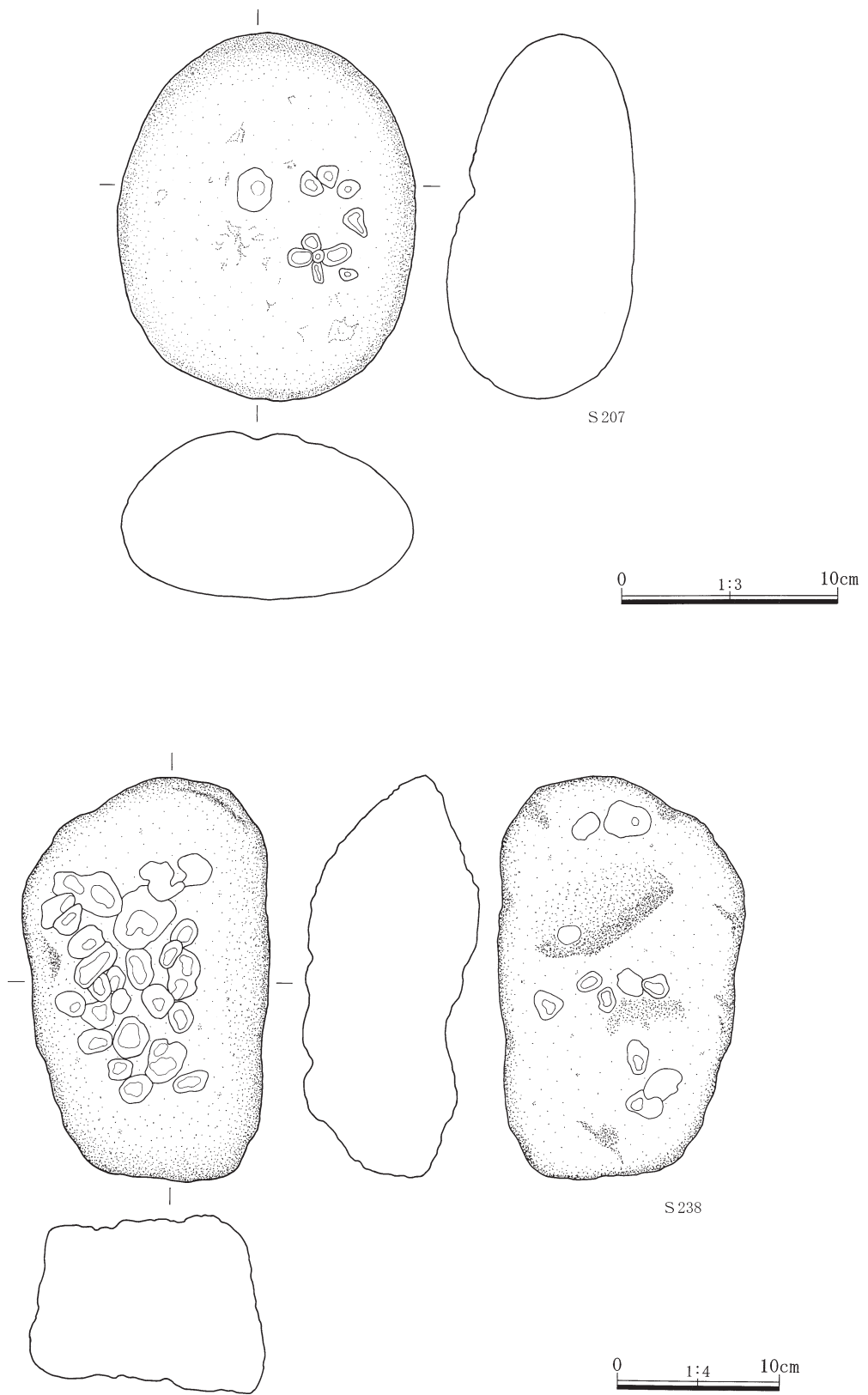


S137

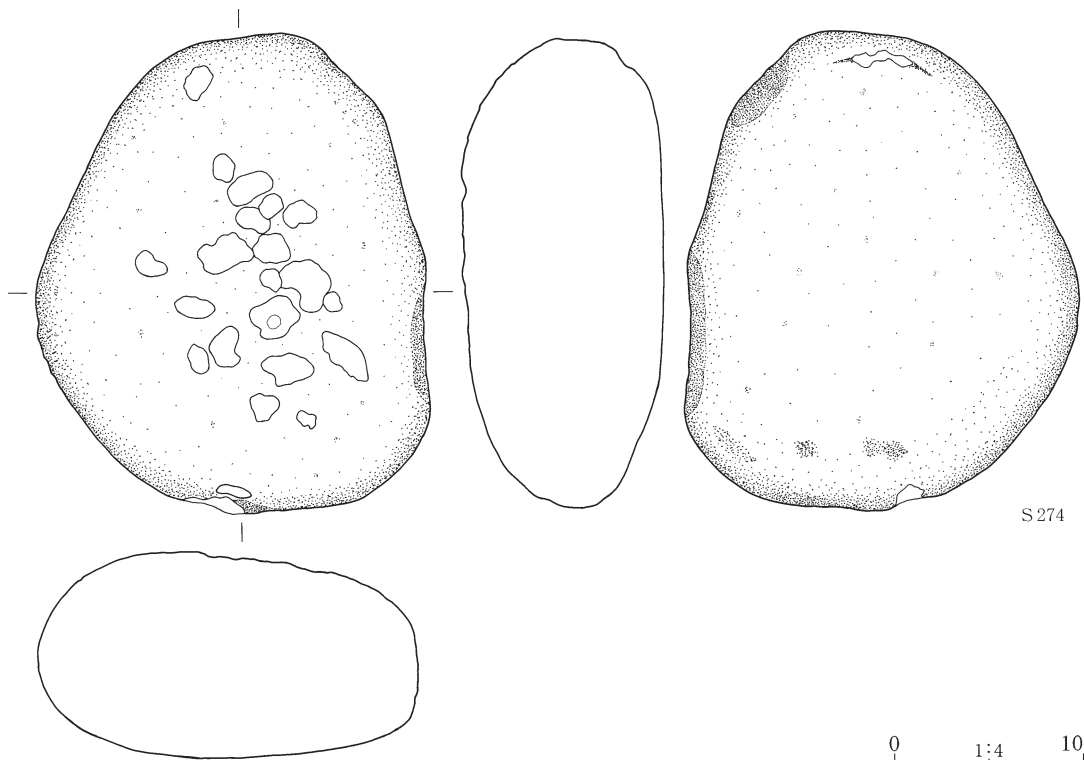
第6章第188図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(34)



第6章第189図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(35)

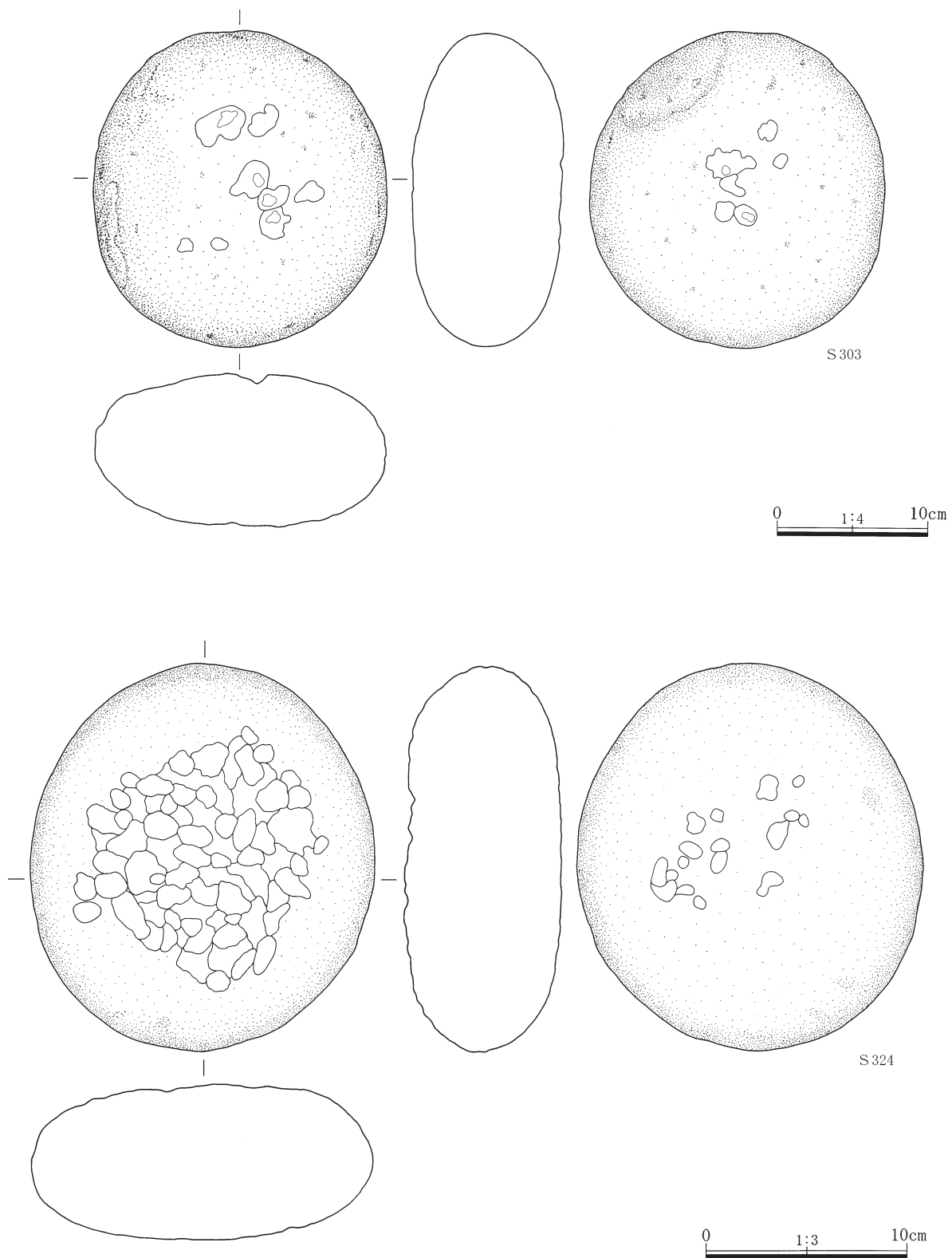


第6章第190図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(36)

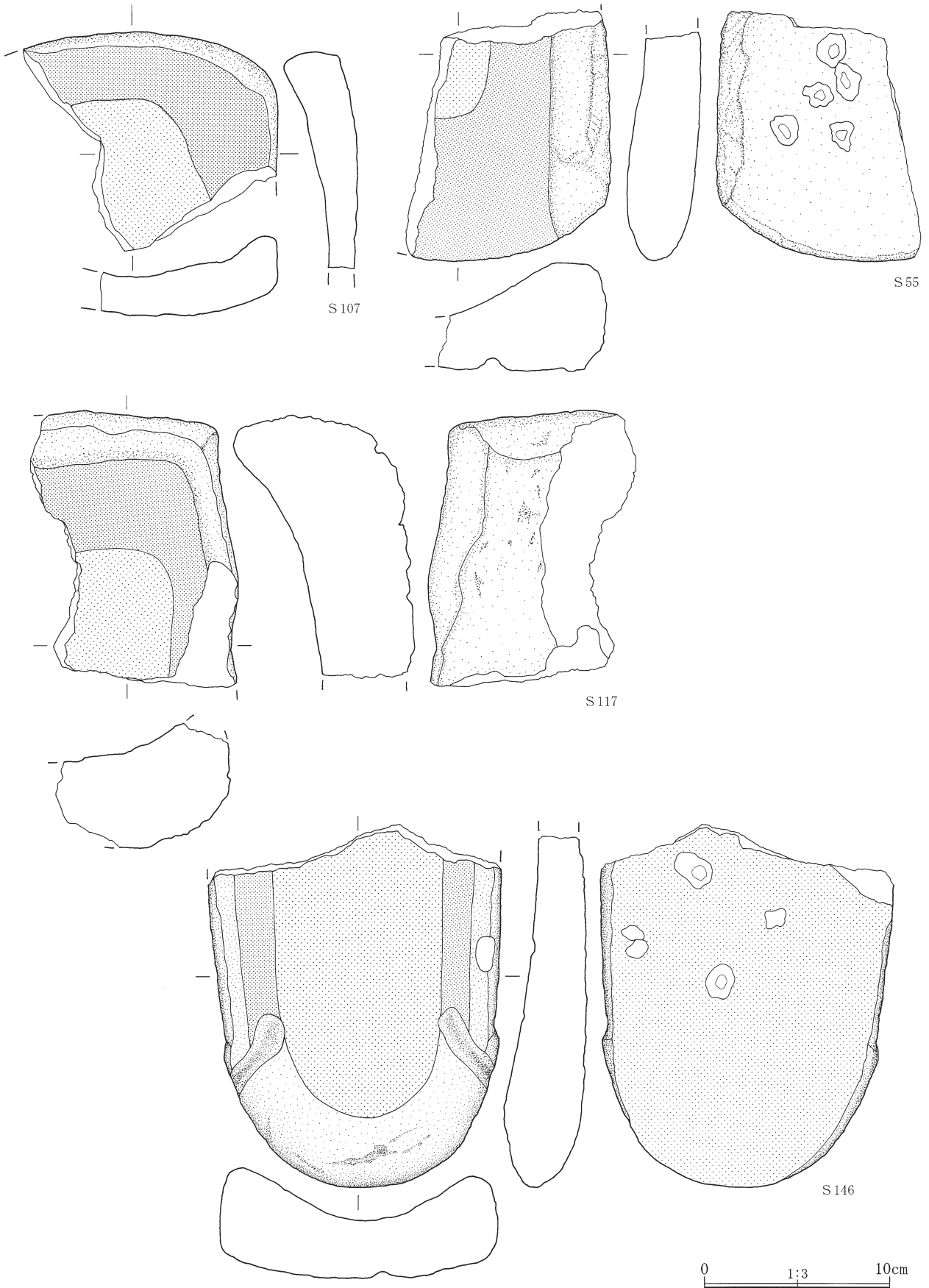


0 1:4 10cm

第6章第191図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(37)

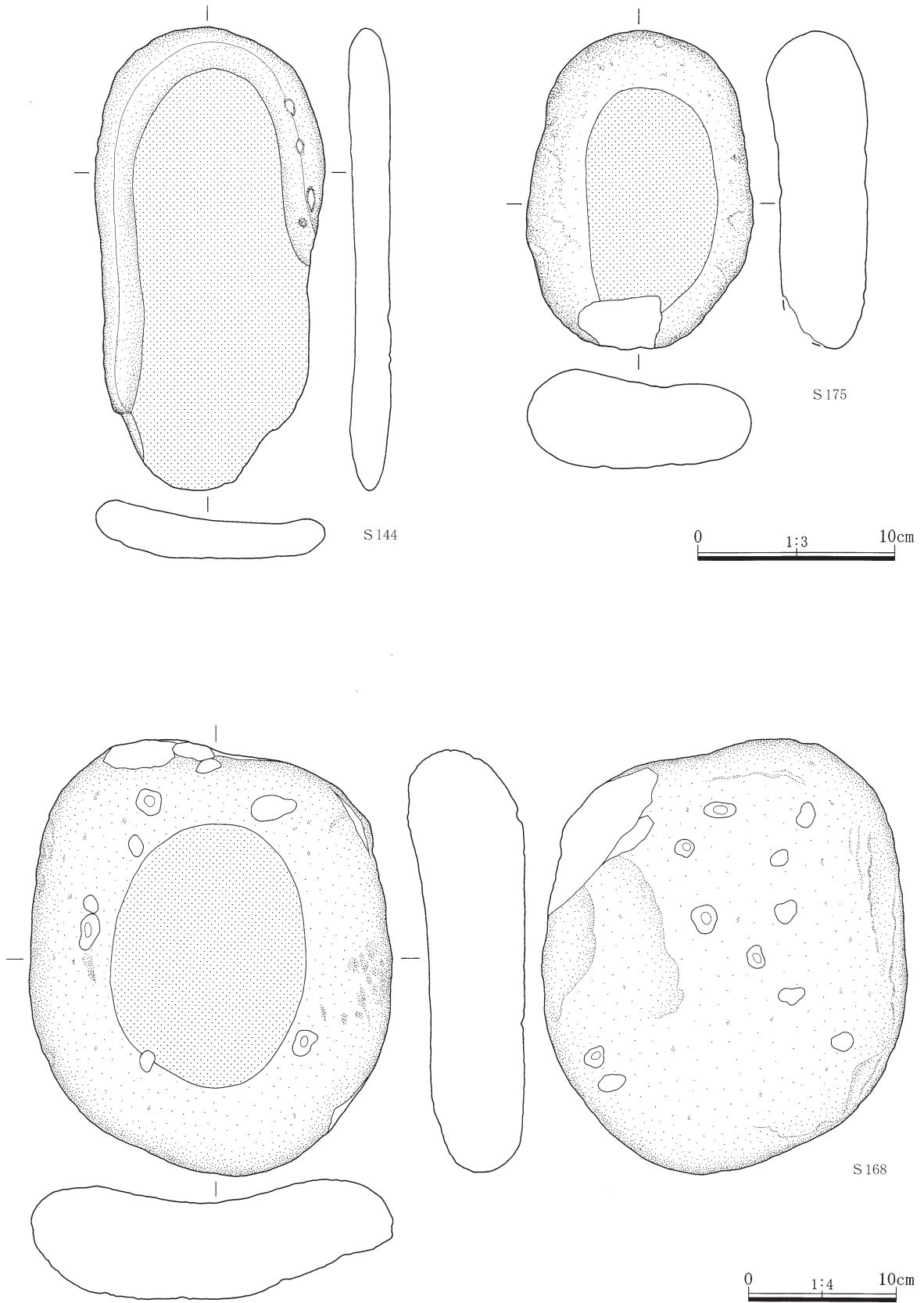


第6章第192図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(38)

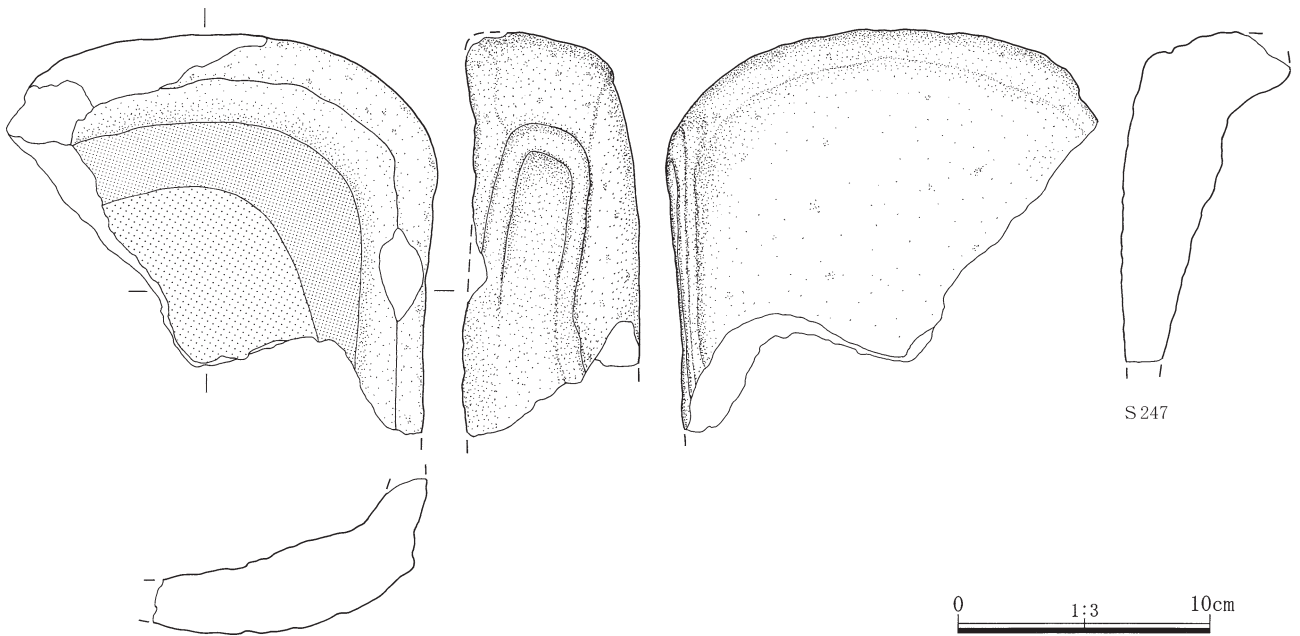
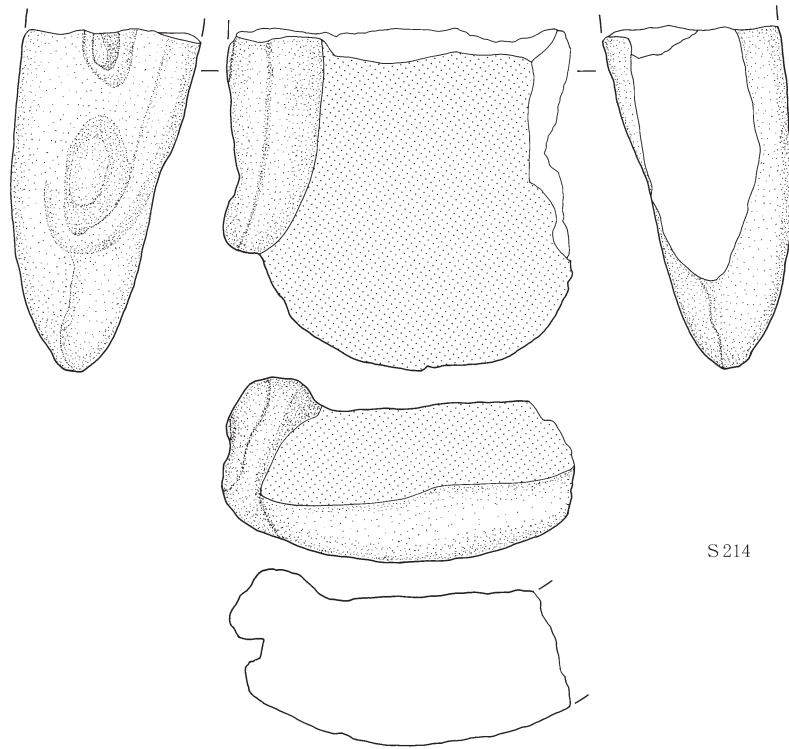


第6章第193図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(39)

第6章 IV区の調査

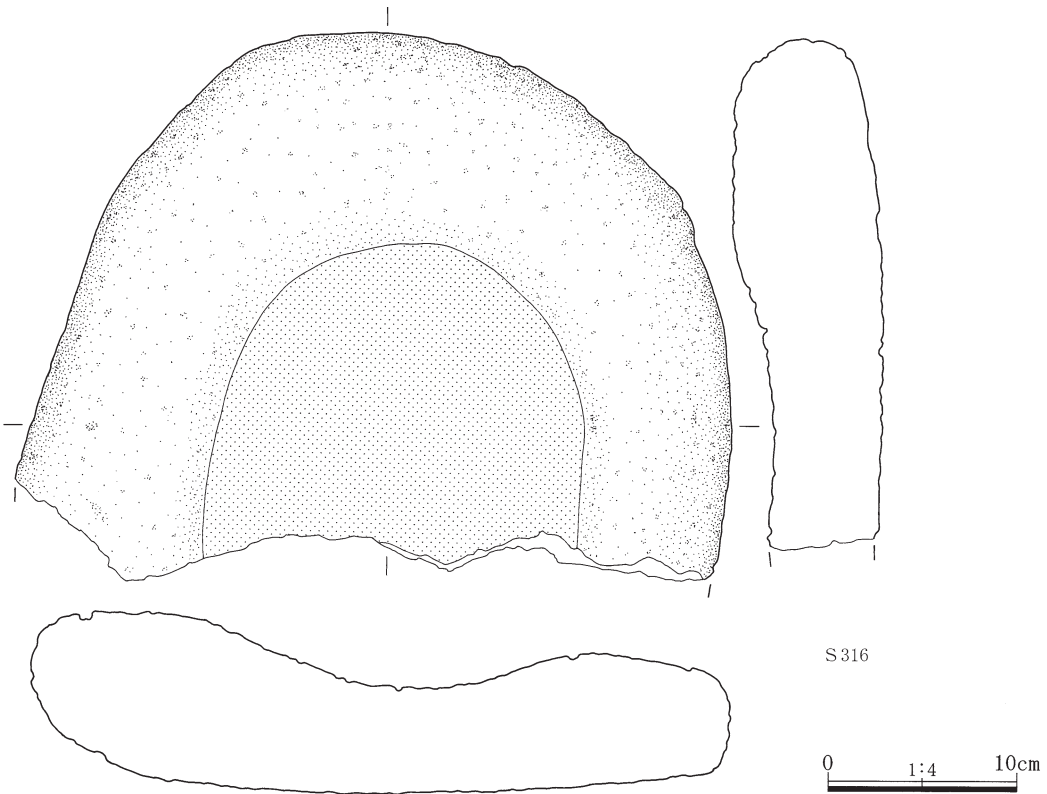


第6章第194図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(40)



0 1:3 10cm

第6章第195図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(4)



第6章第196図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(42)

第6章表66 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器観察表 (第6章第155~196図、PL. 83~102)

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	Db-40G	Ⅶ層	石匙	完形	0.63	0.48	0.90	27.70	黒色頁岩	—	縦型石匙。左右非対称型。
S 2	Db-40G	Ⅶ層	打製石斧	完形	9.60	4.45	1.35	62.00	変質玄武岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。1面に表面残存。
S 3	Db-40G	Ⅶ層	打製石斧	完形	9.85	3.30	1.35	41.00	変質玄武岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S 4	Db-41G	Ⅶ層	打製石斧	完形	7.70	4.60	1.40	66.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 5	Db-41G	Ⅶ層	凹石	完形	9.60	7.80	4.50	505.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 6	Dc-40G	—	石鏃	一部欠損	1.70	1.25	0.35	0.43	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 7	Dc-40G	—	石鏃	一部欠損	1.60	1.40	0.30	0.51	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 8	Dc-40G	—	石鏃	一部欠損	1.80	1.40	0.30	0.75	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。平基。
S 9	Dc-40G	—	石鏃	一部欠損	2.30	1.90	0.50	1.13	チャート	チャート	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 10	Dc-40G	—	石匙?	下半部欠損	(2.00)	2.04	0.32	1.20	黒曜石	黒曜岩	縦型石匙の可能性有り。
S 11	Dc-40G	—	石刃	完形	2.20	0.85	0.30	0.45	黒曜石	黒曜岩	—
S 12	Dc-40G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	9.35	4.40	1.10	46.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S 13	Dc-40G	Ⅶ層	打製石斧	完形	9.60	4.70	1.60	87.00	変質玄武岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S 14	Dc-40G	Ⅶ層	磨石・凹石	完形	10.20	6.95	4.50	396.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	磨石基本で凹石としても使用。
S 15	Dc-40G	Ⅶ層	凹石	完形	10.30	7.10	3.10	322.00	溶結凝灰岩	輝石安山岩	2面使用。
S 16	Dc-40G	Ⅶ層	多孔石	完形	19.50	16.00	13.80	4,230.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	4面使用。
S 17	Dc-40G	Ⅸ層	凹石	完形	9.70	9.10	5.30	580.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 18	Dc-41G	Ⅶ層	石鏃	完形	1.50	1.15	0.25	0.42	チャート	チャート	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 19	Dc-41G	Ⅶ層	石鏃	一部欠損	2.00	1.60	0.40	0.99	チャート	チャート	正三角形無茎鏃。凹基。
S 20	Dc-41G	Ⅶ層	石核	完形	5.14	4.20	2.90	61.05	赤碧玉	—	1面に表面残存。
S 21	Dc-41G	Ⅶ層	磨石	ほぼ完形	10.60	7.20	4.30	494.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	磨石基本で凹石・敲石としても使用。
S 22	Dd-40G	Ⅶ層	石鏃	ほぼ完形	1.90	1.50	0.30	0.92	黒色安山岩	細粒凝灰岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 23	Dd-40G	Ⅶ層	石匙	完形	3.40	2.70	1.00	5.95	珪質頁岩	珪質頁岩	横型石匙。摘み部中心よりややずれる。
S 24	Dd-40G	Ⅶ層	石匙	完形	5.60	6.50	1.10	37.39	黒色安山岩	黒色安山岩	横型石匙。摘み部中心よりややずれる。
S 25	Dd-40G	Ⅶ層	打製石斧	完形	9.65	5.10	1.65	84.00	粗粒輝石安山岩	—	短冊形石斧。一部表面残存。
S 26	Dd-40G	Ⅶ層	凹石	完形	9.80	6.80	4.80	420.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 27	Dd-40G	Ⅶ層	磨石	完形	10.40	8.80	4.30	560.00	デイサイト	輝石安山岩	磨石基本で凹石としても使用。
S 28	Dd-41G	Ⅶ層	石錐	完形	5.10	2.00	0.55	3.60	チャート	チャート	錐部全長9mm、幅6mm。
S 29	Dd-41G	Ⅶ層	石匙	完形	5.10	4.20	0.70	12.65	黒色頁岩	黒色頁岩	横型石匙。摘み部中心。
S 30	Dd-41G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	12.50	5.50	2.40	191.00	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。
S 31	Dd-41G	Ⅶ層	凹石	完形	9.40	7.00	4.10	374.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 32	Dd-42G	Ⅶ層	石鏃	完形	2.70	1.70	0.35	0.98	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 33	Dd-42G	Ⅶ層	石鏃	一部欠損	2.10	1.55	0.40	0.81	珪質頁岩	チャート	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 34	Dd-42G	X層	石鏃	一部欠損	2.15	1.50	0.50	0.98	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 35	Dd-42G	Ⅶ層	磨製石斧	一部欠損	17.30	7.90	3.40	575.00	蛇紋岩	—	定角式磨製石斧。

第2節 IV区遺構外

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S 36	Dd-42G	Ⅶ層	磨石	完形	11.60	7.90	4.50	650.00	石英閃緑岩	輝石安山岩	2面を磨石、2面を敲石として使用。
S 37	Dd-42G	Ⅶ層	磨石	完形	10.80	7.50	4.20	434.00	ダイヤモンド凝灰岩	流紋岩	磨石基本で凹石としても使用。
S 38	Dd-42G	Ⅶ層	石核	完形	10.10	11.65	7.30	828.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S 39	Dd-43G	—	石鏃	完形	2.10	1.70	0.30	0.62	チャート	チャート	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 40	Dd-43G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	8.95	4.40	2.00	80.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。一部表面残存。
S 41	Dd-45G	Ⅶ層	石匙	一部欠損	6.50	0.57	0.70	17.98	黒色頁岩	黒色頁岩	横型石匙。摘み部斜め。
S 42	De-39G	Ⅶ層	打製石斧	完形	8.10	3.40	1.40	50.00	黒色頁岩	頁岩(化石入り)	短冊形石斧。一部表面残存。
S 43	De-39G	Ⅶ層	スクレーパー	完形	15.30	9.30	4.20	715.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	一面に刃部有り。
S 44	De-40G	Ⅶ層	石鏃	一部欠損	1.65	1.30	0.35	0.51	チャート	チャート	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 45	De-41G	Ⅶ層	打製石斧	完形	13.10	5.70	2.25	162.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。一部表面残存。
S 46	De-41G	Ⅶ層	磨石	ほぼ完形	12.00	9.10	5.30	950.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	磨石基本で凹石・敲石としても使用。
S 47	De-42G	—	石錐	完形	3.20	1.15	0.85	2.20	黒曜石	—	—
S 48	De-42G	Ⅶ層	石匙	一部欠損	5.70	2.50	0.70	9.29	黒色頁岩	—	縦型石匙。左右非対称型。
S 49	De-42G	Ⅶ層	打製石斧	完形	10.65	5.30	1.75	94.00	変玄武岩	—	短冊形石斧。一部表面残存。
S 50	De-42G	Ⅶ層	打製石斧	完形	7.95	3.95	1.20	44.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。一部表面残存。
S 51	De-42G	Ⅶ層	凹石	完形	10.10	8.70	4.70	555.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 52	De-43G	Ⅶ層	石鏃	一部欠損	1.50	1.25	0.30	0.40	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 53	De-43G	Ⅶ層	打製石斧	完形	10.65	5.25	1.80	97.00	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 54	De-44G	Ⅶ層	磨製石斧	上端部欠損	2.70	2.40	0.60	6.19	蛇紋岩	—	定角式磨製石斧。裝飾品の石斧？
S 55	De-44G	Ⅶ層	石皿	破片	(13.60)	(11.00)	3.00	905.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面を石皿、1面を凹石として使用。
S 56	Df-39G	Ⅶ層	打製石斧	完形	8.40	4.00	1.10	58.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 57	Df-40G	Ⅶ層	打製石斧	完形	10.25	5.45	1.70	87.00	変玄武岩	含燧凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 58	Df-41G	Ⅶ層	石錐	完形	3.20	1.10	0.37	0.91	珪質頁岩	無斑晶質安山岩	刃部全長20mm、幅5mm。
S 59	Df-41G	Ⅶ層	石匙	ほぼ完形	3.70	4.20	0.80	7.27	珪質頁岩	珪質頁岩	横型石匙。摘み部中心よりややずれる。
S 60	Df-41G	Ⅶ層	打製石斧	ほぼ完形	14.10	7.10	1.40	149.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。表面残存。
S 61	Df-42G	Ⅶ層	環状石環	1/2	10.30	5.20	2.90	192.09	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	中央の穴は、直径約25mm。
S 62	Df-43G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	13.30	7.20	3.70	408.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S 63	Df-46G	Ⅶ層	スクレーパー	不明	4.50	7.40	1.35	47.00	黒色頁岩	—	3面に刃部有り。一部表面残存。
S 64	Dg-40G	Ⅶ層	打製石斧	上端部欠損	(8.00)	5.20	1.60	74.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S 65	Dg-41G	Ⅶ層	石鏃	一部欠損	1.70	1.20	0.30	0.51	チャート	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 66	Dg-44G	Ⅶ層	石鏃？	1/2？	(2.90)	2.20	0.70	3.50	黒曜石	黒曜岩	尖頭器か？
S 67	Dg-44G	Ⅶ層	石匙	完形	6.30	6.10	1.30	35.47	黒色安山岩	黒色安山岩	横型石匙。左右対称。
S 68	Dg-44G	Ⅶ層	石核	完形	6.90	8.40	5.25	385.00	黒色頁岩	—	一部表面残存。
S 69	Dg-45G	Ⅶ層	石匙	ほぼ完形	7.10	5.10	1.10	21.75	珪質頁岩	珪質頁岩	横型石匙。摘み部中心。
S 70	Dg-47G	Ⅶ層	打製石斧	ほぼ完形	10.80	4.40	1.70	97.00	黒色頁岩	頁岩(化石入り)	短冊形石斧。一部表面残存。
S 71	Dg-48G	Ⅶ層	打製石斧	ほぼ完形	9.30	1.60	4.90	96.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 72	Dg-48G	Ⅶ層	凹石	完形	9.10	8.50	5.10	560.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 73	Dh-39G	Ⅶ層	打製石斧	完形	12.45	5.55	1.55	122.00	黒色頁岩	頁岩(化石入り)	短冊形石斧。
S 74	Dh-40G	Ⅶ層	凹石	完形	9.70	7.90	5.10	545.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 75	Dh-41G	Ⅶ層	打製石斧	完形	9.70	5.25	1.30	83.00	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。
S 76	Dh-42G	Ⅶ層	打製石斧	1/2	(5.85)	4.00	1.80	43.00	チャート	—	短冊形石斧。
S 77	Dh-42G	Ⅶ層	凹石	完形	9.80	8.30	4.80	540.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 78	Dh-45G	Ⅶ層	剥片石器	完形	4.40	2.80	0.61	6.90	黒曜石	—	—
S 79	Dh-45G	Ⅶ層	石核	完形	3.01	8.30	2.95	75.40	黒曜石	—	—
S 80	Dh-45G	Ⅶ層	石核	完形	5.70	4.90	3.63	98.80	黒曜石	—	—
S 81	Dh-45G	Ⅶ層	凹石	完形	11.50	7.50	4.10	450.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 82	Dh-48G	Ⅶ層	砥石	一部破損	6.50	4.40	0.78	23.14	牛伏砂岩	—	1ヶ所孔有り。携帯用砥石か？
S 83	Dh-50G	Ⅶ層	石匙	完形	5.40	2.10	0.80	6.79	黒色頁岩	細粒凝灰岩	縦型石匙。左右非対称型。
S 84	Di-39G	Ⅶ層	打製石斧	完形	11.00	5.10	1.50	69.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 85	Di-39G	Ⅶ層	磨製石斧	刃部欠損	(12.70)	5.20	2.80	266.00	変玄武岩	変ハンレイ岩	乳棒状磨製石斧。
S 86	Di-40G	Ⅶ層	打製石斧	完形	12.50	5.20	1.80	167.00	粗粒輝石安山岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S 87	Di-41G	Ⅶ層	石鏃	完形	2.50	2.30	0.35	1.40	チャート	チャート	正三角形無茎鏃。凹基。
S 88	Di-41G	Ⅶ層	打製石斧	完形	11.95	7.50	1.65	186.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	分銅形石斧。一部表面残存。
S 89	Di-43G	Ⅶ層	凹石	ほぼ完形	9.30	8.50	5.40	510.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 90	Di-44G	Ⅶ層	石匙	一部欠損	6.90	5.20	0.55	21.90	珪質頁岩	珪質頁岩	横型石匙。摘み部中心。
S 91	Di-45G	Ⅶ層	打製石斧	完形	12.15	5.55	1.70	154.00	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	短冊形石斧。
S 92	Di-46G	Ⅶ層	ナイフ型石器	完形	3.90	1.20	0.60	1.64	黒曜石	黒曜岩	縦型石匙か？
S 93	Di-48G	Ⅶ層	打製石斧	完形	16.80	7.60	4.40	494.00	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 94	Dj-45G	Ⅶ層	石鏃	上端部欠損	1.60	2.40	0.30	1.03	黒曜石	黒曜岩	無茎鏃。凹基。
S 95	Dj-45G	Ⅶ層	石匙	一部欠損	5.30	4.00	0.80	14.04	黒色頁岩	黒色頁岩	横型石匙。摘み部中心よりややずれる。
S 96	Dj-46G	Ⅶ層	石匙	一部欠損	4.20	3.00	0.60	5.61	黒色安山岩	無斑晶質安山岩	横型石匙。摘み部中心。
S 97	Dj-46G	Ⅶ層	石匙	完形	8.40	5.10	0.90	30.69	珪質頁岩	—	横型石匙。摘み部中心よりややずれる。
S 98	Dj-46G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	(9.20)	5.90	2.05	119.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 99	Dj-46G	Ⅶ層	打製石斧	ほぼ完形	9.20	4.80	1.50	84.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 100	Dj-46G	Ⅶ層	凹石	完形	10.40	7.30	4.00	410.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 101	Dj-47G	Ⅶ層	打製石斧	ほぼ完形	11.50	5.20	1.95	119.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S 102	Dj-47G	Ⅶ層	凹石	完形	12.60	7.60	4.30	565.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 103	Dk-39G	Ⅶ層	打製石斧	完形	9.50	4.80	2.30	122.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 104	Dk-39G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	(9.00)	5.15	1.60	89.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。一部表面残存。
S 105	Dk-44G	Ⅶ層	石鏃	完形	1.85	1.60	0.40	0.74	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 106	Dk-44G	Ⅶ層	打製石斧	完形	12.10	5.80	2.00	102.00	黒色頁岩	頁岩	分銅形石斧。
S 107	Dk-44G	Ⅶ層	石皿	破片	(11.70)	(13.50)	4.20	422.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面のみ使用。
S 108	Dk-45G	—	石鏃	上端部欠損	(1.30)	2.10	0.40	0.85	黒曜石	—	無茎鏃。凹基。
S 109	Dk-45G	Ⅶ層	石錐	一部欠損	(3.90)	(2.20)	0.50	3.95	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	へら状石器？
S 110	Dk-45G	Ⅶ層	石匙	一部欠損	2.85	2.10	0.35	1.46	黒色頁岩	細粒凝灰岩	横型石匙。摘み部中心よりややずれる。
S 111	Dk-45G	Ⅶ層	磨石	完形	16.60	8.10	4.10	885.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。

第6章 IV区の調査

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S112	Dk-46G	Ⅱ層	異形石器	完形	3.90	2.90	0.70	4.25	赤碧石	鉄石英(赤玉石)	三脚石器。(鈴木, 1981)
S113	Dk-46G	Ⅱ層	打製石斧	完形	7.60	4.80	1.40	56.00	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。
S114	Dk-46G	Ⅱ層	打製石斧	一部欠損	8.90	4.60	1.15	113.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。一部表面残存。
S115	Dk-46G	Ⅱ層	打製石斧	ほぼ完形	13.30	6.40	3.70	385.00	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。
S116	Dk-46G	Ⅱ層	凹石	完形	12.80	7.40	3.80	444.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S117	Dk-46G	Ⅱ層	石皿	破片	(14.20)	(10.00)	5.10	1,250.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面のみ使用。
S118	Dk-47G	Ⅵ層	石鏃	先端部欠損	(1.70)	1.50	0.40	0.79	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S119	Dk-47G	Ⅰ層	石鏃	一部欠損	2.10	1.40	0.40	0.94	黒曜石	—	正三角形無茎鏃。平基。
S120	Dk-47G	Ⅱ層	石核	完形	11.30	10.55	7.30	1,138.00	黒色安山岩	—	一部表面残存。
S121	Dk-47G	Ⅱ層	凹石	完形	10.50	8.80	4.60	600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面のみ使用。
S122	DI-38G	Ⅱ層	凹石	完形	12.10	8.90	4.70	680.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。磨石としても使用。
S123	DI-39G	Ⅱ層	磨石	ほぼ完形	8.80	8.10	3.40	350.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面のみ使用。
S124	DI-39G	Ⅱ層	凹石	完形	9.00	8.30	5.00	515.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。磨石としても使用。
S125	DI-40G	Ⅱ層	石鏃	一部欠損	1.90	1.50	0.30	0.46	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S126	DI-41G	Ⅱ層	打製石斧	完形	10.25	4.55	1.40	76.00	黒色頁岩	泥質ホルンフェルス	短冊形石斧。
S127	DI-42G	Ⅱ層	打製石斧	一部欠損	11.80	5.60	1.30	108.00	細粒輝石安山岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S128	DI-43G	Ⅵ層	凹石	一部欠損	11.70	9.40	4.50	630.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。全面に磨った痕跡有。
S129	DI-44G	Ⅱ層	石鏃	一部欠損	1.65	1.40	0.30	0.41	黒曜石	—	正三角形無茎鏃。凹基。
S130	DI-44G	Ⅱ層	石匙	完形	4.00	3.60	0.50	7.92	黒色安山岩	輝石安山岩	横型石匙。摘み部中心。
S131	DI-44G	Ⅱ層	打製石斧	完形	8.60	5.10	2.15	101.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S132	DI-44G	Ⅱ層	石核	完形	7.80	10.10	6.20	568.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S133	DI-45G	Ⅵ層	磨製礫石斧	破片	3.30	(8.90)	2.00	116.00	変輝緑岩	ヒン岩	—
S134	DI-45G	Ⅱ層	石匙	ほぼ完形	6.80	5.30	1.30	32.81	黒色頁岩	—	横型石匙。摘み部中心よりややずれる。
S135	DI-45G	Ⅱ層	敲石	一部欠損	6.90	5.70	3.00	134.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S136	DI-45G	Ⅱ層	凹石	ほぼ完形	12.30	7.90	4.60	625.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S137	DI-45G	Ⅱ層	多孔石	完形	21.30	19.00	10.10	5,100.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S138	DI-45G	Ⅱ層	磨石	完形	10.80	6.80	4.80	530.00	かこう岩	アプライト	一部敲打痕有。
S139	DI-45G	Ⅱ層	磨石	完形	10.60	3.40	1.20	89.00	黒色片岩	黒雲母片岩	2面使用。
S140	DI-45G	Ⅱ層	石皿	1/2	(19.50)	15.70	5.90	1,860.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面を凹石として使用。
S141	DI-46G	Ⅱ層	打製石斧	一部欠損	8.80	6.00	1.80	106.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S142	DI-46G	Ⅱ層	打製石斧	完形	8.80	4.20	1.60	58.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S143	DI-46G	Ⅱ層	磨製石斧	上端部欠損	9.60	5.30	3.40	256.00	変玄武岩	変ハンレイ岩	乳棒状磨製石斧。
S144	Dm-38G	Ⅱ層	石皿	完形	23.30	11.60	2.10	1,090.00	緑色片岩	—	乳鉢型。
S145	Dm-39G	Ⅵ層	石鏃	完形	2.40	1.75	0.30	0.72	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S146	Dm-39G	Ⅱ層	石皿	ほぼ完形	24.60	16.10	3.60	2,550.00	変質玄武岩	輝緑岩	楕円形。
S147	Dm-40G	Ⅱ層	石鏃	先端部欠損	(2.10)	1.90	0.40	16.25	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。平基。
S148	Dm-41G	Ⅱ層	打製石斧	完形	10.20	4.80	1.15	82.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S149	Dm-41G	Ⅱ層	磨石	ほぼ完形	14.00	6.50	2.80	420.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S150	Dm-41G	Ⅱ層	石核	完形	9.15	7.45	6.20	488.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S151	Dm-43G	Ⅱ層	磨石	完形	13.30	9.10	4.80	915.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S152	Dm-44G	Ⅵ層	石鏃	ほぼ完形	1.60	1.30	0.30	0.32	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S153	Dm-45G	Ⅱ層	石鏃	一部欠損	1.10	1.00	0.20	0.21	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S154	Dm-45G	Ⅱ層	石鏃	1/2?	2.88	1.73	0.80	3.03	赤碧石	—	—
S155	Dm-45G	Ⅱ層	石核	完形	3.12	2.70	1.54	12.31	チャート	—	一部表面残存。
S156	Dm-45G	Ⅱ層	打製石斧	完形	10.20	6.55	1.45	102.00	黒色頁岩	頁岩(化石入り)	短冊形石斧。一部表面残存。
S157	Dm-45G	Ⅱ層	打製石斧	完形	8.60	4.80	1.50	83.00	黒色頁岩	泥質ホルンフェルス	短冊形石斧。一部表面残存。
S158	Dm-45G	Ⅱ層	打製石斧	完形	10.50	7.10	1.85	112.00	黒色頁岩	砂岩	撥形石斧。一部表面残存。
S159	Dm-45G	Ⅱ層	磨石・凹石	完形	7.80	6.10	4.50	266.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面を磨石、1面を凹石として使用。
S160	Dm-45G	Ⅱ層	磨石	ほぼ完形	10.10	7.30	4.70	550.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S161	Dm-45G	Ⅱ層	磨石	完形	9.90	7.10	4.40	494.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S162	Dm-45G	Ⅱ層	多孔石	完形	16.70	13.10	7.90	1,650.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S163	Dm-46G	Ⅱ層	打製石斧	完形	10.25	4.90	1.65	92.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S164	Dm-46G	Ⅱ層	打製石斧	完形	12.70	5.60	1.30	120.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S165	Dm-46G	Ⅱ層	石核	完形	9.80	9.45	4.60	120.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S166	Dm-46G	Ⅱ層	磨石	完形	8.20	7.00	3.50	298.00	石英閃緑岩	ヒン岩	1面を磨石、1面を凹石として使用。
S167	Dm-46G	Ⅱ層	凹石	完形	12.70	8.00	6.10	780.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S168	Dn-38G	Ⅱ層	石皿	完形	29.30	24.60	7.90	8,350.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面を石皿、1面を凹石として使用。
S169	Dn-40G	Ⅱ層	磨石	完形	9.30	9.20	4.30	525.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S170	Dn-41G	Ⅱ層	打製石斧	完形	8.70	4.20	1.20	62.00	細粒輝石安山岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S171	Dn-41G	Ⅱ層	打製石斧	完形	11.50	5.00	1.70	124.00	黒色頁岩	泥質ホルンフェルス	短冊形石斧。一部表面残存。
S172	Dn-41G	Ⅵ層	石核	完形	8.20	6.00	5.50	603.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S173	Dn-41G	Ⅱ層	磨石	完形	8.90	7.40	5.10	494.00	石英閃緑岩	—	2面使用。
S174	Dn-42G	Ⅱ層	磨石	完形	10.50	8.00	4.60	630.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。凹石としても使用。
S175	Dn-43G	Ⅱ層	石皿	ほぼ完形	16.00	11.90	4.80	1,330.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	楕円形。
S176	Dn-43G	Ⅵ層	石鏃	上端部欠損	(2.30)	2.00	0.40	2.04	黒色安山岩	—	無茎鏃。凹基。
S177	Dn-44G	Ⅱ層	打製石斧	完形	12.90	6.10	2.90	232.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S178	Dn-44G	Ⅱ層	多孔石	完形	16.00	14.00	7.00	1,700.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S179	Dn-45G	Ⅱ層	打製石斧	完形	13.00	6.20	2.00	146.00	黒色頁岩	中粒凝灰岩	短冊形石斧。
S180	Dn-45G	Ⅱ層	凹石	ほぼ完形	12.60	6.70	4.10	565.00	石英閃緑岩	—	2面使用。
S181	Dn-45G	Ⅱ層	磨石	完形	10.90	8.50	4.90	675.00	石英閃緑岩	—	2面使用。
S182	Dn-45G	Ⅱ層	磨石	完形	10.10	7.40	4.30	476.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。凹石としても使用。
S183	Dn-45G	Ⅱ層	磨石	完形	10.40	7.40	5.10	580.00	溶結凝灰岩	輝石安山岩	1面磨石、1面を凹石として使用。
S184	Dn-46G	Ⅱ層	打製石斧	完形	17.90	6.80	2.10	330.00	細粒輝石安山岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S185	Do-38G	Ⅱ層	打製石斧	一部欠損	11.90	6.95	2.45	215.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S186	Do-41G	Ⅱ層	打製石斧	完形	9.65	4.75	2.10	80.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S187	Do-42G	Ⅱ層	石鏃	完形	3.40	2.70	1.50	22.24	珪質頁岩	—	切目石鏃。一端に切込み有。

第2節 IV区遺構外

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S188	Do-43G	Ⅷ層	石鏃	一部欠損	1.40	1.10	0.30	0.31	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S189	Do-43G	Ⅷ層	石鏃	一部欠損	1.90	(1.22)	0.23	0.49	黒曜石	—	二等辺三角形無茎鏃。平基。
S190	Do-43G	Ⅷ層	石鏃	先端部欠損	(2.20)	1.40	0.30	0.73	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S191	Do-44G	Ⅷ層	砥石	完形	10.20	9.10	6.30	795.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面に敲打痕有。
S192	Dp-40G	Ⅷ層	石鏃	先端部欠損	(2.20)	2.50	0.40	1.83	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S193	Dp-42G	Ⅷ層	石鏃	一部欠損	1.30	1.00	0.25	0.26	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S194	Dp-42G	Ⅷ層	凹石	完形	11.30	8.40	5.00	570.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S195	Dp-43G	Ⅷ層	石鏃	完形	1.90	1.60	0.40	0.71	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S196	Dp-43G	Ⅷ層	打製石斧	完形	9.30	6.00	1.35	83.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	撥形石斧。
S197	Dp-43G	Ⅷ層	凹石	ほぼ完形	13.40	8.50	5.20	650.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S198	Dp-44G	Ⅷ層	石鏃	完形	1.40	1.30	0.30	0.34	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S199	Dp-44G	Ⅷ層	石鏃	一部欠損	(2.70)	1.60	0.35	0.87	珩質頁岩	チャート	二等辺三角形有茎鏃。凸基。
S200	Dp-44G	Ⅷ層	石匙	一部欠損	3.00	1.45	0.50	2.29	黒色安山岩	無斑晶質安山岩	縦型石匙。左右非対称型。
S201	Dp-44G	Ⅷ層	打製石斧	完形	13.80	5.50	2.70	250.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S202	Dp-44G	Ⅷ層	石核	完形	8.50	9.50	3.80	361.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S203	Dp-44G	Ⅷ層	凹石	完形	10.40	8.00	4.10	474.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S204	Dp-44G	Ⅷ層	磨石	完形	11.10	9.30	4.50	695.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S205	Dp-44G	Ⅷ層	磨石	完形	9.00	9.00	5.00	630.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S206	Dp-44G	Ⅷ層	磨石	完形	15.00	8.50	4.50	795.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面磨石、1面を凹石として使用。
S207	Dp-44G	Ⅷ層	凹石	完形	17.00	13.70	8.50	2,130.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面のみ使用。
S208	Dq-41G	Ⅷ層	剥片石器	完形	4.70	1.70	1.30	7.37	黒曜石	黒曜岩	一部表面残存。
S209	Dq-44G	Ⅷ層	打製石斧	完形	9.25	5.10	1.60	76.00	粗粒輝石安山岩	凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S210	Dq-44G	Ⅷ層	磨石	一部欠損	12.50	7.50	4.50	690.00	閃緑岩	—	2面に敲打痕有。
S211	Dq-44G	Ⅷ層	磨石	完形	12.40	7.40	3.30	466.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S212	Dq-45G	Ⅷ層	凹石	一部欠損	12.30	5.90	4.90	422.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。1面に敲打痕有。
S213	Dq-45G	Ⅷ層	磨石	一部欠損	(19.00)	(8.70)	5.30	1,140.00	変質安山岩	輝石安山岩	3面使用。
S214	Dq-45G	Ⅷ層	石皿	破片	(13.50)	(13.40)	6.80	1,230.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。
S215	Dq-46G	Ⅷ層	石鏃	一部欠損	2.20	2.10	0.30	0.97	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S216	Dq-46G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	7.90	5.50	1.10	57.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S217	Dr-42G	Ⅷ層	磨石	完形	11.00	7.80	5.30	730.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	全面磨石として使用。一部敲打痕有。
S218	Dr-42G	Ⅷ層	磨石	完形	12.80	8.20	5.00	805.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S219	Dr-45G	Ⅷ層	石核	完形	10.00	8.90	4.50	432.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S220	Dr-46G	X層	尖頭器	ほぼ完形	4.00	1.25	0.60	2.49	チャート	チャート	尖頭器。柳葉型鏃。
S221	Ds-38G	Ⅷ層	磨石	完形	12.00	9.00	5.40	840.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S222	Ds-41G	Ⅷ層	石核	完形	12.70	9.30	2.60	315.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S223	Ds-44G	Ⅷ層	打製石斧	完形	12.70	7.00	4.40	328.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S224	Ds-45G	Ⅷ層	石鏃	完形	1.70	1.50	0.40	0.61	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S225	Dt-39G	Ⅷ層	石鏃	先端部欠損	(2.70)	2.00	0.55	2.56	黒色頁岩	細粒凝灰岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S226	Dt-39G	Ⅷ層	磨石	完形	15.50	6.40	6.10	840.00	流紋岩	—	3面使用。
S227	Dt-40G	Ⅷ層	尖頭器	下端部欠損	(4.70)	2.10	0.70	5.05	黒色頁岩	細粒凝灰岩	二等辺三角形有茎鏃。凸基。基部接着痕有。
S228	Dt-43G	Ⅷ層	打製石斧	完形	11.50	8.20	2.25	190.00	黒色頁岩	頁岩	分銅形石斧。一部表面残存。
S229	Dt-44G	Ⅷ層	打製石斧	完形	9.90	5.60	1.90	104.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S230	Dt-44G	Ⅷ層	打製石斧	完形	16.60	7.30	3.15	410.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S231	Dt-45G	Ⅷ層	打製石斧	完形	9.00	4.80	1.50	74.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S232	Dt-45G	Ⅷ層	打製石斧	完形	10.20	5.00	2.10	126.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S233	Dt-45G	Ⅷ層	石核	完形	15.30	10.50	3.80	785.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S234	Dt-48G	Ⅷ層	打製石斧	完形	23.50	4.55	1.25	65.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S235	Du-40G	Ⅷ層	石鏃	完形	1.51	1.30	0.23	0.30	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S236	Du-41G	Ⅷ層	打製石斧	完形	14.05	5.85	2.10	192.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S237	Du-43G	Ⅷ層	打製石斧	完形	15.10	7.15	3.35	332.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S238	Dv-45G	—	多孔石	完形	24.80	15.20	10.90	4,800.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S239	Dv-46G	Ⅷ層	石鏃	一部欠損	2.20	(1.70)	0.40	0.99	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。平基。
S240	Dv-50G	Ⅷ層	砥石	完形	6.70	5.50	3.30	220.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面に条痕有。
S241	Dv-50G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	9.65	4.05	1.85	220.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S242	Dw-39G	Ⅷ層	砥石	完形	11.20	3.10	2.10	144.00	珩質頁岩	細粒凝灰岩	3面使用。
S243	Dw-39G	Ⅷ層	打製石斧	完形	13.55	6.50	4.20	317.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S244	Dw-42G	Ⅷ層	石鏃	一部欠損	1.80	1.50	0.30	0.48	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S245	Dw-44G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	(11.00)	7.00	3.10	246.00	黒色頁岩	頁岩	撥形石斧。
S246	Dw-44G	Ⅷ層	凹石	ほぼ完形	10.00	8.20	4.30	482.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S247	Dw-44G	Ⅷ層	石皿	破片	13.00	16.60	3.90	1,100.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。
S248	Dw-48G	Ⅷ層	打製石斧	完形	16.90	6.20	4.05	474.00	黒色頁岩	—	一部表面残存。
S249	Dw-49G	Ⅷ層	石鏃	完形	2.00	1.20	0.30	0.58	チャート	チャート	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S250	Dw-49G	Ⅷ層	石鏃	完形	2.10	1.60	0.30	0.95	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S251	Dw-49G	Ⅷ層	石核	完形	3.86	3.23	1.80	22.15	黒曜石	黒曜岩	一部表面残存。
S252	Dw-50G	Ⅷ層	凹石	完形	9.20	7.40	5.00	505.00	石英閃緑岩	—	2面使用。
S253	Dw-51G	Ⅷ層	砥石	1/2	(4.20)	3.90	1.00	24.00	軽石質緑色凝灰岩	その他(熱水脈)	直径約3mmの孔1ヶ所有。
S254	Dx-42G	Ⅷ層	打製石斧	完形	9.30	4.20	1.20	69.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S255	Dx-43G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	(11.20)	5.60	1.60	144.00	粗粒輝石安山岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S256	Dx-43G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	7.60	4.20	1.20	48.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S257	Dx-44G	Ⅷ層	石鏃	先端部欠損	(2.00)	2.00	0.50	1.50	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S258	Dx-49G	Ⅷ層	多孔石	1/2	(21.30)	23.70	11.90	5,450.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S259	Dx-51G	Ⅷ層	凹石	完形	11.60	6.70	4.30	402.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S260	Dy-38G	—	石核	完形	3.13	2.55	1.21	9.35	黒曜石	黒曜岩	一部表面残存。
S261	Dy-39G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	9.30	4.60	1.50	72.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S262	Dy-39G	Ⅷ層	打製石斧	完形	12.10	4.60	1.80	157.00	ホルンフェルス	黒雲母片岩	短冊形石斧。

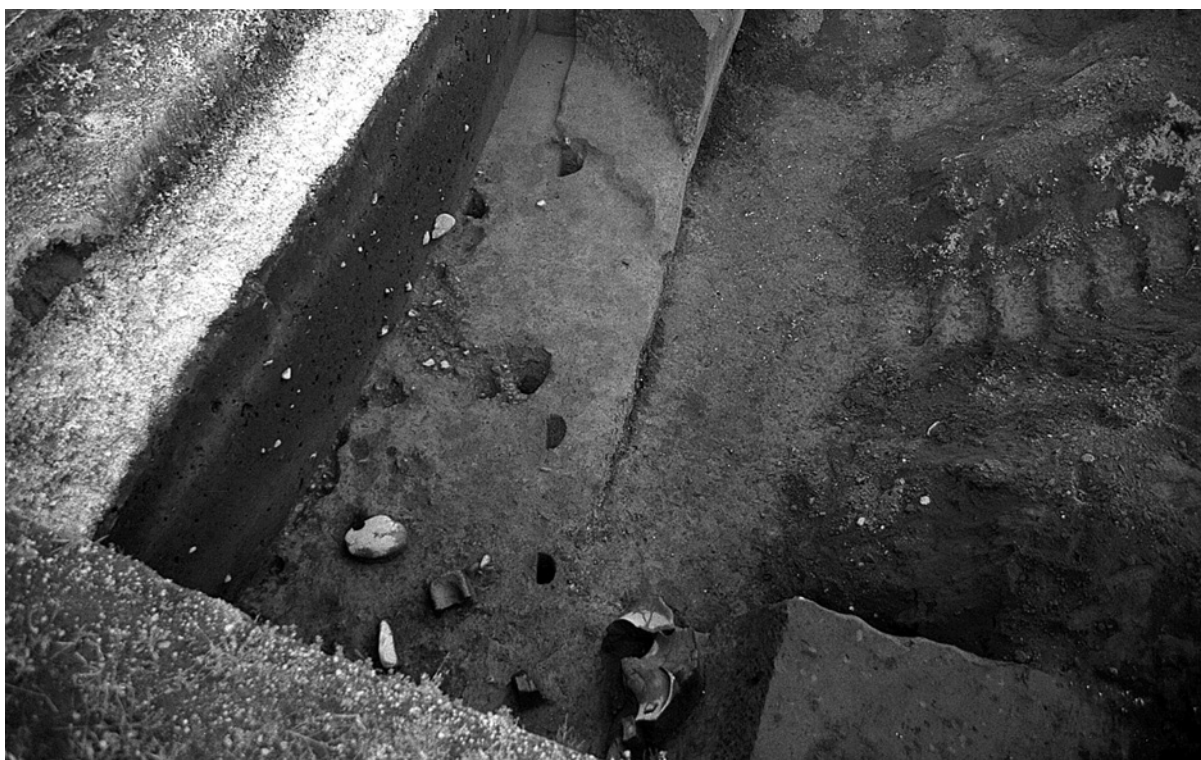
第6章 IV区の調査

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S263	Dy-39G	VI層	石核	完形	6.10	7.50	2.15	126.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S264	Dy-39G	VI層	磨石	一部欠損	18.70	9.20	4.00	1,200.00	ひん岩	—	2面使用。
S265	Dy-40G	VII層	石鏃	一部欠損	1.40	1.40	0.30	0.45	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S266	Dy-42G	VI層	打製石斧	1/2	(9.30)	8.40	2.50	185.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	撥形石斧？一部表面残存。
S267	Dy-45G	VI層	石核	完形	9.80	6.90	4.60	377.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S268	Dy-50G	VII層	打製石斧	完形	13.65	5.50	1.70	162.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。一部表面残存。
S269	Ea-39G	—	削器	完形	2.20	2.20	0.90	2.98	黒曜石	黒曜岩	2面使用。
S270	Ea-39G	VI層	打製石斧	完形	8.40	4.45	1.80	62.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S271	Ea-40G	VI層	打製石斧	1/2	9.40	6.80	2.10	161.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S272	Ea-40G	VII層	凹石	完形	11.80	6.80	4.70	565.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	3面使用。
S273	Ea-41G	VI層	打製石斧	完形	10.10	4.10	1.35	71.00	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S274	Ea-41G	VI層	多孔石	完形	25.20	20.80	10.80	9,000.00	粗粒輝石安山岩	—	1面使用。
S275	Ea-41G	VII層	砥石	破片	(4.50)	(4.00)	1.30	27.00	牛伏砂岩	—	擦り切り痕有。
S276	Ea-42G	VII層	石鏃	上端部欠損	(2.00)	1.75	0.30	0.99	珪質頁岩	チャート	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S277	Ea-42G	VI層	打製石斧	完形	8.50	4.40	0.60	28.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。削器の可能性有。
S278	Ea-42G	VII層	凹石	完形	9.10	6.40	5.20	382.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S279	Ea-42G	VI層	磨石	完形	11.20	8.00	3.80	565.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S280	Ea-43G	VI層	打製石斧	完形	9.30	4.50	1.40	68.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S281	Ea-43G	VII層	凹石	完形	10.10	7.60	4.80	505.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S282	Ea-43G	VII層	凹石	完形	8.90	6.90	4.00	402.00	石英閃緑岩	—	2面使用。
S283	Ea-44G	VI層	打製石斧	完形	8.10	4.00	1.10	40.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S284	Ea-44G	IX層	打製石斧	完形	8.20	5.30	1.30	52.00	黒色頁岩	頁岩	撥形石斧。一部表面残存。
S285	Ea-47G	VII層	打製石斧	完形	11.15	4.25	1.80	123.00	粗粒輝石安山岩	—	短冊形石斧。一部表面残存。
S286	Ea-47G	VII層	打製石斧	一部欠損	11.20	6.00	1.90	105.00	黒色頁岩	—	分銅形石斧。一部表面残存。
S287	Ea-50G	VI層	石鏃	下端部欠損	(1.20)	(1.10)	0.20	0.22	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S288	Ea-50G	VII層	削器	一部欠損	4.64	2.22	1.00	7.16	黒曜石	黒曜岩	2辺に刃部有。
S289	Ea-51G	VII層	打製石斧	完形	10.25	4.85	1.70	80.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。一部表面残存。
S290	Eb-40G	VI層	打製石斧	完形	10.10	4.20	1.20	62.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S291	Eb-40G	VII層	凹石	完形	9.10	7.10	4.40	406.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S292	Eb-41G	VII層	打製石斧	完形	10.50	4.50	1.90	121.00	細粒輝石安山岩	輝石安山岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S293	Eb-49G	VII層	打製石斧	一部欠損	10.90	4.75	1.45	46.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。一部表面残存。
S294	Eb-50G	VII層	磨石	完形	12.80	10.00	4.40	825.00	変質安山岩	輝石安山岩	1面磨石、2面凹石としても使用。
S295	Ec-39G	VII層	石鏃	一部欠損	2.20	1.70	0.30	0.82	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S296	Ec-39G	VII層	打製石斧	完形	10.20	6.00	1.10	84.00	黒色頁岩	頁岩(化石入り)	短冊形石斧。
S297	Ec-40G	IX層	石鏃	完形	2.90	2.25	0.60	2.80	黒色安山岩	頁岩	二等辺三角形無茎鏃。平基。
S298	Ec-43G	VII層	打製石斧	完形	10.80	4.60	1.20	99.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S299	Ec-50G	VI層	打製石斧	一部欠損	9.50	4.30	1.40	62.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。一部表面残存。
S300	Ed-39G	VII層	砥石	破片	(3.40)	6.30	1.45	39.00	牛伏砂岩	—	2面使用。
S301	Ed-40G	VI層	磨石	完形	17.10	7.60	3.70	740.00	凝灰質砂岩	粗粒砂岩	2面使用。
S302	Ed-41G	VII層	磨石	ほぼ完形	11.60	7.40	4.05	535.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	全面使用。2面を凹石としても使用。
S303	Ed-41G	VI層	多孔石	完形	20.80	19.40	10.00	5,600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S304	Ed-50G	VII層	石鏃	完形	1.90	1.60	0.30	0.72	チャート	チャート	正三角形無茎鏃。凹基。
S305	Ee-39G	VII層	打製石斧	完形	9.70	5.50	1.40	84.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S306	Ee-39G	VI層	敲石	一部欠損	9.30	3.70	2.00	110.00	黒色頁岩	砂岩	1面使用。
S307	Ee-47G	VII層	石鏃	一部欠損	1.70	1.20	0.40	0.62	珪質変質岩	流紋岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S308	Ee-47G	VII層	石核	完形	8.25	11.20	7.10	716.00	黒色安山岩	—	一部表面残存。
S309	Ee-48G	VII層	打製石斧	完形	9.00	4.50	1.40	62.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S310	Ef-40G	VII層	打製石斧	一部欠損	10.20	6.90	1.50	110.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	撥形石斧。一部表面残存。
S311	Ef-42G	VI層	磨石	完形	9.60	7.20	3.60	306.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。凹石としても使用。
S312	Ef-45G	VII層	打製石斧	一部欠損	8.50	4.30	1.40	68.00	細粒輝石安山岩	—	短冊形石斧。
S313	Ef-48G	VII層	石鏃	一部欠損	1.50	1.40	0.32	0.48	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S314	Eg-46G	VII層	塊状耳飾	1/4	(3.18)	(1.80)	0.53	5.04	蛇紋岩	—	直径約2mmの孔1ヶ所有。
S315	Eg-46G	VIII層	石棒	完形	25.20	17.10	8.90	4,950.00	変質玄武岩	変質輝緑岩	自然岩脈を造形に利用。
S316	Eg-46G	VIII層	石皿	1/2	(28.40)	37.60	9.60	1,195.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。
S317	Eg-46G	VIII層	石皿	一部欠損	45.00	37.00	13.00	34,440.00	変質安山岩	変質ヒン岩	台石とした石皿。
S318	Eg-47G	VII層	打製石斧	完形	8.60	4.40	1.00	70.00	黒色頁岩	—	短冊形石斧。一部表面残存。
S319	IV B区	—	石鏃	完形	2.10	1.70	0.30	1.17	チャート	チャート	二等辺三角形無茎鏃。平基。
S320	IV B区	—	石鏃	一部欠損	2.40	1.60	0.60	1.55	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。平基。
S321	IV B区	—	石鏃	一部欠損	1.90	(1.80)	0.30	0.76	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S322	グリッド 一括	—	石匙	一部欠損	4.70	2.00	0.70	5.68	チャート	—	横型石匙。
S323	グリッド 一括	—	打製石斧	完形	9.40	5.50	1.10	62.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S324	表土	—	多孔石	完形	19.20	17.10	7.70	2,610.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S325	1面31土 坑	—	石錐	刃部欠損	(7.10)	4.00	1.10	35.00	珪質頁岩	—	刃部破損。

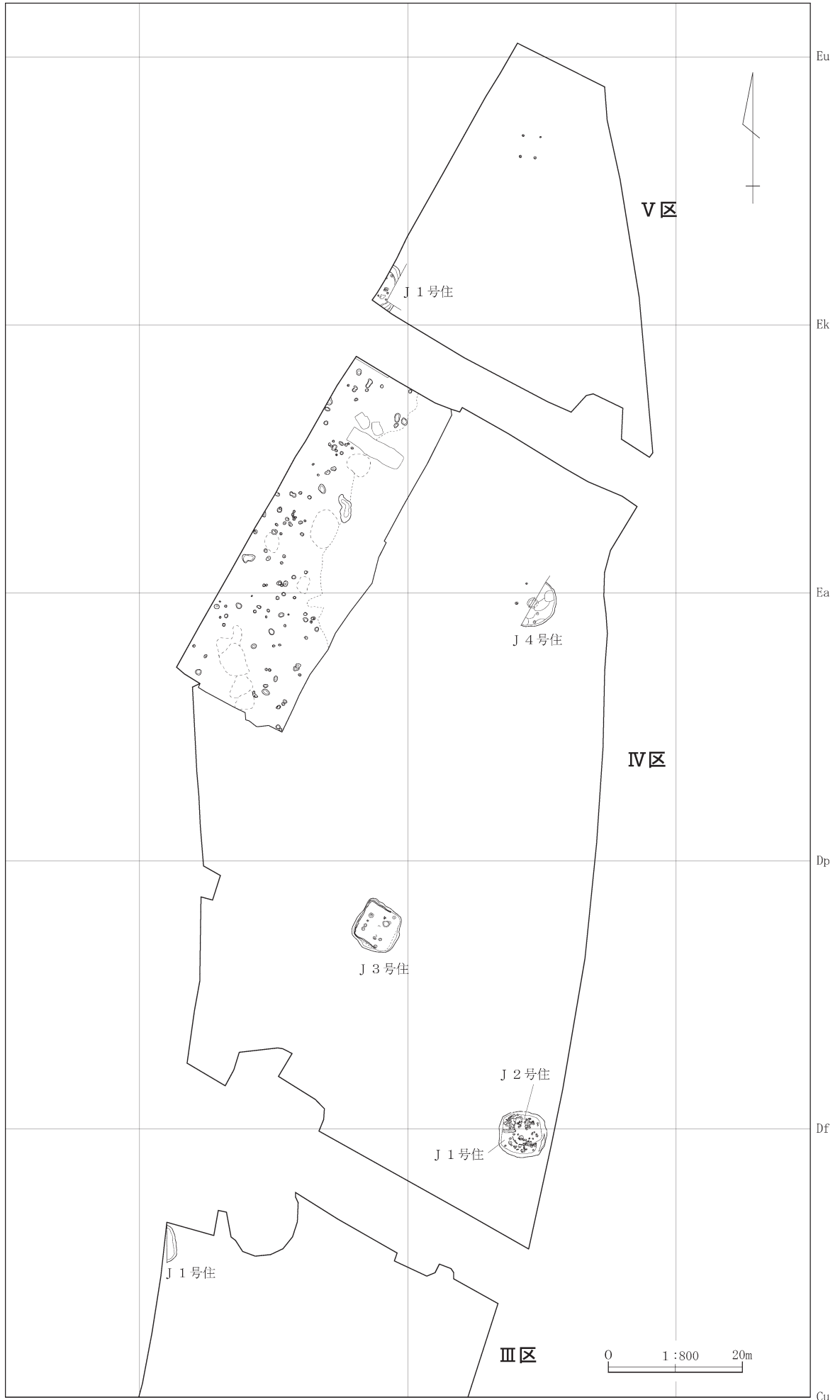
第7章 V区の調査

V区の総面積は、2,545.1㎡である。V区からは、弥生時代終末期～古墳時代初頭の住居が5軒検出されたため、縄文面の調査はグリッドではなく、ほぼ全面に下げて調査を行った。V区の縄文面では、遺構として住居1軒・掘立柱建物1棟・集石2基・土坑7基が検出された。旧石器時代の遺構は検出されず、遺物は出土しなかった。

遺構外の掲載遺物は、土器が48のグリッドから237点、石器が66のグリッドから266点の合計503点を掲載した。また、すでに『白井北中道Ⅲ遺跡(1)：弥生時代以降編』で掲載した弥生時代終末期～古墳時代初頭の住居出土石器49点も比較検討のために再掲載した。これらの石器は、住居構築の際に下の面の縄文面の石器が掘り出されたものと推定される。土器の内訳は、諸磯a式・諸磯b式・諸磯c式等諸磯式が146点、大木式が21点、十三菩提式が12点、下島式9点等で諸磯式が多い。同様に器種は、深鉢115点・有孔浅鉢6点・浅鉢5点・耳飾り4点・ミニチュア土器3点・土製円盤2点・土偶1点・土製品1点で深鉢が多い。石器の内訳は、打製石斧76点・石鏃47点・磨石32点・石匙22点・石皿16点・石錐15点・石核10点・凹石9点・磨製石斧4点等で打製石斧と石鏃が多い。土器及び石器は、調査区の全面から出土している。



第7章写真1 V区J1(4)号住居全景 [南→]



第7章第1図 III・IV・V区縄文面 住居位置図

第1節 V区遺構

V区では、縄文時代前期住居1軒・掘立柱建物1棟・集石2基・土坑7基が検出された。

1. 住居

住居は、調査区の南西部から縄文時代前期のV区J1号住居が1軒検出された。しかしながら、住居主体部は調査区外であり、一部しか検出されておらず、全容は不明である。

(1) V区J1(4)号住居

位置：Ek-45・46G、El-45・46G

時期：縄文時代前期に比定される。

重複：重複は、認められなかった。

形状：一部しか、検出されていないため、正確な形状は不明である。

規模：住居の規模は、現状で、北東～南西約6m・北西～南東約3mである。

面積：住居床面の面積は、約18.18m²である。

覆土：覆土は、8層に分かれる。遺物は、1層に多く含まれている。

床面：床面は、比較的平坦である。

炉：炉は、検出されなかった。しかしながら、焼土がP8近辺でまとまって検出されている。

埋設土器：埋設土器は、検出されなかった。

柱穴：柱穴は、P1～P8まで8基検出されたが、明瞭な柱穴は、この内、P1・P2・P6の3基である。

周溝：周溝は、検出されなかった。

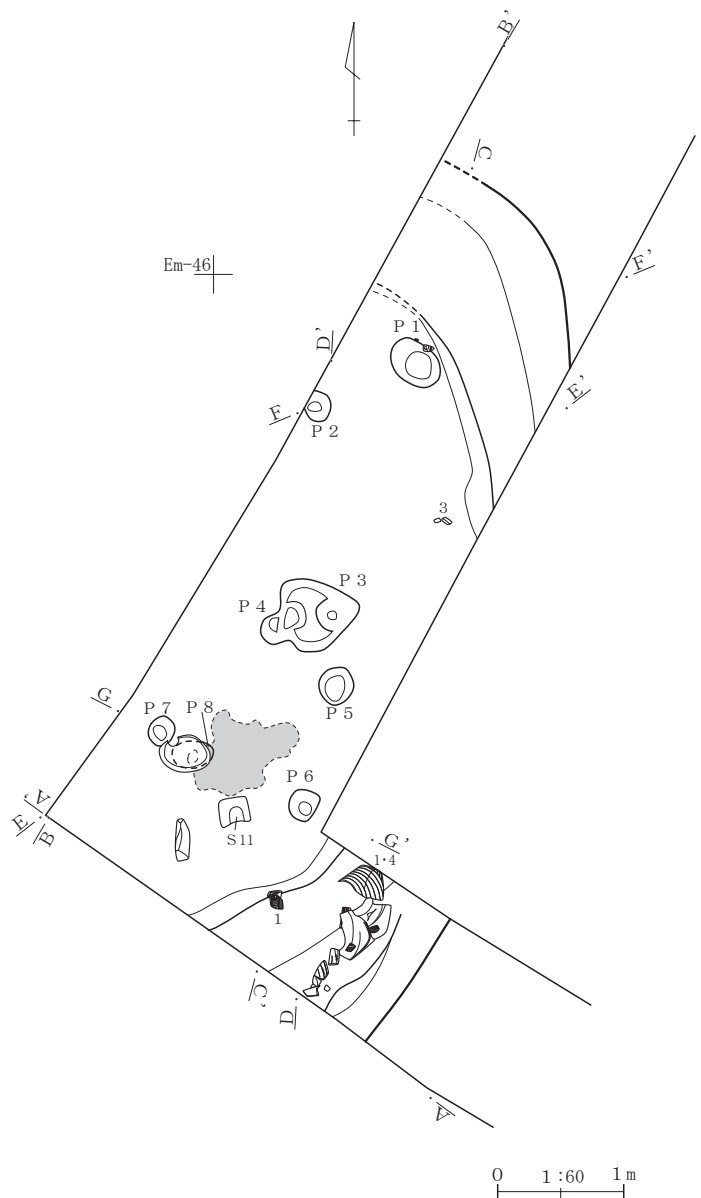
遺物：遺物は、土器及び石器が出土した。

(土器) 土器は、25点出土した。完形品は無かったが、No.1～No.3の諸磯b式土器の深鉢は、比較的保存状態が良い。内訳は、諸磯b式深鉢14点・諸磯c式深鉢4点・下島式深鉢1点・大木5式深鉢1点・諸磯b式有孔浅鉢4点・諸磯b式皿形土器1点である。

(石器) 石器は、11点出土した。内訳は、石匙4点・尖頭器1点・打製石斧2点・砥石1点・磨石1点・石皿2点である。

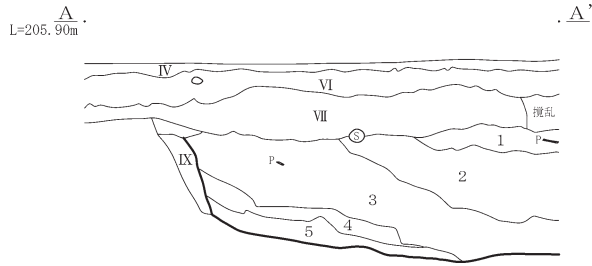


第7章写真2 V区J1(4)号住居全景[南→]



第7章第2図 V区J1(4)号住居

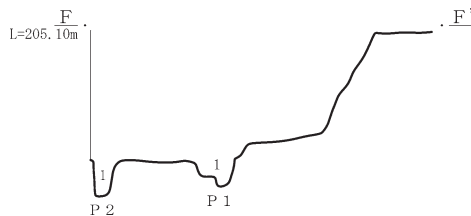
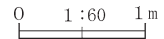
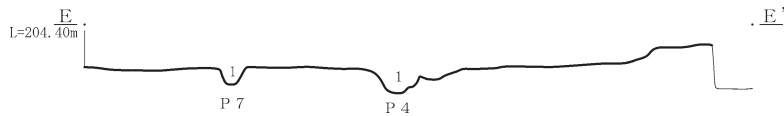
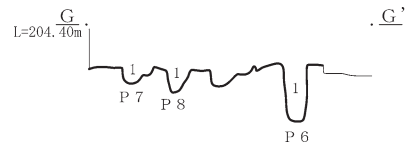
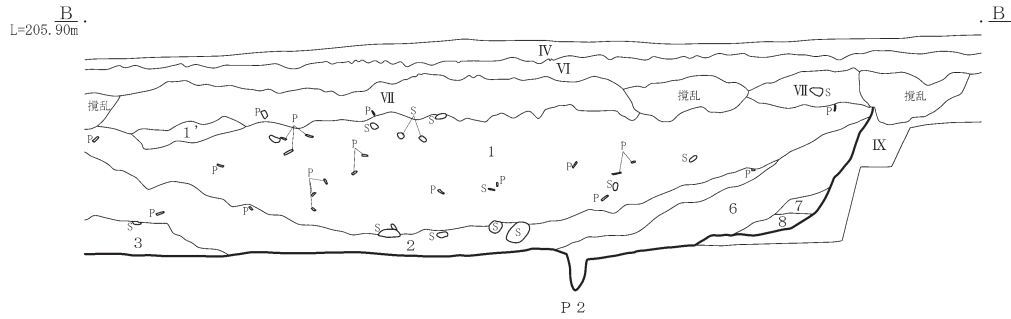
第7章 V区の調査



V区J1(4)号住居 A-A'、B-B'

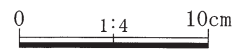
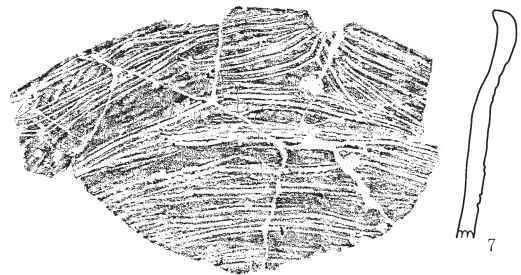
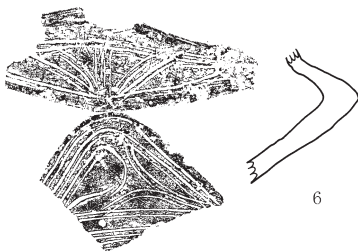
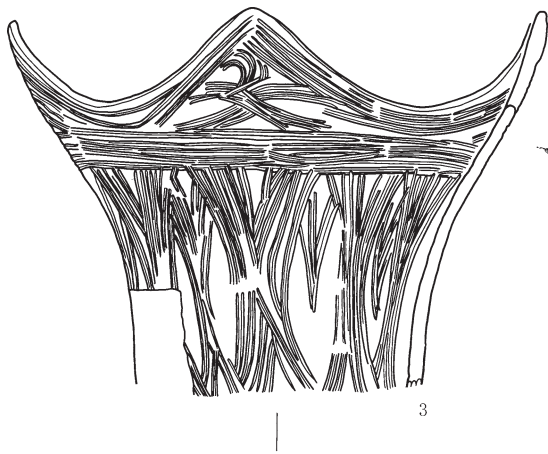
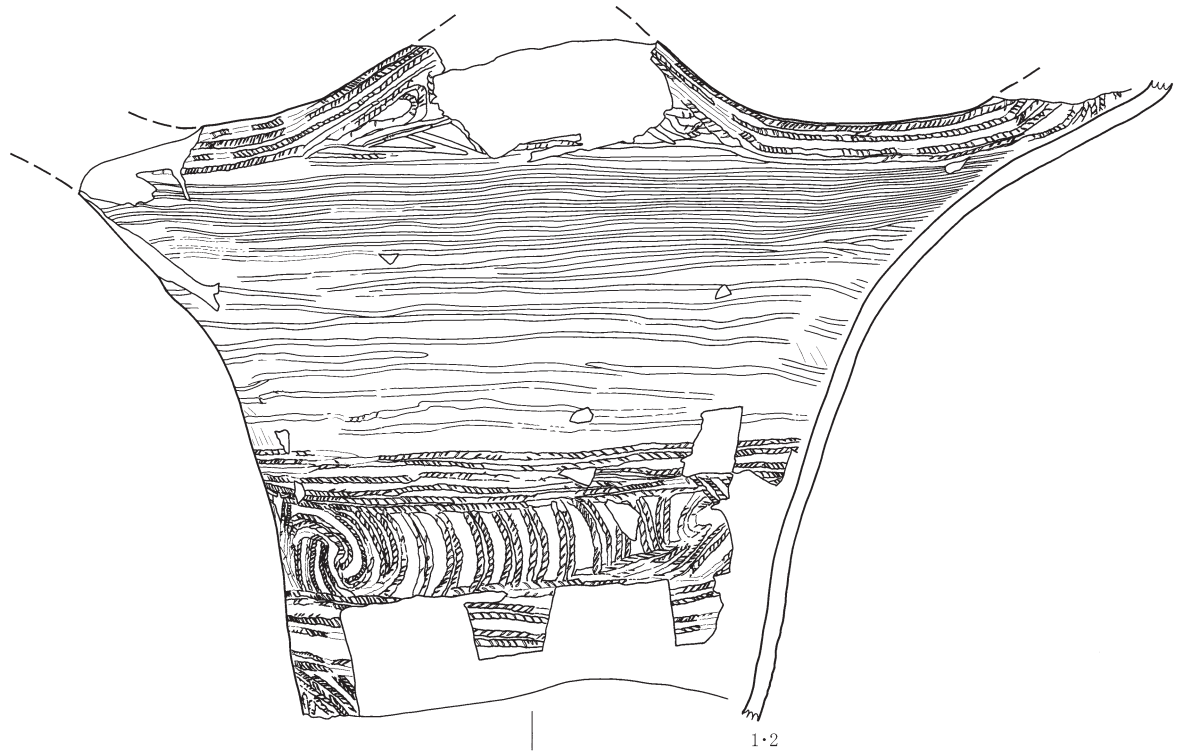
- 1. 黒褐色土 炭化物(φ 5 mm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、礫(φ 5 cm以下)を含む。固くしまっている。
- 1'. 1層に褐色土粒を含む。
- 2. 暗褐色土 炭化物(φ 5 mm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白

- 色パミス(φ 2 mm以下)、礫(φ 15cm以下)、黒褐色土粒を含む。粘性が有り固くしまっている。
- 3. 黒褐色土 炭化物(φ 5 mm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、礫(φ 3 cm以下)、暗褐色土粒を含む。粘性が有り、やや固くしまっている。
- 4. 暗褐色土 炭化物(φ 2 mm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、礫(φ 3 cm以下)を少量含む。黒褐色土粒を多量に含む。粘性が有り、やや固くしまっている。
- 5. 暗褐色土 炭化物(φ 2 mm以下)を少量含む。褐色土粒を多量に含む。シルト質でやわらかい。
- 6. 暗褐色土 炭化物(φ 2 mm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)を少量含む。褐色土粒を多量に含む。粘性が有り固くしまっている。
- 7. 暗褐色土 炭化物(φ 2 mm以下)、褐色土粒を少量含む。粘性が有り、やや固くしまっている。
- 8. 暗褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。



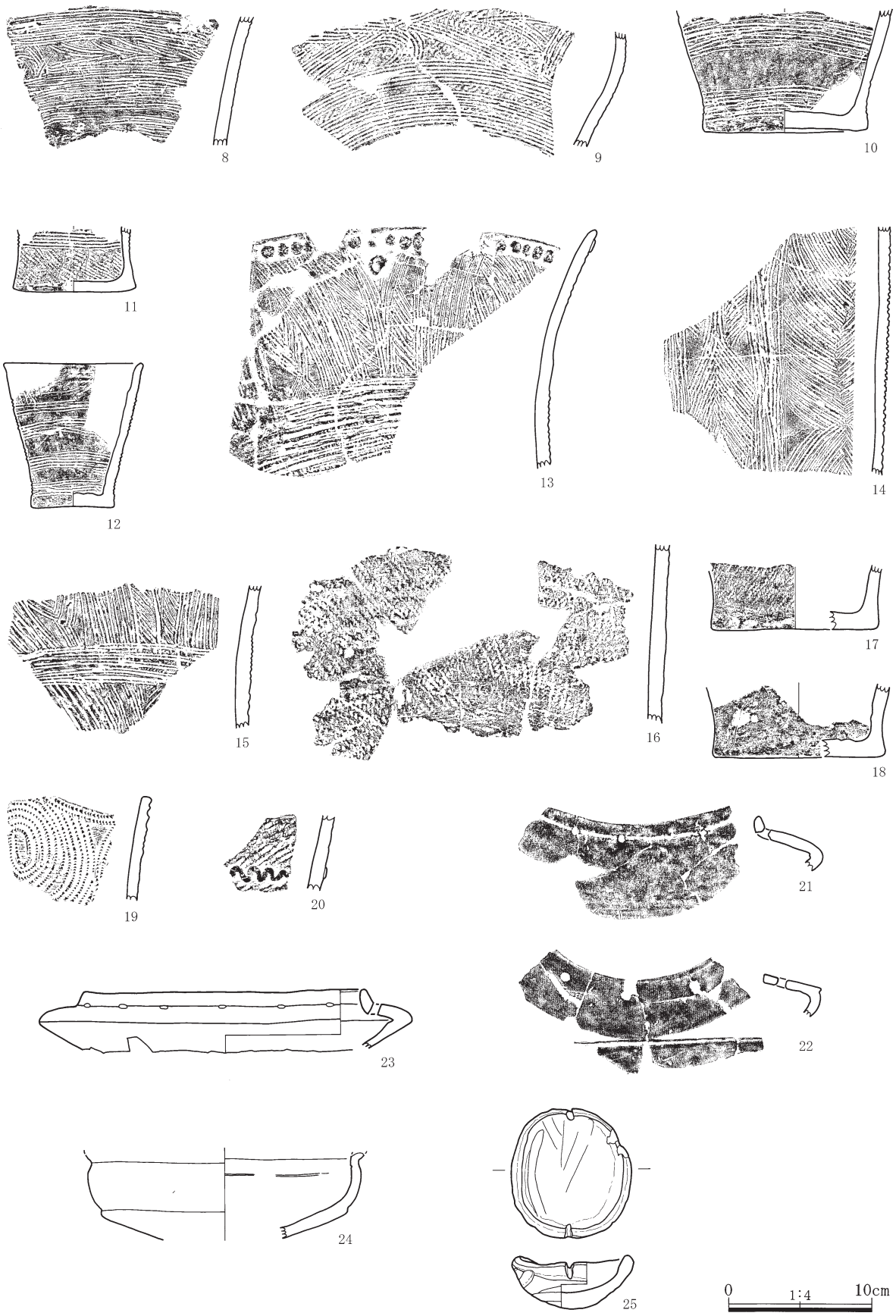
- ピット 1 1. 暗褐色土 炭化物を含む。シルト質で非常にやわらかい。
- ピット 2 1. 暗褐色土 炭化物、砂礫(φ 3 cm以下)を含む。やわらかい。
- ピット 3 1. 暗褐色土 炭化物、砂礫(φ 3 cm以下)を含む。やわらかい。
- ピット 4 1. 暗褐色土 炭化物、砂礫(φ 3 cm以下)を含む。やわらかい。
- ピット 5 1. 暗褐色土 小礫(φ 1 cm以下)を含む。やや粘性が有りやわらかい。
- ピット 6 1. 暗褐色土 炭化物、小礫(φ 1 cm以下)を含む。やや粘性が有りやわらかい。
- ピット 7 1. 暗褐色土 褐色土粒、炭化物、小礫(φ 1 cm以下)を含む。やや粘性が有りやわらかい。
- ピット 8 1. 暗褐色土 炭化物、焼土ブロック(φ 2 cm以下)、砂礫(φ 3 cm以下)を含む。非常にやわらかい。

第7章第3図 V区J1(4)号住居断面



第7章第4図 V区J1(4)号住居出土縄文土器(1)

第7章 V区の調査

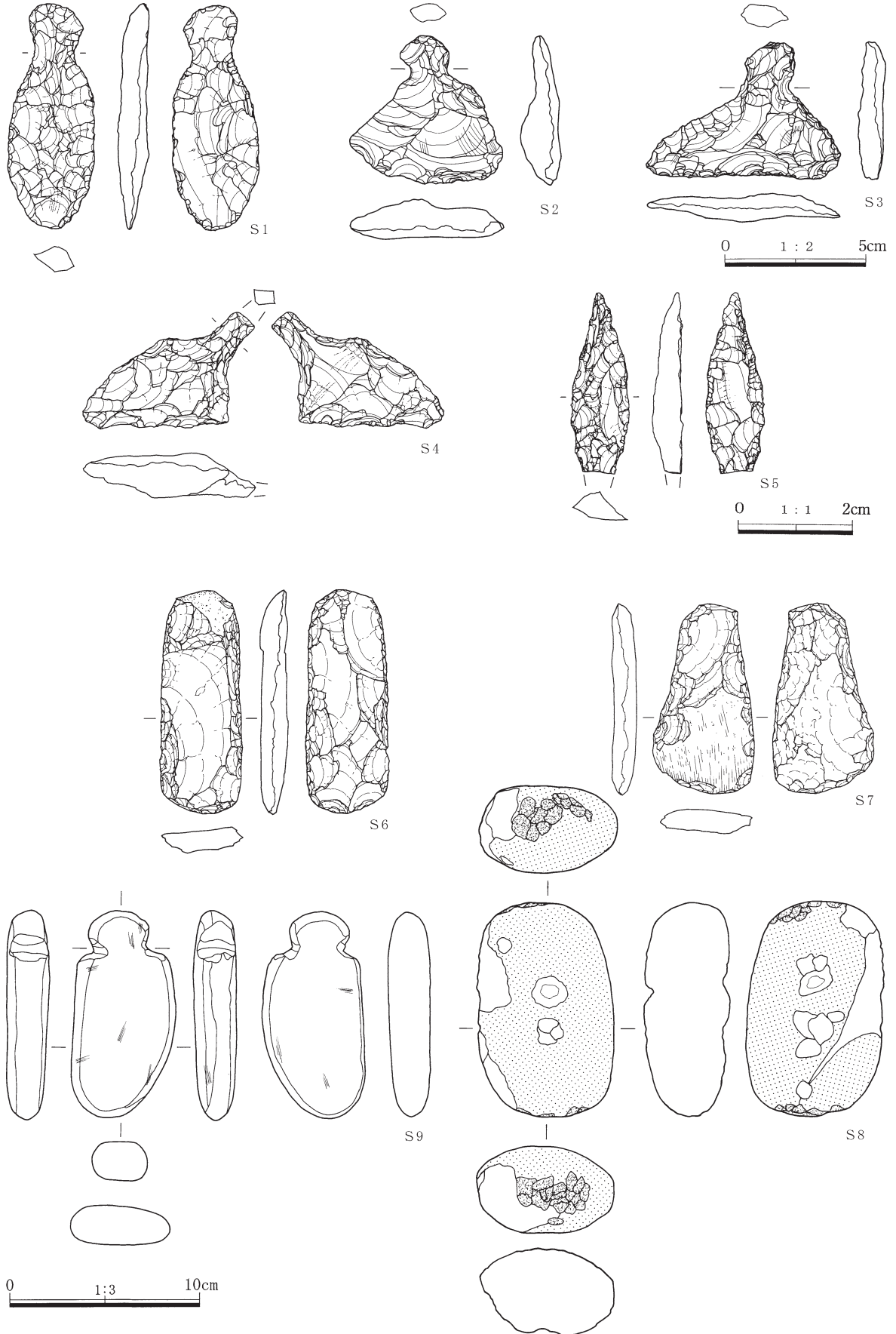


第7章第5図 V区J1(4)号住居出土縄文土器(2)

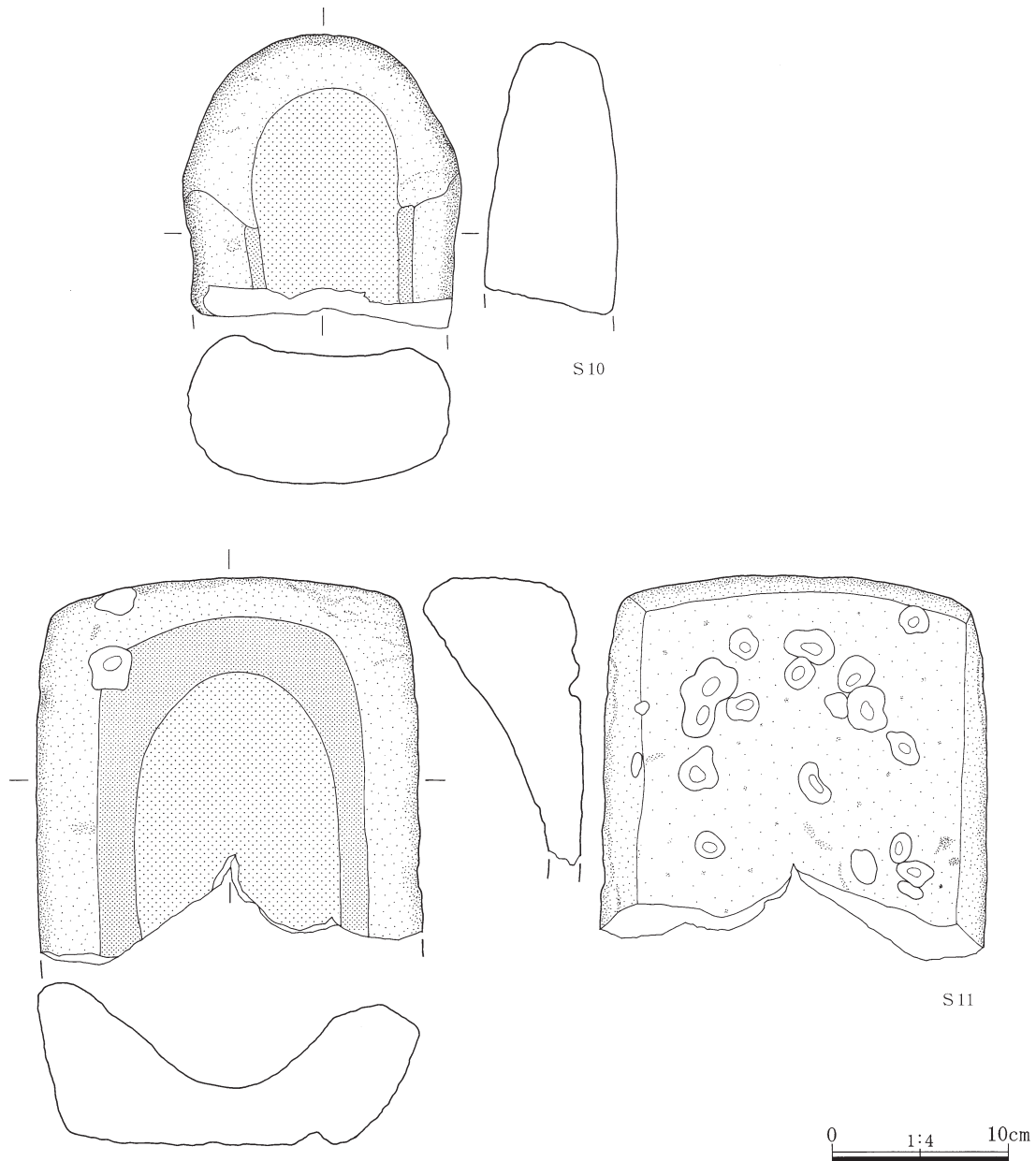
第7章表1 V区J1(4)号住居出土縄文土器観察表(第7章第4・5図、PL.104・105)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	No.6 埋没土	深鉢	口縁～胴部	良	淡黄	2.5YR8/4	φ1～2mmの小石、 白色粒	諸磯b式(新)	偏平な浮線文により狭い間隔の横位区画。口縁部弧線文。胴部風車状渦巻文。くつ先状口縁。2と同一個体。縄文原体 RL。
P 2	No.5・6 埋没土	深鉢	口縁～胴部	良	淡黄	2.5YR8/4	φ1～2mmの小石、 白色粒	諸磯b式(新)	1と同一個体。
P 3	埋没土	深鉢	口縁～胴部 口・(28.4) 高・19.6残	良	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯c式(古)	集合沈線による口縁部横位区画。口縁部文様帯3mmの平行沈線による弧線文。対弧文。胴部縦位区画し、対弧文。
P 4	No.6 埋没土	深鉢	口縁	良	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(新)	波状口縁頂部の突起が外側に湾曲する。側縁部にも突起、偏平な浮線による風車状渦巻文。弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。くつ先状口縁。
P 5	埋没土	深鉢	口縁	普通	明赤褐	2.5YR5/6	φ1mmの小石	諸磯b式(新)	波状口縁頂部の突起が外側に湾曲する。偏平な浮線による風車状渦巻文。弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。くつ先状口縁。
P 6	埋没土	深鉢	口縁破片	良	灰褐	5 YR4/2	φ1～2mmの小石、 白色粒	諸磯b式(新)	巾4mmの平行沈線による文様区画。口縁上部に三角文。下部に曲線文施文。
P 7	埋没土	深鉢	口縁	普通	にぶい赤褐	5 YR4/4	細粒	諸磯b式(新)	小波状口縁頂部が内湾し切り込みが入る。巾4mmの平行沈線を集合化させ横位施文。
P 8	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5 YR4/3	φ1～3mmの小石	諸磯b式(新)	巾4mmの平行沈線を集合化させ巾狭の横位区画を作る。区画内に弧線文。矢羽根文。
P 9	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5 YR5/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(新)	巾3mmの平行沈線を集合化させ巾狭の横位区画を作る。区画内に矢羽根文、弧線文。縄文原体 LR。
P 10	埋没土	深鉢	底部	普通	にぶい赤褐	5 YR4/4	φ1mmの小石、白 色粒	諸磯b式(新)	巾2mmの平行沈線を集合化させ横位区画する。内面スス付着。
P 11	埋没土	深鉢	底部	良	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1mmの小石	諸磯b式(新)	巾2mmの平行沈線を集合化させ横位区画する。内面スス付着。
P 12	埋没土	深鉢	底部	良	にぶい赤褐	2.5YR4/3	砂粒	諸磯b式(新)	巾2mmの平行沈線を集合化させ横位の区画を作る。
P 13	埋没土	深鉢	口縁	良	明赤褐	5 YR5/6	砂粒	諸磯c式(古)	口縁上部にφ7mmのボタン状貼付文列。口縁にφ10mmのボタン状貼付。集合沈線による頸部区画。口縁部には対弧文、斜線文。
P 14	埋没土	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5 YR5/6	砂粒	諸磯c式(古)	集合沈線による縦位区画、矢羽根文。
P 15	埋没土	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5 YR5/6	砂粒	諸磯c式(古)	集合沈線で胴部横位区画。縦位区画、斜線文、弧線文。
P 16	埋没土	深鉢	胴部	良	にぶい赤褐	5 YR5/4	細かい砂粒、軽石 粒	諸磯b式(新)	附加条1種縄文施文。縄文原体 RL。
P 17	埋没土	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(新)	縄文原体 Lr。
P 18	埋没土	深鉢	底部破片	不良	明赤褐	5 YR5/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(新)	無文。内面スス付着。
P 19	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5 YR5/4	砂粒、軽石粒	下島式	地文横位の沈線。結節沈線による渦巻文。
P 20	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	橙	5 YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	細かい粘土紐による山形文。縄文原体 Lr。
P 21	埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(新)	φ4mmの孔列が口縁に廻る。
P 22	埋没土	有孔浅鉢	破片	良	赤褐	2.5YR4/6	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯b式(新)	φ5～6mmの孔列が口縁に廻る。
P 23	埋没土	有孔浅鉢	口縁 口・(19.6)	良	赤褐	2.5YR4/6	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯b式(新)	φ7mmの孔列が口縁に廻る。
P 24	埋没土	有孔浅鉢	底部	普通	橙	5 YR6/6	砂粒	諸磯b式(新)	無文。
P 25	埋没土	皿形土器	完形 口・8.4～ 9.0 高・3.7	普通	褐	7.5YR4/3	細かい砂粒	諸磯b式	手捏による皿形土器。指頭痕が残る。楕円形で長軸方向の両端に刻み。

第7章 V区の調査



第7章第6図 V区J1(4)号住居出土縄文石器(1)



第7章第7図 V区J1(4)号住居出土縄文石器(2)

第7章表2 V区J1(4)号住居出土縄文石器観察表(第7章第6・7図、PL.106)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	No.45	石匙	完形	3.90	1.60	0.56	3.20	赤碧玉	鉄石英(赤玉石)	縦型石匙。左右対称。
S 2	埋没土	石匙	完形	5.25	5.10	1.30	26.55	黒色頁岩	—	横型石匙。左右非対称。
S 3	埋没土	石匙	完形	4.70	6.60	0.90	21.33	チャート	—	横型石匙。左右非対称。
S 4	No.93	石匙	完形	2.70	2.10	0.70	3.70	黒色安山岩	頁岩	横型石匙。左右非対称。
S 5	No.50	尖頭器	基部欠損	(3.20)	1.00	0.53	1.30	黒曜石	黒曜岩	柳葉型鏃。
S 6	埋没土	打製石斧	一部欠損	11.60	4.30	1.40	86.30	黒色頁岩	粗粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 7	埋没土	打製石斧	完形	9.80	5.30	1.20	83.10	細粒輝石安山岩	輝石安山岩	撥形石斧。一部表面残存。
S 8	埋没土	磨石	一部欠損	11.20	7.30	4.60	530.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面を凹石として使用。2面に敲打痕有。
S 9	埋没土	砥石	完形	10.80	5.30	2.20	144.00	凝灰質砂岩	中粒凝灰岩	条痕有。
S10	埋没土	石皿	1/2	(15.30)	14.90	8.40	2,350.00	溶結凝灰岩	デイサイト	縁有。
S11	No.4	石皿	1/2	(21.80)	21.60	9.20	4,250.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面を石皿、1面を凹石としても使用。

2. 掘立柱建物

V区縄文面から、掘立柱建物が1棟検出された。本J1号掘立柱建物は、調査区中央部に位置する。

(1) V区J1号掘立柱建物

規 模：1間×1間である。柱穴の中心から計測して、桁行（長軸）約3.2m・梁行（短軸）約2.2m～2.6mである。

柱 穴：柱穴は、全部で4基検出された。柱穴の大きさは、直径約25cm～35cm・深さ約15cm～40cmである。しかしながら、検出状況から、P1の約40cmが通常であると推定される。

土 層：土層は、4基ともに1層である。

遺 物：遺物は、検出されなかった。

時 期：時期を推定できる遺物は検出されなかった。

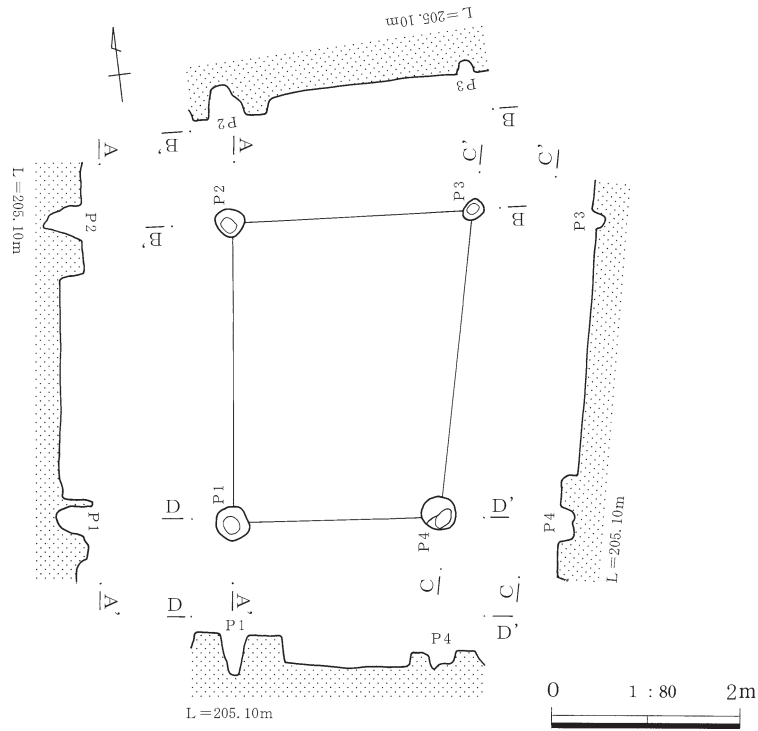
重 複：重複は、認められなかった。



第7章写真3 V区J1号掘立柱建物全景〔南→〕

第7章表3 V区J1号掘立柱建物ピットまとめ

番号	形状	規 模		土層
		直径	深さ	
P 1	円形	35cm	40cm	1層
P 2	不整形円形	30cm	40cm	1層
P 3	不整形円形	20～25cm	(15cm)	1層
P 4	円形	35cm	(20cm)	1層



第7章第8図 V区J1号掘立柱建物

3. 集石

V区から、1号集石・2号集石の2基の集石遺構が検出された。

(1) V区J1号集石

位置：Em-40Gに位置する。

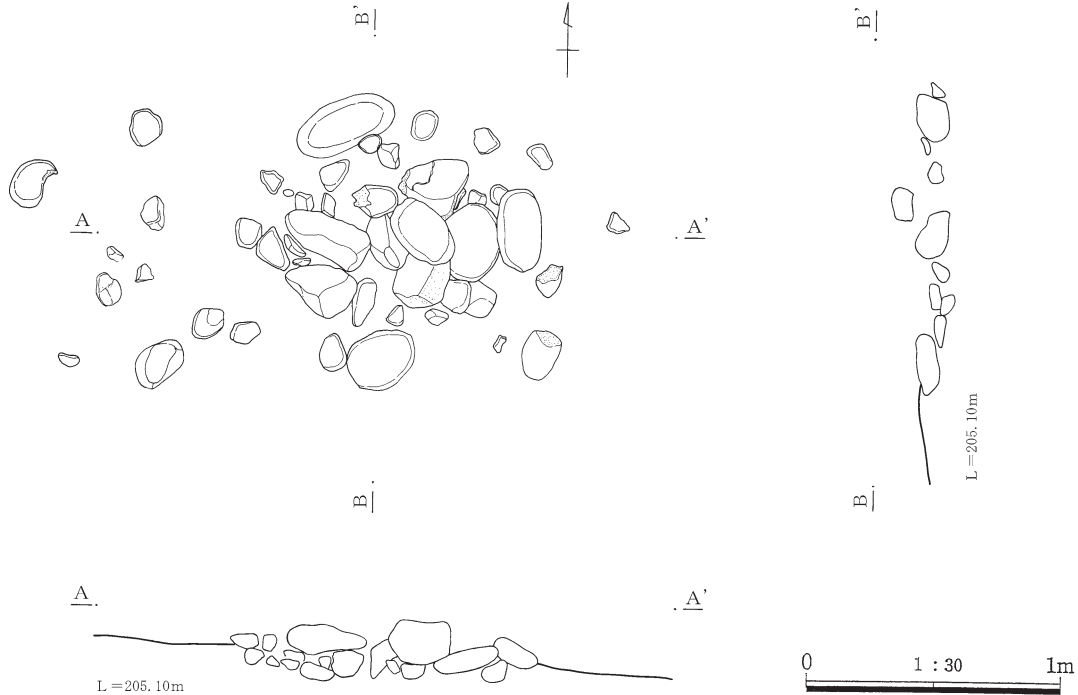
規模：主体部は、東西約1.2m・南北約1.15mの

規模である。

遺物：土器と石器が出土した。

(土器) 諸磯b式土器の深鉢1点・十三菩提式土器の深鉢1点が出土している。

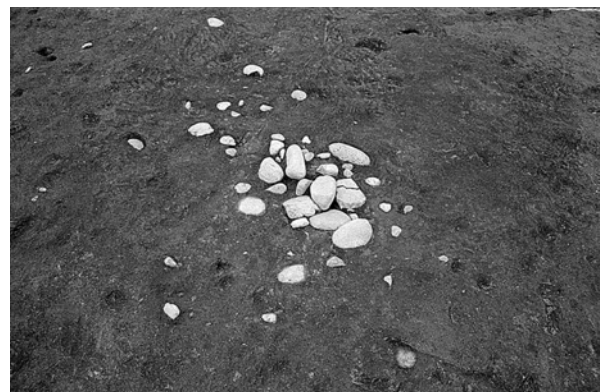
(石器) 石鏃1点・磨石1点・多孔石1点が出土している。



第7章第9図 V区J1号集石



第7章写真4 V区J1号集石全景 [西→]



第7章写真5 V区J1号集石全景 [東→]

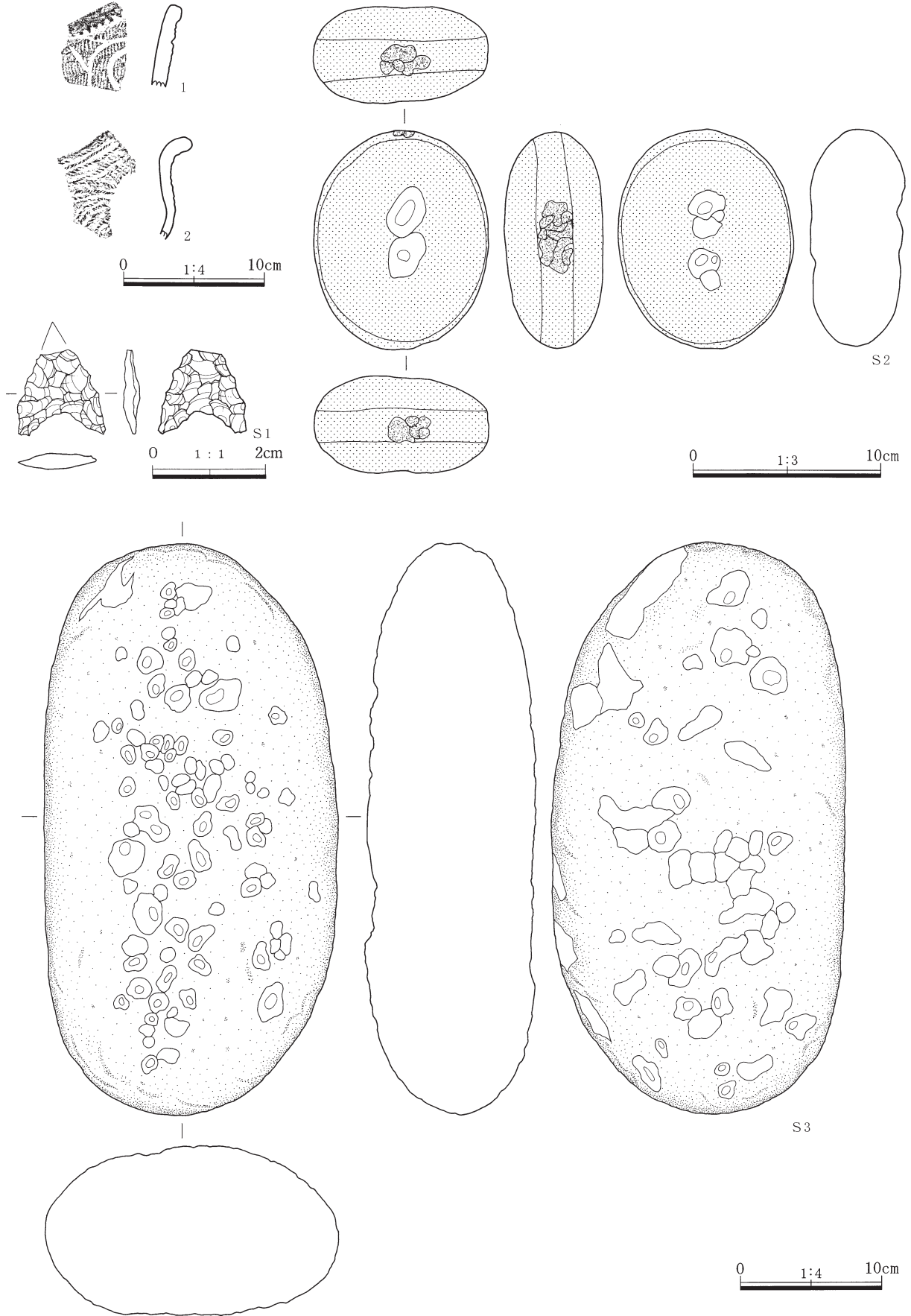
第7章表4 V区J1号集石出土縄文土器観察表 (第7章第10図、PL.107)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	沈線による渦巻文。浮線には、矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P2	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	砂粒、黒色粒	十三菩提式	口縁に三角刻みによる鋸歯文、沈線による弧線文。貝殻腹縁施文。

第7章表5 V区J1号集石出土縄文石器観察表 (第7章第10図、PL.107)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	No.3	石鏃	尖端部欠損	(1.50)	1.60	0.30	0.47	珪質頁岩	輝石安山岩	無茎鏃。凹基。
S2	埋没土	磨石	完形	11.60	9.20	5.20	770.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面を凹石としても使用。3面に敲打痕有。
S3	埋没土	多孔石	一部欠損	40.30	20.90	12.00	14,500.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。

第7章 V区の調査



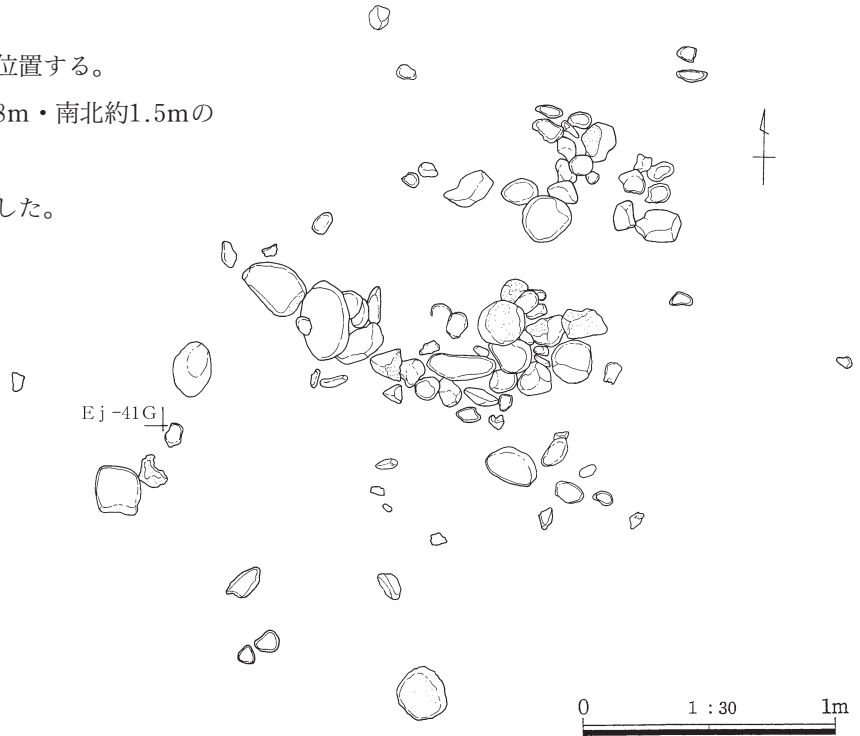
第7章第10図 V区J1号集石出土縄文土器・石器

(2) V区J2号集石

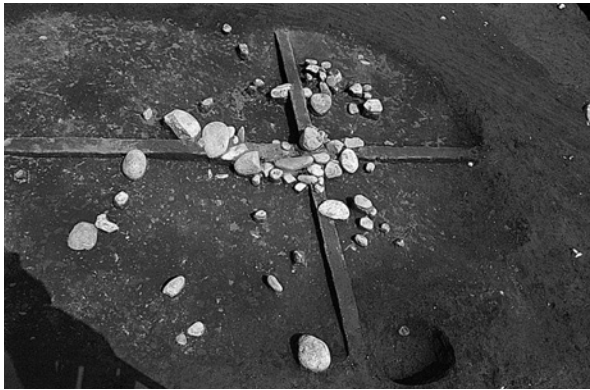
位置：Ei-40G・Ej-40Gに位置する。

規模：主体部は、東西約1.8m・南北約1.5mの規模である。

遺物：打製石斧1点が出土した。



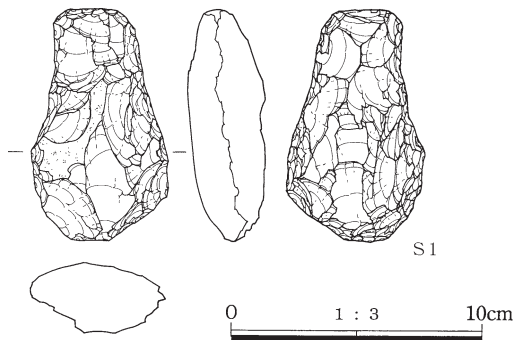
第7章第11図 V区J2号集石



第7章写真6 V区J2号集石全景 [南→]



第7章写真7 V区J2号集石近接 [南→]



第7章第12図 V区J2号集石出土縄文石器



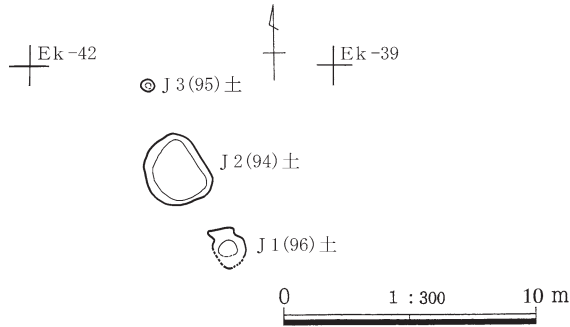
第7章写真8 V区J2号集石全景 [東→]

第7章表6 V区J2号集石出土縄文石器観察表 (第7章第12図、PL. 108)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	埋没土	打製石斧	完形	9.20	5.50	3.10	150.50	黑色頁岩	砂岩	撥形石斧。

4. 土坑

V区縄文面から、土坑が7基検出された。これらの内、V区J1号・J2号・J5号土坑の3基の土坑から遺物が出土した。



第7章第13図 V区J1号～J3号土坑位置図

(1) V区J1(96)号土坑

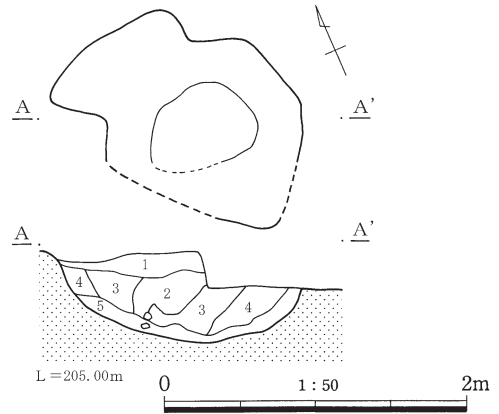
位置：Ei-40G・Ej-41Gから検出された。

形状：不整形土坑

規模：長軸約1.7m・短軸約1.2m・深さ約60cm

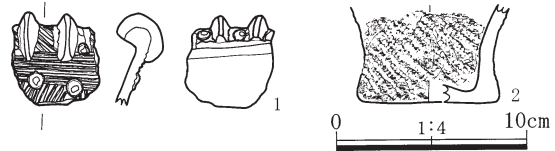
土層：土層は、5層に分かれる。

遺物：遺物は、縄文時代前期の諸磯c式の深鉢口縁部1点及び同底部1点が出土した。



V区J1(96)号土坑

1. 黒褐色土 粘性弱い。しまりやや弱い。橙粒(φ1mm以下)を微量・白色粒(φ1mm未満)を極微量含む。
2. 黒褐色土 粘性弱い。しまりやや弱い。橙粒(φ1mm以下)を微量・白色粒(φ1mm未満)を極微量・炭化物(φ2mm以下)を微量含む。
3. 黒色土 粘性弱い。しまりやや弱い。橙粒(φ1mm以下)を微量・白色粒(φ1mm未満)を微量含む。
4. 黒褐色土 粘性弱い。しまりやや弱い。橙粒(φ1mm以下)を微量・白色粒(φ1mm未満)を微量含む。
5. 黒褐色土 粘性弱い。しまりやや弱い。橙粒(φ1mm以下)を微量・白色粒(φ1mm未満)を微量含む。



第7章第14図 V区J1(96)号土坑・出土縄文土器

第7章表7 V区J1(96)号土坑出土縄文土器観察表(第7章第14図、PL.109)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	96号土坑	深鉢	口縁破片	良	灰褐	5YR4/2	砂粒	諸磯c式(新)	集合沈線により、口縁矢羽根状文。頸部横位区画。胴部対弧文。棒状、ボタン状貼付文。内面スス附着。
P2	96号土坑	深鉢	底部	良	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯c式	内面スス附着。縄文原体RL。

(2) V区J3(95)号土坑

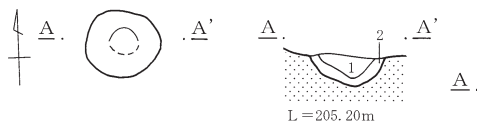
位置：Ej-41Gから検出された。

形状：円形土坑

規模：直径約45cm～50cm・深さ約20cm

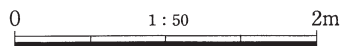
土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



V区J3(95)号土坑

1. 黒色土 粘性弱い。しまり有り。白色粒(φ1mm以下)を微量含む。
2. 黒褐色土 粘性、しまり弱い。褐色土を斑状に約3%含む。



第7章第15図 V区J3(95)号土坑

(3) V区J4(126)号土坑

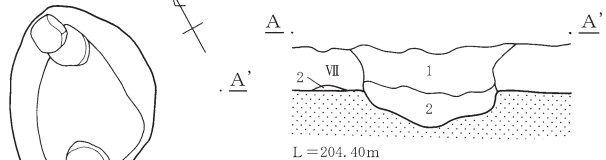
位置：Ep・Eq-25・26Gから検出された。

形状：楕円形土坑

規模：長軸約1.25m・短軸約95cm・深さ約50cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



V区J4(126)号土坑

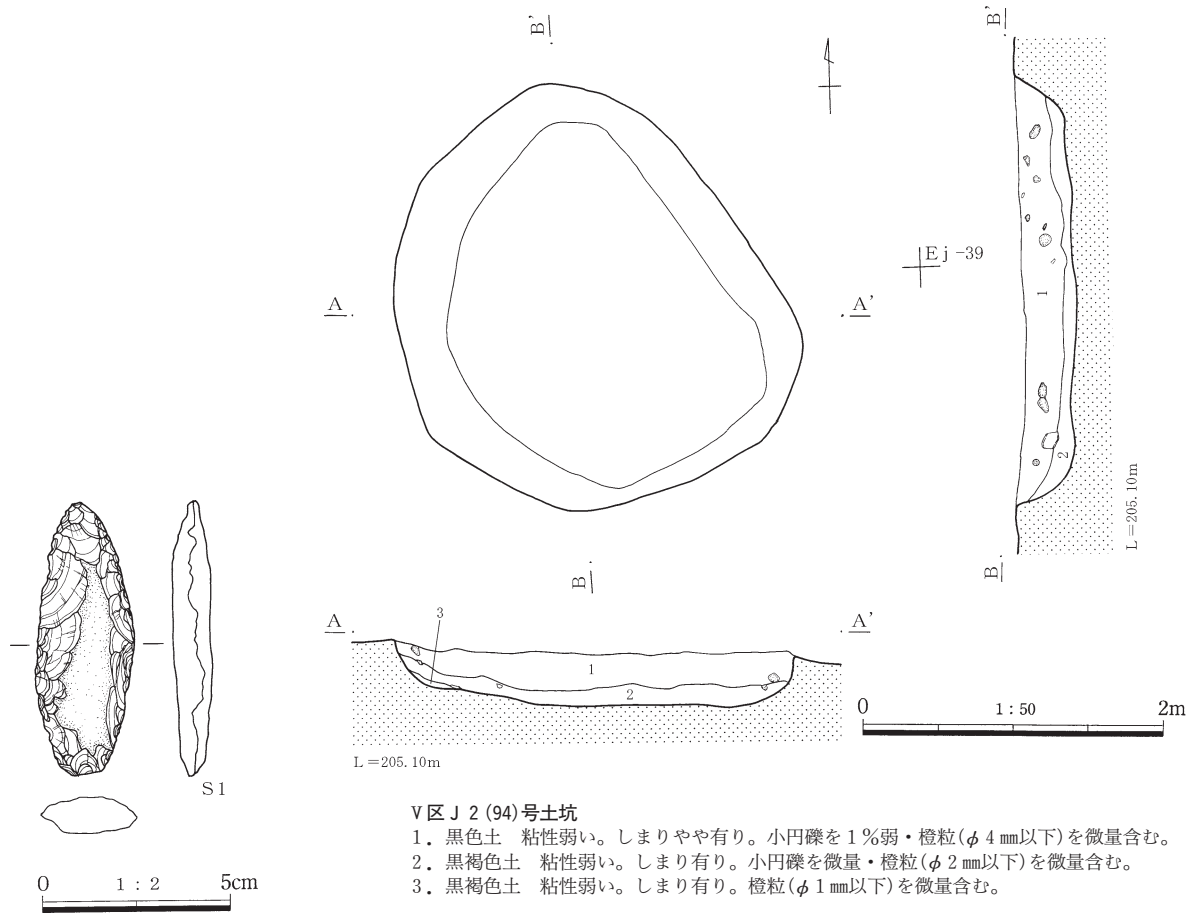
1. 暗褐色土 VII層と同様の橙粒を含む。
2. 黒褐色土 地山の暗褐色土ブロックを含む。橙粒を微量含む。ややしまり有り。

第7章第16図 V区J4(126)号土坑

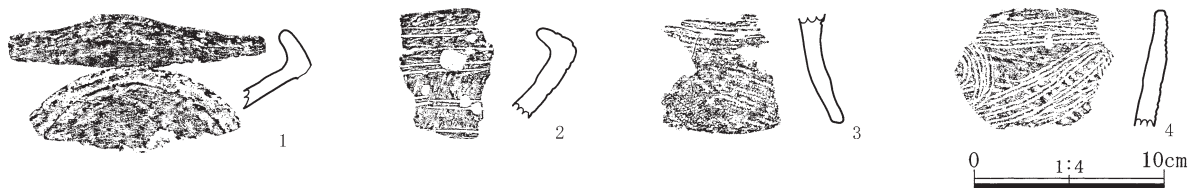
(4) V区J 2 (94)号土坑

位置：Ei-41G・Ej-41Gから検出された。
 形状：不整形円形土坑
 規模：長軸約2.75m・短軸約2.45m・深さ約35cm。

土層：土層は、3層に分かれる。
 遺物：遺物は、縄文時代前期の諸磯b式の深鉢口縁部3点及び器台脚部1点が出土した。また、石槍1点が出土した。



V区J 2 (94)号土坑
 1. 黒色土 粘性弱い。しまりやや有り。小円礫を1%弱・橙粒(φ4mm以下)を微量含む。
 2. 黒褐色土 粘性弱い。しまり有り。小円礫を微量・橙粒(φ2mm以下)を微量含む。
 3. 黒褐色土 粘性弱い。しまり有り。橙粒(φ1mm以下)を微量含む。



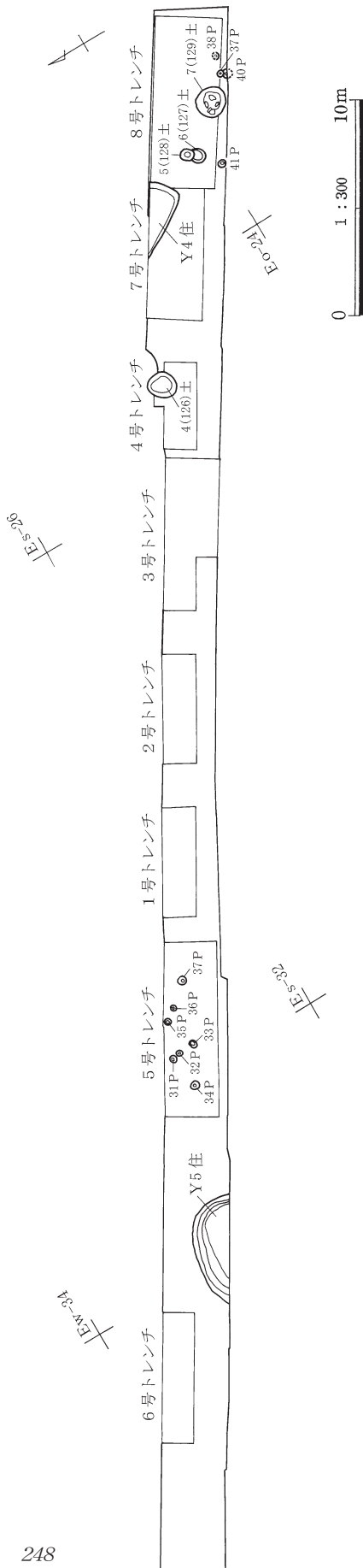
第7章第17図 V区J 2 (94)号土坑・出土縄文土器・石器

第7章表8 V区J 2 (94)号土坑出土縄文土器観察表 (第7章第17図、PL.109)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	94号土坑	深鉢	口縁	良	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの小石、砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁。無文。
P 2	94号土坑	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線横位施文。縄文原体Lr。
P 3	94号土坑	器台	脚部?破片	良	明黄褐	10YR7/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾2mmの平行沈線が横位に廻る。脚部に円形の透かし。縄文原体RL。
P 4	94号土坑	深鉢	口縁破片	不良	明赤褐	5YR5/6	φ1~2mmの小石、砂粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による渦巻文、斜線文。縄文原体RL横。

第7章表9 V区J 2 (94)号土坑出土縄文石器観察表 (第7章第17図、PL.109)

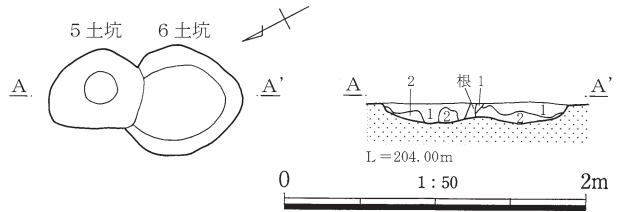
番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値(cm)			重量 (g)	石材		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	94土・埋没土	石槍	完形	7.25	2.60	1.00	25.89	黒色頁岩	—	一部表面残存。



第7章第18図 V区遺構位置図

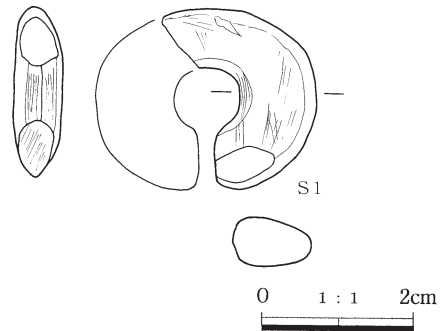
(5) V区J 5 (128)号土坑
 位置：Eo-23Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約60cm・短軸約50cm・深さ約10cm
 土層：土層は、2層である。
 遺物：遺物は、石製耳飾り1点が出土した。
 重複：本土坑南部は、J 6号土坑と重複する。
 新旧関係は、本J 5号土坑の方が新しい。

(6) V区J 6 (127)号土坑
 位置：Eo-23・24Gから検出された。
 形状：楕円形土坑
 規模：長軸約(65) cm・短軸約70cm・深さ約15cm
 土層：土層は、2層である。
 遺物：遺物は、出土しなかった。
 重複：本土坑北部は、J 5号土坑と重複する。
 新旧関係は、本J 6号土坑の方が古い。



V区J 5 (128)号土坑
 1. 黒褐色土 比較的均質で、白色粒を含む。
 2. におい黄褐色土 ローム粒を含む。
 V区J 6 (127)号土坑
 1. 黒褐色土 橙粒・白色粒・炭化物を含む。
 2. におい黄褐色土 ローム粒を含む。

第7章第19図 V区J 5 (128)・J 6 (127)号土坑



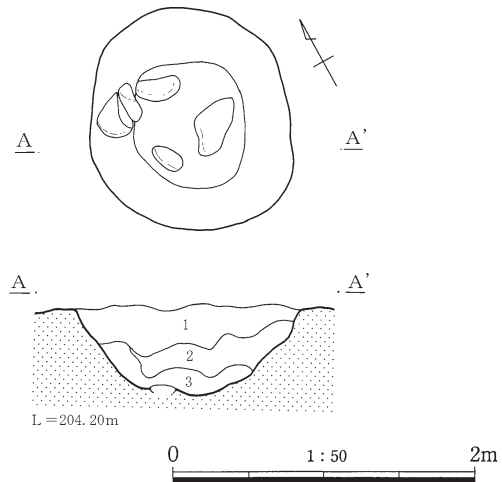
第7章第20図 V区J 5 (128)号土坑出土縄文石器

第7章表10 V区J 5 (128)号土坑出土縄文石器観察表
 (第7章第20図、PL. 109)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	128土・埋没土	耳飾り	破片	2.35	(1.05)	0.65	3.20	滑石	—	孔部直径約7mm。

(7) V区J 7 (129)号土坑

位置：En-23Gから検出された。
 形状：不整形円形土坑
 規模：直径約1.3m～1.45m・深さ約60cm
 土層：土層は、3層に分かれる。
 遺物：遺物は、出土しなかった。



V区J 7 (129)号土坑

1. 黒褐色土 橙粒・白色粒・ローム粒を含む。VI・VII層よりも硬い。
2. 黒褐色土 白色粒を極少量含む。ロームブロック(1～2cm大)を含む。1層よりも硬い。
3. 灰黄褐色土 ローム主体で均質。礫(5cm大)を含む。

第7章第21図 V区J 7 (129)号土坑

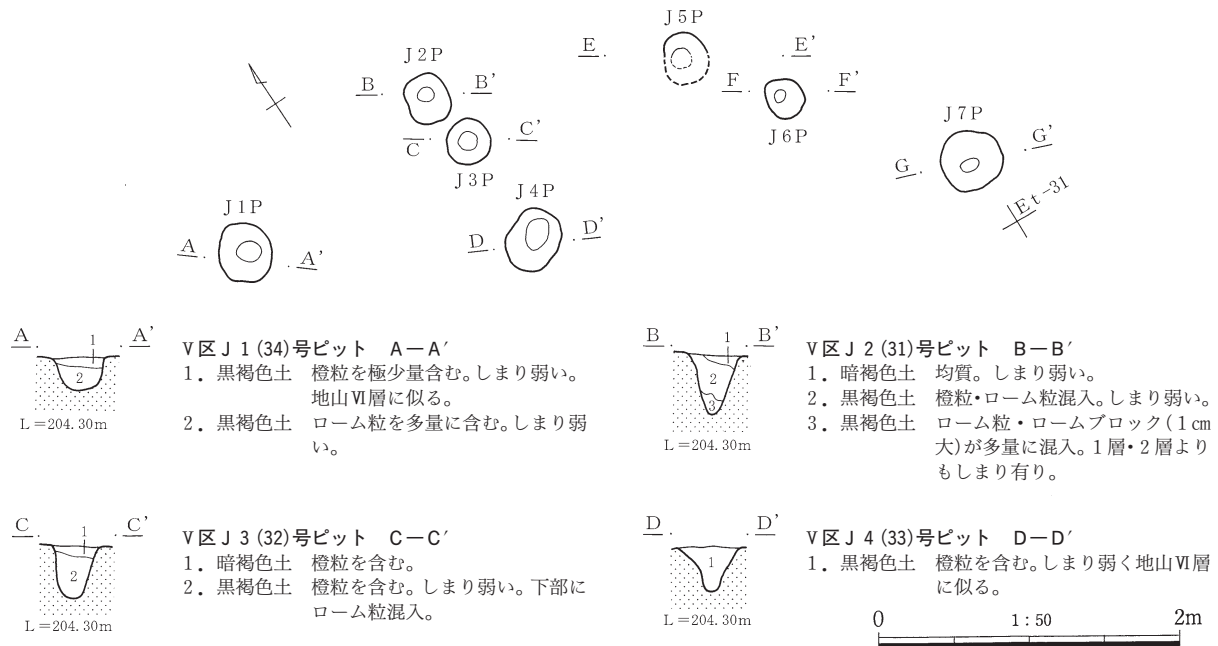
第7章表11 V区土坑まとめ

土坑番号	旧土坑番号	規 模			遺 物		重複	備考
		長軸	短軸	深さ	土器	石器		
J 1号土坑	96号土坑	1.7m	1.2m	60cm	諸磯c深鉢	—	無し	—
J 2号土坑	94号土坑	2.75m	2.45m	35cm	諸磯b深鉢	石槍	無し	—
J 3号土坑	95号土坑	直径45～50cm		20cm	—	—	無し	—
J 4号土坑	126号土坑	1.25m	95cm	50cm	—	—	無し	—
J 5号土坑	128号土坑	60cm	50cm	10cm	—	—	J 6号土坑	—
J 6号土坑	127号土坑	65cm	70cm	15cm	—	石製耳飾り	J 5号土坑	—
J 7号土坑	129号土坑	直径1.3～1.45m		60cm	—	—	無し	—

5. ピット

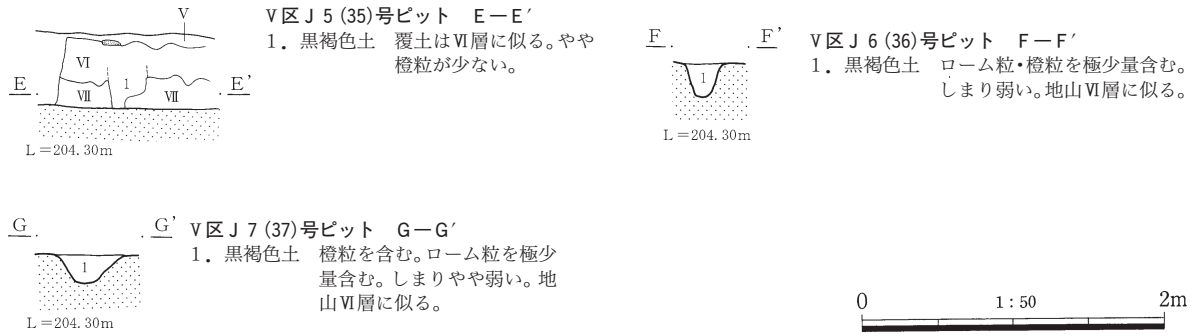
V区縄文面から、ピットが11基検出された。しかしながら、これらのピットで掘立柱建物を復元することはできなかった。

ピットは、円形あるいは不整形円形を呈し、直径が約25cm～45cm・深さ約15cm～60cmである。11基のピットから遺物は出土しなかった。

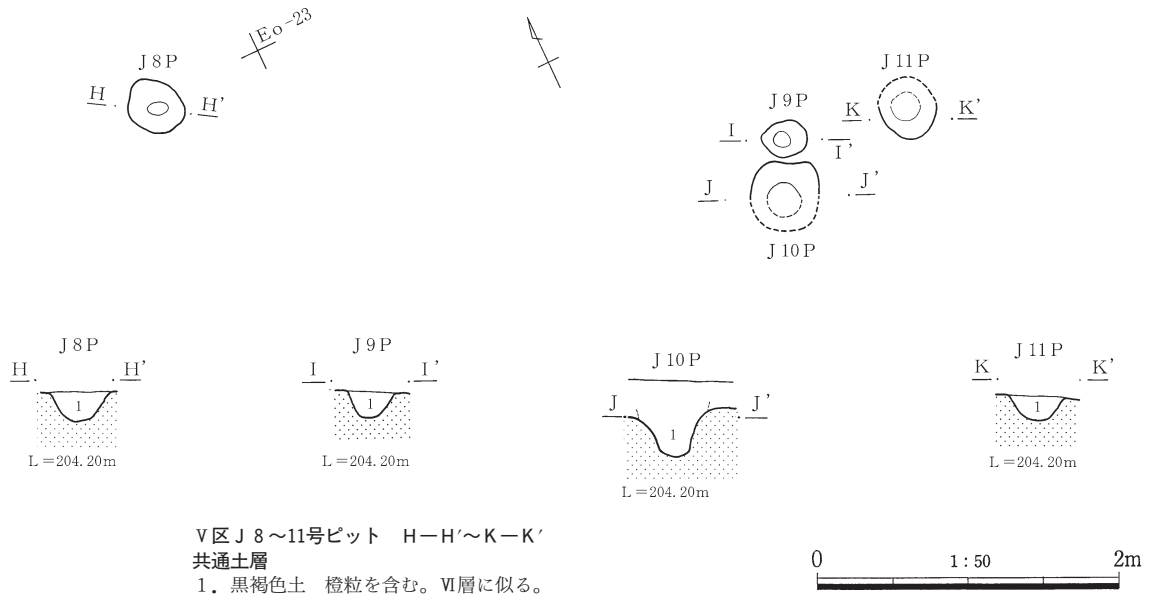


第7章第22図 V区J 1号～J 7号ピット、J 1号～J 4号ピット断面

第7章 V区の調査



第7章第23図 V区J 5号～J 7号ピット断面



第7章第24図 V区J 8号～J 11号ピット

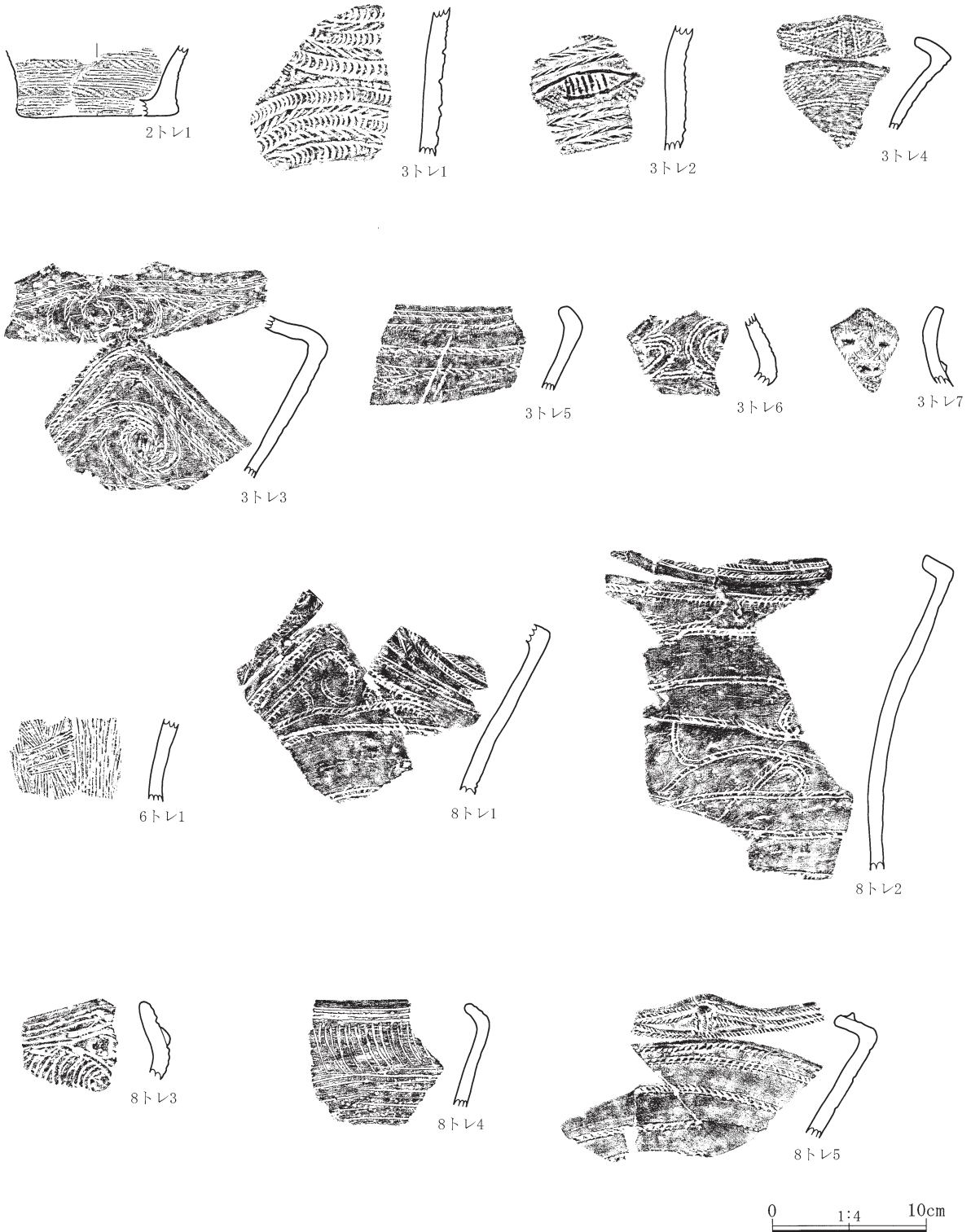
第7章表12 V区ピットまとめ

ピット番号	旧ピット番号	形状	規模		土層	遺物		重複	備考
			直径	深さ		土器	石器		
J 1号ピット	34号ピット	不整円形	35cm	60cm	2層	—	—	無し	—
J 2号ピット	31号ピット	不整円形	35cm	35cm	3層	—	—	無し	—
J 3号ピット	32号ピット	円形	30cm	35cm	2層	—	—	無し	—
J 4号ピット	33号ピット	不整円形	30～40cm	30cm	1層	—	—	無し	—
J 5号ピット	35号ピット	不整円形	30cm	25cm	1層	—	—	無し	—
J 6号ピット	36号ピット	不整円形	25cm	20cm	1層	—	—	無し	—
J 7号ピット	37号ピット	円形	40cm	15cm	1層	—	—	無し	—
J 8号ピット	41号ピット	不整円形	35cm	20cm	1層	—	—	無し	—
J 9号ピット	39号ピット	不整円形	30cm	15cm	1層	—	—	無し	—
J 10号ピット	40号ピット	不整円形	45cm	30cm	1層	—	—	無し	—
J 11号ピット	38号ピット	不整円形	40cm	15cm	1層	—	—	無し	—

6. トレンチ

V区の6つのトレンチから、土器と石器が出土した。2号トレンチからは土器と石器が、3号トレンチからは土器と石器が、4号トレンチからは石器が、

6号トレンチからは土器が、7号トレンチからは石器が、8号トレンチからは土器と石器が出土している。土器は、諸磯b式が主体である。



第7章第25図 V区2号・3号・6号・8号トレンチ出土縄文土器

第7章 V区の調査

第7章表13 V区2号トレンチ出土縄文土器観察表(第7章第25図、PL.110)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	Ⅶ層	深鉢	底部	普通	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石、黒色粒	諸磯b式(新)	集合沈線による横位区画。縄文原体RL。

第7章表14 V区3号トレンチ出土縄文土器観察表(第7章第25図、PL.111)

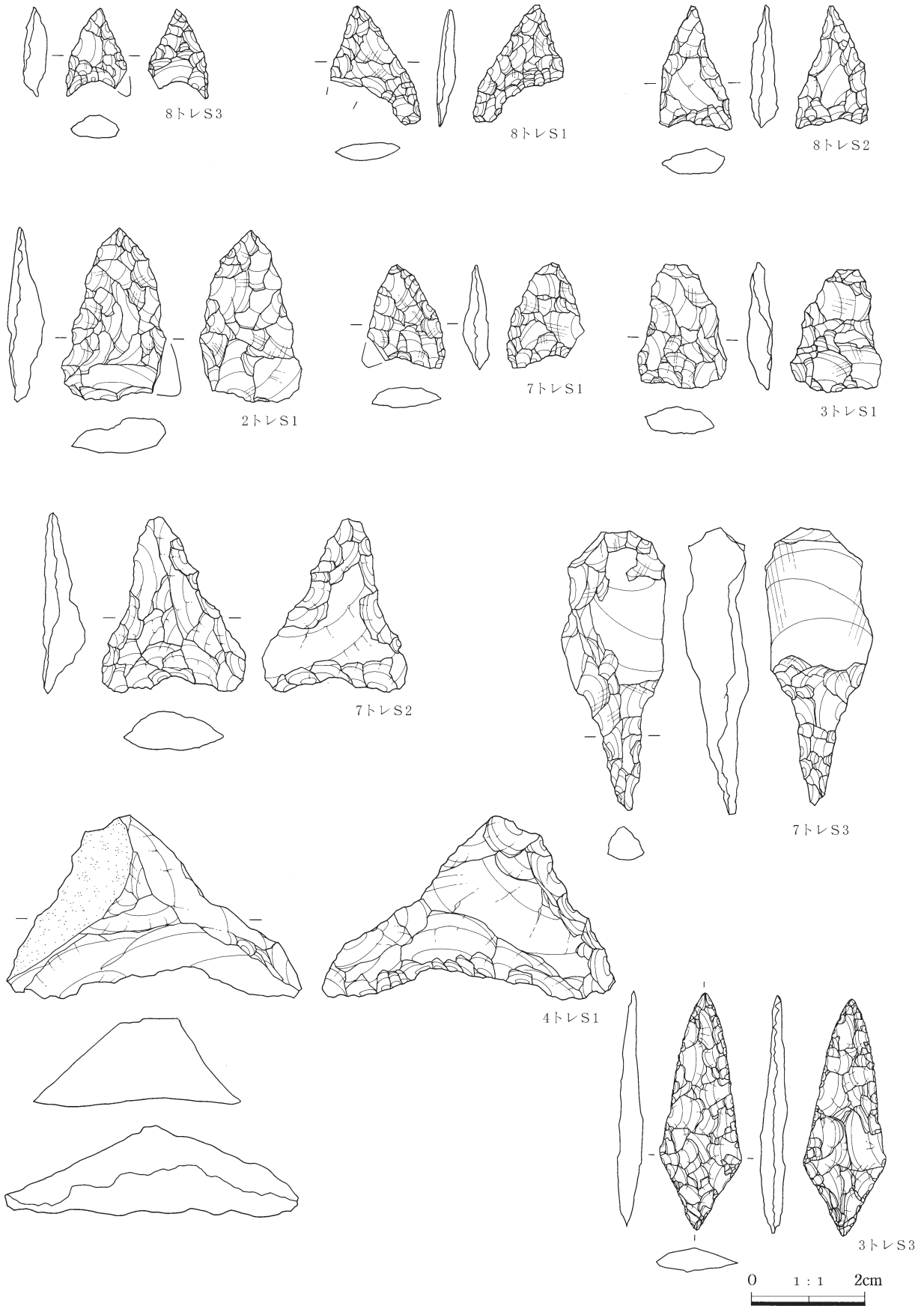
番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR6/3	φ1～3mmの小石	諸磯b式(古)	巾11mmの平行沈線爪形文による弧線文。文様間に斜位の刻み。
P2	Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1～2mmの小石、軽石粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。区画内に弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P3	Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1～3mmの小石、軽石粒	諸磯b式(新)	波状口縁でくつ先状に屈曲。巾3mmの平行沈線で横位区画、渦巻文、沈線には矢羽根状の刻み。
P4	Ⅵ層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	半截竹管の両端を刺突する平行沈線による横位区画。口縁には三角文。縄文原体Lr。
P5	Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1～3mmの小石、軽石粒	諸磯b式(新)	巾4mmの平行沈線による横位区画線。沈線に刻み。
P6	Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	半截竹管の両端を刺突する平行沈線による横位区画と弧線文。
P7	Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	波状口縁側縁部に粘土瘤を貼付し獣面を表現する。

第7章表15 V区6号トレンチ出土縄文土器観察表(第7章第25図、PL.111)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、軽石粒	諸磯c式(新)	集合沈線による縦位区画と対弧文。

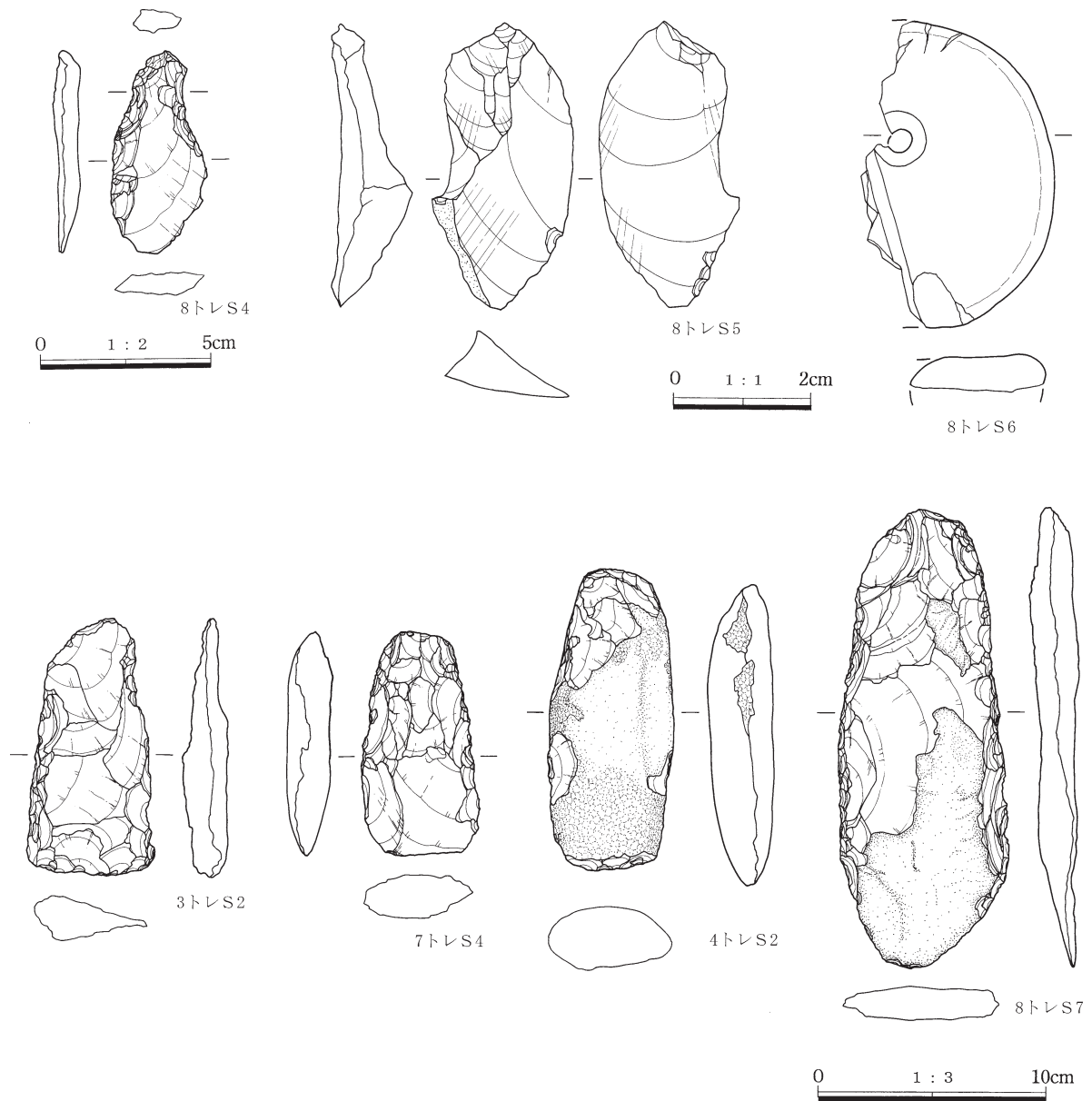
第7章表16 V区8号トレンチ出土縄文土器観察表(第7章第25図、PL.112)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	8号トレンチⅦ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/8	φ1～3mmの小石、軽石粒	諸磯b式(新)	巾4mmの平行沈線による横位区画線、渦巻文。沈線に刻み。波状口縁下くつ先状になる。
P2	8号トレンチⅦ層	深鉢	口縁～胴部破片	良	橙	5YR6/6	φ1～3mmの小石、軽石粒	諸磯b式(新)	巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内に弧線文。平行沈線に刻み。
P3	8号トレンチⅦ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁側縁部に粘土瘤貼付。巾4mmの平行沈線による弧線文。
P4	7号・8号トレンチⅦ層	深鉢	口縁破片	良	赤褐	5YR4/8	細かい砂粒	諸磯b式(新)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤貼付。口縁部文様帯は偏平な浮線による三角文。浮線には矢羽根状の刻み。頸部は巾4mmの平行沈線による横位区画。沈線に刻み。
P5	8号トレンチⅦ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR4/3	砂粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による平行沈線横位区画。区画内に弧線文。



第7章第26図 V区2号・3号・4号・7号・8号トレンチ出土縄文石器

第7章 V区の調査



第7章第27図 V区3号・4号・7号・8号トレンチ出土縄文石器

第7章表17 V区トレンチ出土縄文石器観察表 (第7章第26・27図、PL.110~112)

番号	出土遺構	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	2号トレンチ	埋没土	石鏃	一部欠損	3.10	1.90	0.60	2.45	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。平基。
S 1	3号トレンチ	埋没土	石鏃	尖端部破損	2.40	1.65	0.50	1.43	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。平基。
S 2	3号トレンチ	VII層	打製石斧	一部欠損	11.20	5.50	1.95	97.00	細粒輝石安山岩	輝石安山岩	短冊形石斧。
S 3	3号トレンチ	VI層	尖頭器	完形	4.15	1.45	0.48	2.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	尖基鏃。
S 1	4号トレンチ	埋没土	石匙	摘み部破損	3.40	5.20	1.50	13.79	珪質頁岩	—	横型石匙。一部表面残存。
S 2	4号トレンチ	VI層	磨製石斧	一部欠損	13.15	5.35	2.80	313.00	変玄武岩	緑色片岩	乳棒状磨製石斧。
S 1	7号トレンチ	VI層	石鏃	一部欠損	1.80	1.33	0.42	0.80	黒曜石	黒曜岩	三角形無茎鏃。凹基。
S 2	7号トレンチ	VII層	石鏃	一部欠損	3.20	2.60	1.70	3.75	黒色安山岩	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 3	7号トレンチ	VII層	石鏃	完形	5.00	1.80	1.00	6.37	黒曜石	黒曜岩	刃部長さ約20mm、幅約6mm。
S 4	7号トレンチ	VI層	打製石斧	完形	9.70	5.10	1.90	115.10	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 1	8号トレンチ	VI層	石鏃	一部欠損	2.16	(1.64)	0.28	0.61	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 2	8号トレンチ	VI層	石鏃	完形	2.09	1.31	0.45	1.23	チャート	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 3	8号トレンチ	VI層	石鏃	下端部欠損	1.54	1.08	0.35	0.44	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 4	8号トレンチ	VII層	石匙	完形	5.80	2.75	0.75	12.46	黒色安山岩	—	縦型石匙。左右非対称。
S 5	8号トレンチ	VI層	剥片石器	完形	4.14	2.01	0.77	4.95	黒曜石	黒曜岩	—
S 6	8号トレンチ	VI層	耳飾り	破片	4.40	2.80	(0.55)	7.30	凝灰質砂岩	—	直径約3mmの孔1ヶ所有。条痕有。
S 7	8号トレンチ	VII層	打製石斧	一部欠損	19.90	7.30	2.00	301.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。



第7章第28図 V区Y1(2)号住居出土縄文土器

第7章 V区の調査

第7章表18 V区Y1(2)号住居出土縄文土器観察表(第7章第28図、PL.113)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	V層埋没土	深鉢	口縁破片	普通	淡黄	2.5Y8/3	砂粒、黒色粒	諸磯a式(新)	巾4mmの平行沈線による横位区画と波状線。円形の刺突列が縦位に施される。
P 2	周提帯	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(古)	口唇部に波状の突起。口縁に沿って隆線が廻る。側縁にφ10mmの孔。巾7mmの平行沈線爪形文と円形刺突文施文。
P 3	V層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	5YR7/4	砂粒	諸磯b式(古)	巾8mmの平行沈線爪形文施文。爪形文間に斜位の刻み。
P 4	掘り方	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(古)	巾4mmの平行沈線爪形文による弧線文。文様間に斜位の刻みを持つ隆線。
P 5	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾6mmの平行沈線爪形文による弧線文。円形刺突。
P 6	周提帯	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画と縦位の線。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P 7	No56	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(中1)	浮線による横位区画。区画内渦巻文。浮線には矢羽根状の刻み。
P 8	埋没土	深鉢	底部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線には「×」状の刻み。
P 9	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	波状口縁頂部に突起。平行沈線による渦巻文。
P 10	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。縄文原体Lr。
P 11	周提帯	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/4	砂粒	諸磯c式(古)	波状口縁側縁部に棒状貼付文部分で内側に凹む。口唇と屈曲部に凹凸文。ボタン状貼付文。内面スス付着。
P 12	埋没土	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	口唇部凹凸文。棒状貼付文。集合沈線による横位区画、縦位区画、斜線文。
P 13	周提帯	深鉢	口縁～胴部破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、軽石粒	諸磯c式(新)	集合沈線による矢羽根横位区画。胴部対弧文、棒状、ボタン状貼付文。
P 14	埋没土	深鉢	胴部破片	不良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	下島式	結節浮線文による渦巻文。
P 15	周提帯	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(新)	口唇に棒状貼付文。側縁にボタン状貼付文。縄文原体RL。
P 16	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	折り返し口縁。沈線矢羽根状に施文。ボタン状貼付文。
P 17	埋没土	深鉢	口縁破片	不良	明黄褐	10YR7/6	砂粒、黒色粒	浮島Ⅲ式	口唇に斜位の刻み。巾20mmの変形爪形文。平行沈線による菱形文。
P 18	周提帯	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒	浮島Ⅲ式	貝殻腹縁によるロッキング。
P 19	周提帯	深鉢	胴部破片	良	橙	2.5YR6/6	砂粒、黒色粒	興津Ⅱ式	凹凸文。
P 20	周提帯	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	興津Ⅱ式	爪形文を連続して施文し、凹凸文風にしている。
P 21	埋没土	深鉢	口縁破片	不良	にぶい赤褐	5YR5/4	砂粒	大木5式	口縁を肥厚させ三角に刻む鋸歯文。側縁に粘土紐による山形文。縄文原体LR、RL。
P 22	周提帯	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	砂粒	大木5式	折り返し口縁。縄文原体RL、LR。
P 23	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/3	砂粒	大木5式	円形の貼付文。粘土紐による山形文。縄文原体RL、LR。
P 24	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒	諸磯c式(中1)	断面凸形の浮線による文様施文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P 25	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	粘土紐貼付による山形文。縄文原体RL横。
P 26	埋没土	深鉢	破片	普通	にぶい赤褐	5YR4/3	砂粒	大木式	ボタン状貼付文、粘土紐貼付による山形文。縄文原体RL横。
P 27	周提帯	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石	十三善提式	口唇に棒状貼付文。結節沈線による山形文。
P 28	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	十三善提式	口縁屈曲部に三角の刻みによる鋸歯文。貝殻腹縁を連続して刺突。三角印刻。
P 29	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒、黒色粒	十三善提式	三角の刻みによる鋸歯文。結節沈線による文様施文。
P 30	掘り方	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒	十三善提式	印刻による山形文。結節沈線による弧線文。
P 31	埋没土	深鉢	口縁破片	良	明黄褐	10YR7/6	砂粒	諸磯c式(中1)	口縁側縁に目・鼻・口を貼り付け獣面を表現している。浮線による文様施文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体LR。
P 32	周提帯	深鉢	口縁破片	不良	明黄褐	10YR7/6	砂粒	諸磯b式(中2)	口縁側縁に鼻・口を貼り付け獣面を表現する。
P 33	掘り方	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	口縁端部に頭部、側縁に鼻・口を貼り付け獣面を表現する。
P 34	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	口縁側縁に目・鼻・口を貼り付け獣面を表現する。平行沈線による文様施文。
P 35	周提帯	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/3	砂粒	諸磯c式(中1)	口縁端部に獣面把手を接合している。
P 36	周提帯	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	口縁端部に獣面把手を接合している。
P 37	埋没土	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	口縁側縁に目・鼻・口を貼り付け獣面を表現する。平行沈線による文様施文。
P 38	周提帯	ミニチュア土器	破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式	深鉢底部に沈線を廻らす。
P 39	埋没土	ミニチュア土器	破片	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒	前期	底部上げ底。
P 40	周提帯	ミニチュア土器	破片	普通	橙	2.5YR6/6	細かい砂粒	前期	深鉢模倣。無文。

第2節 V区遺構外

V区遺構外の掲載遺物は、土器が48のグリッドから237点、石器が66のグリッドから266点の合計503点を掲載した。

出土土器及び石器の内訳は、以下の表通りである。

1. 土器

土器の内、型式が判明したものは、諸磯a式9点・諸磯b式95点・諸磯c式70点・諸磯式6点・浮島式7点・興津式11点・大木式23点・十三菩提式13点である。その他、北白川下層IIc式・下島式・阿玉台式等が出土している。

大きな傾向として、IV区と同様に諸磯b式を中心

とした諸磯式が主体である。

土器の器種は、深鉢が大多数を占め、次に有孔浅鉢・浅鉢となる。

2. 石器

石器の内、出土点数順に見ると、打製石斧76点・石鏃46点・磨石31点・石匙22点・石錐16点・石皿16点・石核12点・凹石10点等となる。

大きな傾向として、IV区と同様に打製石斧・石鏃・磨石・凹石・石匙等が中心である。

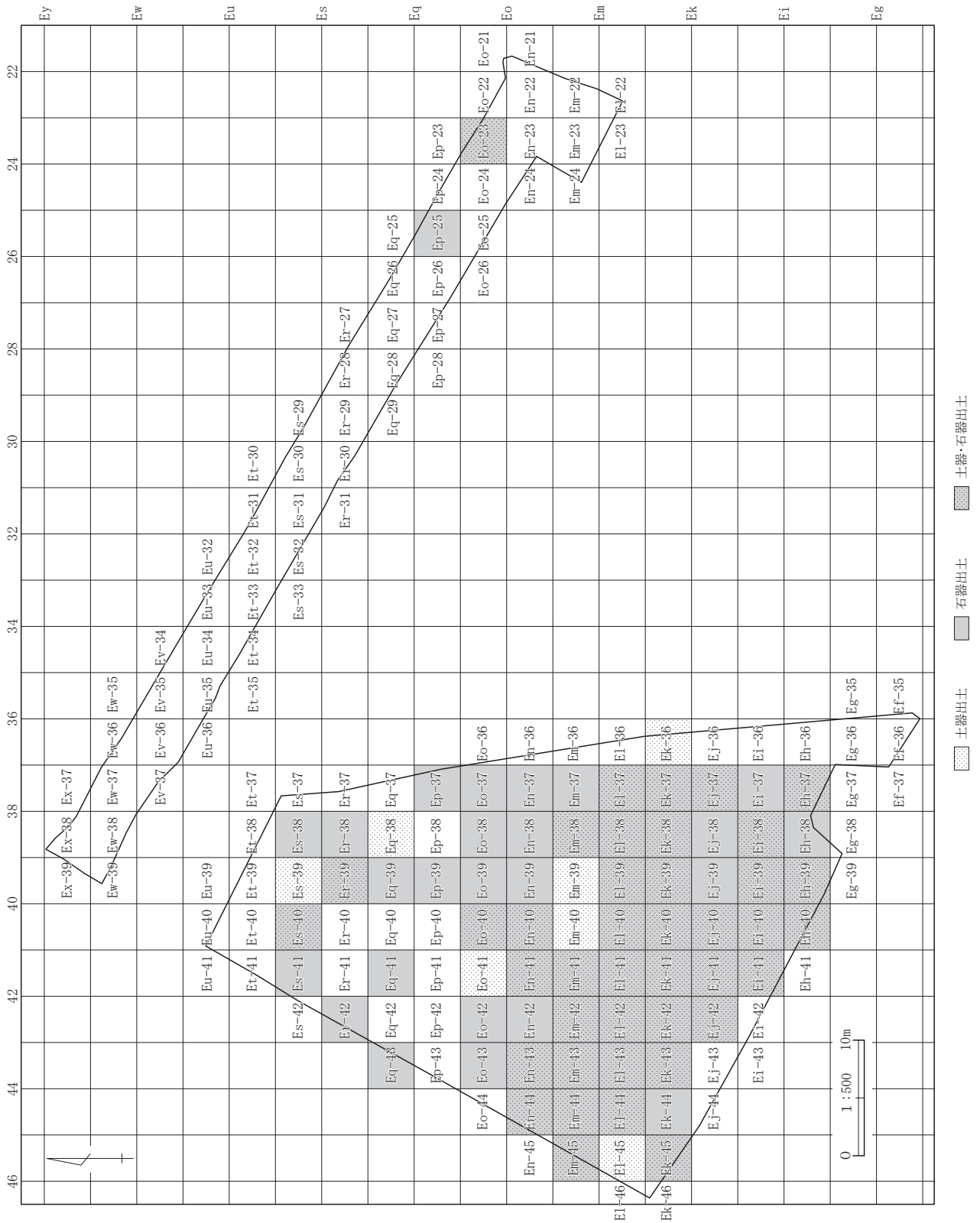
石器の出土層位では、ほとんどの器種がVI層及びVII層から出土している。

第7章表19 V区縄文面 遺構外縄文土器まとめ

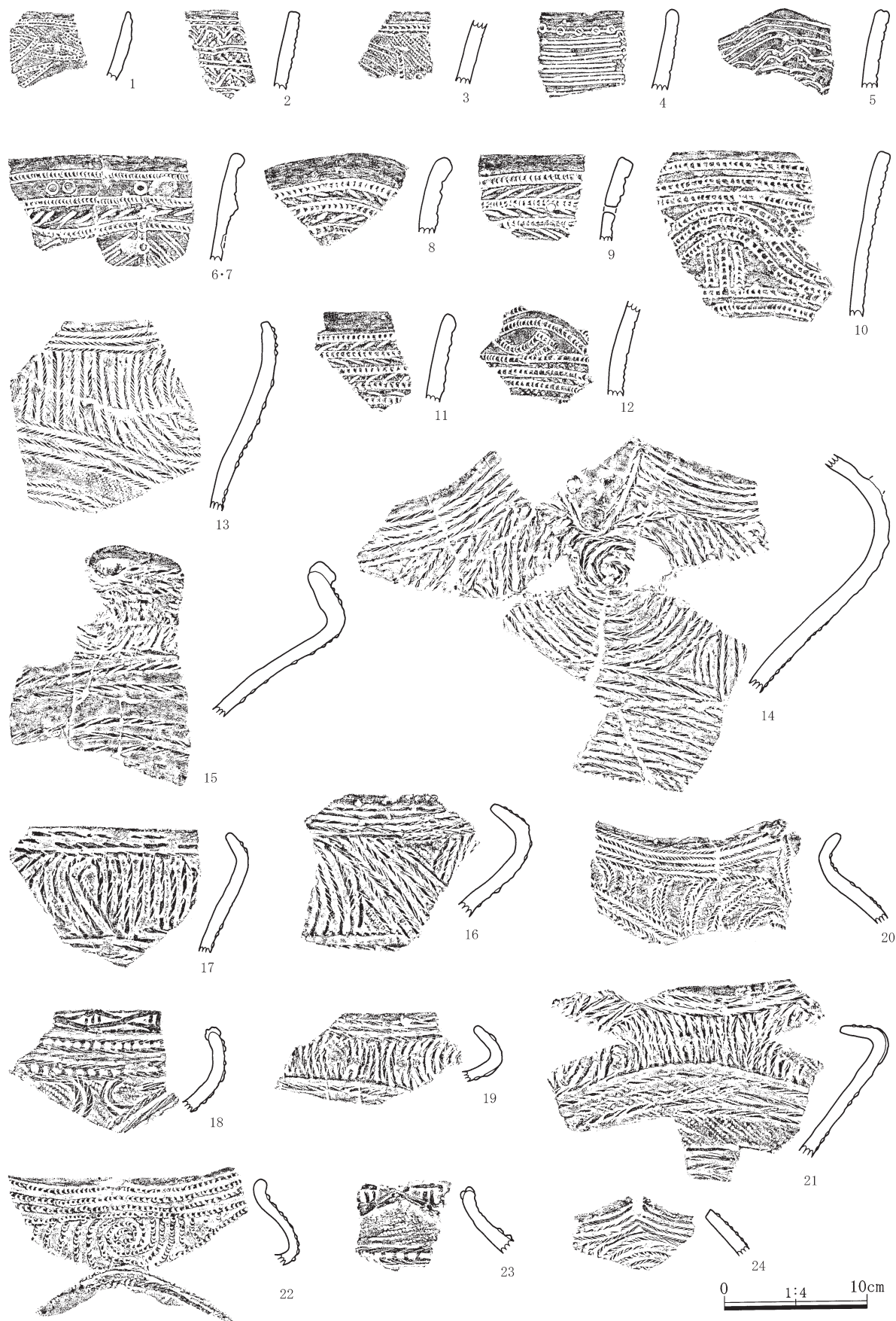
土器型式 器種	諸磯a式			諸磯b式						諸磯c式				諸磯	浮島			興津		大木		十三菩提
	古	新	不明	古	中1	中2	中	新	不明	古	中1	新	不明		浮島II	浮島III	不明	興津I	興津II	大木5	大木5b	
深鉢	—	7	2	8	—	37	—	34	1	29	14	25	2	—	3	3	1	1	10	22	1	13
浅鉢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
有孔浅鉢	—	—	—	—	1	5	—	4	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ミニチュア土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—
土製円盤等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
総計	—	7	2	8	1	42	—	38	6	29	14	25	2	6	3	3	1	1	10	22	1	13

第7章表20 V区縄文面 遺構外出土縄文石器まとめ

	石鏃	尖頭器	石匙	石錐	打斧	砥石	敲石	石核	磨石	凹石	多孔石	石皿	異形	石刃	削器	台形	石鏃	剥片	磨斧	耳飾り
IV層	3	—	—	1	1	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
V層	4	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
VI層	22	1	7	9	28	1	1	4	16	6	3	7	—	1	1	1	1	2	—	1
VII層	12	2	9	5	43	1	2	7	13	4	4	8	—	—	—	—	—	—	3	2
VIII層	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
IX層	—	—	2	—	1	—	2	—	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
層位不明	4	—	3	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	1
合計	46	3	22	16	76	2	5	12	31	10	8	16	1	2	2	1	1	2	4	3



第7章第29図 V区グリッド配置図



第7章第30図 V区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)

第7章 V区の調査



第7章第31図 V区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)

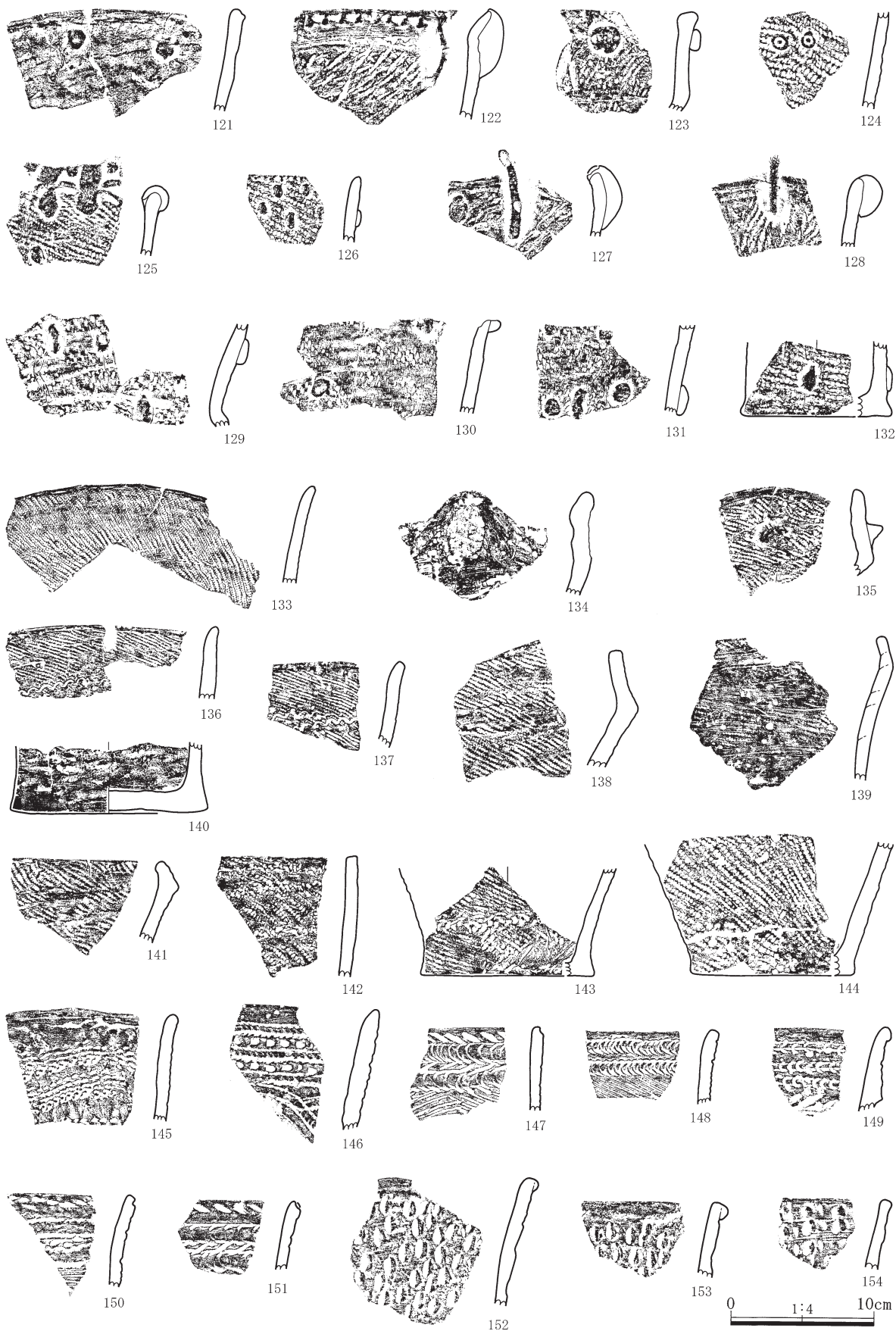


第7章第32図 V区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)

第7章 V区の調査

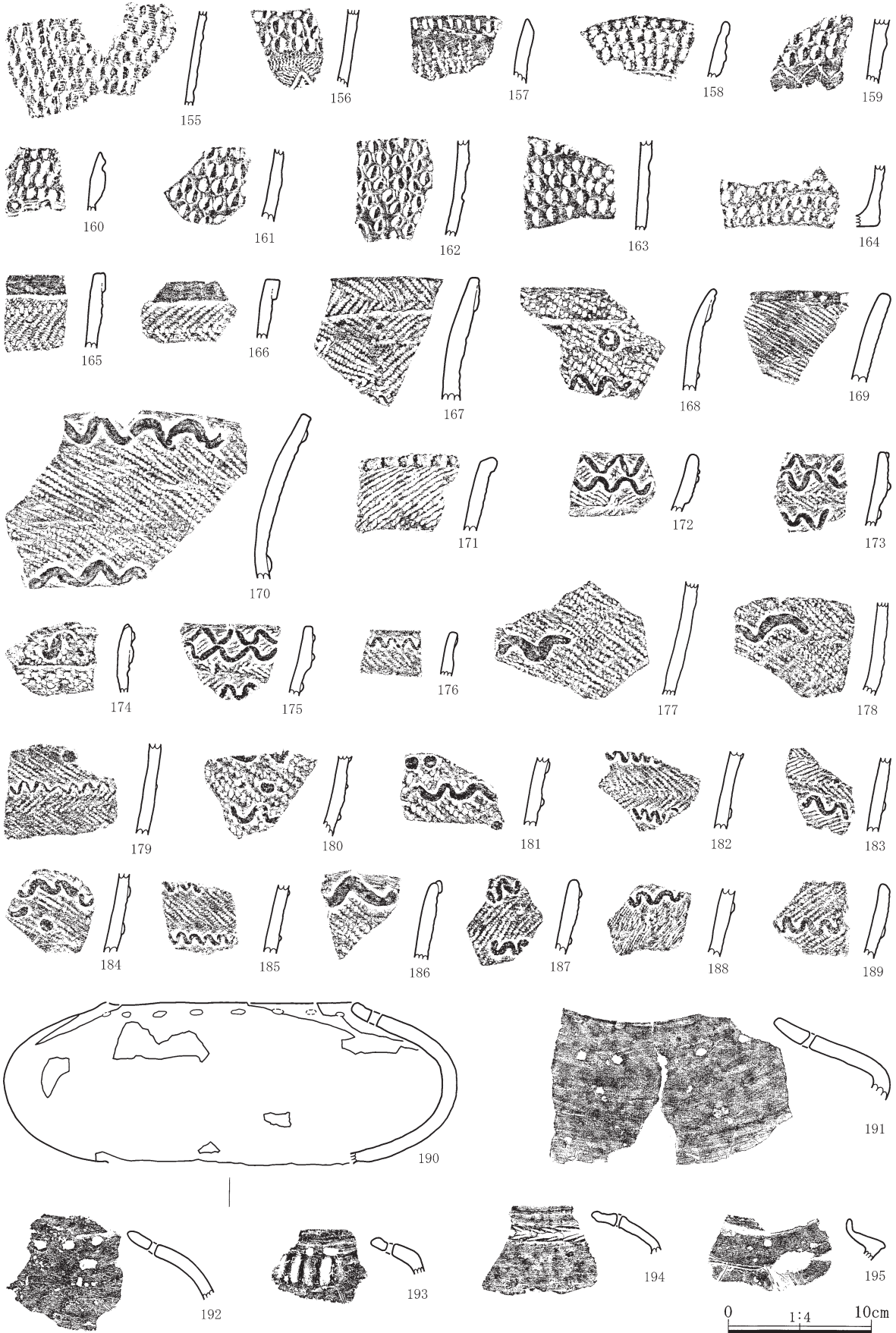


第7章第33図 V区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)

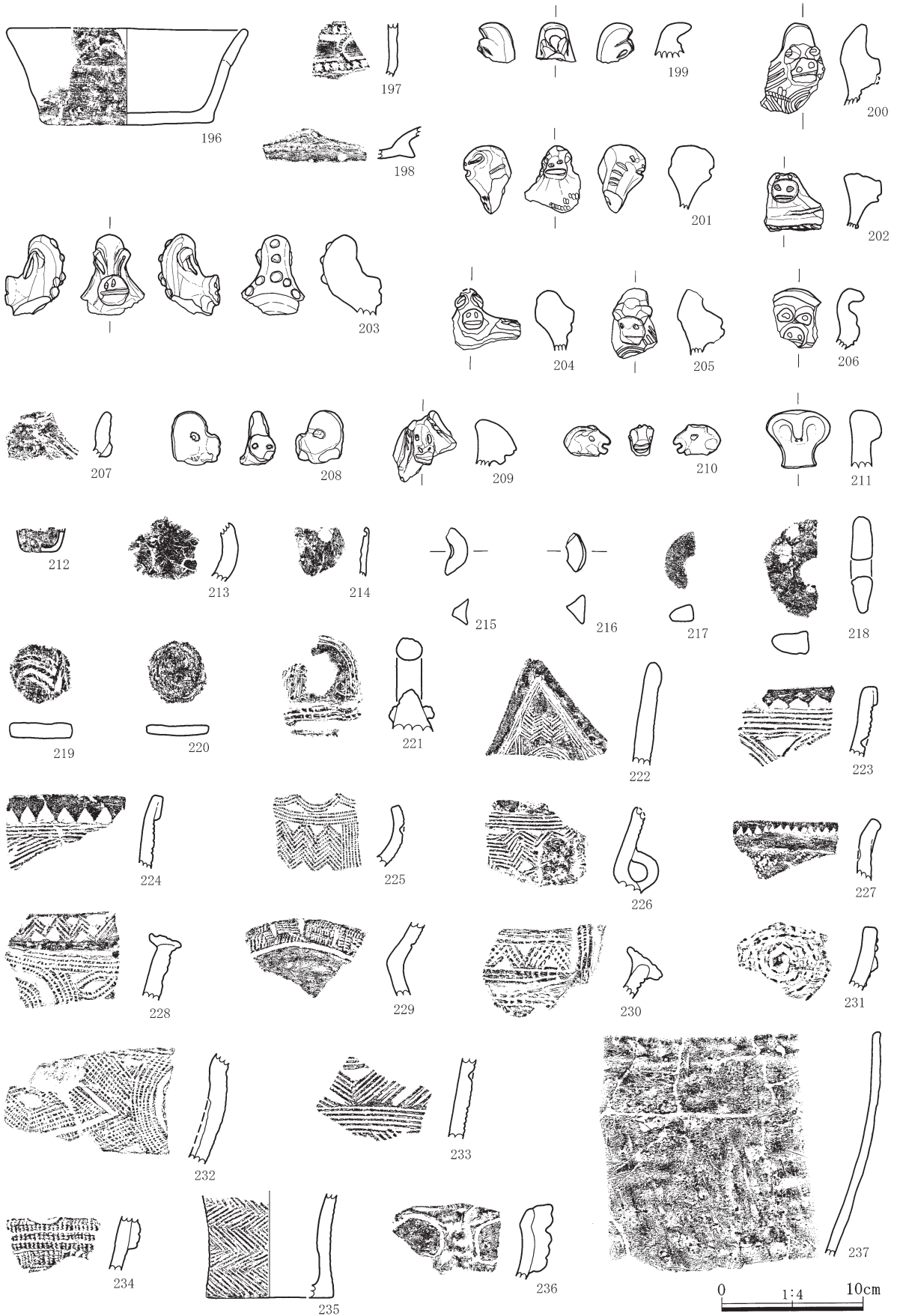


第7章第34図 V区縄文面 遺構外出土縄文土器(5)

第7章 V区の調査



第7章第35図 V区縄文面 遺構外出土縄文土器(6)



第7章第36図 V区縄文面 遺構外出土縄文土器(7)

第7章 V区の調査

第7章表21 V区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表(第7章第30~36図、PL.117~122)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P 1	Ek-41G Ⅶ層	浅鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒	諸磯 a 式(新)	巾 2mmの平行沈線爪形文による木葉文。磨り消し縄文。縄文原体 RL。
P 2	Ek-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/3	φ 1mmの小石、白色粒	諸磯 a 式(新)	巾 3mmの平行沈線横位区画と波状文。縄文原体 RL。
P 3	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	不良	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯 a 式(新)	巾 4mmの平行沈線爪形文による木葉文。円形刺突文。縄文原体 RL。
P 4	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒、黒色粒	諸磯 a 式(新)	口縁に平行沈線を廻らす。φ 4mmの円形刺突縦位施文、横位の沈線。
P 5	Ej-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明黄褐	10YR6/6	砂粒	諸磯 b 式(古)	巾 5mmの平行沈線による波状文。
P 6	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/4	砂粒、軽石粒	諸磯 a 式(新)	口縁部刻みのある隆線で横位区画。巾 4mmの平行沈線爪形文横位施文。胴部は平行沈線と円形刺突による米字文。7 と同一個体。
P 7	Ej-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	2.5YR6/6	砂粒、軽石粒	諸磯 a 式(新)	6 と同一個体。
P 8	Ek-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/3	φ 1mmの小石、黒色粒	諸磯 b 式(古)	巾 7mmの平行沈線爪形文による文様施文。爪形文間を隆線状にし斜めの刻み。
P 9	Ek-43G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、軽石粒	諸磯 b 式(古)	巾 7mmの平行沈線爪形文による文様施文。爪形文間を隆線状にし斜めの刻み。
P 10	Ek-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、軽石粒	諸磯 b 式(古)	巾 6mmの平行沈線爪形文による弧線文。
P 11	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒、黒色粒	諸磯 b 式(古)	巾 4mmの平行沈線爪形文横位施文。爪形文間に斜位の刻み。
P 12	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐	10YR4/3	砂粒、黒色粒	諸磯 b 式(古)	巾 5mmの平行沈線爪形文によるπ状文。弧線文。
P 13	Ei-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	2.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯 c 式(中1)	浮線による横位区画。区画内渦巻文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P 14	Ej-41G Ⅶ層	深鉢	口縁	普通	浅黄橙	10YR8/3	砂粒、黒色粒	諸磯 b 式(中2)	波状口縁の側縁に粘土瘤を貼り付け、獣面を表現する。浮線による間隔の狭い横位区画。口縁部には渦巻文様。浮線には矢羽根状の刻み。
P 15	Ek-38G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	2.5YR4/3	砂粒、軽石粒	諸磯 b 式(中2)	浮線による間隔の狭い横位区画。口縁部には渦巻文。口唇に「の」の字形の粘土紐貼付。浮線には矢羽根状の刻み。
P 16	Ek-41G Ⅶ層	浅鉢	口縁破片	普通	灰褐	5YR4/2	φ 1mmの小石、軽石粒	諸磯 c 式(中1)	浮線による横位区画。弧線文、斜線文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P 17	Ek-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR7/3	砂粒、軽石粒	諸磯 c 式(中1)	浮線による横位区画、弧線文。浮線には斜位の刻み。縄文原体 RL。
P 18	Ej-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	砂粒	諸磯 c 式(中1)	口唇に浮線による「×」字文。口縁には梯子状文、弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P 19	Ek-39G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒、黒色粒多い	諸磯 b 式(中2)	浮線による横位区画。区画内対弧文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P 20	Eo-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/3	砂粒、軽石粒	諸磯 b 式(新)	浮線による文様区画。口縁部には渦巻文。浮線には矢羽根状の刻み。くつ先状口縁。縄文原体 Lr。
P 21	Ek-38G Ⅶ層	深鉢	口縁	普通	にぶい黄橙	10YR6/3	φ 1mmの小石、軽石粒	諸磯 b 式(中2)	浮線による横位区画。口縁部は弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P 22	Ei-41G Ⅶ層	深鉢	口縁	良	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯 b 式(新)	浮線による文様区画。口縁部渦巻文。浮線には爪形文施文。内面スス付着。
P 23	Ej-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒	諸磯 c 式(中1)	口唇に浮線による「×」字文。口縁には梯子状文。浮線には矢羽根状文。縄文原体 LR。
P 24	En-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒	諸磯 b 式(中2)	浮線による渦巻文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P 25	Em-45G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ 1mmの小石	諸磯 c 式(中1)	口縁端部に獣面表現の把手を貼付。浮線による文様施文。浮線には矢羽根状の刻み、断面形凸形になる。
P 26	Ei-40G	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯 c 式(中1)	口唇に刻み、側縁に粘土瘤貼付。浮線による弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P 27	Ei-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	砂粒	諸磯 c 式(中1)	口縁端部に獣面表現の把手を貼付。浮線による渦巻文。浮線には斜位の刻み。断面形凸形になる。
P 28	Ei-40G	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	諸磯 c 式(中1)	口縁側縁に鼻・口を表現した粘土瘤を貼付。浮線による文様施文。浮線には矢羽根状の刻み。断面形凸形になる。
P 29	Ek-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、軽石粒	諸磯 c 式(中2)	口縁側縁に鼻・口を表現した粘土瘤を貼付し獣面を表現する。浮線による弧線文。浮線には刻み。
P 30	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	黒褐	10YR2/2	砂粒	諸磯 b 式(中2)	波状口縁端部から3単位の突起になる。側縁に粘土瘤貼付。浮線による風車状渦巻文。浮線には矢羽根状の刻み。

第2節 V区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P31	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL、LR。
P32	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	灰黄褐	10YR4/2	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(新)	偏平な浮線による渦巻文。浮線には矢羽根状の刻み。浮線間に刺突列。縄文原体 RL。
P33	Es-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(中)	浮線による横位施文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P34	Eh-37G Ⅶ層	深鉢	底部破片	良	橙	7.5YR7/6	φ1mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線横位施文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P35	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	底部破片	普通	橙	7.5YR6/8	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。梯子状文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体 RL。
P36	EI-37G Ⅶ層	深鉢	底部破片	普通	赤褐	2.5YR4/6	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	浮線横位施文。浮線には矢羽根状の刻み。
P37	Ej-37G Ⅶ層	深鉢	底部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯c式(中1)	浮線による「×」字文。縄文原体 LR。
P38	Eh-39G Ⅸ層	深鉢	底部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。梯子状文。浮線には矢羽根状の刻み。
P39	Ej-40G Ⅶ層	深鉢	底部破片	普通	赤褐	2.5YR4/6	砂粒、軽石粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。
P40	Ej-42G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤を貼付し獸面を表現する。巾4mmの平行沈線による弧線文。
P41	Ei-40G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	細かい砂粒、黒色 粒	諸磯b式(中2)	口縁側縁に目・鼻・口を表現した粘土瘤を貼付し、獸面を表現する。巾3mmの平行沈線による渦巻文。
P42	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻み。側縁に粘土瘤貼付。巾4mmの平行沈線による横位区画。口縁部対弧文。
P43	Ek-37G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/8	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻み。側縁に粘土瘤貼付。巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内弧線文。
P44	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻み。側縁に粘土瘤貼付。巾4mmの平行沈線による弧線文。
P45	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻み。側縁に粘土瘤貼付。巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内対弧文。
P46	Em-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/8	砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤貼付。巾4mmの平行沈線区画。区画内対弧文。
P47	EI-42G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻み3単位の突起。側縁に粘土瘤貼付。巾4mmの平行沈線横位区画。区画内風車状渦巻文。
P48	Em-38G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR7/6	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁側縁に粘土瘤貼付。巾2mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 RL。
P49	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤貼付。巾6mmの平行沈線による横位区画。区画内弧線文。
P50	Ei-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による渦巻文。縄文原体 RL。
P51	Ek-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による弧線文。
P52	Er-39G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による渦巻文。
P53	Ek-45G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。
P54	Ek-45G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 RL。
P55	Eh-41G Ⅸ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線による弧線文。
P56	Ej-42G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	不良	灰褐	7.5YR4/2	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯b式(中2)	口唇に3単位の小突起。巾3mmの平行沈線による横位区画と弧線文。
P57	Eo-23G Ⅵ層	深鉢	口縁	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 RL。
P58	Em-42G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/3	砂粒、黒色粒	諸磯b式(新)	口縁に凹凸文。集合沈線横位施文。
P59	Ek-40G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	不良	灰褐	7.5YR4/2	φ1mmの小石多い	諸磯b式(古)	口唇に凹凸文。棒状貼付文部分湾入する。ボタン状貼付文。集合沈線による施文。
P60	Em-43G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	赤褐	2.5YR4/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(新)	巾3mmの平行沈線を集合させ三角形に文様区画する。波状口縁頂部が湾入する。側縁に粘土瘤貼付。
P61	Es-40G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/3	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯b式(新)	巾2mmの平行沈線による横位区画。「×」字文。内面スス付着。縄文原体 Lr。
P62	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(新)	巾3mmの平行沈線を集合化させ横位の区画。縄文原体 RL。
P63	Eo-40G Ⅶ層	深鉢	底部破片	不良	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(新)	巾4mmの平行沈線による横位区画。
P64	Ek-45G Ⅶ層	深鉢	底部破片	不良	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒多い	諸磯b式(新)	巾3mmの平行沈線横位区画。内面スス付着。

第7章 V区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P65	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	胴部～底部 破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石 多い	諸磯c式(古)	巾2mmの平行沈線による底部横位区画。胴部縦位の区画。
P66	Eh-40G Ⅸ層	深鉢	底部	普通	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(新)	巾4mmの平行沈線による横位区画。内面スス付着。縄文原体 RL。
P67	EI-38G Ⅶ層	深鉢	胴部	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯b式(新)	巾4mmの平行沈線横位区画。胴上半部には弧線文。縄文原体 RL。
P68	Ej-40G Ⅶ層	深鉢	口縁～胴部	普通	黒褐	10YR3/2	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯c式(古)	口縁部に棒状貼付文。集合沈線横位施文。胴部に縦位の区画文。
P69	EI-44G Ⅵ層	深鉢	口縁～胴部 破片	普通	明赤褐	5YR5/8	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	口唇に刻み。集合沈線による口縁横位施文。胴部縦位区画と対弧文。斜線文。
P70	Eq-38G Ⅸ層	深鉢	口縁～胴部 破片	良	灰褐	5YR4/2	砂粒、軽石粒	諸磯c式(古)	口唇に凹凸文。集合沈線による口縁横位施文、胴部対弧文。
P71	EI-38G Ⅵ層	深鉢	口縁～胴部 破片	良	灰褐	5YR4/2	φ1～3mmの小石	諸磯c式(古)	集合沈線による口縁横位施文。胴部縦位区画、斜線対弧文。
P72	Ej-37G Ⅶ層	深鉢	口縁～胴部 破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	φ1～3mmの小石	諸磯c式(古)	口唇に凹凸文。集合沈線による口縁横位施文。胴部縦位区画、対弧文。
P73	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、軽石粒	諸磯c式(新)	口唇に沈線による矢羽根文、口縁横位の施文。胴部縦位区画対弧文。ボタン状貼付文。
P74	Eq-38G Ⅶ・Ⅸ層	深鉢	口縁～胴部 破片	良	明黄褐	10YR7/6	φ1mmの小石	諸磯c式(新)	集合沈線により口縁部横位区画。口縁矢羽根文。胴部縦位区画対弧文。矢羽根文。棒状の貼付文に爪形刺突。ボタン状貼付文。内面スス付着。
P75	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	灰褐	7.5YR4/2	砂粒	諸磯c式(古)	大波状口縁の集合沈線施文。
P76	EI-38G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR7/3	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	集合沈線施文。補修孔。
P77	Ek-38G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒	諸磯c式(古)	大波状口縁突起部集合沈線施文。棒状、ボタン状施文。
P78	Ei-38G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1mmの小石、白 色粒	諸磯c式(古)	集合沈線による対弧文。大波状口縁突起部。
P79	Ei-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1～2mmの小石	諸磯c式(古)	深鉢口縁把手部。集合沈線による弧線文。両面に刺突列。
P80	Ei-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	φ1mmの小石	諸磯c式(古)	波状口縁把手部。巾3mmの平行沈線を集合させ矢羽根文等を施文。三角の透かし。
P81	Ej-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR5/3	細かい砂粒	諸磯c式(古)	巾3mmの平行沈線を集合させ横位の施文。
P82	Eh-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	諸磯c式(新)	口縁集合沈線による矢羽根文。頸部横位区画、胴部縦位区画に矢羽根文、棒状、ボタン状貼付文。
P83	En-44G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	集合沈線による縦位の弧線。棒状、ボタン状貼付文。
P84	Ek-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい赤褐	5YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	集合沈線横位施文。棒状、ボタン状貼付文。
P85	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	口縁巾3mmの平行沈線を集合させ矢羽根文を施文。胴部横位の施文。耳たぶ状の貼付文。
P86	Ek-43G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	口縁部巾3mmの平行沈線を集合させ矢羽根文施文。頸部横位施文。棒状貼付文。
P87	Ek-43G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	諸磯c式(新)	集合沈線による横位施文。ボタン状、棒状貼付文。
P88	Em-38G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明黄褐	10YR7/6	φ1～3mmの小石	諸磯c式(新)	口縁に集合沈線による矢羽根文。頸部横位施文。口縁に三角の印刻。棒状、ボタン状貼付文。
P89	Ei-39G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	良	灰褐	7.5YR4/2	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	口唇に凹凸文。口縁部に集合沈線による矢羽根文。頸部に横位施文。棒状、ボタン状貼付。
P90	Eq-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	浅黄橙	10YR8/4	φ1mmの小石、黒 色粒	諸磯c式(古)	集合沈線による矢羽根状文様、棒状、ボタン状貼付文。
P91	Eq-38G Ⅸ層	深鉢	口縁	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、軽石粒	諸磯c式(新)	集合沈線による矢羽根文。頸部に横位施文。棒状、ボタン状貼付。貼付文に竹管による刺突列が施文される。内面スス付着。
P92	Ej-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	口唇に凹凸文。平行沈線を集合させ横位区画し、区画内に弧線菱形文施文。ボタン状貼付文。
P93	EI-40G Ⅶ層	深鉢	口縁	良	赤褐	2.5YR4/6	φ1～3mmの小石	諸磯c式(新)	巾4mmの平行沈線横位施文。棒状、ボタン状貼付文。
P94	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	巾4mmの平行沈線を集合させ横位に施文。棒状、耳たぶ状、ボタン状貼付文。
P95	Em-41G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	巾4mmの平行沈線横位施文。棒状、ボタン状貼付文。
P96	Ej-40G Ⅵ・Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯c式(新)	地文縄文施文。棒状、ボタン状貼付文。縄文原体 Lr。
P97	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/3	φ1～3mmの小石	諸磯c式(新)	巾3mmの平行沈線を集合させ横位の施文。棒状、ボタン状貼付文。
P98	Ek-37G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	φ1～2mmの小石、 白色粒	諸磯c式(古)	巾3mmの平行沈線による口縁横位施文。胴部縦位区画と斜線文。棒状貼付文。

第2節 V区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P99	EI-39G	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	巾3mmの平行沈線による対弧文。ボタン状貼付文。
P100	Ej-40G Ⅶ層	深鉢	底部	良	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1～3mmの小石	諸磯c式(古)	巾3mmの平行沈線横位施文。
P101	EI-43G Ⅶ層	深鉢	口縁～胴部破片	普通	灰褐	7.5YR4/2	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯c式(新)	巾3～4mmの平行沈線による口縁矢羽根文。頸部横位区画。胴部縦位区画、矢羽根文。棒状、ボタン状貼付文。ボタン状貼付文に刺突。
P102	Ek-42G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	巾3mmの平行沈線による縦位区画弧線文。棒状、ボタン状貼付文。
P103	Ek-39G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR4/4	砂粒	下島式	地文横位の沈線。結節浮線による縦位区画と渦巻文。
P104	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	砂粒	下島式	地文横位の沈線。胎土の異なる結節浮線による対弧文。ボタン状貼付文。
P105	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	下島式	地文横位の沈線。胎土の異なる結節浮線による渦巻文。
P106	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、白色粒	下島式	地文平行沈線横位施文。胎土の異なる結節浮線による渦巻文。
P107	Ek-42G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	下島式	地文平行沈線横位施文。胎土の異なる結節浮線による渦巻文。
P108	EI-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	φ1mmの小石、 軽石粒	大木5式	巾4mmの平行沈線による矢羽根文。粘土紐による波状文。ボタン状貼付文。
P109	Ek-42G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	砂粒	大木5式	巾4mmの平行沈線による矢羽根文。粘土紐による波状文。ボタン状貼付文。
P110	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	φ1～2mmの小石	下島式	巾3mmの平行沈線横位施文。口唇部に太めの粘土紐を貼り付け爪形文刺突。棒状の結節浮線文。ボタン状貼付文。
P111	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	暗赤褐	5YR3/6	砂粒、白色粒	下島式	地文横位の沈線。結節浮線による渦巻文。
P112	Ek-42G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	普通	灰褐	7.5YR4/2	砂粒	大木5式	巾4mmの平行沈線による矢羽根状文。粘土紐波状に貼付。ボタン状貼付文。
P113	EI-40G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	暗赤褐	5YR3/6	砂粒、白色粒	下島式	巾4mmの平行沈線横位区画。結節浮線棒状に施文。
P114	EI-40G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯c・下島・ 大木式	巾2～3mmの平行沈線横位施文。結節浮線による鋸歯文。ボタン状貼付文。粘土紐による鋸歯文。114～117同一個体。
P115	EI-40G Ⅶ層	深鉢	破片	良	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯c・下島・ 大木式	114～117同一個体。
P116	Ek-42G Ⅵ層	深鉢	破片	良	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯c・下島・ 大木式	114～117同一個体。
P117	Ek-42G Ⅵ層	深鉢	破片	良	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯c・下島・ 大木式	114～117同一個体。
P118	EI-45G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR6/3	砂粒、黒色粒	諸磯c・大木・ 下島式	巾3mmの平行沈線横位施文。結節浮線による棒状貼付文。ボタン状貼付文。粘土紐鋸歯状に貼り付け。
P119	Ek-42G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石	下島式	巾3mmの平行沈線横位施文。結節浮線による棒状施文。ボタン状貼付文。内面スス付着。
P120	Ek-42G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石多い	諸磯c・下島・ 大木5式	巾2mmの平行沈線横位区画。結節浮線縦位施文。ボタン状貼付文。粘土紐による鋸歯文。
P121	Em-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	暗赤褐	5YR3/2	砂粒、白色粒多い	諸磯c式(古)	波状口縁にボタン状貼付文。
P122	Eh-41G Ⅸ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	口唇に凹凸文。棒状の貼付文。縄文原体 Lr。
P123	Em-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	波頂部に突起、ボタン状貼付文。縄文原体 Lr。
P124	Ek-39G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	普通	赤褐	2.5YR4/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	胴部に円形刺突されたボタン状刺突文。縄文原体 RL。
P125	EI-40G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	不良	明赤褐	2.5YR5/8	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	口唇に横位の沈線、棒状、ボタン状貼付文。縄文原体 RL 横。
P126	En-44G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	不良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、白色粒	諸磯c式(新)	口唇に竹管刺突列。棒状貼付文。縄文原体 RL。
P127	Ej-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	棒状、ボタン状貼付文。縄文原体 Lr。
P128	Eo-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	棒状貼付文。縄文原体 Lr。
P129	Ei-39G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/8	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	縄文原体 LR。
P130	Ei-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯c式(新)	棒状貼付文。縄文原体 RL。
P131	Ek-41G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	棒状、ボタン状貼付文。縄文原体 RL。

第7章 V区の調査

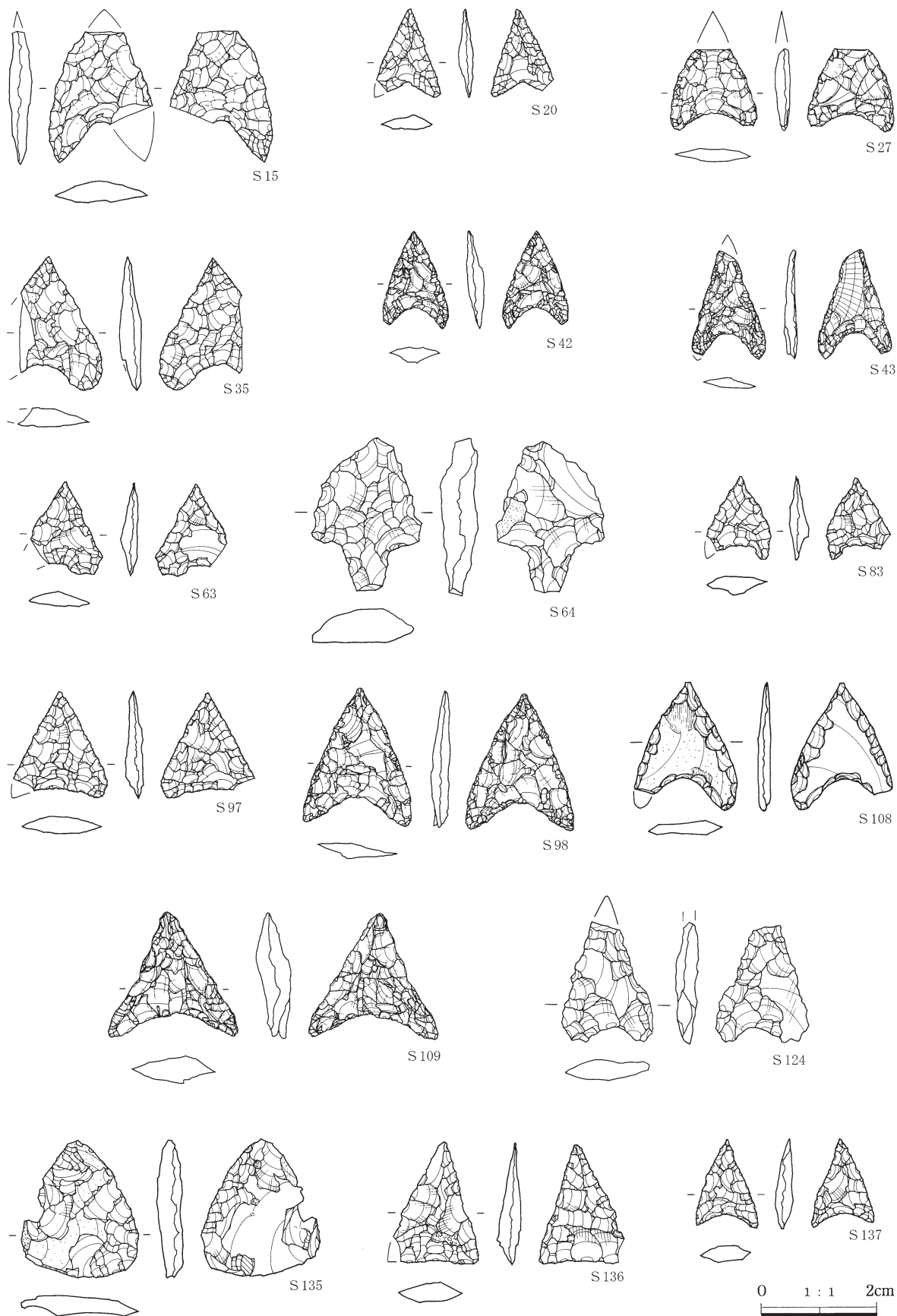
番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P132	Ek-40G Ⅶ層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	細かい砂粒	諸磯c式(新)	棒状貼付文。縄文原体 RL。
P133	EI-45G Ⅶ層	深鉢	口縁	良	赤褐	5YR4/8	砂粒、黒色粒	諸磯a式(新)	縄文原体 RL。
P134	Ej-42G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁3単位の突起。刷毛状の工具による擦痕。
P135	Eo-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土瘤貼付。縄文原体 RL。
P136	Ei-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	赤褐	5YR4/8	φ1～2mmの小石	諸磯a式	原体端部結節。縄文原体 RL。
P137	Ej-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/3	砂粒、小石	諸磯a式	原体端部結節。縄文原体 RL。
P138	En-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	縄文原体 RL。
P139	Ej-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/3	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	巾3～4mmの浅い平行沈線横位施文。
P140	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	底部	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	無文。
P141	Ek-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	縄文原体 RL。
P142	En-43G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒	諸磯b式	縄文原体 RL。
P143	En-43G Ⅶ層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中)	原体を結束している。縄文原体 RL、Lr。
P144	Em-40G Ⅶ層	深鉢	底部	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1mmの小石、白色粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P145	Em-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR4/3	砂粒	浮島II式	口縁部貝殻腹縁による横位の連続刺突。胴部には貝殻腹縁によるロッキング。
P146	Ek-38G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/6	φ1～2mmの小石	浮島II式	変形爪形文による文様施文。
P147	Ek-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒、黒色粒	興津I式	口唇に斜めの条線。巾18mmの変形爪形文。平行沈線による菱形文。
P148	Em-38G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明黄褐	10YR7/6	砂粒	浮島II式	巾10mmの変形爪形文と斜位の沈線。
P149	EI-38G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒、軽石粒多い	浮島式	爪形文横位施文。
P150	Ek-41G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒	浮島III式	口唇に横位の刺突列。口縁に横位の押し引き沈線と平行沈線文。
P151	Ej-31G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	浅黄橙	10YR8/4	砂粒	浮島III式	口唇に斜位の条線。巾12mmの変形爪形文。
P152	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1～2mmの小石、軽石粒	興津II式	凹凸文。
P153	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	φ1～3mmの小石	興津II式	凹凸文。
P154	Em-45G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	砂粒	興津II式	横位の凹凸文。
P155	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	興津II式	横位の凹凸文。
P156	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	灰褐	5YR4/2	砂粒	興津II式	凹凸文。貝殻腹縁文。沈線文。
P157	Ej-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	浅黄橙	10YR8/3	砂粒	浮島III式	口唇に条線。貝殻腹縁によるロッキング。
P158	Eo-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	興津II式	横位の凹凸文。補修孔。
P159	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	興津II・大木5式	横位の凹凸文。沈線による鋸歯文。
P160	Em-43G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	砂粒	興津II・諸磯c式(新)	口縁に4段の凹凸文。平行沈線横位施文。円形貼付文。
P161	EI-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	興津II式	凹凸文。
P162	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	砂粒、黒色粒	興津II式	凹凸文。
P163	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、黒色粒	興津II式	横位の凹凸文。
P164	Ek-36G Ⅶ層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、軽石粒	興津II式	横位の凹凸文。
P165	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	折り返し口縁。縄文原体 LR。
P166	Em-44G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	折り返し口縁。原体結束。縄文原体 RL、LR。

第2節 V区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P167	Ek-40G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	大木5式	折り返し口縁。縄文原体 RL、LR。
P168	EI-44G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	大木5・諸磯c式	折り返し口縁、ボタン状貼付文。粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 RL。
P169	EI-40G Ⅵ層	深鉢	破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石	前期後半	縄文原体 RL。
P170	EI-40G Ⅶ層	深鉢	口縁	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、黒色粒	大木5式	粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 RL。
P171	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	灰褐	5YR4/2	砂粒、黒色粒	前期後半	口唇に凹凸文。縄文原体 Lr。
P172	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/3	砂粒、黒色粒	大木5式	口縁肥厚する。粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 RL、LR。
P173	Ek-36G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	口縁肥厚する。粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 RL、LR。
P174	Ej-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1～2mmの小石、 軽石粒	大木5式	折り返し口縁。粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 RL。
P175	Ek-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	大木5式	口縁肥厚。粘土紐貼付による鋸歯文。原体結束。縄文原体 LR、RL。
P176	Ek-39G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	不良	橙	5YR6/6	砂粒	大木5式	粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 RL。
P177	Ek-42G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	明黄褐	10YR7/6	砂粒	大木5式	粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 RL。
P178	Ek-42G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 RL。
P179	Ek-40G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	不良	にぶい黄橙	10YR6/4	砂粒、黒色粒	大木5・諸磯c式	細い粘土紐貼付による鋸歯文。ボタン状貼付文。原体結束。縄文原体 RL、LR。
P180	Em-40G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5・諸磯c式	粘土紐貼付による鋸歯文。ボタン状貼付文。縄文原体 RL。
P181	Ek-42G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/4	砂粒、黒色粒	大木5・諸磯c式	粘土紐貼付による鋸歯文。ボタン状貼付文。縄文原体 RL。
P182	Ek-40G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	細い粘土紐貼付による鋸歯文。原体結束。縄文原体 RL、LR。
P183	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/4	砂粒、黒色粒	大木5式	粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 RL、Lr。
P184	Ek-40G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	黒褐	10YR3/1	砂粒、白色粒	大木5・諸磯c式	粘土紐貼付による鋸歯文。ボタン状貼付文。縄文原体 RL。
P185	Em-42G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 RL。
P186	EI-43G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	灰黄褐	10YR4/2	砂粒	大木5式	粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 RL。
P187	Ek-42G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒	大木5式	粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 LR。
P188	Ek-40G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	灰褐	7.5YR4/2	砂粒	大木5式	粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 Lr。
P189	Ek-43G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒、黒色粒	大木5式	粘土紐貼付による鋸歯文。縄文原体 LR。
P190	Ej-40G Ⅶ層	有孔浅鉢	口縁 口・(17.5) 高・11.2残	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中)	φ6mmの孔列。無文。外面横位のナデ整形。
P191	Ek-41G Ⅶ層	有孔浅鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	φ5mmの孔列が口縁に廻る。器面横位のナデ整形。
P192	Eo-40G Ⅶ層	有孔浅鉢	口縁破片	良	浅黄橙	10YR8/3	砂粒	諸磯b式(中2)	φ5mmの孔列が口縁に廻る。器面横位のナデ整形。
P193	Eq-37G Ⅶ層	有孔浅鉢	破片	良	橙	5YR6/8	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	口縁に大ききの違う孔を持つ。肩部に縦位の隆線。
P194	Ek-45G Ⅵ層	有孔浅鉢	破片	良	にぶい橙	5YR6/4	砂粒、白色粒	諸磯b式(中2)	口縁に2条の矢羽根状の刻みを持つ浮線が廻る。間にφ3mmの孔が廻る。
P195	Ek-36G Ⅶ層	有孔浅鉢	破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	口縁部にφ5mmの孔列。
P196	En-40G Ⅶ層	浅鉢	口縁～底部 破片	良	浅黄橙	10YR8/4	砂粒、黒色粒	諸磯式	無文。
P197	Ek-38G Ⅶ層	浅鉢	破片	良	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒	北白川下層Ⅱc式	浮線による弧線、梯子状文様。外側ベンガラ付着。
P198	Ek-38G Ⅶ層	浅鉢	底部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒、白色粒	諸磯b式	外側ベンガラ付着。
P199	Eh-39G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	砂粒、軽石粒	諸磯b式(中)	口唇に獣面を表現した頭部を乗せる。
P200	Eo-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中1)	波状口縁の頂部を頭にし、側縁に目・鼻・口を表現した粘土瘤を貼付。
P201	EI-38G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中)	口唇に獣面を表現した頭部を乗せる。縄文原体 RL。

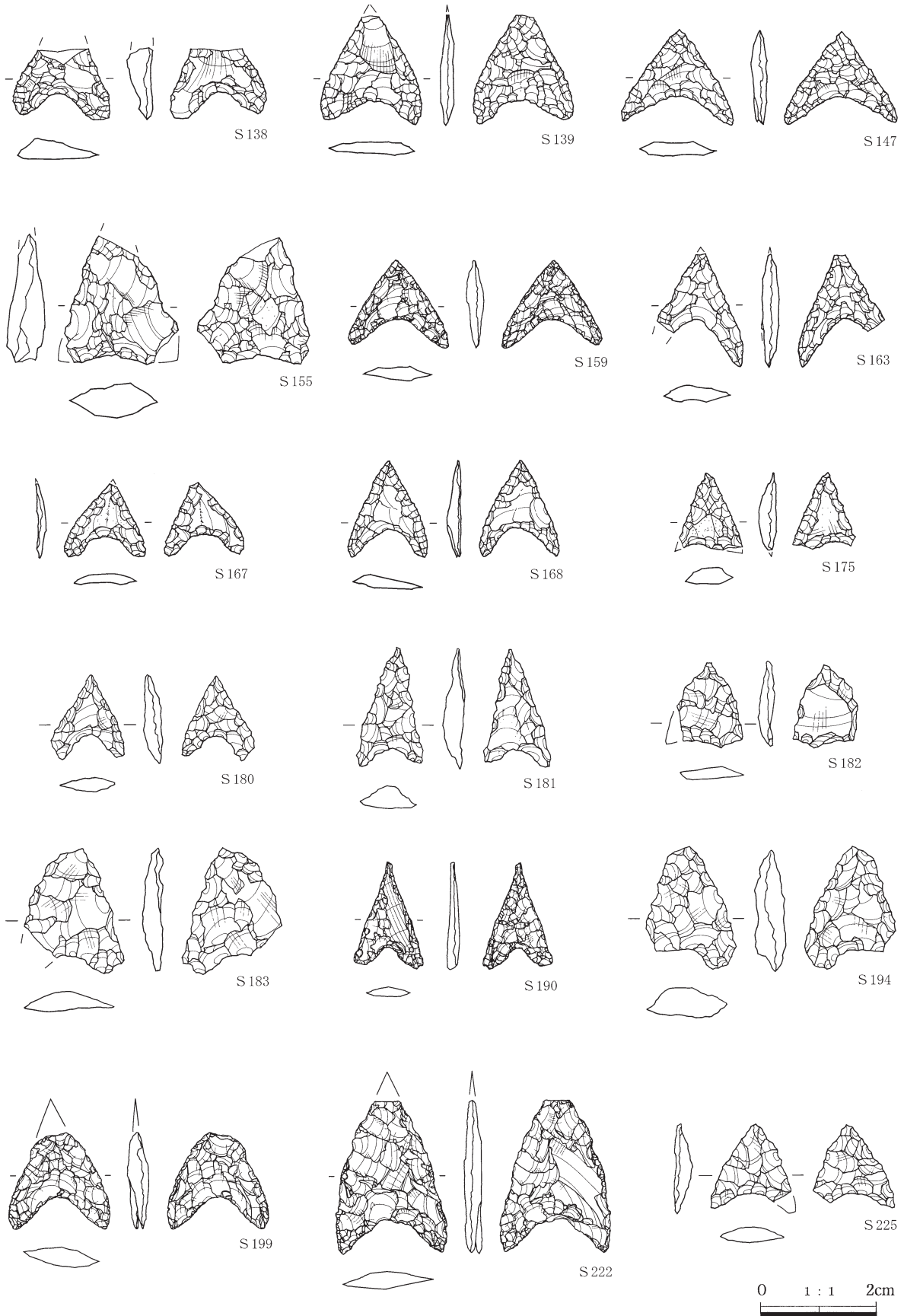
第7章 V区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P202	Ek-43G	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中)	口唇に獣面を表現した頭部を乗せる。
P203	Ek-38G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR4/3	砂粒	諸磯b式(中)	波状口縁頂部を頭部にし、側縁に鼻・口を貼付する。
P204	Ek-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒	諸磯b式(中)	口縁部側縁に獣面を表現した頭部を貼付する。
P205	El-41G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中)	口縁部側縁に獣面を表現した頭部を貼付する。
P206	Ej-42G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒	諸磯b式(中)	口縁側縁に目・鼻・口を表現した粘土瘤を貼付する。
P207	Ek-42G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁側縁に粘土瘤を貼付して獣面を表現する。
P208	Ek-38G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	不良	浅黄橙	10YR8/4	砂粒	諸磯b式(中)	口唇に獣面を表現した頭部を乗せる。
P209	Ek-38G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	浅黄橙	10YR8/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中)	口縁部側縁に獣面を表現した頭部を貼付する。
P210	Ek-36G	土製品	破片	良	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	前期	獣面を表現している。鹿類あるいは蛇を模しているかもしれない。
P211	Ek-38G	土偶	頭部	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	前期	隆線により頭部を表現し、鼻にあたる部分には小さな孔が2つあけられている。
P212	El-37G Ⅶ層	ミニチュア土器	破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	諸磯	手捏ね土器。深鉢形。
P213	El-37G Ⅵ層	ミニチュア土器	破片	良	灰褐	7.5YR4/2	砂粒	諸磯	手捏ね土器。椀形。
P214	Ei-42G Ⅵ層	ミニチュア土器	破片	良	橙	5YR6/6	砂粒、軽石粒	諸磯	手捏ね土器。深鉢形。
P215	Ek-38G Ⅵ層	耳飾り	破片	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、軽石粒	前期	無文。滑車形。
P216	Ek-38G Ⅵ層	耳飾り	破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒	前期	無文。滑車形。
P217	En-43G Ⅶ層	耳飾り	破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒	諸磯	土製の块状耳飾り。
P218	Ek-37G Ⅵ層	耳飾り	破片	良	橙	7.5YR6/8	砂粒	諸磯	土製の块状耳飾り。
P219	Eq-38G Ⅸ層	土製円盤	破片	普通	明黄褐	10YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	外縁打ち欠き成形。矢羽根状の刻みを持つ浮線による文様施文。
P220	En-43G Ⅵ層	土製円盤	破片	普通	灰	5Y4/1	砂粒	諸磯	底面を転用。外縁打ち欠き成形。
P221	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	2.5YR6/6	砂粒	前期末	深鉢把手。平行沈線による文様施文。
P222	Ej-42G	深鉢	口縁破片	良	灰褐	7.5YR4/2	砂粒、軽石粒	十三菩提式	巾2mmの平行沈線による鋸歯文。
P223	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	5YR6/3	砂粒	十三菩提式	口縁肥厚させ三角に刻み鋸歯文にする。平行沈線を集合させ横位や弧線を描く。文様間に印刻。
P224	El-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	十三菩提式	口縁肥厚させ三角に刻み鋸歯文にする。平行沈線を集合させ横位や弧線を描く。
P225	Ek-40G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	十三菩提式	結節沈線による横位、縦位区画。鋸歯文。文様間に三角印刻。
P226	Ek-39G Ⅵ層	深鉢	口縁破片	普通	灰褐	7.5YR4/2	φ1~2mmの小石	十三菩提式	口縁折り返して肥厚する。平行沈線を集合させ横位区画。区画内鋸歯文。三角印刻。橋状把手。
P227	En-38G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	砂粒、黒色粒	大木5b式	口縁折り返して肥厚させる。三角の刻みを加え鋸歯文にする。縄文原体LR横。
P228	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	十三菩提式	口唇に平行沈線による鋸歯文と印刻。口縁に沿って平行沈線が廻る。弧線文、渦巻文。文様間に印刻。
P229	Ek-39G Ⅵ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒、黒色粒	十三菩提式	沈線による横位の区画。細かい竹管を並べて連続して爪形文を施文。文様中に縦長の印刻。
P230	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	橙	2.5YR6/6	φ1~2mmの小石	十三菩提式	口縁部に結節沈線による文様区画と鋸歯文。棒状の貼付文。
P231	Ei-38G Ⅶ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、黒色粒	下島式	地文横位の沈線。結節浮線による渦巻文。口縁部に粘土瘤貼付。
P232	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/4	砂粒、白色粒	十三菩提式	平行沈線を集合させ渦巻、菱形文を作る。沈線には刻み。文様間に印刻。
P233	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	十三菩提式	平行沈線を集合させ横位区画。区画内三角文。文様間に三角印刻。
P234	Ek-37G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒、黒色粒	十三菩提式	胴部に隆線3条を廻らす。全体に巾2mm以下の巾の狭い爪形文を並べて、密に施文。
P235	Ek-39G Ⅶ層	深鉢	胴部破片	良	橙	5YR6/6	砂粒、白色粒	十三菩提式	平行沈線を集合させて矢羽根文を施文。
P236	Eq-38G Ⅸ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石、軽石粒	阿玉台式	口縁に縦位の輪積痕を残す隆線。口縁部内楕円区画。区画内押し引きの沈線施文。
P237	Eq-38G Ⅵ層	深鉢	口縁~胴部	普通	橙	7.5YR7/6	φ1~2mmの小石、軽石粒	後期	口縁に輪積痕。指頭による整形痕多い。外面スス付着。

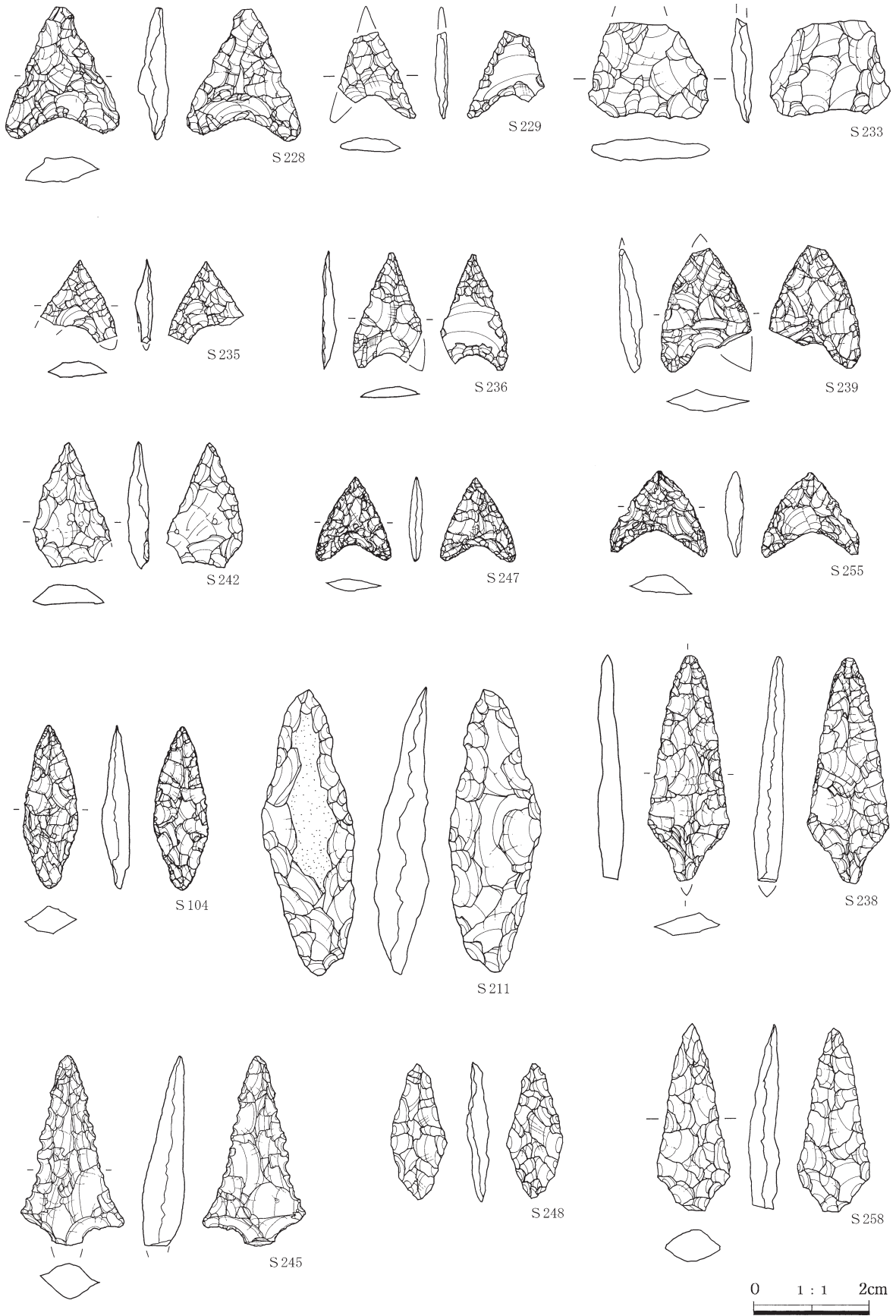


第7章第37図 V区繩文面 遺構外出土繩文石器(1)

第7章 V区の調査

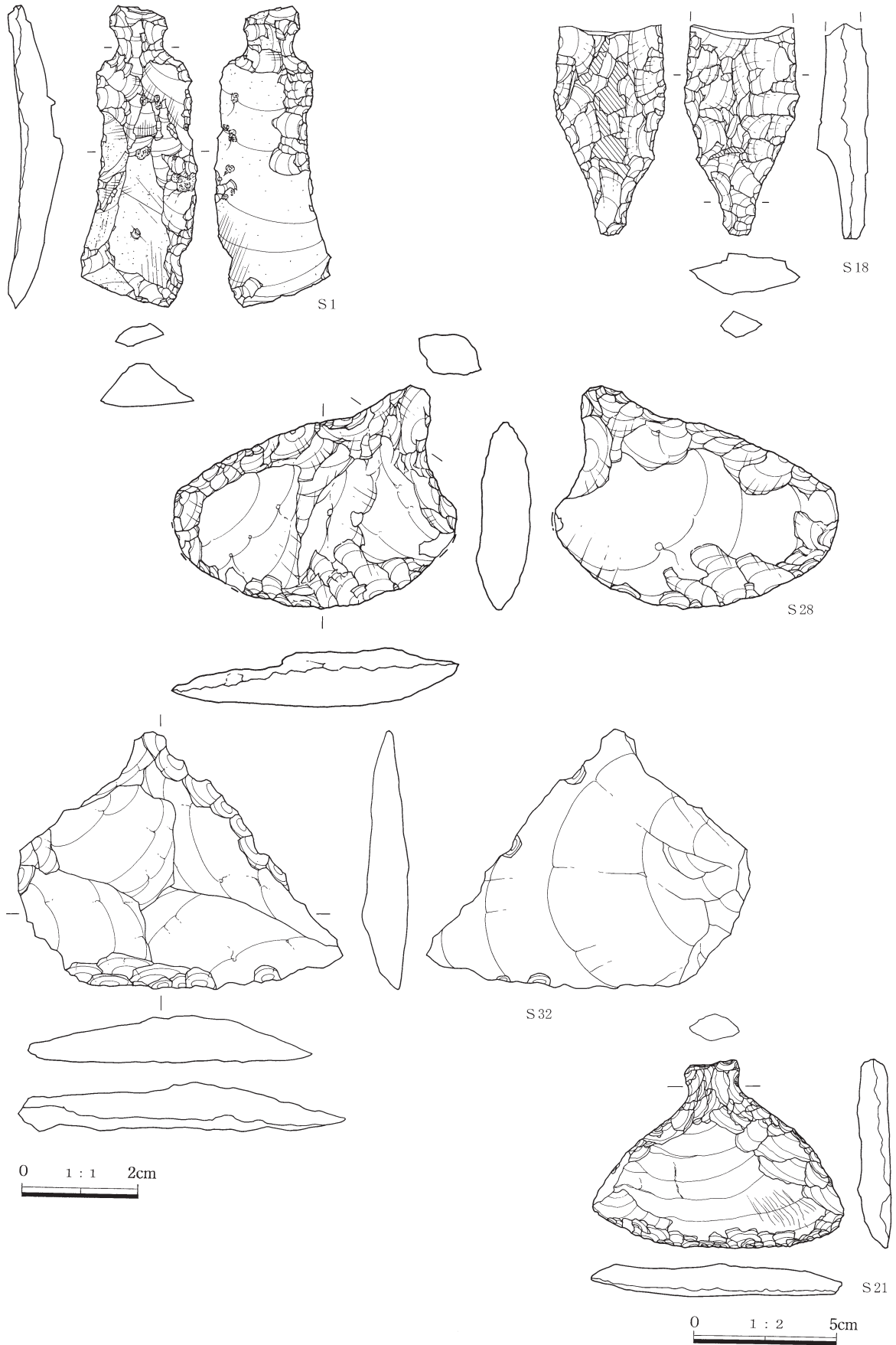


第7章第38図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)

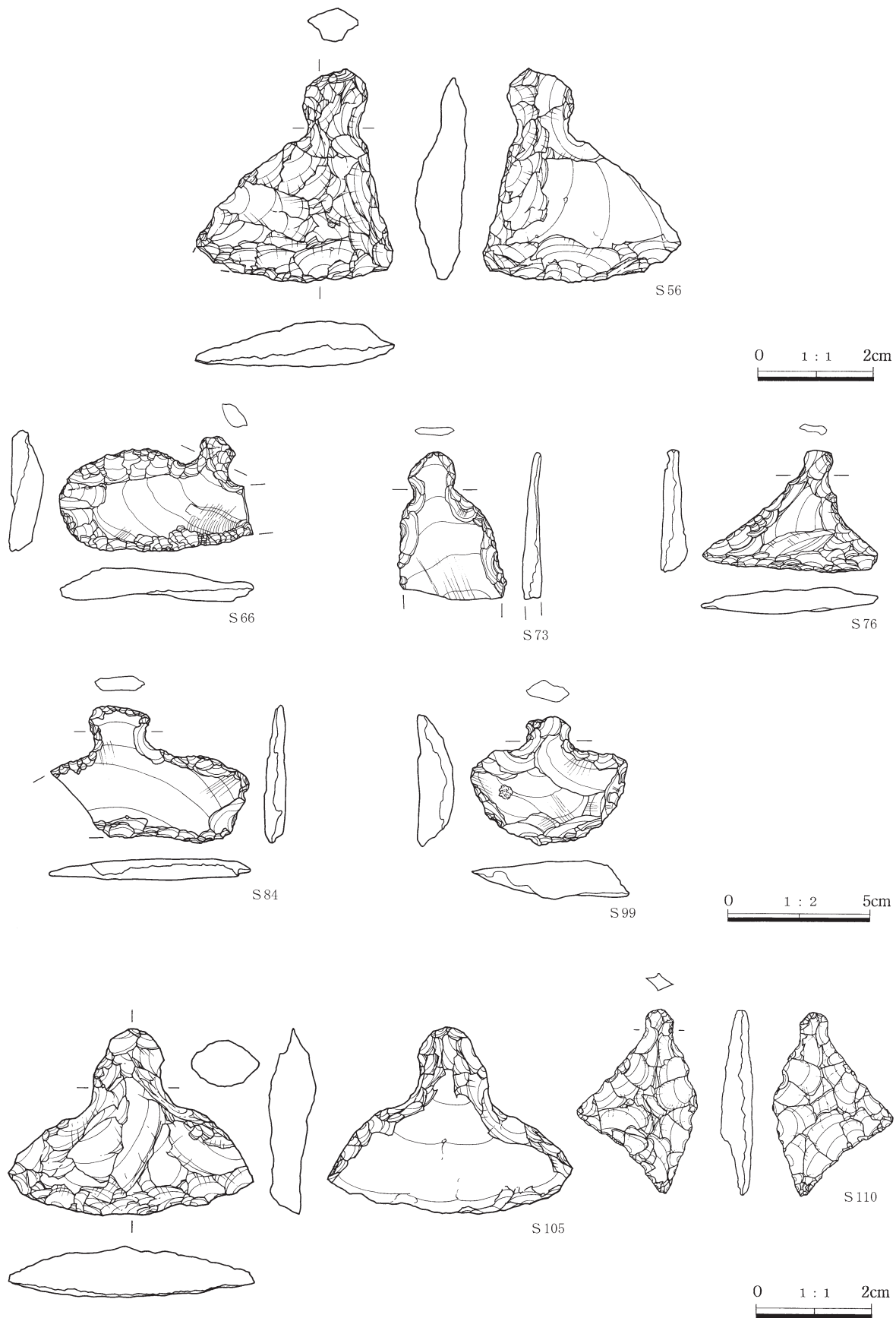


第7章第39図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(3)

第7章 V区の調査

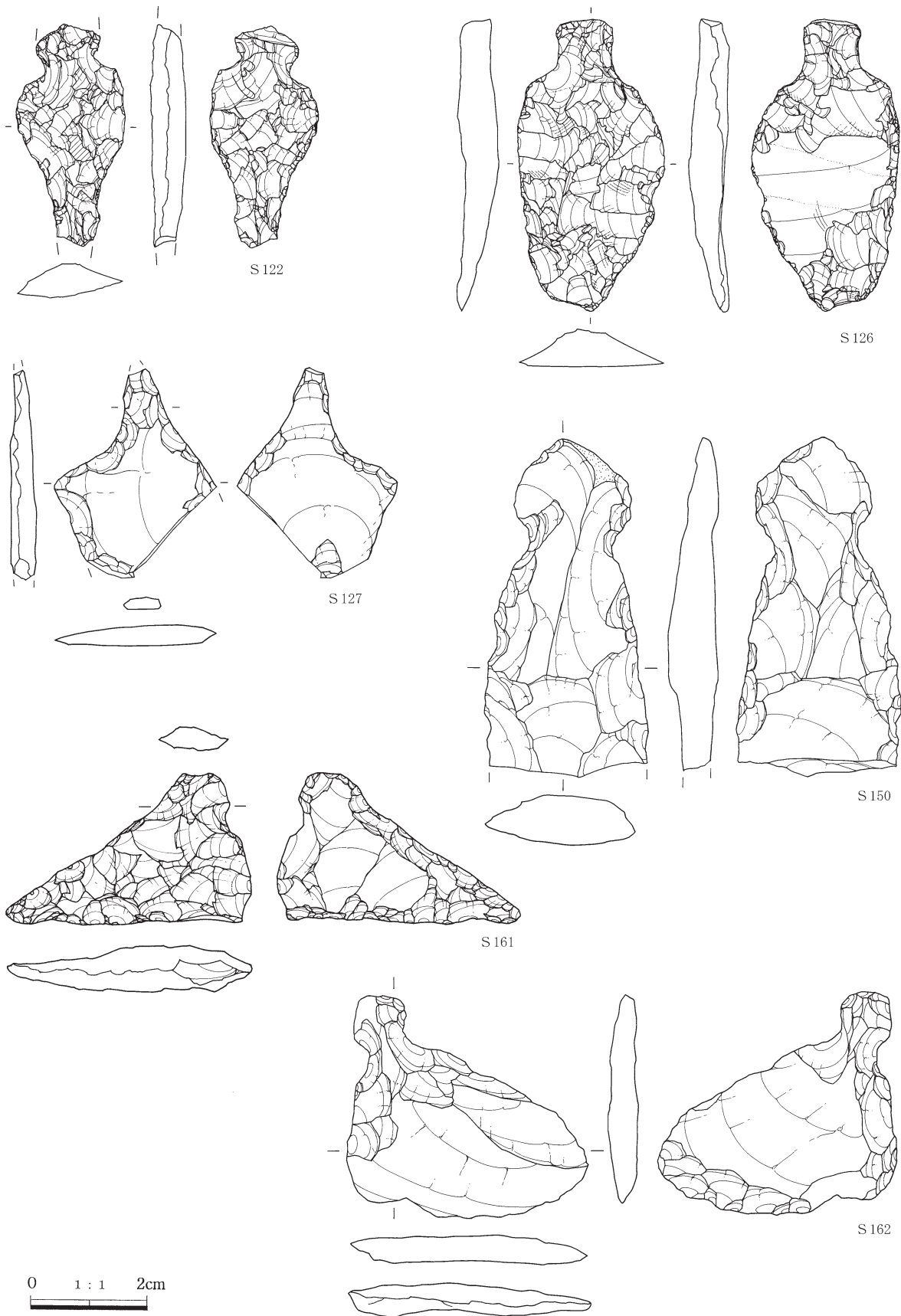


第7章第40図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(4)

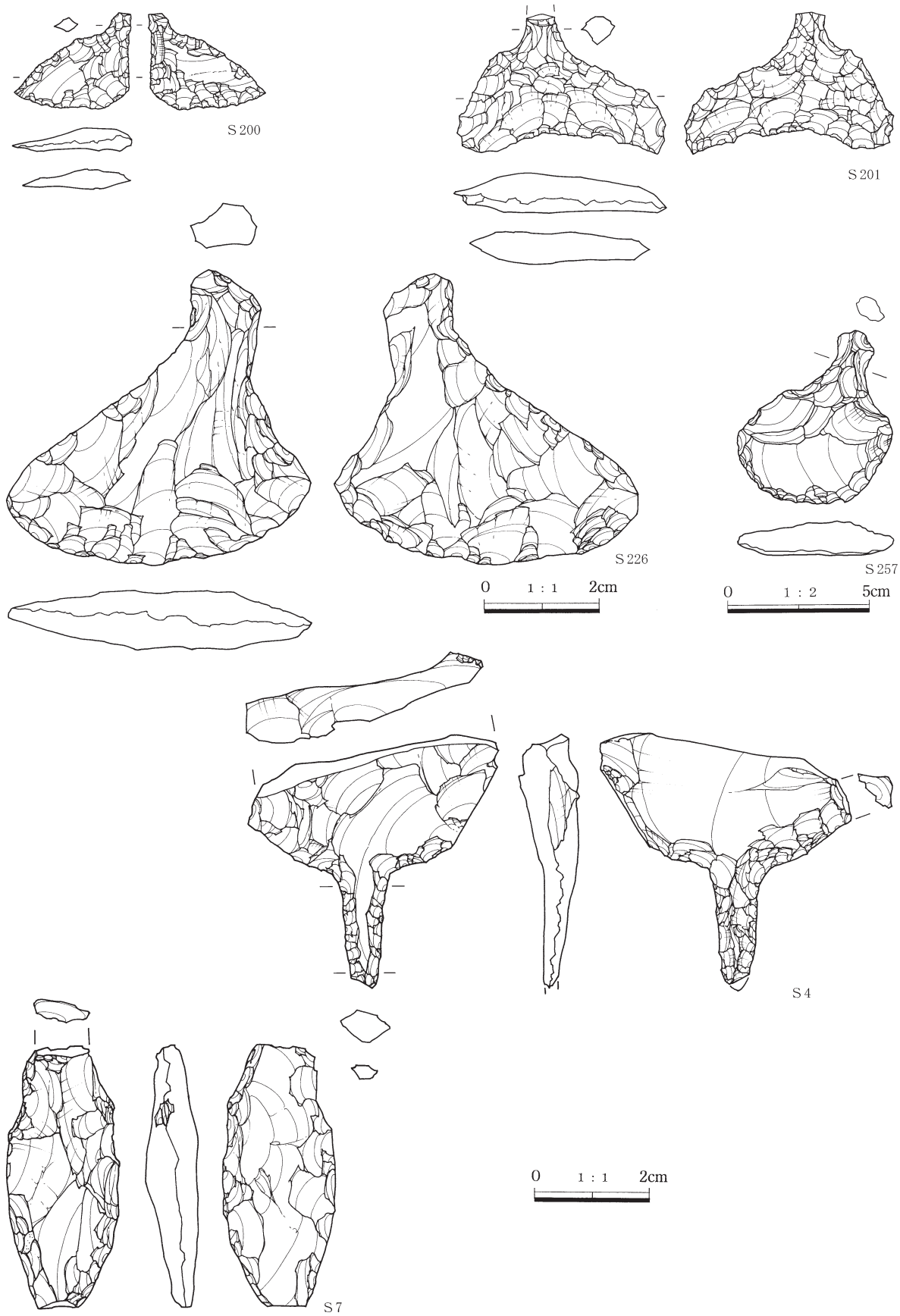


第7章第41図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(5)

第7章 V区の調査

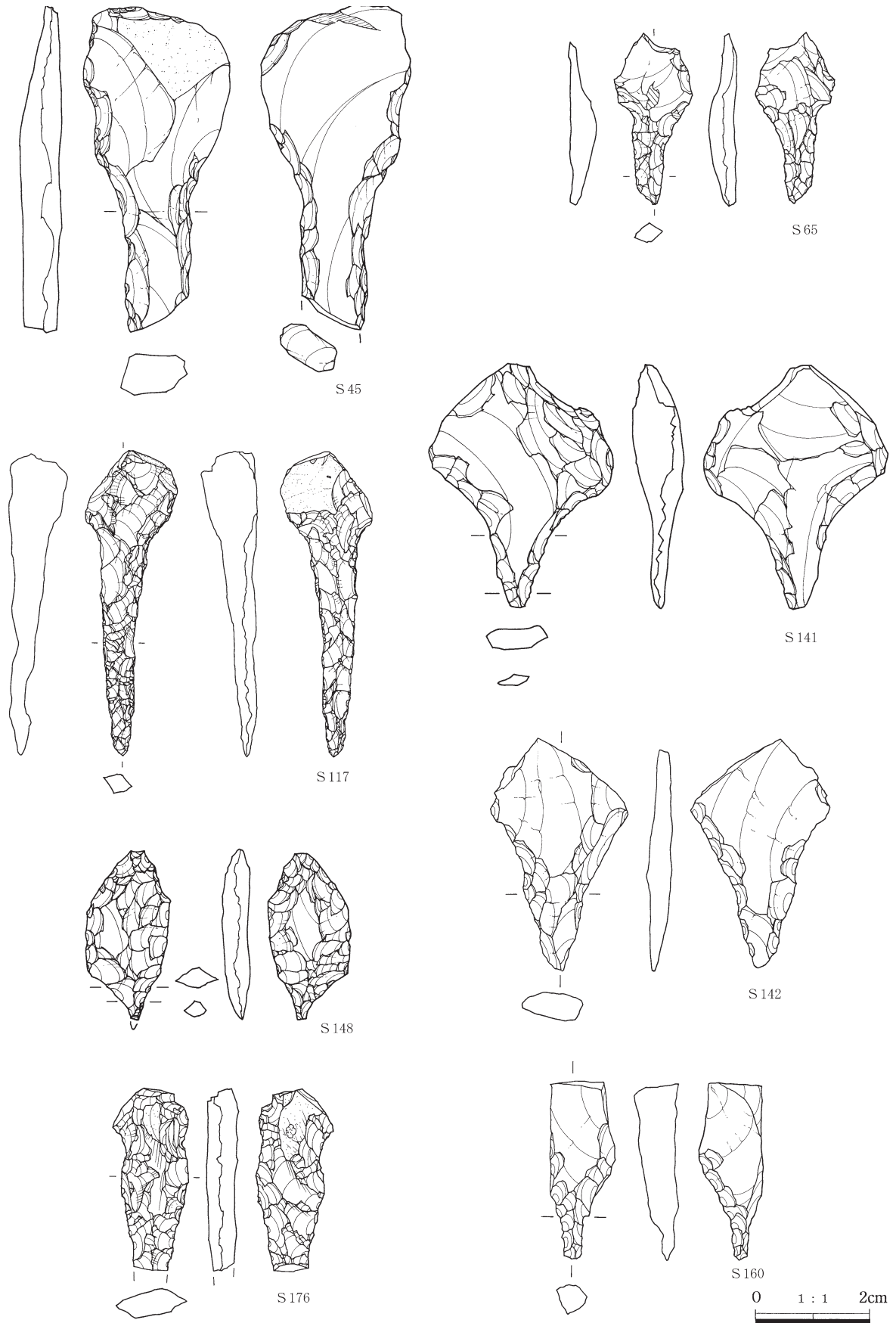


第7章第42図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(6)

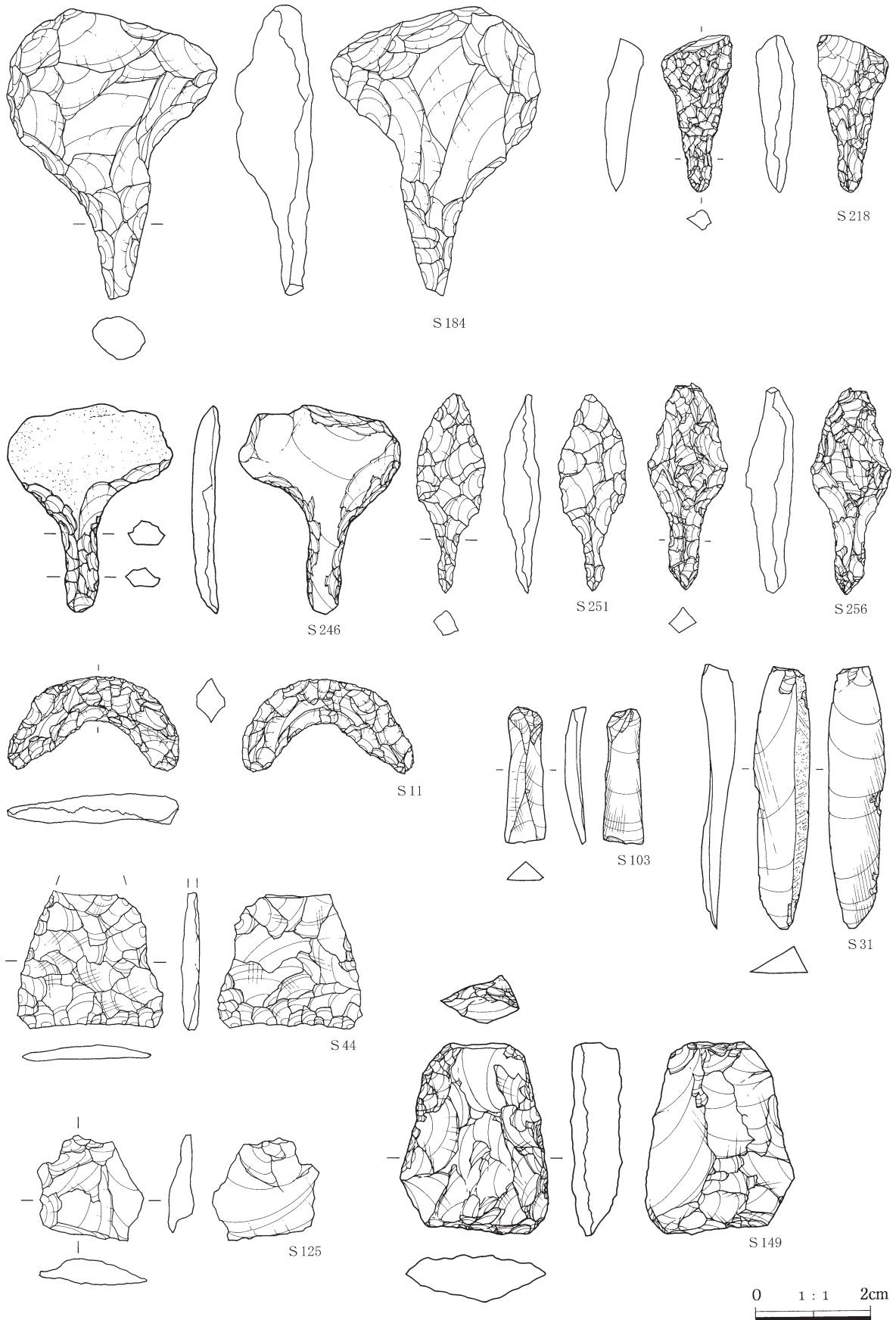


第7章第43図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(7)

第7章 V区の調査

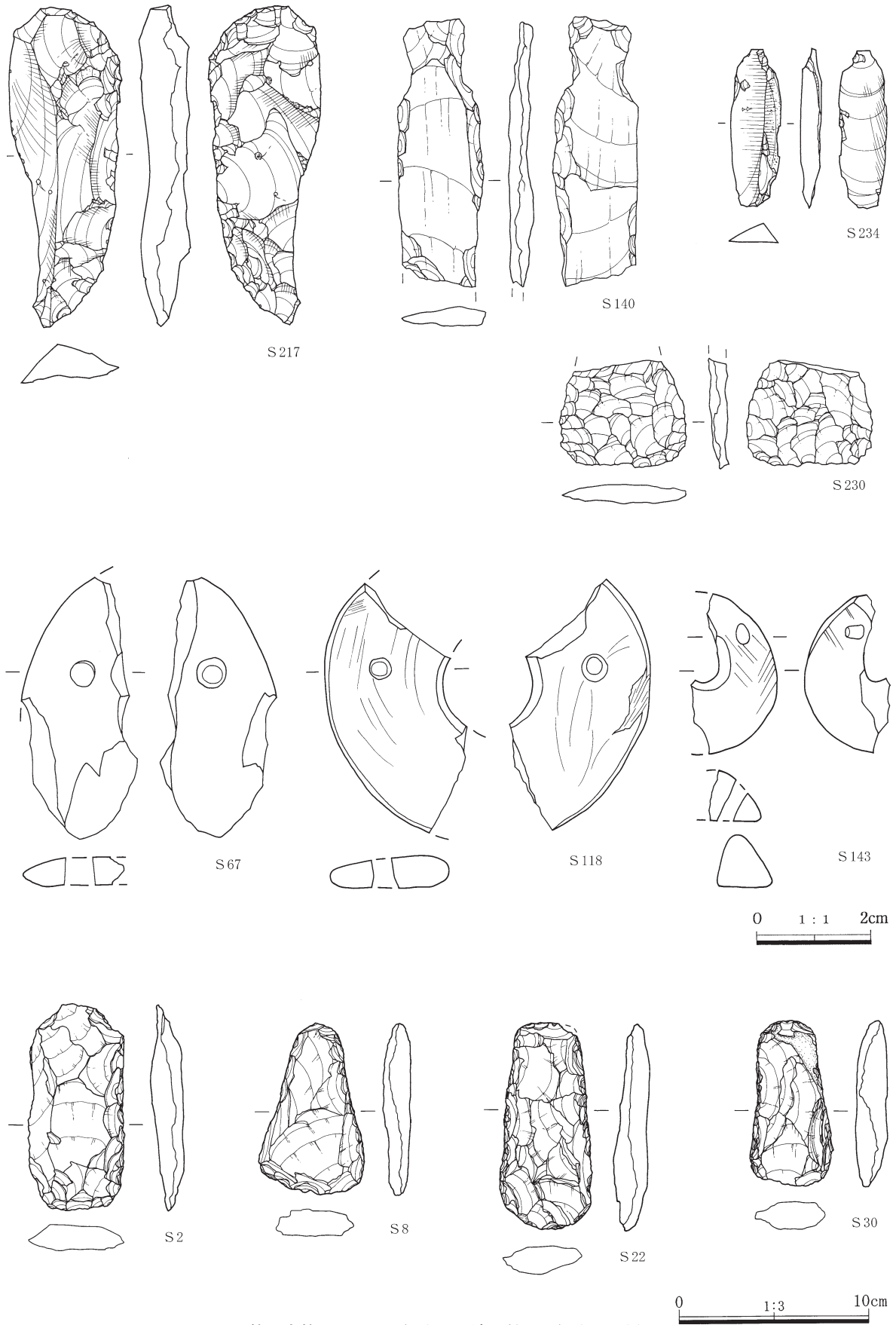


第7章第44図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(8)

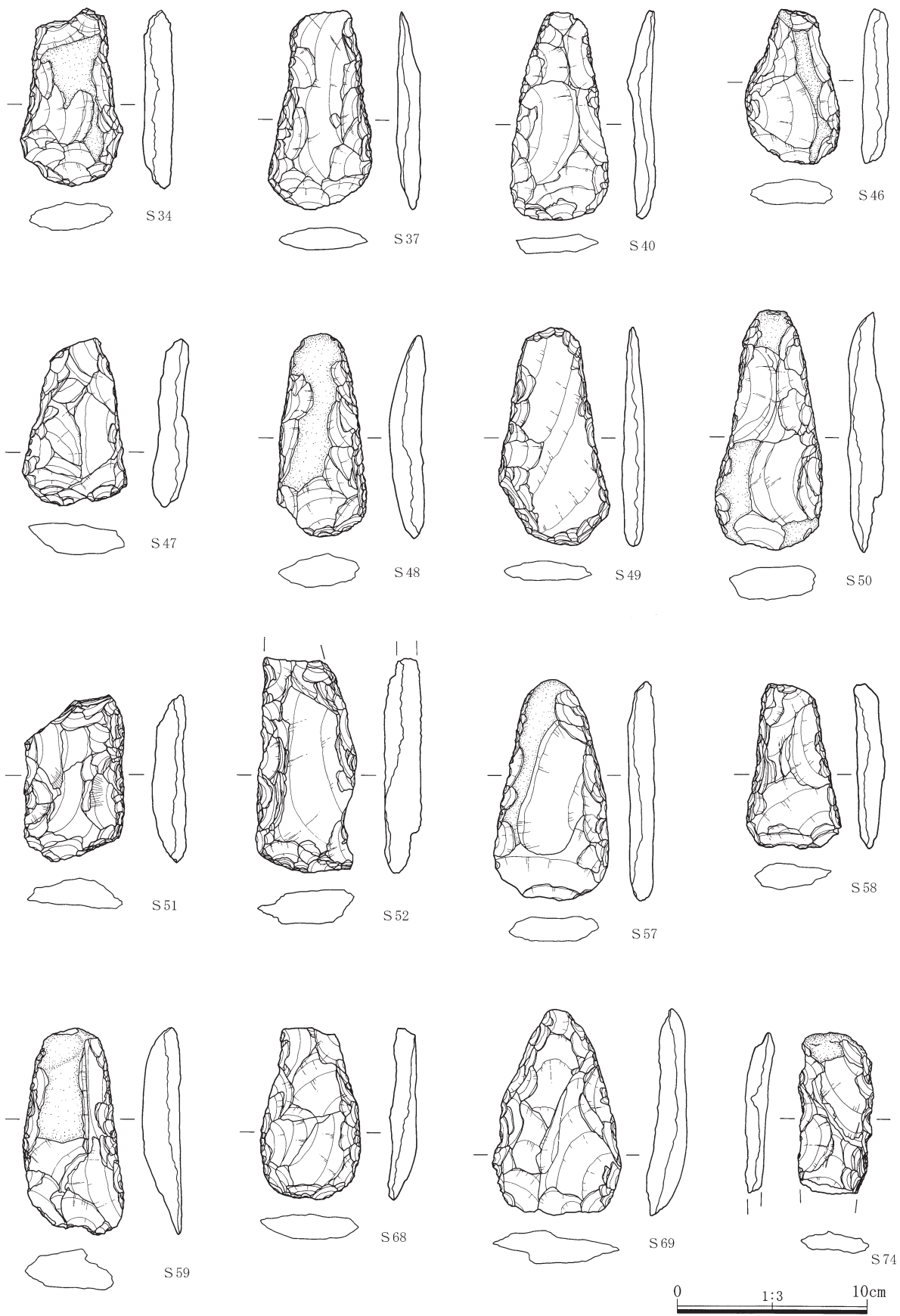


第7章第45図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(9)

第7章 V区の調査

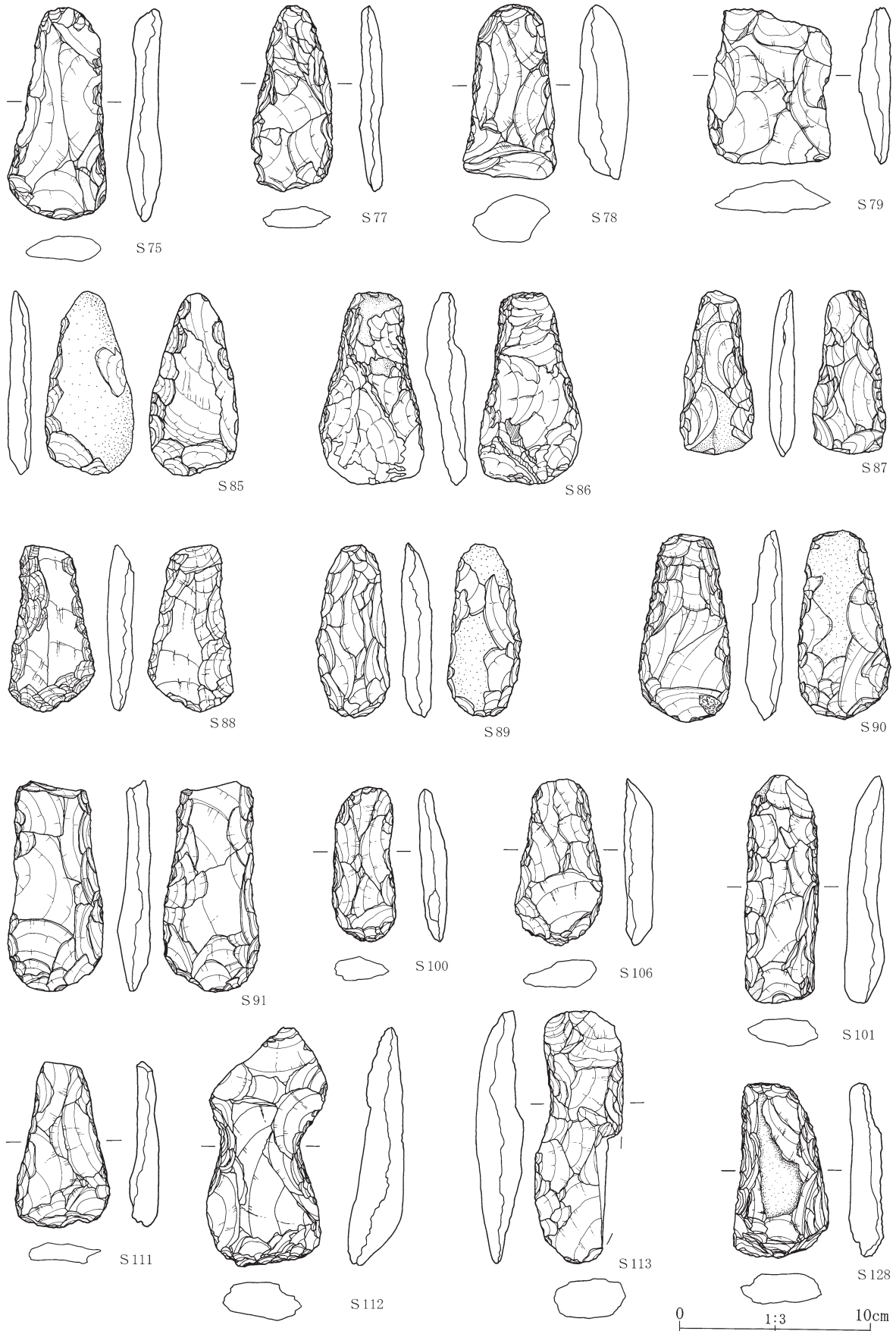


第7章第46図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(10)



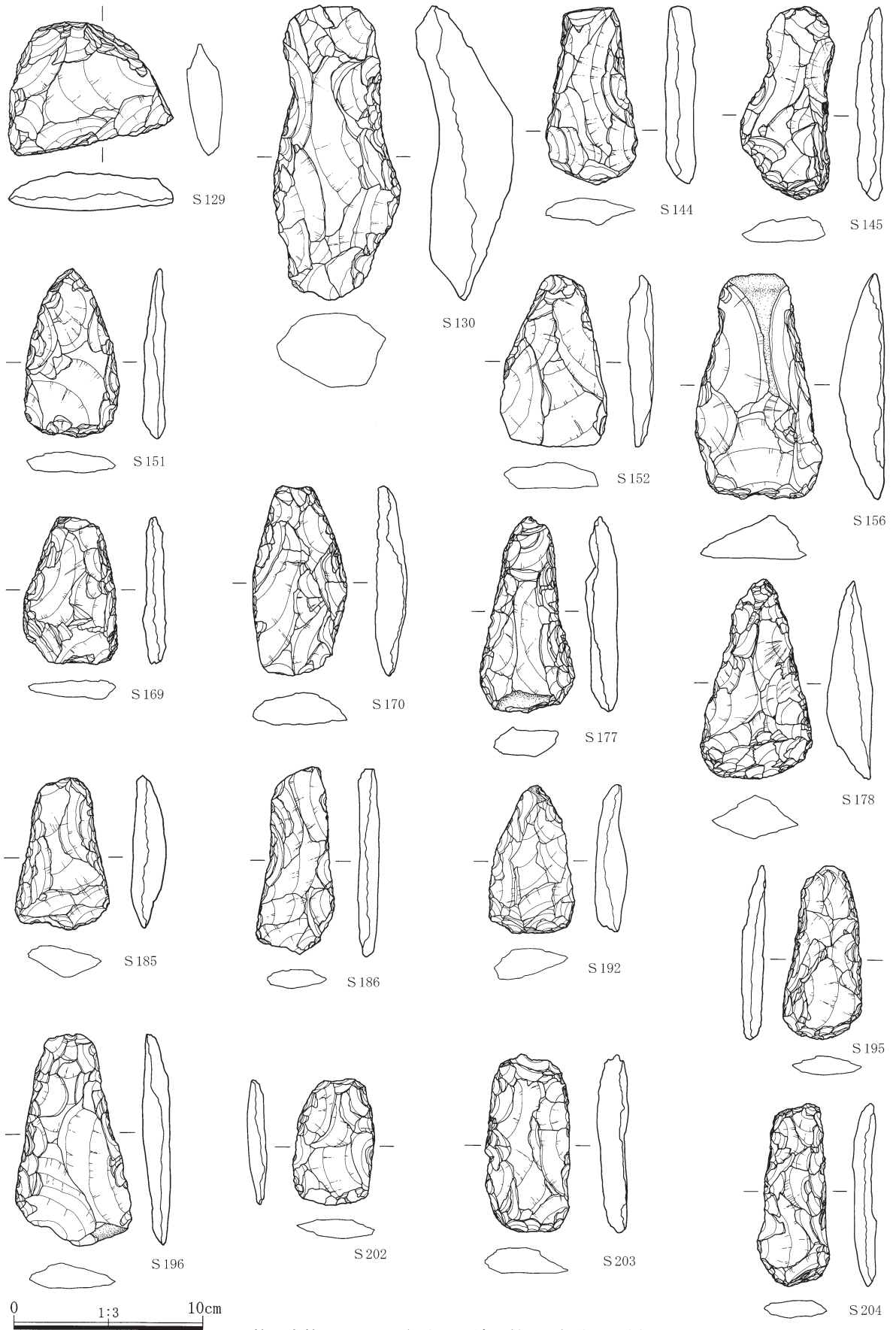
第7章第47図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)

第7章 V区の調査



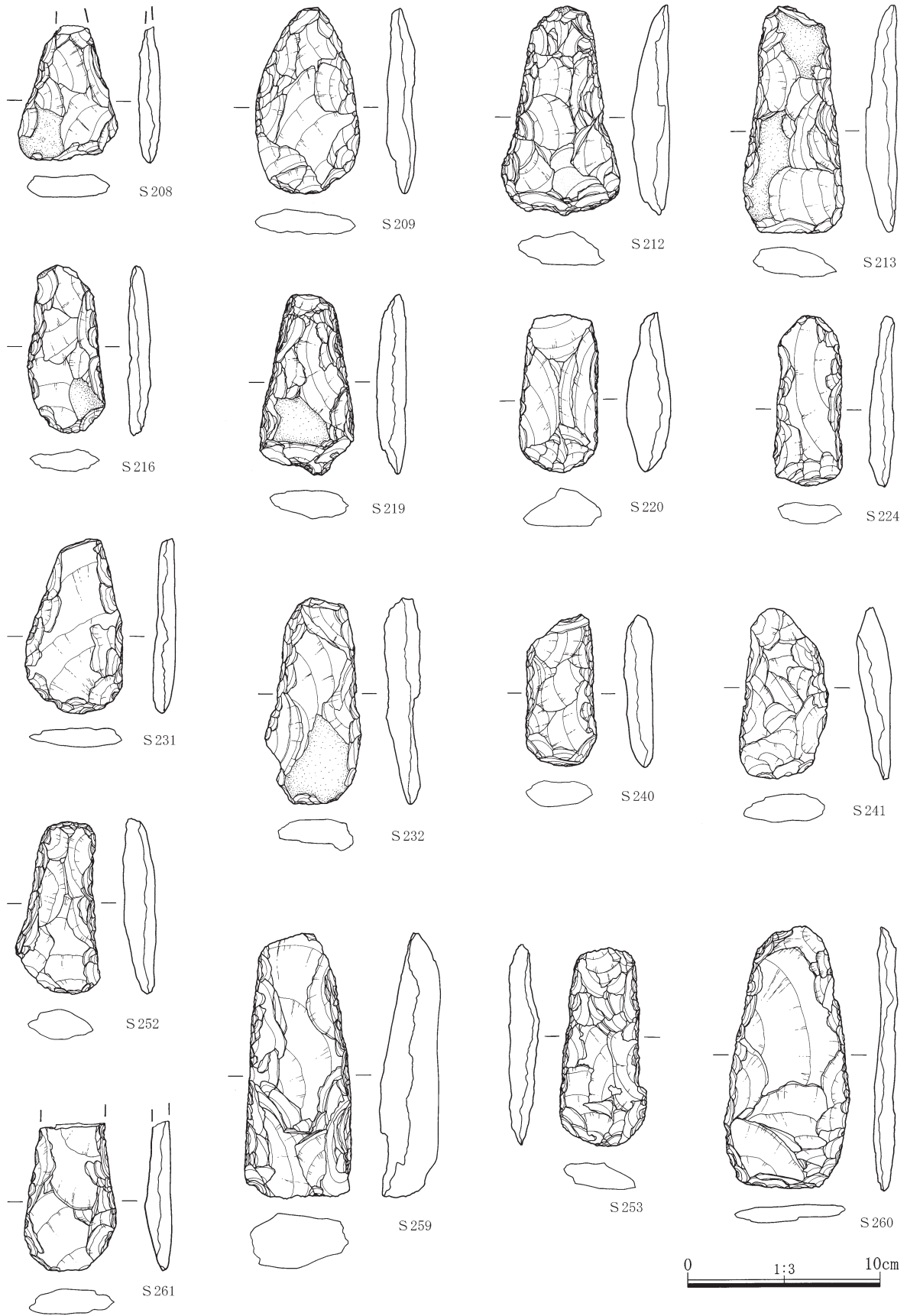
第7章第48図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(12)

第2節 V区遺構外

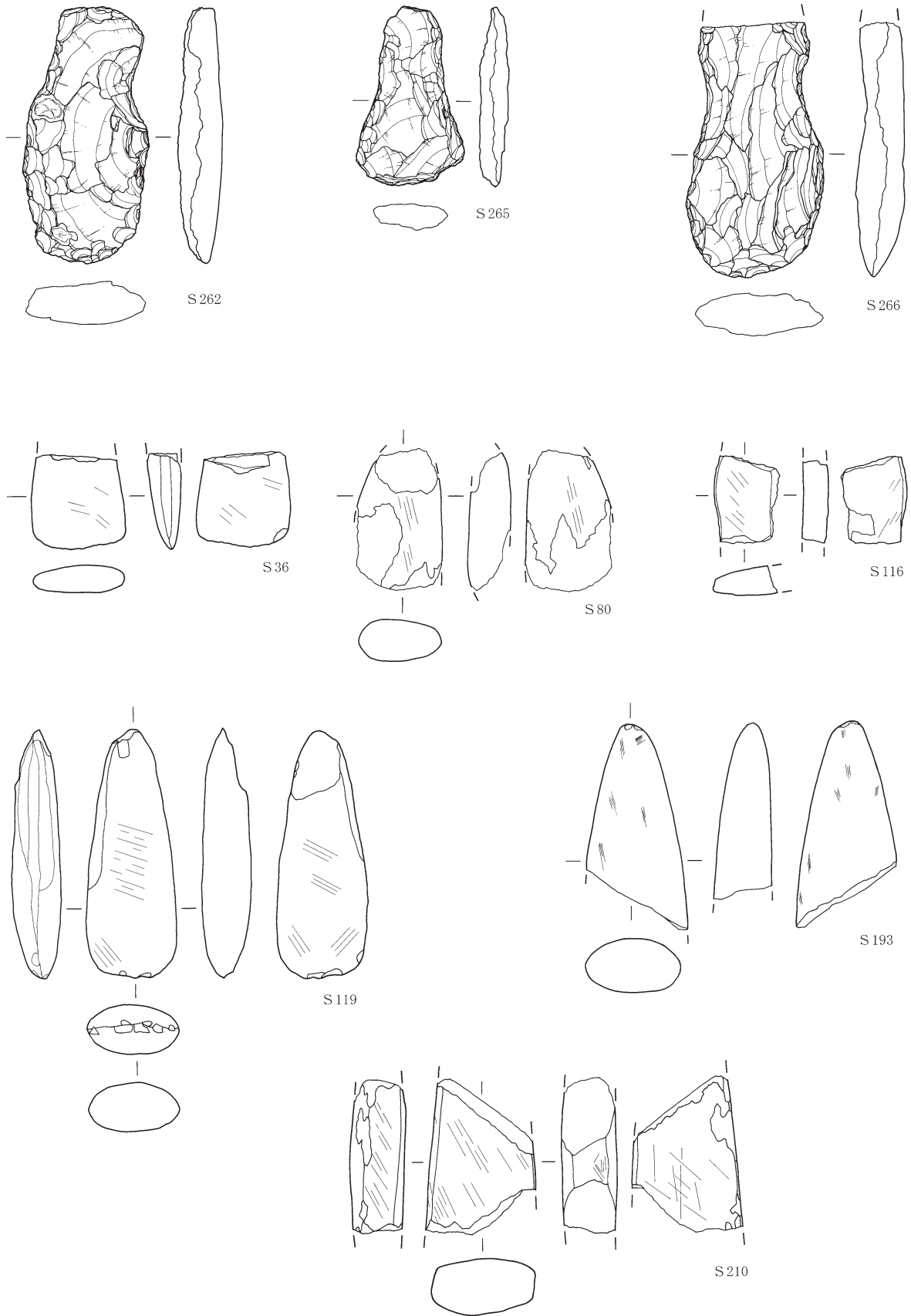


第7章第49図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(13)

第7章 V区の調査

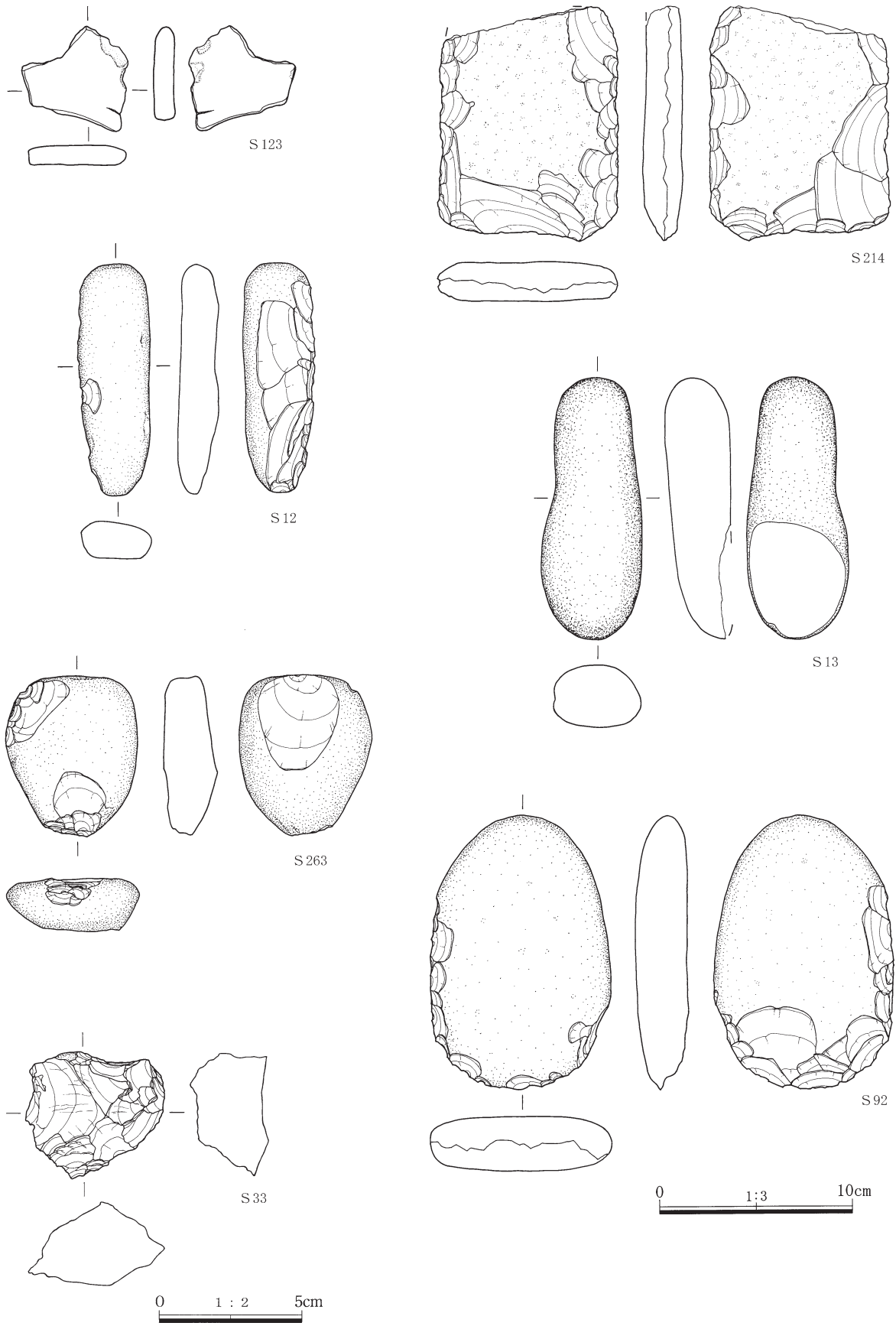


第7章第50図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(14)

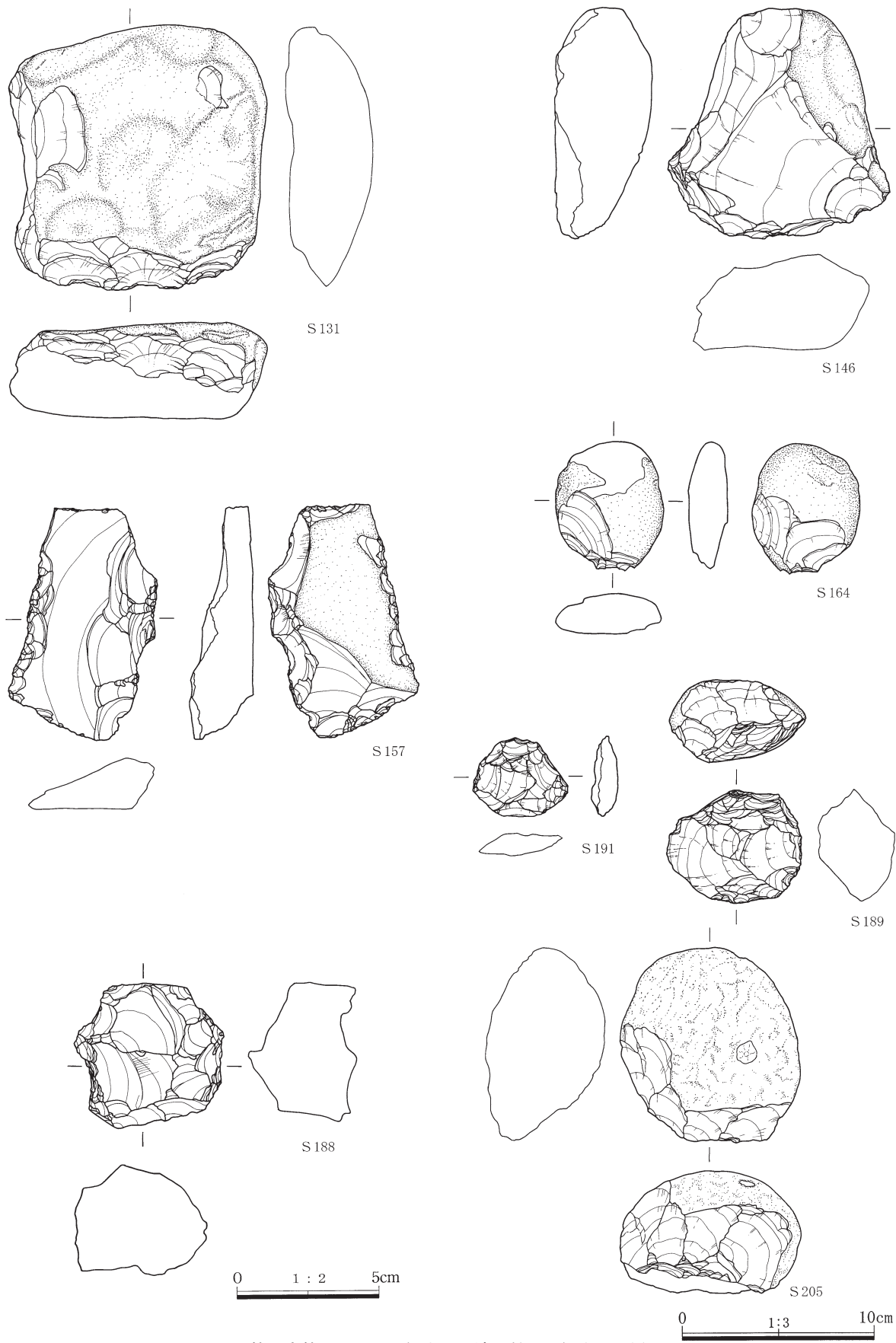


第7章第51図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(15)

第7章 V区の調査

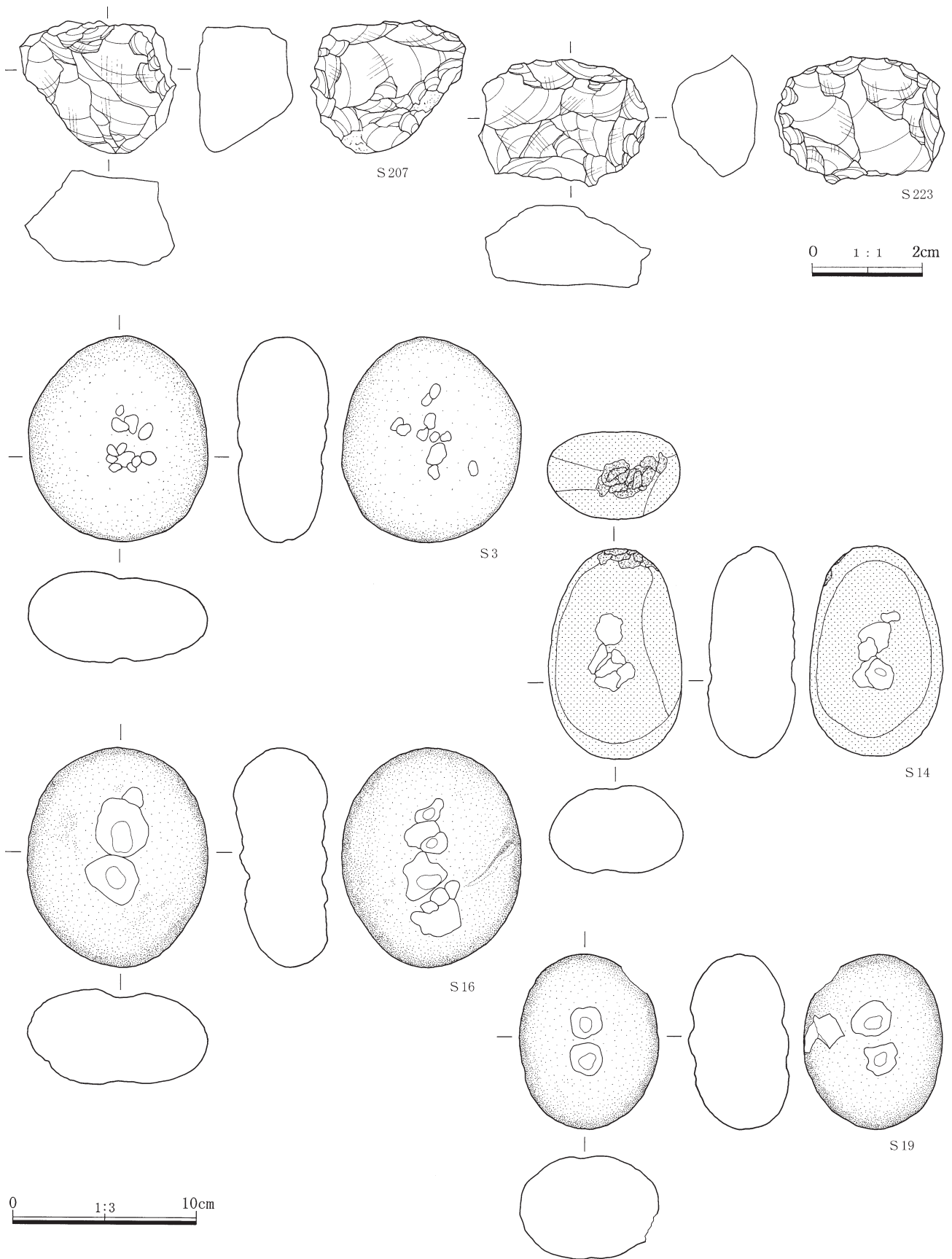


第7章第52図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(16)

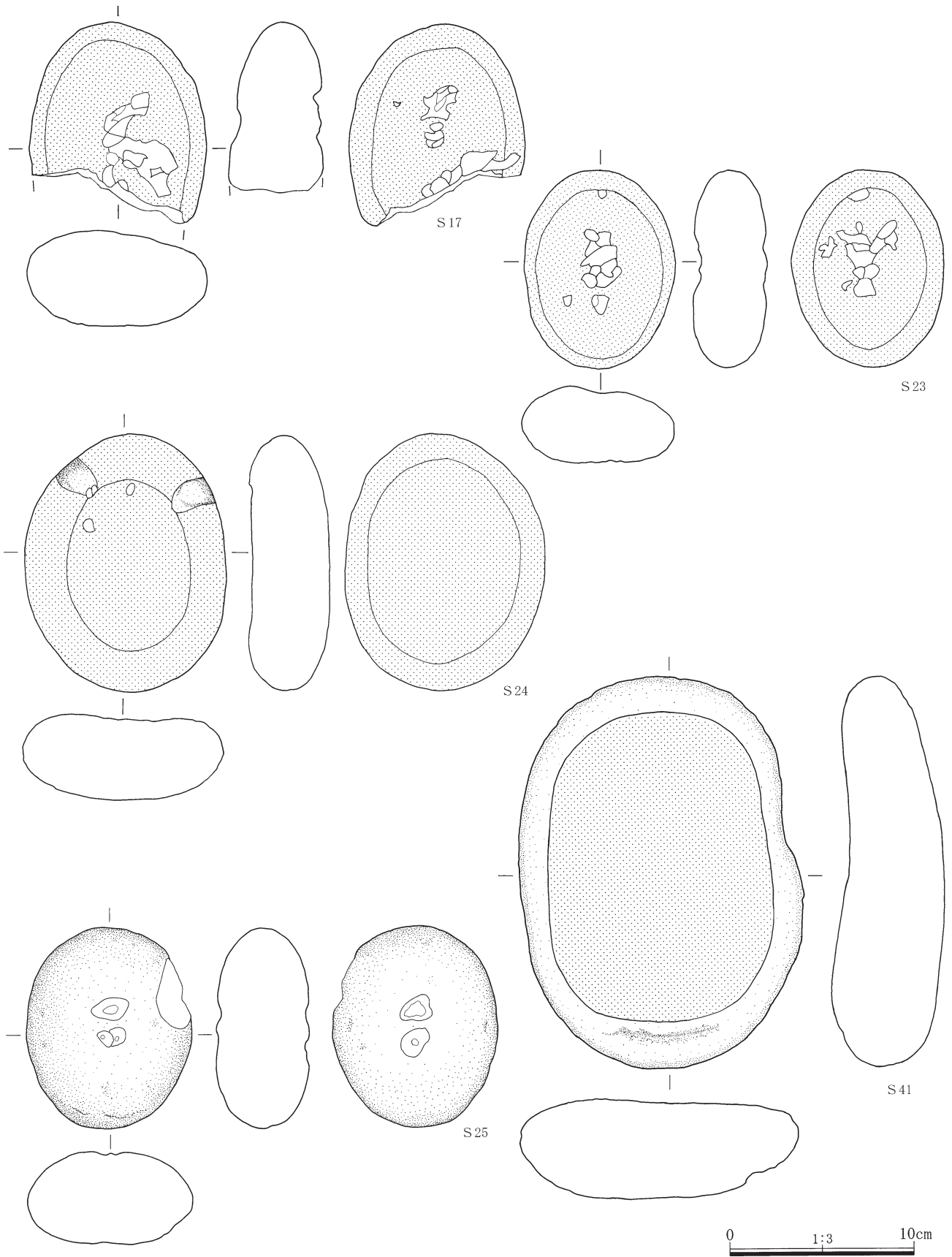


第7章第53図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(17)

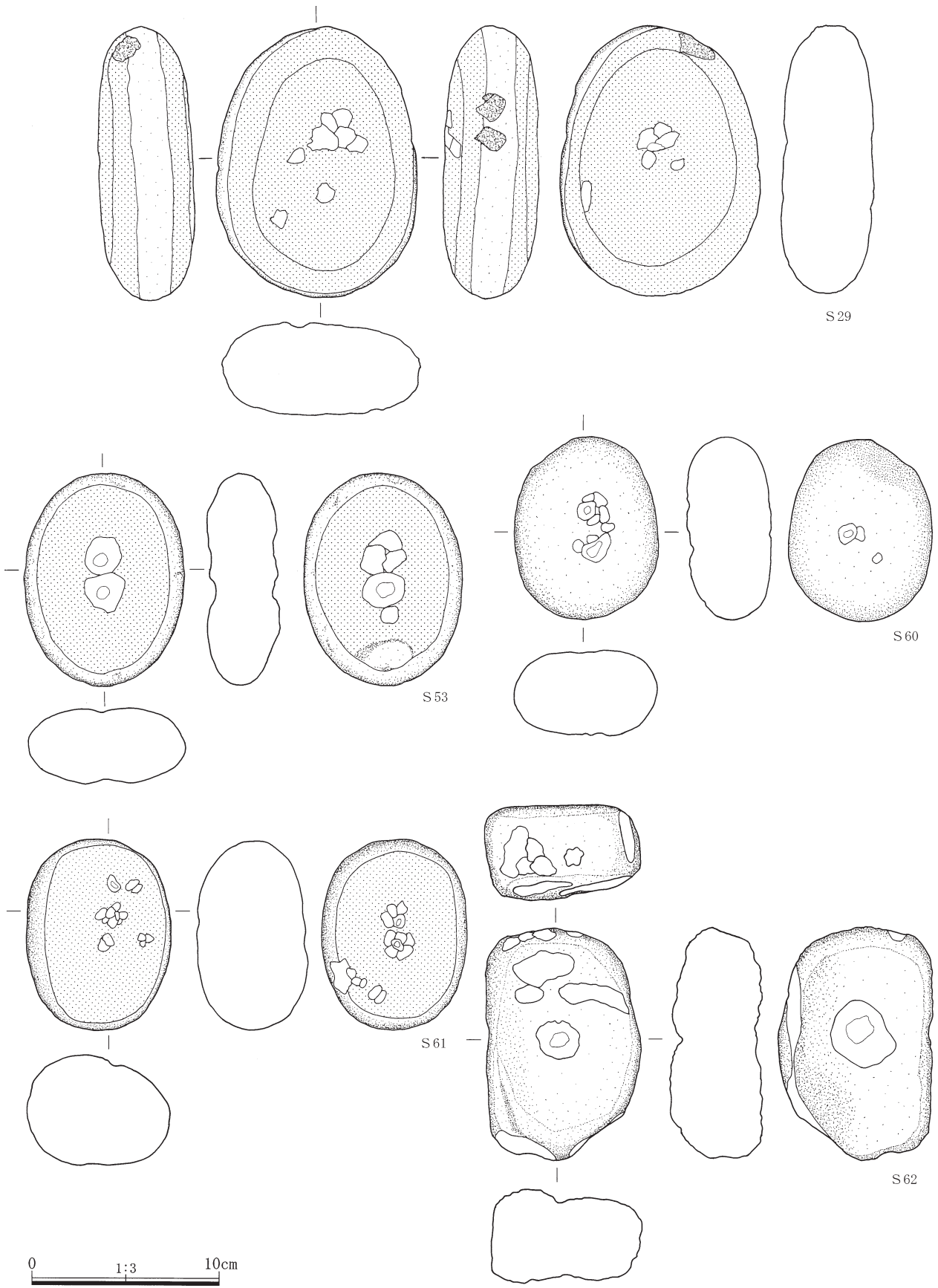
第7章 V区の調査



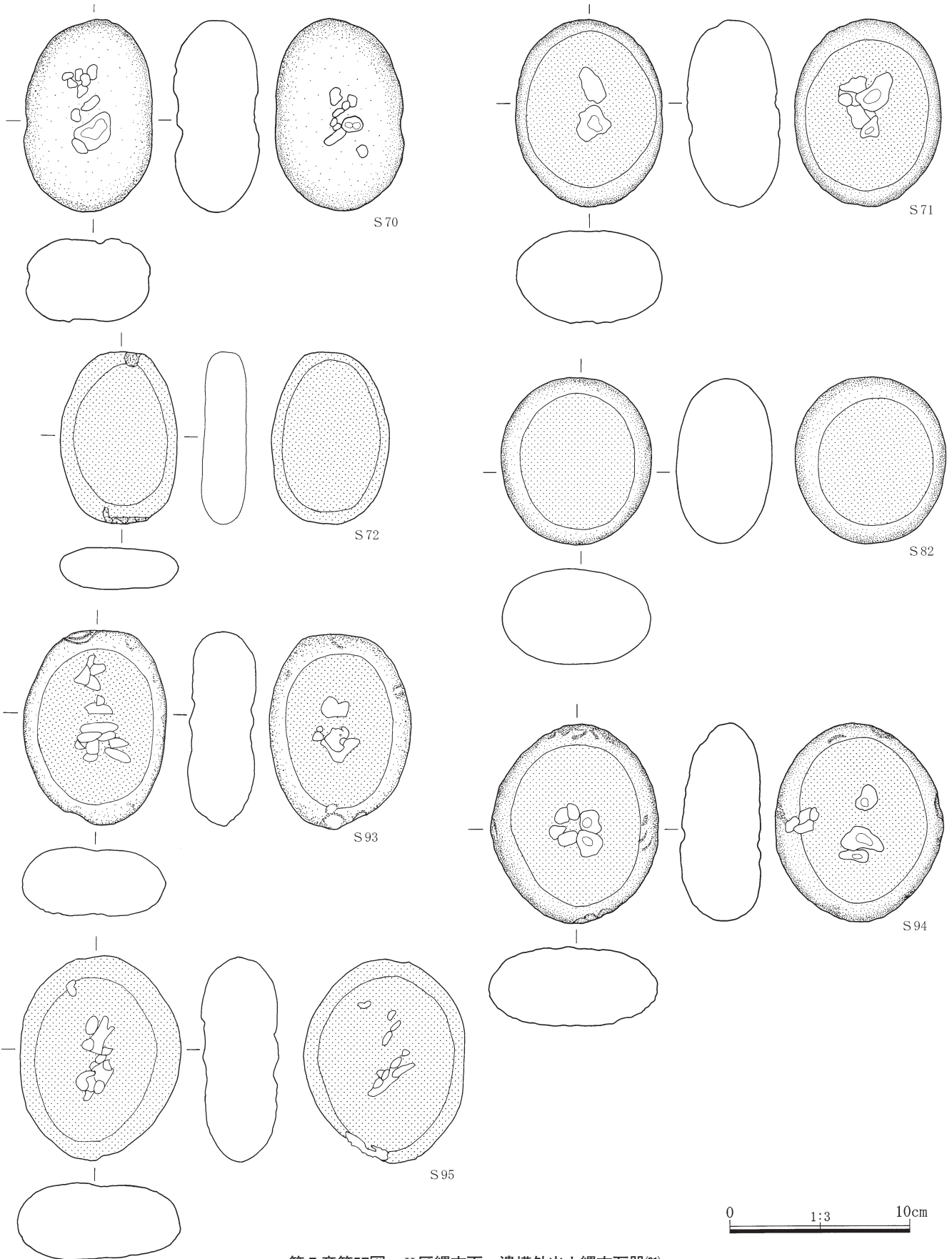
第7章第54図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(18)



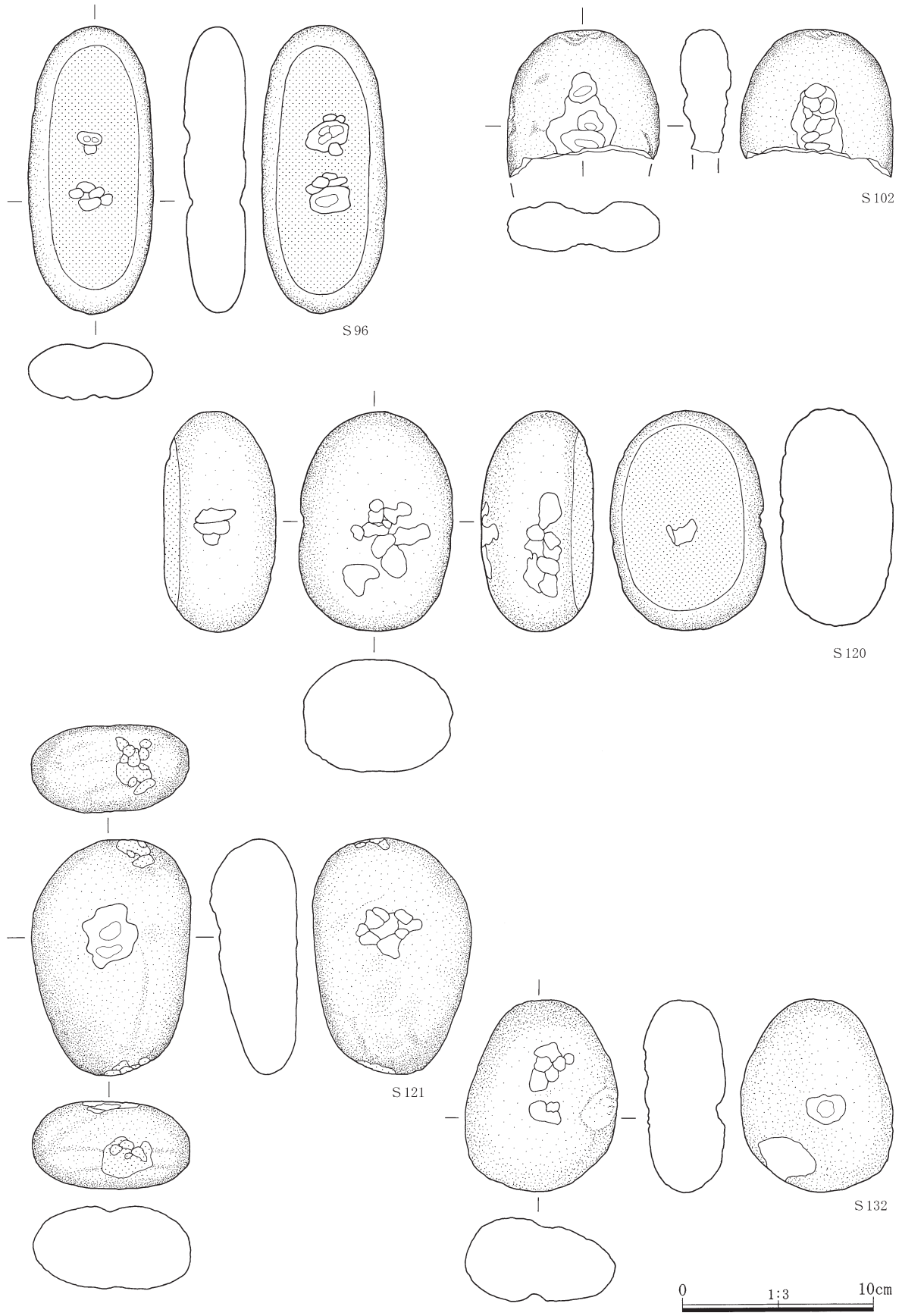
第7章第55図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(19)



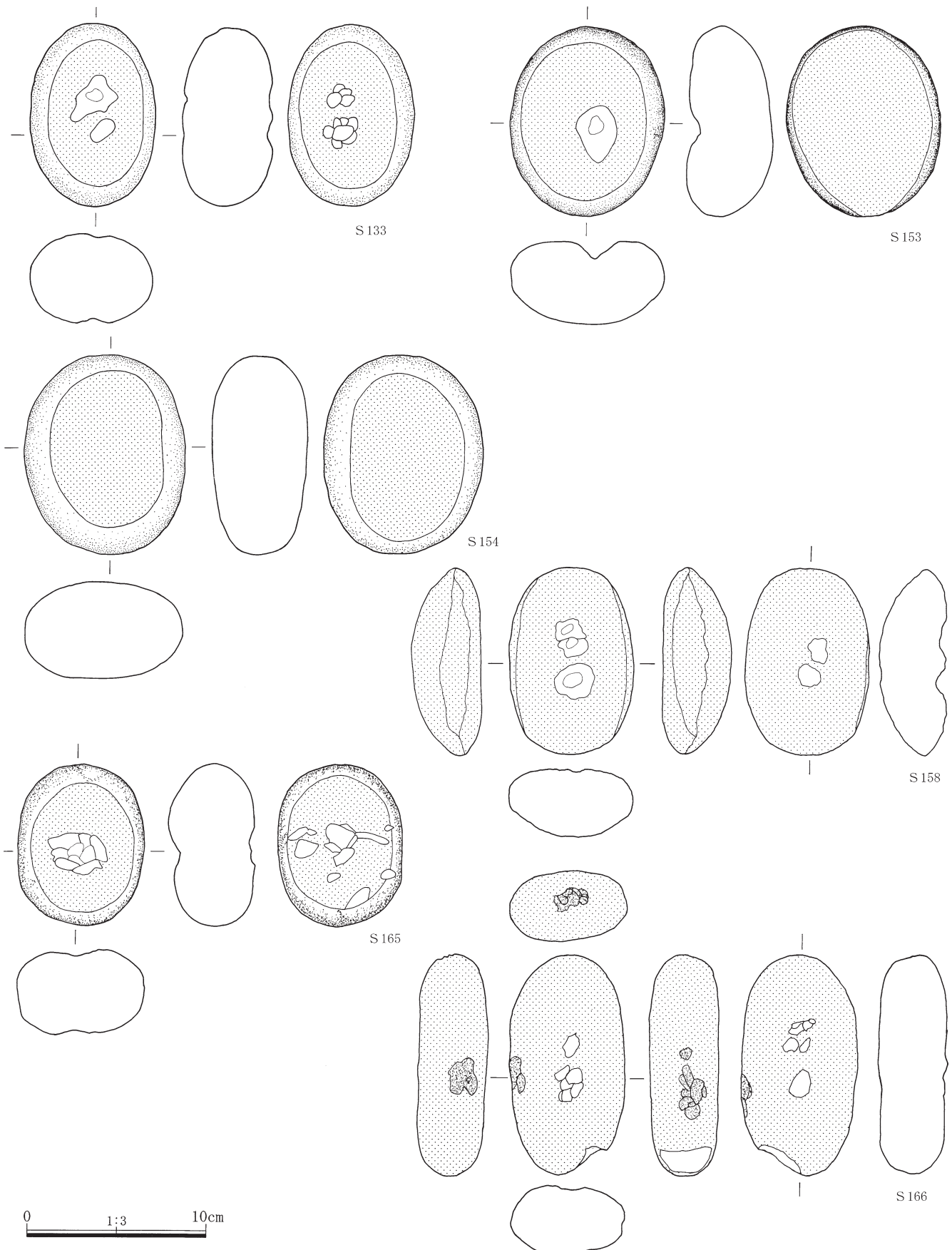
第7章第56図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(20)



第7章第57図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)

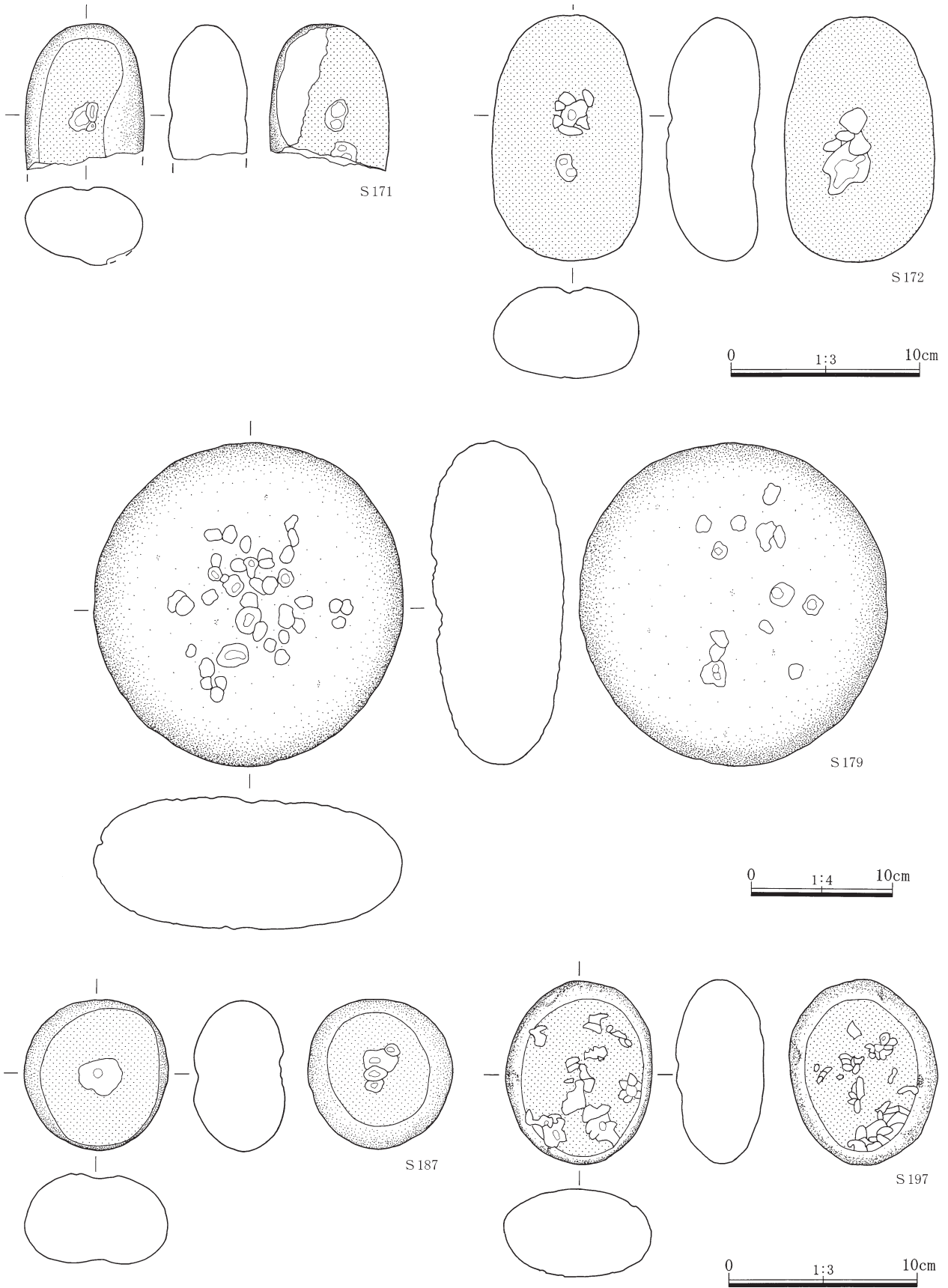


第7章第58図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)

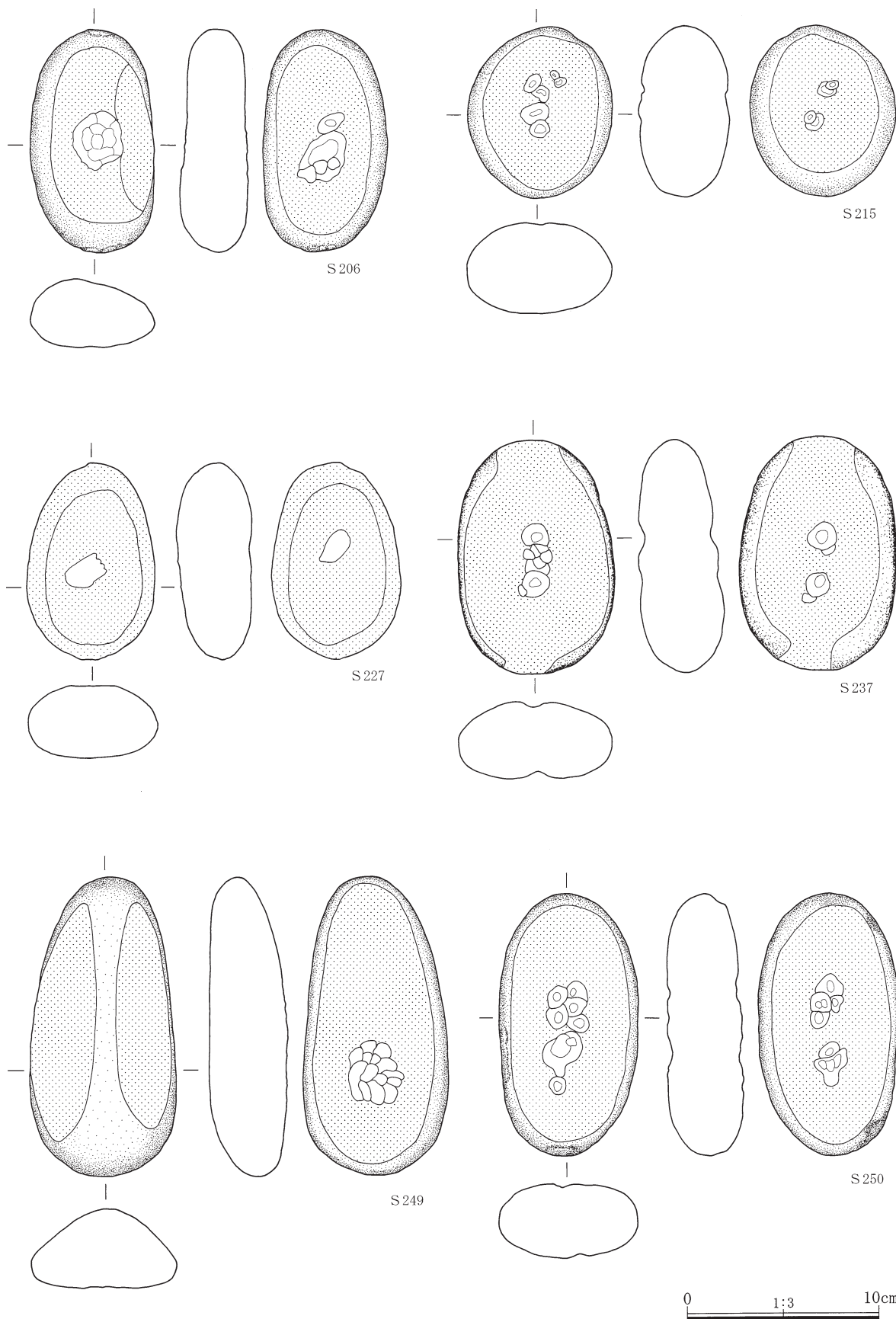


第7章第59図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(23)

第7章 V区の調査

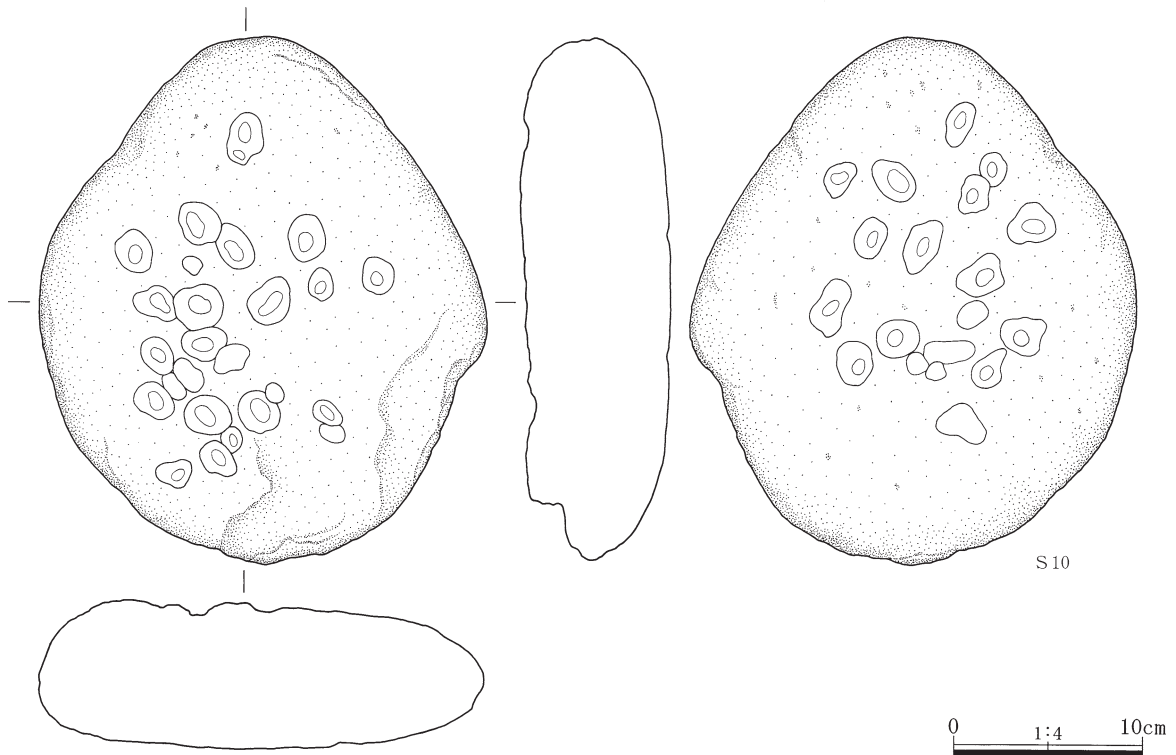
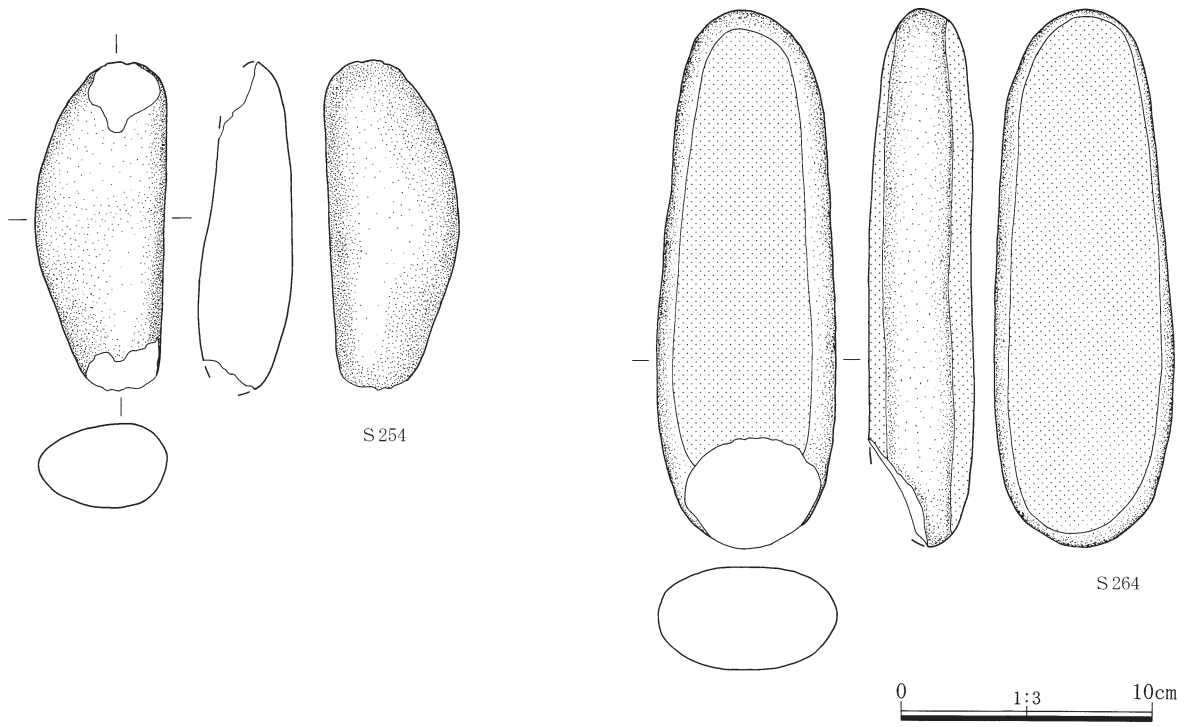


第7章第60図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(24)

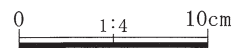
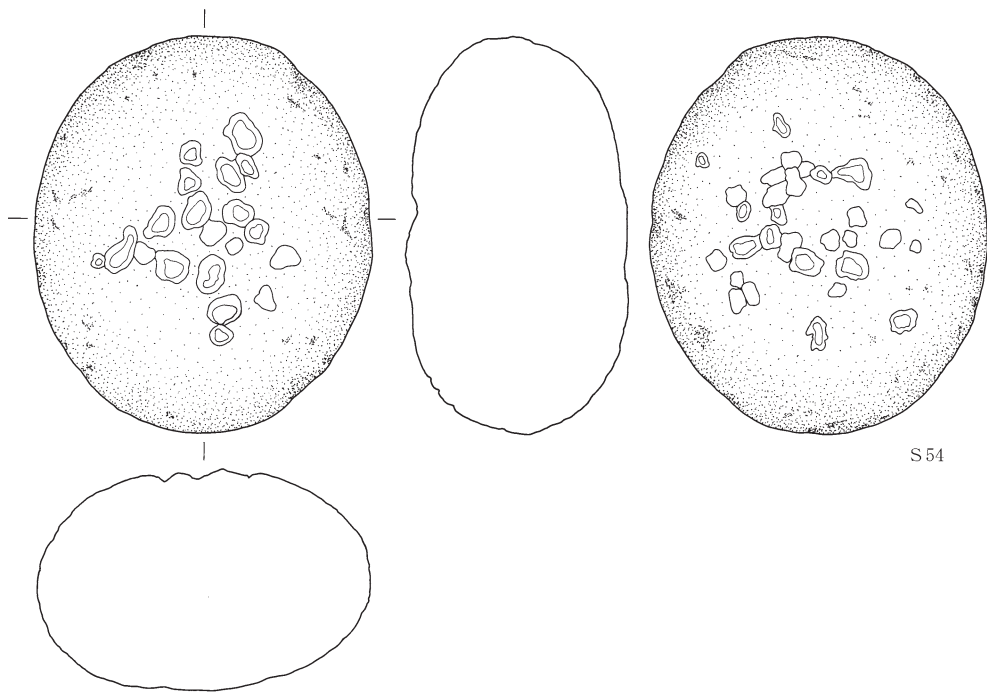
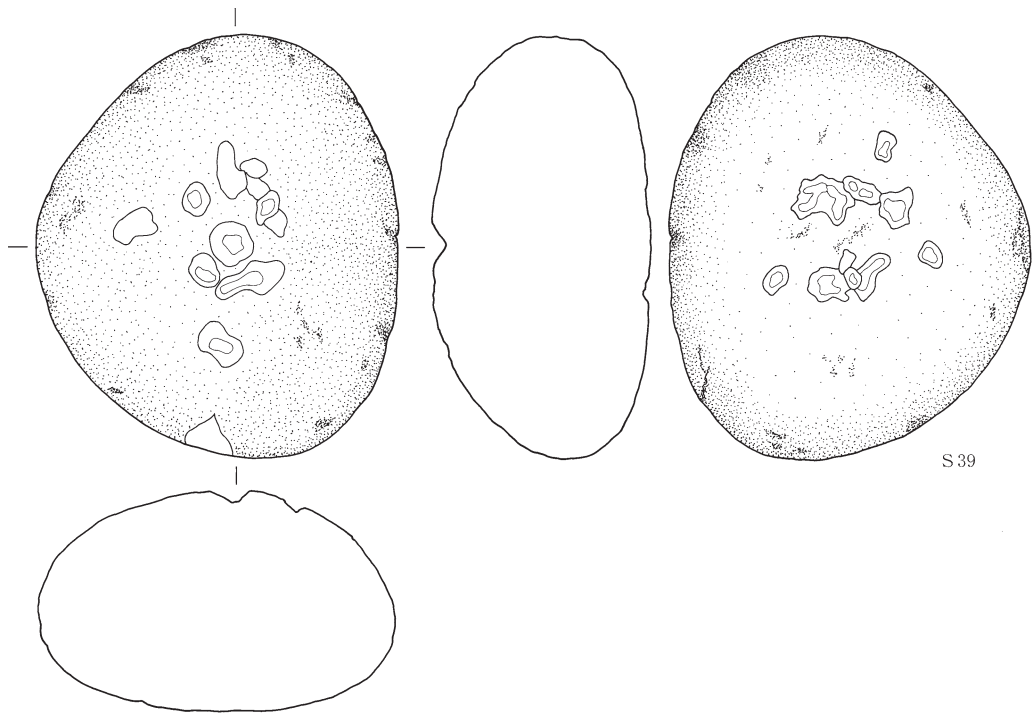


第7章第61図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(25)

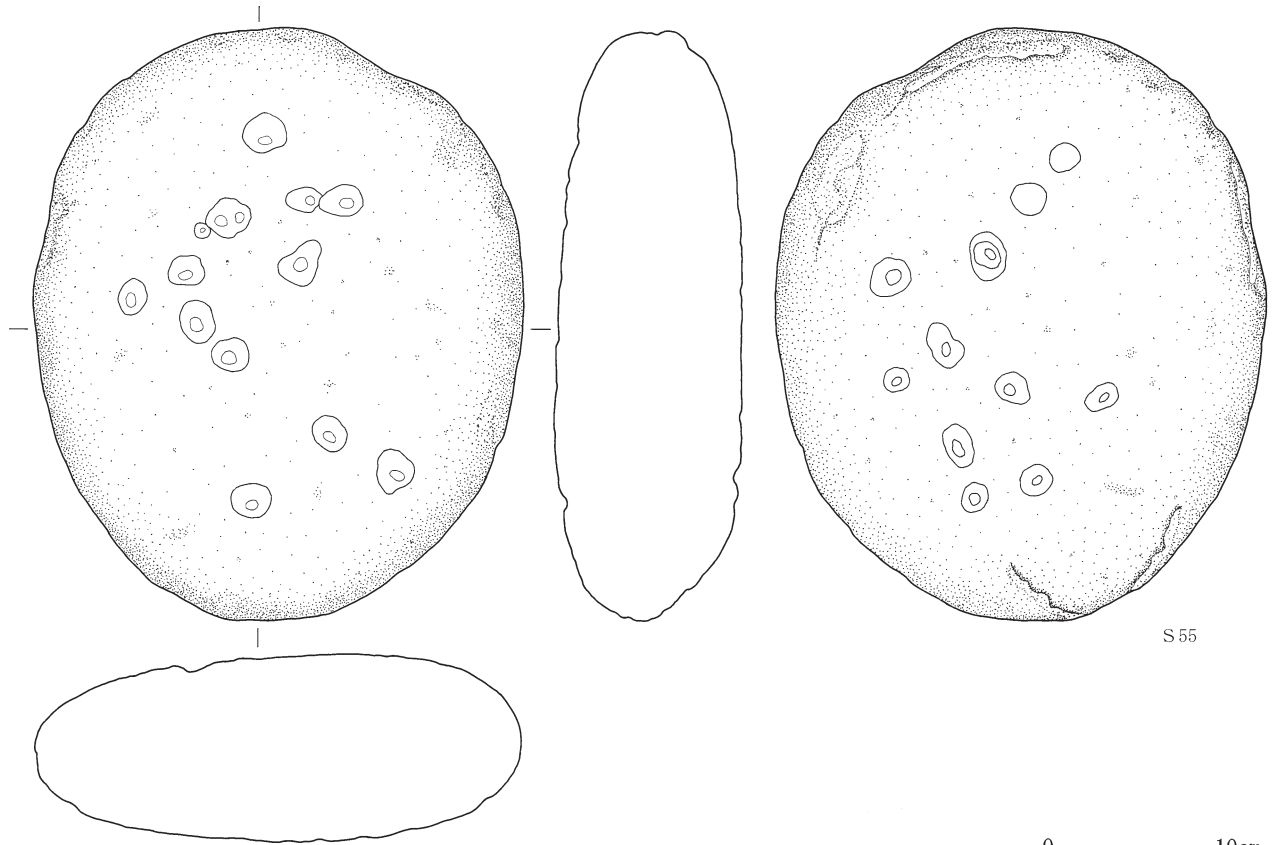
第7章 V区の調査



第7章第62図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(26)

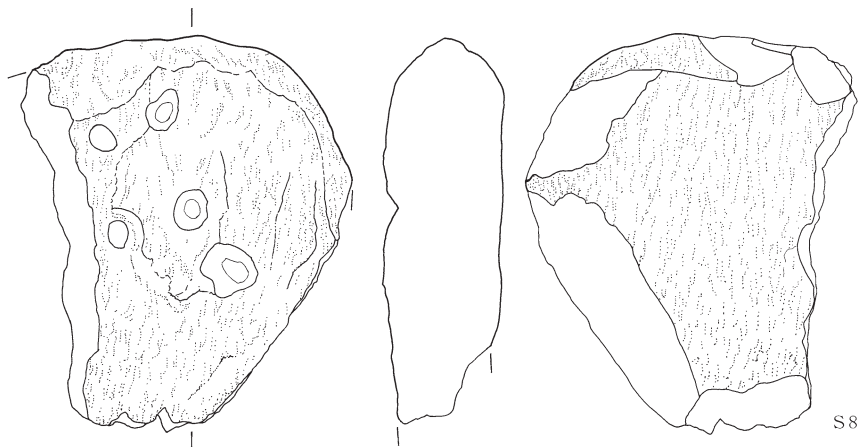


第7章第63図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(27)



S55

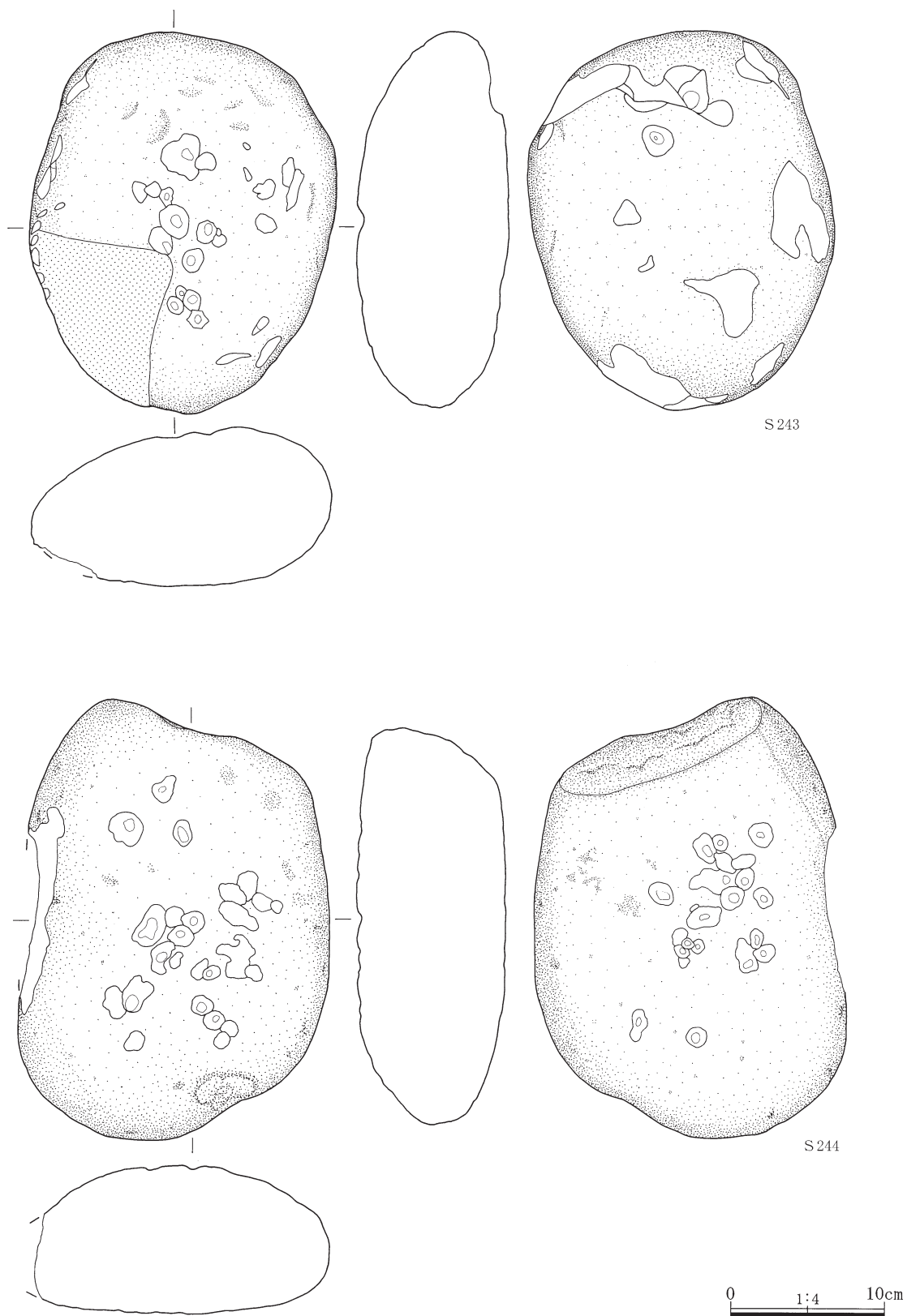
0 1:4 10cm



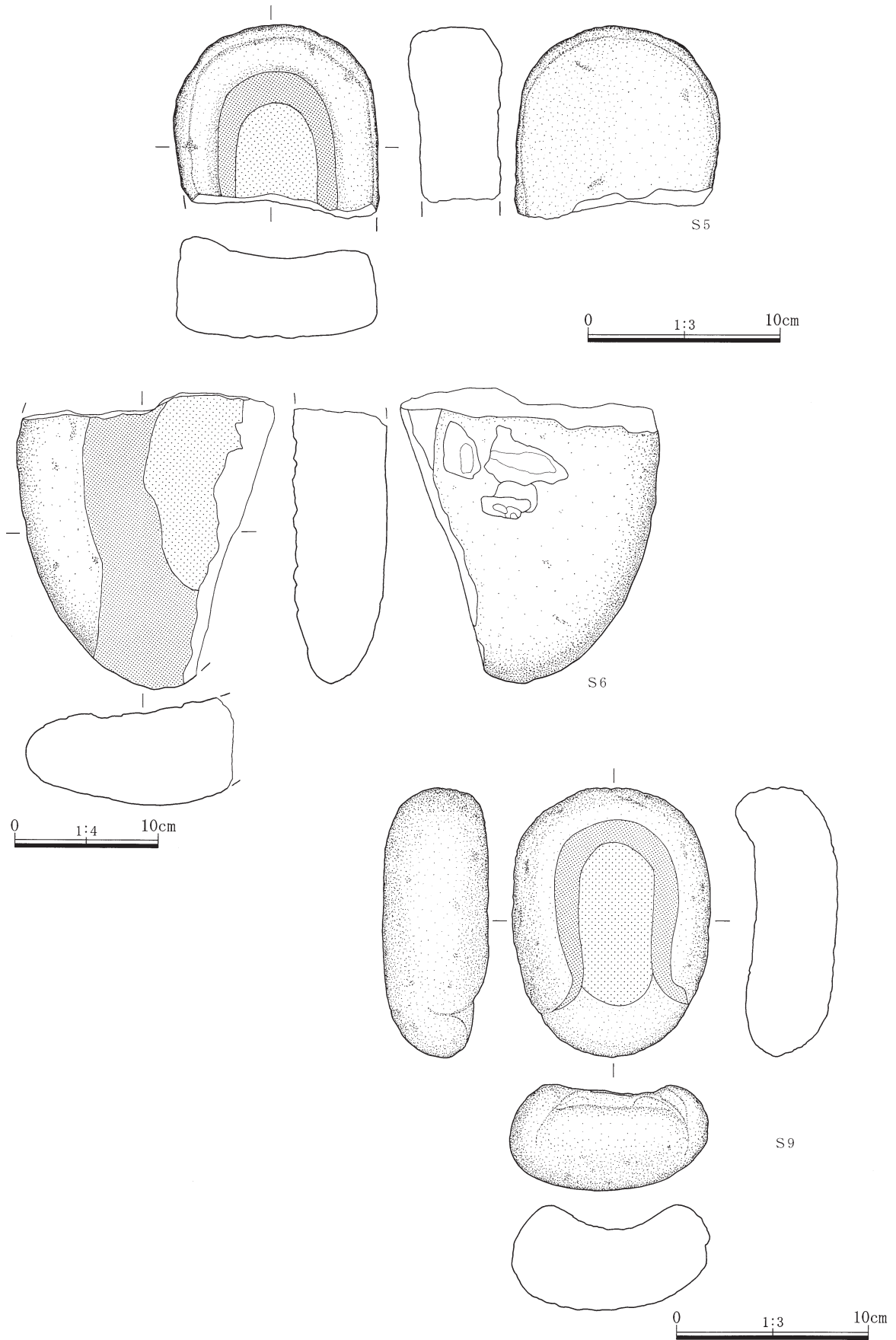
S81

0 1:3 10cm

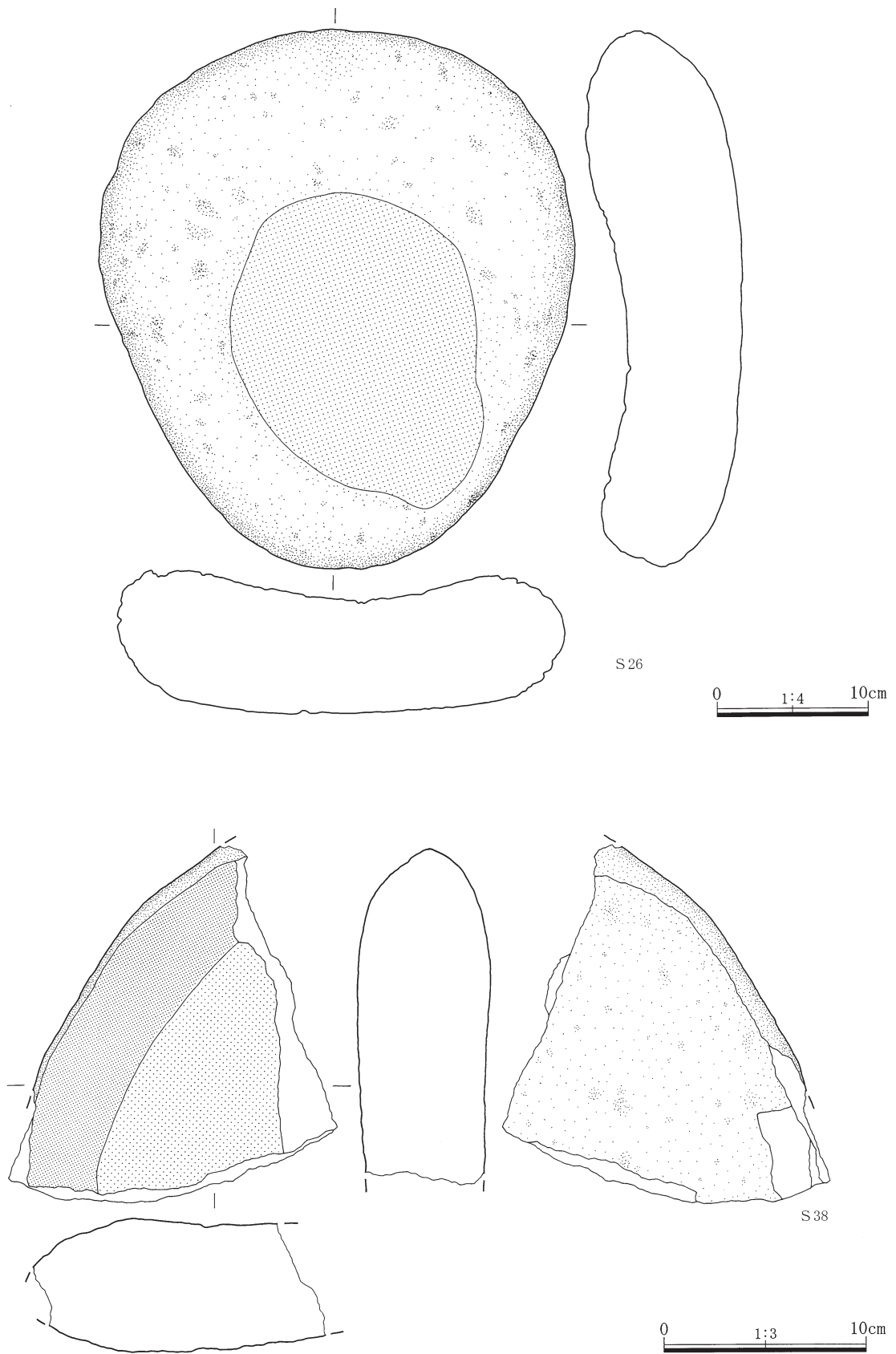
第7章第64図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(28)



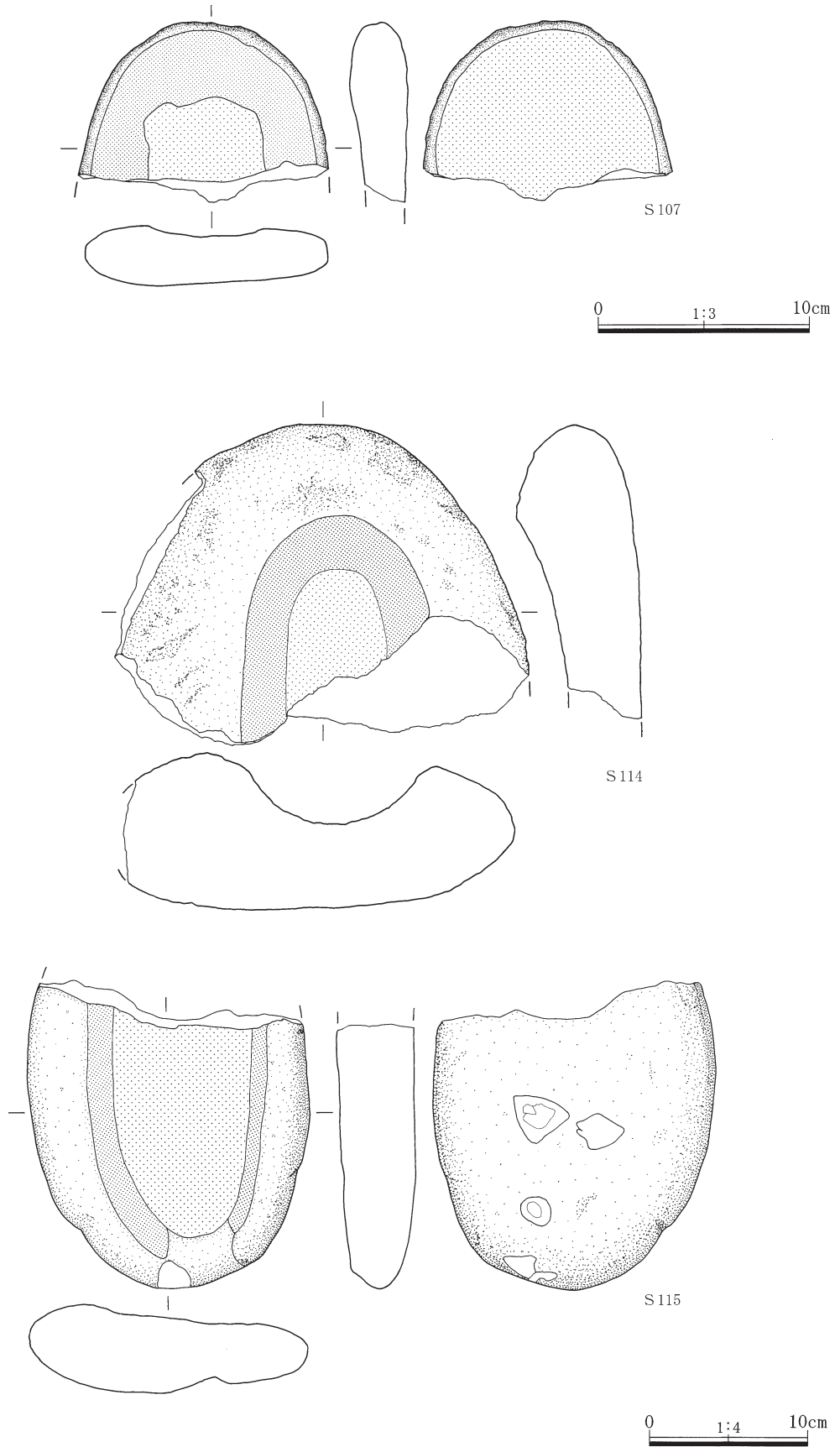
第7章第65図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(29)



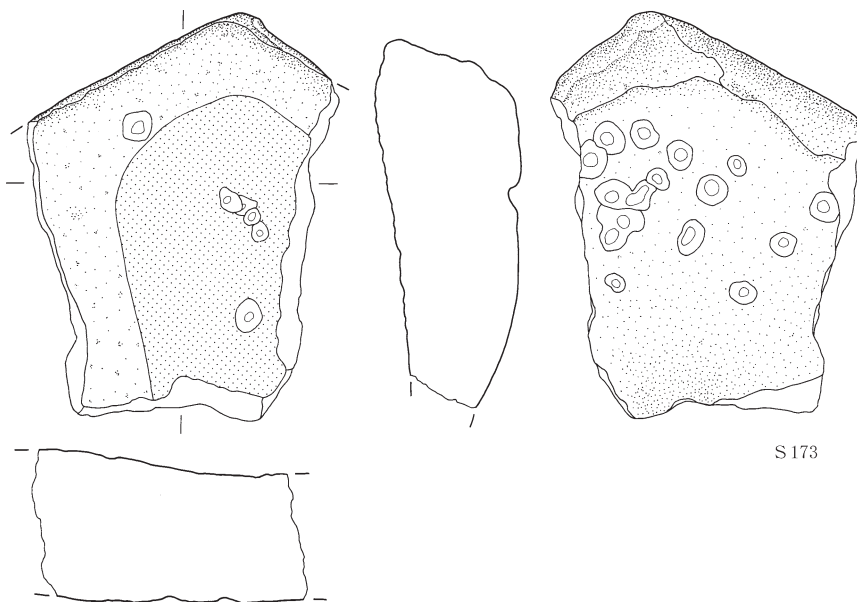
第7章第66図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(30)



第7章第67図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(31)

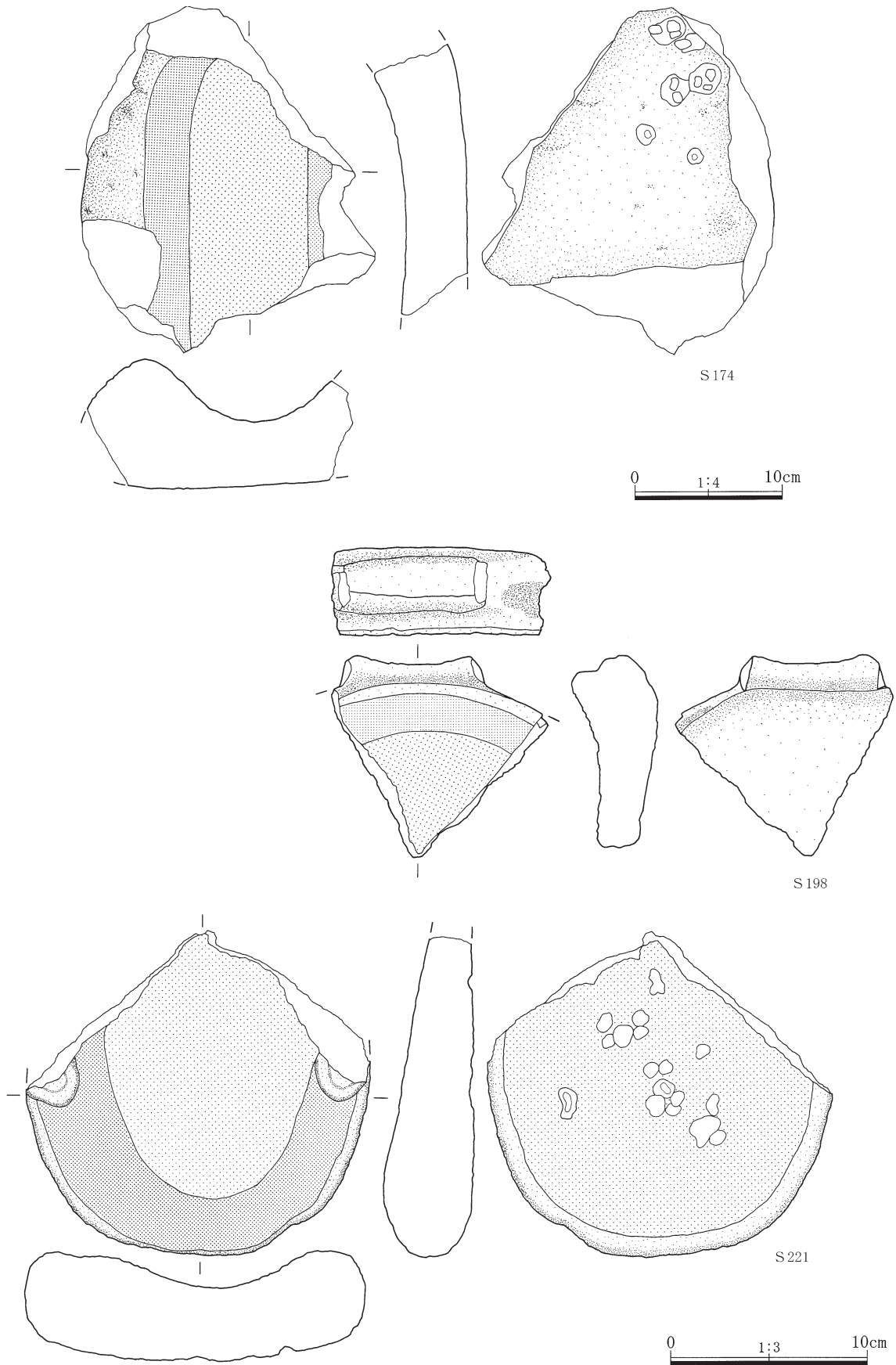


第7章第68図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(32)



0 1:4 10cm

第7章第69図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(33)



第7章第70図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(34)

第7章表22 V区縄文面 遺構外出土縄文石器観察表(第7章第37~70図、PL.123~140)

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	Eh-37G	Ⅶ層	石匙	一部欠損	5.13	1.79	0.79	6.00	黒曜石	黒曜岩	縦型。左右非対称。
S 2	Eh-37G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	10.80	5.00	1.30	110.00	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	短冊形石斧。
S 3	Eh-37G	Ⅶ層	磨石	完形	11.10	9.20	5.00	750.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 4	Eh-38G	Ⅳ層	石錐	一部欠損	4.03	4.43	0.91	10.23	珩質頁岩	無斑晶質安山岩	刃部一部破損。
S 5	Eh-38G	Ⅳ層	石皿	1/2	(9.50)	10.30	5.20	780.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。
S 6	Eh-38G	Ⅶ層	石皿	破片	(20.50)	(17.90)	7.50	2,800.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面を石皿、1面を凹石として使用。
S 7	Eh-39G	Ⅶ層	石錐	一部欠損	(4.48)	1.92	0.90	8.58	黒色頁岩	細粒凝灰岩	刃部破損。
S 8	Eh-39G	Ⅵ層	打製石斧	完形	9.00	5.60	1.50	74.00	粗粒輝石安山岩	無斑晶質安山岩	撥形石斧。
S 9	Eh-39G	Ⅶ層	石皿	完形	13.90	10.30	5.50	960.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。
S 10	Eh-39G	Ⅷ層	多孔石	一部欠損	27.70	23.70	7.90	6,500.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 11	Eh-40G	Ⅷ層	異形石器	完形	3.00	1.50	0.50	1.90	赤碧玉	鉄石英(赤玉石)	ブーメラン形。
S 12	Eh-40G	Ⅷ層	敲石	完形	11.90	3.60	2.10	150.00	砂岩	砂岩	一部表面残存。
S 13	Eh-40G	Ⅷ層	敲石	一部欠損	13.50	5.20	3.30	332.00	変質玄武岩	砂岩	—
S 14	Eh-40G	Ⅷ層	磨石	完形	11.40	7.20	4.80	565.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	全面使用。2面を凹石、1面を敲石としても使用。
S 15	Ei-37G	Ⅵ層	石錐	一部欠損	(2.20)	1.70	0.35	1.29	黒色安山岩	無斑晶質安山岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 16	Ei-37G	Ⅵ層	凹石	完形	11.90	9.70	4.60	750.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 17	Ei-37G	Ⅵ層	磨石	1/2	10.90	9.60	5.10	580.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	全面使用。2面を凹石としても使用。
S 18	Ei-38G	Ⅵ層	石錐	下端部欠損	(3.50)	1.85	0.78	5.64	チャート	チャート	—
S 19	Ei-38G	Ⅶ層	凹石	一部欠損	9.50	7.50	5.40	575.00	石英閃緑岩	石英閃緑岩	2面使用。
S 20	Ei-39G	Ⅴ層	石錐	一部欠損	1.47	1.06	0.24	0.29	チャート	チャート	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 21	Ei-39G	Ⅶ層	石匙	完形	6.55	8.70	1.10	60.12	黒色頁岩	—	横型石匙。
S 22	Ei-39G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	10.85	4.85	1.90	103.00	黒色頁岩	砂質ホルンフェルス	短冊形石斧。
S 23	Ei-39G	Ⅵ層	磨石	完形	10.60	8.20	4.10	520.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	全面使用。2面を凹石としても使用。
S 24	Ei-39G	Ⅵ層	石皿	完形	13.80	10.80	4.60	1,015.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面のみ使用。2ヶ所擦条痕有。
S 25	Ei-39G	Ⅵ層	凹石	一部欠損	10.80	8.90	5.00	635.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 26	Ei-39G	Ⅶ層	石皿	完形	35.30	29.50	10.40	14,250.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面のみ使用。
S 27	Ei-40G	Ⅵ層	石錐	先端部欠損	(1.40)	1.50	0.28	0.50	黒曜石	黒曜岩	無茎鏃。凹基。
S 28	Ei-40G	Ⅷ層	石匙	一部欠損	4.17	4.73	0.90	16.47	黒色安山岩	無斑晶質安山岩	横型石匙。
S 29	Ei-40G	Ⅶ層	磨石	完形	14.50	10.70	5.10	1,070.00	溶結凝灰岩	輝石安山岩	2面使用。一部敲打痕有。
S 30	Ei-41G	Ⅶ層	打製石斧	完形	8.70	4.35	1.70	74.80	ホルンフェルス	天紋粘板岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 31	Ej-37G	Ⅵ層	剥片石器	完形	4.53	0.92	0.46	1.70	黒曜石	黒曜岩	ナイフ形。
S 32	Ej-37G	Ⅶ層	石匙	完形	5.80	4.52	0.80	15.73	黒色安山岩	—	横型石匙。左右非対称。
S 33	Ej-37G	Ⅶ層	石核	完形	4.48	4.73	2.70	58.06	黒色安山岩	無斑晶質安山岩	一部表面残存。
S 34	Ej-37G	Ⅴ層	打製石斧	上部欠損	9.20	5.30	1.60	94.90	粗粒輝石安山岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 35	Ej-38G	Ⅳ層	石錐	一部欠損	2.23	(1.35)	0.33	0.77	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 36	Ej-38G	Ⅶ層	磨製石斧	先端部欠損	(4.80)	4.80	1.50	60.00	珩質頁岩	—	定角式磨製石斧。
S 37	Ej-38G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	10.40	5.40	1.20	69.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S 38	Ej-38G	Ⅶ層	石皿	破片	(17.60)	(16.10)	6.50	2,140.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。
S 39	Ej-38G	Ⅶ層	多孔石	一部欠損	22.40	19.10	11.60	6,100.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 40	Ej-39G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	10.80	5.10	1.30	69.80	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 41	Ej-39G	Ⅵ層	石皿	完形	21.10	15.50	6.10	2,810.00	石英閃緑岩	変質安山岩	1面使用。
S 42	Ej-40G	Ⅶ層	石錐	完形	1.70	1.20	0.29	0.33	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 43	Ej-40G	Ⅶ層	石錐	先端部欠損	(1.80)	1.30	0.20	0.35	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 44	Ej-40G	—	剥片	一部欠損	2.33	2.53	0.28	1.79	黒曜石	黒曜岩	—
S 45	Ej-40G	Ⅵ層	石錐	刃部破損	5.57	2.66	0.70	10.39	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S 46	Ej-40G	Ⅶ層	打製石斧	完形	8.10	4.95	1.40	62.00	黒色頁岩	頁岩	撥形石斧。一部表面残存。
S 47	Ej-40G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	8.50	5.30	1.60	76.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S 48	Ej-40G	Ⅶ層	打製石斧	完形	10.60	4.70	1.60	95.60	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 49	Ej-40G	Ⅶ層	打製石斧	完形	11.30	5.80	1.00	84.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S 50	Ej-40G	Ⅶ層	打製石斧	完形	12.50	5.60	1.80	123.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 51	Ej-40G	Ⅶ層	打製石斧	1/2	8.70	5.15	1.65	123.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 52	Ej-40G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	11.20	5.10	1.80	142.70	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	短冊形石斧。
S 53	Ej-40G	Ⅶ層	磨石	完形	11.30	8.50	4.00	496.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S 54	Ej-40G	Ⅶ層	多孔石	完形	20.90	17.80	11.70	5,600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 55	Ej-40G	Ⅶ層	多孔石	完形	31.20	25.70	9.70	10,950.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 56	Ej-41G	Ⅷ層	石匙	完形	3.59	3.43	0.79	7.46	黒色安山岩	無斑晶質安山岩	横型石匙。左右非対称。
S 57	Ej-41G	Ⅵ層	打製石斧	刃部破損	11.50	6.00	1.40	110.10	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 58	Ej-41G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	8.60	4.90	1.40	65.90	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S 59	Ej-41G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	10.80	5.30	1.80	105.70	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 60	Ej-41G	Ⅵ層	凹石	一部欠損	9.70	7.70	4.60	480.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 61	Ej-41G	Ⅶ層	磨石	完形	10.10	7.60	5.80	720.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S 62	Ej-41G	Ⅶ層	凹石	一部欠損	12.30	8.30	5.00	645.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	3面使用。
S 63	Ej-42G	Ⅴ層	石錐	一部欠損	1.62	(1.28)	0.24	0.36	黒曜石	黒曜岩	三角形無茎鏃。凹基。
S 64	Ej-42G	—	石錐	先端部破損	2.62	1.90	0.63	2.57	黒曜石	黒曜岩	有茎鏃。凸基。
S 65	Ej-42G	Ⅵ層	石錐	完形	2.96	1.32	0.47	1.32	珩質頁岩	—	刃部長さ約16mm、幅約5mm。
S 66	Ej-42G	Ⅵ層	石匙	一部欠損	3.86	(6.83)	0.73	24.88	珩質頁岩	—	横型石匙。左右非対称。
S 67	Ej-42G	Ⅵ層	耳飾り	破片	(4.44)	(1.80)	0.57	6.61	滑石	—	直径約4mmの孔1ヶ所有。
S 68	Ej-42G	Ⅶ層	打製石斧	一部欠損	9.00	5.30	1.50	72.30	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 69	Ej-42G	Ⅵ層	打製石斧	完形	10.80	6.70	1.40	128.80	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。1面に表面残存。
S 70	Ej-42G	Ⅵ層	凹石	完形	10.60	7.20	4.70	470.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。

第7章 V区の調査

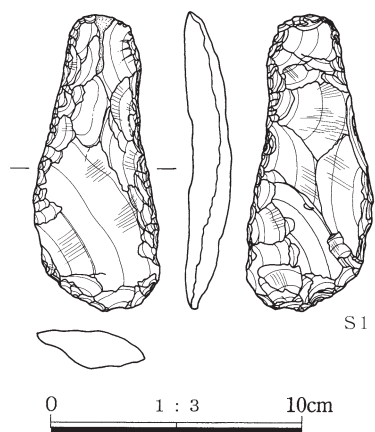
番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S 71	Ej-42G	VI層	磨石	完形	10.30	8.10	4.90	660.00	石英閃緑岩	石英閃緑岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S 72	Ej-42G	VI層	磨石	完形	9.50	6.50	2.40	220.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	全面使用。
S 73	Ek-37G	VI層	石匙	下端部欠損	(5.20)	3.54	0.50	12.93	黒色頁岩	—	縦型石匙。
S 74	Ek-37G	VI層	打製石斧	下端部欠損	(8.35)	3.70	1.15	48.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 75	Ek-37G	VI層	打製石斧	一部欠損	11.00	5.20	1.60	104.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 76	Ek-38G	VI層	石匙	完形	4.25	6.16	0.77	15.10	黒色頁岩	—	横型石匙。左右非対称。
S 77	Ek-38G	VI層	打製石斧	完形	9.80	4.20	1.10	54.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S 78	Ek-38G	VI層	打製石斧	刃部破損	9.00	4.80	2.50	141.00	砂岩	中粒凝灰岩	短冊形石斧。1面に表面残存。
S 79	Ek-38G	VI層	石核	完形	8.15	6.15	1.65	85.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	—
S 80	Ek-38G	VI層	磨製石斧	一部破損	(7.20)	4.30	2.20	110.00	蛇紋岩	蛇紋岩	定角式磨製石斧。
S 81	Ek-38G	VI層	多孔石	破片	(30.60)	(22.40)	9.30	1,350.00	緑色片岩	緑泥片岩	1面使用。
S 82	Ek-38G	VI層	磨石	完形	9.20	8.20	5.30	580.00	変質安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 83	Ek-39G	VI層	石鏃	一部欠損	1.40	(1.13)	0.30	0.31	黒曜石	黒曜岩	三角形無茎鏃。凹基。
S 84	Ek-39G	—	石匙	一部欠損	4.30	(6.89)	0.69	22.18	黒色頁岩	—	横型石匙。
S 85	Ek-39G	VI層	打製石斧	完形	9.50	4.70	1.30	22.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。1面に表面残存。
S 86	Ek-39G	VI層	打製石斧	完形	9.80	5.20	2.00	93.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 87	Ek-39G	VI層	打製石斧	完形	8.40	3.50	1.30	46.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 88	Ek-39G	VI層	打製石斧	完形	8.60	4.50	1.50	55.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S 89	Ek-39G	VI層	打製石斧	完形	9.00	3.70	1.50	64.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 90	Ek-39G	VI層	打製石斧	完形	9.80	4.80	1.90	86.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 91	Ek-39G	VI層	打製石斧	一部欠損	10.90	4.90	6.00	102.00	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。
S 92	Ek-39G	VI層	石核	完形	14.10	9.20	2.70	570.00	変質安山岩	輝緑岩	表面残存。
S 93	Ek-39G	VI層	磨石	完形	10.70	7.90	3.70	464.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 94	Ek-39G	VI層	磨石	完形	11.00	9.20	4.40	590.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 95	Ek-39G	VI層	磨石	完形	10.30	9.00	4.20	575.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 96	Ek-39G	VI層	磨石	完形	15.00	6.50	3.20	440.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 97	Ek-40G	VI層	石鏃	下端部欠損	1.75	(1.10)	0.30	0.61	黒曜石	黒曜岩	三角形無茎鏃。凹基。
S 98	Ek-40G	VI層	石鏃	完形	2.35	1.90	0.30	1.00	チャート	チャート	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 99	Ek-40G	VI層	石匙	完形	4.37	5.45	1.24	27.00	黒色頁岩	—	横型石匙。左右対称。
S 100	Ek-40G	VI層	打製石斧	完形	8.10	3.40	1.30	45.10	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 101	Ek-40G	VI層	打製石斧	一部欠損	11.70	3.80	1.80	112.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 102	Ek-40G	VI層	凹石	1/2	(7.70)	7.90	2.60	164.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 103	Ek-41G	—	細石刃	完形	2.34	0.67	0.28	0.45	黒曜石	黒曜岩	—
S 104	Ek-41G	—	尖頭器	完形	2.80	0.90	0.50	1.07	珪質頁岩	無斑晶質安山岩	柳葉型鏃。
S 105	Ek-41G	—	石匙	完形	3.07	4.16	0.82	9.08	黒色安山岩	無斑晶質安山岩	横型石匙。左右対称。
S 106	Ek-41G	VI層	打製石斧	完形	8.70	4.50	1.40	116.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 107	Ek-41G	VI層	石皿	1/4?	(8.40)	11.70	2.80	340.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 108	Ek-42G	VI層	石鏃	下端部欠損	2.20	1.78	0.20	0.76	黒色頁岩	流紋岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 109	Ek-42G	VI層	石鏃	完形	2.20	2.30	0.60	1.50	チャート	チャート	三角形無茎鏃。凹基。
S 110	Ek-42G	VI層	石匙	完形	3.20	2.00	0.48	2.10	褐色碧玉	チャート	縦型石匙。左右非対称。
S 111	Ek-42G	VI層	打製石斧	完形	8.60	5.00	1.50	59.10	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S 112	Ek-42G	VI層	打製石斧	一部欠損	12.20	5.90	2.70	190.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	分銅形石斧。一部表面残存。
S 113	Ek-42G	VI層	打製石斧	一部欠損	13.20	4.20	2.50	159.10	黒色頁岩	中粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 114	Ek-42G	VI層	石皿	1/3	(20.00)	(26.10)	9.60	5,300.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。
S 115	Ek-42G	VI層	石皿	1/2	(19.50)	17.80	5.60	2,300.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。1面は凹石としても使用。
S 116	Ek-43G	VI層	砥石	破片	4.22	3.04	1.50	26.08	牛伏砂岩	—	条痕有。
S 117	Ek-44G	VI層	石鏃	完形	5.30	1.70	1.00	3.70	黒曜石	黒曜岩	刃部長さ約38mm、幅5mm。一部表面残存。
S 118	Ek-44G	VI層	珠状耳飾り	破片	(4.27)	(2.24)	0.43	6.90	滑石	—	直径約3mmの孔1ヶ所有。
S 119	Ek-44G	VI層	磨製石斧	一部欠損	12.60	4.60	2.00	222.00	変玄武岩	緑泥片岩	乳棒状磨製石斧。
S 120	Ek-44G	IV層	磨石	完形	11.40	8.00	5.90	735.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。4面は凹石としても使用。
S 121	Ek-44G	VI層	凹石	完形	12.30	8.20	4.00	630.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。一部敲打痕有。
S 122	Ek-45G	—	石匙	一部欠損	(3.70)	1.90	0.60	4.00	チャート	チャート	縦型石匙。左右対称。
S 123	Ek-45G	VI層	砥石	破片	5.34	5.45	1.09	33.60	牛伏砂岩	—	—
S 124	Ei-37G	VI層	石鏃	先端部欠損	(2.05)	1.55	0.36	0.97	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 125	Ei-37G	VI層	剥片	完形	1.99	1.80	0.40	1.50	赤碧玉	—	—
S 126	Ei-37G	VI層	石匙	完形	5.00	2.70	0.60	7.00	黒曜石	黒曜岩	縦型石匙。左右非対称。
S 127	Ei-37G	VI層	石匙	1/2	3.61	2.73	0.40	3.82	黒色頁岩	流紋岩	—
S 128	Ei-37G	VI層	打製石斧	一部欠損	9.10	4.90	1.25	88.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 129	Ei-37G	VI層	打製石斧	1/2	8.60	7.10	2.00	137.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	撥形石斧。
S 130	Ei-37G	VI層	打製石斧	一部欠損	15.60	6.70	4.30	420.00	黒色頁岩	泥質ホルンフェルス	分銅形石斧。
S 131	Ei-37G	VI層	石核	完形	13.75	13.25	4.20	1,003.00	変質玄武岩	中粒凝灰岩	表面が多く残存。
S 132	Ei-37G	VI層	凹石	一部欠損	9.95	7.90	4.30	432.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 133	Ei-37G	VI層	磨石	完形	10.10	6.90	5.00	434.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S 134	Ei-37G	VI層	石皿	破片	(23.80)	(41.60)	13.60	17,350.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。
S 135	Ei-38G	VI層	石鏃	一部欠損	2.32	1.93	0.38	1.89	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。平基。
S 136	Ei-38G	VI層	石鏃	下端部欠損	2.11	(1.43)	0.37	0.82	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。平基。
S 137	Ei-38G	VI層	石鏃	完形	1.40	1.10	0.32	0.34	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 138	Ei-38G	VI層	石鏃	上端部欠損	(1.17)	1.67	0.34	0.57	黒曜石	黒曜岩	無茎鏃。凹基。
S 139	Ei-38G	VI層	石鏃	先端部欠損	(1.81)	1.74	0.23	0.64	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 140	Ei-38G	VI層	石刀	下端部欠損	(4.67)	1.50	0.36	3.80	緑色片岩	—	縦型石匙と似た形態。
S 141	Ei-38G	VI層	石鏃	完形	4.04	2.85	0.56	8.30	ホルンフェルス	無斑晶質安山岩	刃部長さ15mm、幅約4～9mm。
S 142	Ei-38G	VI層	石鏃	下端部欠損	3.97	2.36	0.48	3.73	珪質頁岩	—	刃部長さ16mm、幅約4～9mm。

第2節 V区遺構外

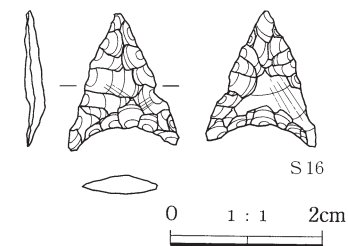
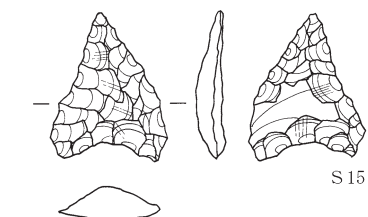
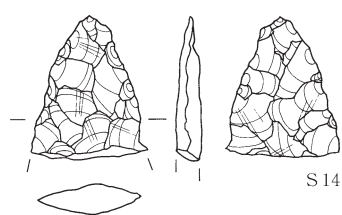
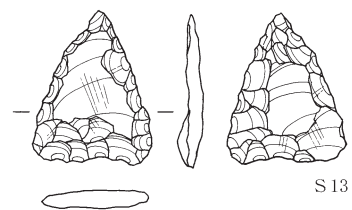
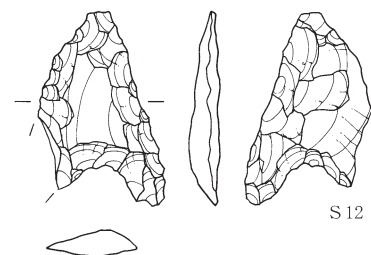
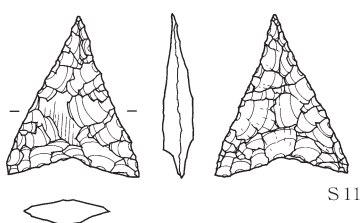
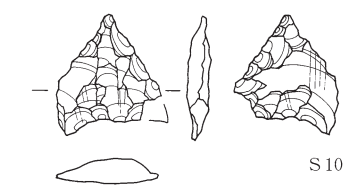
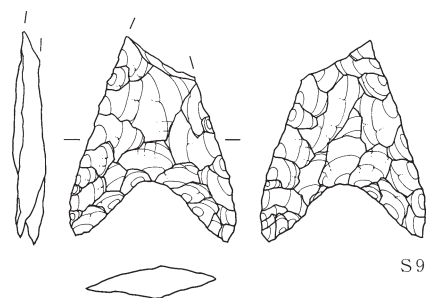
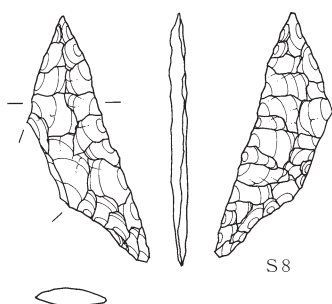
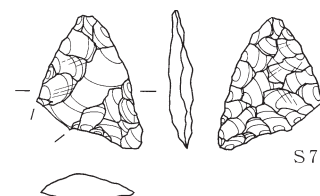
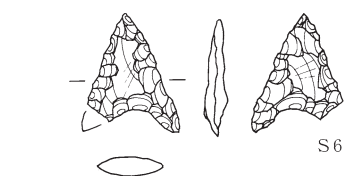
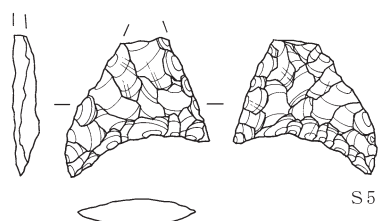
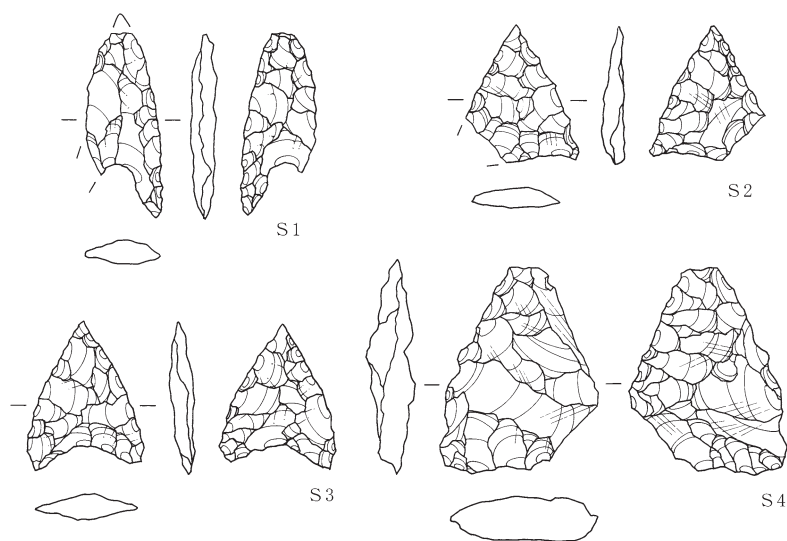
番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S143	EI-38G	Ⅷ層	耳飾り	1/2	(2.80)	(1.40)	0.90	4.40	滑石	—	直径約2mmの孔1ヶ所有。中央孔直径約8mm。
S144	EI-38G	Ⅷ層	打製石斧	完形	9.10	4.80	1.40	77.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S145	EI-38G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	10.10	4.50	1.20	72.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S146	EI-38G	Ⅷ層	石核	完形	11.90	11.20	5.00	762.00	黒色頁岩	砂岩	一部表面残存。
S147	EI-39G	Ⅷ層	石鏃	完形	1.56	1.92	0.24	0.47	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S148	EI-39G	Ⅷ層	石鏃	完形	2.93	1.43	0.48	2.08	珩質頁岩	頁岩	—
S149	EI-39G	Ⅷ層	台形様石器	刃部破損	3.31	2.71	0.84	9.17	チャート	チャート	—
S150	EI-39G	Ⅷ層	石匙	下端部欠損	(5.78)	2.73	0.85	14.27	黒色頁岩	—	縦型石匙。左右対称。
S151	EI-39G	Ⅷ層	打製石斧	完形	8.80	4.90	1.10	55.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S152	EI-39G	Ⅷ層	打製石斧	完形	8.90	5.60	1.30	76.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S153	EI-39G	Ⅷ層	石皿	完形	10.50	8.50	4.50	630.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。1面を磨石として使用。
S154	EI-39G	Ⅷ層	磨石	完形	9.90	8.80	5.40	810.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S155	EI-40G	—	石鏃	下端部欠損	(2.28)	(1.98)	0.53	2.20	黒曜石	黒曜岩	無茎鏃。凹基。
S156	EI-40G	Ⅷ層	打製石斧	完形	11.75	6.30	2.35	174.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S157	EI-40G	Ⅷ層	搔器	完形	12.00	6.50	3.30	177.00	珩質頁岩	無斑晶質安山岩	—
S158	EI-40G	Ⅷ層	磨石	完形	10.30	6.80	3.70	248.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S159	EI-41G	Ⅷ層	石鏃	完形	1.50	1.80	0.30	0.43	珩質頁岩	チャート	正三角形無茎鏃。凹基。
S160	EI-41G	Ⅷ層	石鏃	下端部欠損	3.00	1.10	0.70	2.87	チャート	—	刃部長さ約8mm、幅約4mm。
S161	EI-41G	Ⅷ層	石匙	完形	2.70	4.60	0.80	7.81	珩質頁岩	珩質頁岩	横型石匙。左右非対称。
S162	EI-41G	Ⅷ層	石匙	一部欠損	3.80	4.10	0.60	7.72	黒色安山岩	—	横型石匙。左右非対称。
S163	EI-42G	V層	石鏃	下端部欠損	1.90	(1.50)	0.28	0.51	チャート	チャート	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S164	EI-42G	Ⅷ層	石核	一部欠損	6.60	5.60	2.10	98.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S165	EI-42G	Ⅷ層	磨石	完形	8.90	6.90	4.70	398.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S166	EI-42G	Ⅷ層	敲石	一部欠損	12.10	6.50	3.80	416.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	3面に敲打痕有。
S167	EI-43G	Ⅷ層	石鏃	先端部欠損	1.30	1.40	0.14	0.17	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S168	EI-43G	Ⅷ層	石鏃	完形	1.67	1.40	0.20	0.30	チャート	チャート	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S169	EI-43G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	7.75	4.85	1.15	50.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S170	EI-43G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	9.95	4.95	1.60	86.00	砂岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S171	EI-43G	Ⅷ層	磨石	1/2	(7.40)	6.20	4.15	292.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S172	EI-43G	Ⅷ層	磨石	完形	12.90	7.90	4.80	740.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S173	EI-43G	Ⅷ層	石皿	破片	(21.50)	(15.90)	7.90	2,800.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。1面を多孔石としても使用。
S174	EI-43G	Ⅷ層	石皿	破片	(23.30)	(19.70)	(8.60)	3,600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。1面を凹石として使用。
S175	EI-44G	V層	石鏃	下端部欠損	(1.30)	(1.00)	0.30	0.34	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。平基。
S176	EI-44G	V層	石鏃	下端部欠損	(3.10)	1.30	0.60	2.50	黒曜石	黒曜岩	刃部破損。
S177	EI-44G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	12.00	4.90	1.70	79.00	黒色頁岩	泥質ホルンフェルス	短冊形石斧。一部表面残存。
S178	EI-44G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	14.00	5.90	2.35	111.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S179	Em-37G	Ⅷ層	多孔石	完形	22.80	21.70	9.30	6,050.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S180	Em-38G	Ⅷ層	石鏃	一部欠損	1.40	1.30	0.30	0.30	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S181	Em-38G	Ⅷ層	石鏃	完形	2.07	1.14	0.30	0.50	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S182	Em-38G	Ⅷ層	石鏃	一部欠損	1.44	(1.10)	0.22	0.34	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。平基。
S183	Em-38G	Ⅷ層	石鏃	下端部欠損	2.10	(1.70)	0.32	1.03	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S184	Em-38G	Ⅷ層	石鏃	下端部欠損	5.00	3.70	1.30	17.35	黒色頁岩	—	刃部長さ約18mm、幅約6～9mm。
S185	Em-38G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	8.00	5.00	1.80	66.30	黒色頁岩	凝灰岩	短冊形石斧。
S186	Em-38G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	9.90	4.10	1.00	48.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S187	Em-38G	Ⅷ層	磨石	完形	7.90	7.60	4.80	374.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S188	Em-41G	Ⅷ層	石核	完形	4.90	5.10	3.60	112.00	珩質頁岩	チャート	一部表面残存。
S189	Em-41G	Ⅷ層	石核	完形	5.90	6.90	4.00	184.00	黒色安山岩	泥質ホルンフェルス	一部表面残存。
S190	Em-42G	Ⅷ層	石鏃	一部欠損	1.80	1.20	0.20	0.30	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S191	Em-42G	Ⅷ層	石核	完形	4.10	4.90	1.10	23.00	珩質頁岩	流紋岩	一部表面残存。
S192	Em-42G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	7.80	4.50	1.70	60.00	黒色頁岩	凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S193	Em-42G	Ⅷ層	磨製石斧	下端部欠損	(10.50)	4.80	2.80	200.00	変玄武岩	変ハンレイ岩	乳棒状磨製石斧。
S194	Em-43G	Ⅷ層	石鏃	上下端部欠損	2.12	1.61	0.50	1.29	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S195	Em-43G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	9.20	4.15	1.10	46.00	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	短冊形石斧。
S196	Em-43G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	11.20	6.00	1.30	88.00	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	短冊形石斧。
S197	Em-43G	Ⅷ層	磨石	完形	9.70	7.70	4.60	476.00	流紋岩	流紋岩	2面使用。
S198	Em-43G	Ⅷ層	石皿	破片	(10.10)	(10.90)	4.30	384.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。
S199	Em-44G	Ⅷ層	石鏃	先端部欠損	(1.70)	1.70	0.36	0.73	珩質頁岩	—	正三角形無茎鏃。凹基。
S200	Em-44G	Ⅷ層	石匙	完形	1.63	1.94	0.35	0.86	黒曜石	黒曜岩	横型石匙。左右非対称。
S201	Em-44G	Ⅷ層	石匙	上端部欠損	(2.41)	3.65	0.71	4.29	珩質頁岩	頁岩	横型石匙。左右非対称。
S202	Em-44G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	6.15	4.15	0.95	35.00	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	短冊形石斧。
S203	Em-44G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	9.35	4.40	1.15	79.00	黒色頁岩	凝灰岩	短冊形石斧。
S204	Em-44G	Ⅷ層	打製石斧	完形	9.65	3.15	1.20	44.00	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	短冊形石斧。
S205	Em-44G	Ⅷ層	石核	完形	10.00	9.20	6.10	753.00	黒色安山岩	頁岩	表面多く残存。
S206	Em-44G	Ⅷ層	磨石	完形	11.50	6.50	3.50	412.00	石英閃緑岩	石英閃緑岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S207	Em-45G	—	石核	完形	2.34	2.78	1.70	12.69	黒曜石	黒曜岩	一部表面残存。
S208	Em-45G	Ⅷ層	打製石斧	一部欠損	7.00	5.10	1.10	43.00	粗粒輝石安山岩	無斑晶質安山岩	撥形石斧。一部表面残存。
S209	Em-45G	Ⅷ層	打製石斧	完形	9.60	5.40	1.50	83.00	粗粒輝石安山岩	凝灰岩	短冊形石斧。

第7章 V区の調査

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S210	Em-45G	—	磨製石斧	破片	(7.80)	(5.50)	2.90	192.00	蛇紋岩	蛇紋岩	定角式磨製石斧。
S211	En-37G	VI層	尖頭器	完形	5.00	1.60	0.92	6.28	黒色頁岩	—	一部表面残存。
S212	En-37G	VI層	打製石斧	完形	10.80	6.10	1.85	116.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S213	En-37G	VI層	打製石斧	一部欠損	11.70	5.00	1.40	109.00	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S214	En-37G	VI層	石鏃	1/2	12.00	9.20	2.00	342.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	弥生時代の遺物か？
S215	En-37G	VI層	磨石	完形	8.80	7.50	4.70	438.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S216	En-38G	VI層	打製石斧	一部欠損	8.70	3.80	1.10	43.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S217	En-39G	VI層	剥片	完形	5.50	1.95	0.84	7.54	黒曜石	黒曜岩	ナイフ形。
S218	En-39G	VI層	石錐	完形	2.70	1.30	0.66	1.85	チャート	チャート	刃部長さ約15mm、幅約4～6mm。
S219	En-39G	VI層	打製石斧	一部欠損	9.40	4.30	1.50	77.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S220	En-40G	VI層	打製石斧	上端部欠損	8.20	4.40	2.30	70.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。
S221	En-40G	VI層	石皿	1/3	(16.80)	(17.30)	3.50	1,530.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。1面を凹石としても使用。
S222	En-41G	—	石鏃	尖端部欠損	(2.60)	1.95	0.32	1.30	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S223	En-41G	VI層	石核	完形	2.16	3.03	1.50	10.46	黒曜石	黒曜岩	—
S224	En-41G	VI層	打製石斧	一部欠損	8.90	3.60	1.20	47.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S225	En-42G	VI層	石鏃	下端部欠損	1.46	(1.32)	0.24	0.33	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S226	En-42G	VI層	石匙	完形	4.91	5.28	1.01	19.28	黒色頁岩	頁岩	横型石匙。左右非対称。
S227	En-42G	VI層	磨石	完形	10.10	6.60	3.50	402.00	石英閃緑岩	石英閃緑岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S228	En-43G	VI層	石鏃	完形	2.20	2.00	0.54	1.45	チャート	チャート	正三角形無茎鏃。凹基。
S229	En-43G	—	石鏃	上下端部欠損	(1.45)	(1.32)	0.20	0.28	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S230	En-43G	—	削器	上部欠損	(1.87)	2.20	0.34	1.96	チャート	—	石鏃の可能性有。
S231	En-43G	VI層	打製石斧	一部欠損	9.00	5.00	1.00	62.00	細粒輝石安山岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S232	En-44G	VI層	打製石斧	一部欠損	10.70	5.00	1.80	95.00	粗粒輝石安山岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S233	En-23G	—	石鏃	上端部欠損	(1.67)	2.08	0.35	1.39	チャート	—	無茎鏃。平基。
S234	En-37G	VI層	剥片	完形	2.74	0.82	0.34	0.77	黒曜石	黒曜岩	—
S235	En-38G	IV層	石鏃	一部欠損	(1.32)	1.27	0.24	0.30	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S236	En-38G	IV層	石鏃	一部欠損	2.00	(1.15)	0.21	0.40	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S237	En-39G	VI層	磨石	完形	12.10	8.10	4.40	600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S238	En-40G	VI層	尖頭器	尖端部欠損	(3.85)	1.50	0.43	1.98	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	有舌尖頭器。
S239	En-41G	VI層	石鏃	一部欠損	(2.10)	(1.65)	0.40	1.04	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S240	En-42G	VI層	打製石斧	上部欠損	7.90	3.70	1.50	55.00	黒色頁岩	無斑晶質安山岩	短冊形石斧。
S241	En-42G	VI層	打製石斧	上部欠損	8.80	4.30	1.40	67.00	黒色頁岩	デイサイト	短冊形石斧。一部表面残存。
S242	En-43G	VI層	石鏃	一部欠損	2.15	(1.27)	0.35	0.94	黒色安山岩	無斑晶質安山岩	二等辺三角形無茎鏃。
S243	En-43G	VI層	多孔石	一部欠損	24.60	19.80	10.20	6,600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S244	En-43G	VI層	多孔石	一部欠損	28.60	20.30	9.70	7,550.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S245	En-25G	VI層	石鏃	下端部欠損	(3.25)	1.80	0.70	2.35	黒色頁岩	—	有茎鏃。
S246	En-37G	VI層	石錐	完形	3.63	2.89	0.46	3.56	黒色頁岩	頁岩	刃部長さ約16mm、幅約5～6mm。
S247	En-39G	VI層	石鏃	完形	1.40	1.30	0.25	0.32	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S248	En-39G	VI層	石鏃	完形	2.32	0.95	0.35	0.71	黒曜石	黒曜岩	尖頭器か？
S249	En-39G	VI層	磨石	完形	15.40	7.50	4.10	660.00	ひん岩	石英閃緑岩	3面使用。1面に敲打痕有。
S250	En-37G	VI層	磨石	完形	13.50	7.20	4.00	570.00	溶結凝灰岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S251	En-39G	VI層	石錐	完形	3.45	1.23	0.66	2.14	珪質頁岩	—	刃部長さ約10mm、幅約3mm。
S252	En-39G	VI層	打製石斧	一部欠損	8.90	4.20	1.50	66.00	砂岩	砂岩	短冊形石斧。
S253	En-41G	VI層	打製石斧	一部欠損	13.70	5.45	3.05	274.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S254	En-42G	VI層	敲石	一部欠損	12.80	5.10	3.60	310.00	石英閃緑岩	石英閃緑岩	磨石としても使用。
S255	En-43G	VI層	石鏃	完形	1.40	1.70	0.30	0.52	チャート	チャート	正三角形無茎鏃。凹基。
S256	En-43G	VI層	石錐	完形	3.60	1.40	0.80	2.90	チャート	チャート	刃部長さ約14mm、幅約5mm。
S257	En-38G	VI層	石匙	完形	6.11	5.42	1.04	28.37	黒色頁岩	—	横型石匙。左右非対称。
S258	En-39G	VI層	石鏃	基部一部欠損	3.20	1.27	0.58	1.79	チャート	—	尖頭器か？
S259	En-42G	VI層	打製石斧	一部欠損	13.00	4.45	1.50	63.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S260	Es-38G	IX層	打製石斧	一部欠損	13.60	6.20	0.80	104.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S261	Es-40G	VI層	打製石斧	上端部欠損	(7.70)	4.70	1.30	59.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	短冊形石斧。
S262	Es-40G	IV層	打製石斧	一部欠損	13.15	6.20	2.30	240.00	粗粒輝石安山岩	細粒凝灰岩	1面に表面残存。
S263	Es-40G	VI層	敲石	一部欠損	8.30	6.80	2.70	224.00	黒色頁岩	頁岩	1面に敲打痕有。
S264	Es-40G	VI層	磨石	一部欠損	21.10	7.00	4.10	1,000.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S265	Es-41G	VI層	打製石斧	一部欠損	9.20	5.40	1.40	67.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	撥形石斧。一部表面残存。
S266	Es-41G	VI層	打製石斧	上端部欠損	(13.10)	7.00	2.50	282.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	分銅形石斧。一部表面残存。

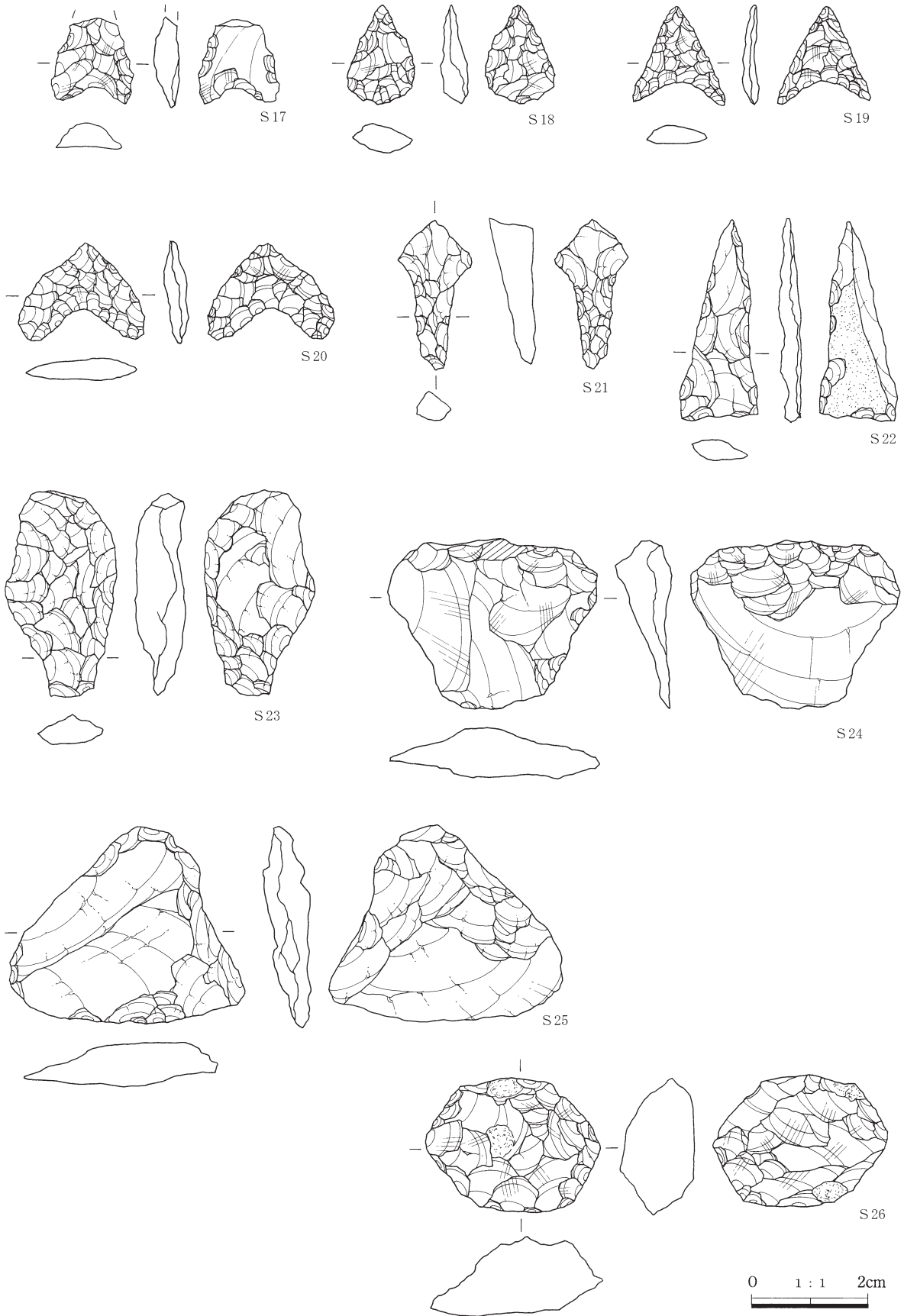


第7章第71図 IV区Y1号住居出土石器 [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]

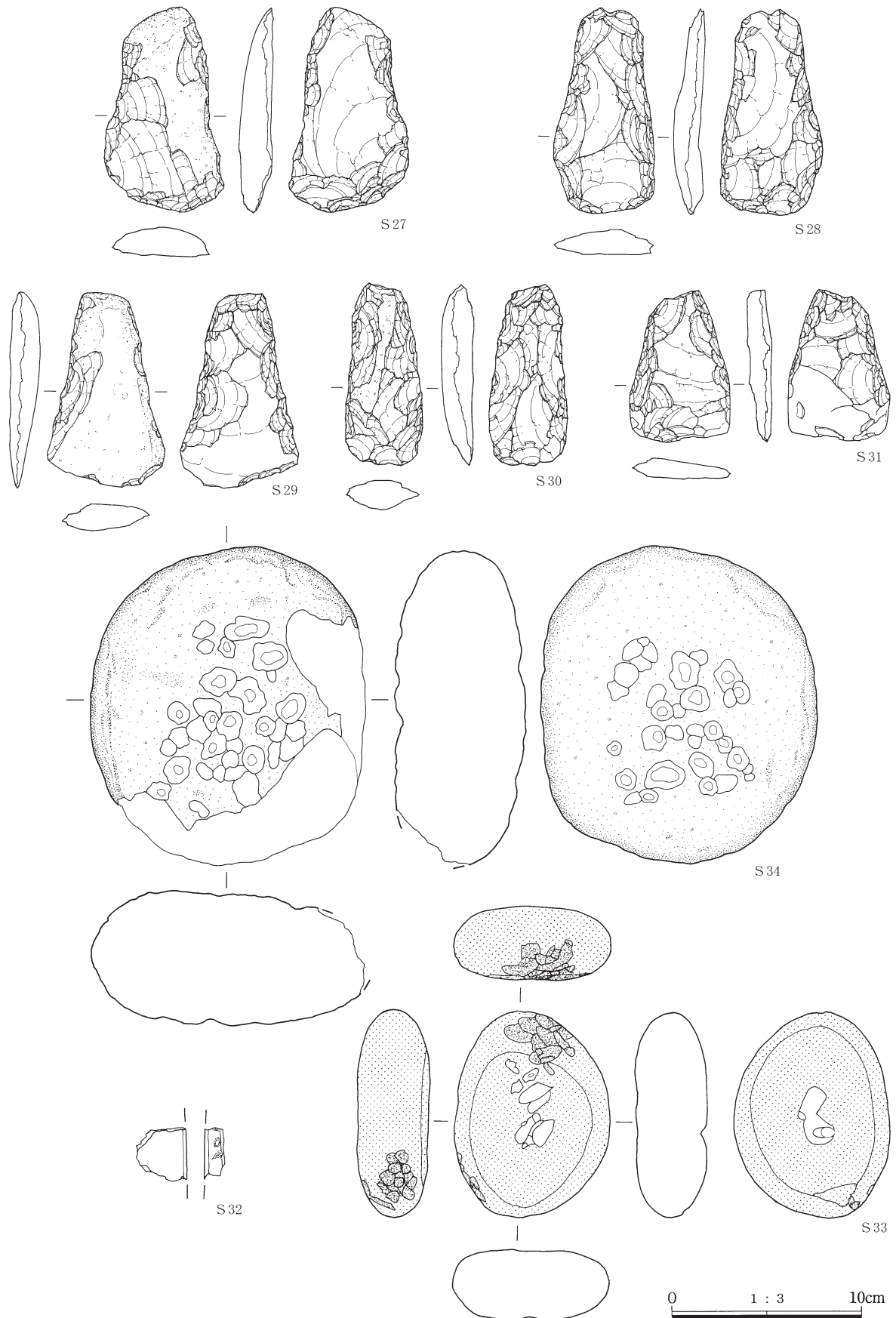


第7章第72図 V区Y1号住居出土石器(1) [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]

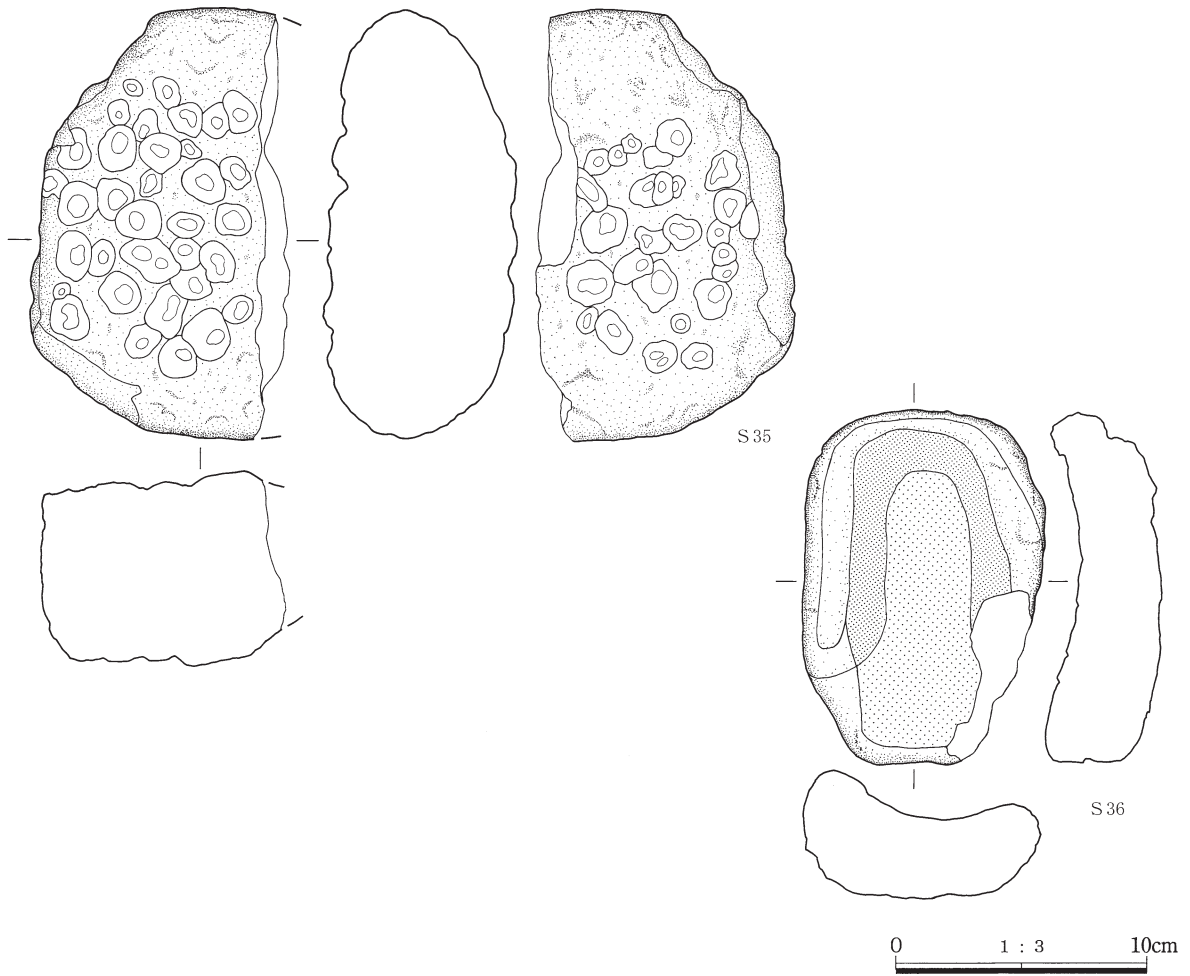
第7章 V区の調査



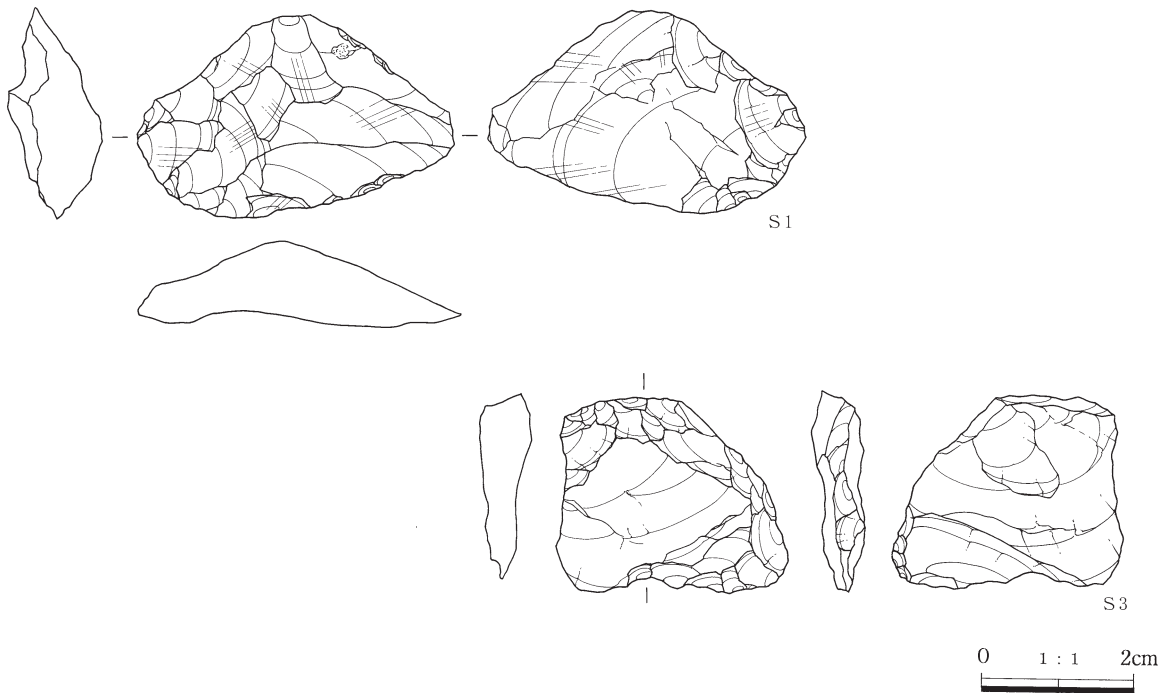
第7章第73図 V区Y1号住居出土石器(2) [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]



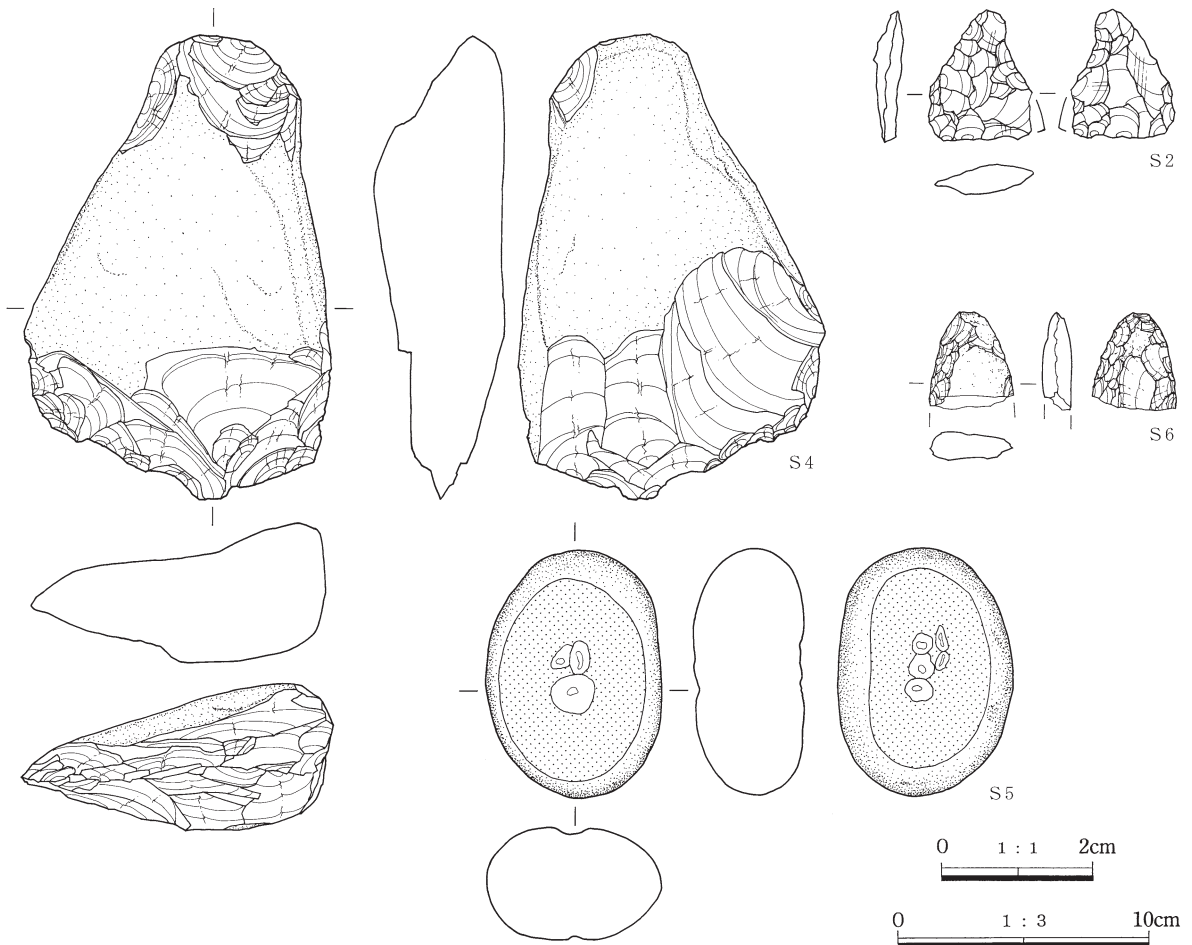
第7章第74図 V区Y1号住居出土石器(3) [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]



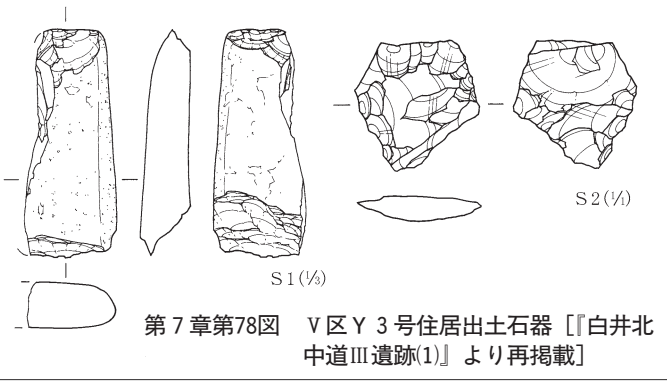
第7章第75図 V区Y1号住居出土石器(4) [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]



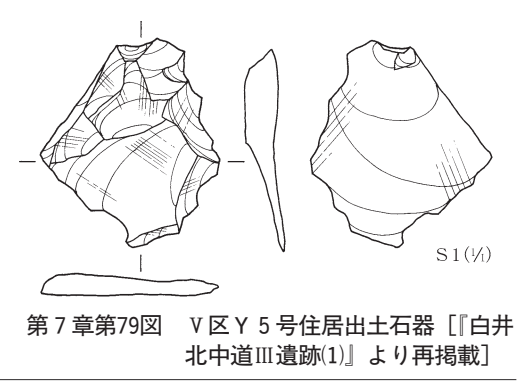
第7章第76図 V区Y2号住居出土石器(1) [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]



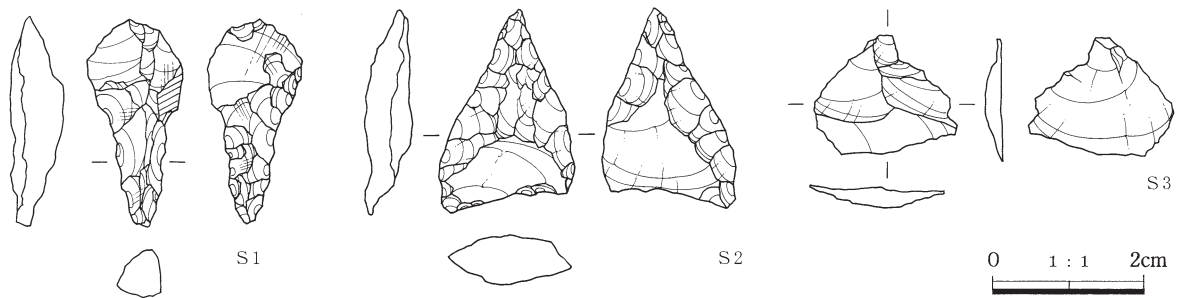
第7章第77図 V区Y2号住居出土石器(2) [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]



第7章第78図 V区Y3号住居出土石器 [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]



第7章第79図 V区Y5号住居出土石器 [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]



第7章第80図 V区Y4号住居出土石器 [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]

第7章 V区の調査

第7章表23 IV区Y1号住居出土石器観察表(第7章第71図、PL.114)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	埋没土	打製石斧	ほぼ完形	11.54	4.85	1.57	96.40	珩質頁岩	—	短冊形石斧。

第7章表24 V区Y1号住居出土石器観察表(第7章第72~75図、PL.114・115)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	No.1	石鏃	一部欠損	(2.40)	(1.05)	0.37	0.80	チャート	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 2	No.2	石鏃	一部欠損	(1.76)	(1.50)	0.30	0.60	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 3	No.3	石鏃	完形	1.88	1.55	0.29	0.60	チャート	—	正三角形無茎鏃。凹基。
S 4	No.4	石鏃	一部欠損	(2.66)	(2.06)	0.60	2.60	黒曜石	黒曜岩	—
S 5	No.5	石鏃	一部欠損	(1.63)	(1.93)	0.32	0.80	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 6	No.100	石鏃	一部欠損	(1.55)	(1.20)	0.21	0.80	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 7	周提帯	石鏃	一部欠損	(1.77)	(1.44)	0.34	0.60	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 8	No.86	石鏃	一部欠損	(3.19)	(1.70)	0.24	0.70	チャート	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 9	IV層	石鏃	先端部欠損	(2.61)	2.22	0.41	1.60	黒色安山岩	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 10	周提帯	石鏃	一部欠損	(1.53)	(1.38)	0.26	0.40	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 11	周提帯	石鏃	完形	2.12	1.77	0.38	0.90	珩質頁岩	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 12	埋没土	石鏃	一部欠損	(2.60)	(1.70)	0.39	1.20	黒色頁岩	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 13	埋没土	石鏃	完形	1.97	1.57	0.30	0.70	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 14	埋没土	石鏃	1/2?	(1.88)	(1.54)	0.40	0.90	黒曜石	黒曜岩	—
S 15	掘り方覆土	石鏃	完形	1.90	1.51	0.40	0.80	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 16	掘り方覆土	石鏃	ほぼ完形	1.73	1.48	0.25	0.30	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 17	掘り方覆土	石鏃	一部欠損	1.44	1.40	0.39	0.70	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 18	掘り方覆土	石鏃	一部欠損	1.67	1.15	0.48	0.80	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 19	掘り方覆土	石鏃	完形	1.65	1.61	0.27	0.40	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 20	掘り方覆土	石鏃	完形	1.64	2.15	0.42	1.00	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 21	周提帯No.3	石鏃	一部欠損	2.65	1.30	0.41	1.60	黒色頁岩	—	刃部長さ約15mm、幅5mm。
S 22	埋没土	石鏃	一部欠損	3.40	1.33	0.39	1.50	黒色頁岩	—	二等辺三角形無茎鏃。平基。
S 23	埋没土	石鏃	刃部欠損	3.58	1.96	0.90	5.90	チャート	—	—
S 24	掘り方覆土	削器	ほぼ完形	2.93	3.63	0.90	6.40	黒曜石	黒曜岩	スクレーパー
S 25	埋没土	削器	一部欠損	3.40	3.80	0.67	8.30	黒色安山岩	—	スクレーパー
S 26	埋没土	石核(コア)	ほぼ完形	2.28	3.05	1.31	7.90	黒曜石	黒曜岩	—
S 27	No.7	打製石斧	ほぼ完形	10.70	6.40	1.70	114.20	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S 28	No.9	打製石斧	完形	10.70	5.30	1.50	89.80	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S 29	No.10	打製石斧	完形	10.20	6.10	1.60	95.50	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S 30	No.41	打製石斧	完形	9.40	4.10	1.70	72.90	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S 31	No.71	打製石斧	先端部欠損	7.80	5.30	1.10	55.40	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S 32	埋没土	磨製石斧	破片	(2.70)	(2.60)	(1.00)	9.80	蛇紋岩	—	定角式磨製石斧。
S 33	No.93	磨石	完形	10.80	8.20	3.70	520.00	細粒輝石安山岩	—	表裏に凹部有り。敲打痕有り。
S 34	No.98	多孔石	一部欠損	(22.10)	(19.30)	9.40	4,750.00	細粒輝石安山岩	—	表裏に凹部有り。
S 35	No.96	多孔石	一部欠損	22.80	(13.50)	10.00	3,700.00	細粒輝石安山岩	—	表裏に凹部有り。
S 36	No.97	石皿	一部欠損	18.60	13.00	6.90	1,800.00	細粒輝石安山岩	—	楕円形を呈し、3方に縁がある。

第7章表25 V区Y2号住居出土石器観察表(第7章第76・77図、PL.116)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	周提帯	削器	一部欠損	2.50	4.23	0.98	8.30	黒曜石	黒曜岩	スクレーパー
S 2	埋没土	石鏃	一部欠損	(1.50)	(1.67)	0.36	0.70	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S 3	埋没土	削器	完形	2.54	3.06	0.70	5.80	チャート	—	スクレーパー
S 4	No.11	石核(コア)	一部欠損	18.30	12.20	5.30	1,260.00	砂岩	—	一部表面残存。
S 5	No.9	磨石	一部欠損	9.90	7.00	4.40	456.00	細粒輝石安山岩	—	両面に磨部・凹部有り。
S 6	No.12	打製石斧?	一部欠損	(3.80)	(3.30)	(1.20)	15.80	黒色頁岩	—	—

第7章表26 V区Y3号住居出土石器観察表(第7章第78図、PL.116)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	No.3	磨製石斧	破片	(8.90)	(3.60)	(1.90)	90.90	黒色頁岩	—	短冊形石斧?
S 2	No.1	剥片	一部欠損	(1.69)	(1.66)	0.35	0.90	黒曜石	黒曜岩	—

第7章表27 V区Y4号住居出土石器観察表(第7章第80図、PL.116)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	No.1	石鏃	ほぼ完形	2.74	1.27	0.72	1.60	黒曜石	黒曜岩	—
S 2	周提帯	石鏃	ほぼ完形	2.72	1.80	0.65	2.30	チャート	—	正三角形無茎鏃。凹基。
S 3	IV層 No.75	剥片	ほぼ完形	1.57	1.94	0.26	0.50	赤碧玉	—	スクレーパー

第7章表28 V区Y5号住居出土石器観察表(第7章第79図、PL.116)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	周提帯	剥片	一部欠損	(2.62)	(2.34)	0.56	1.90	黒曜石	黒曜岩	—

第8章 ま と め

白井北中道Ⅲ遺跡では、遺構として、縄文時代前期の竪穴住居6軒・掘立柱建物1棟・配石遺構1基・集石遺構4基・埋甕1基・遺物集中6箇所・土坑76基・ピット11基・焼土1基・倒木1箇所が検出された。また、遺物として土器は諸磯b式の深鉢・浅鉢・有孔浅鉢が中心であり、石器は石鏃と打製石斧が中心である。土器は1,232点・石器は866点を掲載した。



第8章写真1 白井北中道Ⅲ遺跡空撮

第1節 白井北中道Ⅲ遺跡 縄文面遺構・遺物まとめ

榑崎修一郎

白井北中道Ⅲ遺跡の縄文面は、Ⅰ区～Ⅴ区までⅤ区画の総面積24,154.9㎡である。

各区の遺構の概要は、以下の通りである。

1. Ⅰ区の遺構と遺物

Ⅰ区では、遺構は検出されなかった。遺構外の遺物は、土器と石器が出土した。

(1) 遺構外

- ①土器：土器は、6点出土した。
- ②石器：石器は、9点出土した。

2. Ⅱ区の遺構と遺物

Ⅱ区では土坑2基が検出された。遺構外の遺物は、土器と石器が出土した。

(1) 遺構

遺構の土坑からは、遺物は出土しなかった。

(2) 遺構外

- ①土器：土器は、8点出土した。
- ②石器：石器は、8点出土した。

3. Ⅲ区の遺構と遺物

Ⅲ区では、住居1軒と土坑7基が検出された。

(1) 遺構

- ①土器：土器は、33点出土した。

- ②石器：石器は、1点出土した。

(2) 遺構外

- ①土器：土器は、156点出土した。
- ②石器：石器は、88点出土した。

4. Ⅳ区の遺構と遺物

Ⅳ区では、住居4軒・配石遺構1基・集石遺構2基・埋甕1基・遺物集中6箇所・土坑60基・焼土1基・倒木1箇所が検出された。

(1) 遺構

- ①土器：土器は、282点出土した。
- ②石器：石器は、135点出土した。

(2) 遺構外

- ①土器：土器は、463点出土した。
- ②石器：石器は、325点出土した。

5. Ⅴ区の遺構と遺物

Ⅴ区では、住居1軒・掘立柱建物1棟・集石遺構2基・土坑7基・ピット11基が検出された。

(1) 遺構

- ①土器：土器は、47点出土した。
- ②石器：石器は、34点出土した。

(2) 遺構外

- ①土器：土器は、237点出土した。
- ②石器：石器は、266点出土した。

第8章表1 白井北中道Ⅲ遺跡縄文遺構まとめ

	住居	掘立柱建物	配石遺構	集石遺構	埋甕	遺物集中	土坑	ピット	焼土	倒木
Ⅰ区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅱ区	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
Ⅲ区	1	0	0	0	0	0	7	0	0	0
Ⅳ区	4	0	1	2	1	6	60	0	1	1
Ⅴ区	1	1	0	2	0	0	7	11	0	0
合計	6	1	1	4	1	6	76	11	1	1

第8章表2 白井北中道Ⅲ遺跡縄文遺物まとめ

	住居		掘立柱建物		配石遺構		集石遺構		埋甕		遺物集中		土坑		ピット		焼土		倒木		トレンチ		遺構外		
	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	
Ⅰ区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	9
Ⅱ区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	8
Ⅲ区	32	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	156	88
Ⅳ区	175	77	—	—	4	2	0	4	1	1	26	6	70	25	—	—	0	0	0	0	6	20	463	325	
Ⅴ区	25	11	0	0	—	—	2	4	—	—	—	—	6	2	0	0	—	—	—	—	14	17	237	266	
合計	232	89	0	0	4	2	2	8	1	1	26	6	77	27	0	0	0	0	0	0	20	37	870	696	

第2節 鯉沢バイパス縄文面調査 遺跡集成

榑崎修一郎

1. はじめに

一般国道17号は、関東と北陸を結ぶ大動脈である。群馬県においても、県北の山間部と県南部の平野部とを結ぶ主要道路であるが、交通渋滞が恒常化していた。その交通渋滞解消のため、全長5.5kmの鯉沢バイパスが計画され、平成8(1996)年10月には、渋川市東町から国道353号バイパスとの交差点までの2.3kmが開通した。さらに、終点の渋川市(旧子持村)上白井までの3.2kmも、平成20(2008)年7月に開通し、全長5.5kmの鯉沢バイパスが全面開通した。

なお、これらの遺跡は、調査時には住所が子持村であったが、平成18(2006)年2月の市町村合併に伴い、渋川市に変更となった。

この鯉沢バイパスの改築工事に伴い、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団による発掘調査が国道17号部分と国道353号部分との2箇所に分けてそれぞれ2期にわたって行われ、多数の遺跡及び遺構が出土し、すでに国道17号関連で14冊・国道353号関連で7冊・周辺遺跡2冊の合計23冊の報告書が刊行されている。

2. 鯉沢バイパス概要

鯉沢バイパスは、南北の国道17号部分と東西の国道353号線との2箇所に分かれる。これらの調査は、それぞれ、第1期及び第2期に分けて発掘調査が行われた。

(1) 国道17号

国道17号部分の発掘調査は、第1期と第2期に分かれる。

①第1期発掘調査

第1期の発掘調査は、平成2(1990)年4月～平成5(1993)年3月まで、3年を費やした。

第1期の発掘調査報告書は、第1集～第8集として完結した。この第1期の遺跡は、北から、白井北中道遺跡・白井丸岩遺跡・白井南中道遺跡・白井二位屋遺跡・東町関下遺跡の5つの遺跡に分かれる。

②第2期発掘調査

第2期の発掘調査は、平成14(2002)9月～平成17(2005)年7月まで、約3年を費やした。第2期の発掘調査報告書は、これまでに第1集～第5集までがすでに刊行されている。平成21年度内に、本書を含めて「上白井西伊熊遺跡：旧石器時代編」・「上白井西伊熊遺跡：古墳時代以降編」・「中郷遺跡(2)：縄文時代編」の4冊が刊行されて第9集ですべて終了する予定である。この第2期の遺跡は、北から、上白井西伊熊遺跡・中郷遺跡・吹屋遺跡・吹屋伊勢森遺跡・白井十二遺跡・白井北中道Ⅲ遺跡の6つの遺跡に分かれる。

(2) 国道353号

国道353号部分の発掘調査は、国道17号と同様に第1期と第2期に分かれる。

①第1期発掘調査

第1期の発掘調査は、平成3(1991)年7月～平成6(1994)年3月まで、約3年を費やして実施された。第1期の発掘調査報告書は、第1集～第2集として完結した。この第1期の遺跡は、東から、白井北中道Ⅱ遺跡・吹屋犬子塚遺跡・吹屋中原遺跡の3つの遺跡に分かれる。

②第2期発掘調査

第2期の発掘調査は、平成11(1999)年9月～平成16(2004)年3月まで、約4年を費やして実施された。第2期の発掘調査報告書は、第3集～第7集として完結した。この第2期の遺跡は、東から、中郷恵久保遺跡・吹屋三角遺跡・中郷田尻遺跡・吹屋靴屋遺跡・北牧大境遺跡の5つの遺跡に分かれる。

3. 出土遺構

鯉沢バイパス関連遺跡の縄文面で出土した遺構の基本は、国道17号と国道353号に共通して、住居・土坑である。この2種類の遺構は、ほぼ、どの遺跡にも共通して認められる。但し、遺構の検出状況は、多少地域により異なる。

この3種類の遺構に、屋外炉・掘立柱建物・配石遺構・集石遺構・埋甕・土器集中・遺物集中・墓坑・陥穴・ピット・焼土・立木・倒木等が加わる。

第8章 まとめ

(1) 国道17号

国道17号関連の遺跡は、第1期及び第2期を含めて11の遺跡に分かれている。これらの遺跡は、北から上白井西伊熊遺跡・中郷遺跡・吹屋遺跡・吹屋伊勢森遺跡・白井十二遺跡・白井北中道Ⅲ遺跡・白井北中道遺跡・白井丸岩遺跡・白井南中道遺跡・白井二位屋遺跡・東町関下遺跡である。

これら、11遺跡の縄文面の遺構は、住居164軒・屋外炉1基・掘立柱建物1棟・配石遺構2基・集石遺構8基・埋甕2基・土器集中1箇所・遺物集中6箇所・墓坑1基・陥穴2基・土坑1,195基・ピット35基・焼土8箇所・立木2箇所・倒木396箇所である。

この遺構分布の特徴は、北に多く、南に少ないことで、この傾向は、1面(FP上)の遺構分布と逆である。実際、北に位置する上白井西伊熊遺跡・中郷遺跡・吹屋遺跡・吹屋伊勢森遺跡・白井十二遺跡・白井北中道Ⅲ遺跡の6遺跡のみで、住居164軒及び土坑1,181基が検出されている。

一方、南に位置する白井北中道遺跡・白井丸岩遺跡・白井南中道遺跡・白井二位屋遺跡の4遺跡では、住居は検出されておらず、土坑は14基のみである。

したがって、縄文時代の居住区は、北側にあったと推定される。但し、南側の遺跡には、倒木が多く

検出されており、北側の前出の6遺跡では13箇所のみであるが、南側の4遺跡では383箇所もの倒木が検出されている。

(2) 国道353号

国道353号関連の遺跡は、第1期及び第2期を含めて8つの遺跡に分かれている。これらの遺跡は、東から白井北中道Ⅱ遺跡・吹屋犬子塚遺跡・吹屋中原遺跡・中郷恵久保遺跡・吹屋三角遺跡・中郷田尻遺跡・吹屋糶屋遺跡・北牧大境遺跡である。

これら、8遺跡の縄文面の遺構は、住居4軒・集石遺構1基・陥穴5基・土坑164基・焼土8箇所・倒木111箇所・木組状遺構4基である。

この遺構分布の特徴は、東に多く、西に少ないことで、この傾向は、1面(FP上)の遺構分布と逆である。

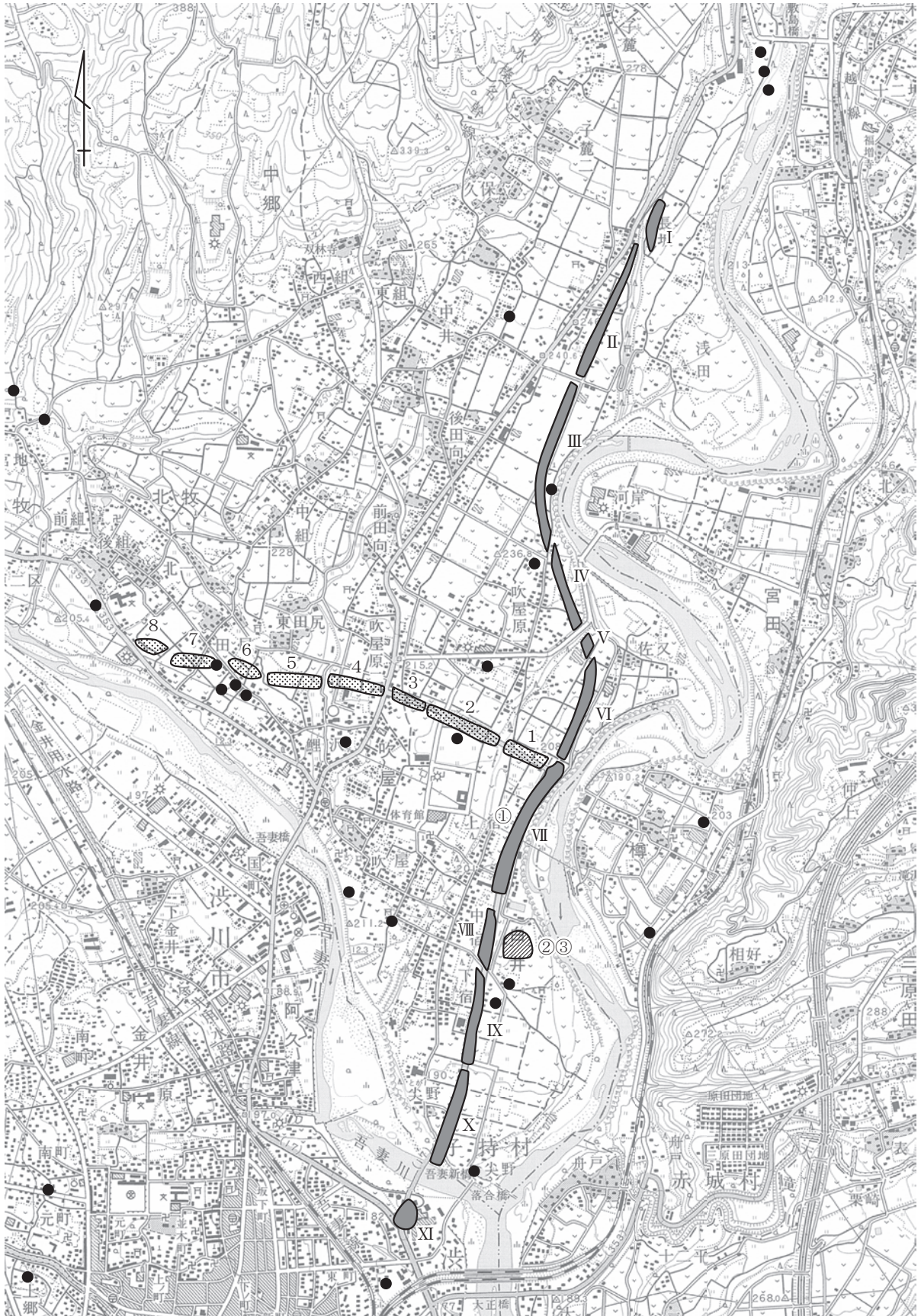
実際、東に位置する白井北中道Ⅱ遺跡・吹屋犬子塚遺跡・吹屋中原遺跡の3遺跡のみで、住居4軒・集石遺構1基・陥穴5基・土坑110基・焼土8箇所・倒木111箇所が検出されている。

一方、西に位置する中郷恵久保遺跡・吹屋三角遺跡・中郷田尻遺跡・吹屋糶屋遺跡・北牧大境遺跡の5遺跡では、土坑54基・木組状遺構4基が検出されているにすぎない。

第8章表3 国道17号(鯉沢バイパス)縄文面検出遺構まとめ

No.	遺跡名	住居	屋外炉	掘立柱建物	配石	集石	埋甕	土器集中	遺物集中	墓坑	陥穴	土坑	ピット	焼土	立木	倒木	備考
I	上白井西伊熊遺跡	3	—	—	—	—	1	—	—	—	—	32	—	—	—	—	報告書未
II	中郷遺跡	131	—	—	1	—	—	—	—	—	—	939	—	—	—	—	報告書未
III	吹屋遺跡	7	—	—	—	—	—	1	—	1	2	53	—	—	—	4	—
IV	吹屋伊勢森遺跡	5	—	—	—	2	—	—	—	—	—	47	21	—	—	8	—
V	白井十二遺跡	12	—	—	—	2	—	—	—	—	—	34	—	2	—	—	—
VI	白井北中道Ⅲ遺跡	6	—	1	1	4	1	—	6	—	—	76	11	1	—	1	—
VII	白井北中道遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	2	103	—
VIII	白井丸岩遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	3	—	64	—
IX	白井南中道遺跡	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	10	—	2	—	204	—
X	白井二位屋遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	—
XI	東町関下遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	総計	164	1	1	2	8	2	1	6	1	2	1,195	35	8	2	396	

註：遺跡の「No.」は、第8章第1図の番号と一致する。



第8章第1図 周辺遺跡分布図 (S = 1 : 20,000)

第8章 まとめ

第8章表4 国道353号道路（鯉沢バイパス）縄文面検出遺構まとめ

No.	遺跡名	住居	屋外炉	独立建物	配石	集石	埋甕	土器集中	遺物集中	墓坑	陥穴	土坑	ピット	焼土	立木	倒木	木柱遺構
1	白井北中道II遺跡	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	24	—
2	吹屋犬子塚遺跡	1	—	—	—	—	—	—	—	—	4	64	—	6	—	66	—
3	吹屋中原遺跡	3	—	—	—	—	—	—	—	—	1	44	—	2	—	21	—
4	中郷恵久保遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—
5	吹屋三角遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
6	中郷田尻遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51	—	—	—	—	—
7	吹屋糺屋遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	北牧大境遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	総計	4	0	0	0	1	0	0	0	0	5	164	0	8	0	111	4

第8章表5 国道353号道路縄文面検出遺構まとめ

No.	遺跡名	住居	屋外炉	独立建物	配石	集石	埋甕	土器集中	遺物集中	墓坑	陥穴	土坑	ピット	焼土	立木	倒木	木柱遺構
①	白井北中道遺跡(道の駅)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
②	白井大宮遺跡	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—
③	白井大宮遺跡II	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	230	—	—	—	—	—
	総計	0	0	0	2	1	0	0	3	0	0	230	0	0	0	0	0

引用文献

《国道17号（鯉沢バイパス）関連報告書》

・第1期編

群埋文第148集 1993 『白井遺跡群：中世編（白井二位屋遺跡・白井南中道遺跡）』[一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査] 報告書第1集]

群埋文第160集 1994 『白井遺跡群：集落編1（白井二位屋遺跡）』[一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査] 報告書第2集]

群埋文第202集 1996 『白井遺跡群：集落編II（白井南中道遺跡）』[一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第3集]

群埋文第219集 1997 『白井遺跡群：古墳時代編（白井二位屋遺跡・白井南中道遺跡・白井丸岩遺跡・白井北中道遺跡）』[一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第4集]

群埋文第232集 1998 『白井遺跡群：縄文時代編（白井二位屋遺跡・白井南中道遺跡・白井丸岩遺跡・白井北中道遺跡）』[一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第5集]

群埋文第235集 1998 『白井遺跡群：中世・近世編（白井丸岩遺跡・白井北中道遺跡）』[一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第6集]

群埋文第236集 1998 『東町関下遺跡』[一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第7集]

群埋文第269集 2000 『白井北中道遺跡（道の駅地点）』[一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第8集]

・第2期編

群埋文第373集 2006 『吹屋伊勢森遺跡』[一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書第1集]

群埋文第405集 2007 『吹屋遺跡』[一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書第2集]

群埋文第422集 2008 『中郷遺跡(1)』[一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書第3

集]

群埋文第427集 2008 『白井十二遺跡』[一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書第4集]

群埋文第455集 2009 『白井北中道III遺跡(1)』[一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書第5集]

群埋文第470集 2009 『白井北中道III遺跡(2)』[一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書第6集]（本書）

《国道353号線（鯉沢バイパス）関連報告書》

・第1期編

群埋文第207集 1996 『白井北中道II遺跡・吹屋犬子塚遺跡・吹屋中原遺跡：第1冊（古代・中近世編）』[国道353号（鯉沢バイパス）報告書第1集]

群埋文第241集 1998 『白井北中道II遺跡・吹屋犬子塚遺跡・吹屋中原遺跡：第2冊（旧石器・縄文時代編）』[国道353号（鯉沢バイパス）報告書第2集]

・第2期編

群埋文第339集 2004 『北牧大境遺跡』[国道353号（鯉沢バイパス）報告書第3集]

群埋文第364集 2006 『中郷恵久保遺跡』[国道353号（鯉沢バイパス）報告書第4集]

群埋文第404集 2007 『吹屋糺屋遺跡』[国道353号（鯉沢バイパス）報告書第5集]

群埋文第409集 2007 『吹屋三角遺跡』[国道353号（鯉沢バイパス）報告書第6集]

群埋文第412集 2007 『中郷田尻遺跡』[国道353号（鯉沢バイパス）報告書第7集]

《周辺遺跡》

群埋文第150集 1993 『白井大宮遺跡』[群馬県企業局渋川工業用水貯水池関係に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書]

群埋文第301集 2002 『白井大宮II遺跡』[渋川工業用水道天日乾燥床増設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書]

第3節 白井北中道Ⅲ遺跡出土 縄文獣面付き土器

榑崎修一郎・関根慎二

はじめに

獣面付き土器は、縄文前期の諸磯式土器の深鉢口縁部に多く認められる。この、「獣面付き土器」は「獣面把手」とも呼称されるが、ここでは、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団の関根慎二が提唱する呼称「獣面付き土器」を使用することとする(関根、2001・2004・2005)。

諸磯式土器の編年は、関根(2008)を使用した。この編年では、古い方から諸磯a(古)→諸磯a(新)→諸磯b(古)→諸磯b(中1)→諸磯b(中2)→諸磯b(新)→諸磯c(古)→諸磯c(新)という順番になる。

1. 獣骨の比率

国立歴史民俗博物館の動物考古学者の西本豊弘が、1991年時点で、縄文時代早期～晩期の日本国内45遺跡から出土した4,666個体の獣骨の種を集成した研究によると、シカ[1,836個体]・イノシシ[1,761個体]・タヌキ[314個体]・ノウサギ[156個体]・アナグマ[134個体]・サル[103個体]・その他[362個体]となる(設楽、2008)。

この個体を百分率で示すと、シカ[39.3%]・イノシシ[37.7%]・タヌキ[6.7%]・ノウサギ[3.3%]・アナグマ[2.9%]・サル[2.2%]・ムササビ[2.0%]・カワウソ[1.2%]・テン[1.1%]・その他[3.5%]となり、圧倒的にシカとイノシシが多いことがわかる(西本、2008)。この2種で、全体の77%を占めている。

2. 造形動物の比率

(1) 獣面付き土器

安中市教育委員会の考古学者の大工原 豊によると、獣面付き土器には、これまで、イノシシ・クマ・サル・トリ・ヘビ・コウモリ・カエル・ヤモリ等を造形したと考えられる事例が知られているという(大工原、2008)。

(2) 動物形土製品

駒沢大学の考古学者の設楽博己が、1996年時点で、174点の縄文時代の動物形土製品を集成した研究に

よると、イノシシ[89個]・貝[11個]・クマ[9個]・サル[9個]・トリ[9個]・イヌ[6個]・シカ[3個]・カメ[3個]・その他[35個]となる(設楽、2008)。

この個体を百分率で示すと、イノシシ[51.1%]・貝[6.3%]・クマ[5.2%]・サル[5.2%]・トリ[5.2%]・イヌ[3.4%]・シカ[1.7%]・カメ[1.7%]・その他[20.1%]となり、イノシシが約半分を占めることがわかる。

奇妙なことに、獣骨の比率ではほぼ同程度の出土となるイノシシとシカであるが、獣面付き土器ではイノシシが圧倒的に多いのに対しシカは事例がなく、造形動物ではイノシシは約51%であるのに対し、シカはわずかに1.7%しかない。

この理由として、①シカの雄の角が表現しにくかった・②シカの角で呪術的道具が製作されているので土製品にする必要がなかった・③イノシシは多産であるがシカは少産である等の理由が挙げられている(設楽、2008)。前出の西本豊弘は、これらの理由について、イノシシは縄文人と共に埋葬される例が1例あり、イノシシの仔も人やイヌと埋葬されていることを指摘した上で、イノシシについては家畜化が行われた可能性があるが、シカについては全くないことも指摘している。さらに、理由はイノシシの多産という単純なものではなく、社会的変革にとまなう現象により、縄文中期後半から縄文人の動物観の変遷を示唆している(西本、2008)。

3. 白井北中道Ⅲ遺跡の獣面付き土器

白井北中道Ⅲ遺跡のⅣ区・Ⅴ区出土獣面付き土器の内、保存状態の良い20点を以下に検討する。これら、20点の獣面付き土器のほとんどは、遺構外からの出土である。

(1) イノシシ

イノシシと推定される獣面は、20点中、18点に認められた。本稿の図2・3でのNo.1～No.18にあたる。いずれも、2つの目、鼻の穴を表現したと推定される2つの点、口を表現したと推定される水平の切れ込みが特徴である。

第8章 まとめ

(2) ヒト

本稿の図3での、No20にあたる。器種は土偶で、土器分類は縄文前期としかわからない。頭部のみで、下半部は欠けており、全容は不明である。造形は、所謂ハート形土偶に似通っている。2つの目はくぼんでおり、鼻の穴は2つの点で小さく表現している。

この土偶の眉間部～鼻部にかけては、かなり隆起した状態に表現している。これは、縄文時代人骨に認められる、眉弓の発達及び高い鼻を写實的に表現したものであると推定される。ちなみに、渡来系の弥生時代人骨では、眉弓の発達は弱く、鼻も低くなる傾向にあり、縄文時代人骨とは対照的である。

(3) 不明

本稿の図3での、No19にあたる。土器分類は、縄文前期としかわからない。2つの目は真横に付けられ、口吻部には鼻の穴は表現されておらず、口を表現したと推定される水平の切れ込みがあるだけである。ただし、本獣面土器の口吻部は、イノシシとは明らかに異なり、突出しているところである。

その口元は、本報告者の内、橋崎修一郎にはシカあるいはカモシカに似通っていると見える。本報告者の内、関根慎二は、シカ類あるいはヘビであろうと推定している。なお、縄文土器及び獣骨に詳しい文化庁主任調査官の土肥 孝氏に実見していただいたところ、トリであろうとのご指摘をいただいた。但し、特定の動物ではなく精霊だという意見もある。

このように、本獣面土器の動物種は、意見が異なり、シカ・ヘビ・カモシカ・トリという結論が出ないままとなっている。いずれ、他遺跡の出土例を参考にしながら再検討を加えたい。

まとめ

白井北中道Ⅲ遺跡の縄文面から、獣面付き土器が出土した。それらは諸磯式土器で、ほとんどが、イノシシを造形していると推定された。また、縄文前期と推定された土偶1点はヒトの顔を表現したものであると推定された。さらに、縄文前期と推定された土製品は、ヘビ・トリ・シカ・カモシカという異なる意見が提唱された。

謝辞

本稿をまとめるにあたり、文化庁記念物課の土肥孝主任調査官には遺物を実見していただき貴重なご指摘をいただいた。ここに記して感謝申し上げたい。

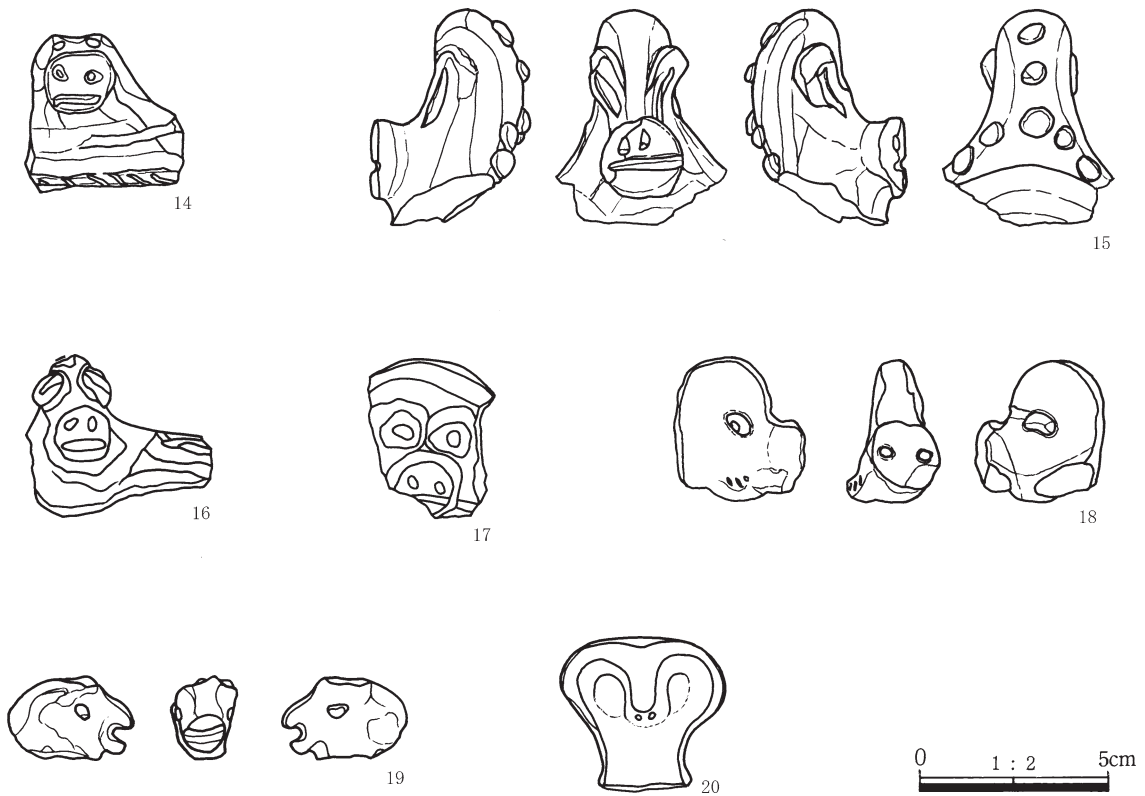
引用・参考文献 [著者名の五十音順]

- 設楽博己 2008 「縄文人の動物観」、『人と動物の日本史1. 動物の考古学』（西本豊弘編）、吉川弘文館、p.10-34.
- 関根慎二 2001 「諸磯式獣面付き土器考」、『赤城村歴史資料館紀要』、(3)：p.1-7.
- 関根慎二 2004 「諸磯b式土器に付けられたイノシシ顔」、『研究紀要』、(22)：p.109-124.
- 関根慎二 2005 「発掘こぼれ話①：峠の釜飯とイノシシ顔の付いた土器」、『群馬の遺跡2. 縄文時代』、上毛新聞社、p.30-31.
- 関根慎二 2008 「諸磯式土器」、『総覧縄文土器』（小林達雄編）、アム・プロモーション、p.282-289.
- 大工原 豊 2008 「獣面把手」、『総覧縄文土器』（小林達雄編）、アム・プロモーション、p.1194-1196.
- 福田友之 2008 「動物装飾付き土器と動物形土製品」、『総覧縄文土器』（小林達雄編）、アム・プロモーション、p.1189-1193.



第8章第2図 白井北中道Ⅲ遺跡出土縄文獣面付き土器(1)

第8章 まとめ



第8章第3図 白井北中道Ⅲ遺跡出土縄文獣面付き土器(2)

第8章表6 縄文獣面付き土器観察表

No.	番号	出土位置	器種	土器分類	推定造形種
1	Ⅲ区1住32	埋没土中	深 鉢	諸磯c式(中1)	イノシシ
2	Ⅳ区3住81	No.169	深 鉢	諸磯b式(中)	イノシシ
3	Ⅳ区3住82	No.149	深 鉢	諸磯b式(中2)	イノシシ
4	Ⅳ区遺構外125	Dp-43G	深 鉢	諸磯c式(中1)	イノシシ
5	Ⅳ区遺構外396	DI-45G	深 鉢	諸磯b式(中2)	イノシシ
6	Ⅴ区Y1号住居31	埋没土	深 鉢	諸磯c式(中1)	イノシシ
7	Ⅴ区Y1号住居33	掘り方	深 鉢	諸磯b式(中2)	イノシシ
8	Ⅴ区Y1号住居34	埋没土	深 鉢	諸磯c式(中1)	イノシシ
9	Ⅴ区Y1号住居35	周堤帯	深 鉢	諸磯c式(中1)	イノシシ
10	Ⅴ区Y1号住居37	周堤帯	深 鉢	諸磯c式(中1)	イノシシ
11	Ⅴ区遺構外27	EI-41G	深 鉢	諸磯c式(中1)	イノシシ
12	Ⅴ区遺構外200	Eo-39G	深 鉢	諸磯b式(中1)	イノシシ
13	Ⅴ区遺構外201	EI-38G	深 鉢	諸磯b式(中)	イノシシ
14	Ⅴ区遺構外202	Ek-43G	深 鉢	諸磯b式(中)	イノシシ
15	Ⅴ区遺構外203	Ek-38G	深 鉢	諸磯b式(中)	イノシシ
16	Ⅴ区遺構外204	Ek-40G	深 鉢	諸磯b式(中)	イノシシ
17	Ⅴ区遺構外206	Ej-42G	深 鉢	諸磯b式(中)	イノシシ
18	Ⅴ区遺構外208	Ek-38G	深 鉢	諸磯b式(中)	イノシシ
19	Ⅴ区遺構外210	Ek-36G	土製品	前期	シカ・カモシカ・ヘビ・トリ
20	Ⅴ区遺構外211	Ek-38G	土 偶	前期	ヒト

註：「No.」は、実測図の番号に符合する。

報告書抄録

書名ふりがな	しろいきたなかみちさんいせき に：じょうもんじだいへん
書名	白井北中道Ⅲ遺跡(2)：縄文時代編
副書名	一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査(その2)報告書
巻次	6
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	470
編著者名	榑崎修一郎・関根慎二
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20090731
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2
遺跡名ふりがな	しろいきたなかみちさんいせき
遺跡名	白井北中道Ⅲ遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんしぶかわししろい
遺跡所在地	群馬県渋川市白井
市町村コード	10341
遺跡番号	K0126
北緯(日本測地系)	363052~363107
東経(日本測地系)	1390120~1390126
北緯(世界測地系)	363103~363118
東経(世界測地系)	1390108~1390114
調査期間	20030106-20030331/20030401-20040331/20050208-20050331/20050401-20050729
調査面積	24,154.9m ²
調査原因	道路建設工事
種別	集落
主な時代	縄文
遺跡概要	集落-縄文-竪穴住居6+掘立柱建物1+配石遺構1+集石遺構4+埋甕1+遺物集中6+土坑76+ピット11+焼土1+倒木1+土器+石器
特記事項	縄文前期の竪穴住居6軒を中心とした調査。土器は、諸磯b式の深鉢・浅鉢・有孔浅鉢が中心。石器は、石鏃と打製石斧が中心。
要約	縄文前期の竪穴住居6軒を中心とした調査。住居の他に、掘立柱建物・配石遺構・集石遺構・埋甕・遺物集中・土坑・ピット・焼土・倒木の遺構が検出されている。出土遺物は、土器は諸磯b式の深鉢・浅鉢・有孔浅鉢が中心であり、石器は石鏃・打製石斧が中心である。

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第470集

白井北中道Ⅲ遺跡(2) —縄文時代編：本文編—

一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書 第6集

平成21年（2009年）7月24日 印刷

平成21年（2009年）7月31日 発行

編集・発行／財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

電話（0279）52-2511（代表）

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／朝日印刷工業株式会社

白井北中道Ⅲ遺跡 (2)

— 縄文時代編：本文編 —

一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査(その2)報告書 第6集

2009

国 土 交 通 省

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

白井北中道Ⅲ遺跡(2)

— 縄文時代編：写真編 —

一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査(その2)報告書 第6集

2009

国 土 交 通 省

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

写真図版目次

- IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居全景 [東→]
IV区 J 2(7)号住居埋葬炉 [南→]
IV区 J 3(4)号住居全景 [東→]
IV区 J 1号集石遺物出土状況 [西→]
IV区 J 58(101)号土坑遺物出土状況 [北→]
V区 J 1号掘立柱建物全景 [南→]
P L. 1 1. I区縄文面 調査区全景 [南→]
2. I区縄文面 調査風景 [南→]
3. I区 A l-76 G 遺物出土状況 [南→]
4. I区 A n-76 G 遺物出土状況 [南→]
5. I区 A n-76 G S 5出土状況 [南→]
6. I区 A p-72 G 遺物出土状況 [南→]
7. I区 A p-76 G 遺物出土状況 [南→]
8. I区 A v-72 G 遺物出土状況 [南→]
P L. 2 1. I区縄文面 遺構外出土縄文土器・縄文石器
P L. 3 1. II区縄文面 調査区全景 [南→]
2. II区 J 1(4)号倒木全景 [東→]
3. II区 J 1(4)号倒木セクション [北東→]
4. II区 B c-68 G 1号土坑・遺物出土状況 [南→]
5. II区 B c-68 G 1号土坑・自然礫出土状況 [南→]
P L. 4 1. II区 J 1(103)号土坑全景 [南→]
2. II区 J 1(103)号土坑セクション [南→]
3. II区 B e-70 G 遺物出土状況 [南→]
4. II区 J 2(102)号土坑全景 [南→]
5. II区 J 2(102)号土坑セクション [南→]
6. II区 B m-60 G 遺物出土状況 [南→]
7. II区 試掘トレンチ1 セクション [南→]
8. II区 試掘トレンチ2 セクション [南→]
P L. 5 1. II区縄文面 遺構外出土縄文土器・縄文石器
P L. 6 1. III区 J 1号住居遺物出土状況 [東→]
2. III区 J 1号住居全景 [東→]
3. III区 J 1号住居全景 [南→]
4. III区 J 1号住居全景 [東→]
5. III区 J 1号住居セクション [南→]
6. III区 J 1号住居出土縄文石器 S 1(表裏)
P L. 7 1. III区 J 1号住居出土縄文土器(1)
P L. 8 1. III区 J 1号住居出土縄文土器(2)
P L. 9 1. III区 J 1(44)号土坑全景 [南→]
2. III区 J 2(48)号土坑全景 [南→]
3. III区 J 3(45)号土坑全景 [南→]
4. III区 J 4(46)号土坑全景 [南→]
5. III区 J 5(50)号土坑遺物出土状況
6. III区 J 5(50)号土坑全景 [南→]
7. III区 J 5(50)号土坑出土縄文土器 P 1
8. III区 J 6(49)号土坑全景 [南→]
9. III区 J 7(47)号土坑全景 [南→]
P L. 10 1. III区縄文面 調査風景 [南→]
2. III区縄文面 調査風景 [南→]
3. III区 C c-50 G 遺物出土状況 [南→]
4. III区 C c-50 G S 1・S 2・S 3出土状況 [東→]
5. III区 C k-54 G 遺物出土状況 [南→]
6. III区 C m-52 G 遺物出土状況 [南→]
7. III区 C x-50 G P 146 出土状況 [南→]
8. III区 C x-50 G P 147・P 148 出土状況 [北→]
P L. 11 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)
P L. 12 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)
P L. 13 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)
P L. 14 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)
P L. 15 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)
P L. 16 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)
P L. 17 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)
P L. 18 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)
P L. 19 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器(5)
P L. 20 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器(6)
P L. 21 1. IV区 J 1(6)号住居全景 [東→]
2. IV区 J 1(6)号住居遺物出土状況 [東→]
3. IV区 J 1(6)号住居セクション [東→]
4. IV区 J 1(6)号住居遺物出土状況 [東→]
5. IV区 J 1(6)号住居全景 [西→]
6. IV区 J 1(6)号住居遺物出土状況 [西→]
7. IV区 J 1(6)号住居全景 [北→]
8. IV区 J 1(6)号住居遺物出土状況 [南→]
P L. 22 1. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居空撮 [上が北西]
2. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居空撮 [上が北西]
3. IV区 J 2(7)号住居全景 [東→]
4. IV区 J 2(7)号住居セクション(P33・P35) [南→]
5. IV区 J 2(7)号住居セクション(P33・P35) [南→]
6. IV区 J 2(7)号住居P33・P35出土状況 [南→]
P L. 23 1. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居全景 [東→]
2. IV区 J 1(6)号住居炉1全景 [東→]
3. IV区 J 1(6)号住居炉2全景 [南→]
4. IV区 J 1(6)号住居ピット1全景 [西→]
5. IV区 J 1(6)号住居ピット2全景 [西→]
6. IV区 J 1(6)号住居ピット3全景 [西→]
7. IV区 J 1(6)号住居ピット4全景 [南→]
8. IV区 J 1(6)号住居ピット5全景 [北→]
P L. 24 1. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居出土縄文土器(1)
P L. 25 1. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居出土縄文土器(2)
P L. 26 1. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居出土縄文土器(3)
P L. 27 1. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居出土縄文土器(4)
P L. 28 1. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居出土縄文土器(5)
P L. 29 1. IV区 J 1(6)号住居出土縄文土器(1)
P L. 30 1. IV区 J 1(6)号住居出土縄文土器(2)
P L. 31 1. IV区 J 1(6)号住居出土縄文土器(3)
P L. 32 1. IV区 J 1(6)号住居出土縄文土器(4)、J 2(7)号
住居出土縄文土器
P L. 33 1. IV区 J 3(4)号住居空撮 [上が北]
2. IV区 J 3(4)号住居調査風景 [西→]
3. IV区 J 3(4)号住居遺物出土状況 [西→]
4. IV区 J 3(4)号住居遺物出土状況 [東→]
5. IV区 J 3(4)号住居遺物出土状況 [北→]
6. IV区 J 3(4)号住居空撮 [上が南]
P L. 34 1. IV区 J 3(4)号住居全景 [東→]
2. IV区 J 3(4)号住居全景(近接) [東→]
3. IV区 J 3(4)号住居遺物出土状況 [北→]
4. IV区 J 3(4)号住居遺物出土状況 [北→]
5. IV区 J 3(4)号住居炉全景 [南→]
6. IV区 J 3(4)号住居炉全景(近接) [南→]

7. IV区 J 3(4)号住居ビット1全景 [南→]
8. IV区 J 3(4)号住居ビット2全景 [南→]
P L. 35 1. IV区 J 3(4)号住居ビット3全景 [南→]
2. IV区 J 3(4)号住居ビット4全景 [南→]
3. IV区 J 3(4)号住居ビット5全景 [南→]
4. IV区 J 3(4)号住居ビット6全景 [南→]
5. IV区 J 3(4)号住居ビット7全景 [南→]
6. IV区 J 3(4)号住居ビット8全景 [東→]
7. IV区 J 3(4)号住居ビット9全景 [西→]
8. IV区 J 3(4)号住居ビット10全景 [西→]
P L. 36 1. IV区 J 3(4)号住居出土縄文土器(1)
P L. 37 1. IV区 J 3(4)号住居出土縄文土器(2)
P L. 38 1. IV区 J 3(4)号住居出土縄文土器(3)
P L. 39 1. IV区 J 3(4)号住居出土縄文石器(1)
P L. 40 1. IV区 J 3(4)号住居出土縄文石器(2)
P L. 41 1. IV区 J 3(4)号住居出土縄文石器(3)
P L. 42 1. IV区 J 4(2)号住居全景 [西→]
2. IV区 J 4(2)号住居全景 [東→]
3. IV区 J 4(2)号住居炉全景 [東→]
4. IV区 J 4(2)号住居炉セクション [南→]
5. IV区 J 4(2)号住居ビット1全景 [南→]
6. IV区 J 4(2)号住居ビット2全景 [南→]
7. IV区 J 4(2)号住居ビット3全景 [南→]
8. IV区 J 4(2)号住居ビット4全景 [南→]
9. IV区 J 4(2)号住居出土縄文石器 S 1(表裏)
P L. 43 1. IV区 J 1号配石全景 [南→]
2. IV区 J 1号配石全景(近接) [南→]
3. IV区 J 1号配石全景(近接) [南→]
4. IV区 J 1号配石出土縄文土器
5. IV区 J 1号配石出土縄文石器
P L. 44 1. IV区 J 1号集石全景 [西→]
2. IV区 J 1号集石遺物出土状況 [西→]
3. IV区 J 1号集石遺物出土状況(近接) [西→]
4. IV区 J 1号集石出土縄文石器
P L. 45 1. IV区 J 1号集石出土縄文石器 S 3(表裏) [1/4]
2. IV区 J 2号集石全景 [南→]
3. IV区 J 2号集石出土縄文石器 S 1(表裏) [1/4]
4. IV区 J 1号埋糞遺物出土状況 [南→]
5. IV区 J 1号埋糞出土縄文土器 P 1
P L. 46 1. IV区 J 1号埋糞出土縄文石器 S 1(表裏) [1/4]
2. IV区 J 1(2)号遺物集中全景 [南→]
3. IV区 J 1(2)号遺物集中出土縄文土器
P L. 47 1. IV区 J 2(3)号遺物集中全景 [西→]
2. IV区 J 2(3)号遺物集中出土縄文土器
3. IV区 J 3(4)号遺物集中全景 [西→]
4. IV区 J 3(4)号遺物集中遺物出土状況 [南→]
5. IV区 J 3(4)号遺物集中出土縄文土器・縄文石器
P L. 48 1. IV区 J 4(5)号遺物集中全景 [南→]
2. IV区 J 4(5)号遺物集中遺物出土状況 [南→]
3. IV区 J 4(5)号遺物集中遺物出土状況(近接) [東→]
4. IV区 J 4(5)号遺物集中 P 4出土状況 [北→]
5. IV区 J 4(5)号遺物集中出土縄文土器・縄文石器
P L. 49 1. IV区 J 5(6)号遺物集中遺物出土状況 [北→]
2. IV区 J 5(6)号遺物集中遺物出土状況 [南→]
3. IV区 J 5(6)号遺物集中出土縄文土器・縄文石器
P L. 50 1. IV区 J 6(7)号遺物集中遺物出土状況 [南→]
2. IV区 J 6(7)号遺物集中遺物出土状況(近接) [南→]
3. IV区 J 6(7)号遺物集中出土縄文土器・縄文石器
P L. 51 1. IV区 J 1(212)号土坑全景 [西→]
2. IV区 J 2(213)号土坑全景 [西→]
3. IV区 J 1(212)・J 2(213)号土坑出土縄文土器・
縄文石器
4. IV区 J 3(209)号土坑全景 [南→]
5. IV区 J 3(209)号土坑出土縄文土器 P 1
6. IV区 J 4(221)号土坑全景 [西→]
7. IV区 J 4(221)号土坑セクション [東→]
P L. 52 1. IV区 J 4(221)号土坑出土縄文土器・縄文石器
2. IV区 J 5(210)号土坑セクション [西→]
3. IV区 J 5(210)号土坑出土縄文土器・縄文石器
P L. 53 1. IV区 J 6(242)・J 7(241)・J 8(240)・J 9(239)号
土坑全景 [東→]
2. IV区 J 10(238)・J 11(236)・J 12(237)号土坑全景 [西→]
3. IV区 J 13(214)号土坑全景 [南→]
4. IV区 J 13(214)号土坑出土縄文土器
5. IV区 J 13(214)号土坑出土縄文石器
6. IV区 J 14(218)号土坑全景 [西→]
7. IV区 J 15(217)号土坑全景 [北→]
8. IV区 J 15(217)号土坑出土縄文土器
P L. 54 1. IV区 J 16(245)・J 17(244)号土坑全景 [南→]
2. IV区 J 16(245)・J 17(244)号土坑遺物出土状況 [西→]
3. IV区 J 16(245)・J 17(244)号土坑セクション [南→]
4. IV区 J 17(244)号土坑出土縄文土器
P L. 55 1. IV区 J 18(215)号土坑遺物出土状況 [北→]
2. IV区 J 18(215)号土坑全景 [北→]
3. IV区 J 18(215)号土坑遺物出土状況(近接) [北→]
4. IV区 J 18(215)号土坑 S 1・S 2出土状況 [北→]
5. IV区 J 18(215)号土坑出土縄文土器・縄文石器
P L. 56 1. IV区 J 19(246)号土坑全景 [南→]
2. IV区 J 19(246)号土坑出土縄文土器
3. IV区 J 20(208)号土坑遺物出土状況 [南→]
4. IV区 J 20(208)号土坑出土縄文土器
5. IV区 J 20(208)号土坑出土縄文石器 S 1(表裏) [1/4]
P L. 57 1. IV区 J 21(233)号土坑全景 [南→]
2. IV区 J 22(211)号土坑全景 [東→]
3. IV区 J 22(211)号土坑遺物出土状況 [東→]
4. IV区 J 22(211)号土坑南東部遺物出土状況 [南→]
5. IV区 J 22(211)号土坑出土縄文土器
P L. 58 1. IV区 J 22(211)号土坑出土縄文石器
2. IV区 J 23(251)号土坑全景 [南→]
3. IV区 J 24(252)号土坑全景 [南→]
4. IV区 J 25(248)・J 26(249)号土坑全景 [南→]
5. IV区 J 25(248)号土坑出土縄文石器 S 1(表裏)
P L. 59 1. IV区 J 27(243)号土坑全景 [南→]
2. IV区 J 27(243)号土坑セクション [南→]
3. IV区 J 28(234)号土坑全景 [南→]
4. IV区 J 28(234)号土坑出土縄文土器
5. IV区 J 29(235)号土坑全景 [東→]
6. IV区 J 29(235)号土坑出土縄文石器 S 1 [1/4]
7. IV区 J 30(206)号土坑全景 [北→]
8. IV区 J 31(229)号土坑全景 [南→]
P L. 60 1. IV区 J 32(232)号土坑全景 [南→]
2. IV区 J 33(247)号土坑全景 [東→]

3. IV区 J 34(250)号土坑全景 [南→]
4. IV区 J 35(253)号土坑全景 [南→]
5. IV区 J 36(231)号土坑全景 [東→]
6. IV区 J 36(231)号土坑セクション [北→]
7. IV区 J 37(228)号土坑全景 [東→]
8. IV区 J 37(228)号土坑出土縄文石器 S 1(表裏) [1/4]
- P L. 61 1. IV区 J 38(224)号土坑全景 [南→]
2. IV区 J 39(216)号土坑全景 [南→]
3. IV区 J 40(226)号土坑全景 [南→]
4. IV区 J 40(226)号土坑セクション [南→]
5. IV区 J 40(226)号土坑出土縄文石器
6. IV区 J 40(226)号土坑出土縄文石器 S 1
7. IV区 J 41(225)号土坑全景 [南→]
8. IV区 J 41(225)号土坑出土縄文石器
- P L. 62 1. IV区 J 42(219)号土坑全景 [北→]
2. IV区 J 42(219)号土坑遺物出土状況 [北→]
3. IV区 J 42(219)号土坑出土縄文石器
4. IV区 J 42(219)号土坑出土縄文石器 S 1(表裏) [1/2]
5. IV区 J 43(230)号土坑全景 [南→]
6. IV区 J 43(230)号土坑セクション [南→]
7. IV区 J 43(230)号土坑出土縄文石器
- P L. 63 1. IV区 J 44(207)号土坑全景 [南→]
2. IV区 J 45(223)号土坑全景 [南→]
3. IV区 J 46(227)号土坑全景 [東→]
4. IV区 J 46(227)号土坑出土縄文石器 P 1
5. IV区 J 48(222)号土坑全景 [南→]
6. IV区 J 49(220)号土坑全景 [南→]
7. IV区 J 50(204)号土坑全景 [北→]
8. IV区 J 51(205)号土坑全景 [南→]
- P L. 64 1. IV区 J 53(399)・J 55(392)・J 56(390)号土坑出土縄文石器
2. IV区 J 57(105)号土坑全景 [南→]
3. IV区 J 57(105)号土坑出土縄文石器 S 1(表裏)
4. IV区 J 59(372)号土坑セクション [南→]
5. IV区 J 59(372)号土坑出土縄文石器 P 1
6. IV区 J 60(99)号土坑全景 [東→]
7. IV区 J 61(98)号土坑全景 [南→]
- P L. 65 1. IV区 J 58(101)号土坑遺物出土状況 [西→]
2. IV区 J 58(101)号土坑遺物出土状況 [北→]
3. IV区 J 58(101)号土坑遺物出土状況(近接) [北→]
4. IV区 J 58(101)号土坑出土縄文石器
- P L. 66 1. IV区 J 1号焼土出土状況 [南→]
2. IV区 J 1号焼土セクション [南→]
3. IV区 1号トレンチ全景 [東→]
4. IV区 1号トレンチ出土縄文石器
5. IV区 2号トレンチ全景 [東→]
6. IV区 3号トレンチ全景 [東→]
7. IV区 4号トレンチ全景 [西→]
8. IV区 1号トレンチ・一括出土縄文石器
- P L. 67 1. IV区 Dw-42 G P 390 出土状況 [南→]
2. IV区 Dw-42 G P 390 出土状況 [東→]
3. IV区 Dw-42 G P 390 出土状況(近接) [東→]
4. IV区 Dw-42 G 出土縄文石器 P 390
5. IV区 Dw-43 G P 156 出土状況 [南→]
6. IV区 Dw-43 G 出土縄文石器 P 156
7. IV区 Dw-44 G P 297 出土状況 [南→]
8. IV区 Dw-44 G 出土縄文石器 P 297
- P L. 68 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)
P L. 69 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)
P L. 70 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(3)
P L. 71 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(4)
P L. 72 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(5)
P L. 73 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(6)
P L. 74 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(7)
P L. 75 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(8)
P L. 76 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(9)
P L. 77 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(10)
P L. 78 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(11)
P L. 79 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(12)
P L. 80 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(13)
P L. 81 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(14)
P L. 82 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(15)
P L. 83 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)
P L. 84 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)
P L. 85 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(3)
P L. 86 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(4)
P L. 87 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(5)
P L. 88 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(6)
P L. 89 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(7)
P L. 90 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(8)
P L. 91 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(9)
P L. 92 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(10)
P L. 93 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(11)
P L. 94 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(12)
P L. 95 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(13)
P L. 96 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(14)
P L. 97 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(15)
P L. 98 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(16)
P L. 99 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(17)
P L. 100 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(18)
P L. 101 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(19)
P L. 102 1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(20)
P L. 103 1. V区 J 1(4)号住居全景 [南→]
2. V区 J 1(4)号住居全景 [東→]
3. V区 J 1(4)号住居遺物出土状況 [西→]
4. V区 J 1(4)号住居遺物出土状況 [西→]
5. V区 J 1(4)号住居 P 1・P 4出土状況 [西→]
6. V区 J 1(4)号住居 S 11出土状況 [東→]
7. V区 J 1(4)号住居ビット1 [東→]
8. V区 J 1(4)号住居ビット2 [東→]
P L. 104 1. V区 J 1(4)号住居ビット4 [東→]
2. V区 J 1(4)号住居ビット5 [東→]
3. V区 J 1(4)号住居ビット6 [東→]
4. V区 J 1(4)号住居ビット7 [東→]
5. V区 J 1(4)号住居出土縄文石器(1)
P L. 105 1. V区 J 1(4)号住居出土縄文石器(2)
P L. 106 1. V区 J 1(4)号住居出土縄文石器
P L. 107 1. V区 J 1号掘立柱建物全景 [南→]
2. V区 J 1号掘立柱建物ビット1 [南→]
3. V区 J 1号集石全景 [西→]
4. V区 J 1号集石全景 [東→]
5. V区 J 1号集石出土縄文石器・縄文石器

- P L. 108 1. V区 J 2号集石全景 [南→]
 2. V区 J 2号集石近接 [南→]
 3. V区 J 2号集石全景 [南→]
 4. V区 J 2号集石全景 [東→]
 5. V区 J 2号集石出土縄文石器 S 1(表裏)
 6. V区縄文面 調査風景
 7. V区縄文面 調査風景
 8. V区縄文面 調査風景
- P L. 109 1. V区 J 1(96)号土坑全景 [南→]、出土縄文土器
 2. V区 J 2(94)号土坑遺物出土状況 [東→]
 3. V区 J 2(94)号土坑全景 [南→]
 4. V区 J 2(94)号土坑出土縄文土器・縄文石器
 5. V区 J 3(95)号土坑全景 [南→]
 6. V区 J 4(126)号土坑全景 [南西→]
 7. V区 J 5(128、右)・J 6(127、左)号土坑全景 [西→]
 8. V区 J 5(128)号土坑出土縄文石器 S 1(表裏)
- P L. 110 1. V区 J 7(129)号土坑全景 [北東→]
 2. V区 J 7(129)号土坑セクション [北→]
 3. V区縄文面 ピット群全景 [南西→]
 4. V区 J 6(31)号ピット [南→]
 5. V区 1号トレンチ全景 [南西→]
 6. V区 2号トレンチ全景 [南西→]
 7. V区 2号トレンチ出土縄文土器・縄文石器
 8. V区縄文面 調査風景 [北東→]
- P L. 111 1. V区 3号トレンチ遺物出土状況 [南西→]
 2. V区 3号トレンチ出土縄文土器
 3. V区 3号トレンチ出土縄文石器
 4. V区 5号トレンチ全景 [南西→]
 5. V区 4号・6号トレンチ出土縄文土器・縄文石器
 6. V区 7号トレンチ出土縄文石器
- P L. 112 1. V区 8号トレンチ全景 [西→]
 2. V区 8号トレンチ遺物出土状況 [南西→]
 3. V区 8号トレンチ遺物出土状況 [東→]
 4. V区 8号トレンチ ピット群全景 [北東→]
 5. V区 8号トレンチ出土縄文土器・縄文石器
- P L. 113 1. V区 Y 1(2)号住居出土縄文土器
- P L. 114 1. IV区 Y 1号住居出土石器 №1(表裏) [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]
 2. V区 Y 1号住居出土石器(1) [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]
- P L. 115 1. V区 Y 1号住居出土石器(2) [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]
- P L. 116 1. V区 Y 2号住居出土石器 [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]
 2. V区 Y 3号住居出土石器 [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]
 3. V区 Y 5号住居出土石器 №1(表裏) [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]
 4. V区 Y 4号住居出土石器 [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]
- P L. 117 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)
 P L. 118 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)
 P L. 119 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)
 P L. 120 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)
 P L. 121 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(5)
 P L. 122 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(6)
- P L. 123 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)
 P L. 124 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)
 P L. 125 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(3)
 P L. 126 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(4)
 P L. 127 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(5)
 P L. 128 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(6)
 P L. 129 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(7)
 P L. 130 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(8)
 P L. 131 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(9)
 P L. 132 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(10)
 P L. 133 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(11)
 P L. 134 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(12)
 P L. 135 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(13)
 P L. 136 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(14)
 P L. 137 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(15)
 P L. 138 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(16)
 P L. 139 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(17)
 P L. 140 1. V区縄文面 遺構外出土縄文石器(18)